

博士学位論文（東京外国語大学）
Doctoral Thesis (Tokyo University of Foreign Studies)

氏 名	Halnazarov Maamoorjon
学位の種類	博士（学術）
学位記番号	博甲第 262 号
学位授与の日付	2019 年 2 月 12 日
学位授与大学	東京外国語大学
博士学位論文題目	親族語を中心としたウズベク語の呼称について—日本語との対照的観点から—

Name	Halnazarov, Maamoorjon
Name of Degree	Doctor of Philosophy (Humanities)
Degree Number	Ko-no. 262
Date	February 12, 2019
Grantor	Tokyo University of Foreign Studies, JAPAN
Title of Doctoral Thesis	A contrastive study on the use of the address terms in Uzbek and Japanese.

博士（学術）論文 平成 31 年（2019）

親族語を中心としたウズベク語の呼称について
ー日本語との対照的観点からー

東京外国語大学大学院総合国際学研究科

ハルナザロフ マムルジョン

Halnazarov Maamoor jon

目次

目次.....	i
表の目次.....	vi
図の目次.....	ix
第一部 序論.....	1
第 1 章 本論文の目的.....	1
1.1. 本論文の目的及び研究対象.....	1
1.2. 本論文の構成.....	1
1.3. 引用等の表記、訳などについて.....	3
第 2 章 ウズベク語概観.....	6
2.1. 使用地域と方言分布.....	6
2.2. 音韻・文法.....	9
2.2.1. 音韻.....	9
2.2.2. 文法.....	10
第二部 本論.....	14
第 3 章 本論文をめぐる基本概念と分類.....	14
3.1. 「人称」と「人称代名詞」.....	14
3.2. 「親族語」―「親族呼称」と「親族名称」.....	16
3.3. 「愛称」.....	16

第 4 章 人称代名詞	18
4.1. 先行研究	18
4.1.1. 日本語の人称代名詞に関する先行研究	18
4.1.1.1. 日本語の人称代名詞の歴史的変遷	18
4.1.1.2. 現代日本語における人称代名詞の運用	20
4.1.2. ウズベク語の人称代名詞に関する先行研究	26
4.2. 調査方法及び資料	28
4.3. ウズベク語の二人称代名詞	29
4.3.1. 二人称単数形 sen と san	30
4.3.2. 二人称単数形 sen (親称) と siz (敬称) の使い分け	30
4.3.3. 二人称代名詞 siz の変遷	42
4.3.4. 二人称複数形 sizlar と senlar の違い	45
4.3.5. 人称代名詞と所有人称接尾辞及び述語の人称語尾との一致現象	49
4.3.5.1. 人称代名詞と所有人称接尾辞との関係	50
4.3.5.2. 人称代名詞と述語の人称語尾との一致	53
4.3.6. まとめ	65
4.4. ウズベク語と日本語の人称代名詞の対照	66
 第 5 章 親族語	 67
5.1. 先行研究	67
5.1.1. 日本語の親族語に関する先行研究	67
5.1.2. ウズベク語の親族語に関する先行研究	68
5.2. 問題提起	71
5.3. 親族語の基本モデル	72
5.4. 調査概要	74
5.5. 調査結果 (I) - 親族関係	74
5.5.1. 上位世代	75
(1) 「祖父・祖母」	75
(2) 「父・母」	78
(3) 「父方のおじ・おばとその配偶者」	79

(3) - 1. 「父方の伯父・叔父とその配偶者」	79
(3) - 2. 「父方の伯母・叔母とその配偶者」	81
(4) 「母方のおじ・おばとその配偶者」	82
(4) - 1. 「母方の伯父・叔父とその配偶者」	82
(4) - 2. 「母方の伯母・叔母とその配偶者」	83
5.5.2. 同世代.....	84
(1) 「兄・弟とその配偶者」	84
(2) 「姉・妹とその配偶者」	86
(3) 「父方のおじ・おばの子」	87
(4) 「母方のおじ・おばの子」	88
5.5.3. 下位世代.....	89
(1) 「息子・娘とその配偶者」	89
(2) 「甥・姪」	90
(3) 「孫とその配偶者」	91
5.5.4. 親族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表.....	91
5.6. 調査結果（Ⅱ）－ 姻族関係	93
5.6.1. 「夫・妻」	93
(1) 呼びかけ表現.....	93
(2) 言及表現.....	94
(2) - 1. 話し相手が親族・姻族の場合	94
(2) - 2. 話し相手が親族・姻族以外の場合.....	95
5.6.2. 「義父母」	96
5.6.3. 「義理の兄弟姉妹とその配偶者」	97
(1) 呼びかけ表現.....	97
(2) 言及表現	98
5.6.4. 姻族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表.....	100
5.7. 考察	101
5.7.1. 形容詞 katta や apaq の親族語を修飾する時の働き	101
5.7.2. 接辞-(i)m と-(i)miz の使い分け	101
5.7.3. 接辞-(i)m の呼びかける時の用法	102
5.7.4. 親族成員間での言及の表現にみられる視点の移動.....	103
5.7.4.1. 年少者との会話において親族の誰かを話題にする時.....	103

5.7.4.2. 親族成員間で年少者に言及する時.....	104
5.7.5. 呼称と名称の区分	106
5.7.6. まとめ.....	106
5.8. ウズベク語と日本語の親族語の対照	107
5.8.1. 両言語の「祖父母」に対する呼称.....	107
5.8.2. 両言語の「父・母」に対する呼称.....	109
5.8.3. 両言語の「おじ・おばとその配偶者」に対する呼称.....	110
5.8.4. 両言語の「兄弟姉妹とその配偶者」に対する呼称	112
5.8.5. 両言語の「おじ・おばの子」に対する呼称.....	114
5.8.6. 両言語の「息子・娘とその配偶者」に対する呼称	115
5.8.7. 両言語の「甥・姪」に対する呼称.....	116
5.8.8. 両言語の「孫」に対する呼称.....	117
5.8.9. 両言語の「配偶者」に対する呼称	117
(1) 呼びかけ表現.....	117
(2) 言及表現.....	119
(2) - 1. 話し相手が親族・姻族の場合	119
(2) - 2. 話し相手が親族・姻族以外の場合.....	120
5.8.10. 結語	122
 第 6 章 愛称.....	123
6.1. 先行研究.....	123
6.1.1. 日本語の愛称に関する先行研究	123
6.1.2. ウズベク語の愛称に関する先行研究.....	125
6.2. ウズベク語における人名の構成.....	126
6.3. 調査方法.....	128
6.4. 調査結果と分析	129
6.4.1. 個人名の一部省略による愛称形成	129
6.4.2. 個人名への接辞添加による愛称形成.....	151
6.5. ウズベク語と日本語の愛称形成法の対照	162

第三部 結び.....	164
第7章 まとめと今後の課題.....	164
7.1. まとめ.....	164
7.2. 本稿の意義.....	171
7.3. 今後の課題.....	171
略語一覧.....	173
初出一覧.....	174
参考文献.....	175
用例出典.....	182
資料.....	185
資料 1. 二人称代名詞 siz の単数敬称用法に関する調査.....	185
資料 2. 二人称代名詞 siz の複数用法に関する調査.....	247
資料 3. 複数二人称代名詞 senlar の普通用法に関する調査.....	250
資料 4. 複数二人称代名詞 senlar のネガティブ用法に関する調査.....	253
資料 5. 二人称命令語尾-(i)ngiz の使用状況に関する調査 1. (現代の文学作品)	257
資料 6. 二人称命令語尾-(i)ngiz の使用状況に関する調査 2. (歴史小説)	258
資料 7. 親族語に関するアンケート調査 (ウズベク語)	263
資料 8. 親族語に関するアンケート調査 (日本語)	284
資料 9. 愛称に関するアンケート調査.....	303
資料 10. 参考：資料 9 の日本語訳.....	317

表の目次

表 1	キリル文字とラテン文字の音素表記との対応関係.....	4
表 2	ウズベク語の母音体系	9
表 3	ウズベク語の名詞の格	12
表 4	ウズベク語の所有人称接尾辞の体系	13
表 5	ウズベク語の人称代名詞の体系.....	13
表 6	田窪（1997）の挙げる人称名詞と固有名詞・定記述との違い.....	15
表 7	日本語の人称代名詞の歴史的変遷.....	19
表 8	金丸（1993）の挙げる標準的日本語の人称代名詞の男女差による使い分け	24
表 9	Rahmatullayev（2006）の挙げるウズベク語の人称代名詞の体系.....	27
表 10	ウズベク語の人称代名詞の使用実態を調査するために用いた資料.....	28
表 11	二人称代名詞 <i>siz</i> の用法に関する調査.....	43
表 12	二人称複数形 <i>senlar</i> の用法に関する調査	47
表 13	筆者が考える現代ウズベク語の人称代名詞の体系.....	49
表 14	筆者が考える現代ウズベク語の所有人称接尾辞の体系.....	52
表 15	吉村（2009）が挙げるウズベク語の人称語尾系列.....	53
表 16	グループ I に属する人稱語尾系列.....	55
表 17	グループ II に属する人稱語尾系列.....	57
表 18	グループ III に属する人稱語尾系列.....	60
表 19	二人称命令語尾 <i>-(i)ngiz</i> の使用状況に関する調査 1（現代の文学作品）	62
表 20	二人称命令語尾 <i>-(i)ngiz</i> の使用状況に関する調査 2（歴史小説）	62
表 21	グループ IV に属する人稱語尾系列.....	64
表 22	筆者が考える現代ウズベク語の人稱語尾系列	65
表 23	「祖父・祖母」に対する呼称	75
表 24	「祖父母」に対する言及表現	77
表 25	「父・母」に対する呼称.....	78
表 26	「父方の伯父・叔父とその配偶者」に対する呼称.....	79
表 27	「父方の伯母・叔母とその配偶者」に対する呼称.....	81
表 28	「母方の伯父・叔父とその配偶者」に対する呼称.....	82
表 29	「母方の伯母・叔母とその配偶者」に対する呼称.....	83

表 30	「兄・弟とその配偶者」に対する呼称	84
表 31	「姉・妹とその配偶者」に対する呼称	86
表 32	「父方のおじ・おばの子」に対する呼称（呼びかけの場合）	87
表 33	「母方のおじ・おばの子」に対する呼称（呼びかけの場合）	88
表 34	「子とその配偶者」に対する呼称.....	89
表 35	「甥・姪」に対する呼称（呼びかけの場合）	90
表 36	ウズベク語（チナズ方言）の親族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表.....	91
表 37	「夫・妻」に対する呼びかけ表現.....	93
表 38	「夫・妻」に対する言及表現（話し相手が親族・姻族の場合）	94
表 39	「夫・妻」に対する言及表現（話し相手が親族・姻族以外の場合）	95
表 40	「義父母」に対する呼称.....	96
表 41	「義理の兄弟姉妹とその配偶者」に対する呼びかけ表現.....	98
表 42	「義理の兄弟姉妹とその配偶者」に対する言及表現	98
表 43	ウズベク語（チナズ方言）の姻族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表.....	100
表 44	Rahmatullayev の挙げるウズベク語の所有人称接尾辞の体系	102
表 45	両言語の「祖父母」に対する呼称.....	107
表 46	両言語の「父・母」に対する呼称.....	109
表 47	両言語の「おじ・おばとその配偶者」に対する呼称（男性の場合）	110
表 48	両言語の「おじ・おばとその配偶者」に対する呼称（女性の場合）	111
表 49	両言語の「兄弟姉妹とその配偶者」に対する呼称.....	113
表 50	両言語の「おじ・おばの子」に対する呼称（呼びかけの場合）	114
表 51	両言語の「息子・娘とその配偶者」に対する呼称.....	115
表 52	両言語の「甥・姪」に対する呼称（呼びかけの場合）	116
表 53	両言語の「孫」に対する呼称.....	117
表 54	両言語の「配偶者」への呼びかけ表現	117
表 55	子供がその場にいるか否かの違いによる配偶者への呼びかけ表現.....	118
表 56	両言語の配偶者への言及表現（話し相手が親族・姻族の場合）	119
表 57	両言語の配偶者への言及表現（話し相手が親族・姻族以外の場合）	120
表 58	省略による愛称形の用例数.....	129
表 59	後部省略により形成された愛称形.....	129
表 60	前部省略により形成された愛称形.....	145
表 61	中部省略により形成された愛称形.....	149

表 62	前部+後部省略により形成された愛称形.....	150
表 63	中部+後部省略により形成された愛称形.....	151
表 64	接辞添加による愛称形の用例数	153
表 65	接辞-š (-oš/-oš)の添加により形成された愛称形.....	153
表 66	接辞-i の添加により形成された愛称形.....	156
表 67	接辞-a (-ha)の添加により形成された愛称形.....	159
表 68	接辞-boy の添加により形成された愛称形	160
表 69	接辞-jon の添加により形成された愛称形	160
表 70	接辞-xon の添加により形成された愛称形	160
表 71	ロシア語由来の接辞-ik の添加により形成された愛称形.....	161
表 72	ロシア語由来の接辞-ka の添加により形成された愛称形.....	161
表 73	ロシア語由来の接辞-ya の添加により形成された愛称形	161
表 74	二つの接辞の添加により形成された愛称形.....	162
表 75	筆者が考えるウズベク語の人名愛称形成接辞	162
表 76	現代ウズベク語の人称代名詞の体系 (=表 13)	166
表 77	現代ウズベク語の所有人称接尾辞の体系 (=表 14)	166
表 78	現代ウズベク語の人称語尾系列 (=表 22)	167
表 79	現代ウズベク語の人名愛称形成接辞 (=表 75)	170

図の目次

図 1	チナズ市の地理的位置	8
図 2	鈴木（1973：150）より	21
図 3	鈴木（1973）の挙げる日本語の自称詞と対称詞の使い分け	22
図 4	ウズベク語の親族関係表示：直系及び兄弟姉妹.....	72
図 5	ウズベク語の親族関係表示：父方・母方.....	73
図 6	ウズベク語の親族関係表示：夫方の姻族.....	73
図 7	ウズベク語の親族関係表示：妻方の姻族.....	74

第一部 序論

第1章 本論文の目的

1.1 本論文の目的及び研究対象

本論文の目的は、親族語を中心とした現代ウズベク語の呼称を整理・分析し、日本語との類似点と相違点を明らかにすることである。具体的には、ウズベク語話者を対象に行ったアンケート調査や現代文学作品及び映画から抽出した会話文を資料として、話者が日常生活の中で親族・姻族に呼びかけたり言及したりする時にどのような言い方をするのか、相手との距離や年齢の上下といったさまざまな対人的要因とのかかわりを考慮しながら詳細に検証する。

親族内での対話において、話し相手に直接呼びかけたり言及したりする際、さまざまな表現が用いられる。例えば、人称代名詞（単数二人称代名詞普称の *sen* や敬称の *siz* など）や親族語（*dada*（父）や *ena*（祖母）など）はもちろん、名前や愛称（*Guli*（←*Gulčehra*）、*Abdiš*（←*Abdulla*）など）のようなさまざまな表現がそうである。英語ではこれらの語類を総称して *address form*（*adress term* とも）と呼んでいる（Brown & Gilman（1960）、Brown & Ford（1964）、Braun（1988）など）。同様の概念について、日本語では術語が一定しておらず、「呼称」「呼びかけ（表現）」「対称詞」などが使われているが、本論文では、これらの語類を総称して呼ぶ際には「呼称（表現）」という述語を用いる。

ウズベク語の呼称に関する先行研究として、Iskandarova（1993）、Ahmedova（2008）、Xudoyberganov（2008）、Saidova（1993、2001）などが挙げられる。これらの論文においては、呼称の定義や指示範囲などについて不明確な点が多く、呼称表現の種類や使い分けなどに関して指摘するにとどまるものが多い。特に、呼称表現の体系や用法について実態調査によるデータに基づいて検討した研究はほとんどない。また、両言語の呼称について対照的な観点から書かれたものは、筆者の調べた限りでは見当たらない。このように、両言語の呼称表現の体系や用法の相違を知ろうと直接参考にできるデータがないのが実情である。

本論文では、今までの研究においてそれほど注意が向けられてこなかった呼称表現に焦点を当て、親族間で最も多用されると思われる人称代名詞、親族語、愛称の3種類の表現形式についてアンケート調査や文学作品などの言語資料に基づいて分析・考察を行う。具体的には、親族語と愛称については、バリエーションが多く、どういう形が出るかということを幅広く調査する必要があると考えられるため、ウズベク語母語話者を対象にアンケート調査を実施し、回答を記入してもらうという形で行う。しかし、人称代名詞はバリエーションがそれほど多く出るわけではなく、それぞれの形式について量的に十分なデータを収集する必要があると考えられるため、主として現代の文学作品を資料として調査を実施し、それに基づいて分析・考察を行うことにする。

1.2 本論文の構成

本論は、三つの部から構成されている。第一部は「序論」、第二部は「本論」、第三部は「結び」となっている。以下、それぞれの部の内容について簡潔に述べる。

第一部 序論 (第1章～第2章)

まず、第1章では、本論文の目的及び研究対象について述べる。また、本論文の構成を概観する。そして、ウズベク語の先行研究や調査データ及び資料を記述する際の表記や訳等について説明する。

第2章は、ウズベク語の全般的な概説である。ウズベク語が話されている地域や方言差などについて述べた後、本論文を理解するうえで必要となるウズベク語の音韻的特徴や文法を概説する。

第二部 本論 (第3章～第6章)

第3章では、本論文をめぐる基本概念と下位分類を整理する。「呼称」に関する従来の議論を整理したうえで、親族呼称と親族名称、愛称などに関する本稿の定義について述べる。なお、後に述べるように、ウズベク語の呼称をめぐる基本概念と分類に関する先行研究はほとんどない。それゆえ、本稿では日本語の呼称をめぐる先行研究を整理することによって目的を果たすことにする。

第4章では、人称代名詞に関する記述を行う。呼称表現の中に人称代名詞を含めるのは一般的ではないと思われる。特に、のちに詳しく述べるように、ウズベク語では人称代名詞を呼びかけ表現に使うことはほとんどない。しかし、少なくとも人称代名詞は言及用法を持っている。また、特に人称代名詞は話し相手の待遇に関連するという点で、聞き手をどのように種類分けするかという枠組みとしての性格を有する。それゆえ、「人を指す表現」としての呼称を記述する際の準拠枠としてまず人称代名詞、特に二人称代名詞の記述が必要であると思われる。

まず、両言語の人称代名詞をめぐる先行研究を概観し、その問題点を指摘する。次に、ウズベク語の文学作品から収集した会話文の資料に基づいて、主としてウズベク語の二人称代名詞の使用実態を調べ、その特徴を検討する。現代ウズベク語の二人称代名詞 *siz* は、学校の教科書や文法書などでは、複数の二人称代名詞として位置づけられ、単数の敬称二人称としての用法はその存在が指摘されるにとどまる。しかしそのような記述では、現代ウズベク語の *siz* の用法を正確に把握しているとは言えないと思われる。本稿では、元来複数二人称代名詞として扱われてきた *siz* について、現代語では敬称の単数二人称代名詞への変化を遂げつつあると考えるため、*siz* を敬称の二人称代名詞として解釈したほうが矛盾なく説明できることを提案する。また、二人称代名詞 *sen* と *siz* の使い分けと所有二人称接尾辞との関係及び動詞人稱語尾との一致現象について実例に基づいて考察する。

第5章では、親族語に関する記述を行う。まず、両言語の親族語をめぐる先行研究を紹介し、その問題点を指摘する。次に、11名のウズベク語母語話者（タシケント州チナズ市出身者）を対象に行ったアンケート調査に基づいて、ウズベク語の親族語について、年齢の上下や親疎関係など諸ファクターとのかかわりをくわしく検討する。親族語について考察する際、血縁関係の「親族」と婚姻関係の「姻族」に分けて分析する。考察範囲は、「親族」の場合、本人を基準にして、上位2世代（祖父母、両親、おじ・おばとその配偶者）、同世代（兄弟姉妹とその配偶者及びいとこ）、下位2世代（息子・娘とその配偶者、甥・姪、孫とその配偶者）まで合わせて5世代とし、「姻族」の場合、配偶者と配偶者の両親、配偶者の兄弟姉妹とその配偶者までとする。それから、日本語の親族語について、ウズベク語の場合と同じような方法で、同人数の日本語母語話者を対象に行ったアンケート調査に基づいて、日本語の親族間での呼称を整理・分析する。最後に、調査結果によって明らかになった両言語の親族語の異同を検証する。

第6章では、愛称について記述する。第5章で明らかになることとして、ウズベク語では（そし

て日本語でも) 目下の人には名前と呼びかけるのが一般的であるが、その際にしばしば愛称が用いられる。そこで、愛称の構成法について一章を設けて記述する。

まず、両言語の愛称をめぐる先行研究を紹介し、その問題点を指摘する。次に、14名のウズベク語母語話者(チナズ市出身者13名とタシケント市出身者1名)を対象に行ったアンケート調査に基づいて、ウズベク語の愛称形成法について考察する。ウズベク語の愛称の作り方は、大きく分けて個人名の構成要素の省略と個人名への接辞添加によるものの2種類あると思われるが、その具体的な形成方法について、形態音韻論的観点から分析する。最後に、愛称をめぐる両言語の類似点と相違点を検討する。

第三部 結び (第7章)

最後の第7章では、本研究で明らかになったことを再確認し、今後の課題について述べる。

1.3 引用等の表記、訳などについて

ウズベク語の正書法は、現在に至るまでアラビア文字、ラテン文字、キリル文字としばしば変更されてきた。ロシア革命後、チャガタイ文語¹の文字であったアラビア文字を改良しようという目的で改革が進められ、1923年に23の子音と6母音を持った新しいアラビア文字の正書法(改良アラビア文字正書法)が導入された。そして、チュルク民族の文字にラテン文字を導入しようとする動きが始まり、1929年にラテン文字が導入され、その基礎言語としてキプチャク・ウズベク方言が選択された。その結果、母音調和²が公的に認められ、母音の数は6母音から9母音に入れ替えられた。その後、1934年にタシケント方言を基礎として9母音から6母音に改められ、母音調和を反映した表記が廃止された。1940年には、ラテン文字からキリル文字に置き換えられた。ソ連崩壊後、1993年に、正書法はふたたびラテン文字へと変更された(庄垣内 1988a : 832-833)。

今日では、キリル文字とラテン文字が並立的に使用されているが、将来的にはラテン文字表記に完全に移行する計画が立てられている。

本論文では、ウズベク語で書かれた文献の引用や例文、及び調査データの表記は、キリル文字表記、ラテン文字表記を問わずIPAを交えた音素表記に転写して表記する。なお、キリル文字やラテン文字による表記を示す必要のある箇所はその限りではない。具体的な表記法は概ね庄垣内(1988 : 829)に従う。正書法では、人名などの固有名詞や文頭の頭文字を大文字にする決まりがあるが、本論文においても、引用や例文などの文頭の文字を大文字で示す。キリル文字とラテン文字の対応関係、及び転写する音素表記との対応関係については、表1を参照されたい。

例文は音素表記に転写したうえで、問題となる部分にのみグロスを付けて例示する。グロスでは、形態素境界を- (半角ハイフン) で表記する。

1 チャガタイ文語は、かつてのカラハン朝チュルク語とホラズムチュルク語とを引き継ぎ、チムール朝時代にミール・アリー・シール・ナヴァーイー(1441-1501)の手で完成された文語である。この文語は、広く中央アジア一帯のチュルク民族に用いられたが、その性格はウズベク語に最も近く、「古ウズベク語」とも呼ばれている。(庄垣内 1988a : 832-833) による)。

2 母音調和(vowel harmony)とは、連続する音節内での一つ、あるいはそれ以上の素性に関する母音の一致を言う。例えば、トルコ語の köy (village) は、ö という前舌母音を持つが、son (end) は後舌母音を持つ。これらに調和する形で、複数を示す接辞は köy-ler (villages) では前舌母音 e で、son-lar (ends) では後舌母音 a となる(中島・瀬田 2009 : 334 による)。

例文及び引用の日本語訳は、全て筆者によるものである。また、例文などにおける太字や下線なども筆者によるものであり、本論文の体裁に合わせて変えてある。

例文にはその出典を各例文の右下に示す。なお、例番号や図表番号及び注の番号は連番である。

表 1. キリル文字とラテン文字の音素表記との対応関係

キリル文字	ラテン文字	対応音素
А а	A a	a
Б б	B b	b
В в	V v	v
Г г	G g	g
Д д	D d	d
Е е	E e/Ye ye	e/ye
Ё ё	Yo yo	yɔ
Ж ж	J j	j
З з	Z z	z
И и	I i	i
Й й	Y y	y
К к	K k	k
Л л	L l	l
М м	M m	m
Н н	N n	n
О о	O o	ɔ
П п	P p	p
Р р	R r	r
С с	S s	s
Т т	T t	t
У у	U u	u
Ф ф	F f	f
Х х	X x	x
Ц ц	Ts ts	ts
Ч ч	Ch ch	č
Ш ш	Sh sh	š
Ъ ъ	,	,
Э э	E e	e
Ю ю	Yu yu	yu
Я я	Ya ya	ya
Ў ў	O' o'	o
Қ қ	Q q	q

$\mathbb{F} \mathfrak{F}$	$\mathbb{G} \mathfrak{g}$	$\dot{\mathfrak{g}}$
$\mathbb{X} \mathfrak{x}$	$\mathbb{H} \mathfrak{h}$	\mathfrak{h}
$\mathbb{H} \Gamma \mathfrak{H} \Gamma$	$\mathbb{N} \mathfrak{g} \mathfrak{n} \mathfrak{g}$	\mathfrak{y}

第2章 ウズベク語概観

2.1 使用地域と方言分布

ウズベク語は、アルタイ諸語のうち、チュルク語の一つであり、その使用地域は、ウズベキスタンだけでなく、中国・新疆ウイグル自治区からキルギスタン、カザフスタン、トゥルクメニスタン、タジキスタン、アフガニスタンなど、広く近隣諸国にまで及び、中央アジア地域では最大の民族語である。人口 2500 万近いとみられるウズベク系の人々の多くが話し、ウイグル語とも相互理解が可能なほど近い方言関係にある（中嶋 2015 : i）。

ウズベク語の方言については、Polivanov (1933)、Yudaxin (1939)、Borovkov (1953) など多くのチュルク言語学者や方言学者によってさまざまな立場からの分類が検討されてきた。

Reshetov et al. (1978) は、それまでの分類を比較・検討し、ウズベク語の諸方言の音韻・形態的特徴や他言語からの影響などを考慮したうえで、ウズベク語の方言をカルルク・チギル・ウイグル方言、キプチャク方言、オグズ方言という三つのグループに大別した。この分類は、今のところ有力な分類方法の一つである。

Reshetov et al. (1978) の挙げる方言グループの主な特徴と下位分類は以下の通りである。

1) キプチャク方言 (pp. 41-42)

キプチャク方言はカザフ語やカラカルパク語などの影響を受け、それらの言語と共通する特徴を持っている。下位方言としては、中部ホラズムと北方ホラズムの諸方言、クラマ諸方言、カザフ・ナイマン諸方言、キルク諸方言、ラカイ諸方言などがある。この方言グループには、以下のような音韻・形態的特徴がある。

- ① カザフ語、キルギス語、カラカルパク語などに特有な母音調和を持っており、i に対する後舌の ĩ^3 と、u、o に対する前舌の ü 、 ö がある。
- ② 語頭の y が j に変化する。yol→jol (道)、yaman⁴→jaman (悪い) など。
- ③ g が v に変化する。tag→tav (山)、agiz→avuz (口) など。
- ④ g、g が y に変化する。sigir→siyir (牛)、yigin→jüyin (集まり) など。
- ⑤ 母音と母音の間の k、p、q が有聲化する。qap→qabı (袋)、ek→egip (蒔く)、čiq→čigip (出る) など。
- ⑥ 語頭に h が現れる。ayvan→hayvan (ベランダ) など。
- ⑦ 語末の k、q が脱落する。sarıq→sarı (黄色い)、kičik→kiči (小さい) など。
- ⑧ 属格 (-nin) と対格 (-ni) における子音 n、t、d が交替する。属格：-nin/-niŋ、-dın/-diŋ、-tın/-tiŋ、対格：-ni/-ni、-di/-di、-ti/-ti
- ⑨ 単数人称代名詞の与格は、一人称は mağan、二人称は sağan、三人称は uğan である。
- ⑩ 現在進行は -(a) jatır という形式で表される。barajatır (向かっている) など。
- ⑪ 現在未来形動詞⁵は -(a/y) tiğan という形式を取る。kelatiğan (来ることになっている) など。

³ 母音 i、ü、ö の表記は Reshetov et al. (1978) の表記に従った。

⁴ 語形 yaman、tag、agiz、qap、ayvan などの表記は Reshetov et al. (1978) の表記に従った。

⁵ 形動詞とは、「動詞的な形容詞」を意味する用語であり、日本語動詞の連体形に相当する。動詞と形容詞の両方の機能を兼ね備え、動詞本来の機能はその語幹部までが担い、形動詞語尾の付いた形自体は形容詞相当語である（中嶋 2015 : 89 による）。

2) オグズ方言 (p. 42)

オグズ方言は、トルクメン語やアゼルバイジャン語などと共通する特徴を持っており、下位方言としては、南方ホラズム諸方言と北方オグズ諸方言などがある。オグズ方言の特徴は以下の通りである。

- ① オグズ方言も、キプチャク方言と同様、母音調和を持っている。
- ② トルクメン語にあるような長母音が存在し、短母音と長母音が区別される。at (馬) に対する a:t (名) や ot (草) に対する o:t (火) など。
- ③ 初頭の k、t が有聲化する。kel→gel (来る)、til→dil (舌) など。
- ④ g が v に変化する。agiz→avuz (口) など。
- ⑤ 属格 (-niŋ) は iŋ/iŋ という形式で表される。
- ⑥ 与格 (-ga) は a という形式で表される。
- ⑦ 動詞 bol- (なる) は、語頭の b が脱落する。(bol→ol-) など。

3) カルルク・チギル・ウイグル方言 (pp. 37-41)

この方言の大きな特徴はタジク語の影響を強く受けており、母音調和が支配的ではないことである。この方言は現代ウイグル語と共通する特徴を持っている。下位分類としては、アンディジャン、マルギラン、ナマンガンなどのフェルガナ盆地の諸方言、タシケント市及びタシケント州の諸方言を含むタシケント方言、ジザフ方言、カルシ方言などがある。この方言グループには、以下のような共通する特徴がある。

- ① t が č に変化する。tišla→čišla (噛んで)、tušti→čušti (降りた) など。
- ② q が x に変化する。toqson→toxson (九十) など。
- ③ l が n に変化する。koylak→koynak (シャツ) など。
- ④ 語末の k、q や g、g が脱落しない。qišlog (田舎)、yoq (無い) など。
- ⑤ 属格 (-niŋ) と対格 (-ni) は、同じ ni という形式で表される。
- ⑥ 語に属格や対格が付くと完全な順行同化⁶が起こる。tuz (塩) + niŋ (属格) / ni (対格) → tuzzi、temir (鉄) + niŋ (属格) / ni (対格) → temirri など。
- ⑦ この方言グループでは、現在進行形は二つの形式がある。

A : -vat (ウイチ) 及びその異形態の -vot (タシケントやその周辺)、-ut (ナマンガン)

B : -yap (フェルガナ盆地のアンディジャン、マルギラン、コーカンドなど)

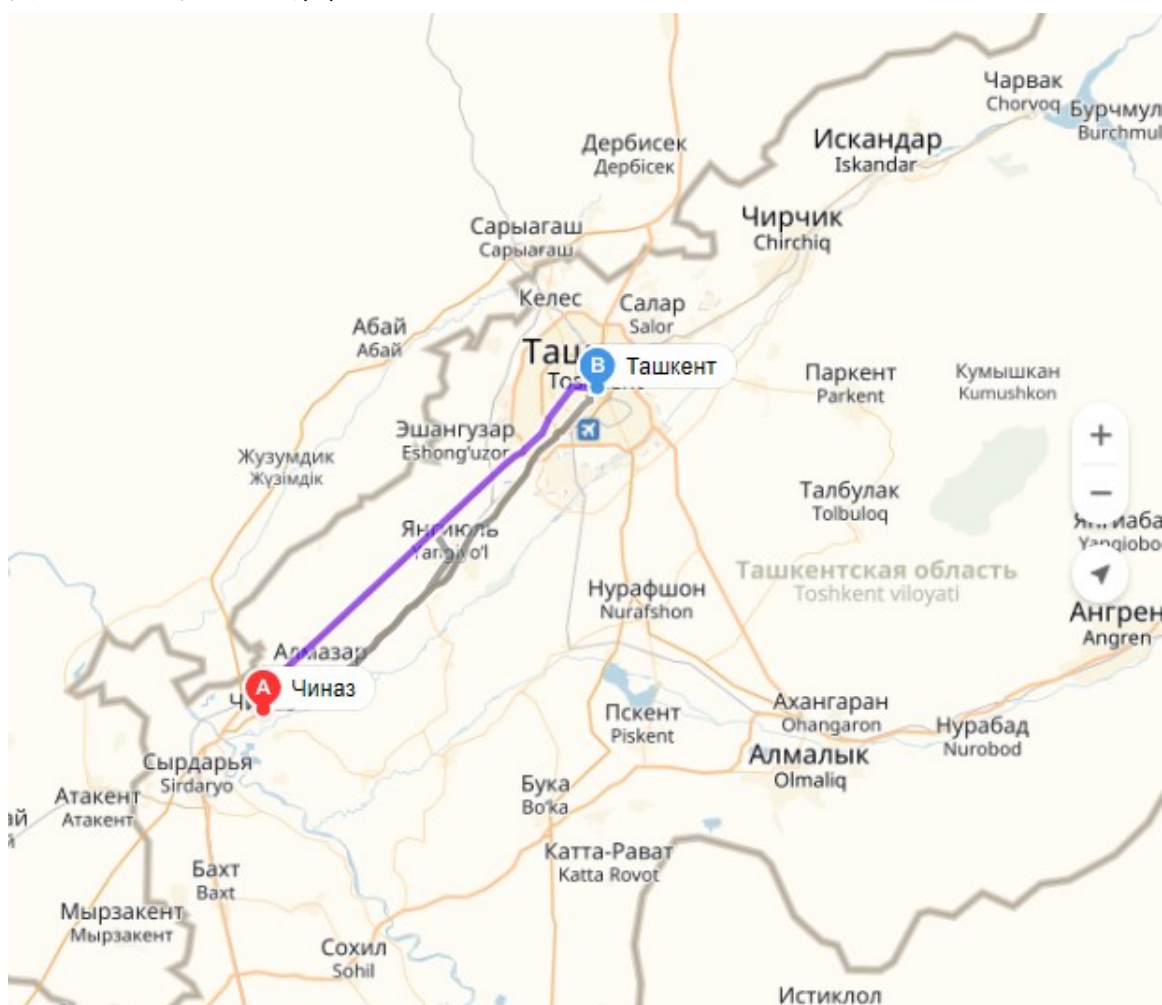
Reshetov et al. eds. (1978) によると、現代標準ウズベク語の形成において、カルルク・チギル・ウイグル方言のタシケントとフェルガナグループに入る方言の影響が大きいという。

⁶ 同化 (assimilation) とは、言語音の連鎖の中で、ある音が隣接する音に影響されて類似の音に変わることである。同化は、まず、同化の度合いによって、「完全同化 (complete assimilation)」と「部分同化 (partial assimilation)」に分けられる。完全同化は、隣接音とまったく同じ音素に変わることであり、部分同化は、関与した音素の一部の調音特徴ないし素性の同化である。同化はまた、同化の方向によって「順行同化 (progressive assimilation)」と「逆行同化 (regressive assimilation)」に分けられ、順行同化は先行音が後続音を、逆行同化は後続音が先行音を同化することである。(亀井・河野・千野編 1996 : 977-978 による)

以上、ウズベク語の使用地域や方言分布、及び方言差について概説した。なお、本論文では、ウズベク語の親族語や愛称について検討する際、主としてタシケント州のチナズ市に在住するウズベク語母語話者を対象に行ったアンケート調査の結果を参考にした。ゆえに、本論文の「親族語」と「愛称」の節で記述するウズベク語は、主としてチナズ市で話されている言葉（以下、チナズ方言）のことである。チナズ方言は、Reshetov et al. eds. (1978) の分類で言うと、カルルク・チギル・ウイグルグループのタシケント方言に入る。

チナズ市はタシケント州の都市の一つであり、首都タシケントから南西に約63kmの位置にある。チナズ市の地理的位置については、図1を参照されたい。

図1. チナズ市の地理的位置⁷



⁷ 以下のURLを参考にしている。

<https://yandex.ru/maps/?l=69.020293%2C41.124062&mode=routes&rtext=40.934806%2C68.763304~41.311151%2C69.279737&rtt=auto&z=10> (参照 2019年2月25日)

2.2 音韻・文法

この節では、本論文を理解するうえで最低限必要となるウズベク語の音韻・文法に関する事項について述べる。ウズベク語の音韻・文法について述べる際、主に、庄垣内（1988a）、Tursunov et al.（1992）、Asqarova et al.（2006）を参考にする。

2.2.1 音韻

1) 母音

現代ウズベク語には、i、e、a、ɔ、u、o の 6 種類の母音がある。これらの母音は、発音する際に、舌が前にあるか後ろにあるか、唇の形が円唇か非円唇か、口の開きが広いか狭いかによって次のように分類される。

表 2. ウズベク語の母音体系⁸

	非円唇		円唇	
	前舌	後舌	前舌	後舌
狭母音	i			u
半広母音	e			o
広母音	a			ɔ

庄垣内（1988a : 829-830）によると、標準ウズベク語の母音は、イラン語の影響によって、チュルク語の特徴の一つである母音調和が完全に消失してしまったという。その結果、母音の数が 2～3 種減ったと指摘している。

2) 子音

庄垣内（1988a : 830）をもとに、ウズベク語の子音体系を示すと次のようである。

閉鎖	無声	p	t		k	q	ʔ
	有声	b	d		g		
摩擦	無声	ɸ	s	ʃ	x		h
	有声		z	ʒ	ɣ		
破擦	無声		ts	č			
	有声			j			
共鳴		m	n		ŋ		
		w	ɨ ⁹	y			
			r				

本稿では、音素表記に転写する際、概ね上に示した庄垣内（1988a）の表記に従うが、以下のような場合には、 $\langle \alpha \rightarrow \beta \rangle$ の β の表記法を採用する。

キリル文字		ラテン文字		対応音素
В	в	В	в	w → v
Ъ	ъ	,	,	ʔ → ’
Ғ	ғ	Gʼ	gʼ	ʏ → ġ
Җ	ж	J	j	ž → j

なお、「ŋ」は、「n」と「g」を結合したような形になっている。見かけ上は「-ng-」というスペルになっていても、語尾が「-ng」で終わる単語に他の音が続く「-ng+他の音」の場合や、語尾が「-n」で終わる単語に「g」で始まる部分が続く「-n+gで始まる部分」の場合や、単語に「-ng」で始まる部分が続く「単語+ngで始まる部分」などさまざまなパターンがある。本稿では、いずれの場合も「ŋ」と表記する。但し、「-ng-」に母音が続く場合は、「ŋg」と表記する。

3) 音節構造

ウズベク語の音節構造について、庄垣内（1988a : 830）は、次の六つの型を挙げている。

V	u（それ）
CV	bu（これ）
VC	ot（馬）
CVC	bir（一）
VCC	ust（上）
CVCC	tort（四）

なお、ロシア語からの借用語には、CCV、CCVC、CCVCC、CCCV、CCCVCC、CVC CCなどもみられると指摘している。

2.2.2 文法

ウズベク語は、SOV型の語順を持っており、接尾辞と後置詞によって文法範疇が表現される（庄垣内 1988a : 830）。

1) 数

ウズベク語では、数えることができる具体的なものを表す名詞（具体名詞）は、単数と複数の区別をする。Tursunov et al.（1992 : 255-257）は、複数を表す方法として、① 形態論的な方法と、② 語彙・意味論的な方法の二つを挙げている。

⁸ ウズベク語の母音体系については、Tursunov et al.（1992 : 18）を参考にしている。

⁹ 共鳴音として挙げている i は、側面音の l の間違いであると思われる。

① 形態論的な方法 (p. 256)

形態論的な方法は、語基に接尾辞-lar を付加することによって生産的に作ることができる。bola (子供) + lar (複数接尾辞) → bəlalər (子供たち)、kitəb (本) + lar (複数接尾辞) → kitəblər (たくさんの本) など。

なお、接尾辞-lar には、「複数」を表す用法の他に次のような用法もある。

1. 所有人称接尾辞の後の位置では、「尊敬」を表す。
ada (父) + ɲ (所有二人称接尾辞) + lar (尊敬接尾辞)¹⁰ → adanlar (あなたの父上)、amaki (おじ) + m (所有一人称接尾辞) + lar (尊敬接尾辞) → amakimlar (私のおじ上) など。
2. 数詞や時を表す副詞などの後ろに付けて「概数」を表す。
səat on bir (11 時) + lar (複数接尾辞) + da (位格) → səat on birlərdə (11 時頃に)、keçqurun (夜) + lar (複数接尾辞) + i (所有三人称接尾辞)¹¹ → keçqurunları (夜頃には) など。
3. 文中で二つ以上の名詞のそれぞれに付加される場合は「複数」や「強調」、「尊敬」などの意味を表すが、列挙された名詞の最後のほうに付加される場合は「総称」を表す。
複数: Kolxoz bağidagi əlmələr, oriklər, şaftəllər, giləslər çəmənlər kabi açılan. (コルホーズの庭にあるリンゴ、アンズ、桃、チェリーの木々が花畑のように実を实らせている。)
総称: Haydar, Qoçqor, Kəmillər bir korpada tepkiləşib kəttə bəlişən. (ハイダル君やコチコル君、コムル君達は一つの布団ではしゃいで大きくなったものだ。)

② 語彙・意味論的な方法 (pp. 256-257)

語彙・意味論的な方法で複数を表す方法は、次の三つの場合である。

1. 名詞が数詞や、(不特定の対象を指し示す) 不定代名詞 (gumən olmaşı)、程度副詞 (miqdər rəvişi) に修飾される場合は、接尾辞-lar を使わなくても良い。
 - ・数詞: üç kitəb (三冊の本)、min qal'a (千の要塞) など。
 - ・不定代名詞: bir neçə bola (数人の子供)、hər xil kitəb (色々な本) など。
 - ・程度副詞: kəp bola (大勢の子供達)、juda kəp dəftər (たくさんのノート) など。
2. 名詞を修飾する形容詞や数詞、名詞を反復することによって。
dasta (束、ひとまとまりのもの) → dasta—dasta gül (たくさんの花束)、toda (群れ) → toda—toda adam (大勢の人)、min (千) → min—min dükən (数多くの売店) など。
なお、形容詞を反復する場合は、接尾辞-lar を付けなければならない。例えば、baland (高い) → baland—baland təğlər (高々とした山々) など。
3. 名詞のペアによって複数 (総称) を表すことができる。
qozon—təvəq (大きい鍋や小さい鍋 → 食器類)、qovun—tarvuz (スイカやメロン → 野菜類) など。

¹⁰ 本稿では、接尾辞-lar の尊敬を表す用法を「尊敬接尾辞」とする。

¹¹ 所有三人称接尾辞(s)i は、若干の時を表す(子音終わりの)語に付加されて副詞を形成する。例えば、hər kün (毎日)、avvaları (以前)、duşanba kunları (毎月曜日に) など(中嶋 2015 : 22 による)。

2) 名詞の格

ウズベク語の名詞は、格を表示する接尾辞を持っている。主格、属格、与格、対格、位格、奪格の6種類である。Asqarova et al. (2006 : 120) をもとに下記表3として示す。

表3. ウズベク語の名詞の格

格	格語尾
主格	—
属格	-niŋ
与格	-ga/-ka/-qa
対格	-ni
位格	-da
奪格	-dan

① 主格

主格は、文の主語や主題を表す格である。ウズベク語には、主格を表すための格語尾はない。

② 属格

属格は、所属関係を表す格であり、ウズベク語では格語尾-niŋ によって表される。なお、タシケント方言では-ŋ が脱落した-ni という形式が使われる。また、詩などでは-n や-im という形式を取ることがある。

属格は、一人称代名詞 men と二人称代名詞 sen に付加される時は n が脱落して-iŋ という形になる。(men + niŋ → meniŋ、sen + niŋ → seniŋ)

③ 与格

与格は、動作の方向や帰着点などの意味を表す格であり、ウズベク語では格語尾-ga によって表される。そのほかに、-ka、-qa という異形態をもっており、語尾が k、g で終わる語に付加される場合は-ka と表記され、語尾が q、g で終わる語に付加される場合は-qa と表記される。

④ 対格

対格は、直接目的語を表し、ウズベク語では格語尾-ni によって表される。なお、詩などでは-n という形式を取ることがある。

対格は、一人称代名詞 men と、二人称代名詞 sen に付加される時は n が脱落して-i という形になる。(men + ni → meni、sen + ni → seni)

⑤ 位格

位格は、動作が行われる場所や時などの意味を表す格であり、ウズベク語では格語尾-da によって表される。

⑥ 奪格

奪格は、移動の起点や経由地などの意味を表す格であり、ウズベク語では格語尾-dan によって表される。

3) 所有人称接尾辞

ウズベク語には、名詞に付加してその所有者を示す所有人称接尾辞という範疇がある。所有人称接尾辞は、一・二・三人称が、単数・複数ともに備わっており、一人称は-(i)m (単)、-(i)miz (複)、二人称は-(i)ŋ (単)、-(i)ŋgiz (複)、三人称は-(s)i (単・複) で表される。Asqarova et al. (2006 : 119) をもとに下記表 4 として示す。

表 4. ウズベク語の所有人称接尾辞の体系

数 人称	単数		複数	
	母音の後	子音の後	母音の後	子音の後
一人称	-m	-im	-miz	-imiz
二人称	-ŋ	-iŋ	-ŋgiz	-iŋgiz
三人称	-si	-i	-si	-i

所有人称接尾辞は、通常複数接尾辞の後ろに付加される。oyinčəq (おもちゃ) + lar (複数接尾辞) + (i)m (単数所有一人称接尾辞) → oyinčəqlarim (私のおもちゃコレクション)、rasm (写真) + lar (複数接尾辞) + (i)m (単数所有一人称接尾辞) → rasmlarim (私の写真集) など (Asqarova et al. 2006 : 119)。

4) 人称代名詞

ウズベク語の人称代名詞は、一・二・三人称が、単数・複数ともに備わっている (庄垣内 1988a : 830)。庄垣内 (1988a : 830-831) をもとに下記表 5 として示す。

表 5. ウズベク語の人称代名詞の体系

数 人称	単数	複数
一人称	men	biz
二人称	sen	siz
三人称	u	ular

men、sen、u、biz、siz には、それぞれ自由交替形として扱える man、san、ul、bizlar、sizlar という形式が存在している (庄垣内 1988a : 831)。

第二部 本論

第3章 本論文をめぐる基本概念と分類

この節では本論文をめぐる基本概念と下位分類を整理する。なお、ウズベク語の呼称表現をめぐる基本概念と分類に関する先行研究はほとんどない。それゆえ、本稿では日本語の呼称表現をめぐる先行研究を整理することによって目的を果たすことにする。

3.1 「人称」と「人称代名詞」

「人称」とは、「名詞が話し手（に属するもの）のことを指示しているのか、聞き手（に属するもの）のことを指示しているのか、それ以外のものを指示しているのか、という違い、および、それに対応するかたちで述語などに形態変化等が起こる現象（仁田 2014 : 470）」のことを言う。

「代名詞」とは、「名詞の代わりに用いられる語句で、指示語（コソアド）の一種である指示代名詞と、人称代名詞とに2分される（井島 2014 : 388）」のが普通である。

ウズベク語の「人称代名詞」については、従来のウズベク語学で認められたものをそのまま「人称代名詞」と呼ぶが、日本語の「人称代名詞」については、若干の検討が必要である。

日本語学における「人称」という概念は、西洋文法から導入されたものであり、一般的に、主語と述語動詞の間に見られるような統語論的・形態論的な「一致現象」との関連で取り扱われることが多い。西洋の諸言語では、主語の人称に伴って動詞の語尾が規則的に変化する。一致現象は、人称に限ったものではなく、性や数など複数の要素が関係していることが知られている。例えば、ロシア語では、動詞の語尾が人称と性別の両方に対応して変化すると言われている。しかし、日本語はヨーロッパの諸言語とは異なり、統語論的な一致現象というものが体系的に欠如していることから、日本語に「人称代名詞」を立てる必要があるかどうか、研究者によって議論されてきた。（金水（1989）、田窪（1997）など）。

従来の日本の国語学において、いわゆる「人称代名詞」は代名詞の一種とみなされ、「わたし」「あなた」など、発話の場のなかで、話し手・聞き手・その他の事物等を指し分ける語（橋本 2014 : 1612）である。日本語の人称代名詞は、人称・数・性などにおいて統語論的な一致現象が存在しないという日本語の構文上の特徴から、西欧語のそれとは異なるとされるが、話し手自身を指す「自称」（一人称、「私」「僕」「俺」など）、聞き手を指す「対称」（二人称、「あなた」「君」「お前」など）、話し手と聞き手以外の第三者を指す「他称」（三人称、「この方」「彼」「あいつ」など）に分けられるのが普通である（江湖山（1955）、橋本（2014）など）。

一方、日本語に「人称代名詞」という文法カテゴリーを立てることの必要性を問題視する研究者もいる。

鈴木（1973 : 134）は、日本語の人称代名詞について、他の語彙から独立した、一つのまとまった語群を形態論的にも機能の見地からも形作っていない以上、これだけを切離して扱う意味がなく、むしろ、親族名称、地位名称などと一括して、話し手が自分を表わすことば、および相手を示すことばという広い見地に立って、自称詞・対称詞・他称詞という枠組みを提案した。対称詞をさらに、「お父さん！」のような「呼格的用法（vocative use）」と、「お母さんなんて嫌い」のような「代名

詞的用法 (pronominal use)」に分けている。

田窪 (1997) は、話し手自身を表す「私、僕、おいら、うち」などの一人称と、聞き手を表す「あなた、君、お前」などの二人称を表す語類について、人称による一致が存在しないため、代名詞として別に立てる理由はないと主張し、「人称名詞」と呼んでいる。これらの表現は、それぞれ、話し手自身、聞き手を固定的に指している点で、「お父さん」や「課長」などの名詞類と異なると述べ、一・二人称を表す名詞表現に人称名詞の場合と固有名詞・定記述¹²の場合とを区別した。人称名詞は辞書的性質において直示的に話し手・聞き手を指すことが決まっており、発話においてその時に話し手・聞き手を指示するが、固有名詞・定記述はすでに指示対象は決まっており、発話の際に話し手が話し手・聞き手という役割を付すことで、話し手・聞き手を表すと論じている。

田窪 (1997 : 18-19) は、人称名詞と固有名詞・定記述との違いを次のようにまとめている。

表 6. 田窪 (1997) の挙げる人称名詞と固有名詞・定記述との違い

人称名詞	固有名詞・定記述
a. 名詞に語彙的に話し手・聞き手という役割が与えられている。値 (指示対象) が、発話によって与えられる。 b. 境遇性を持つ。 c. 対称詞は、目上の人には使えない。	a. 名前により、記述により値 (指示対象) が割り当てられている。話し手・聞き手という役割がそれに付け加わる。 b. 境遇性を持たない。 c. 目上の人にも使える。

つまり、人称名詞の境遇性¹³は、「話し手・聞き手という役割が先に決まり、それから指示対象をその役割によって決める」という性質から出てくると言うのである。また、c.の「目上の人には使えない」という性質については、聞き手という役割を話し手が発話によって直接聞き手に与えるという人称名詞の「直示性」から来ていると説明している。これに対し、固有名詞・定記述は、すでに指示対象が決まっており、たまたま聞き手となった時に、「聞き手」という新たな属性がその対象に加わるだけであり、従って境遇性は生じないという。また、命名は話し手が行っているのではなく、すでに社会的に決まった名前、記述を採用しているだけであり、直示性の忌避による制限もかからないため、親しくない人や目上の人にも使えるのだと考察している。

確かに、「私・あなた」のような一・二人称を表す語類は、動詞などの屈折と対応しないので、西欧語の人称代名詞と性質を異にするが、意味機能においては、対話の場における「話者自身」、「対話の相手」、及び「話題の第三者」を指し示し、それらとの関係概念を表すという点で共通しているので、日本語に人称代名詞相当の語類があると言ってもいいように思われる。

本論文では、便宜上、日本語の一・二・三人称を表す語類を「人称代名詞」と呼ぶことにする。その下位分類として、「私、俺」などの類を「一人称代名詞」、「あなた、君」などの類を「二人称代名詞」、「彼、彼女」などの類を「三人称代名詞」として設ける。

¹² 田窪 (1997) は、「お父さん」や「課長」などの名詞類を「定記述」と呼んでいる。

¹³ 田窪 (1997 : 14) は、発話者によって指すものが変わるという立場の違いを反映する性質を「境遇性」と呼んでいる。

3.2 「親族語」 — 「親族呼称」と「親族名称」

渡辺（1978）は、血縁関係または婚姻関係という社会関係とこれらに伴う権利・義務や役割の相互認知とその履行を条件とし、人間と人間の社会的組合せ一般を抽象したときに生ずる言語的意味を「親族」と定義し、その言語的意味を何らかの意味で担っている単語を「親族語」と呼び、その総体を「親族語彙」と呼んでいる。同様の概念を柴田（1978）は「親族名称」と呼び、鈴木（1967）は「親族用語」と呼んでいるが、本論文では渡辺（1978）に従い、「親族語」という用語を用い、その定義も渡辺（1978）に従う。

親族語には呼びかける時に用いる「呼びかけの用語 (terms of address)」と話題の人物として言及する際に用いる「言及の用語 (terms of reference)」とがあることが知られている（鈴木 1967）。柴田（1978）は前者を「呼びかけ語」、後者を「言及語」と呼び、国広（1990）は前者を「呼称語」、後者を「他称語」と呼び、陳（2001）は前者を「親族呼称」、後者を「親族名称」と呼んでいる。本論文における下位分類とその定義は以下の通りである。

親族呼称 — 呼びかけにも言及にも用いられる親族語（日本語では「お父さん」「お母さん」など）。

親族名称 — 話題の人物として言及する場合にのみ用いる親族語（呼びかけには用いない。日本語では「父」「母」など）。

上記の下位分類の用語は陳（2001）の用語を借りたが、定義は異なる。すなわち、呼びかけ用法と言及用法を共に持っている親族語を「親族呼称」とし、「親族名称」から除いた点で陳（2001）の定義とは異なる。

3.3 「愛称」

本論文では愛称を亀井・河野・千野編（1996）に従って定義する。

【愛称の定義】

話し手が言及の対象に対する親愛の情を表わす言い方に特有の語。人名を別の呼び方で用いたり、普通名詞も一定の接辞や短縮による別の形で用いる。後者の場合は、指小辞がその役割を兼ねることが多い。

（亀井・河野・千野編 1996 : 1）

この定義を採用するのは、人名から作られる愛称も、普通名詞から作られる愛称もカバーしていることによる。

ウズベク語における愛称は、個人名から作られるのがほとんどであるが、普通名詞の中にも一定の接辞を付けることで「愛称」として用いられるものがある。例えば、親子や夫婦、恋人間で用いられる愛情の強い表現である *jon-im*（私の魂）や *toyčog-im*（私の子馬）などは、それぞれ *jonim*→*jon+im*（魂＋単数所有一人称接尾辞）、*toyčogim*→*toyčog+im*（子馬＋単数所有一人称接尾辞）のように、「普通名詞＋所有人称接尾辞」という構造である。

一方、体の特徴や体型、行動などから生まれる軽蔑的な言い方を「あだ名」とし、「愛称」と区

別して考える。「あだ名」に関しては、本稿では扱わない。

なお、ここで日本語における愛称研究である山口（1985）と安富（2005）の定義を取り上げ、検討する。

山口（1985）は、「相手から揶揄されたり軽んぜられたりしている感じの呼び名をあだ名、親愛の気持のこめられた温かい感じのする呼び名を愛称（p.168）」と考え、その両者の弁別の目安として以下の3つの基準を挙げている。

- (1) 本人の前で、本人を指す二人称代名詞的用法が可能と考えられるものを愛称とし、不可能と思われるものをあだ名とする。
- (2) 名前以外の事物を連想させることの少ない呼び名を愛称、名前以外の他の事物をただちに連想させる呼び名をあだ名とする。
- (3) 接辞のちがいによって、愛称とあだ名とをある程度区別する。

(pp. 168-169 による)

山口（1985）が弁別法として挙げている（2）の項目は、ウズベク語の愛称を考えたときに問題となる。なぜならば、先に述べたように、ウズベク語では普通名詞に愛称形成接辞を付加した *jon-im*（私の魂）や *toyčog-im*（私の子馬）などのような愛称が用いられ、且つこれらは相手に不快な感情を与えないからである。

安富（2005）は愛称を次のように定義している。

自他ともに親愛の情を込めて呼び呼ばれている場合が「愛称」で、一方もしくは双方に不快な感じを抱かせるような場合は「愛称」とは認めない。

(p. 57)

安富（2005）は、親愛の気持を込めて呼ぶ言い方を愛称とし、不快な感じを与える言い方を愛称とは認めないと定義しているが、この定義は、上掲の亀井・河野・千野編（1996）の定義とも矛盾しないし、日本語のみならず、ウズベク語の愛称をも過不足なく定義しうるものとなっている。

第4章 人称代名詞

この章では、主として二人称代名詞について検討する。具体的には、ウズベク語の文学作品から抽出した会話文の資料に基づいて、現代ウズベク語の二人称代名詞の使用実態を調査・分析し、その特徴を明らかにすることである。なお、日本語については、先行研究から得た例の検討に留まる。

4.1 先行研究

4.1.1 日本語の人称代名詞に関する先行研究

4.1.1.1 日本語の人称代名詞の歴史的変遷

日本語の人称代名詞の研究は、時代別の人称代名詞の歴史的変遷あるいは個々の人称代名詞の通時的変化についての考察、または時代の経過とともに生じる人称代名詞の敬意度の低下及びそれに伴う新しい代名詞の誕生など、さまざまな観点からの研究が盛んに行われてきた。例えば、上代から中古にかけての一人称代名詞「あ」「あれ」「わ」「われ」の使い分けについて考察した菊澤 (1936) や「貴様」の歴史的変遷について考察した辻村 (1968)、近世から近代にかけて翻訳語として登場した三人称代名詞としての「彼」「彼女」を考察した柳父 (1982)、上代から平成までの時代別の人称代名詞の歴史的変遷についてまとめた永田 (2015) などが挙げられる。

日本語の人称代名詞は数が多く、通時的に激しい交替を繰り返してきたことが知られている。田中 (1980) によると、

人称代名詞は、自称に古く「あ・あれ・わ・われ・まろ」が見られ、鎌倉・室町のころ「それがし・わらは・わたくし・おれ」が生じ、江戸時代に至ると、「わたし・わちき・こち・みども」などが見え、明治以降のものとしては「ぼく」がある。対称は、古くは、「な・なれ・い・いまし・みまし・きみ・なむち」などがあり、のち「なむち・きむち・そこ」が現われる。鎌倉・室町に至って「おんみ・ごへん・わきみ・わごぜ・わひと・わぬし・おぬし・ぬし」などのほか、「きしよ・きほう・わごりよ」あるいは、「そち・そなた・それ」などが相づいて生じた。江戸時代になると、「ありさま・うぬ・おまえ・きさま・きこう」などが出て来たほか、「あなた」も一般化し、明治以降の「きみ」とともに現代の対称の中核を造る。つぎに他称であるが、これは日本語には、きわめて乏しい。古いところで、しいてあげれば、「し・あ・あれ・かれ」であるが、いずれも指示代名詞が臨時に転用されたもので、鎌倉時代の「きやつ・しやつ」が最初といえる。のち、室町から江戸初期にかけての「あいつ・そいつ・こいつ」の登場を迎えて、はじめて体系化された。このほか、室町時代には「ちやつ・かつ」がみられるが、現代語の「彼・彼女」の一般化は、大正期という。

(pp. 580-581)

とあり、日本語の人称代名詞の著しい歴史的推移を物語っている。

上代から現代まで使われてきた主な人称代名詞を、江湖山 (1955 : 733) をもとに下記表 7 とし示す。

表 7. 日本語の人称代名詞の歴史的変遷

	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	江戸時代	現代
一人称代名詞	あ、あれ、わ、われ、 おの、おのれ	わ、われ、まろ	われ、まろ、まる、 おれら、わらは (女 性)	身、身ども、わが 身、それがし、わた くし、こち、こな た、この方、おれ、 わらは (女性)、拙 者、愚老	こち、こちとら、 それがし、わたく し、わたし、わし、 わっち、身ども、 おれ、おれら、お いら、手前、手前 ども、拙者、拙僧、 愚老	わたくし、わたし、 わし、あたくし (女 性)、あたし (女 性)、手まえ、ぼく、 われわれ、おれ
二人称代名詞	な、なれ、まし、い まし、みまし	きみ、なむ(ん)ち、 きむ(ん)ち、な、 なれ	なんぢ、なんだち、 君、殿、御身、御辺	ぬし、おぬし、そ ち、その方、そな た、こなた、われ、 わどの、御内、わご りよ、ここなもの、 なんぢ、貴所、貴 方、貴辺	お前、お前さん、お まはん、ぬし、おの し、にし、こなた、 こなたさま、こな さん、こんた衆、そ なた、そなたさま、 そち、おん身、お 身、あなた、きさ ま、そこもと、かた さま、お手前、おの れ、われ、われさ ま、貴殿	あなた、あんた、き み、おまえ、きさま

日本語の人称代名詞が時代の経過とともに入れ替わってきた要因については、江湖山（1955）では、敬語法との関連性から

封建制度は上下の対人関係をきびしく規制するから、敬語表現が複雑になり、それに応じて人称代名詞の数も増加した。それと同時に、いわゆる敬意漸減の法則が働くから用い慣れた人称代名詞は、しだいに敬意が薄く^マになるが、封建制度がくずれないかぎり、敬語表現そのものは弱体化しないので、新しい人称代名詞を用いる必要のあることがその語彙の生滅に拍車をかける結果になったと見られ、このように人称代名詞の数の多いことは、日本語の特色の一つとされている。

(p. 733)

と述べ、人称代名詞の使用範囲の拡大による敬意の低下にあると見ている。

これらの人称代名詞の由来については、場所を示す指示詞や普通名詞などから転じた語が多いことが知られている。亀井・河野・千野編（1996：1046）によると、日本語では、本来の一・二人称代名詞「あ（れ）」「わ（れ）」や「な（れ）」はもはや使われておらず、代わりに「わたし」や「君」「お前」など、名詞から転用したものを使っているという。その理由として、日本語では、固有の

代名詞をむきだしに使うことは礼を失するという社会儀礼的な考慮から、代名詞の代わりに名詞を使って間接的に表現するようになったのであると説明している。そして、それらの表現も、時代の推移とともに敬意がしだいに薄れてきて、例えば、「貴様」や「お前」などのように、もとは丁寧な言葉であったものがぞんざいな表現になってしまうことも起こったと指摘している。

4.1.1.2 現代日本語における人称代名詞の運用

人称代名詞の運用に関しては、鈴木（1973、1982）、芝（1974）、セペフリバディ（2012）のような社会言語学的観点からの考察や金水（1989）、金丸（1993）のような語彙的研究などが挙げられる。これらの研究において、人称代名詞の共時的バリエーションの多さや、年齢の上下や性別、親疎関係などによって使い分けなければならない複雑さなどが指摘されてきた。

他に、人称代名詞と敬語との関りについて他言語との対照的観点から論じた井出（1982）、三輪（2000）などがあり、敬語の側面から人称代名詞の多様性や使いにくさについて検討している。

また、日本語の人称代名詞の特徴の一つとして、人称代名詞の使用頻度の低さや人称代名詞以外の他形式（「お父さん」や「課長」「先生」などの親族語や役職名、役割名など）が人称代名詞の代わりによく用いられることが指摘されている（鈴木（1973）、田窪（1997）、王（2008）など）。

以下、日本語の人称代名詞をめぐるこれらの問題について簡潔に紹介していきたい。

日本語には、目上の人に対する人称代名詞がないと言われている。永田（2015：4）では、現代日本語の共通語の対称詞の体系として、「上下（うえした）対称詞」¹⁴の体系が確立しているとし、年齢や地位の上位者に対しては二人称代名詞で言及することができないが、反対に、下位者に対してはできると述べている。上位者に対しては二人称代名詞を使うことができないので、「すみません、ちょっと」のように対称詞を省略したり、「先生はどこにお行きになるのですか」のように、「先生」という役割上の対称詞で言及したりする必要があると指摘している。

日本語では、目上の人に対して、あえて二人称代名詞の使用を避けている傾向にあると言える。目上の人を相手に、二人称代名詞を使わなければならないような状況におかれると、選択肢として丁寧で品の良い言葉とされる「あなた」を使うこともないわけではないが、それが何かよそよそしさを感じさせる場合が多い。下谷（2012：64）によると、「あなた」は、元々空間的遠称を表す指示代名詞「彼方」であったという。そして「彼方」の照応機能はしだいに時間軸へと転用され、「過去」や「未来」を表すようになる。その後、同等以上の第三者を婉曲的に指し示す人称代名詞へと転じ、その婉曲表現が敬意を含意するものとなり、三人称代名詞「貴方」が使われるようになる。さらに、その変化は近世以降も進み、目上や同輩に対して敬意を示す二人称代名詞へと発展していったと述べている。しかし、現代語では、「あなた」に含まれる敬意がだんだん薄れてきて、実際には、目上の人に対して使いにくいだけでなく、不自然ささえ感じさせる場合がある。「あなた」を含む二人称代名詞が目上に対して用いると失礼になる理由として、田窪（1997：18-19）は、聞き手という役割を話し手が発話によって直接聞き手に与えるという人称名詞の「直示性」から来していると説明している。とはいえ、話し相手が同い年や年下だからと言って、「あなた」を自由に使えるわけでもない。大石（1975）は、この表現の不自然さについて次のように指摘している。

¹⁴ 永田（2015：4）は、目上に対して二人称代名詞で言及することができないが、目下に対してはできる対称詞の体系を「上下対称詞」と呼び、目上や目下に関係なく単一の二人称代名詞で言及することができる対称の体系を「単一対称詞」と呼んでいる。

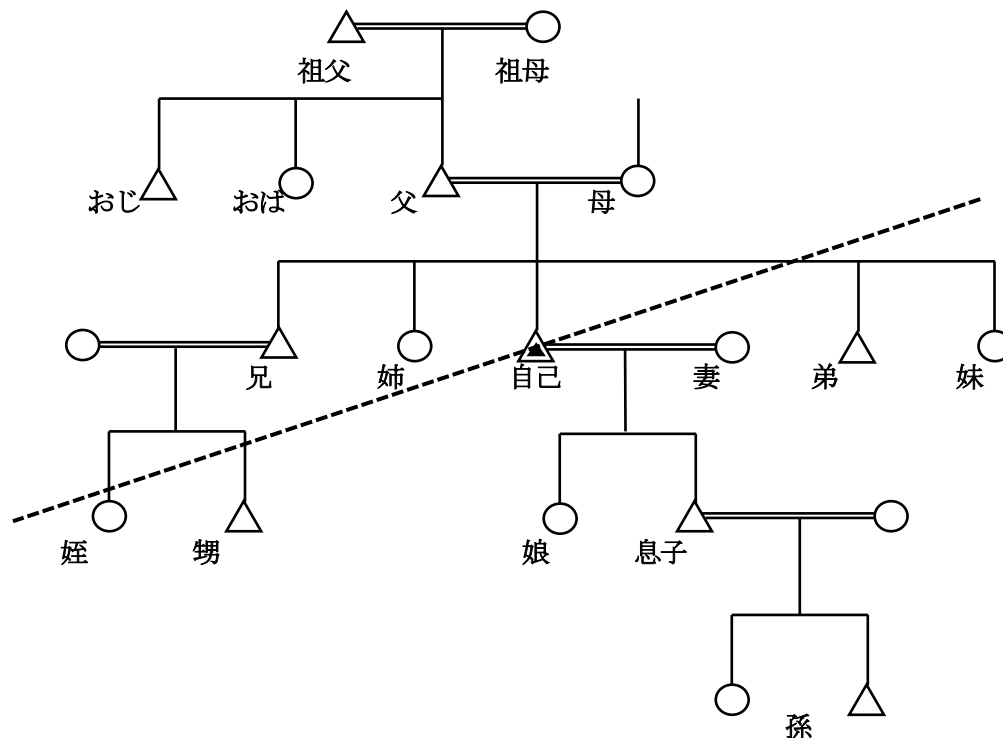
「アナタ」はもと尊敬表現の程度の高い代名詞で、江戸中期から程度の落ちてきた「オマエ」のあとつぎをしてきたが、これもしだいに尊敬表現の程度がさがってきた。今日でも「アナタ」は相手によびかける尊敬語ではある。だが、子が親に対して使いにくいばかりでなく、一般に、目上の人に対しては使いにくい。部下が上役に対しては使えない。学生が教授に対しては使えない。また、売り手が客に対しては使いにくい。(中略)

「アナタ」は、今日では、大体、同輩あるいは目下に呼びかける尊敬語ということに、用法が限られる。目上に呼びかける尊敬語の代名詞がないのは、どうも不便である。

(pp. 129-130)

確かに、日本語では親に対して二人称代名詞は使いにくく、代わりに親族語を用いて呼びかけたり言及したりする場合が多いと思われる。廣田(1998)によると、「日本語では普通、父親や母親を「あなた」と呼ばないように、「彼」または「彼女」とも呼ばない (p.12)」とあり、二人称代名詞だけでなく三人称代名詞も使えないという。親族内における人称代名詞の使用について、鈴木(1973)には興味深い指摘がある。鈴木(1973)は、親族内の自称詞と対称詞の仕組みを分析し、そこにみられる上下の人間関係を図2を用いて論じている。

図2. 鈴木(1973: 150)より



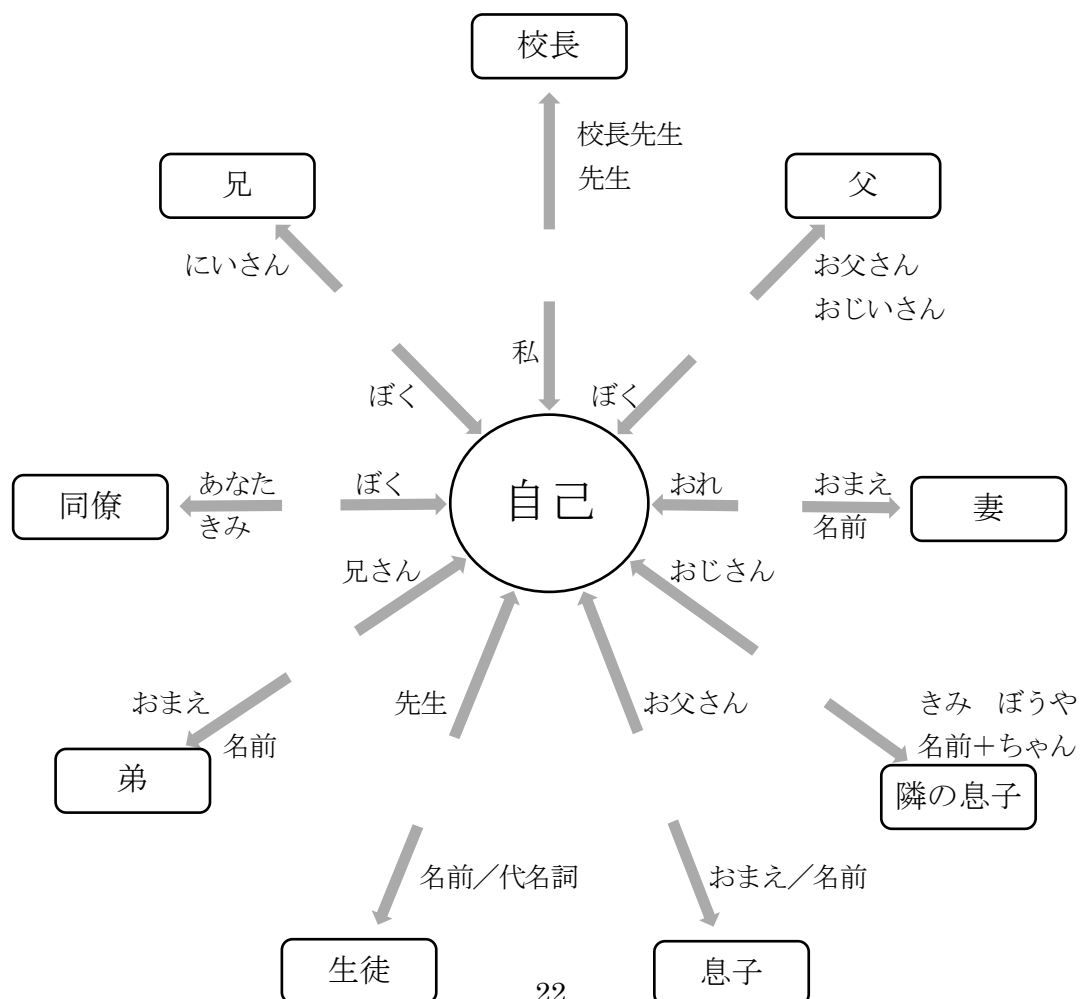
この図に於いて、上の世代に属する者は全て「目上」として捉え、自分と同じ世代の者との間では、年齢の上下が目上目下を決定するとし、親族成員間の対話にみられる自称詞と対称詞の用法として次の五つの原則を提示している。

- ① 話し手は、目上目下の分割線の上に位置する親族に人称代名詞を使って呼びかけたり言及したりすることはできない。反対に、分割線より下の親族には、全て人称代名詞で呼びかけたり言及したりできる。例えば、自分の父に向かって「あなた」と呼びかけることもできなければ、「この本あなたのの？」と聞くこともできない。兄やおばに対しても全く同様である。

- ② 話し手は、分割線より上の者を普通は親族名称で呼ぶ。しかし分割線より下の者に親族名称で呼びかけることはできない。例えば、自分の母親を「お母さん」と言ったり、祖父に対して「おじいさんのひげは長いね」などと言えるが、自分の弟に「おい弟」と言えないし、「娘はどこに行くの？」などとも言えない。
- ③ 話し手は、分割線より上の者を名前だけで直接呼ぶことはできない。しかし、分割線の下に位置する者は、名前だけで呼ぶことができる。
- ④ 話し手は、分割線より上の者に対して自分を名前で称することは可能であるが、分割線より下の者に対しては通例これを行わない。例えば、娘が母親に向かって「良子これきらいよ」などと言うことはあるが、母親が娘に向かってこれを行うことはない。
- ⑤ 話し手は、分割線より下に位置する者を相手にする時は、自分を相手の立場から見た親族名称で言うことができるが、分割線より上の者に対してはそれができない。例えば、兄が弟と話をする時、自分を「兄さん」と称することはできるが、弟は兄に対して自分を「弟ちゃん」とは言わない。
(鈴木 1973 : 150-154 による要約)

さらに、日本人の対話は、たとえそれが社会的なコンテキストのものでも究極的には親族間の対話のパターンの拡張とみなすことができると指摘している。次の図3は、鈴木（1973 : 148）がある40代の小学校の先生をモデルに調査したものである。

図3. 鈴木（1973）の挙げる日本語の自称詞と対称詞の使い分け



この図に於いて、家庭内では父や兄など目上と見なす相手に対しては、人称代名詞を使って呼びかけたり言及したりすることができないが、弟や息子に対してはそれができていることが見て取れる。同様に、職場においても、目上の人には代名詞を使って呼びかけたり言及したりすることができないが、同僚や生徒に対しては代名詞を用いることができる。自分について話すときは、話し相手が目上の人である場合はもっぱら人称代名詞を用いるが、相手が目下である場合は親族語や役割名などを用いている。

このように、日本語では話し相手に言及する時だけでなく、自分について話す際にも親族語や役割名などを用いることが多い。親族語や役割名などの自称詞としての用法については、田窪（1997：21）は、本質的に子供の文体あるいは子供を対象とした文体であるとし、成人を相手に固有名詞・定記述を自称詞として使用することは基本的に許容されないと主張している。固有名詞・定記述の文内対称詞用法（＝代名詞的用法）については、呼びかけと文内対称詞の関係は、（文内の名詞間にかかわる）同一指示（coreference）に関する制約¹⁵の拡張であるという考えを示している。両者の違いは、先行詞が題目よりもさらに高い位置にあること、そして、呼びかけという性質上、先行詞に聞き手という対話の役割が割り当てられることであると論じている。

井出（1982）は、日本語の人称代名詞について、敬遠表現、親密表現の見地から見直して、

1 人称代名詞では、（共通語の場合）男が使う最も敬遠を表わす形は「わたくし」であり、ついで、「わたし」、そして一番普通に用いられるのが「ぼく」である。「おれ」は最もインフォーマルな形であるので、男の仲間意識を表現する親密表現であるといえる。（中略）

女が使う 1 人称代名詞は「わたくし」、「わたし」、「あたし」などの形がある。「わたくし」は敬遠のために用いられ、一方「あたし」が親密の表現として用いられる。

2 人称代名詞では、男が使う最も敬遠を表わす形は「あなた」であり、ついで「きみ」がある。

「おまえ」は「おれ」と同様、男同士の仲間で使われる親密表現であると同時に、上位者の威厳を表わす敬遠表現でもある。2 人称代名詞の形としては「あなた」「きみ」「おまえ」の順で敬遠度が下るが、日本語で、相手を代名詞で指すことは、それ自体相手に直接的に接触することになる。最もフォーマルで敬遠表現として使われる「あなた」でさえ、同等、あるいは下位者に使っても、上位者に使うことができないのは、上位者との距離を保つには、代名詞は直接的すぎるからである。上位者に対し距離を保ちたいとき、あるいは他の相手との距離を引き離したいときには、「あなた」の代りに「姓＋敬称」「姓＋称号」が使われる。

なお、恋人間、夫婦間で使われる「あなた」「きみ」「おまえ」については、いずれも特殊な親密表現である。

女が使う 2 人称代名詞には「あなた」「あんた」がある。前者は後者より距離をおいたときに使われるが、それ以上に注意しなければならないのは、男が使う場合と同様、2 人称代名詞はそれを使うこと自体、直接的表現で親密表現であるということである。

（pp. 123-124）

¹⁵ 同一指示の制約は、「束縛条件 D」と呼ばれており、指示的名詞は、より指示性の少ない名詞を先行詞としてはいけない。同一指示が許されるのは、一番構造的に高い位置にある名詞句が一番情報量が多い場合であり、逆の場合は同一指示が成り立たない。例えば、「田中課長、課長はこの案件に賛成ですか」という文では、「田中課長」と「課長」はどちらも同じ聞き手を指すが、「課長、田中課長はこの案件に賛成ですか」という文では、同じ聞き手を指すという解釈は不適切である。

（田窪 1997：22-23 による）

と述べており、対人関係によって使い分けなければならない人称代名詞の多様性や複雑さについて論じている。

また、菊地（1997：37-38）では、一人称代名詞の使い分けについて待遇的意味という観点から、《改まり／ニュートラル／くだけ／粗野／尊大》の五つに分けて考察している。

「わたくし」	—	《改まり》
「わたし」	—	《ニュートラル》
「僕」	—	《くだけ》
「俺・おいら」	—	《粗野》
「わし」	—	《尊大》

日本語の人称代名詞の男女差及び話題のフォーマリティによる使い分けについては、金丸（1993）に詳しい。金丸（1993）は、日本語では男女それぞれに専用の人称代名詞が存在すると指摘し、それらは相手との上下関係や親疎関係及び話題のフォーマリティにしたがって選択されると述べている。同論文で挙げている一・二人称代名詞の男女差による使い分けは、以下の表にまとめられる。

表 8. 金丸（1993）の挙げる標準的日本語の人称代名詞の男女差による使い分け

男女差 人称	男女共通	男性専用	女性専用
一人称代名詞	わたし・わたくし	ぼく・おれ・じぶん・わし	あたし・あたくし・あたい
二人称代名詞	あなた・あんた	おたく・きみ・おまえ・きさま・ てめえ	特に無し

これらの人称代名詞の上下・親疎関係や話題のフォーマリティなどによる使い分けは、以下に示す通りである。

一人称代名詞

- わたし → 男女共通。自分を指す最も普通のことば。
- わたくし → 男女共通。「わたし」よりフォーマル。目上に対して用いられることが多い。
- ぼく → 男性専用。インフォーマル。同輩以下に対して用いられる。なお、学者同士など、限られた世界では上下関係やフォーマリティにかかわらず広く用いられる。
- おれ → 男性専用。インフォーマル。同輩以下に対して用いられる。
- じぶん → 男性専用。上下関係が厳しい警察や自衛隊などの職場で用いられる。
- わし → 男性専用。主に老人男性に限って目下の人に対して尊大感を伴って用いられる。
- あたし → 女性専用。インフォーマル。
- あたくし → 女性専用。「わたし」「わたくし」の代わりに用いられる。
- あたい → 女性専用。「わたし」の変化形。インフォーマル。俗な印象をともない、下品に感じられることが多い。

二人称代名詞

- あなた → 男女共通。フォーマル。
あんた → 男女共通。インフォーマル。目下にのみ用いられる。
おたく → 男性専用。フォーマル。親しくない相手に対して軽い敬意を込めて用いられる。
きみ → 男性専用。同等または目下の相手に対して用いられる。
おまえ → 男性専用。対等または下位者に対して用いられる。親愛の意を込めて用いる場合もある。
きさま → 男性専用。相手を見下した時の言い方。
てめえ → 男性専用。相手を見下した時の言い方。「きさま」より卑俗な印象が強い。

(金丸 1993:109-119による)

日本語の人称代名詞はこのように多種多様であるが、金丸 (1993) によると、日常会話ではできるだけ明示しない傾向があり、文脈でわかる限り省略するという。

人称代名詞が省略されることが多い要因の一つとして、日本語の敬語表現や授受表現などにみられる人称暗示機能が関係していることが、多くの研究者によって指摘されてきた。王 (2008 : 232-234) は、日本語では授受表現が多用され、これらが明確な方向性を示すため、文の表面に与え手が受け手かを明示しなくても推論が容易であると考察している。また、日本語の敬語表現に強い人称暗示作用があると述べ、動作主体をはっきり明示しなくても、尊敬語・謙譲語などの敬語形式の使用によって人称が暗示されると指摘し、これらの表現は人称代名詞の使用頻度の低下につながると見ている。

また、付 (2007) では、敬語表現や授受表現に加え、「嬉しい、悲しい、痛い」のような感情・感覚を表す形容詞や「思う、わかる、考える」のような知覚・感覚を表す動詞も人称暗示機能を持っていると述べ、これらの表現の使用によって人称代名詞の省略が可能になると指摘している。

他に、日本語の人称代名詞をめぐる議論されることの多い問題の一つとして、人称代名詞の共時的転用現象が挙げられる。ここで言う「共時的転用」というのは、現代日本語における人称代名詞の転用のことである。例えば、日本語では、男の子に向かって「僕、これ好き？」と言う場合の「僕」や、「我」「おのれ」「手前」など、一人称代名詞相当の語が相手を指す場合に用いられることがあり、このような用法を三輪 (2000 : 12) では「反転対称」と呼んでいる。田窪 (1997) は、子供を相手に「僕」「私」などを対称詞的に使う用法について、

「僕、君」といった人称名詞は境遇性を持ち、話し手を視点の中心においた名付けである。相手が話し手になれば当然、相手からみた名付けを行うわけだが、この名付けは、こちらのしたものとは逆になる。したがって、相手が「君」とか「おまえ」というとき、それが自分のことであると理解するためには、相手の視点からみた呼び方を取り入れている必要がある。つまり、「相手から見た「おまえ」＝私からみた「私」という視点の切り替え操作が必要となる。これは、結構複雑な操作で、こどもには難しい。そこで、この視点の切り替えを要らないようなシステムに変えるとする。相手も自分も同じ表現で、相手や自分を指せるようにしたいわけである。この時に、こちらの視点を抑えて、相手の視点のみを使って名付けをすると、相手にはこの視点の切り替え操作が必要なくなる。この操作は母親が自分のことをこどもに、「お母さん、ママ」で呼ぶのと同じである。母親であれば、相手は名前で呼べばいいのだが、名前を知らないか、名前を呼んでいい関係にない場合、相手の視点をとりいれて相手と呼ぶと自称詞を使うしかない。この場合の相手と呼ぶのに使われた自称詞は、本来の人称名詞ではなく聞き手につ

けられた臨時的呼称でしかない。

(p. 32)

と述べ、子供の視点を採用するスタイルが対称詞の用法を支配しているとしている。

なお、「手前がやれ」「我はなにしとんのじゃ」「おのれのことはおのれでせい」などの例にみられる「我」「おのれ」「手前」は、自称詞が対称詞的に使われているように見えるが、本来は、人称名詞的な自称詞、対称詞ではなく、再帰的な指示を行う語であると考えられ、話し手の領域で解釈される場合は自称詞となり、聞き手の領域で解釈される場合は対称詞となるのであると指摘している。

また、「彼女、茶のみにいかへんか」「これ彼のんちやう」などの例のように、「彼」「彼女」といった他称詞が対称詞として使われる場合があると指摘し、これは、「彼」「彼女」が人称名詞ではなく、固有名詞に近い名詞あるいは定記述であり、名前を知らない相手に話しかける際に、呼称の代わりに使っているのであると考察している。この場合、「彼」「彼女」は、単に「その男の子」「その女の子」のような定記述というより、臨時的呼びかけ語に呼称化作用がかかったものと見なすことができると述べている。

これまで見てきた人称代名詞は、全て単数形であるが、複数形はどうであろうか。日本語には、名詞の単数形と複数形に文法上の対立がないと言われている。とはいえ、日本語に複数表現が存在しないというわけではない。少なくとも、人称代名詞に関して言えば、例えば「わたくしども」「あなたがた」「君たち」「彼ら」などのように、人称代名詞に「ども」「がた」「たち」「ら」などの接尾辞を添加することによって複数を表すことができる。但し、これらの複数接尾辞は全ての名詞に自由に付けることができるわけではない。金子 (2000) は、「たち」のような複数接尾辞は全ての普通名詞のあとに置かれることができるわけではなく、通常は有生名詞のあとに限られ、「机」や「椅子」などの無生名詞に付加することは不可能である (p.100)」と述べている。

これらの複数接尾辞の待遇上の違いについて、鄭 (2001 : 58) では、日本語の複数形接尾辞「たち」は、書き言葉より話し言葉に多用される傾向があり、「ら」や「ども」などに比べ使用範囲が広い接尾辞であると述べている。また、一般に「がた」は他の複数接尾辞より高い敬意を含んでいると言われ、「ども」は謙讓の意味を持つと認識されていると指摘している。

他に、「我々 (われわれ)」などのように、名詞を反復することによって複数を表す方法もある。

4.1.2 ウズベク語の人称代名詞に関する先行研究

ウズベク語の人称に関する従来の先行研究では、主として動詞の人称語尾やそれが選択される要因などが研究の対象として行われてきたが、「人称代名詞」にのみ焦点を絞って総合的に検証したものは、筆者が調べた限りでは見当たらない。人称代名詞は、たいていウズベク語の文法全般を総合的に扱った文法書などで文法項目の一つとして言及されるにとどまることが多い。

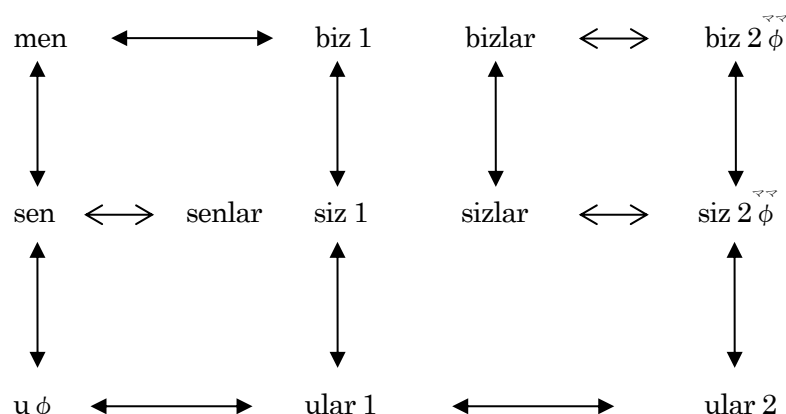
ウズベク語の人称代名詞は、学校の教科書や現代標準ウズベク語の文法書などでは、一人称は *men* (単)、*biz* (複)、二人称は *sen* (単)、*siz* (複)、三人称は *u* (単)、*ular* (複) として示されるのが普通である。2.2.2 で紹介した庄垣内 (1988a : 830) でも、ウズベク語の人称代名詞について同じようなことが記載されている。しかし、二人称代名詞 *siz* には、複数用法の他に、年上の親族 (両親やおじ・おば、兄・姉など) や見知らぬ人に対して敬意や尊敬の念を込めて用いられる、「敬称」の単数二人称代名詞としての用法があることが知られている。

Asqarova et al. (2006 : 144) によると、複数人称代名詞の *biz*、*siz*、*ular* は、時として「謙遜」(*kamtarlik*) や「尊敬」(*hurmat*)、「尊大」(*kibrlaniš*) などの意味で単数の相手に対して用いら

れることがあるという。ゆえに、「複数」の意味を強調するために、一人称代名詞 **biz** と二人称代名詞 **siz** に、複数接尾辞 **-lar** を付加して **bizlar** (私たち)、**sizlar** (君たち・あなたがた) のように用いられるようになったと指摘している。Tursunov et al. (1992) や Sapayev (2009) などでも、同じような内容が記載されているが、Asqarova et al. (2006) を含め、これらの文法書では、**siz** の単数二人称敬称用法について、ただその存在が指摘されるのみである。

ウズベク語の人称代名詞の用法をより詳しく扱っているものとして、Rahmatullayev (2006) が挙げられる。Rahmatullayev (2006 : 211) では、人称代名詞の体系を次のように表示している。

表 9. Rahmatullayev (2006) の挙げるウズベク語の人称代名詞の体系



この表について、Rahmatullayev (2006 : 211-212) では次のように解説している。

横双方向矢印は数の対立を、縦双方向矢印は人称の対立を示している。一・二人称代名詞の **men**、**sen** と **biz**、**siz** は、それぞれ人称と数を有しており、語頭の **m-**、**s-**、**b-** が人称を、語末の **-n**、**-z** が数を表す。故に、語頭の **m-**、**s-**、**b-** と、語末の **-n**、**-z** が歴史的に別形態素として考えられてきたが、現代語ではそれぞれ一語とみなし、二つ以上の形態素に分けて考えることはしない。なお、三人称単数の **u** は、一・二人称代名詞とは違い、指示代名詞由来であり、**u** そのものは人称しか表示していない。すなわち、数は「φ」マークで示されていることになる。

biz 1、**siz 1**、**ular 1** は、複数用法であり、**biz 2 φ**、**siz 2 φ**、**ular 2** は単数用法である。この二つの用法において、複数用法は本来の用法であり、単数用法は、本来複数形であった代名詞を「敬称」として単数形に転用したものである。このうち、**biz 2 φ** が「謙遜」(**kamtarlik**) を表し、**siz 2 φ** と **ular 2** が「敬称」(**sizlaš**) を表す。

biz、**siz** が単数においても使われ始めたため、複数であることをはっきり表す目的でこれらの代名詞に複数接尾辞 **-lar** を付けて使われるようになった。このような場合、**bizlar**、**sizlar** における **biz-**、**siz-** が人称を、**-lar** が数を表すことになる。

以上、Rahmatullayev (2006) や Asqarova et al. (2006) などからわかるように、二人称代名詞 **siz** は、複数の二人称代名詞として位置づけられ、単数の敬称二人称としての用法はその存在が指摘されるにとどまることが多い。しかしそのような記述では、現代ウズベク語の **siz** の用法を正確に把握しているとは言えないと思われる。なぜなら、二人称代名詞 **siz** は、現代語では、複数用法としてほぼ用いられず、もっぱら敬称の単数二人称を指す代名詞として考えられるからである。

本稿では、ウズベク語の二人称代名詞について、現代の文学作品などから収集した会話文の資料に基づいて検討する。また、二人称代名詞の使い分けと所有二人称接尾辞との関係及び動詞人称語尾との一致現象について実例に基づいて考察する。

4.2 調査方法及び資料

ウズベク語の二人称代名詞の使用実態を調べるためにウズベク語の文学作品 27 作品の実例を調査した。そのうち、25 作品は現代小説である。主として 1980 年以降に出版され、会話表現を比較的多く含んでいるものを選んだ。残りの 2 作品は歴史小説である。

27 作品のうち 19 作品は pdf 版¹⁶を、2 作品は web 版を使用した。いずれも、会話部分から人称代名詞を含む文を抽出し、それに基づいて分析・考察を行った。調査対象とした作品を以下に示す。なお、詳しくは「用例出典」を参考されたい。

表 10. ウズベク語の人称代名詞の使用実態を調査するために用いた資料

	作家名 ¹⁷	刊行年	作品名	ジャンル	版
1	Qodiriy, A.	1926	O'tkan kunlar.	歴史小説、恋愛ドラマ (19 世紀)	pdf
2	Shuhrat. *	1967	Oltin Zanglamas.	政治ドラマ	紙
3	To'xtaboyev, X.	1975	Besh bolali yigitcha.	戦争ドラマ	紙
4	Tog'ay Murod. *	1980	Oydinda yurgan odamlar.	現代社会	pdf
5	Hoshimov, O'.	1982	Dunyoning ishlari.	私小説	pdf
6	Qodirov, P.	1988	Yulduzli tunlar.	歴史小説、ムガル帝国 (1526-1858) の創設者バーブル皇帝の生涯	pdf
7	Otauli. *	1994	Tilsim.	現代社会	紙
8	Tohir Malik. *	1994	Shaytanat. 1-kitob.	現代社会、推理	pdf
9	Tohir Malik. *	1996a	Shaytanat. 2-kitob.	現代社会、推理	pdf
10	Tohir Malik. *	1996b	Shaytanat. 3-kitob.	現代社会、推理	pdf
11	Muqimov, A.	1999	Erinsangiz Kulmang.	現代社会、青春、風刺、その他	紙
12	Said Ahmad. *	2000	Tanlangan asarlar. 2-jild.	現代社会、風刺、その他	pdf
13	Eshonqul, N.	2001	Maymun yetaklagan odam.	私小説	pdf
14	Tog'ay Murod. *	2001	Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi.	政治ドラマ	pdf
15	Tohir Malik. *	2001	Shaytanat. 4-kitob.	現代社会、推理	pdf
16	Hoshimov, O'.	2002	Hikoyalar.	現代社会、青春、恋愛、その他	pdf
17	Umarbekov, O'.	2002	Saylanma. 1-jild.	現代社会	pdf
18	Hoshimov, O'.	2005	Bahor qaytmaydi.	恋愛ドラマ	紙
19	Xolmirqayev, Sh.	2005	Saylanma. 2-jild.	現代社会、教訓、その他	pdf
20	A'zam, E.	2007	Jannat o'zi qaydadir.	現代社会	pdf
21	Abbosxon, N.	2010	Sho'rqishloq. (Sharq yulduzi. 2)	現代社会、推理	pdf
22	A'zam, A.	2010	O'zi uylanmagan sovchi.	恋愛ドラマ	pdf
23	O'nar, S.	2010	Bibisora	現代社会	pdf

24	To'xtaboyev, X.	2010	Jannati odamlar.	現代社会	pdf
25	Namozov, A.	2012	Bo'lim boshlig'i	風刺	web
26	Hoshimov, O'.	2013	Sevgi qissalari.	恋愛ドラマ	紙
27	Vafo, S.	刊行年不詳	Arg'imchoq	現代社会	web

以下に、本稿で調査対象とした小説の作家（の生年や出身地など）について紹介する。

1. Abbosxon, N. (1968 年～、ナマンガン州生まれ)
2. A'zam, A. (1949 年～、サマルカンド州生まれ)
3. A'zam, E. (1950 年～、スルハन्दルヤ州生まれ)
4. Eshonqul, N. (1962 年～、カシュカダルヤ州生まれ)
5. Hoshimov, O'. (1941 年～2013 年、タシケント州生まれ)
6. Muqimov, A. (1929 年～1993 年、フェルガナ州生まれ)
7. Namozov, A. (1970 年～、スルハन्दルヤ州生まれ)
8. O'tauli. (本名 : O'tayev, N.、1949 年～、カザフスタン、トルキスタン州生まれ)
9. O'nar, S. (1964 年～、サマルカンド州生まれ)
10. Said Ahmad. (本名 : Husanxo'jayev, S.、1920 年～、タシケント市生まれ)
11. Shuhrat. (本名 : Alimov, G'.、1918 年～1995 年、タシケント市生まれ)
12. Tog'ay Murod. (本名 : Mengnorov, T.、1948 年～2003 年、スルハन्दルヤ州生まれ)
13. Tohir Malik. (本名 : Hobilov, T.、1946 年～、タシケント市生まれ)
14. To'xtaboyev, X. (1932 年～、フェルガナ州生まれ)
15. Umarbekov, O'. (1934 年～1994 年、タシケント市生まれ)
16. Vafo, S. (1962 年～、ホラズム州生まれ)
17. Xolmirzayev, Sh. (1940 年～2005 年、スルハन्दルヤ州生まれ)
18. Qodiriy, A. (1894 年～1938 年、タシケント市生まれ)
19. Qodirov, P. (1928 年～2010 年、タジキスタン、ソグド州生まれ)

なお、本稿で調査対象とした作品に於いて、作家の生まれ育った地域や環境による人称代名詞の使い方の違いはみられなかった。

4.3 ウズベク語の二人称代名詞

現代ウズベク語の二人称代名詞は、4.1.2 でも紹介した通り、単数と複数の区別がある。

まず、二人称単数形は、対話者との関係によって、自分より年下あるいは同年齢の相手に対して親しみを込めて用いる *sen* (親称) と、自分より年上の相手に対して敬意を込めて用いる *siz* (敬称) の区別がある。また、*sen* の交替形として用いられる *san* という形式もある。

二人称複数形は、*siz*、*sizlar*、*senlar* という形式が用いられる。以下ではそれぞれの形式について詳しく検討する。

¹⁶ 小説の pdf 版は、ウェブサイト <http://n.ziyouz.com/>、<http://tiim.uz> から入手したものである。

¹⁷ 作家名のうち、右上に上付きのアスタリスク記号が付いているものはペンネームであり、文学作品を発表する際に使用される本名以外の名である。

4.3.1 二人称単数形 **sen** と **san**

二人称単数の **sen** には、交替形として用いられる **san** という形式がある。両者の違いは、**sen** は話し言葉でも使えるし、書き言葉でも使えるニュートラルな形式であるのに対し、**san** は話し言葉では使えるが、書き言葉としては普段使わない形式である。例えば、日常会話では通常 **san** を使う人でも、改まった場面やビジネス文書などでは **sen** を使う場合が多いと考えられる。地域によっても差があると思われるが、**san** は主として都心部の人によって用いられ、やや粗野な感じを与える。それとは対照的に、地方などでは **sen** を使う人が多い。チナズ市の都心部から 2 キロほど離れた地域に住んでいる筆者の家族の例で言うと、筆者を含む兄弟姉妹は皆 **sen** を使っている。筆者の父親と兄の子供たちは **san** を使っているが、当人に聞いてみたところ、父親の場合、都心部で長く働いていたことが原因であり、兄の子供たちの場合は、友達の中で **san** を使っている子が多く、自分もそのように使い慣れているということである。

なお、**sen** と **san** の使用分布に関しては、アンケート調査やフィールドワークなど詳細な調査が必要であると思われるが、それについては今後の課題としたい。

以下では、それぞれの形式について具体例を示す。

- 1) A: Šu čoy opkiriš ham jonimga tegib ketdi... Dilor, **san** opkir, iltiməs!
この お茶 運ぶこと も 魂に 当たって 行った 人名 お前 運べ お願い
(もうお茶を運ぶのも嫌になっちゃった。ディロル、あなたが運んでよ、お願い。)

- B: Oylab gapiryapsanmi? **Sen**-ga kelgan sovčiga čaynakni men olib kiranmanmi?
考えて 話しているのか お前-DAT 来た 仲人に お茶ポットを 私が 持って 入るのか
(あなた正気？あなたのために来た仲人に私がお茶を運ぶことはないじゃない。)

(Azam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi*. p. 20)

これは仲のいい若い女性同士の会話であり、その若い女性の一人の家に来た仲人にお茶を出す場面である。この例では、女性の一人が **san** を用いているのに対し、もう一人は **sen** を用いているのである。

4.3.2 二人称単数形 **sen** (親称) と **siz** (敬称) の使い分け

sen と **siz** は、元来二人称の単数と複数を表し、数カテゴリーに基づく区別をなしていたが、後に二人称複数であった **siz** が二人称単数に転用され、敬称として用いられるようになったと言われている (Ishayev (1984)、Rahmatullayev (2006) など)。現代ウズベク語では、**sen** は主に同年齢あるいは年下の親しい友人や知り合い、子供、神などに対して使われ、時には軽蔑の意味をも含む人稱代名詞であるのに対し、**siz** は話し相手に対する尊敬を表す場合に使われると同時に、初対面の人や親しくない人に対して使われ、相手との距離感を表す代名詞である。

以下では、二人称代名詞 **sen** と **siz** が親族関係と非親族関係においてどのように使い分けられているのか簡潔に論じる。

親族関係

親称と敬称を区別する西洋の多くの言語では、家族や親族には年長・年少にかかわらず親称を用いることが多いと言われているが、ウズベク語では、目上（年上）の人に対して親称を用いることは失礼とされている。ゆえに親族関係においても、互いに親しい間柄とはいえ、目上の親族に対して親称を用いることはできない。家庭において、両親や祖父母、兄・姉など自分より年上の親族に対して敬称の *siz* を用いるのが原則である。一方、弟・妹、子や孫、甥・姪など自分より年下の親族に対しては親称の *sen* を用いるのが一般的である。以下に具体例をいくつか挙げる。

母と息子の会話：

- 2) A [母] : Ammo sen adajni, opajni, akalarijni yaxši kormasañ...
もし お前 父さんを 姉さんを 兄さんたちを 愛さなければ
(もしお前が父さんや姉さんや兄さんたちを愛さなかったら...)

B [息子=私] : Siz-ni ham, - deyma uniñ gapini bolib.
あなた-ACC も 言う 彼女の 話を 遮って
(「母さんもね」私は母の話を遮って言った。)

(Hoshimov, O'. 1982. *Dunyoning ishlari*. Ikki afsona. p. 6)

父と娘の会話：

- 3) A [娘] : Siz bularni kop oylamañ, dadajon, xopmi?
あなた これらを 沢山 考えないで下さい 父ちゃん いいか
(お父さん、考えすぎないでね。)

B [父] : Xop, xop, Zulfinjon. Sen-in gapini ikki qilib bolarmidi.
わかった わかった 人名 お前-GEN 話を 二つ して なるものか
(わかったよ、ズルフィンちゃん。お前には逆らえないから。)

(A'zam, E. 2007. *Jannat o'zi qaydadir*. Suv yoqalab. p. 36)

祖父と孫の会話：

- 4) A [祖父] : Qoy, bolam, sorayverma, yuragimga gap sigmayapti.
やめて 我が子よ 何回も聞くな 私の心に 話 入らない
(何回も聞かないでくれ。今心に余裕がないから。)

B [孫] : Menikiga sigyapti-ku, bobojon.
私の心に 入りますよ じいちゃん
(僕の心には余裕があるよ、おじいちゃん。)

A [祖父] : Sen-iki kenja, oglim¹⁸.
お前-POSS 広いから 息子よ
(お前の心は広いからね。)

B [孫] : *Siz-niki* judayam tōrmi?
 あなた-POSS とても 狭いか
 (お爺ちゃんの心はそんなに狭いの?)

(To'xtaboyev, X. 2010. *Jannati odamlar*. p. 70)

これらの例では、上の世代の親族が下の世代の親族に対して親称の *sen* を用いているのに対し、下の世代の親族が上の世代の親族に対して敬称の *siz* を用いている。

同世代の親族の場合、年齢の上下が親称と敬称の使い分けの基準になっており、兄・姉や年上のいとこなど、自分より年上の親族に対しては敬称の *siz* を用いるが、弟・妹など年下の親族に対しては *sen* を用いるのが普通である。次の例を見ていただきたい。

兄と妹の会話：

5) A [兄] : ...hamma gapirsa ham *sen* gapirma... Niyatin yomon edi *sen-in*.
 みんな 話せば も お前 話すな お前の考え 悪い だった お前-GEN
 (お前だけは黙っていてくれ。お前は腹が黒い奴だから。)

B [妹] : Niyati yomon deb *siz-ni* aytadi.
 考え 悪い と あなた-ACC 言う
 (腹が黒いのは兄ちゃんの方じゃない。)

(Vafo, S. 刊行年不詳. *Arg'imchoq*. Web)

姉と弟の会話：

6) A [弟] : Qattasiz, opa?
 どこですか お姉さん
 (お姉さん、どこにいるの?)

B [姉] : Šottaman, nima qildi, nima?
 ここにいる 何 した 何
 (ここにいるよ。どうかしたの?)

A [弟] : ...*Siz-dan* soravotman, oyimla qačon kelalla?¹⁹
 あなた-ABL 聞いている お母様 いつ 来ますか
 (ねえ、言ってよ。母さんはいつ来るの?)

(Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. Ko'k daftarning siri. p. 47)

¹⁸ 実子ではない人に対して用いられる *oğlim* (息子よ) という表現は、主に年配の人から若い人に対して親愛の気持ちを込めて用いられる呼びかけ表現である。他に、*qizim* (娘よ)、*bolam* (我が子よ) などが挙げられる。

¹⁹ 例6)はタシケント方言の会話例であり、この会話で用いられているいくつかの表現は、標準語ではそれぞれ *qattasiz*→*qayerdasiz*、*šottaman*→*šu yerdaman*、*soravotman*→*sorayapman*、*oyimla*→*oyimlar*、*kelalla*→*keladilar* に当たる言い方である。

この例では、兄・姉が弟・妹に対して親称を用いているのに対し、弟・妹が兄・姉に対して敬称を用いている。

なお、兄弟姉妹の配偶者に対して、年齢に関係なく敬称を用いるのが普通であるが、その配偶者が親しい友人や知り合いである場合は親称を用いることも可能である。例えば、筆者の身近な例で言うと、筆者の妻と（筆者の）妹は子供の時から一緒に育った同い年の親しい友達であるが、結婚後もお互いに親称で呼び合い続けている。以下に例を示す。

兄から弟の妻に対する発話：

7) Šu bolalar uçun-da, kelin. Siz uyga qarayapsiz, u dalasi bilan ovora.

この 子供たち ためよ 嫁 あなた 家に見ています 彼 彼の畑 と 忙しい

(全部子供たちのためですよ。あなたはうちのこと、彼（弟）は畑仕事で忙しい。)

(A'zam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi*. p. 235)

この例では、兄が自分より年下である弟の妻に対して敬称を用いている。

兄弟姉妹の配偶者同士も、お互いに年齢に関係なく敬称を用いる。なお、このような場合も、その配偶者が親しい友人や知り合いである場合は親称を用いることが可能である。以下に例を示す。

姉妹の配偶者同士の会話：

8) A [姉の夫] : Qani, Otkirjon....

どうぞ 人名

(中へどうぞ、オティキルさん。)

B [妹の夫] : Yoq, siz-dan. Uy siz-niki.

いいえ あなた-ABL 家 あなた-POSS

(いいえ、先にどうぞ。あなたがこの家の主人ですから。)

A [姉の夫] : Siz-niki ham.

あなた-POSS も

(あなたの家でもありますよ。)

(A'zam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi*. p. 45)

兄の妻から弟の妻に対する発話：

9) Menga qaran. Siz yangi odamsiz. Bu igvogarlarning gapiga učman.

私に見て下さい あなた 新しい 人です この でたらめ言う人たちの 話に 騙されないで下さい

(聞いて下さい。あなたは新しくこの家に来た人ですから、このようなでたらめを言う人たちに騙されないで下さい。)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar: 2-jild*. Kelinlar qo'zg'aloni. p. 83)

このように、兄弟姉妹の配偶者同士が互いに敬称を用いるのが普通である。

親が子供の配偶者である嫁や婿に対して敬称を用いるのが普通であるが、親称を用いる人もいる。

また、最初は敬称を用いる人でも、時間を経るにつれて親称に切り替える場合もある。次の例は義父と婿の会話の場面である。

義父から婿に対する発話（敬称を用いる場合）：

10) *Siz* menga kuyov bolasiz-a...

あなた 私に 婿 になりますね

(あなたは私にとって婿ですよね?)

(Otauli. 1994. *Tilsim*. p. 120)

義父から婿に対する発話（親称を用いる場合）：

11) Vey, menga qara, kuyov bola, *gen-in* uyin bormi, xotining bilan uyinda
ねえ 私に 見ろ 婿 子 お前-GEN お前の家があるか お前の妻 と お前の家で

otirsan olasanmi?

座れば 死ぬか

(なあ、聞け。お前はちゃんと住む家があるのに、何で妻と一緒にそこにいられないのだ?)

(Tohir Malik. 2001. *Shaytanat. 4-kitob*. p. 88)

次の二つの例は、同じ作品の義母と嫁の会話の場面であるが、前者の例では、義母が一人の嫁に対して敬称を用いるのに対し、後者の例では、もう一人の仲のいい嫁に対して親称を用いることが見て取れる。

義母と嫁の会話（敬称を用いる場合）：

12) A [義母] : *Siz-ga* aytyapman. Quloqni tom bosganmi?

あなた-DAT 言っている 耳を 屋根 踏んだか

(あなたに言っていますよ。聞こえないのですか?)

B [嫁] : Nima deysiz, oyijon?

何 言います お母さん

(どうしたのですか、お母さん?)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar. 2-jild*. Kelinlar Qo'zg'oloni. p. 224)

義母と嫁の会話（親称を用いる場合）：

13) A [義母] : Bu gap seni gapinmas. Seni xotining Mehrini gapi.

この 話 お前の 話ではない お前の 妻の 人名の 話

((息子に対して) この話はお前ではなく、(お前の妻である) メフリの話だ。)

B [嫁] : Tog'ri. Ie, bu kishining xotinlari menman-ku.

そう あれ この 人の 奥さん 私だよ

(そうです。あれ、この人の奥さんはメフリではなく私ですよ。)

A [義母]: Ie, sen buniq xotini ediŋ-a,...
 あれ お前 この 妻 だったね
 (あれ、お前がこの子の妻だったね。)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar: 2-jild*. Kelinlar Qo'zg'oloni. p. 210)

このように、嫁・婿に対して敬称の **siz** を用いる人もいれば、親称の **sen** を用いる人もいる。
 夫婦間では、年齢にかかわらず、妻は夫に対して敬称を用い、夫は妻に対して親称を用いるのが普通である。

夫婦の会話:

14) A [夫]: ...agar sen boradigan bolsan, men ham boraman.
 もし お前 行くこと ならば 私 も 行く
 (もしお前が行くならば俺も行くよ。)

B [妻]: ...siz Mazambayda nima qilasiz?
 あなた 場所名-で 何 します
 (あなたはマザムバイで何をしますか?)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar: 2-jild*. Kelinlar qo'zg'oloni. p. 175)

15) A [夫]: Heh, sen-i bilmaymanmi? Eritiŋga tuŋdiŋ-ku, bir narsa undirmoqčisan-da.
 ね お前-ACC 知らないか ゴマすりに 取り掛かったね 一 物 狙っているだろう
 (お前のことを知っているぞ。ゴマをすり始めたから、何かを狙っているのだろ。)

B [妻]: Heŋ ham-da. Qaytaga siz-ni xursand qiladigan gap aytmoqči edim.
 違うわ 逆に あなた-ACC 嬉しく する 話 言いたい だった
 (違うわ。逆にあなたを喜ばせる話をしようとしていたの。)

(A'zam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi*. p. 16)

妻が夫に敬称を用い、夫が妻に親称を用いるという習慣は、家庭において男性が女性より優位であるという宗教的・文化的思考が背景に働いているのであろう。しかし、女性の社会進出が進むにつれて、女性が男性と平等に扱われるようになってきている現在では、夫婦が互いに敬称を用いる家庭も増えてきている。次の例を見ていただきたい。

夫婦の会話:

16) A [夫]: Nig'oraxon, men siz-ga nima degan edim? Oyim sal qattiqqolroqlar
 人名 私 あなた-DAT 何 言った のだ 私の母 少し より厳しい
 demaganmidim.
 言ってなかったか
 (ニゴラ、あなたに言っただろう。母さんがちょっと厳しいって言ったじゃないか。)

B [妻]: Men siz-ga tegayotganimda o'yingizniڭ šunaqaliklarini bilib tekkanman.
 私 あなた-DAT 結婚する時 あなたのお母さんの そうであることを 知って 結婚した
 (あなたと結婚する時、あなたのお母さんのそういう性格を知ったうえで結婚したの。)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar: 2-jild*. Kelinlar qo'zg'aloni. p. 208)

夫から妻に対する発話:

17) Nasi! Nima boldi siz-ga, Nasi?
 人名 何 なった あなた-DAT 人名
 (ナシ、何があったの?大丈夫?)

(O'tkir Hoshimov. 2013. *Sevgi qissalari*. Quyosh tarozisi. p. 126)

このように、現代社会では、互いに敬称の *siz* を用いる夫婦も少なからずいると思われる。

配偶者の親族の呼び方は、夫と妻とでは多少異なる。(夫の立場からの) 妻の親族に対する呼び方は自分の親族の場合と同様、年上の人には敬称を用い、年下の人には親称を用いるのが普通である。しかし、妻は夫の親族に対して年齢に関係なく敬称を用いるのが普通であり、たとえ小さい子供でも敬って接することが多い。なお、年下の人の場合、時間が経つにつれて仲良くなり親称に切り替えることもある。

非親族関係

非親族の関係として、友人関係や恋人関係、隣人関係、職場関係、初対面などが挙げられる。

友人関係においては、同級生や親しい友人同士が一般に対等関係にあり、互いに親称を用いるのが普通である。次の例は男性の友人同士と女性の友人同士の会話の場面である。

男性の友人同士の会話:

18) A: O'gayniڭniڭ sen-dan yaširadigan siri bormi...
 お前の友人の お前-ABL 隠す 秘密 あるか
 (お前の友人はお前に知られたくない秘密でもあるのか?)

B: Mendan emas, sen-dan yaširadi.
 私から ではない お前-ABL 隠す
 (俺ではなくお前に隠し事をしているんだよ。)

(Tohir Malik. 1994. *Shaytanat. 1-kitob*. p. 197)

女性の友人同士の会話:

19) A: Oti Sarvar ekanmi? Sen qayoqdan bildiڭ?
 彼の名前 人名 だったか お前 どこから 知った
 (彼の名前はサルワルだったの?お前、どうしてそれがわかった?)

B: Vay, sen-ga aytišmadimi?
 あれ お前-DAT 言わなかったか

(あれ、聞かされていないの?)

(A'zam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi*. p. 89)

このように、友人同士は互いに親称を用いるのが一般的である。なお、一部の学校において、同じクラスで互いに敬称を用いて話すよう計画的に教育を行うことで、同じ年のクラスメートに対して *siz* を用いる人も若干いると思われる。例えば、筆者が通っていた学校 (Usmon Yusupov 名称第 7 番学校) では、生徒同士が互いに敬称を用いて話すための教育が実施されており、筆者を含む同級生たちは皆互いに *siz* を用いて話すようになっている。ついでに言えば、筆者の兄や妹たちも同じ年のクラスメートに対して敬称を用いて話す。

恋人関係については、互いに敬称を用いるのが普通である。以下に例を示す。

20) A [男]: *Siz-ni...* sevaman.
あなた-ACC 愛している
(あなたを愛しています。)

B [女]: *Siz-dan* katta bolsam ham-a.
あなた-ABL 年上 ならば もか
(あなたより年上であってもですか。)

(Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. Yo'lda. p. 34)

21) A [女]: Erkin aka, *siz* meni odobsiz qiz deb oylayapsizmi?
人名 兄 あなた 私を 行儀の悪い 女の子 と 思っていますか
(エルキン兄さん、あなたは私のことを行儀の悪い子だと思っているでしょう?)

B [男]: Xolida, axir nega unday deysiz? Axir men *siz-ni...* *siz-ni...*
人名 だって なぜ そう 言います だって 私 あなた-ACC あなた-ACC
(なぜそう言うんですか? だって私はあなたを...)

(Hoshimov, O'. 2002. *Hikoyalar*. Xayollarga bo'laman tutqun. p. 3)

なお、恋人同士は同じ地区に生まれ育ち、お互いのことをよく知っている人である場合は、男性は (年下の) 女性に対して親称を用いるのが普通である。

隣人関係では、親族の場合と同様、隣人や同じ地区の人が自分より年上である場合は敬称を用い、年下である場合は親称を用いる。その妻も、自分の家の嫁の場合と同じく、年齢に関係なく敬称を用いるのが普通である。なお、例は省略する。

職場関係においては、上司に対して年齢に関係なく敬称を用いるのが普通である。次の例は上司と (上司より) 年上の部下との会話の場面である。

年下の上司に対して敬称を用いる場面:

22) A [部下]: Jon uka, bir ahmoqliq qildim, kechirin. Meni quvman.
愛しい 弟 一つ 馬鹿なこと した 許して下さい 私を 追いつかないで下さい

Siz-dek odamga šunday itlik qildim...

あなた-like 人に そのような 悪いこと した

(馬鹿なことをしてしまいまして申し訳ないです。どうか追い出さないで下さい。所長さんに悪いことをしました。)

B [上司]: Siz menga nima gunoh qila qolgandingiz?

あなた 私に 何 罪 して しまいましたか

(私に対して何か悪いことでもしたのですか?)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar. 2-jild*. Yelim. p. 14)

このように、上司が自分より年下であっても、目上として敬意を示して siz を用いるのが一般的である。

部下が自分より年上である場合は原則として敬称を用いる。一方、部下が自分より年下である場合は、敬称を用いる人もいれば親称を用いる人もいる。部下との年齢がかなり離れている場合や部下が以前からよく知っている人である場合は、部下に対して親称を用いるのが普通である。また、入社当初は敬称で接していた部下でも、時ともに仲良くなって親称に移り変わる人もいられる。以下に具体例をいくつか示す。

部下に対して敬称を用いる場合:

教育関係の上司から部下に対する発話 (部下が年上の場合):

23) Biz siz-ni kekxa pedagog, ustoz taşkilotchi sifatida tanir edik,...

我々 あなた-ACC 年配の 教育者 恩のある 主催者 として 知って いた

(我々はあなたを経験豊富な教育者、そして恩のある主催者として存じておりました。)

(Muqimov, A. 1999. *Erinsangiz, kulmang*. Ishlar joyida. p. 38)

統計関係の上司から部下に対する発話 (部下が年下の場合):

24) Nega keçikib yuribsiz? Nima, bu yer siz-ga podaxonami?

なぜ 遅れて 歩きますか 何 この 所 あなた-DAT 家畜小屋か

(なぜ仕事に遅れて来たのですか? ここはあなたの家ではないし、ちゃんとしないとだめでしょうが。)

(Namozov, A. 2012. Bo'lim boshlig'i. *O'zbekiston adabiyoti va san'ati*. 30. Web.)

部下に対して親称を用いる場合 (部下が年下であることが前提条件):

検察関係の上司と部下の会話:

25) A [部下]: Agar siz aytganday Asadbekniy yoliga to'g'anoq bolsa, osongina

もし あなた 言ったように 人名-の 道に 邪魔 なれば 簡単に

yoq qilişmasmidi?

無く しなかったか

(もし主任が言ったようにアサッドベックの邪魔になれば、簡単に仕留められたのでは?)

B [上司]: Maydaroq odam bolganida balki sen aytgan yolni tutiſardi.
より身分の低い 人 なったら たぶん お前 言った 方法を 選んだだろう
(身分の低い人だったらたぶん (彼らは) 君が言った方法を選んだだろう。)

(Tohir Malik. 1994. *Shaytanat. 1-kitob*. p. 27)

運送会社の上司と部下の会話:

26) A [上司]: Sen doxtirni top.
お前 医者を見つけれ
(君は医者を探せ。)

B [部下]: Xop, xojayin.
はい ボス
(はい、ボス。)

(Tohir Malik. 2001. *Shaytanat. 4-kitob*. p. 96)

同僚関係では、お互いに敬称で呼び合うのが普通である。同僚がたとえ自分より年下であっても、敬称を用いることが多いと思われる。なお、年下の同僚が同じ地区で生まれ育った人であれば親称を用いるのが普通である。

次の例は自分より年下の同僚に対して敬称を用いる会話の場面である。

27) A [同僚 (年下)]: Domla, bu ſaftolilarning juni qani?
先生、この 桃の実の 毛 どこ
(先生、この桃の実は毛がないですね。)

B [同僚 (年上)]: Rahimjon, ukam, siz kelasiz, deb ſaftolilarni Qibray-dagi
人名 弟 あなた 来ます と 桃の実を 場所名にある

sartaroſxonaga obchiqib junini qirdirib keldim.
床屋に 持って行って 毛を 切らせて 来た

(ラヒムジョンさんが来ると思い、桃の実の毛をキブライにある床屋で切ってきました。)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar. 2-jild*. Lucchak Shaftoli. p. 194)

年配の同僚から若い同僚に対する発話:

28) Keçikdingiz, oglim, keçikdingiz. Siz-ga ačinaman, lekin iş kunim
(あなたが) 遅れました 息子よ 遅れました あなた-DAT 同情する しかし 仕事 私の日

tugagaç, ilojim qanča.
終わったら 私の仕方 いか程

(遅いですね。残念ですが、私の一日の勤務時間が終わってしまったので仕方がないです。)

(Muqimov, A. 1999. *Eringsangiz, kulmang*. Oy borib, omon keldim. p. 36)

親密な間柄ではない人や見知らぬ人との会話では、お互いに敬称で呼び合うのが一般的である。以下に具体例をいくつか示す。

看護婦と患者の会話：

29) A [看護婦] : *Siz-ni* *çiqarib yubərişmoqçi bolişgan ekan, oziñgiz konmaganmişsiz?*
あなた-ACC 出して しまおう なった そうだ あなた自身 同意しなかったそうです
(あなたを退院させようとしても断ったそうですね?)

B [患者] : *Siz-ni* *tashlab ketgim kelmadi...*
あなた-ACC 置いて 行きたい気分 来なかった
(あなたを置いて行きたくなかったのです。)

(Tohir Malik. 1994. *Shaytanat. 1-kitob*. p. 44)

初対面の男性同士の会話：

30) A : Uka, *siz-ni* *tanimayrəq turibman?*
弟 あなた-ACC 知らないで いる
(お兄さん。私はあなたを存じ上げないのですが?)

B : *Tanimaysiz. Bir yaxşı odamni duo qilaveriñ. Şu odam, siz-ga*
(あなたは) 知りません ある いい 人を お祈り して下さい その 人 あなた-DAT

muruvvat qilmasa qamoqda çirib ketardingiz.

情け しなければ 刑務所で 腐って しまったでしょう

(あなたは私のことを知らないです。ある人に感謝して下さい。その人が情けをかけてくれなかったら、あなたは刑務所で人生を終えたでしょう。)

(Tohir Malik. 1994. *Shaytanat. 1-kitob*. p. 62)

初対面の中年の男性と若い女性の会話：

31) A [女性] : *Salom, keliñ, - dedi Zumrad unga yaqinlaşib.*
こんにちは 来て下さい 言った 人名 彼に 近づいて
(ズムラッドは彼に近づいて「こんにちは、どうぞ。」と言った。)

B [男性] : *Siz-da* *işim bər edi.*
あなた-LOC 私の用事 ある だった
(あなたに用事があるのですが。)

(Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. Nomus. p. 126)

なお、お年寄りの人は、相手が誰であるかに関係なく、親称を用いて話す傾向がある。例文を見てみよう。

年配の男性から中年の政府の役人に対する発話：

32) A [政府の役人] : *Hukumatga qarshi bolsangiz qamalasiz.*
政府に 反対 ならば 捕まります
(政府に反対すれば捕まります。)

B [年配の男性] : ...*sen* *hukumat emassan-ku.*
お前 政府 ではないだろう
(お前は政府じゃないだろう。)

(To'xtaboyev, X. 2010. *Jannati odamlar*: p. 200)

33) Bordin *nima-yu,...* bormadim *nima, sen-ga* baribir *emasmi, balam?*
(私が) 行った 何か 行かなかった 何 お前-DAT どうでもいい ではないか 我が子よ
(私がそこに行くも行かないもお前にはどうでもいいことだろう。)

(To'xtaboyev, X. 2010. *Jannati odamlar*: p. 131)

これらの例では、それぞれ違う年配の男性が親しい関係を持っていない政府の役人に対して親称を用いて話している。

また、子供に対しては初対面でも親称を用いるのが普通である。次の例を見ていただきたい。

初対面の男性と男の子の会話：

34) A [男性] : *Ogil bola ham yiglaydimi? Sen* *ogil bolarisan, yo qiz bolarisan?*
男 子 も 泣くか お前 男 子か それとも 女 子か
(男の子なのに泣くのか。君は男の子かそれとも女の子か?)

B [男の子] : *Ogil bolaman...*
男 子
(男の子だ。)

A [男性] : *Otin nima?*
お前の名前 何
(名前は?)

(Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. Ko'k daftarning siri. p. 48)

初対面の男性と女の子の会話：

35) A [男性] : *Qurib qolmasin, deb uzdim. Sen-ga* *beraymi?*
枯れて しまわないように と 摘んだ お前-DAT 挙げようか
(枯れてしまわないためにこの花を摘んだの。お姉ちゃんに挙げようか?)

B [女の子]: Mayli, berin... Men uni quritmayman. Suvga solib qoyaman.

はい 下さい 私 それを 枯れさせない 水に 入れて 置く

(はい、下さい。私はそれが枯れてしまわないように水に入れておきます。)

(Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. Bahor nafasi. p. 66)

これらの例では、大人の男性が見知らぬ子供に対して *sen* を用いて話していることが窺える。

さらに、神に対する呼びかけにも親称を用いるのが普通である。イスラム教徒は礼拝堂であるモスクで全能の神アラーにお祈りをする時や独り言で神に頼みごとをする時には *sen* を用いる。以下に例を示す。

36) Ey, xudo,... *Sen* ozi bormisan? Bor bolsan javob ber.

おお 神様 お前 一体 存在しているか 存在している ならば 返事 くれ

(神様！あなたは一体存在しているのか？存在しているなら返事して下さい。)

(To'gay Murod. 1980. *Oydinda yurgan odamlar*. p. 57)

37) Ey Xudo, *sen-ga* nima yomonlik qiluvdimki, menga bu ofatlarni yuboryapsan.

おお 神様 お前-DAT 何 悪事 したか 私に この 災いを 送っている

(神様！あなたに何か悪いことでもしたのか？なぜ私にこのような災いを与えていますか？)

(Tohir Malik. 2001. *Shaytanat. 4-kitob*. p. 113)

神に対して親称を用いることは、ウズベク語だけに特有なものではない。ドイツ語やフランス語、イタリア語など、親称と敬称の区別がある多くの言語でも神に対して親称を用いることが普通であるが、これは、神への畏敬の念が薄いということを表すのではなく、神が自分の心の中に住んでいる身近な存在であるということを示すのであろう。

4.3.3 二人称代名詞 *siz* の変遷

4.3.2 でも述べた通り、*sen* と *siz* は、元来二人称の単数と複数を表し、数のカテゴリーに基づく区別をなしていたが、後に二人称複数であった *siz* が二人称単数に転用され、敬称として用いられるようになった。Rahmatullayev (2000 : 284) によると、*siz* の二人称単数敬称としての用法は古代チュルク語に遡り、歴史上最古のチュルク語の辞典とされる『チュルク語集成』(*Dīwān Lughāt al-Turk*, Maḥmūd al-Kāshgarī 著 1072-1074) にも用例がみられるという。

現代標準ウズベク語における *siz* の位置づけは、4.1.2 でも触れた通り、複数二人称としての用法が主な用法として扱われ、単数の敬称二人称としての用法はその存在が指摘されるにとどまることが多い。しかし現代語では、二人称代名詞 *siz* は複数用法としてほぼ用いられず、もっぱら敬称の単数二人称を指す代名詞として用いられている。

現代語の二人称代名詞 *siz* の使用実態を明らかにするために現代の文学作品 12 作品を調べてみた。調査方法は、小説から *siz* が用いられている会話文を抽出し、それが複数としての用法かそれとも単数敬称としての用法かを調べた。なお、これらの作品中、*siz* が読み手に対して用いられた場合や手紙や詩の中で用いられた場合はデータから排除した。調査結果は次の表の通りである。

表 11. 二人称代名詞 **siz** の用法に関する調査

文学作品にみられる二人称代名詞 siz の用法				
文学作品	用法	単数敬称用法	複数用法	
			siz (単独)	siz~lar siz~biz
Eshonqul, N. 2001. Maymun yetaklagan odam.		15	-	-
Hoshimov, O'. 2002. Hikoyalar.		36	-	-
O'nar, S. 2010. Bibisora.		5	-	-
Said Ahmad. 2000. Tanlangan asarlar. 2-jild.		199	2	-
Shuhrat. 1967. Oltin zanglamas.		342	-	1
Tog'ay Murod. 2001. Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi.		102	1	8
Tohir Malik. 1994. Shaytanat. 1-kitob.		295	-	1
Tohir Malik. 1996a. Shaytanat. 2-kitob.		286	4	1
Tohir Malik. 1996b. Shaytanat. 3-kitob.		323	1	1
Tohir Malik. 2001. Shaytanat. 4-kitob.		245	-	-
To'xtaboyev, X. 1975. Besh bolali yigitcha.		60	-	-
Umarbekov, O'. 2002. Saylanma. 1-jild.		184	1	1
合計		2092	9	13

調査の結果、小説 12 作品中、**siz** が単数敬称として用いられた例が 2092 例収集できたのに対し、複数として用いられた例は 30 例のみである。しかも、複数用法の 30 例のうち、**siz** が単独で二人以上の相手に対して用いられた例は 9 例しかない。このことから、現代語では、**siz** の複数用法は、次のような二つの使い方を除き、ほとんど使われなくなっていると言える。

その一つは次の例の通りである。

- 38) Biz, **siz** *faol-lar-ga* suyanamiz!... Sizlar qanchalik kop yordam
 私たち あなたがた リーダー-PL-DAT 頼る あなたがた どれだけ 多く 手伝い
 bersalaringiz, biz o'charçilikni šunçalik tez tugatamiz.
 下されば、 私たち 飢饉を それだけ 早く 終わらせる
 (私たちはあなたがたのようなリーダーに頼ります... あなたがたは援助の手を差し伸べれば差し伸べるほど、私たちは飢饉をそれだけ早く終わらせられます。)

(Tog'ay Murod. 2001. *Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi*. p. 7)

- 39) Men **siz** *ozbek-lar-ni* yaxši bilaman.
 私 あなたがた ウズベク人-PL-ACC よく 知る
 (私はあなたがたウズベク人たちをよく知っています。)

(Tohir Malik. 1996b. *Shaytanat. 3-kitob*. p. 114)

このように、**siz** が二人以上の人に対して使われる場合、**siz** の後ろに来る名詞・形容詞に複数接尾辞**-lar** を付けて、**siz** が複数であることをその**-lar** によって示すことが多い。

もう一つの使い方は、「**siz~biz**」（「**sizu biz**」「**siz bilan biz**」「**siz~, biz~**」など）のような形で、一人称複数の**biz**（私たち）と一緒に用いられる。次の例を見ていただきたい。

- 40) Vatanga **siz-ni** muhabbatingiz bolak, **biz-niki-da** bolak, azizlarim.
 祖国に あなたがた-GEN 愛情 違う 我々-POSS-PRT 違う 愛しい人たち
 （祖国に対する愛情は、あなたがたと我々とはそれぞれ違う。）
 (Tohir Malik. 1996a. *Shaytanat. 2-kitob*. p. 198)

- 41) **Siz** bilan **biz** endi ularniq ornini bosişimiz kerak, togrimi?
 あなたがた と 私たち これから 彼らの 場所を 踏む べき 正しいか
 （あなたがたと私たちはこれから彼らの跡を踏むべきです。そう思うでしょう？）
 (To'xtaboyev, X. 1975. *Besh bolali yigitcha*. p. 207)

この二つの使い方における共通点は、どちらの場合も、複数を表す別の語や接辞によって **siz** が複数であることが示されていることであり、特殊な用法であると言える。

sen と **siz** の対立がある他のチュルク諸語を観察すると、例えばカザフ語やキルギス語、タタール語などでは **siz** の単数敬称用法が文法書に記されている（庄垣内 1988b, 1988c, 1988d を参照）。

以下では、庄垣内（1988b, 1988c）のカザフ語とキルギス語の人称代名詞に関する概説を紹介する。

カザフ語

	単数	複数
1 人称	men	biz/bizder ²⁰
2 人称	sen	sender
2 人称丁寧体	siz	sizder
3 人称	ol	olar

（庄垣内 1988b : 1150 によるまとめ）

キルギス語

	単数	複数
1 人称	men	biz
2 人称	sen	siler
2 人称丁寧体	siz	sizder
3 人称	al	alar

（庄垣内 1988c : 1419 によるまとめ）

このように、カザフ語とキルギス語では **siz** の複数用法が無くなり、二人称単数の丁寧体として用いられている。

調査の結果、**siz** の単数敬称用法が 12 作品中 2092 例も得られたことを考慮に入れると、現代ウズベク語においても、二人称代名詞 **siz** がカザフ語やキルギス語のような変化を遂げていると認めて良いであろう。

4.3.4 二人称複数形 **sizlar** と **senlar** の違い

senlar と **sizlar** は、単数形の **sen** と **siz** に複数接尾辞 **-lar** を付けて作ったものである。両者の違いは、**sizlar** は、親称で話し掛ける（複数の）相手に対しても敬称で話し掛ける（複数の）相手に対しても用いることができる待遇的に中立的な代名詞であるのに対し、**senlar** は、同等以下の複数の相手に対して、主としてマイナス評価を込めつつ見下して呼ぶ場合に用いられる代名詞である。

4.1.2 でも紹介した通り、**sizlar** という形式は、元来の複数代名詞 **siz** が単数（敬称）にも用いられるようになり、**siz** が複数であることをはっきり表す目的で複数接尾辞 **-lar** を付けて **siz-lar** のように用いるようになったものである（Asqarova et al. (2006)、Rahmatullayev (2006) など）。Ishayev (1984 : 9) によると、**siz** は、もともと **siz < si+z**（二人称＋複数接尾辞）であり、**-z** が複数接尾辞として機能していたという。そして、それに複数接尾辞 **-lar** が付くことにより、**sizlar < si+z+lar**（二人称＋複数接尾辞 **-z**＋複数接尾辞 **-lar**）という二重複数形ができた指摘している。なお、現代語では **siz** を一語と見なし、**siz** と **-lar** の二つに分けて考えるのが普通である。

sizlar は、親称と敬称の区別がなく、待遇的に中立的な代名詞であり、目上の人に対しても目下の人に対しても使うことができる。以下に例をいくつか示す。

sizlar を親称で話し掛ける複数の相手に対して用いる場合：

同年代の子供たちの会話：

42) A : **Sizlar** kimsizlar ozi?
お前たち 誰 一体
(お前たちは一体何者だ?)

B : Qarqčılarmiz.
海賊たち
(海賊だ。)

(To'xtaboyev, X. 1975. *Besh bolali yigitcha*. p. 80)

20 カザフ語の一・二人称代名詞の複数形 **bizder**（私たち）、**sender**（君たち）、**sizder**（あなたがた）の **-der** は、ウズベク語の複数接尾辞 **-lar** に相当する。

母親と息子たちの会話：

- 43) A [母親] : Bolalarim, sizlar-ga harom²¹ tamoq yedirganmanmi?
我が子たち お前たち-DAT ハラーム 食べ物 食べさせたことがあるか
(息子たちよ。お前たちにハラーム食を食べさせたことがあるか?)

B [息子たち] : Nima deyapsiz, oyijon?
何 言っています お母さん
(何を言っているのですか、お母さん?)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar: 2-jild*. Kelinlar qo'zg'oloni. p. 235)

前者の例は、子供たちの会話であり、子供たちは互いに敬称を用いないのが普通である。後者の例は、母親と息子たちの会話であるが、4.3.2 でも述べたように、家庭内では上の世代の人が下の世代の人に対して親称を用いるのが一般的である。

sizlar を敬称で話し掛ける複数の相手に対して用いる場合：

- 44) Men Toshkentga kelib sizlar bilan uchrashimni bilganim yoq edi...
私 タシケントに 来て あなたがた と 会うことを 知ったこと ない だった

Shukur, siz-ni oldingizda men Olmasdan kechirim soraşim kerak.
人名 あなた-GEN 前で 私 人名-から 謝り 乞う べき
(タシケントであなたがたと会うとは思っていませんでした... 実はシュクルさん、あなたの前でオルマスさんに謝らなければなりません。)

(Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. Qadah. p. 278)

- 45) Siz ham, ortoq Rajabov ham ona-vatanga xizmat qilib qoygan zotsizlar! Shu
あなた も 同志 人名 も 祖国に 奉仕 して 置いた 方々です その

sabab, men sizlar-ga yomonlik soğinmayman.
理由 私 あなたがた-DAT 悪いこと 望まない

(あなたも、同志のラジャボフさんも祖国のために力を尽くしてきた方々です。だから、あなたがたを悪いようにしません。)

(Tog'ay Murod. 1980. *Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi.* p. 74)

²¹ ハラームとは、イスラム教の戒律で禁忌されている物事であり、合法とされるハラールと対照的な概念である。食におけるハラームとは、豚肉やアルコール飲料などイスラム法で不浄とされるものを含んだ食品のことを指す。

(出典：<https://www.foods-ch.com/gaishoku/1408604936996/>、フーズチャンネル「食の『ハラール』と『ハラーム』とは」より)

これらの例では、話者が話しかけている二人以上の話し相手が **siz** を用いて話す相手であることは文章の前後の文脈からも明らかであり、このような場合も **sizlar** を用いることが見て取れる。

一方、**senlar**（都会などでは **sanlar** と同）という形式は、粗野な感じを伴うぞんざいな表現であり、敬称で話し掛ける相手に対して用いることはきわめて失礼である。この表現は、主として相手を見下したり軽蔑したりする場合や、相手の行為を怒ったり非難したりする場合などネガティブな意味で用いられることが多い。しかし、ポジティブな文脈で用いられることも若干あると思われる。

senlar について、Ma'rufov ed. (1981b) では次のように解釈されている。

Senlar s.t. Kopçilikka murojaatda dağallik yoki mensimaslikni bildiradi.

（話し言葉。複数者への粗雑に扱う気持ちあるいは軽蔑を表す。）

(Ma'rufov ed. 1981b : 36)

Ma'rufov ed. (1981) でも、**senlar** の表す意味について、聞き手に対する軽蔑や粗雑に扱う気持ちといったネガティブな態度を表す時に用いられる表現として解釈されている。

senlar の現代語における使用実態を把握するために、文学作品 12 作品を調査した。なお、分析に当たって、聞き手に対する怒りや非難、軽蔑など、何らかのネガティブな意味を表す用法を「ネガティブな用法」、そうでない場合を「普通の用法」として分類した。調査対象とした小説及びその結果は次の表の通りである。

表 12. 二人称複数形 **senlar** の用法に関する調査

文学作品にみられる複数二人称代名詞 senlar の用法		
文学作品 \ 用法	ネガティブな用法	普通の用法
Eshonqul, N. 2001. Maymun yetaklagan odam.	-	-
Hoshimov, O'. 2002. Hikoyalar.	-	-
O'nar, S. 2010. Bibisora.	-	-
Said Ahmad. 2000. Tanlangan asarlar. 2-jild.	28	2
Shuhrat. 1967. Oltin zanglamas.	3	-
Tog'ay Murod. 2001. Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi.	13	-
Tohir Malik. 1994. Shaytanat. 1-kitob.	8	2
Tohir Malik. 1996a. Shaytanat. 2-kitob.	2	2
Tohir Malik. 1996b. Shaytanat. 3-kitob.	22	10
Tohir Malik. 2001. Shaytanat. 4-kitob.	20	7
To'xtaboyev, X. 1975. Besh bolali yigitcha.	4	3
Umarbekov, O'. 2002. Saylanma. 1-jild.	3	4
合計	103	30

調査の結果、何らかのネガティブな意味を含んでいる **senlar** の例が 103 例収集できたのに対し、そうでない例は 30 例のみであり、全体の 3 分の 1 しか占めていない。この結果から判断すると、

senlar は今や蔑称の意味に成り代わっていると言っても過言ではなかろう。以下にそれぞれの例をいくつか示す。

普通の用法：

中年の男性と見知らぬ若い兵士たちとの会話：

46) A [中年の男性] : Senlar-ga nima boldi, nimaga bu yerda biqinib otiribsanlar?...
お前たち-DAT 何 なった どうして この 所で 隠れて いる
(お前たち、何があった？どうしてここに隠れている？)

B [兵士の一人] : Ikki kundan beri šu yerdamiz. Očmiz. Uyga ketolmayapmiz.
二 日から ずっと その 所 空腹 家に 帰れない
(二日前からずっとここにいます。お腹が空いていますし、家にも帰れません。)

(Tohir Malik. 1996a. *Shaytanat. 2-kitob*. p. 166)

中年の女性から知り合いの子供に対する発話：

47) Rahmat, bolam, rahmat,... Menga sovg'a kerakmas. Hamma sovg'ani
ありがとう 我が子よ ありがとう 私に プレゼント いらない 全て プレゼントを

oyinga qilgin... Senlar-ni boqaman, deb bechora tinim bilmaydi.
お母さんに してね お前たち-ACC 養う と 可哀想な彼女 息抜き 知らない
(わざわざプレゼントを持ってきてくれてありがたいが、気持ちだけいただくわ。このプレゼントはお母さんに
持って行ってね。お前たちの世話をしようと彼女はいつも忙しいから。)

(Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. Sovg'a. p. 78)

前者の例は、旧ソ連時代、クラスノヤルスク市（現在のロシア連邦の都市）で2年間の兵役についている数人のウズベク人の兵士がいじめや殺害を恐れて所属先の軍隊から逃げて隠れていたところ、ウズベク人と思われる中年の男性に出くわして、助けを求めている場面からである。後者の例は、同じ地域に住んでいる知り合いの子供が、国際婦人デーを祝ってある中年の女性のためにプレゼントを持ってくるが、女性はそれを断って、プレゼントは自分の母親にあげるよう子供に教えている場面である。いずれの場合も、聞き手の認識や行為に対する話し手のネガティブな態度を含んでいないことが読み取れる。

ネガティブな用法：

父親から子供たちに対する発話：

48) Olimimni kutib otirgan ekansanlar-da. Yo-oq, men hali-veri olmayman. Bu dunyodan
私の死を 待って いた のだね いや 私 まだまだ 死なない この 世から

umidim kop. Qiz olib senlar-ni bir kuydirmasam!

私の希望 多い 処女 とって お前たち-ACC 一つ 後悔させなければ
(私の死を待っているというわけだね。でも私はまだ死ぬつもりなどないよ。まだ、この世にたくさん希望を抱いているから。処女を嫁に取ってお前たちを絶対後悔させずにはおかない。)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar: 2-jild*. Kuyov. p. 238)

父親から息子たちに対する発話：

49) Kim quvyapti uydan senlar-ni?... keyin, bilasanlarmi, osonlikcha senlar-ni
誰 追いつけている 家から お前たち-ACC そして 知っているか 簡単に お前たち-ACC

oqişga kiritib qoyganim yoq. Har birin uchun naqd on mindan berganman!

大学に 入学させて 置いたこと ない 一人一人 ために 現金 十 千ずつ あげた

(誰もお前たちを家から追いつけているわけではないし。そして、知らないだろうが、お前たちを大学に入学させるのに苦労したよ。一人一人のために現金で一万スムずつ賄賂をあげたのよ。)

(Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. O'ying oltin o'rog'i. p. 156)

前者の例は、思い通りの世話をしてくれない子供たちに対して腹を立てて苦情を言う父親の発話である。後者の例は、大学を辞めて軍隊に入ろうとしている息子たちに対して、軍隊へ行くのを諦めて大学での勉強を続けるよう子供たちを非難して言う父親の発話である。どちらの場合も、聞き手に対する怒りや非難といったネガティブなニュアンスが含まれていることが窺われる。

以上述べたことから、筆者が考える現代ウズベク語の人称代名詞の体系は次の表の通りである。

表 13. 筆者が考える現代ウズベク語の人称代名詞の体系

数		単数	複数	
人称	1 人称	men/man	biz/bizlar	
	2 人称			
	親称	sen/san	siz (稀) /sizlar	senlar/sanlar (粗野)
	敬称	siz		
	3 人称	u	ular	

この表からわかるように、二人称単数では、親称と敬称の区別がはっきりしているのに対し、二人称複数では、それが希薄になっている。つまり、敬称のみを表す複数二人称代名詞がない上、親称として用いられる *senlar* も、用いられる場面が限られており、相手に対して不快感を与えかねないあまり好ましくない表現となっている。*siz* と *sizlar* に関しては、親称としても敬称としても用いることができるという点で待遇的に無色であると言える。

4.3.5 人称代名詞と所有人称接尾辞及び述語の人称語尾との一致現象

二人称代名詞を親称と敬称に分けて考える場合、それに呼応する形で変化する所有人称接尾辞や述語の人称語尾のパラダイムも示す必要性がある。

4.3.5.1 人称代名詞と所有人称接尾辞との関係

所有人称接尾辞は、本稿の 2.2.2 でも触れた通り、「私の○○」「あなたの○○」のように、何かの所有関係を表現する時に名詞（所有物）の末尾に付けてその所有者を示す接尾辞である。日本語では、助詞の「の」によって所有者と所有物の関係が示されるが、ウズベク語では、所有格によって限定される名詞には、所有者の人称に応じて人称接尾辞を付けて、それ（所有物）が誰のものであるかを明示しなければならない。

所有人称接尾辞は、人称代名詞の属格形と呼応して、親称は二人称単数の接尾辞を取るが、敬称は、元来二人称複数由来であることから、それに呼応する形で二人称複数の形を取ることになる。

二人称単数の場合、親称では-(i)ŋ、敬称では-(i)ŋgiz という形式と呼応する。

所有人称接尾辞が二人称単数親称の **sen** と呼応する場合：

- 50) Meni qorqitma, Xongirey. **Sen-iŋ** kuč-**iŋ-ni** bilaman.

私を 脅かすな 人名 お前-GEN 力-POSS.2SG-ACC 知る

(ホングレイ、俺を脅かすな。だってお前の力を知っているのだから。)

(Tohir Malik. 1996a. *Shaytanat. 2-kitob*. p. 199)

- 51) **Sen-iŋ** dopp²²-**ŋ-ni** hidlasa, arəq içiś šart emas, yiqitadi.

お前-GEN 帽子-POSS.2SG-ACC 嗅げば ウォッカ 飲む 必要 ない 転ばせる

(お前の帽子を嗅げばウォッカを飲まなくても済むよ。その匂いで気絶するから。)

(A'zam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi*. p. 174)

所有人称接尾辞が二人称単数敬称の **siz** と呼応する場合：

- 52) Alimardon, odamlar konsertga **siz-niŋ** ašula-lar-**iŋgiz-ni** ešitiś uçuŋgina kelmaydi.

人名 人々 演奏会に あなた-GEN 歌-PL-POSS.2SG.H-ACC 聞くこと ためだけに 来ない

(アリマルドンさん。人々がコンサートに来るのは、あなたの歌を聞くためだけではないです。)

(Hoshimov, O'. 2005. *Bahor qaytmaydi*. p. 76)

- 53) Bobojon, enam **siz-niŋ** xotin-**iŋgiz** boladi-a?

おじいさん 私の祖母 あなた-GEN 妻-POSS.2SG.H なるね

(おじいさん。おばあさんがおじいさんの妻ですよ。)

(To'xtaboyev, X. 2010. *Jannati odamlar*. p. 14)

二人称複数では、**senlar** は-(i)ŋ という形式と呼応するのに対し、**sizlar** は-(i)ŋ、-(i)ŋgiz、-(i)ŋlar という三つの形式を取ることができる。

²² dopp²² は、ウズベキスタンの伝統的な帽子のことであり、折り畳み式で四角形になっているのが普通である。

所有人称接尾辞が二人称複数の **senlar** と呼応する場合：

- 54) *Senlar-niñ gap-lar-in ham oša bolanikidan qalıšmaydı.*

お前たち-GEN 話-PL-POSS.2PL も その 子供のより 劣らない

(お前たちの話もその子供の話とちっとも変わらない。)

(Tohir Malik. 1996a. *Shaytanat. 2-kitob*. p. 47)

- 55) Bilib qoyların, *senlar-niñ oq-in jənimni əlğuniča tepkini bəsişga ulguraman.*

知って おけ お前たち-GEN 弾丸-POSS.2PL 私の命を 奪うまで 引き金を 引くのに 間に合う

(肝に銘じておきなさい。お前たちが打った弾丸が俺の命を奪うまでに俺が引き金を引くのに間に合う。)

(Tohir Malik. 2001. *Shaytanat. 4-kitob*. p. 17)

所有人称接尾辞が二人称複数の **sizlar** と呼応する場合：

sizlar が-(i)η と呼応する場合：

- 56) Lekin menğa *sizlar-niñ muşmala-lar-in juda yoqdi.*

しかし 私に あなたがた-GEN 振る舞い-PL-POSS.2PL とても 気に入った

(しかし、あなたがたの振る舞いはとても気に入りました。)

(Xolmirzayev, Sh. 2005. *Saylanma. 2-jild*. Yozuvchi. p. 185)

- 57) ...*sizlar-niñ əgiz-lar-in-ga čaynab səlīb qoysa ham yutişni epləlməysizlar.*

あなたがた-GEN 口-PL-POSS.2PL-DAT 噛んで 入れて おけば も 飲み込むことを できません

(あなたたちの口に物を噛んで入れておいても、それを飲み込むことさえできない。)

(A'zam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi*. p. 36)

sizlar が-(i)ηgiz と呼応する場合：

- 58) Bu kişiga baqirib yetkizgunimča, *sizlar-niñ qubq-lar-ingiz bitadi.*

この 人に 大声を出して 伝えるまで あなたがた-GEN 耳-PL-POSS.2PL 聞こえなくなる

(この人に大声を出して伝えるまで、皆さんの耳が高音で聞こえなくなるから。)

(A'zam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi*. p. 246)

- 59) Bu narsalar *sizlar-niñ kitob-ingiz-da harəmə qilingan.*

この 物たち あなたがた-GEN 本-POSS.2PL-LOC ハラーム された

(これらの物は、あなたがたの本(聖典)でハラームとされている。)

(Tohir Malik. 1996a. *Shaytanat. 2-kitob*. p. 170)

sizlar が-(i)ηlar と呼応する場合：

- 60) *Sizlar kimsizlar, ozi? Tintuvga ruksat qəğz-inlar bərmı?*

あなたがた 誰 一体 搜索に 許可 紙-POSS.2PL あるか

(あなたたちは一体誰ですか？搜索令状はありますか？)

(Tohir Malik. 1996a. *Shaytanat. 2-kitob*. p. 18)

- 61) Bu kunlarda qism inlar-ni topish amri mahol.
 この 日々に 部隊-POSS.2PL-ACC 見つけること なかなか難しい
 (この頃、あなたがたが所属している部隊を見つけるのはなかなか難しいです。)

(Shuhrat. 1967. *Oltin Zanglamas*. p. 257)

例 61)では、所有人称接尾辞は人称代名詞を省略したいわゆるゼロ形式 (φ) と呼応していると考えられる。

以上、筆者が考える現代ウズベク語の所有人称接尾辞の体系は、下記の表にまとめられる。

表 14. 筆者が考える現代ウズベク語の所有人称接尾辞の体系

			母音で終わる単語	子音で終わる単語
単 数	1 人称		-m	-im
	2 人称	親称	-ŋ	-iŋ
		敬称	-ŋgiz	-iŋgiz
	3 人称		-si	-i
複 数	1 人称		-miz ²³	-imiz
	2 人称	親称	-ŋ	-iŋ
		親称・敬称	-ŋ/ŋgiz/ŋlar	-iŋ/iŋgiz/iŋlar
	3 人称		-si	-i

例えば、bōla (子) と kitōb (本) という語に所有人称接尾辞を付けて表示すると次のようになる。

	<u>bōla (子)</u>	<u>kitōb (本)</u>
単 1 人称 (meniŋ)	bōla-m	kitōb-im
2 人称 (seniŋ)	bōla-ŋ	kitōb-iŋ
2 人称 (sizniŋ)	bōla-ŋgiz	kitōb-iŋgiz
3 人称 (uniŋ)	bōla-si	kitōb-i
複 1 人称 (bizniŋ)	bōla-miz	kitōb-imiz
2 人称 (senlarniŋ)	bōla-ŋ	kitōb-iŋ
2 人称 (siz/sizlarniŋ)	bōla-ŋ/bōla-ŋgiz/bōla-ŋlar	kitōb-iŋ/kitōb-iŋgiz/kitōb-iŋlar
3 人称 (ularniŋ)	bōla-si	kitōb-i

²³ 所有一人称接辞(-i)miz には、話題の第三者に対して敬意や尊敬の念を込めて用いられる敬称用法があると思われるが、それについては 5.7.2 で述べる。

所有物が複数である場合、所有人称接尾辞の前に複数接尾辞-lar が先行し、それぞれ-larim、-larimiz、-larin、-laringiz、-lari となる。

4.3.5.2 人称代名詞と述語の人称語尾との一致

日本語では人称代名詞が省略されることが多いと言われるが、これはウズベク語にも共通する性質である。しかし、ウズベク語には主語の人称にしたがって語形が変化する「人称語尾」という範疇があり、同じ動詞でも行為者によって異なる語尾が付く。人称語尾は主語の人称と呼応し、文中で主語は省略することができても、動詞の人称語尾は省略することができず、必ず動詞の末尾に付ける必要がある。例えば、「(私が) 本をたくさん読んだ」という日本語の文をウズベク語で言うと、「(Men) kop kitob oqidim」のように、「読んだ」のが一人称であるかそれとも二人称、三人称であるかを必ず明示しなければならない。もしこの文の主語が「あなた」である場合は、動詞の人称語尾もそれ (二人称) に呼応して oqidin となり区別される。

吉村 (2009 : 161) では、一般に、ウズベク語には互いに異なる 4 種の人称語尾系列が存在すると指摘し、次の表を挙げている。

表 15. 吉村 (2009) が挙げるウズベク語の人称語尾系列

	I	II	III	IV
1sg	-man	-man	-m	-ay (-y)
2sg	-san	-san	-ng	-
3sg	-	-di (-ti)	-	-sin
1pl	-miz	-miz	-k	-aylik (-ylik)
2pl	-siz	-siz	-ngiz	-ing (ng)
3pl	-lar	-dilar (-tilar)	-lar	-sinlar

吉村 (2009) は、この表で提示した各系列については動詞の TAM 接辞²⁴の種類にしたがって選択されるとしているが、各系列が選択される条件については詳しく述べていない。

以下では、それぞれのグループについて、親称と敬称を考慮に入れて簡潔に述べる。なお、二人称複数の siz と呼応する人称語尾に関しては、調査で得られた用例数が少ないため、該当する例文がない場合は、二人称複数の sizlar と呼応する人称語尾と同じようなものと見なし、検証を進める。その理由としては、siz も sizlar と同様、親称と敬称の両方で用いられると考えられるからである。

グループ I

グループ I に属する人称語尾は、動詞の意志形-moq*chi*、見込形-(a)r、完了形-gan に付加される。また、名詞文や形容詞文でも用いられ、「私／あなた／彼 (彼女) は○○です」という構文の名詞や形容詞の末尾に付ける。

²⁴ 吉村 (2009) では、動詞文において、動詞語幹の後ろに後続するテンス／アスペクト／モダリティ (のいずれかあるいはそれら複数を同時に表す) 要素を表す接辞を総称して TAM 接辞と呼んでいる。

二人称単数では、sen は-san という形式と呼応し、siz は-siz という形式と呼応する。

- 62) *Sen* meni laqillat-moqchi-mi-san?

お前 私を 騙す-VOL-Q-2SG

(お前は俺を騙そうとしているか?)

(Tohir Malik. 1996b. *Shaytanat. 3-kitob*. p. 12)

- 63) *Siz* ham ilgari zamonaviy mavzuda mašq qil-gan-siz.

あなた も 以前 現代的な テーマで 練習 する-DPST-2SG.H

(あなたも以前現代的なテーマで練習したことがあるでしょう。)

(Xolmirzayev, Sh. 2005. *Saylanma. 2-jild*. Qish hangomasi. p. 38)

二人称複数では、senlar は-san、-sanlar という形式と呼応し、sizlar は-siz、-sizlar という形式と呼応する。

- 64) Hosil olgan kuni senlar ham ol-gan-sanlar.

人名 死んだ 日に お前たち も 死ぬ-DPST-2PL

(ホシルが死んだ日にお前たちも死んだも同然だ。)

(Tohir Malik. 1996b. *Shaytanat. 3-kitob*. p. 155)

- 65) A [母親]: sizlar-ga ogirlik qilgin, deb orgatganmanmi?

お前たち-DAT 泥棒 しなさい と 教えたことがあるか

(お前たちに泥棒しなさいと教えたことがあるか?)

B [息子たち]: Yoq.

いいえ

(ないです。)

- A [母親]: Meni bir gapimni ikki qil-gan-mi-sizlar?

私の 一 話を 二 する-DPST-Q-2PL

(私の言ったことに背いたことがあるか?)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar. 2-jild*. Kelinlar qo'zg'oloni. p. 235)

以上、グループ I を親称と敬称を考慮に入れて表示すると、次のようになる。

表 16. グループ I に属する人称語尾系列

数	人称	人称代名詞 (主格形)	人称語尾
単数	1 人称	men (私)	-man
	2 人称	親称 sen (お前)	-san
		敬称 siz (あなた)	-siz
	3 人称	u (彼／彼女)	-φ
複数	1 人称	biz (私たち)	-miz
	2 人称	親称 senlar (お前たち)	-san/-sanlar
		親称・敬称 siz/sizlar (お前たち／あなたがた)	-siz/-sizlar
	3 人称	ular (彼ら／彼女たち)	-φ/-lar

具体例として、「読む」という意味の *oqi-* (母音語幹動詞) と、「書く」という意味の *yoz-* (子音語幹動詞) の意志形 *-maqči* 及び見込形 *-(a)r* に付く人称語尾は次のように変化する。

意志形 (-maqči)

oqi- (読む)

yoz- (書く)

単数	1 人称		Men oqi-maqči- <u>man</u>	Men yoz-maqči- <u>man</u>
	2 人称	親称	Sen oqi-maqči- <u>san</u>	Sen yoz-maqči- <u>san</u>
		敬称	Siz oqi-maqči- <u>siz</u>	Siz yoz-maqči- <u>siz</u>
	3 人称		U oqi-maqči- <u>φ</u>	U yoz-maqči- <u>φ</u>
複数	1 人称		Biz oqi-maqči- <u>miz</u>	Biz yoz-maqči- <u>miz</u>
	2 人称	親称	Senlar oqi-maqči- <u>san/-sanlar</u>	Senlar yoz-maqči- <u>san/-sanlar</u>
		親称・敬称	Siz/Sizlar oqi-maqči- <u>siz/-sizlar</u>	Siz/Sizlar yoz-maqči- <u>siz/-sizlar</u>
	3 人称		Ular oqi-maqči- <u>φ/-lar</u>	Ular yoz-maqči- <u>φ/-lar</u>

見込形 -(a)r

単数	1 人称		Men oqi-r- <u>man</u>	Men yoz-ar- <u>man</u>
	2 人称	親称	Sen oqi-r- <u>san</u>	Sen yoz-ar- <u>san</u>
		敬称	Siz oqi-r- <u>siz</u>	Siz yoz-ar- <u>siz</u>
	3 人称		U oqi-r- <u>φ</u>	U yoz-ar- <u>φ</u>
複数	1 人称		Biz oqi-r- <u>miz</u>	Biz yoz-ar- <u>miz</u>
	2 人称	親称	Senlar oqi-r- <u>san/-sanlar</u>	Senlar yoz-ar- <u>san/-sanlar</u>
		親称・敬称	Siz/Sizlar oqi-r- <u>siz/-sizlar</u>	Siz/Sizlar yoz-ar- <u>siz/-sizlar</u>
	3 人称		Ular oqi-r- <u>φ/-lar</u>	Ular yoz-ar- <u>φ/-lar</u>

名詞文や形容詞文における使い方の具体例として、**oqituvchi**（先生）という名詞と **hursand**（嬉しい）という形容詞を使って「私（たち）／あなた（がた）／かれ（ら）は○○です」という意味の文を作ると、人称語尾は（主語の人称と数に対応して）次のように変化する。

名詞文／形容詞文			<u>oqituvchi（先生）</u>	<u>xursand（嬉しい）</u>
単数	1 人称		Men oqituvchi- <u>man</u>	Men xursand- <u>man</u>
	2 人称	親称	Sen oqituvchi- <u>san</u>	Sen xursand- <u>san</u>
		敬称	Siz oqituvchi- <u>siz</u>	Siz xursand- <u>siz</u>
	3 人称		U oqituvchi- <u>u</u>	U xursand- <u>u</u>
複数	1 人称		Biz oqituvchi- <u>miz</u>	Biz xursand- <u>miz</u>
	2 人称	親称	Senlar oqituvchi- <u>san/-sanlar</u>	Senlar xursand- <u>san/-sanlar</u>
		親称・敬称	Siz/Sizlar oqituvchi- <u>siz/-sizlar</u>	Siz/Sizlar xursand- <u>siz/-sizlar</u>
	3 人称		Ular oqituvchi- <u>u/-lar</u>	Ular xursand- <u>u/-lar</u>

グループ II

このグループに属する人称語尾は、三人称形式-**di (ti)** の有無を除いて、グループ I に属する人称語尾系列とほぼ同じである。グループ II に属する人称語尾は、動詞の現在・未来形の-**a/-y**、進行形の-**(a)yap**、発見・伝聞過去形の-**(i)p** などに付加される。

二人称単数の場合、グループ I の場合と同様、**sen**（親称）は-**san** という形式と呼応し、**siz**（敬称）は-**siz** という形式と呼応する。

- 66) E, **sen-ga** nima, bolam! Meni*ŋ* i*ŝ*imga arala*ŝ*ib nima qil-**a-san**?
 おい お前-DAT 何 我が子よ 私の 仕事に 干渉して 何 する-NPST-2SG
 （おい、お前は関係ないだろう。私の邪魔をしようとするのだ？）

(Hoshimov, O'. 1982. *Dunyoning ishlari*. Qarz. p. 4)

- 67) **Siz** nima de-y-**siz** Nazira?
 あなた 何 言う-NPST-2SG.H 人名
 （ナジラさん、あなたはどのように思いますか？）

(Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. Shirinsoy oqshomlari. p. 9)

二人称複数の場合、**senlar** は-**san**、-**sanlar** という形式と、**sizlar** は-**siz**、-**sizlar** という形式と呼応する。

- 68) E, **senlar** nimani bil-**a-sanlar**?
 おい お前たち 何を 知る-NPST-2PL
 （お前たちは何も知らないくせに...）

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar. 2-jild*. Karnay. p. 79)

- 69) *Sizlar* meni qotil de-yap-*sizlar*..
 あなたがた 私を 人殺し 言う-PROG-2PL
 (あなたがたは私を人殺したと言っていますが...)

(Xolmirzayev, Sh. 2005. *Saylanma. 2-jild. Ozodlik. p. 157*)

- 70) *Siz* tog'ri yoldan ket-ayap-*siz*, ortoqlar!
 あなたがた 正しい 道から 行く-PROG-2PL 同胞たち
 (同胞たちよ。あなたがたは正しい方向へと向かっています。)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar. 2-jild. Oq uy. p. 39*)

以上、グループⅡを親称と敬称を考慮に入れて表示すると、次のようになる。

表 17. グループⅡに属する人称語尾系列

数	人称		人称代名詞 (主格形)	人称語尾
単数	1 人称		men (私)	-man
	2 人称	親称	sen (お前)	-san
		敬称	siz (あなた)	-siz
	3 人称		u (彼/彼女)	-di
複数	1 人称		biz (私たち)	-miz
	2 人称	親称	senlar (お前たち)	-san/-sanlar
		親称・敬称	siz/sizlar (お前たち/あなたがた)	-siz/-sizlar
	3 人称		ular (彼ら/彼女たち)	-di/-dilar

例えば、oqi- (読む) という母音語幹動詞と、yoz- (書く) という子音語幹動詞の現在・未来形-a/-y 及び発見・伝聞過去形-(i)b に付く人称語尾は、主語の人称と数に対応して次のように変化する。

現在・未来形

oqi- (読む)

yoz- (書く)

単数	1 人称		Men oqi-y- <u>man</u>	Men yoz-a- <u>man</u>
	2 人称	親称	Sen oqi-y- <u>san</u>	Sen yoz-a- <u>san</u>
		敬称	Siz oqi-y- <u>siz</u>	Siz yoz-a- <u>siz</u>
	3 人称		U oqi-y- <u>di</u>	U yoz-a- <u>di</u>
複数	1 人称		Biz oqi-y- <u>miz</u>	Biz yoz-a- <u>miz</u>
	2 人称	親称	Senlar oqi-y- <u>san/-sanlar</u>	Senlar yoz-a- <u>san/-sanlar</u>
		親称・敬称	Siz/Sizlar oqi-y- <u>siz/-sizlar</u>	Siz/Sizlar yoz-a- <u>siz/-sizlar</u>
	3 人称		Ular oqi-y- <u>di/-dilar</u>	Ular yoz-a- <u>di/-dilar</u>

発見・伝聞過去形

単数	1 人称		Men oqi-b- <u>man</u>	Men yəz-ib- <u>man</u>
	2 人称	親称	Sen oqi-b- <u>san</u>	Sen yəz-ib- <u>san</u>
		敬称	Siz oqi-b- <u>siz</u>	Siz yəz-ib- <u>siz</u>
	3 人称		U oqi-b- <u>di</u>	U yəz-ib- <u>di</u>
複数	1 人称		Biz oqi-b- <u>miz</u>	Biz yəz-ib- <u>miz</u>
	2 人称	親称	Senlar oqi-b- <u>san/-sanlar</u>	Senlar yəz-ib- <u>san/-sanlar</u>
		親称・敬称	Siz/Sizlar oqi-b- <u>siz/-sizlar</u>	Siz/Sizlar yəz-ib- <u>siz/-sizlar</u>
	3 人称		Ular oqi-b- <u>di/-dilar</u>	Ular yəz-ib- <u>di/-dilar</u>

グループⅢ

グループⅢに属する人称語尾は、動詞の過去形-di や条件形-sa などに付加される。

二人称単数の場合、sen（親称）は-ŋ という形式と呼応し、siz（敬称）は-ŋgiz という形式と呼応する。

- 71) ...sen ozi ogliŋ bilan keyin gaplaŋib kor-di-ŋ-mi?
 お前 一体 お前の息子 と 後で 話して 見る-PST-2SG-Q
 (お前は一体お前の息子と後でちゃんと話してみたのか?)

(A'zam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi*. p. 9)

- 72) Bobəjon, siz čočqaniŋ bəlasini oldirib qoy-di-ŋgiz-mi?
 おじいさん あなた 豚の 子を 殺して しまう-PST-2SG.H-Q
 (おじいさん、あなたは豚の子を殺してしまったのですか?)

(To'xtaboyev, X. 2010. *Jannati odamlar*. p. 77)

二人称複数では、動詞の人称語尾の種類が多く、さまざまな形式が用いられる。例えば、senlar の場合、-ŋ、-ŋlar、-larinŋ という形式が用いられ、sizlar の場合、-ŋgiz、-ŋgizlar、-ŋlar、-larinŋ、-laringiz という形式が用いられる。

senlar と呼応する場合：

- 73) Senlar ozi, qayerda os-di-ŋ?
 お前たち 一体 どこで 育つ-PST-2PL
 (お前たちは一体どこで育ったの?)

(Toğ'ay Murod. 2001. *Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi*. p. 78)

- 74) Bu yaxšiligim učen senlar meni olimga hukm qil-di-ŋlar.
 この 私のいい行い ために お前たち 私を 死刑に 判決 する-PST-2PL

(私のこのようないい行いのためにお前たちは私に死刑の判決を下した。)

(Tohir Malik. 2001. *Shaytanat. 4-kitob*. p. 23)

- 75) *senlar* meni bir hayvon qatarida *kor-sa-larin* ham odamman.

お前たち 私を 一 動物 として 見る-COND-2PL も 人間

(お前たちは私を一匹の動物として見ても(私は)人間だ。)

(Tohir Malik. 2001. *Shaytanat. 4-kitob*. p. 22)

sizlar と呼応する場合 :

- 76) *Sizlar* bu dunyoda halol *yaša-di-ngiz* umrlaringiz azob bilan otdi.

あなたがた この 世で ハラール 生きる-PST-2PL あなたがたの人生が 苦しみ と 過ぎた

(あなたがたはこの世に生まれてハラールな行いをして暮らして来ました。苦しい人生を送ってきました。)

(Tohir Malik. 1996b. *Shaytanat. 3-kitob*. p. 115)

- 77) *Sizlar* uchrashib *tur-sa-ngizlar* kerak?

あなたがた 会って 立つ-COND-2PL 必要

(あなたがたは時々会ったりしていますか?)

(Xolmirzayev, Sh. 2005. *Saylanma. 2-jild*. Bulut to'sgan oy. p. 222)

- 78) *...sizlar* ham oqishlarni qoldirib, otas-onalarini tašlab *kel-di-nlar*.

あなたがた も 学ぶことを 止めて 両親を 残して 来る-PST-2PL

(あなたがたも学校を辞めてご両親を残してきました。)

(Xolmirzayev, Sh. 2005. *Saylanma. 2-jild*. O'zbek xarakteri. p. 65)

- 79) *Sizlar* qačon *kel-di-larin*?

あなたがた いつ 来る-PST-2PL

(あなたがたはいつ来ましたか?)

(To'xtaboyev, X. 2010. *Jannati odamlar*. p. 125)

- 80) *Sizlar* qanchalik kop yordam *ber-sa-laringiz* biz o'charčilikni šunčalik tez tugatamiz.

あなたがた どれだけ 多く 手伝い 下さる-COND-2PL 私たち 飢饉を それだけ 早く 終わらせる

(あなたがたが援助の手を差し伸べれば差し伸べるほど、私たちは飢饉をそれだけ早く終わらせられます。)

(Tog'ay Murod. 2001. *Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi*. p. 7)

以上、グループⅢを親称と敬称を考慮に入れて表示すると、次のようになる。

表 18. グループⅢに属する人称語尾系列

数	人称	人称代名詞（主格形）	人称語尾
単数	1 人称	men (私)	-m
	2 人称	親称 sen (お前)	-ŋ
		敬称 siz (あなた)	-ŋgiz
	3 人称	u (彼／彼女)	-φ
複数	1 人称	biz (私たち)	-k
	2 人称	親称 senlar (お前たち)	-ŋ/-ŋlar/-larin
		親称・敬称 siz/sizlar (お前たち／あなたがた)	-ŋgiz/-ŋgizlar/-ŋlar/-larin/-laringiz
	3 人称	ular (彼ら／彼女たち)	-φ/-lar

例えば、oqi-（読む）という母音語幹動詞の過去形-di 及び条件形-sa に付く人称語尾は、主語の人称と数に対応して次のように変化する。

過去形

oqi-（読む）

単数	1 人称		Men oqi-di- <u>m</u>
	2 人称	親称	Sen oqi-di- <u>ŋ</u>
		敬称	Siz oqi-di- <u>ŋgiz</u>
	3 人称		U oqi-di- <u>φ</u>
複数	1 人称		Biz oqi-di- <u>k</u>
	2 人称	親称	Senlar oqi-di- <u>ŋ/-ŋlar/-larin</u>
		親称・敬称	Siz/Sizlar oqi-di- <u>ŋgiz/-ŋgizlar/-ŋlar/-larin/-laringiz</u>
	3 人称		Ular oqi-di- <u>φ/-lar</u>

条件形

単数	1 人称		Men oqi-sa- <u>m</u>
	2 人称	親称	Sen oqi-sa- <u>ŋ</u>
		敬称	Siz oqi-sa- <u>ŋgiz</u>
	3 人称		U oqi-sa- <u>φ</u>
複数	1 人称		Biz oqi-sa- <u>k</u>
	2 人称	親称	Senlar oqi-sa- <u>ŋ/-ŋlar/-larin</u>
		親称・敬称	Siz/Sizlar oqi-sa- <u>ŋgiz/-ŋgizlar/-ŋlar/-larin/-laringiz</u>
	3 人称		Ular oqi-sa- <u>φ/-lar</u>

グループIV

グループIVに属する人称語尾は命令文で用いられる。命令形の表す意味は、一人称では「Vしよう」「Vしましょう」などの意向や勧誘を、二人称では「Vしなさい」「Vして下さい」などの指示や命令を表す。三人称では「Vしますように」などの放任や志願を表す他、「(彼／彼女に) Vさせなさい/Vさせて下さい」のように、第三者に対する願望を聞き手に依頼する場合にも用いられる。

二人称単数の場合、sen（親称）は・φ、-gin という形式と呼応し、siz（敬称）は-(i)η、-(i)ηgiz という形式と呼応する。

- 81) Kurra, *sen* ham otir-*φ*.
 あだ名 お前 も 座る-IMP.2SG
 (クッラ、お前も座れ。)

(Xolmirzayev, Sh. 2005. *Saylanma. 2-jild. Ozodlik. p. 152*)

- 82) *Siz-ga* maslahat, advokat ol-*in*.
 あなた-DAT アドバイス 弁護士 取る-IMP.2SG.H
 (アドバイスですが、弁護士を雇ったらどうですか?)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar. 2-jild. Bo'ri ovi. p. 50*)

親称の場合、命令形は接辞-gin で表されると、命令口調を和らげる効果がある。

- 83) Endi *san* uylan-*gin* bolam.
 そろそろ お前 結婚する-IMP.2SG 我が子よ
 (もうそろそろお前も結婚しなさい。)

(Tohir Malik. 1994. *Shaytanat. 1-kitob. p. 89*)

なお、敬称の-(i)ηgiz という形式はやや古い形式であり、現代語ではあまり用いられない。この形式は、主として歴史ドラマや歴史小説などで用いられる。

-(i)ηgiz の二人称命令語尾としての用法について、Zikrillayev (1990 : 45~49) にも指摘がある。同論文によると、-(i)ηgiz は、歴史的に見て、二人称命令語尾-(i)η と同様、丁寧な命令形式として用いられていたが、現代語では、シャフリサブズ (Shahrisabz) 地方の一部の方言を除き、ほとんど用いられなくなったという。

命令語尾-(i)ηgiz の使用状況を確認するために、現代の文学作品 12 作品と歴史小説 2 作品を調査した。なお、これらの作品中、命令語尾-(i)ηgiz が読み手に対して用いられた場合や手紙や詩の中で用いられた場合は調査対象から排除した。調査した小説及びその結果は次の表の通りである。

表 19. 二人称命令語尾-(i)ngiz の使用状況に関する調査 1 (現代の文学作品)

現代の文学作品にみられる二人称命令語尾-(i)ngiz の使用状況		
文学作品 \ 用法	単数用法	複数用法
Eshonqul, N. 2001. Maymun yetaklagan odam.	-	-
Hoshimov, O'. 2002. Hikoyalar.	-	-
O'nar, S. 2010. Bibisora.	-	-
Said Ahmad. 2000. Tanlangan asarlar. 2-jild.	-	-
Shuhrat. 1967. Oltin zanglamas.	-	-
Tog'ay Murod. 2001. Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi.	1	-
Tohir Malik. 1994. Shaytanat. 1-kitob.	-	-
Tohir Malik. 1996a. Shaytanat. 2-kitob.	2	1
Tohir Malik. 1996b. Shaytanat. 3-kitob.	-	1
Tohir Malik. 2001. Shaytanat. 4-kitob.	-	-
To'xtaboyev, X. 1975. Besh bolali yigitcha.	-	-
Umarbekov, O'. 2002. Saylanma. 1-jild.	-	-
合計	3	2

表 20. 二人称命令語尾-(i)ngiz の使用状況に関する調査 2 (歴史小説)

現代の文学作品にみられる二人称命令語尾-(i)ngiz の使用状況		
文学作品 \ 用法	単数用法	複数用法
Qodiriy, A. 1926. O'tkan kunlar.	112	9
Qodirov, P. 1988. Yulduzli tunlar.	9	2
合計	121	11

調査の結果、命令形-(i)ngiz の用例数は、歴史小説 2 作品において単数・複数用法を合わせて合計 132 例あるのに対し、現代の文学作品 12 作品中合計 5 例のみである。このことは、命令形-(i)ngiz が古い用法であることを改めて裏付けている。

歴史小説における用例を観察すると、命令形-(i)ngiz が単数・複数のいずれにも用いられているが、単数として用いる例が圧倒的に多く、全体の 91%を占めている。これは、siz が敬称の単数二人称代名詞として用いられることが多いことと関連があると思われる。以下、単数敬称用法についてそれぞれ例を挙げる。

- 84) Bōrib, haydab yubor-ingiz!
 行つて 追ひ払つて 送る-IMP:2SG.H
 (行つて追ひ払つて下さい。)

(Tog'ay Murod. 2001. *Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi*. p. 44)

- 85) Otabek, **siz** javob ber-**ingiz**..
 人名 あなた 返事 挙げる-IMP.2SG.H
 (オタバックさん、あなたは返事して下さい。)

(Qodiriy, A. 1926. O'tkan kunlar. p. 39)

二人称複数の場合、senlar は-φ、-(i)ŋlar、-larin という形式と呼応し、sizlar は-(i)ŋ、-(i)ŋlar、-(i)ŋgiz、-(i)ŋgizlar という形式と呼応する。

senlar と呼応する場合：

- 86) **Senlar** jim tur-**φ**.
 お前たち 静か 立つ-IMP.2PL
 (お前たちは静かにしろ。)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar: 2-jild*. Kelinlar qo'zg'aloni. p. 229)

- 87) „**senlar-ni** boquvga olib kelgan, semirib **qol-inlar**..
 お前たち-ACC 飼育に 連れて 来た 太って 残る-IMP.2PL
 (はい。お前たちを飼って育てるために連れて来たのだから太っておけ。)

(Shuhrat. 1967. *Oltin zanglamas*. p. 268)

- 88) E, **senlar** jim otir-**larin**.
 おい お前たち 静か 座る-IMP.2PL
 (おい、お前たち。静かにしている。)

(Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar: 2-jild*. Kelinlar qo'zg'aloni. p. 233)

sizlar と呼応する場合：

- 89) Mayli, **sizlar** ham sora-**ŋ** suriştir-**ŋ**..
 よろしい あなたがた も 聞く-IMP.2PL 尋ねる-IMP.2PL
 (あなたがたもちゃんと聞いてみて下さい。)

(Hoshimov, O'. 1982. *Dunyoning ishlari*. Sovchilar. p. 24)

- 90) **Sizlar** g'afatda **qol-ma-ŋlar**, hušyor **bol-inlar**!
 あなたがた 油断で 残る-NEG-IMP.2PL 注意 なる-IMP.2PL
 (あなた方は油断しないで気を付けて下さい。)

(Eshonqul, N. 2001. *Maymun yetaklagan odam*. Ajr. p. 68)

- 91) O'rqadošlar! Murdalarni **ol-ingiz**! Korišsin rahbarlar!
 同胞たち 複数の死体を 取る-IMP.2PL 見ますように 役人たち
 (同胞たちよ！役人たちが見るように死体を出して下さい。)

- 92) Nimaga tirjayasizlar, - dedi kosa, - korgan bolsalaringiz ayt-ingizlar...
 なぜ にやにやしています 言った 薄髭の男 見た なれば 言う-IMP.2PL
 (「にやにやしていないで、見たなら見たと言って下さい。」と薄髭の男は言った。)

(Tog'ay Murod. 1980. *Oydinda yurgan odamlar*. p. 43)

以上、グループIVを親称と敬称を考慮に入れて表示すると、次のようになる。

表 21. グループIVに属する人称語尾系列

数	人称		人称代名詞 (主格形)	人称語尾
単数	1 人称		men (私)	-(a)y
	2 人称	親称	sen (お前)	- ϕ /-gin
		敬称	siz (あなた)	-(i)ŋ/-(i)ŋgiz
	3 人称		u (彼/彼女)	-sin
複数	1 人称		biz (私たち)	-(a)ylik
	2 人称	親称	senlar (お前たち)	- ϕ /-(i)ŋlar/-larin
		親称・敬称	siz/sizlar (お前たち/あなたがた)	-(i)ŋ/-(i)ŋlar/-(i)ŋgiz/-(i)ŋgizlar
	3 人称		ular (彼ら/彼女たち)	-sin/-sinlar

例えば、oqi- (読む) という動詞と、yoz- (書く) という動詞の命令形は次のように変化する。

命令形			<u>oqi-</u> (読む)	<u>yoz-</u> (書く)
単	1 人称		Men oqi- <u>y</u>	Men yoz- <u>ay</u>
	2 人称	親称	Sen oqi- <u>ϕ /-gin</u>	Sen yoz- <u>ϕ /-gin</u>
		敬称	Siz oqi- <u>ŋ /-ngiz</u>	Siz yoz- <u>in /-ingiz</u>
	3 人称		U oqi- <u>sin</u>	U yoz- <u>sin</u>
複	1 人称		Biz oqi- <u>ylik</u>	Biz yoz- <u>aylik</u>
	2 人称	親称	Senlar oqi- <u>ϕ /-ŋlar/-larin</u>	Senlar yoz- <u>ϕ /-inlar/-larin</u>
		親称・敬称	Siz/Sizlar oqi- <u>ŋ /-ŋlar/-ngiz/-ngizlar</u>	Siz/Sizlar yoz- <u>in /-inlar/-ngiz/-ngizlar</u>
	3 人称		Ular oqi- <u>sin/-sinlar</u>	Ular yoz- <u>sin/-sinlar</u>

ここで、ウズベク語の人称語尾系列を再表示すると、次のようになる。

表 22. 筆者が考える現代ウズベク語の人称語尾系列

数	人称	I	II	III	IV
単数	1 人称	-man	-man	-m	-(a)y
	2 人称	親称	-san	-san	-η/-gin
		敬称	-siz	-siz	-(i)η/-(i)ηgiz
	3 人称	-φ	-di	-φ	-sin
複数	1 人称	-miz	-miz	-k	-(a)ylik
	2 人称	親称	-san/-sanlar	-η/-ηlar/-larin	-φ/-(i)ηlar/-larin
		親称・敬称	-siz/-sizlar	-ηgiz/-ηgizlar/-ηlar/-larin/ -laringiz	-(i)η/-(i)ηlar/-(i)ηgiz/ -(i)ηgizlar
	3 人称	-φ/-lar	-di/-dilar	-φ/-lar	-sin/-sinlar

4.3.6 まとめ

以上、現代ウズベク語の二人称代名詞の使用状況や使い分けの問題などについて論じてきたが、要点をまとめると次のようになる。

- ① 元来複数二人称代名詞として扱われてきた **siz** は、現代語では複数用法としてほぼ用いられず、もっぱら敬称の単数二人称代名詞として機能している。
- ② 二人称単数の場合、親称と敬称の区別が認められ、同年齢あるいは年下の人に対して親しみを込めて用いられる **sen** と、年上の人に対して敬意を込めて用いられる **siz** の区別があるが、二人称複数ではそれが希薄になっている。つまり、二人称複数の **senlar** は、同等以下の複数の相手に対して、主としてマイナス評価を込めつつ見下して呼ぶ場合に用いられる代名詞であるのに対し、**sizlar** は親称と敬称の両方で用いられる待遇的に中立的な代名詞である。
- ③ 親族関係において、一般的な傾向として、両親やおじ・おば、兄・姉など自分より年上の親族に対して **siz** (敬称) を用い、弟・妹、甥・姪、子、孫など年下の親族に対して **sen** (親称) を用いる。なお、嫁や婿あるいは兄弟姉妹の配偶者などに対して敬称を用いるのが普通であるが、時間が経つにつれて仲良くなり親称に移ることも少なくない。
- ④ 夫婦間では、一般に、夫が妻に対して親称を用い、妻が夫に対して敬称を用いるが、女性の社会進出が進むにつれ、互いに敬称を用いる夫婦も増加してきている。
- ⑤ 非親族関係では、初対面やあまり知らない人、上司や先輩、年上の知り合いなどに対して敬称を用い、友人や年下の知り合いなどに対して親称を用いるのが一般的である。なお、相手が子供である場合は、たとえ初対面でも親称を用いるが普通である。
- ⑥ ウズベク語では、主語の人称や数に応じて所有人称接尾辞や動詞の人称語尾が変化するが、二人称単数の親称と敬称の場合も同じく、**sen** を使うかそれとも **siz** を使うかによって、それぞれ違う所有人称接尾辞と人称語尾が付く。この場合、親称は二人称単数の活用をし、敬称は二人称複数の活用をする。

いずれも、具体的な形式・用法については、本文で述べた通りである。

4.4 ウズベク語と日本語の人称代名詞の対照

今回の調査で明らかになったウズベク語の人称代名詞と、4.1.1 で整理した日本語の人称代名詞（及びそれに相当する語）を対照して、大きな違いとともにわずかではあるが類似性も見いだせた。以下にまとめた通りである。

まず、相違点としては次の諸点が認められる。

日本語には、「あなた」「あんた」「君」「お前」「貴様」など二人称代名詞として用いられる語の種類が多く、話し手と聞き手の人間関係によって適宜使い分けられているが、いずれも使用対象及び使用範囲がかなり限定されている。一方、ウズベク語の二人称代名詞は、種類が少ないが、使用範囲が日本語に比べて遥かに広い。例えば、ウズベク語の二人称代名詞 **siz** (**sizlar** も) は、目上の人や見知らぬ人は勿論、友人や恋人、目下の人にまで使うことができるのに対し、日本語の二人称代名詞（及びそれに相当する語）は、いずれも同等以下の人に対してのみ用いることができるという使いにくさがある。最もフォーマルで丁寧な表現とされる「あなた」でさえ、目上に対して使うことは失礼とされており、代わりに「姓+敬称」「姓+称号」などが使われる。家庭内においても、日本語では、自分より年上の者に対して人称代名詞の使用を避ける傾向があるが、ウズベク語では問題なく使える。

また、日本語はジェンダーによる言語使用の差が大きく、人称代名詞の使用においても、男女それぞれに専用の人称代名詞が存在するが、ウズベク語ではそのような現象はみられない。

さらに、日本語では、「あなた」や「君」などを呼びかけ語として用いることができるが、ウズベク語ではそのような用法はみられない。なお、ぞんざいな言い方で「Hey, siz!」（ねえ、あなた!）「Hov, san!」（おい、お前!）などと呼びかけることは稀にあるが、しかし、このような場合、呼びかけは **hey** や **hov** などの感動詞によって行われていると考えられ、**siz** や **sen** に呼びかけの機能があるわけではない。

類似点としては、日本語では、人称代名詞が省略されることが多いと言われるが、これはウズベク語にも共通する性質である。しかし、人称代名詞が省略される要因は、日本語とウズベク語とではそれぞれ異なる。日本語では、敬語表現や授受表現が多用され、これらの表現における人称暗示機能や方向性の明確さが人称代名詞の使用頻度差に影響する主な要因となっている。

一方、ウズベク語では、述語の人称語尾が主語の人称・数を表示するというのが要因として挙げられる。

第5章 親族語

この章では、ウズベク語と日本語での親族間で用いられる呼称表現の使い分けの現状と特徴を検討し、両言語の呼称の仕組みを整理・分析する。具体的には、ウズベク語母語話者と日本語母語話者を対象に行ったアンケート調査に基づいて、親族・姻族に呼びかけたり言及したりする際の親族呼称について、相手との距離や年齢の上下、相手の社会的地位といったさまざまな対人的要因とのかかわりを詳細に検証し、両言語の類似点と相違点を明らかにすることを目的とする。

5.1 先行研究

5.1.1 日本語の親族語に関する先行研究

日本語の親族呼称については、膨大な研究があり、運用の問題に限っても、鈴木(1973, 1979, 1982, 1998)、谷(1974a, 1974b, 1978)、渡辺(1978)、セペフリバディ(2012)などが挙げられる。

鈴木(1973: 146~155)は、話し手が自分自身に言及する言葉の全てを総括して「自称詞」と呼び、話し相手に言及する言葉を総称して対称詞と呼んでいる。また、親族間での呼び方を土台に、「目上・目下」による呼称の原則を見出し、その用法の制約について次の五つの条件を挙げている。

- ① 目上の親族に対して人称代名詞を使って呼びかけたり、言及したりすることはできないが、目下の親族に対してはできる。
- ② 目上の親族を通常、親族語を用いて呼ぶが、目下の親族に対してはそれができない。
- ③ 目上の親族を名前だけで直接呼ぶことはできないが、目下の親族に対してはできる。
- ④ 目上の親族に対して自分を名前で呼ぶことはできるが、目下の親族に対してはそれができない。
- ⑤ 目下の親族に対して自分を相手の立場から見た親族語で称することができるが、目上の親族に対してはそれができない。

さらに、このような親族間の原則は、親族外の社会的場面にも当てはめられると指摘し、親族語の非親族に対して使われる虚構的用法についても詳しく論じている。

谷氏の一連の研究では、日本語の親族語の使用にみられる対人関係の分析に重点が置かれ、他言語との比較を通して詳細な考察が行われている。

渡辺(1978: 32~38)は日本語の親族語の特徴として次のようなことを挙げている。

- ① 個人親族語²⁵には単語の数が多いものと少ないものがある。
単語の数が多いもの：父・母・祖父・祖母・夫・妻などを表す個人親族語。
単語の数が少ないもの：孫・おい・めい・いとこなどを表す個人親族語。
- ② 下の世代及び兄・姉を除く同一世代の個人親族語は、全て名称にしか使用できず、呼称には人名を使用する。一方、兄・姉を含む上の世代の個人親族語は呼称にも名称にも使用できるが、人名は呼称に使えない。
- ③ 兄・姉を含む上の世代の個人親族語は、呼称として使用できるものとできないものがある。
父・母・祖父・祖母や兄・姉などは名称には使えるが、呼称には使えない。

²⁵ 渡辺(1978)は日本語の親族語彙を6つに分類し、そのうち、個人と個人の親族関係のみを指し示す語を「個人親族語」と呼び、祖父・祖母・父・母・おじ・おば・兄・姉・弟・妹・おい・めいなどを挙げている。

- ④ 個人親族語は年少の子供の立場からも使用できる。例えば、親が自分の子供に向かって、自分のことを（子供の立場からの）「お父さん」「お母さん」と言うことができる。
 - ⑤ 年少期に、親族によって獲得した呼称や名称は生涯にわたって根強く残存する傾向がある。
 - ⑥ 個人親族語の中には意味が多義語化して年齢階梯語として使用されるものがある。祖父・祖母・おじ・おば・兄・姉・むすめを意味する個人親族語を、それぞれ老人の男・女、中年の男・女、若い男・女として使用する。
 - ⑦ 日本語の年齢階梯語化した兄・姉名称には、一種のもちあげことばとしての用法さえある。例えば、泣いている子供に、たとえその子に弟や妹がいなくても、「痛くても泣かない！△△ちゃんは、もうお兄ちゃん（・お姉ちゃん）なんだから。」というような場合である。
 - ⑧ 個人親族語は、直系と傍系を区別するが、父系と母系を区別しない。例えば、親と親の兄弟姉妹は区別するが、親の兄弟姉妹は、父系も母系も同じおじ・お婆である。
- セペフリバディ（2012）は、現代日本語の親族成員間の呼びかけ表現に限って、話し手と話し相手の年齢や性差などに着目して考察したものである。同論文では、鈴木（1973）の「目上・目下」の原則について、現在では変わっている可能性がある」と指摘し、東京在住の日本人 250 名を対象にアンケート調査を実施し、部分的に鈴木説に反する点や指摘されていない新たな点について指摘している。同論文の主張をまとめると次のようになる。
- ① 父母・祖父母に対して「名前・あだな＋さん／ちゃん」などの呼称も若干使われており、「さん」は父母で、「ちゃん」は祖父母でそれぞれ優勢であると述べている。
 - ② 兄・姉に対して、親族呼称以外に、名前やあだ名など非親族呼称で呼ぶことも多く、会話の中では、「あなた」「あんた」「お前」などの人称代名詞を使うこともある。
 - ③ 話し手の年代によって呼び方が変わり、成長とともに呼称の社会化が観察される。特に男子のほうが女子よりも早く幼児語的な呼称を避け、社会的な呼称を使用しようとする傾向が強い。

5.1.2 ウズベク語の親族語に関する先行研究

ウズベク語の呼称表現に関する研究において、親族語に関する著書や論文は、大川・Aliqulov・Kahramanogʻli（2000）（以下大川他（2000））、Isayeva（2014）など、それほど多くないようである。

大川他（2000）は、日本語・ウズベク語・カザフ語・トルコ語の親族語について、標準的なモデルと考えられるものを、家系図を模した図で示したものである。大川他（2000）には、親族語の意味の取違いや、話し言葉と書き言葉の混同など問題が散見する。具体的には、以下のようなことが指摘できる。

- ① *nevara*（孫）の子に当たる親族語として *čevara* を挙げ、*čevara* の子に当たる親族語として *evara* を挙げているが、Maʼrufov ed.（1981）の記述では、*evara* と *čevara* の関係は大川他（2000）が挙げているものと正反対である。この二つの親族語に関する Maʼrufov ed.（1981）の記述は次の通りである。

EVARA *Nevaraniḡ bolasi (bōbōga, buviga nisbatan) .*
 (*nevara*（孫）の子（祖父と祖母に対して）) (1981b : 437)

ČEVARA Evaraniñ farzandi — oğli yoki qizi (katta bobōga, buviga nisbatan) .
(evara の子、その息子或いは娘 (曾祖父と曾祖母に対して)) (1981b : 361)

つまり、nevara の子は evara であり、evara の子は čevara であるということである。

- ② 配偶者の兄弟姉妹の子を表す親族語として qayinboyin という語が充てられているが、Ma'rufov ed. (1981) では、それが配偶者の近い親戚として解釈されている。

QAYINBOYIN Erniñ yaqin qarindōslari (uniñ xōtiniga nisbatan) yoki xōtinniñ yaqin qarindōslari (uniñ eriga nisbatan) .
(夫の近い親族 (妻に対して) または妻の近い親族 (夫に対して))
(1981b : 537)

これは、qayinboyin という親族語の表わす範囲がより広いことを意味している。しかし、どこまで qayinboyin と言えるのかははっきり示されていない。

- ③ 親族語の標準的なモデルに対応するものとして、次のようなバリエントを挙げているが、それらの使い分けについては他に何も述べていない。

親族語の標準的なモデル	対応するバリエント
aka (兄)	birōdar/ōga
amakivačča (おじの子 (父方))	amaki/amakiča
ammavačča (おばの子 (父方))	amma/ammača
buva (祖父)	bōbō/katta dada/katta ōta
buvi (祖母)	ača/bibi/katta ena/katta ōna/katta ōyi/mōma
er (夫)	bōy/kuyōv/qayliq/qalliq/rafiq/turmuš ortōgi/ umr yoldōši/umrdōš/yōstiqdōš/zavj/ortōq
katta amaki (伯父 (父方))	aka/amaki
katta amma (伯母 (父方))	amma
katta qaynana (舅・姑の母)	katta buvi/katta qaynōna/qaynana
katta qaynata (舅・姑の父)	katta buva/katta qaynōta/qaynata
katta tōga (伯父 (母方))	tōga
katta xōla (伯母 (母方))	xōla
kičik amaki (叔父 (父方))	aka/amaki/amakiča
kičik amma (叔母 (父方))	amma/ammača
kičik tōga (叔父 (母方))	tōga/tōgača
kičik xōla (叔母 (母方))	xōla/xōlača
nevara (孫)	nabira/navara
nevara kelin (孫の妻)	kelin/nabira kelin/navara kelin
nevara kuyōv (孫娘の夫)	kuyōv/nabira kuyōv/navara kuyōv
ōna (母)	aya/ača/buvi/ena/ōyi/ōpa/vōlida
ōpa (姉)	egači/ōpača

ota (父)	ada/dada/padar
počča (兄の妻)	jezna/yazna/yezna
qaynana (姑)	ona/qayin ona/qaynona
qaynata (舅)	ada/dada/ota/qayin ota/qaynata
qaynağa (夫・妻の兄)	aka/oğa/počča/qayin oğa/qaynoğa
qaynegači (夫・妻の姉)	qayin egači/qayin opa/qaynopa
qayni (夫・妻の弟)	qayin ini/qayn/qaynini
qaynsingil (夫・妻の妹)	boldiz/qayin singil
təgavačča (おじの子 (母方))	təga/təgača
uka (弟)	birədar/ini
xolavačča (おばの子 (母方))	xola/xolača
xotin (妻)	ayol/ortəq/əila/qayliq/qalliq/rafiqa/turmuş ortəgi/ urm yoldəši/umrdəš/yəstiqdəš/zavja/zaifa/
yanğa (兄やおじなどの妻)	kelinəyi

(pp.42-44 により要約)

それらのバリエーションの中には、方言や話し言葉、古形などが混ざっていると思われ、例えば、er (夫) を意味する親族語のうち、zavj は古形であり、turmuş ortəgi は改まった場面で用いられ、yəstiqdəš は詩など硬い文体で用いられる言い方である。

Isayeva (2014) は、親族語を性による区別という観点から、次の三つに分けて検討している。

- 1) 男性に対して使われる親族語 : dada (父), ota (父), padari buzrukvər (父 : 古形), hazrat otajon (父 : 古形), aka (兄), ini (弟), uka (弟), kuyov (年下の女性親族 (娘や妹、姪など) の夫), içkuyov (妻の家族と一緒に住む夫), oğil (息子), oğlon (息子), er (夫), čol (夫), bobo (祖父), amaki (父方のおじ)
- 2) 女性に対して使われる親族語 : qiz (娘), opa (姉), singil (妹), qayinegači (夫あるいは妻の姉), qayinsingil (夫あるいは妻の妹), kelin (年下の男性親族 (息子、弟、甥、従弟など) の妻), kelinəyi (年上の傍系男性親族 (兄、叔父、従兄など) の妻), əvsin (夫の兄弟の妻), ona (母), hazrat onajon (母 : 古形), aya (母 : 方言), əyi (母 : 方言), qaynona (姑), amma (父方のおば), xola (母方のおば), buvi (祖母), ena (祖母 : 方言), mamo (祖母 : 方言)
- 3) 性の区別なく使われる親族語 : jigar (兄弟姉妹や子など近い親族), jigarband (兄弟姉妹や子など近い親族), bola (子), farzand (子), nabira (孫), nevara (孫), begim (夫婦間で使われる愛称表現)

他に、親族語の呼びかけの用法や接辞添加の問題、親族語の非親族に対する使用などについても指摘している。

Isayeva (2014) にはいくつかの問題を指摘することができる。

- ① 親族語の性別に関する考察は、標準語や方言、古形などが混ざっていて、きちんと整理されていない。
- ② 列挙している親族語の中に、親族関係を表わさないとと思われる語が混じっている。例えば、年配男性に対する見下した呼びかけ表現である boboy、「私の主」という意味の begim (夫への愛称として用いられることもある)、「年配男性」という意味の čol (老齢の夫に対する呼びかけに

転用される) など。

- ③ 取り上げているものは、ウズベク語の親族語の一部のみであり、親族語の全体系の整理という課題が残されている。例えば、父方のおじである *amaki* は挙げているが、母方のおじである *toğa* は挙げしていない。年上の傍系男性親族の妻である *kelinoyi* については扱っているが、姉あるいは年上の近い親族の夫である *počča* については扱っていない。
- ④ 接辞添加の問題に関する考察は浅く、親族語に添加できる接辞の種類や使用範囲などが正確に示されていない。例えば、Isayeva (2014) によると、接辞-*jon* は *oyi* (母) という親族語に、接辞-*gina* は *ona* (母) という親族語に添加して、親愛の情などの意味を添えるとしているが、接辞-*jon* は、*oyi* に限らず、*ada* (父) や *aka* (兄) など他の親族語に付けることができるし、接辞-*gina* も多くの親族語に添加することができると思われる。
- ⑤ Isayeva (2014) は、呼びかけの表現として *dadasi* や *otasi* などの表現について指摘しているが、これらの表現に関する詳しい分析は行っていない。*dadasi* や *otasi* は、それぞれ
dadasi → *dada* (父) + *-si* (3 人称所有)
otasi → *ota* (父) + *-si* (3 人称所有)
という構造であり、妻が夫に対して「お父さん!」と呼びかけるような表現である。これらの表現は子供の立場から親族に呼びかける現象であり、通常の親族語とは性質が異なる。大人が子供に同調して、子供の立場から親族に呼びかけたり言及したりするという親族語の特殊の用法は十分に検討する必要があると思われる。
- ⑥ 親族語の非親族に対する使用に関する指摘も不十分であり、親族ではない人に対して使われる親族語の選択基準や種類、相手との距離や年齢の上下、相手の社会的地位など諸ファクターとのかかわりを詳細に検討する必要がある。
- ⑦ 文学作品の用例に基づいて親族語の考察・分析を行っているが、例証は十分とは言えない。実際、親族語の運用に関する指摘において参考になっている例は 1、2 例のみであり、これだけでは、親族語の運用に関する問題を十分に把握することは難しい。アンケートや事例調査など、より多くのデータに基づいた検証が望ましい。

5.2 問題提起

本稿ではウズベク語の親族呼称について、以下の諸点を分析し検討する。

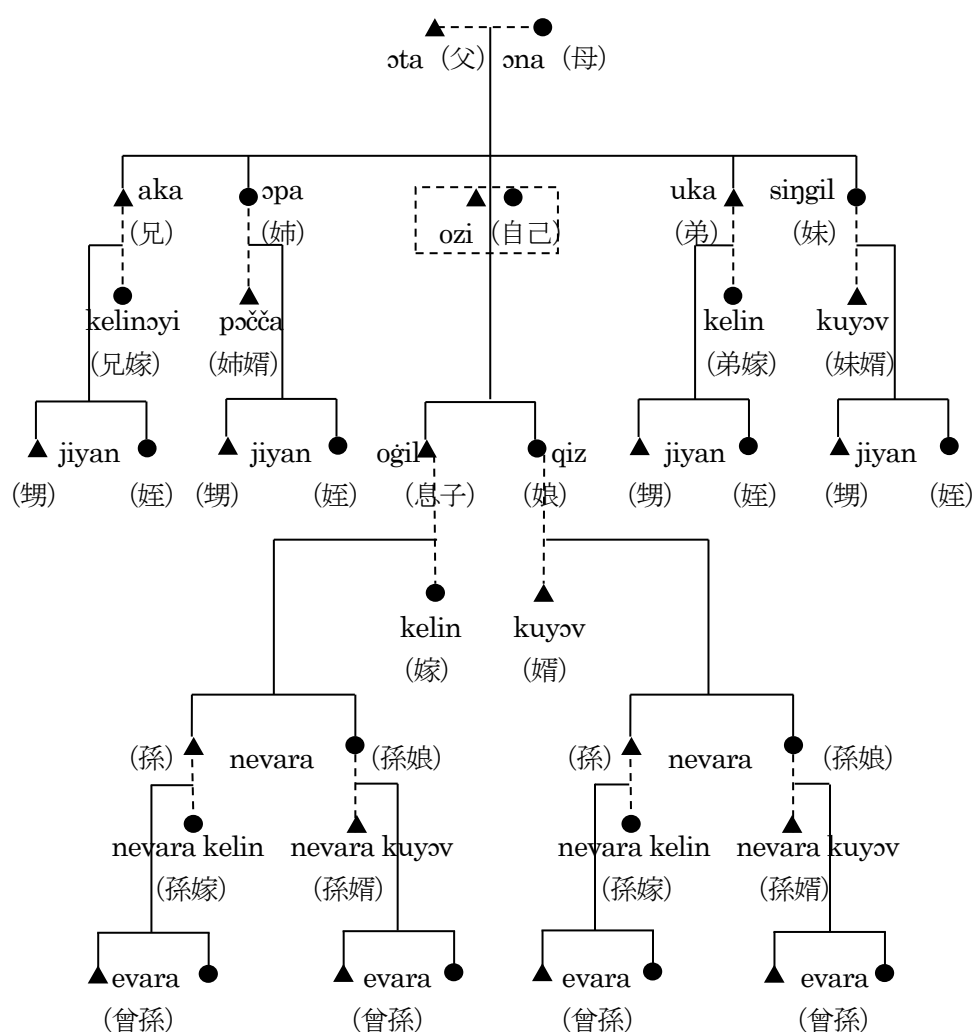
- ① 親族・姻族に呼びかけたり言及したりする時、普段使っている言い方は何か。また、これらは世代や年齢の上下、話し相手との親疎関係などに左右されることがあるか否か。
- ② 夫婦間で用いられる言い方は何か。年齢の上下や子供の有無などの諸ファクターが呼称選択に影響を与えるかどうか。
- ③ 親族内で年少者との対話では、年少者の立場に視点を移動して親族に言及することができるか。
- ④ 親族に呼びかけたり言及したりする際、親族語に付加して、話し相手に対する「気配り」や「配慮」、「尊敬」と言った心遣いを示すために使用する接辞があると思われるが、それにはどんなものがあるのか。それらの表す意味は何か。どの親族に対しても用いられるのか。

なお、親族語の非親族に対して使われる用法については、本稿では取り扱わないことにする。

5.3 親族語の基本モデル

以下に、親族語の基本モデル（標準的なモデル）を挙げておく。ウズベク語の親族語の基本モデルの記述において、主に Ma'rufov ed. (1981a, 1981b) に従うが、必要に応じて Madvaliev ed. (2008) を参照する。なお、図表の書式に関しては、大川他（2000）に倣った。

図 4. ウズベク語の親族関係表示：直系及び兄弟姉妹



符号の説明： ▲／● → 男／女
 ----- → 夫婦関係
 ┌───┐ → 兄弟関係
 │ → 親子関係

図 5. ウズベク語の親族関係表示：父方・母方

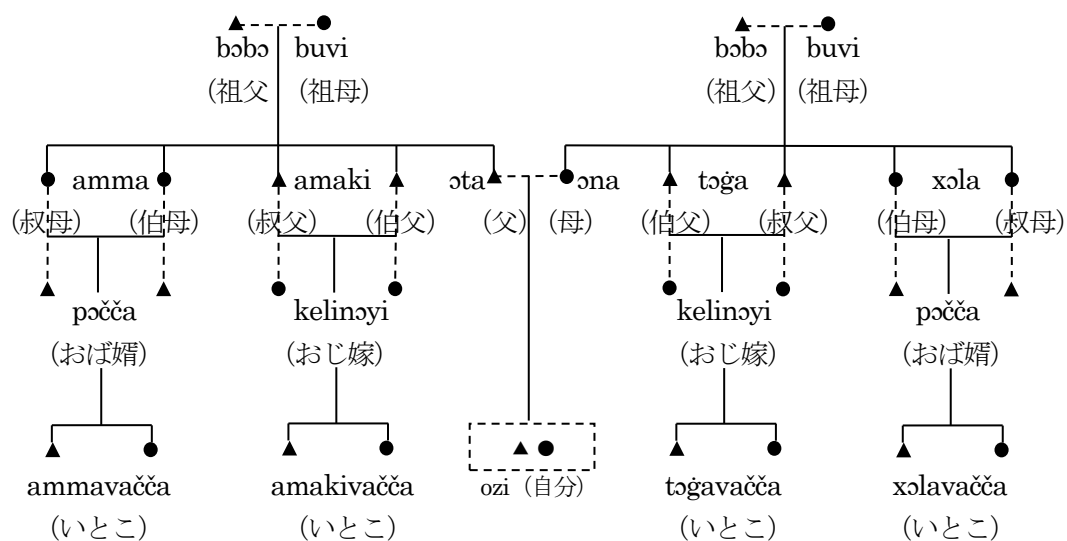


図 6. ウズベク語の親族関係表示：夫方の姻族

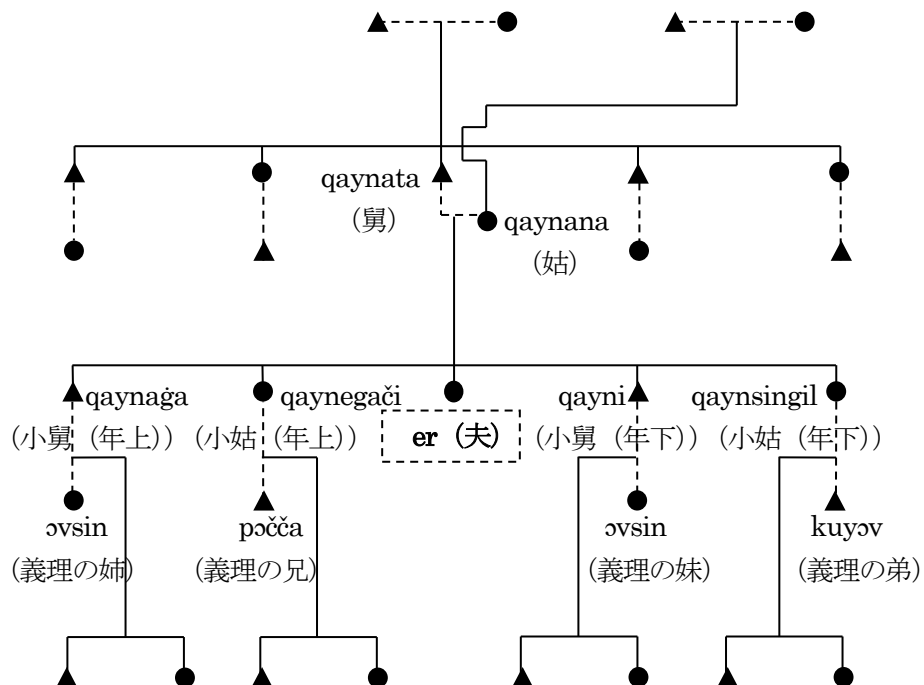
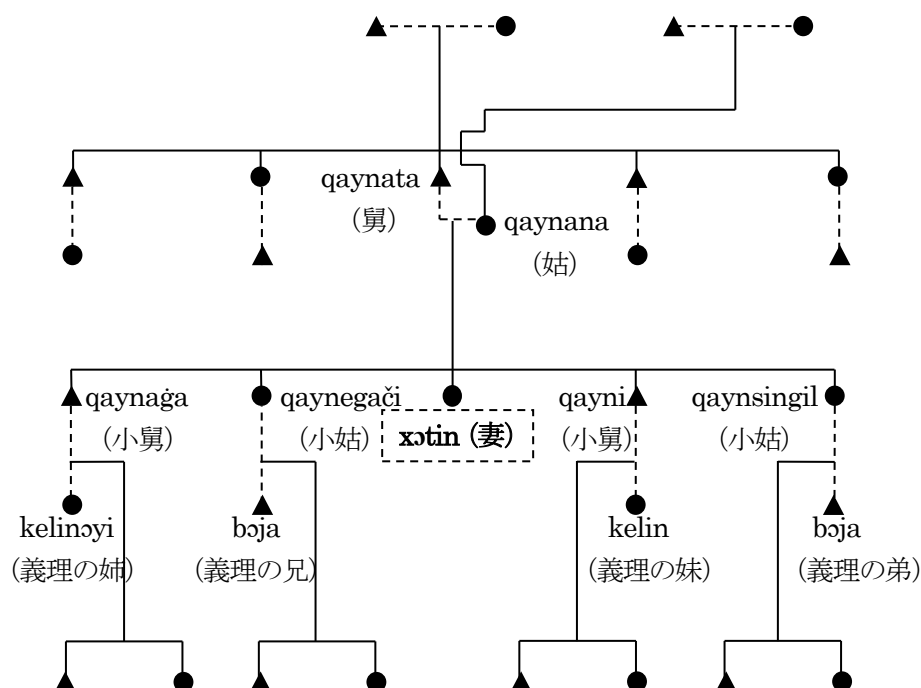


図 7. ウズベク語の親族関係表示：妻方の姻族



5.4 調査概要

調査は、ウズベク語については、2009 年 5 月～7 月にかけて、タシケント州チナズ市に住む 20 代～50 代の男女 11 名を対象に実施された。日本語については、2016 年 5 月～6 月にかけて、東京都府中市に住む 30 代～60 代の男女 11 人を対象に行われた。男女別の内訳は、両言語ともそれぞれ男性 4 人に女性 7 人である。質問事項は、本人を基準にして、上位 2 世代、同世代、下位 2 世代まで合わせて 5 世代の親族を対象とした。

調査方法は、面接の形で、ある親族に直接呼びかける時何と言うか、またその親族に話題の第三者として言及する時何と言うかという趣旨の質問をし、予め用意しておいたアンケートに回答を記入してもらうという方法で行った。なお、より正確な回答を得るために、回答者にその質問事項の親族が実際にいる場合に限って回答してもらった。アンケートの詳細は、資料 7、8 を参照された

5.5 調査結果 (I) — 親族関係

本節以降、調査の結果を示す際、親族語を「呼びかけ (address)」と「言及 (reference)」に分けて表示した。「呼びかけ」とは、親族に直接呼びかける時の用法であり、「言及」とは、話題の人物として親族に言及する時の用法である。便宜上世代ごとに分けて記述する。なお、インフォーマントの男女差は、男性の場合は M (Male)、女性の場合は F (Female) で示す。

5.5.1 上位世代

上位世代の親族への言及は、呼びかけに用いる語形に所有一人称接尾辞-(i)m を付けて「私の○○」というふうに表示する。例えば、「父方の祖父」の場合、呼びかけに *ota* を用いる人は、言及する時に *otam* と言う。「母」の場合、呼びかけに *opa* を用いる人は、言及する時に *opam* と言う。以下、このことについては特に言及せず、その他の事項についてのみ述べる。

(1) 「祖父・祖母」

「祖父母」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。

表 23. 「祖父・祖母」に対する呼称

親族 回答者		父方の祖父		父方の祖母		母方の祖父		母方の祖母	
		呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及
女性	F1 (20代)	—	—	ena	enam	ota	otam	ena	enam
	F2 (20代)	ota	otam	ena	enam	ota	otam	ena	enam
	F3 (30代)	katata	katatam	ena	enam	katata	katatam	opog ena	opog enam
	F4 (30代)	dada	dadam	oyi	oyim	dada	dadam	buvi	buvim
	F5 (40代)	opog dada	opog dadam	aya	ayam	opog dada	opog dadam	aya	ayam
	F6 (40代)	ota	otam	opa	opam	ota	otam	—	—
	F7 (50代)	katata	katatam	ena	enam	katata	katatam	ena	enam
男性	M1 (20代)	—	—	ena	enam	katata	katatam	buvi	buvim
	M2 (30代)	ota	otam	oyi	oyim	—	—	katta oyi	katta oyim
	M3 (40代)	katata	katatam	moma	momam	katata	katatam	ena	enam
	M4 (40代)	bova	bovam	moma/ena	momam/enam	—	—	—	—

「祖父母」への呼称は、他の親族に比べてバリエーションが豊富であり、それぞれ次のような親族語が用いられている。

「祖父」 — *bova*, *dada*, *ota*, *katata*, *opog dada*

「祖母」 — *aya*, *buvi*, *ena*, *katta oyi*, *moma*, *opa*, *opog ena*, *oyi*

「祖父」の場合、*ota* と *dada* について、Ma'rufov ed. (1981a) では「父」を意味する語として解釈されている。

DADA *ota*, *padar*.

(父、父親) (Ma'rufov ed. 1981a : 205)

OTA Farzandli, bola-çaqali er kişi (oz bolalariga nisbatan)
(子供を持っている男の人 (自分の子供に対して)) (Ma'rufov ed. 1981a : 547)

bova は、Madvaliev ed. (2008 : B,293) では「bobo の方言形」として解釈している。なお、Ma'rufov ed. (1981a) にはこの語が載っていない。bova は bobo (祖父) という親族語の音韻変化形であると思われる。

bobo (祖父) → boba (母音変化) → bova (子音変化)

bobo に関する Ma'rufov (1981a) の解釈は次の通りである。

BOBO Otaniņ yəki onaniņ otasi (nabiraga nisbatan).
((孫に対する) 父の父または母の父) (Ma'rufov ed. 1981a : 125)

katata は二つの要素からできており、katta (年上の) という形容詞と ota (父) という名詞が融合してできたと思われる。

katta + ota → kattaota (融合) → kattata (母音脱落) → katata (子音脱落)

なお、katata は Ma'rufov (1981a) と Madvaliev ed. (2008) には載っていない。

əpəŋ dada は、əpəŋ (年上の) という形容詞と dada (父) という名詞で構成されている。この語についても、Ma'rufov ed. (1981a) と Madvaliev ed. (2008) には項目がない。

「祖母」の場合、aya、ena、əyi は、Ma'rufov (1981) では「母」を意味する語として解釈されている。

AYA dial. Ona, əyi.
(方言。母) (Ma'rufov ed. 1981a : 67)

ENA dial. Ona.
(方言。母) (Ma'rufov ed. 1981b : 446)

OYI s.t. Ona.
(話し言葉。母) (Ma'rufov ed. 1981a : 527)

つまり、aya と ena は方言で用いられる言い方であり、əyi は話し言葉で用いられる言い方であるという。

əpa については、「姉」を意味する語として解釈されている。

OPA Bir ota-onadan tugilgan farzandlar içida ozidan kiçiklarga nisbatan katta qiz.
(同じ親から生まれた子供のうち、年上の女の子) (Ma'rufov ed. 1981a : 538)

buvi, mōma, katta ōyi については、それぞれ「祖母」を意味する語として解釈されている。

BUVI 1. Ōtaniŋ yōki ōnaniŋ ōnasi.

(父の母または母の母) (Madvaliev ed. 2008 : B, 359)

MOMA dial. 1. Ōta yōki ōnaniŋ ōnasi; buvi.

(方言。父の母または母の母。祖母) (Ma'rufov ed. 1981a : 471)

KATTA ŌYI s.t. Ōta yōki ōnaniŋ ōnasi

(話し言葉。父または母の母) (Ma'rufov ed. 1981a : 527)

以上、「祖父」の場合、父方と母方では違いがみられず、全ての回答者は同じ親族語を使用している。一方、「祖母」の場合、父方と母方で同じ親族語を使う者もいれば、違う親族語を使う者もいる。父方と母方で違う親族語を使う場合を見てみると、女性の場合、F3 は父方では ena を用いるが、母方では opōg ena を用いる。F4 は父方では ōyi を用いるが、母方では buvi を用いる。男性の場合、M1 は父方では ena を用いるが、母方では buvi を用いる。M2 は父方では ōyi を用いるが、母方では katta ōyi を用いる。M3 は父方では mōma を用いるが、母方では ena を用いる。

なお、同じ親族の相手に二つ以上の親族語を併用する例も観察できた。回答者のうち、M4 は「父方の祖母」に対して mōma と ena を併用している。

一般にウズベク語においては、上位世代の親族に言及する場合、呼びかけに用いる語形に所有一人称接尾辞-(i)m を付けて「私の○○」というふうに表現する。一方、下位世代の親族との会話では、話し手と言及の対象者との親族関係を直接表現しないで、話し相手の立場に立って間接的に表現する傾向がみられた。次の表の通りである。

なお、予告的に言えば、父母やおじ・おば、兄弟姉妹等に対する言及表現においても、同じような調査結果が得られたが、そのことについては特に言及せず、その他の事項について述べる。

表 24. 「祖父母」に対する言及表現

		父方の祖父への言及		父方の祖母への言及		母方の祖父への言及		母方の祖母への言及	
回答者	話し相手	同・上の世代の 親族及び他人	下の世代の親族 (一世代下)	同・上の世代の 親族及び他人	下の世代の親族 (一世代下)	同・上の世代の 親族及び他人	下の世代の親族 (一世代下)	同・上の世代の 親族及び他人	下の世代の親族 (一世代下)
女性	F1 (20 代)	—	—	enam	katta enaŋ	otam	katta otan	enam	katta enaŋ
	F2 (20 代)	otam	katta otan	enam	katta enaŋ	otam	katta otan	enam	katta enaŋ
	F3 (30 代)	katatam	katta katatan	enam	katta enaŋ	katatam	katta katatan	opōg enam	katta enaŋ
	F4 (30 代)	dadam	katta dadan	oyim	katta buviŋ	dadam	katta dadan	buvim	katta buviŋ
	F5 (40 代)	opōg dadam	katta bobon	ayam	katta buviŋ	opōg dadam	katta bobon	ayam	katta buviŋ
	F6 (40 代)	otam	katta otan	opam	katta enaŋ	otam	katta otan	—	—
	F7 (50 代)	katatam	katta katatan	enam	katta enaŋ	katatam	katta katatan	enam	katta enaŋ

男 性	M1 (20代)	—	—	enam	katta enaŋ	katatam	katta katataŋ	buvim	katta buviŋ
	M2 (30代)	ɔtam	katta ɔtaŋ	ɔyim	katta buviŋ	—	—	katta ɔyim	katta buviŋ
	M3 (40代)	katatam	katta katataŋ	mɔmam	katta mɔmaŋ	katatam	katta katataŋ	enam	katta enaŋ
	M4 (40代)	bɔvam	katta bɔvaŋ	mɔmam/enam	katta enaŋ	—	—	—	—

この表からわかるように、自分より下の世代の親族との会話では、話し相手の立場に視点を移動して、呼びかけに用いる語形に親称の所有二人称接尾辞-(i)ŋ を付けて「お前の〇〇」というふうに表現しなければならない。例えば、父親が子供に対して自分（父親）の祖父母のことを言う場合は、自分自身の立場から **ɔta-m**（私の祖父）、**ena-m**（私の祖母）のように直接的に表現せず、話し相手（年少者）の立場に立って **katta ɔta-ŋ**（お前の曾祖父）、**katta ena-ŋ**（お前の曾祖母）のように間接的に表現する。なお、詳しくは本稿の 5.7.4 で後述する。

(2) 「父・母」

「父・母」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。

表 25. 「父・母」に対する呼称

回答者		父		母	
		呼びかけ	言及	呼びかけ	言及
女 性	F1 (20代)	dada	dadam	ɔpa	ɔpam
	F2 (20代)	dada	dadam	ɔpa	ɔpam
	F3 (30代)	dada	dadam	ɔpa	ɔpam
	F4 (30代)	ada	adam	ɔpa	ɔpam
	F5 (40代)	dada	dadam	ɔpa	ɔpam
	F6 (40代)	ada	adam	ɔyi	ɔyim
	F7 (50代)	ɔta	ɔtam	ɔpa	ɔpam
男 性	M1 (20代)	dada	dadam	ɔpa	ɔpam
	M2 (30代)	dada	dadam	ɔpa	ɔpam
	M3 (40代)	ɔta	ɔtam	ɔpa	ɔpam
	M4 (40代)	ɔta	ɔtam	ɔpa	ɔpam

「父」と「母」に対する呼称として、次のような親族語が使われている。

「父」 — **ada、dada、ɔta**

「母」 — **ɔpa、ɔyi**

「父」の場合、20・30代の人には **ada、dada** を、40・50代の人には **ɔta** を用いる傾向がみられた。**ada** について、Ma'rufov ed. (1981a) では次のように解釈している。

ADA Dada, ota.
(父、父親) (Ma'rufov ed. 1981a : 26)

「母」の場合、opa を用いる回答者が多かった。なお、oyi を用いる例が 1 例観察された。

(3) 「父方のおじ・おばとその配偶者」

(3) - 1 「父方の伯父・叔父とその配偶者」

「父方の伯父・叔父とその配偶者」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。

表 26. 「父方の伯父・叔父とその配偶者」に対する呼称

親族 回答者		父方の伯父		父方の伯父の妻		父方の叔父		父方の叔父の妻	
		呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及
女性	F1 (20代)	amaki	amakim	kennayi	kennayim	—	—	—	—
	F2 (20代)	opog dada	opog dadam	oyi	oyim	(名前+) aka	(名前+) akam	kennayi	kennayim
	F3 (30代)	opog dada	opog dadam	oyi	oyim	amaki	amakim	kennoyi	kennoyim
	F4 (30代)	(名前+) aka	amakim	kennayi	kennayim	(名前+) aka	amakim	kennayi	kennayim
	F5 (40代)	amaki	amakim	kennoyi	kennoyim	amaki	amakim	kennoyi	kennoyim
	F6 (40代)	amaki	amakim	kennayi	kennayim	amaki	amakim	kennayi	kennayim
	F7 (50代)	(名前+) aka	(名前+) akam	čeča	čečam	(名前+) aka	(名前+) akam	kennayi	kennayim
男性	M1 (20代)	amaki	amakim	kennoyi	kennoyim	—	—	—	—
	M2 (30代)	opog dada	opog dadam	katapa	katapam	—	—	—	—
	M3 (40代)	—	—	—	—	(名前+) aka	amakim	kennayi	kennayim
	M4 (40代)	bova	bovam	—	—	(名前+) aka	(名前+) akam	yangga	yangam

「父方の伯父・叔父とその配偶者」に対する呼称として、次のような親族語が使われている。

「父方の伯父」 — aka、amaki、bova、opog dada

「父方の叔父」 — aka、amaki

「父方の伯父の妻」 — katapa、kennayi、kennoyi、oyi、čeča

「父方の叔父の妻」 — kennayi、kennoyi、yangga

「父方のおじ」の場合、amaki と aka は「伯父」と「叔父」の両方に使われているのに対し、opog dada は「伯父」のほうに限定されることがうかがえる。

aka について、Ma'rufov ed. (1981a) では「兄」を表す語として解釈している。

AKA Bir ota-onadan tugilgan katta o'g'il (ozidan kichiklarga, ukalarga nisbatan) .

((弟など自分より年下の同世代の親族に対する) 同じ両親から生まれた年上の男の子)

(Ma'rufov ed. 1981a : 35)

なお、「おじ」を **aka** と呼ぶ場合、名前を付けて呼ぶことが多いようである。

Ma'rufov ed. (1981) が「おじ」を表す親族語として挙げているものは **amaki** である。

AMAKI [f-t<a] ʔtaniŋ akasi yəki ukasi (jiyanga nisbatan).

([ペルシア語<アラビア語] (甥・姪に対する) 父の兄または弟)

(Ma'rufov ed. 1981a : 43)

「伯父」と「叔父」の両方がいると答えた回答者の場合、両方を同じ親族語で呼ぶ者もいれば、それぞれ違う親族語で呼ぶ者もいる。違う親族語を使う場合を見ると、F2 は「伯父」を **əpəg dada** と呼び、「叔父」を **aka** と呼ぶ。F3 は「伯父」を **əpəg dada** と呼び、「叔父」を **amaki** と呼ぶ。M4 は「伯父」を **bəva** と呼び、「叔父」を **aka** と呼ぶ。

なお、「父方のおじ」に呼びかける時に「(名前+) **aka**」を使う人は、言及する時に **amaki-m** を用いるケースが 3 例観察された。

父方の「伯父の妻」の場合、**katapa**、**kennayi**、**kennəyi**、**əyi**、**čeča** など、多くの親族語が用いられるが、その中でも **kennayi** を使う回答者が多い。

katapa は **katta** (年上の) という形容詞と **əpa** (姉) という名詞が融合してできたと思われる。

katta + **əpa** → **kattaəpa** (融合) → **kattapa** (母音脱落) → **katapa** (子音脱落)

kennayi と **kennəyi** は **kelinəyi** という親族語の音韻変化形であると思われる。**kelinəyi** について、Ma'rufov ed. (1981a) では次のように解釈されている。

KELINƏYI 1. Akanin xətini (uka yəki siŋgilga nisbatan) .

((弟や妹に対する) 兄の妻)

2. Yəši ozidan katta bolgan qarındaş yəki yaqın kişinin xətini va šu xətinga murəjaatni bildiradi.

(年上の親族または親しい人の妻及びその人への呼びかけを表す)

(Ma'rufov ed. 1981a : 377)

čeča について、Madvaliev ed. (2008) では **kelinəyi** の方言形として解釈している。

ČEČA šv. Yəŋga, kelinəyi.

(Yəŋga, kelinəyi の方言形)

(Madvaliev ed. 2008 : Č, 477)

「父方の叔父の妻」の場合、**kennayi**、**kennəyi**、**yəŋga** などの親族語が用いられが、そのうち **kennayi** を用いる回答者が多い。

yəŋga について、Ma'rufov ed. (1981b) では次のように解釈されている。

YADGA Uka va singilga nisbatan akaning xotini; kelinoyi.
 (弟や妹に対する兄の妻) (Ma'rufov ed. 1981b : 482)

「伯父の妻」と「叔父の妻」の両方がいる場合、同じ親族語で呼ぶ者もいれば、違う親族語で呼ぶ者もいる。違う親族語を使う場合を見ると、F2は「伯父の妻」を *oyi* と呼び、「叔父の妻」を *kennayi* と呼ぶ。F7は「伯父の妻」を *čeča* と呼び、「叔父の妻」を *kennayi* と呼ぶ。

(3) - 2 「父方の伯母・叔母とその配偶者」

「父方の伯母・叔母とその配偶者」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。

表 27. 「父方の伯母・叔母とその配偶者」に対する呼称

親族 回答者		父方の伯母		父方の伯母の夫		父方の叔母		父方の叔母の夫	
		呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及
女性	F1 (20代)	—	—	—	—	—	—	—	—
	F2 (20代)	amma	ammam	počča	poččam	amma	ammam	počča	poččam
	F3 (30代)	amma	ammam	počča	poččam	amma	amma	počča	poččam
	F4 (30代)	(名前+) opa	(名前+) opam	počča	poččam	(名前+) opa	(名前+) opam	počča	poččam
	F5 (40代)	amma	ammam	počča	poččam	amma	ammam	počča	poččam
	F6 (40代)	amma	ammam	počča	poččam	—	—	—	—
	F7 (50代)	amma	ammam	jezda	jezdam	amma	ammam	počča	poččam
男性	M1 (20代)	amma	ammam	počča	poččam	amma	ammam	počča	poččam
	M2 (30代)	amma	ammam	jezza	jezzam	amma	ammam	počča	poččam
	M3 (40代)	amma	ammam	jezza	jezzam	amma	ammam	počča	poččam
	M4 (40代)	amma	ammam	jezda	jezdam	amma	ammam	počča	poččam

「父方の伯母・叔母とその配偶者」に対する呼称として、次のような親族語が使われている。
 なお、F1 から回答はなかった。

「父方の伯母」 — **amma**、**opa**
 「父方の叔母」 — **amma**、**opa**
 「父方の伯母の夫」 — **počča**、**jezda**、**jezza**
 「父方の叔母の夫」 — **počča**

「父方の伯母・叔母」の場合、**amma** を用いる回答者がほとんどである。なお、回答者のうち F4 は、「伯母」と「叔母」に対して「(名前+) opa」を用いる。

amma に関する Ma'rufov ed. (1981a) の解釈は次の通りである。

AMMA [a] ʔtaniŋ ʔpasi yʔki siŋlisi (jiyanlarga nisbatan) . *Katta amma. Kiçik amma.*
 ([アラビア語] (子供たちに対する) 父の姉または妹。伯母。叔母)
 (Ma'rufov ed. 1981a : 44)

「父方の伯母・叔母とその配偶者」の場合、*počča* は「伯母の夫」と「叔母の夫」のどちらにも用いられるのに対し、*jezda* と *jezza* は「伯母の夫」の場合にのみ用いられるようである。
počča に関する Ma'rufov ed. (1981a) の解釈は次の通りである。

POČČA 1. ʔpaniŋ eri.
 (姉の夫)
 2. Erniŋ akasi (kelinga nisbatan) .
 (妻に対する) 夫の兄)
 3. esk. ʔtlarga qoşilib hurmat ma'nʔsini birlidiradi.
 (古い言い方。名詞に付いて尊敬を表す)
 4. dial. Ozidan kattalarga murojaat formasi.
 (方言。自分より年上の人に対する呼びかけ表現) (Ma'rufov ed. 1981a : 600)

Ma'rufov ed. (1981a) では、親族関係における *počča* の表す意味について「姉の夫」と「夫の兄」という意味しか挙げていない。管見では、*počča* は年上の傍系女性親族の夫を表す語であると思われる。

jezda と *jezza* は *jezna* の音韻変化形であると思われる。*jezna* について、Ma'rufov ed. (1981a) では *počča* の方言形として解釈している。

JEZNA dial. Počča
 (Počča の方言形。) (Ma'rufov ed. 1981a : 276)

(4) 「母方のおじ・おばとその配偶者」 (4) - 1 「母方の伯父・叔父とその配偶者」

「母方の伯父・叔父とその配偶者」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。

表 28. 「母方の伯父・叔父とその配偶者」に対する呼称

親族 回答者		母方の伯父		母方の伯父の妻		母方の叔父		母方の叔父の妻	
		呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及
女性	F1 (20代)	toğa	toğam	kennayi	kennayim	toğa	toğam	kennayi	kennayim
	F2 (20代)	toğa	toğam	kennayi	kennayim	toğa	toğam	kennayi	kennayim
	F3 (30代)	—	—	—	—	toğa	toğam	kennoyi	kennoyim
	F4 (30代)	toğa	toğam	kennayi	kennayim	toğa	toğam	kennayi	kennayim
	F5 (40代)	—	—	—	—	toğa	toğam	kennoyi	kennoyim

	F6 (40代)	təga	təgam	kennayi	kennayim	təga	təgam	kennayi	kennayim
	F7 (50代)	təga	təgam	čeča	čečam	təga	təgam	kennayi	kennayim
男 性	M1 (20代)	—	—	—	—	təga	təgam	kennayi	kennayim
	M2 (30代)	—	—	—	—	(名前+) təga	(名前+) təgam	kennayi	kennayim
	M3 (40代)	—	—	—	—	təga	təgam	kennayi	kennayim
	M4 (40代)	katta təga	katta təgam	čeča	čečam	kičkina təga	kičkina təgam	čeča	čečam

「母方の伯父・叔父とその配偶者」に対する呼称として、次のような親族語が使われている。

「母方の伯父」 — təga、katta təga
「母方の叔父」 — təga、kičkina təga
「母方の伯父の妻」 — kennayi、čeča
「母方の叔父の妻」 — kennayi、kennayim、čeča

「母方の伯父・叔父」の場合、təga を用いる。

təga に関する Ma'rufov ed. (1981b) の解釈は次の通りである。

TOGA Ayolnıñ aka-ukalari (unıñ bolalarıǵa nisbatan)
((子供たちに対する) 母親の兄弟) (Ma'rufov ed. 1981b : 212)

おじが2人以上いる場合は、年齢の長幼を区別するための親族語は見当たらない。このような場合は、M2 のように親族語の前に名前を付けて、「名前+təga」と呼ぶか、あるいは M4 のように katta (年上の)、kičkina (年下の) という形容詞で修飾して、katta təga、kičkina təga というふうに呼び分ける。おじが1人しかいない場合は、年齢を区別する必要はなく、単に təga と呼ぶことになる。これは他の親族が2人以上いる場合にも当てはまると考えられる。

「母方の伯父・叔父とその配偶者」の場合、kennayi を用いる回答者が多い。

(4) - 2 「母方の伯母・叔母とその配偶者」

「母方の伯母・叔母とその配偶者」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。

表 29. 「母方の伯母・叔母とその配偶者」に対する呼称

親族 回答者		母方の伯母		母方の伯母の夫		母方の叔母		母方の叔母の夫	
		呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及
女 性	F1 (20代)	xəla	xəlam	počča	poččam	xəla	xəlam	počča	poččam
	F2 (20代)	xəla	xəlam	počča	poččam	xəla	xəlam	počča	poččam
	F3 (30代)	—	—	—	—	xəla	xəlam	počča	poččam
	F4 (30代)	(名前+) əpa	(名前+) əpam	počča	poččam	xəla	xəlam	počča	poččam

	F5 (40代)	xɔla	xɔlam	počča	poččam	xɔla	xɔlam	počča	poččam
	F6 (40代)	xɔla	xɔlam	počča	poččam	xɔla	xɔlam	počča	poččam
	F7 (50代)	xɔla	xɔlam	počča	poččam	xɔla	xɔlam	počča	poččam
	M1 (20代)	xɔla	xɔlam	počča	poččam	xɔla	xɔlam	počča	poččam
男 性	M2 (30代)	xɔla	xɔlam	počča	poččam	—	—	—	—
	M3 (40代)	—	—	—	—	xɔla	xɔlam	—	—
	M4 (40代)	—	—	—	—	xɔlača	xɔlačam	počča	poččam

「母方の伯母・叔母とその配偶者」に対する呼称として、次のような親族語が使われている。

「母方の伯母」 — opa、xɔla
「母方の叔母」 — xɔla、xɔlača
「母方の伯母の夫」 — počča
「母方の叔母の夫」 — počča

「母方の伯母」の場合、xɔla を用いる。なお、opa を用いる例が 1 例観察された。
xɔla に関する Ma'rufov ed. (1981b) の解釈は次の通りである。

XOLA Onaniŋ singlisi yəki opasi.
(母の姉または妹) (Ma'rufov ed. 1981b : 328)

「母方の叔母」の場合においても、xɔla を用いる。なお、xɔlača を用いる例が 1 例観察された。
xɔlača は「xɔla+ča」という「名詞+接尾辞」からできている。接尾辞-ča は「小さい」という意味から発展して、親族語に「かわいらしい」や「親しみやすい」などの意味を添えると思われる。
「母方の伯母・叔母とその配偶者」の場合、全ての回答者が počča を用いる。

5.5.2 同世代

(1) 「兄・弟とその配偶者」

「兄・弟とその配偶者」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。なお、F3 と M3 から回答はなかった。

表 30. 「兄・弟とその配偶者」に対する呼称

親族 回答者		兄		兄の妻		弟		弟の妻	
		呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及
女 性	F1 (20代)	aka	akam	kennayi	kennayim	—	—	—	—
	F2 (20代)	aka	akam	名前	akamniŋ xotini	名前	名前/ukam	名前	名前/kelinimiz
	F3 (30代)	—	—	—	—	—	—	—	—

	F4 (30代)	—	—	—	—	名前	ukam	kelin	kelinim
	F5 (40代)	aka	akam	kennoyi	kennoyim	名前	ukam	名前	kelinim
	F6 (40代)	mullaka	mullakam	kennayi	kennayim	名前	ukam	名前	kelinim
	F7 (50代)	—	—	—	—	名前	ukam	名前	kelinim
男 性	M1 (20代)	aka	akam	kennoyi	kennoyim	名前	ukam	—	—
	M2 (30代)	aka	akam	kennayi	kennayim	名前	ukam	名前	ukamniñ xotini
	M3 (40代)	—	—	—	—	—	—	—	—
	M4 (40代)	aka	akam	yangga	yanggam	名前	ukam	名前	kelin

「兄」の場合、aka を用いる回答者が多い。なお、mullaka を用いる例が 1 例観察された。
mullaka に関する Ma'rufov ed. (1981a) の解釈は次の通りである。

- MULLAKA** 1. s.t. Ozidan katta, oqimišli kişilarga murjaat formasi.
(話し言葉。年上の教養のある人に対する呼びかけ語)
2. dial. Kelinniñ qaynagasi va ozidan katta qaynisi.
(方言。花嫁の義理の兄または年上の義理の弟) (Ma'rufov ed. 1981a : 477)

実の兄に対して mullaka を用いることは、ある種の意味拡張ではないかと思われる。

「兄の妻」の場合、kennayi、kennoyi、yangga などの親族語が用いられる。なお、名前を用いて呼びかける例が 1 例観察された。

筆者の内省によれば、一般にウズベク語においては、兄や年上のいとこ等同世代の年上の親族の妻が自分（話し手）より年下である場合は、その人を兄やいとこ等年上の同世代の親族と同等の目上とみなし、親族語を用いて kennayi、kennoyi と呼びかけられると思われる。この場合、兄や年上のいとこを「自分とその女性を結ぶ連結縁者 (connecting relative) (鈴木 (1967 : 12))」と言うが、同世代の親族の配偶者に対する呼称は、その連結縁者の年齢が基準となっていると考えられる。しかし、兄の妻に名前では呼びかける回答者によると、兄の妻が学校や大学の同級生であった場合や幼い時からの年齢が近い友人である場合は名前や愛称で呼びかけることができるという。筆者の身近な例でも、筆者の妻と妹は幼い時からの友人であり、結婚後も互いに名前で呼び合っている。

「弟とその配偶者」への呼びかけは、名前を用いることが多い。なお、弟の妻に対して親族語を用いて kelin と呼びかける例が 1 例観察された。

kelin に関する Ma'rufov ed. (1981a) の解釈は次の通りである。

- KELIN** 1. Ogilniñ xotini (qaynata yoki qaynanaga nisbatan) .
(（舅と姑に対する）息子の妻)
2. Ukanin xotini (aka yoki opaga nisbatan) .
(（兄と姉に対する）弟の妻)
3. Ozidan yosh bolgan qarindosh yoki yaqin kishiniñ xotini va šu xotinga murjaat.
(年下の親族または親しい人の妻またその人への呼びかけ語)
(Ma'rufov ed. 1981a : 377)

「弟とその配偶者」に言及する時、話し相手が言及の対象者を知っていれば、呼びかけの時と同じく名前を用いて言及するが、知らない場合は、親族語に所有一人称接尾辞を付けて uka-m (私の弟)、kelin-im、kelin-imiz (私の義理の妹) のように表現する。kelin-im と kelin-imiz の使い分けについては、5.7.2 で詳しく述べる。

(2) 「姉・妹とその配偶者」

「姉・妹とその配偶者」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。なお、F3 から回答はなかった。

表 31. 「姉・妹とその配偶者」に対する呼称

親族 回答者		姉		姉の夫		妹		妹の夫	
		呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及	呼びかけ	言及
女性	F1 (20 代)	əpča	əpčam	počča	poččam	—	—	—	—
	F2 (20 代)	əpča	əpčam	počča	poččam	名前	singlim	名前	singlimniñ eri
	F3 (30 代)	—	—	—	—	—	—	—	—
	F4 (30 代)	əpa	əpam	počča	poččam	名前	singlim	名前	kuyovim
	F5 (40 代)	əpača	əpačam	počča	poččam	名前	singlim	kuyov	kuyovim
	F6 (40 代)	əpača	əpačam	počča	poččam	—	—	—	—
	F7 (50 代)	əpča	əpčam	počča	poččam	名前	singlim	名前	kuyovim
男性	M1 (20 代)	əpča	əpčam	počča	poččam	—	—	—	—
	M2 (30 代)	—	—	—	—	名前	singlim	kuyov	singlimniñ eri
	M3 (40 代)	əpča	əpčam	počča	poččam	—	—	—	—
	M4 (40 代)	—	—	—	—	名前	singlim	名前	kuyovim

「姉」の場合、əpača、əpča などの親族語が用いられる。なお、əpa という親族語を用いる例が 1 例観察された。

əpča は əpača の音韻変化形であると思われる。

əpača (姉) → əpča (母音脱落)

əpača について、Madvaliev ed. (2008) では次のように解釈されている。なお、Ma'rufov ed. (1981a) には əpača に関する項目はない。

ƏPAČA s.t. Kičik əpa, əpalarniñ eñ kičigi (ikki va undan ertiq əpasi mavjud bolgan uka yoki singilga nisbatan)

(話し言葉。(姉が 2 人以上いる弟または妹に対する) 年下の姉。一番年下の姉)

(Madvaliev ed. 2008 : 128)

opača の表す意味について、Madvaliev ed. (2008) では「2人以上いる姉の中で一番年下の姉」としているが、チナズ方言では、姉が1人の場合でも同じく opača で呼びかけ、一番年下のほうに限定することはない。

「姉の夫」の場合、počča を用いる。

「妹とその配偶者」への呼びかけは、弟とその配偶者の場合と同じく名前を用いることが多い。なお、妹の夫に対して親族語を用いて kuyov と呼びかける例が2例観察された。

kuyov に関する Madvaliev ed. (2008) の解釈は次の通りである。

KUYOV qizniñ eri (qizniñ ata-ǵanası, aka va ǵapasıǵa nisbatan) .

((両親や兄・姉に対する) 娘や妹の夫) (Madvaliev ed. 2008 : K, 419)

「妹とその配偶者」への言及は、親族語に所有一人称接尾辞を付けて singl-im (私の妹)、kuyov-im (私の義理の弟) と言うか、singlimniñ eri (妹の夫) のように表現する。

(3) 「父方のおじ・おばの子」

「父方のおじ・おばの子」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。

表 32. 「父方のおじ・おばの子」に対する呼称（呼びかけの場合）

親族 回答者		父方の伯父の子		父方の伯母の子		父方の叔父の子		父方の叔母の子	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
女 性	F1 (20代)	(名前+) aka	(名前+) opča	—	—	—	—	—	—
	F2 (20代)	(名前+) aka	opača	名前	名前	名前	名前	名前	名前
	F3 (30代)	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前
	F4 (30代)	(名前+) aka	名前	名前	—	—	—	名前	—
	F5 (40代)	名前	名前	名前	名前	名前	名前	—	—
	F6 (40代)	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前
	F7 (50代)	名前	名前	年上:(名前+) aka 年下: uka	年上:(名前+) opča 年下: 名前	名前	名前	名前	名前
男 性	M1 (20代)	jıyan	singlim	(名前+) aka	(名前+) opča	—	—	(名前+) aka	名前
	M2 (30代)	(名前+) aka	—	(名前+) aka	(名前+) opča	—	—	名前	年上:(名前+) opča 年下: 名前
	M3 (40代)	—	—	名前	名前	名前	名前	名前	名前
	M4 (40代)	—	—	(名前+) aka	ammača	名前	名前	名前	名前

「父方のおじ・おばの子」への呼びかけは、話し相手が年上である場合は、男性には aka、女性には ammača、opača、opča などの親族語を用いる。なお、このような場合は、親族語の前に名前や愛称を付けることが多いという。話し相手が年下であれば、名前で呼びかけることが多いが、uka

(弟)、singil (妹)、jiyan (甥・姪) などの親族語を用いて呼びかける例も観察された。
jiyan について、Ma'rufov ed. (1981a) では次のように解釈されている。

- JIYAN** 1. Aka-ukalarniň, opa-singillarniň farzandi (təgaga, amakiga, xolaga, ammaga nisbatan) .
((おじ・おばに対する) 兄弟姉妹の子)
2. Ozidan kiçik yaqin kişilarga murajaat formasi.
(年下の親しい人に対する呼びかけ語) (Ma'rufov ed. 1981a : 283)

jiyan は、兄弟姉妹の子つまり甥や姪を指し、性の区別なく使われる親族語である。なお、インフォーマントによると、年下の親しい人に対して呼びかけ語として使うこともできるという。

言及する場合については表に示していないが、親族語に所有一人称接尾辞を付けて amakivačča-m (私の父方の男性いところ)、ammavačča-m (私の父方の女性いところ) のように言うか、amakimniň ogli (私のおじの子)、ammamniň qizi (私のおばの子) のように表現する。

amakivačča と ammavačča に関する Madvaliev ed. (2008) の解釈は次の通りである。

- AMAKIVAČČA** Aka-ukalarniň ogil-qizlari (bir-birlariga nisbatan).
(兄弟の息子・娘たち (お互いに対して)) (Madvaliev ed. 2008 : A, 76)

- AMMAVAČČA** Otaniň opasi yəki singlisiniň farzandlari (ogil-qizlari).
(父親の姉や妹の子供たち (息子・娘たち)) (Madvaliev ed. 2008 : A, 79)

amakivačča と ammavačča は、amaki (父方のおじ)、amma (父方のおば) に bačča (子) を付けて作った語であり、文字通りには「父方のおじの子」「父方のおばの子」ほどの意味である。

(4) 「母方のおじ・おばの子」

「母方のおじ・おばの子」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。

表 33. 「母方のおじ・おばの子」に対する呼称 (呼びかけの場合)

親族 回答者		母方の伯父の子		母方の伯母の子		母方の叔父の子		母方の叔母の子	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
女性	F1 (20代)	(名前+) aka	(名前+) opača	(名前+) aka	(名前+) opača	(名前+) aka	(名前+) opača	(名前+) aka	(名前+) opača
	F2 (20代)	(名前+) aka	(名前+) opača	名前	名前	名前	名前	名前	名前
	F3 (30代)	—	—	—	—	—	名前	名前	名前
	F4 (30代)	(名前+) aka	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前
	F5 (40代)	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前
	F6 (40代)	—	—	名前	名前	名前	名前	名前	名前
	F7 (50代)	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前	—

男 性	M1 (20代)	—	—	—	(名前+) opča	—	名前	(名前+) aka	(名前+) opča
	M2 (30代)	—	—	(名前+) aka	(名前+) opča	名前	名前	—	—
	M3 (40代)	toğača	xola	—	—	toğača	名前	名前	名前
	M4 (40代)	—	—	—	—	名前	名前	—	—

「母方のおじ・おばの子」への呼びかけは、話し相手が年上の場合は、男性には aka、toğača、女性には xola、opača、opča などの親族語を用いる。話し相手が年下の場合は、父方の場合と同じく、名前で呼びかける。言及する場合については表にしていないが、親族語に所有一人称接尾辞を付けて toğavačča-m (私の母方の男性いところ)、xolavačča-m (私の母方の女性いところ) のように言うか、toğamnıñ oğli (私のおじの子)、xolamnıñ qizi (私のおばの子) のように、「誰々の息子／娘」のように表現する。

xolavačča に関する Madvaliev ed. (2008) の解釈は次の通りである。

XOLAVAČČA Opa-singillarnıñ farzandlari (bir-birlariga nisbatan).
(姉妹の子供たち (お互いに対して)) (Madvaliev ed. 2008 : X, 406)

なお、toğavačča について Madvaliev ed. (2008) にも Ma'rufov (1981) にも項目はない。toğavačča は、toğa (母方のおじ) に bačča (子) を付けて作った語であると思われ、文字通りには「母方のおじの子」ほどの意味である。

5.5.3 下位世代

(1) 「息子・娘とその配偶者」

「息子・娘とその配偶者」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。なお、息子の妻に対する呼称について回答は得られなかった。

表 34. 「子とその配偶者」に対する呼称

回答者		親族		息子		息子の妻		娘		娘の夫	
		呼びかけ		言及		呼びかけ		言及		呼びかけ	
女 性	F1 (20代)	—	—	—	—	—	—	qizim	qizim	—	—
	F2 (20代)	名前	名前/oğlim	—	—	—	—	—	—	—	—
	F3 (30代)	—	—	—	—	—	—	名前	qizim	—	—
	F4 (30代)	—	—	—	—	—	—	名前	名前/qizim	—	—
	F5 (40代)	名前	oğlim	—	—	—	—	名前	qizim	名前	kuyovim
	F6 (40代)	名前	oğlim	—	—	—	—	名前	qizim	名前	kuyovim
	F7 (50代)	名前	oğlim	—	—	—	—	名前	qizim	名前	kuyovim
男 性	M1 (20代)	—	—	—	—	—	—	qizim	qizim	—	—
	M2 (30代)	名前	oğlim	—	—	—	—	—	—	—	—

	M3 (40代)	—	—	—	—	名前	qizim	名前	kuyovim
	M4 (40代)	—	—	—	—	名前	qizim	—	—

「息子・娘とその配偶者」への呼びかけは、名前を用いることが多いが、娘に対して親族語を用いて qiz-im と呼びかける例が 2 例観察された。

言及する際には、親族語に所有一人称接尾辞を付けて oğl-im (私の息子)、qiz-im (私の娘)、kuyov-im (私の義理の息子) と言う。今回の調査では回答が得られなかったが、息子の妻は、弟の妻と同じく kelin、kelinim というのが普通であると思われる。

oğil と qiz に関する Ma'rufov ed. (1981b) の解釈は次の通りである。

OĞIL Er jinsidagi farzand (oz ota-onalariga nisbatan) .
(男の子供 (自分の両親に対して)) (Ma'rufov ed. 1981b : 528)

QIZ Xotin jinsiga mansub farzand (oz ota-onasiga nisbatan) .
(女の子供 (自分の両親に対して)) (Ma'rufov ed. 1981b : 570)

なお、親族成員間での会話において、子や孫について話す時は、話し相手の立場に視点を移動して言及することがあるが、このことについては 5.7.4.2 で詳しく述べる。

(2) 「甥・姪」

「甥・姪」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。

表 35. 「甥・姪」に対する呼称（呼びかけの場合）

親族 回答者		兄の子		姉の子		弟の子		妹の子	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
女性	F1 (20代)	名前	名前	名前	—	—	—	—	—
	F2 (20代)	—	—	—	—	—	—	—	—
	F3 (30代)	—	—	名前	—	名前	—	名前	名前
	F4 (30代)	名前	名前	—	—	—	—	名前	名前
	F5 (40代)	名前	名前	名前	名前	名前	名前	—	—
	F6 (40代)	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前	名前
	F7 (50代)	—	—	名前	名前	—	名前	名前	—
男性	M1 (20代)	名前	—	jıyan	jıyan	—	—	—	—
	M2 (30代)	名前	名前	—	—	—	—	名前	名前
	M3 (40代)	名前	名前	—	—	名前	名前	jıyan	jıyan
	M4 (40代)	—	—	名前	名前	—	—	—	—

「甥・姪」への呼びかけは、主として名前を用いるが、姉の息子と娘及び妹の息子と娘に対して親族語を使って *jiyan* と呼びかける例も観察された。言及する際には、親族語に所有一人称接尾辞を付けて *jiyan-im* (私の甥／姪) のように言うか、*akamniñ ogli* (私の兄の息子)、*opčamniñ qizi* (私の姉の娘) のように、「誰々の息子／娘」と表現する。

(3) 「孫とその配偶者」

孫について、F6、F7 と M3 の 3 名から名前呼びかけという回答を得たが、男性の孫の妻や女性の孫及びその夫に対する呼称に関して回答は得られなかった。言及する際には、親族語に所有一人称接尾辞を付けて *nevara-m* (私の孫) と言う。

nevara について、Ma'rufov ed. (1981a : 500) では *nabira* の類義語であるという説明をしている。*nabira* に関する Ma'rufov ed. (1981) 解釈は次の通りである。

NABIRA [f-t] Ogil yoki qizniñ farzandi (bóboga, buviga nisbatan).

([タジク・ペルシア語] (祖父母に対する) 息子または娘の子)

(Ma'rufov ed. 1981a : 491)

女性の孫について回答は得られなかったが、筆者の内省では、このような場合、男性の孫と同様、呼びかけには名前を用い、言及する際には親族語を使って *nevara-m* と表現すると思われる。孫の配偶者についても同じく、呼びかけには名前を用い、言及する際には *kelin-im* (私の嫁)、*kuyov-im* (私の婿) と言うのが普通であると思われる。

5.5.4 親族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表

以下に、ウズベク語 (チナズ方言) の親族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表を示す。表の “X/Y” で表示したものは、それぞれ「X=呼びかけ」、「Y=言及」のことを指す。なお、言及の表現は、呼びかけの時に用いる語形に所有一人称接辞を付けて表すものを “/(i)m” で示す。

表 36. ウズベク語 (チナズ方言) の親族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表

上位世代の親族	父方	祖父	katata/-m	3	ota/-m	3	bova/-m	1	dada/-m	1	oppoğ dada/-m	1
		祖母	ena/-m	6	moma/-m	2	oyi/-m	2	aya/-m	1	opa/-m	1
		伯父	amaki/-m	4	oppoğ dada/-m	3	(名前+) aka/-m	2	bova/-m	1	—	—
		伯父の妻	kennayi/-m	4	oyi/-m	2	katapa/-m	1	kennayi/-m	1	čēča/-m	1
		叔父	(名前+) aka/-m	5	amaki/-m	3	—	—	—	—	—	—
		叔父の妻	kennayi/-m	5	kennayi/-m	2	yanga/-m	1	—	—	—	—
		伯母	amma/-m	9	(名前+) opa/-m	1	—	—	—	—	—	—
		伯母の夫	počča/-m	6	jezdla/-m	2	jezza/-m	2	—	—	—	—
		叔母	amma/-m	8	(名前+) opa/-m	1	—	—	—	—	—	—
		叔母の夫	počča/-m	9	—	—	—	—	—	—	—	—

	父 母	父	dada/ˈm	4	ota/ˈm	3	ada/ˈm	2	—	—	—	—
		母	opa/ˈm	8	oyi/ˈm	1	—	—	—	—	—	—
	母 方	祖父	katata/ˈm	4	ota/ˈm	3	dada/ˈm	1	əppəgˈ dada/ˈm	1	—	—
		祖母	ena/ˈm	4	buvi/ˈm	2	aya/ˈm	1	kattaˈ oyi/ˈm	1	əppəgˈ ena/ˈm	1
		伯父	toˈga/ˈm	5	katta toˈga/ˈm	1	—	—	—	—	—	—
		伯父の妻	kennayi/ˈm	4	čeˈca/ˈm	2	—	—	—	—	—	—
		叔父	toˈga/ˈm	10	kičkina toˈga/ˈm	1	—	—	—	—	—	—
		叔父の妻	kennayi/ˈm	9	čeˈca/ˈm	1	—	—	—	—	—	—
		伯母	xala/ˈm	7	(名前+) opa/ˈm	1	—	—	—	—	—	—
		伯母の夫	počˈca/ˈm	8	—	—	—	—	—	—	—	—
		叔母	xala/ˈm	9	xalaˈca/ˈm	1	—	—	—	—	—	—
		叔母の夫	počˈca/ˈm	9	—	—	—	—	—	—	—	—
同 世 代 の 親 族	兄 弟 姉 妹	兄	aka/ˈm	6	mullaka/ˈm	1	—	—	—	—	—	—
		兄の妻	kennoyi/ˈm	3	kennayi/ˈm	2	yanga/ˈm	1	名前/akamniñ xətini	1	—	—
		弟	名前/ukam	8	—	—	—	—	—	—	—	—
		弟の妻	名前/kelinim	3	kelin/ˈim	1	名前/kelinimiz	1	名前/ukamniñ xətini	1	—	—
		姉	opˈca/ˈm	5	opaˈca/ˈm	2	opa/ˈm	1	—	—	—	—
		姉の夫	počˈca/ˈm	8	—	—	—	—	—	—	—	—
		妹	名前/singlim	6	—	—	—	—	—	—	—	—
		妹の夫	名前/kuyovim	3	kuyov/ˈim	1	名前/singlimniñ eri	1	kuyov/singlimniñ eri	1	—	—
	い と こ ハ 父 方 V	伯父の子 (男性)	(名前+) aka/amakimniñ ogli	4	名前/amakimniñ ogli	4	jıyan/amakimniñ ogli	1	—	—	—	—
		伯父の子 (女性)	名前/amakimniñ qızı	5	(名前+) opˈca/amakimniñ qızı	1	opaˈca/amakimniñ qızı	1	singlim/amakimniñ qızı	1	—	—
		叔父の子 (男性)	名前/amakimniñ ogli	7	—	—	—	—	—	—	—	—
		叔父の子 (女性)	名前/amakimniñ qızı	7	—	—	—	—	—	—	—	—
		伯母の子 (男性)	名前/ammamniñ ogli	6	(名前+) aka/ammamniñ ogli	4	uka/ammamniñ ogli	1	—	—	—	—
		伯母の子 (女性)	名前/ammamniñ qızı	6	(名前+) opˈca/ammamniñ qızı	3	ammaˈca/ammamniñ qızı	1	—	—	—	—
		叔母の子 (男性)	名前/ammamniñ ogli	8	(名前+) aka/ammamniñ ogli	1	—	—	—	—	—	—
		叔母の子 (女性)	名前/ammamniñ qızı	8	(名前+) opˈca/ammamniñ qızı	1	—	—	—	—	—	—
	い と こ ハ 母 方 V	伯父の子 (男性)	(名前+) aka/toˈgamniñ ogli	3	名前/toˈgamniñ ogli	2	toˈgaˈca/toˈgamniñ ogli	1	—	—	—	—
		伯父の子 (女性)	名前/toˈgamniñ qızı	3	(名前+) opaˈca/toˈgamniñ qızı	2	xala/toˈgamniñ qızı	1	—	—	—	—
		叔父の子 (男性)	名前/toˈgamniñ ogli	7	(名前+) aka/toˈgamniñ ogli	1	toˈgaˈca/toˈgamniñ ogli	1	—	—	—	—
		叔父の子 (女性)	名前/toˈgamniñ qızı	10	(名前+) opˈca/toˈgamniñ qızı	1	—	—	—	—	—	—
		伯母の子 (男性)	名前/xolamniñ ogli	5	(名前+) aka/xolamniñ ogli	2	—	—	—	—	—	—
		伯母の子 (女性)	名前/xolamniñ qızı	5	(名前+) opˈca/ xolamniñ qızı	3	—	—	—	—	—	—
		叔母の子 (男性)	名前/xolamniñ ogli	7	(名前+) aka/xolamniñ ogli	2	—	—	—	—	—	—
		叔母の子 (女性)	名前/xolamniñ qızı	6	(名前+) opˈca/ xolamniñ qızı	2	—	—	—	—	—	—
下 位	子	息子	名前/oglim	5	—	—	—	—	—	—	—	
		息子の妻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

世代 の 親 族		娘	名前/qizim	7	qizim/qizim	2	—	—	—	—	—
		娘の夫	名前/kuyovim	4	—	—	—	—	—	—	—
	孫	孫	名前/nevaram	3	—	—	—	—	—	—	—
		孫の妻	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		孫娘	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		孫娘の夫	—	—	—	—	—	—	—	—	—

5.6 調査結果（Ⅱ）－ 姻族関係

5.6.1 「夫・妻」

(1) 呼びかけ表現

「夫・妻」への呼びかけ表現に関する調査結果は次の表の通りである。

表 37. 「夫・妻」に対する呼びかけ表現

回答者		配偶者	夫への呼びかけ表現		
			子供が生まれる前	子供が生まれた後	孫が生まれた後
女性	F1 (20代)		名前+aka	名前+aka	—
	F2 (20代)		hey、hoy	dadasi	—
	F3 (30代)		hey	dadasi	—
	F4 (30代)		hey	dadasi	—
	F5 (40代)		名前+aka	dadasi	—
	F6 (40代)		名前+aka	dadasi	bobosi
	F7 (50代)		hey	dadasi	bobosi
			妻への呼びかけ表現		
男性	M1 (20代)		名前	名前	—
	M2 (30代)		名前	名前	—
	M3 (40代)		名前	名前	—
	M4 (40代)		名前	名前	—

配偶者への呼びかけは、夫と妻とではそれぞれ違う表現が使われる傾向がみられた。一般的な傾向としては、夫は妻に名前や名前の愛称形を用いて呼びかけられるが、妻は夫に名前や名前の愛称形だけで呼び捨てにすることができない。夫に対する呼称は子供の存在の有無に大きく左右されることが見て取れる。子供が生まれる前は、相手の注意を引き付ける時に用いられる「hey」「hoy」などの感動詞の類を使う人もいれば、「名前+aka」という構文を使って呼びかける人もいる。子供が生まれてくると、dada-si（お父さん！）や bobo-si（お爺さん！）のように呼びかけることが多い。このような表現は、家族の最年少者の立場に視点を移動して言うのであって、日本語で言うとなが夫に向かって「お父さん！」や「おじいさん！」と呼ぶのにほぼ相当する。しかし、日本語とは次の点で異なる。つまり、dada-si と bobo-si はそれぞれ、「dada（父）+si（所有三人称接尾辞）」「bobo

（祖父）+si（所有三人称接尾辞）」という構造であり、直訳すると **dada-si** は「（彼／彼女の）お父さん」、**bobo-si** は「（彼／彼女の）おじいさん」ほどの意味である。要するに、家族の最年少者にとっての「お父さん」であり、「おじいさん」であることが明示された語形なのであり、そのようなマークのない「お父さん」「おじいさん」という日本語の表現とは異なるのである。妻に呼びかける時も **aya-si**、**ona-si**（（彼／彼女の）お母さん）のような言い方ができると思われるが、今回の調査では用例がなかった。

(2) 言及表現

(2)-1 話し相手が親族・姻族の場合

話し相手が親族・姻族の場合の「夫・妻」への言及表現に関する調査結果は次の表の通りである。

表 38. 「夫・妻」に対する言及表現（話し相手が親族・姻族の場合）

		夫への言及								
話し相手 回答者		話し相手が親族である場合					話し相手が姻族である場合			
		父・母	おじ・おば	兄・姉	弟・妹	子	義理の父・母	義理のおじ・おば	義理の兄・姉	義理の弟・妹
女性	F1 (20代)	kuyoviz	kuyoviz	—	—	dadarŋ	oɣliz	jiyaniz	ukaiz	akaiz
	F2 (20代)	名前+aka	名前+aka	名前+aka	名前+aka	dadarŋ	oɣliz	名前+aka	ukaiz	akaiz
	F3 (30代)	kuyoviz	kuyoviz	kuyoviz	počcaŋ	dadarŋ	—	jiyaniz	ukaiz	—
	F4 (30代)	kuyoviz	名前+aka	kuyoviz	—	dadarŋ	oɣliz	名前+aka	ukaiz	akaiz
	F5 (40代)	名前+aka	dadasi	名前+aka	名前+aka	dadarŋ	oɣliz	dadasi	ukaiz	akaiz
	F6 (40代)	kuyoviz	kuyoviz	kuyoviz	počcaŋ	dadarŋ	oɣliz	ukaiz	ukaiz	akaiz
	F7 (50代)	kuyoviz	kuyoviz	dadasi	počcaŋ	dadarŋ	oɣliz	dadasi	ukaiz	akaiz
		妻への言及								
男性	M1 (20代)	keliniz	keliniz	keliniz	kennayin	ayan	qiziz	名前	singliz	—
	M2 (30代)	名前	名前	名前	名前, kennayin	opaŋ	名前	名前	名前	名前
	M3 (40代)	—	keliniz	名前, keliniz	—	ayan	名前	名前	singliz	—
	M4 (40代)	名前	名前	名前	名前	ayan	名前	名前	名前	名前

配偶者に言及する際には、話し相手が親族・姻族である場合は、話し相手の立場に視点を移動して言及する傾向がみられた。例えば、夫に言及する場合を見ると、父・母やおじ・おば、兄・姉等の上位及び同世代の年上の親族を相手に **kuyov-iz**（あなたのお婿さん）、弟・妹を相手に **počca-ŋ**（あなたの義理のお兄さん）、子供を相手に **dada-ŋ**（あなたのお父さん）と言及する。話し相手が姻族である場合は、義理の父と母を相手に **oɣl-iz**（あなたの息子さん）、義理のおじ・おばを相手に **jiyan-iz**（あなたの甥御さん）、義理の兄・姉を相手に **uka-iz**（あなたの弟さん）、義理の弟・妹を相手に **aka-iz**（あなたのお兄さん）と言及する。

kuyov-iz は、標準語の **kuyov-ingiz** (**kuyov**（婿）+ **(i) ngiz**（所有二人称接尾辞敬称））に当たる表現であり、「あなたのお婿さん」ほどの意味である。**oɣl-iz**、**jiyan-iz**、**uka-iz**、**aka-iz** などと同じ

く、「親族語＋所有二人称接尾辞敬称」という構造である。

夫に言及する表現として、他に、呼びかけの時に用いる *dada-si* ((彼／彼女の) お父さん) や「名前＋*aka*」という表現をそのまま言及に用いる例も若干みられた。

妻に言及する場合、(妻の) 名前を用いるのが普通であるが、話し相手の立場に視点を移動して言及することも可能である。例えば、話し相手が親族である場合は、父・母など上位世代の親族を相手に *kelin-iz* (あなたのお嫁さん)、弟・妹など年下の同世代の親族を相手に *kennayi-ŋ* (あなたの義理のお姉さん)、子供を相手に *aya-ŋ*、*opa-ŋ* (あなたのお母さん) と言及する。話し相手が姻族である場合は、義理の父・母を相手に *qiz-iz* (あなたの娘さん)、義理の兄・姉を相手に *singl-iz* (あなたの妹さん) と言及する。

(2) - 2 話し相手が親族・姻族以外の場合

話し相手が親族・姻族以外の場合の「夫・妻」への言及表現に関する調査結果は次の表の通りである。

表 39. 「夫・妻」に対する言及表現 (話し相手が親族・姻族以外の場合)

		夫への言及			
話し相手 回答者		初対面の人	上司	友達・同僚	隣の子
女 性	F1 (20代)	xojayinim	xojayinim	dadasi	dadasi
	F2 (20代)	xojayinim	xojayinim	erim	amakiz
	F3 (30代)	xojayinim	xojayinim	dadamiz	名前＋akaiz
	F4 (30代)	名前＋aka	名前＋aka	dadasi	名前＋akaiz
	F5 (40代)	xojayinim	xojayinim	erim	amakiz
	F6 (40代)	xojayinim	xojayinim	dadasi	dadasi
	F7 (50代)	xojayinim	xojayinim	dadasi	dadasi
		妻への言及			
男 性	M1 (20代)	ayolim	ayolim	xotanim	名前＋kennayin
	M2 (30代)	turmuš ortogim	turmuš ortogim	xotanim	名前＋kennayin
	M3 (40代)	ayolim	ayolim	xotanim	名前＋kennayin
	M4 (40代)	xotanim	xotanim	xotanim	名前＋kennayin

話し相手が上司や初対面の人である場合は、夫を *xojayin-im*、妻を *ayol-im*、*turmuš ortogim* と言う。

xojayin は多義語であり、Madvaliev ed. (2008) では、*xojayin* の表す意味の一つとして、「s.t. *Ayol kişiniñ turmuš ortogiga murojaat šakli* (X, 435)」(話し言葉。妻の夫に対する呼びかけ語) という意味を挙げている。

ayol と *turmuš ortogim* に関する Madvaliev ed. (2008) の解釈は次の通りである。

AYOL Xotin, rafiq (erga nisbatan)

((夫に対する) 妻) (Madvaliev ed. 2008 : A, 43)

TURMUŠ ORTOĞI Er-xotinlik holatidagi šaxsniñ har biri (er va xotin bir-biriga nisbatan)

(夫婦関係にある人) (Madvaliev ed. 2008 : T, 200)

ayol と turmuš ortogı はどちらも改まった場面で用いられる固い言葉であるが、ayol のほうがより話し言葉的であると思われる。

話し相手が同僚や友人である場合は、夫を er-im (私の夫)、妻を xotin-im (私の妻) と言う。

er と xotin に関する Ma'rufov ed. (1981b) の解釈は次の通りである。

ER Xotin kiši bilan nikoh ahdida bolgan erkak kiši; qalliq (oz xotiniga nisbatan) .

(女性と婚姻関係にある男性 (自分の妻に対して)) (Ma'rufov ed. 1981b : 449)

XOTIN Biror erkak nikohidagi ayol.

(男性と婚姻関係にある女性) (Ma'rufov ed. 1981b : 334)

er と xotin は、標準ウズベク語では「夫」と「妻」を表す代表的な親族語であるが、チナズ方言では主に言及する時に用い、呼びかける時には用いない。

なお、夫に言及する際、呼びかけに用いる dada-si ((彼/彼女の) お父さん) や「名前+aka」をそのまま用いる回答者もいる。

話し相手が初対面の人や上司、あるいは同僚、友人である場合は、話し手が配偶者との関係を自分自身の視点から表現するが、話し相手が子供である場合は、子供の立場に視点を移動して表現する。例えば、夫について話す時は amaki-z (あなたのおじさん)、「名前+aka-iz」(○○お兄さん) と言い、妻について話す時は「名前+kennayi-ŋ」(○○お姉さん) と言う。

5.6.2 「義父母」

「義父母」への呼称に関する調査結果は次の表の通りである。なお、F4 と F7 から回答はなかった。

表 40. 「義父母」に対する呼称

回答者		義理の父		義理の母	
		呼びかけ	言及	呼びかけ	言及
女性	F1 (20代)	dadajon	qaynatam	oyijon	qaynanam
	F2 (20代)	dada	qaynatam	oyi	qaynanam
	F3 (30代)	ota	qaynatam	oyi	qaynanam
	F4 (30代)	—	—	—	—
	F5 (40代)	ota	qaynatam	ena	qaynanam

	F6 (40代)	—	—	oyi	qaynanam
	F7 (50代)	—	—	—	—
男性	M1 (20代)	dada	qaynatam	oyi	qaynanam
	M2 (30代)	dada	qaynatam	oyi	qaynanam
	M3 (40代)	—	—	oyi	qaynatam
	M4 (40代)	ada	qaynatam	oyi	qaynanam

「義理の父」への呼びかけは、**dadajon** を除けば 5.5.1(2)で述べた「実の父」に対する呼びかけ表現と同じものを使用する。しかし、「義理の母」は、実の母の場合と違って、**oyi** という親族語を用いることが多い。

言及する際には、親族語に所有一人称接尾辞を付けて **qaynata-m** (私の義理の父)、**qaynana-m** (私の義理の母) と言う。

qaynata と **qaynana** に関する Ma'rufov ed. (1981b) の解釈は次の通りである。

QAYNATA Qayin otasi (erniñ otasi uniñ xotiniga nisbatan va xotinniñ otasi uniñ eriga nisbatan)
(義理の父 (妻に対する夫の父または夫に対する妻の父))
(Ma'rufov ed. 1981b : 539)

QAYNANA Qayin onasi (erniñ onasi uniñ xotiniga nisbatan va xotinniñ onasi uniñ eriga nisbatan)
(義理の母 (妻に対する夫の母または夫に対する妻の母))
(Ma'rufov ed. 1981b : 539)

なお、**qaynata** と **qaynana** は言及用法のみであり、呼びかけ語として用いられない。

「義父母」に呼びかける時、表 40 の F1 のように、親族語に接辞 **-jon** を付けて、**dada-jon**、**oyi-jon** と言うふうにか呼ぶことがある。Ahmedova (2008 : 131) によれば、親族関係を表す言葉は、接辞 **-jon** とともに用いられることが多く、特にタシケント方言では顕著である。子供が両親に呼びかける時、**oyi**、**dada** などの親族語をそのまま使えるが、嫁が義父母に対してこれらの親族語を接辞 **-jon** を付けずに使うと、配偶者やその家族 (義父母) に対して失礼とみなされると述べている。

このように、接辞 **-jon** は尊敬や親愛の情などの意味を表す接辞であり、特に敬意を払うべき相手に対して用いられることが多いと思われるが、今回の調査で得られた回答は 2 例のみである。

5.6.3 「義理の兄弟姉妹とその配偶者」

(1) 呼びかけ表現

「義理の兄弟姉妹とその配偶者」への呼びかけ表現に関する調査結果は次の表の通りである。

表 41. 「義理の兄弟姉妹とその配偶者」に対する呼びかけ表現

姻族 回答者		義理の兄弟とその配偶者				義理の姉妹とその配偶者			
		義兄	義兄の妻	義弟	義弟の妻	義姉	義姉の夫	義妹	義妹の夫
女性	F1 (20代)	(名前+) aka	kennoyi	名前	—	(名前+) opa	počča	—	—
	F2 (20代)	(名前+) aka	kennoyi	名前	名前	—	—	名前	(名前+) aka
	F3 (30代)	(名前+) aka	yangga	名前	名前	—	—	名前	名前
	F4 (30代)	—	—	—	—	(名前+) opa	počča	—	—
	F5 (40代)	(名前+) aka	kennoyi	名前	名前	(名前+) opa	počča	名前	名前
	F6 (40代)	—	—	名前	名前	(名前+) opa	počča	—	—
	F7 (50代)	(名前+) aka	yangga	名前	名前	(名前+) opa	počča	名前	名前
男性	M1 (20代)	(名前+) aka	kennoyi	—	—	(名前+) opa	boja	—	—
	M2 (30代)	名前	名前	名前	名前	—	—	名前	boja
	M3 (40代)	—	—	—	—	—	—	—	—
	M4 (40代)	—	—	名前	kelin	名前	boja	名前	boja

「義理の兄弟姉妹とその配偶者」に対する呼びかけは、5.5.2 で紹介した実の兄弟姉妹の場合と同様、年上の人には親族語で呼びかけ、年下の人には名前を使用する。義理の兄弟姉妹が自分より年上である場合、男性を「(名前+) aka」と呼び、女性を「(名前+) opa」と呼ぶ。その配偶者は、男性を počča と呼び、女性を kennoyi、yangga と呼ぶ。なお、妻の姉妹の配偶者たちは互いに boja と呼び合う。

boja について、Ma'rufov ed. (1981a) では次のように解釈されている。

BOJA Opa singillarniñ erlari (bir-biriga nisbatan)

(姉妹の夫たち (お互いに対して)) (Ma'rufov ed. 1981a : 125)

boja は年齢の上下による区別がない。

(2) 言及表現

「義理の兄弟姉妹とその配偶者」への言及表現に関する調査結果は次の表の通りである。

表 42. 「義理の兄弟姉妹とその配偶者」に対する言及表現

姻族 回答者		義理の兄弟とその配偶者				義理の姉妹とその配偶者			
		義兄	義兄の妻	義弟	義弟の妻	義姉	義姉の夫	義妹	義妹の夫
女性	F1 (20代)	qaynakam	ovsinim	qaynim	—	qaynopam	qaynopamniñ eri	—	—
	F2 (20代)	qaynakam	ovsinim	qaynim	ovsinim	—	—	qaynisinglim	kuyovimiz
	F3 (30代)	qaynakam	ovsinim	qaynim	ovsinim	—	—	qaynisinglim	qaynisinglimniñ eri
	F4 (30代)	—	—	—	—	qaynopam	qaynopamniñ eri	—	—

	F5 (40代)	qaynakam	ovsinim	qaynim	ovsinim	qaynɔpam	počam	qaynisinglim	kuyovim
	F6 (40代)	—	—	qaynim	ovsinim	qaynɔpam	počam	—	—
	F7 (50代)	qaynakam	ovsinim	qaynim	ovsinim	qaynɔpam	počam	qaynisinglim	qaynisinglimniñ eri
男 性	M1 (20代)	qaynakam	qaynakamniñ xətini	—	—	qaynɔpam	bojam	—	—
	M2 (30代)	qaynakam	qaynakamniñ xətini	qaynim	qaynimniñ xətini	—	—	qaynisinglim	bojam
	M3 (40代)	—	—	—	—	—	—	—	—
	M4 (40代)	—	—	qaynim	qaynimniñ xətini	qaynɔpam	bojam	qaynisinglim	bojam

「義理の兄弟姉妹」に言及する場合、義理の兄を qaynaka-m、義理の姉を qaynɔpa-m、義理の弟を qayni-m、義理の妹を qaynisingl-im と言う。

qaynaka と qaynɔpa について、Ma'rufov ed. (1981b) にも Madvaliev ed. (2008) にも項目がない。これらの親族語は、「義理の」を意味する qayin という語に aka (兄)、ɔpa (姉) という親族語を付けて作った語であると思われる。

qayin (義理の) + aka (兄) → qayinaka (融合) → qaynaka (母音脱落)
qayin (義理の) + ɔpa (姉) → qayinɔpa (融合) → qaynɔpa (母音脱落)

qaynaka と qaynɔpa は、標準語ではそれぞれ qaynağa と qaynegači に当たる親族語であると思われる。

qaynağa と qaynegači に関する Ma'rufov ed. (1981b) の解釈は次の通りである。

QAYNAĞA Qayin ɔğa (erniñ akasi xətiniga nisbatan va xətinniñ akasi eriga nisbatan)
(義理の兄 (妻に対する夫の兄または夫に対する妻の兄))
(Ma'rufov ed. 1981b : 539)

QAYNEGAČI Qayin egači (erniñ ɔpasi xətiniga nisbatan va xətinniñ ɔpasi eriga nisbatan)
(義理の姉 (妻に対する夫の姉または夫に対する妻の姉))
(Ma'rufov ed. 1981b : 539)

qayni と qaynsingil に関する Ma'rufov ed. (1981b) の解釈は次の通りである。

QAYNI Qayin ini (erniñ ukasi xətiniga nisbatan va xətinniñ ukasi eriga nisbatan)
(義理の弟 (妻に対する夫の弟または夫に対する妻の弟))
(Ma'rufov ed. 1981b : 539)

QAYNSİDĞİL Qayin singil (erniñ singlisi xətiniga nisbatan va xətiniñ singlisi eriga nisbatan)
(義理の妹 (妻に対する夫の妹または夫に対する妻の妹))

(Ma'rufov ed. 1981b : 539)

これらの親族語も、義父母に言及する際の qaynata と qaynana と同じく、呼びかけ語として用いることはできない。

「義理の兄弟姉妹の配偶者」への言及は、男性と女性とでは違う表現が用いられる。女性の場合、義理の兄の妻と義理の弟の妻への言及は同じく ovsin-im と言う。

ovsin について、Ma'rufov ed. (1981a) では次のように解釈されている。

OV SIN Aka-ukalarniñ xotinlari (bir-biriga nisbatan)

(兄弟の妻たち (お互いに対して)) (Ma'rufov ed. 1981a : 519)

ovsin は、boja と同じく年齢の上下による区別がない。

義理の姉の夫について počča-m あるいは qaynəpamniñ eri (義理の姉の夫) と言い、義理の妹の夫を kuyov-im, kuyov-imiz と言うかあるいは qaynisiñlimniñ eri (義理の妹の夫) のように「誰々の夫」というふうに表現する。男性の場合、義理の兄の妻を qaynakamniñ xotini (義理の兄の妻)、義理の弟の妻を qaynimniñ xotini (義理の弟の妻) のように、「誰々の妻」というふうに表現する。義理の姉の夫と義理の妹の夫への言及は同じく boja-m である。

5.6.4 姻族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表

以下に、ウズベク語 (チナズ方言) の姻族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表を示す。

表 43. ウズベク語 (チナズ方言) の姻族に対して用いられる呼称の用例数別の一覧表

義理の父	dada/qaynatam	3	ota/qaynatam	2	ada/qaynatam	1	dadajon/qaynatam	1
義理の母	oyi/qaynanam	7	oyijon/qaynanam	1	ena/qaynanam	1	—	—
義理の兄 (年上)	(名前+) aka/qaynakam	6	—	—	—	—	—	—
義理の兄 (年上) の妻	Female: kennyi/ovsinim	3	Female: yanga/ovsinim	2	Male: kennyi/qaynakamniñ xotini	1	—	—
義理の兄 (年下)	名前/qaynakam	1	—	—	—	—	—	—
義理の兄 (年下) の妻	Male: 名前/qaynakamniñ xotini	1	—	—	—	—	—	—
義理の弟	名前/qaynim	8	—	—	—	—	—	—
義理の弟の妻	Female: 名前/ovsinim	5	Male: 名前/qaynimniñ xotini	1	Male: kelin/qaynimniñ xotini	1	—	—
義理の姉 (年上)	(名前+) opa/qaynəpam	6	—	—	—	—	—	—
義理の姉 (年上) の夫	Female: počča/-m	3	Female: počča/qaynəpamniñ eri	2	Male: boja/-m	1	—	—
義理の姉 (年下)	名前/qaynəpam	1	—	—	—	—	—	—
義理の姉 (年下) の夫	Male: boja/-m	1	—	—	—	—	—	—
義理の妹	名前/qaynisiñlim	6	—	—	—	—	—	—
義理の妹の夫 (年上)	Female: (名前+) aka/kuyovimiz	1	—	—	—	—	—	—
義理の妹の夫 (年下)	Female: 名前/qaynisiñlimniñ eri	2	Female: 名前/kuyovim	1	Male: boja/-m	2	—	—

5.7 考察

5.7.1 形容詞 *katta* や *ʔpʊq* の親族語を修飾する時の働き

Ma'rufov ed. (1981a) では、形容詞 *katta* や *ʔpʊq* について、親族語と一緒に用いる場合はどちらも「年上の、年上のほうの」という意味を表すとしている。

KATTA *yʊʃ jihatdan uluḡ, yʊʃi ʔrtiq.*
(年上の、年上のほうの) (Ma'rufov ed. 1981a : 372)

ʔPʊQ *Dada, buvi, ʔyi kabi qarindʊʃlik bildiruvči sozlarga qoʻshilib, “katta” sozi ornida keladi yoki hurmat ifodalaydi.*
(*dada* (父) や *buvi* (祖母) や *ʔyi* (母) などの親族関係を表わす語に付いて、*katta* (年上の) という語に代わって用いられる。または尊敬を表す。)
(Ma'rufov ed. 1981a : 539)

この二つの形容詞は、おじ・おばの世代に対して用いられる場合は、年齢の上下を区別する役割をし、父母の兄弟姉妹の年長者 (伯父・伯母) を指して、*ʔpʊq dada* (父方の伯父)、*katta toḡa* (母方の伯父) というふうに使われる。例えば、表 26 の父方のおじに対する呼称のデータにおいて、F2、F3 と M2 は父方の伯父を *ʔpʊq dada* と呼ぶが、父方の叔父を「名前+*aka*」か *amaki* と呼んでいる。表 28 の母方のおじの場合においても、年上のほうを *katta toḡa* と呼ぶが、年下のほうを *kičkina toḡa* と呼んでいる。同じように、伯母についても *katta amma* (父方の伯母) や *katta xola* (母方の伯母) と呼ぶことができると思われるが、今回の調査では例がなかった。

しかし、表 23 で紹介した祖父母に対する呼称のデータに限って言えば、Ma'rufov ed. (1981a) の *katta* や *ʔpʊq* に関する解釈が当てはまらないところがある。つまり、祖父・祖母に対して用いられる *katta* や *ʔpʊq* は、もはや「年上」や「尊敬」などの意味を失っていることがわかる。*katta* や *ʔpʊq* を祖父母に対して用いる場合は、母方の親族に対してのみ用いる場合がある一方で、父方と母方の親族のどちらにも用いる場合がある。前者の場合、例えば、F3 が父方の祖母を *ena* と呼び、母方の祖母を *ʔpʊq ena* と呼ぶ場合と、M2 が父方の祖母を *ʔyi* と呼び、母方の祖母を *katta ʔyi* と呼ぶ場合の *katta* や *ʔpʊq* は、単に父方と母方を区別するために使われており、年齢の上下を表していない。実際、F3 の場合、*ʔpʊq ena* と呼んでいる母方の祖母は、*ena* と呼んでいる父方の祖母より年下である。M2 の場合も同じく、母方の祖母の *katta ʔyi* は、父方の祖母の *ʔyi* より年下であることは確認済みである。後者の場合、例えば、F3、F7 と M3 は父方の祖父と母方の祖父を同じく *katata* (<*katta ʔta*) と呼び、F5 は同じく *ʔpʊq dada* と呼んでいる。

5.7.2 接辞-(i)m と-(i)miz の使い分け

親族に言及する際には、通常、親族語に所有一人称接尾辞-(i)m を付けて、例えば *dada-m* (私の父)、*qiz-im* (私の娘) というふうに「私の〇〇」と言うのが一般的である。しかし、表 30 のデータを見れば、F2 が弟の妻について *kelin-im* ではなく *kelin-imiz* というように、所有関係を一人称接尾辞-(i)m ではなく一人称接尾辞-(i)miz で表す場合がある。この違いは、所有人称接尾辞によっ

て話題の人物を尊敬扱いにするかどうかの問題であると思われる。

所有一人称接尾辞-(i)miz の用法として、一般的に認められているのは複数用法である。しかし、接辞-(i)miz には複数用法の他に尊敬用法もあると考えられる。例えば、kelin（年下の男性親族（息子や弟、甥など）の妻）や kuyov（年下の女性親族（娘や妹、姪など）の夫）など自分より年下の姻族を話題にする時には、kelin-im、kuyov-im というより、kelin-imiz、kuyov-imiz と言ったほうがより丁寧であると思われる。

接辞-(i)miz の尊敬用法については、Rahmatullayev（2006）にも指摘がある。Rahmatullayev（2006：140-146）は、ウズベク語の所有人称接尾辞の体系を次のように表示している。

表 44. Rahmatullayev の挙げるウズベク語の所有人称接尾辞の体系

数 人称	単数		複数	
	普称	敬称	普称	敬称
一人称	-(i)m	-(i)miz	-(i)miz	
二人称	-(i)ŋ	-(i)ŋgiz	-(i) ŋgiz	-(i)ŋlar

数 人称	数において中立	
	普称	敬称
三人称	-(s)i	-lari

つまり、所有一人称接尾辞-(i)miz の用法として複数と尊敬という二つの用法が認められるということである。親族・姻族に言及する際、話題の第三者を-(i)m で表すかそれとも-(i)miz で表すかは、年齢の上下によって決まると思われる。自分より上の世代を表す親族語は、その性質上、尊敬の要素を含んでいることから所有関係を尊敬の人称接尾辞で表す必要がないので、待遇的に中立²⁶である一人称接尾辞-(i)m を付けて所有関係を表す。しかし、自分より下の世代を表す親族語は、尊敬の要素を含んでいないため、年齢があまり離れていない年下の姻族など特に敬意を払うべき人を話題にする時は、尊敬の-(i)miz を付けることによってその人への敬意を表すことができると思われる。表 30 のデータの場合、F2 が kelin-im ではなく kelin-imiz と言うことによって、話題の第三者である弟の妻に対して敬意を表していると考えられる。

同じチナズ方言の話者である筆者の場合も同じく、自分より年下の弟の妻を kelin-imiz とは言えるが、kelin-im とは言えない。筆者の家庭で弟の妻を kelin-im と言えるのは父と母のみである。

5.7.3 接辞-(i)m の呼びかける時の用法

接辞-(i)m には、言及表現において所有関係を明示するための用法の他に、呼びかける時に話し相手に対する気配りや配慮と言った心遣いを示すための用法があると思われる。例えば、表 32 の M1 が父方の伯父の娘に singl-im と呼びかける場合と、表 34 の F1 と M1 が実の娘に qiz-im と呼びかける場合がそうである。singl-im は、「singil+im」（妹+所有一人称接尾辞）という構造であり、同

²⁶ Rahmatullayev（2006）は、普称の単数所有人称接尾辞について待遇的に中立であるとしている。

じく qiz-im は「qiz+im」(娘+所有一人称接尾辞) という構造である。

通常、年下の人に呼びかける時には実名・愛称で呼び捨てにするのが一般的である。しかし、年下の親族との対話において、親族語に接辞-(i)m を付けて呼びかけることで親愛の情を表すことができると思われる。接辞-(i)m のこのような用法については、Abidova (2000) にも指摘がある。Abidova (2000: 30) によると、年下の親族あるいは血縁関係のない他人に呼びかける時、ota (父)、ona (母)、uka (弟)、oğa (兄)、singil (妹) などの親族語や birōdar (友)、dost (友) などの親しい関係を表す言葉に接辞-(i)m を付けて用いると、尊敬 (hurmat) の意味を表すことができるという。ここで全般的に言える原則は、呼びかけにおいて接辞-(i)m が付けられるのは年下の親族語のみであり、年上の親族に対しては使えない。つまり、親族成員間で年下の者に呼びかける時は oğl-im (私の息子よ!) や qiz-im (私の娘よ!) のように言うことはできるが、年上の者には dada-m (私の父よ!) や amma-m (私のおばよ!) と言って呼びかけることはできない。

なお、Abidova (2000) にも指摘があるように、血縁関係のない他人との対話において、年上の人に対しても接辞-(i)m を付けて呼びかけることがある。Abidova (2000) はこの用法を「尊敬」と言っているが、管見では、「尊敬」と言うよりも「尊大」の意味が強いと思われる。なぜなら、接辞-(i)m を年上の相手に対して用いる場合、それを用いる話し手が権力や権威を保持しているという意味が強く出るので、話し相手に尊大に構えたような印象を与えかねないからである。年上の親族に対して用いられない理由もここにあると思われる。但し、愛称形成接辞-jon や-gina などと一緒に用いる dada-jon-im! (愛しい父よ!) や ona-gina-m! (愛しい母よ!) などは例外である。これらの表現は、呼びかけというよりも愛情深い愛称表現としての性質が強く、特に父・母など年上の親族に甘える時やものをねだる時などに用いられる特殊な表現である。

5.7.4 親族成員間での言及表現にみられる視点の移動

ウズベク語では、親族成員間での言及表現の場合、年少者との会話において、親族の誰かを話題にする時や年少者に話題の人物として言及する際には、年少者の立場に視点を移動する傾向がみられた。以下で、それぞれの場合を詳しく見て行こう。

5.7.4.1 年少者との会話において親族の誰かを話題にする時

5.5.1(1)の「祖父・祖母」の項目で触れたように、親族成員間で年少者との会話では、親族の誰かについて話す時、自分と言及の対象者との親族関係を直接表現しないで、年少者(話し相手)の立場に立って間接的に表現する。つまり、年少者の前で、伯父・伯母や兄弟姉妹など親族の誰かを話題にする時、その人が年少者にとってどんな関係にあるのかを常に明示する。決して自分の立場から見た表現を用いることはない。例えば、自分の父について子に向かって述べる時は dada-m (私の父) と言わず、ota-ŋ (お前の祖父) と言う。さらに、自分の父について孫に向かって述べる時は、今度は katata-ŋ (お前の曾祖父) と表現する。

このような言及表現における視点の移動については、鈴木(1998)で詳しく扱っている。鈴木(1998: 293f)では、あるものの帰属(所有関係)の原点を、社会的な文脈において示す時、自分個人(ego)を原点とするか、それとも我々(家族成員全部)を原点に取るのか、または自分がその構成員であるうち(家)という抽象的な枠を原点と考えるのかという違いについて指摘し、ある人

を、その人の家族の誰かとの関係を示すことによっていつも呼ぶ習慣をアロニミー (allonymy) と呼んでいる。

なお、(話し相手が) 年少者 (である場合) と言っても、必ずしも子供でなければいけないという制限はない。話し相手が自分より下の世代の親族であれば、年齢に関係なく、その人に原点を置いて年長者に言及することができるのが特徴的である。例えば、表 24 の F7 (50 代) のデータを見ると、自分の (亡き) 祖母について息子 (30 代) に話す時は、息子が立派な大人であるにもかかわらず、彼の立場に立って **katta ena-n** (お前の曾祖母) と表現する。しかし、弟や妹を相手にする場合は、年下であっても、その人の立場から祖父母に言及することができない。このような場合は、常に自分を原点とする。例えば、兄が弟や妹に向かって祖父母のことを言う場合は、**ota-n** (お前の祖父)、**ena-n** (お前の祖母) ではなく、**ota-m** (私の祖父)、**ena-m** (私の祖母)²⁷ と言う。年下のいとこを相手に、おじ・おばについて話す場合も同様である。例えば、父方のいところに向かっておじ・おばについて話す時は **dada-n** (お前の父)、**opa-n** (お前の母) と言わず、**amaki-m** (私のおじ)、**amma-m** (私のおば) と言う。どうやら、相手の立場から物事を表現することの本質は、ウズベク語の場合、年齢の上下というよりも世代の上下と関連が深いようである。

5.7.4.2 親族成員間で年少者に言及する時

親族成員間で年少者について話す時、名前を用いるのが一般的であるが、親族語を用いて言及する場合は「あなたの○○」というふうに、話し相手の立場に立って年少者に言及することがある。例えば、話し相手が年少者の祖父母である場合は **nabira-iz** (あなたの孫) と、おじ・おばである場合は **jiyan-iz** (あなたの甥・姪) と言及するわけである。今回の調査では回答がなかったが、日常的な会話ではよく用いられる表現である。以下にいくつかの具体例を示す。

- 93) **Nabira-iz** politsiya mahkamasiga tušib qoṣṭi²⁸.
孫-POSS.2SG.H 警察 署に 連行されて しまったそうだ
(うちの子は警察署に連行されたそうです。)

(Sa'diyev, R. 2005. *Kelgindi Kuyov*. O'zbekkino Milliy Agentligi. 109 min.)

これは、アメリカに移住してきて、そこで起業し成功して億万長者になったウズベク人の家族についてのドラマの一節である。警察署から「息子さんが痴漢容疑で連行された」という電話があった、青年の父親がその話を自分の父 (子の祖父) に伝える場面である。この例で、青年の父親が自分の息子について **ogʻl-im** (私の息子) ではなく、話し相手である父に原点を置いて **nabira-iz** (あなたの孫) と間接的に表現しているのである。

²⁷ 兄弟姉妹に向かって上位世代の親族について話す時に、聞き手である兄弟姉妹を含めた「私たち」の立場で **ota-miz** (私たちの父) や **ena-miz** (私たちの祖母) など、親族語に複数の所有一人称接尾辞 (-i)miz を付けて言う例は調査では見当たらなかった。筆者の内省でもそのような言い方はしないと思われる。

²⁸ qoṣṭi は、標準語の qolibdi の口語の形である。

- 94) Опа, **jiyan-iz** olsam olaman, šundan bošqasi kerakmas deyaptiku.
 姉さん 甥-POSS.2SG.H 死んだら 死ぬ それより 違うのが いない 言っているよ
 (姉さん、うちの息子が死んでも彼女以外の女とは結婚しないとっているよ。)

(Sharopov, B. 2013. *Mug'ombir Kuyovlar*. NavoMedia Studiyasi. 80 min.)

この例は、地方出身のある青年が首都タシケントの某大学での勉強中に、借りていたアパートの大家さんの若い娘に恋してしまうというラブストーリーが描かれたドラマの一節である。青年はその子と結婚したい旨を両親に伝えるが、父親が自分の姉を家に呼んで、息子の恋愛事情について相談している場面である。この例では、青年の父親が自分(父親)の息子について **ogl-im** (私の息子)ではなく、姉に原点を置いて **jiyan-iz** (あなたの甥)と間接的に表現しているのである。

- 95) **Qiz-iz** erga tega olmay otirgan ekanda, jim bop²⁹ ketdi.
 娘-POSS.2SG.H 嫁に 行くことが できないで いた のだね 静か なって しまった
 (うちの娘が嫁に行くことができずにいたみたいに連絡がつかないの。)

(Sa'diyev, R. 2012. *O'gay Ona*. Davr Premyer. 105 min.)

この例は、家庭の諸問題が描かれたドラマの夫婦の会話から取ったものであるが、結婚後全然連絡が取れなくなった娘について、妻が夫に不満げに話している場面である。この例では、妻が娘を **qiz-im** (私の娘)ではなく、夫に原点を置いて **qiz-iz** (あなたの娘)と表現している。

さらに、次の例のように、人称代名詞や指示代名詞を用いて「あなたの彼／彼女」というふうに言及することも可能である。

- 96) **Uni-z** ozi bošqača edi-da.
 彼女-POSS.2SG.H 自身 特別 だったね
 ((自分の娘について) 彼女は特別な子だったからね。)

(Sa'diyev, R. 2012. *O'gay Ona*. Davr Premyer. 105 min.)

この例は、上述の夫婦の会話の続きであるが、妻が娘について今度は **qiz-iz** (あなたの娘)ではなく、人称代名詞を使って **uni-z** (あなたの彼女)と表現している。

- 97) Tömi ketganmi **buni-ŋ-ni**, kečadan beri menğa sevgi izhər qiladi.
 彼の屋根 行ったか これ-POSS.2SG-ACC 昨日から ずっと 私に 愛 告白 する
 (気が狂ったのか、こいつ。昨日から俺にしつこく愛を告白してくる。)

(Shodmonov, J. 2012. *Payshanbadan Payshanbagacha*. Art Creator Studio. 98 min.)

この例は、魔法の本によって色々なことを体験することになる数人の男性同士についてのコメディの一節である。一人が魔法によって可愛い女性に変身してしまい、元の体に戻るまでそのことについて親族にだまっておいてくれるよう妻を説得し、親族に自分のことを妻の妹として紹介するよ

²⁹ bop は、標準語の bolib の口語の形である。

う頼む。しかし、彼の弟がその女性のことを兄だとは知らず、しつこく恋を告白する。(女性の姿の) 兄は弟が自分に夢中であることが気に食わず、それについて妻に話している場面である。この例で、兄が弟について指示代名詞を用いて **buni-ŋ** (お前のこれ) と表現しているのである。

なお、親族関係を持っていない人との会話においても、その人が言及の対象者をよく知っている友人や知り合いである場合は、話し相手の見地から年少者に言及することが可能である。

98) Qəbiltəy, haligi, *singl-iŋ-ni* har dušanba kuni oqišga əbərardimde, mošinada.

人名 あのを 妹-POSS.2SG-ACC 毎 月曜 日 学校に 連れて行っていた 車で

(コビル君、あのを、この車で娘を毎月曜日に学校に連れて行っていたのだけど。)

(Ubbosxon, S. 2008. *Yangi Boy*. DAVR-S Kinostudiyasi. 80 min.)

この例は、宝くじで大金が当たった青年が大金のことで金銭トラブルに巻き込まれてしまうという出来事が描かれたドラマの一節である。青年の隣人は彼が大金を手に入れたという話を聞いて、自分が乗っていた車を青年にプレゼントして娘と結婚させることを思いつく。隣人の目的は、いつも月曜日にその車に乗せて学校まで送っていた娘を、これから彼(青年)に学校まで送ってもらうことで二人を近づかせることであった。この例で、青年の隣人は自分の娘について **qiz-im** (私の娘) と言わず、他人である青年の立場に立って **singl-iŋ** (お前の妹) と間接的に表現している。もちろん、**singl-iŋ** (お前の妹) という表現を通して青年と娘が血縁関係を持っているということを暗示しているわけではない。これはいわゆる親族語の虚構的用法であるが、このような場合においても話し相手の立場から表現するという原理は守られている。勿論、このような場合は自分に原点を置いて **qiz-im** (私の娘) と言うこともできる。

5.7.5 呼称と名称の区分

血縁関係を表す親族語の大部分は、呼びかけにも言及にも用いることができる。この中で、呼びかけに用いることができないのは、自分より2世代下以降の親族語であり、例として **nevara** (孫) や、今回の調査の範囲に入っていない **evara** (曾孫)、**čevara** (曾孫の子) などがある。また、いとこを表す **amakivačča** (父方のおじの子)、**ammavačča** (父方のおばの子)、**toğavačča** (母方のおじの子)、**xolavačča** (母方のおばの子) などとも呼びかけ語として使用することができない。

姻族関係を表す親族語の中では、**qayn-** (姻族の) が付く親族語はほとんど言及にしか使うことができない。例えば、義父母を表す **qaynota** (義父) と **qaynəna** (義母)、義兄弟姉妹を表す **qaynaka** (義兄)、**qaynəpa** (義姉)、**qayni** (義弟)、**qaynisiŋgil** (義妹) などは言及用法のみである。

また、夫婦を表す親族語である **er** (夫) と **xətin** (妻) は、チナズ方言では主に言及する時に用い、呼びかけ語として夫婦喧嘩の時以外はほとんど用いない。

以上、これら呼びかけ語として用いることができない親族語は名称であり、呼称とは区別される。

5.7.6 まとめ

今回の調査結果に基づいて、5.2 で挙げた問題提起の四つの項目に対して次のように答えられる。

- ① 親族・姻族に対する呼称の使用において年上か年下かの区別が厳格に守られており、年齢の長

幼が重要な概念として認識されている。自分より上の世代の人や兄・姉などに呼びかけたり言及したりする時は原則として親族語を用いる。下の世代の人や弟・妹などに呼びかける際には、名前や愛称を用いるが、言及する際には、話し相手との親疎関係によって名前や愛称を用いる場合と、親族語を用いる場合がある。そのほか、父方か母方かによる違いが目立つ。

- ② 夫婦の場合、夫は妻に名前や愛称を用いて呼びかけ、妻は夫に感動詞を用いて呼びかけるか、名前に親族語を付けて呼びかける。子供や孫が生まれた後は、家族の最年少者の立場に視点を移動して配偶者に呼びかける傾向がみられた。言及の際には、話し相手が親族・姻族であるか否かによって視点移動に異なりがあることがわかった。
- ③ 親族内で、年少者との会話において親族の誰かを話題にする時や、年少者に話題の第三者として言及する際には、年少者の立場に視点を移動して間接的に表現する傾向がある。
- ④ 親族語に付加して話し相手に対する何らかの心遣いを示すために用いられる接辞には、本文中ではまとめていないが、5.5.1(4)・2で述べた「小さい」や「可愛らしい」という意味を表す接辞-ča、5.6.2で述べた「尊敬」や「親愛の情」などの意味を表す接辞-jon、5.7.2で述べた尊敬の所有一人称接尾辞-(i)miz、5.7.3で述べた「気配り」や「配慮」という意味を表す接辞-(i)m などがあることがわかった。

いずれも、具体的な形式・用法については本文で述べた通りである。

5.8 ウズベク語と日本語の親族語の対照

5.8.1 両言語の「祖父母」に対する呼称

両言語の「祖父母」に対する呼称は表 45 の通りである。まず、この表の言及用法の下位分類の仕方について説明する。言及用法は、ウズベク語の場合、話し相手が下位世代の親族であるか否かという観点から分けてあり、日本語の場合、話し相手が親しい関係を持っている人であるか否かによって分けてある。その理由は、アンケート調査の結果、ウズベク語と日本語とでは、言及用法に用いる親族語の使い分けの基準が異なることが判明したため、そのことを反映させたのである。なお、5.8.2 以下では、ウズベク語の、下位世代を話し相手とする言及用法の欄と、日本語の、親族または友人を話し相手とする言及用法の欄を、それぞれ割愛し、必要なことを指摘するにとどめた。

表 45. 両言語の「祖父母」に対する呼称

ウズベク語					関 係	日本語				
呼びかけ	言及		男	女		呼びかけ	言及		男	女
	話し相手が同・上位 世代の親族または他人	話し相手が下位世代 の親族（一世代下）					話し相手が親族 または友人	話し相手が上司 または見知らぬ人		
katata	katatam	katta katatan	1	2	父 の 父	おじいちゃん	おじいちゃん	祖父	1	2
ota	otam	katta otan	1	2		おじいちゃん	おじいちゃん	父方の祖父	1	-
bova	bovam	katta bovan	1	-		おじいさん	じいちゃん	父方の祖父	1	-
dada	dadam	katta dadan	-	1		おじいさん	うちのおじいさん	祖父	-	1
opog dada	opog dadam	katta boban	-	1		名前+おじいちゃん	おじいちゃん	祖父	-	1
						名前+おじいちゃん	祖父	祖父	-	1

						名前+おじいさん	名前+おじいさん	祖父	-	2
						名前+ちゃん	名前+ちゃん	祖父	1	-
katata	katatam	katta katataŋ	2	2	母 の 父	おじいちゃん	おじいちゃん	祖父	1	3
ota	otam	katta otaŋ	-	3		おじいちゃん	おじいちゃん	母方の祖父	1	-
dada	dadam	katta dadaŋ	-	1		おじいちゃん	じいちゃん	母方の父	1	-
opoŋ dada	opoŋ dadam	katta boboŋ	-	1		名前+おじいちゃん	おじいちゃん	祖父	-	1
						名前+おじいちゃん	祖父	祖父	-	1
						名前+おじいさん	名前+おじいさん	祖父	-	2
						名前+ちゃん	名前+ちゃん	祖父	1	-
ena	enam	katta enaŋ	2	4	父 の 母	おばあちゃん	おばあちゃん	祖母	1	2
moma	momam	katta momaŋ	2	-		おばあちゃん	おばあちゃん	父方の祖母	1	-
oyi	oyim	katta buviŋ	1	1		おばあさん	ばあちゃん	父方の祖母	1	-
aya	ayam	katta buviŋ	-	1		おばあさん	うちのおばあさん	祖母	-	1
opa	opam	katta enaŋ	-	1		名前+おばあちゃん	おばあちゃん	祖母	-	1
						名前+おばあちゃん	祖母	祖母	-	1
						名前+おばあさん	名前+おばあさん	祖母	-	2
						名前+ちゃん	名前+ちゃん	祖母	1	-
ena	enam	katta enaŋ	1	3	母 の 母	おばあちゃん	おばあちゃん	祖母	1	3
buvi	buvim	katta buviŋ	1	1		おばあちゃん	おばあちゃん	母方の祖母	1	-
aya	ayam	katta buviŋ	-	1		おばあちゃん	ばあちゃん	母方の祖母	1	-
katta oy i	katta oyim	katta buviŋ	1	-		名前+おばあちゃん	おばあちゃん	祖母	-	1
opoŋ ena	opoŋ ena	katta enaŋ	-	1		名前+おばあちゃん	祖母	祖母	-	1
						名前+おばあさん	名前+おばあさん	祖母	-	2
						名前+ちゃん	名前+ちゃん	祖母	1	-

ウズベク語では、「祖父母」に対する呼称は日本語よりもバリエーションが豊富である。呼びかけの場合、祖父に対しては、bova、dada、katata、ota、opog dada などの親族語を用い、祖母に対しては、aya、buvi、ena、katta oyi、moma、opa、opog ena、oyi などの親族語を用いる。

言及する際には、話し相手が自分と同世代及び上の世代の親族または他人である場合は、呼びかけに用いる語形に所有一人称接尾辞を付けて「私の〇〇」というふうに表現する。しかし、話し相手が下位世代の親族である場合は、自分自身の立場から表現するのではなく、(下位世代の) 話し相手の立場に立って、「あなたの〇〇」というふうに表現する特徴がみられた。

日本語では、「祖父母」に対する呼称はウズベク語ほど数が多い。また、日本語には所有人称接尾辞がないことはもちろんだが、代名詞を用いた「私の〇〇」「あなたの〇〇」などの表現が呼びかけでも言及でもみられない。この点がウズベク語と大きく異なる。

呼びかけの場合、父方と母方を区別せず、祖父に対しては「(名前+) おじいさん」「(名前+) おじいちゃん」、祖母に対しては「(名前+) おばあさん」「(名前+) おばあちゃん」と呼びかける。

呼称接辞は「ちゃん」のほうが「さん」よりも回答数が多いという結果が出た。なお、祖父母に対して「名前+ちゃん」のように、非親族呼称で呼びかけるインフォーマントが一人いた。

言及する際には、話し相手が親族や親しい友人である場合は、呼びかけに用いる語形をそのまま使用する回答者がほとんどである。なお、上司や見知らぬ人との会話では、呼びかけの場合と異なる語形の親族語を使用する傾向がみられた。例えば、祖父の場合、呼びかけに「おじいさん」を用いる人は、言及する際には「(父方の・母方の) 祖父」と言う。祖母の場合、呼びかけに「おばあさん」を用いる人は、言及する際には「(父方の・母方の) 祖母」と言う。

話し相手によって呼びかけと言及とは異なる語形の親族語を用いるという特徴は、祖父母だけでなく父母やおじ・おばなど他の親族の場合も観察されたが、以下、この点についてはいちいち指摘せず、その他の事項について述べる。

セペフリバディ (2012) は、小・中学校の頃は、祖父を「ジジ」「ジージ」、祖母を「ババ」「バーバ」という愛称的名称で呼ぶことが一番多く、成長にともない「おじいちゃん」「おばあちゃん」や「じいちゃん」「ばあちゃん」のような基本的な名称が用いられるようになると述べている。高校生や大学生では「お」を付けない「じいちゃん」「ばあちゃん」の使用が多く、その理由として「お」を付けるのは子供っぽい」や「兄の言葉をまねた」などの回答者のコメントを挙げている。

また、祖父母を「名前, あだ名+さん/ちゃん」という非親族呼称で呼ぶことの背景には、祖父母との親密な関係が反映されていると指摘している。

5.8.2 両言語の「父・母」に対する呼称

両言語の「父・母」に対する呼称は次の表の通りである。

表 46. 両言語の「父・母」に対する呼称

ウズベク語				関係	日本語			
呼びかけ	言及	男	女		呼びかけ	言及	男	女
dada	dadam	2	4	父	お父さん	父	1	4
ota	otam	2	1		父さん	父	3	2
ada	adam	-	2		父ちゃん	父	-	1
opa	opam	4	6	母	お母さん	母	1	4
oyi	oyim	-	1		母さん	母	3	2
					母ちゃん	母	-	1

ウズベク語では、呼びかけの場合、父親には dada、ada、ota を用い、母親には opa、oyi を用いる。言及する際には、呼びかけに用いる語形に所有一人称接尾辞を付けて「私の〇〇」と表現する。

日本語では、呼びかけの場合、父親は「お父さん」「父さん」「父ちゃん」であり、母親は「お母さん」「母さん」「母ちゃん」である。言及する際には、それぞれ「父」「母」と言う。

セペフリバディ (2012) は、男子の場合、幼児期に「パパ」「ママ」という愛称的名称を用いるが、高学年になると徐々に「父さん」「母さん」という基本的名称が主流になり、さらに大学生、社会人になると「おやじ」「おふくろ」という俗語的名称が増えると述べている。一方、女子の場合は、「パ

パ」「ママ」と言う愛称的名称を小学校高学年でも引き続き使用し、中学生、高校生になって「お父ちゃん」「お母ちゃん」あるいは「お父さん」「お母さん」という基本的名称が定着するとしている。しかし、男子とは違い、「お」が落ちる割合が低く、また、大学生や社会人になっても俗語的な名称はあまり用いないと指摘している。

5.8.3 両言語の「おじ・おばとその配偶者」に対する呼称

両言語の「おじ・おばとその配偶者」に対する呼称は下記表 47 と表 48 の通りである。

ウズベク語では、「おじ・おばとその配偶者」に対する呼称は、日本語に比べてバリエーションが豊富である。呼びかけの場合、父方か母方かという点で区別され、次のような親族語が用いられる。

「おじ」 — 父方：aka、amaki、bova、opog dada

母方：toğa、katta toğa、kičkina toğa

「おば」 — 父方：amma、opa

母方：xola、xolača

「おじの妻」 — 父方：katapa、kennayi、kennoyi、oyi、yanga、čeča

母方：kennayi、kennoyi、čeča

「おばの夫」 — 父方：počča、jezda、jezza

母方：počča

表 47. 両言語の「おじ・おばとその配偶者」に対する呼称（男性の場合）

ウズベク語				関係	日本語			
呼びかけ	言及	男	女		呼びかけ	言及	男	女
amaki	amakim	1	3	父の兄	おじさん	おじ	3	2
opog dada	opog dadam	1	2		おじさん	父方のおじ	1	1
(名前+) aka	(名前+) akam	-	1		おじちゃん	おじ	-	1
(名前+) aka	amakim	-	1		名前+おじちゃん	おじ	-	1
bova	bovam	1	-					
amaki	amakim	-	3	父の弟	おじさん	おじ	3	4
(名前+) aka	(名前+) akam	1	2		おじちゃん	おじ	1	1
(名前+) aka	amakim	1	1					
toğa	toğam	-	5	母の兄	おじさん	おじ	2	4
katta toğa	katta toğam	1	-		おじさん	母方のおじ	1	-
					おじちゃん	おじ	-	1
					名前+おじさん	おじ	1	-
toğa	toğam	3	7	母の弟	おじさん	おじ	3	4
kičkina toğa	kičkina toğam	1	-		おじちゃん	おじ	-	1
					名前+おじさん	おじ	1	-
					名前+おじちゃん	おじ	-	1

počča	poččam	1	5	父の姉の夫	おじさん	おじ	1	2
jezza	jezzam	2	-		おじさん	お婆さんの旦那さん	2	-
jezda	jezdam	1	1		おじちゃん	おじ	-	1
					名前+おじちゃん	おじ	-	1
počča	poččam	4	5	父の妹の夫	おじさん	おじ	2	3
					おじさん	お婆さんの旦那さん	1	-
					おじちゃん	おじ	-	1
počča	poččam	2	6	母の姉の夫	おじさん	おじ	1	2
					おじさん	お婆さんの旦那さん	2	-
					おじちゃん	おじ	-	1
					名前+おじさん	おじ	1	-
počča	poččam	2	7	母の妹の夫	おじさん	おじ	1	2
					おじさん	お婆さんの旦那さん	1	-
					おじちゃん	おじ	-	1
					名前+おじさん	おじ	1	-

表 48. 両言語の「おじ・お婆とその配偶者」に対する呼称（女性の場合）

ウズベク語				関係	日本語			
呼びかけ	言及	男	女		呼びかけ	言及	男	女
amma	ammam	4	5	父の姉	お婆さん	お婆	2	2
(名前+) opa	(名前+) opam	-	1		お婆さん	父方のお婆	1	-
					お婆ちゃん	お婆	-	1
					名前+お婆ちゃん	お婆	-	2
amma	ammam	4	4	父の妹	お婆さん	お婆	3	4
(名前+) opa	(名前+) opam	-	1		お婆ちゃん	お婆	-	1
xola	xolam	2	5	母の姉	お婆さん	お婆	2	2
(名前+) opa	(名前+) opam	-	1		お婆さん	母方のお婆	1	-
					お婆ちゃん	お婆	-	1
					名前+お婆ちゃん	お婆	-	2
					名前+お婆さん	お婆	1	-
xola	xolam	2	7	母の妹	お婆さん	お婆	2	3
xolača	xolačam	1	-		お婆ちゃん	お婆	-	1
					名前+お婆さん	お婆	1	-
kennayi	kennayim	1	3	父の兄の妻	お婆さん	お婆	2	1
kennoyi	kennoyim	-	1		お婆さん	おじの奥さん	2	-
oyi	oyim	-	2		お婆ちゃん	お婆	-	1
čeča	čečam	-	1		名前+お婆ちゃん	お婆	-	1

kennayi	kennayim	1	4	父の弟の妻	おばさん	おば	1	1
kennoyi	kennoyim	-	2		おばちゃん	おば	-	1
yangga	yangam	1	-		おばさん	おじの奥さん	1	-
kennayi	kennayim	-	4	母の兄の妻	おばさん	おば	-	3
čeča	čečam	1	1		おばさん	おじさんの奥さん	2	-
					おばちゃん	おば	-	1
					名前+おばさん	おば	1	-
kennayi	kennayim	2	7		母の弟の妻	おばさん	おば	1
kennoyi	kennoyim	1	-	おばさん		おじさんの奥さん	1	-
čeča	čečam	1	-	おばちゃん		おば	-	1
				名前+おばさん		おば	1	-

例えば、父方のおじを **amaki** と言うが、母方のおじを **toğa** と言う。同様に、父方のおばを **amma** と言うが、母方のおばを **xola** と言う。おじの妻は、父方・母方共に **kennayi** を用いる回答者が多く、おばの夫は、**počča** を用いる回答者が多い。なお、父の姉の夫に対して **jezza**、**jezda** を用いる回答者もいる。おじやおばが二人以上いるような場合には、年齢の長幼を区別するための親族語は見当たらない。このような場合、親族語の前に名前を付けるか、**katta** (年上の) や **kičkina** (年下の) という形容詞で修飾して使い分ける。言及する際には、呼びかけに用いる語形に所有一人称接尾辞 **(i)m** を付けて、**amaki-m** (私の父方のおじ) や **xola-m** (私の母方のおば) のように表現する。

日本語では、父方か母方かによる区別はなく、男性なら「おじさん」「おじちゃん」と呼び、女性なら「おばさん」「おばちゃん」と呼ぶ。両親との年齢の上下を表すために漢字表記を用いて、年上のほうを「伯父」「伯母」、年下のほうを「叔父」「叔母」と書き分けるが、発音上は同じく「おじ」「おば」である。言及する際には、呼びかけに用いる語形の「さん」や「ちゃん」がない形が使われる。

5.8.4 両言語の「兄弟姉妹とその配偶者」に対する呼称

両言語の「兄弟姉妹とその配偶者」に対する呼称は下記表 49 の通りである。

ウズベク語では、兄に対しては **aka**、姉に対しては **opača**、**opča** と呼びかける。その配偶者の場合も、たとえ自分より年下であっても兄や姉と同等の目上とみなし、親族語で呼びかける。兄の妻を **kennayi**、**kennoyi**、**yangā** と言い、姉の夫を **počča** と言う。言及する際には、呼びかけに用いる語形に所有一人称接尾辞を付けて、「私の○○」と表現する。

弟・妹とその配偶者は、名前で呼びかけることが普通であるが、親族語を用いて呼びかけることもできる。言及する際には、**uka-m** (私の弟) や **singl-im** (私の妹) のように表現する。その配偶者の場合、妹の夫を **kuyov-im** (私の婿)、弟の妻を **kelin-im** (私の嫁) と言うのが普通である。

日本語では、ウズベク語と同様、同世代の年上の親族には親族語で呼びかけ、年下の親族には名前や名前に「さん」「ちゃん」「くん」を付けた形で呼びかける。兄は「お兄さん」「お兄ちゃん」または「お」を取り除いた「兄さん」「兄ちゃん」などで、姉は「お姉ちゃん」「姉ちゃん」などで呼びかける。兄や姉に対する呼びかけの場合、呼称の接辞は「ちゃん」のほうが「さん」よりも優勢

であり、特に姉の場合は「さん」付けで呼ぶものは一人もいなかった。この理由は、兄弟同士で互いに年齢が近いと、より親しみを込めた「ちゃん」のほうが好まれるからであろう。また、兄・姉に対して非親族呼称（名前の呼び捨て）を使用する例も若干みられるが、この点でウズベク語とは対照的である。言及する際には、親族語を用いて、それぞれ「兄」、「姉」、「弟」、「妹」と呼ぶ。兄弟姉妹の配偶者への呼びかけは、ウズベク語とは違い、実の兄弟姉妹への呼びかけの場合と同じような言い方を用いる。兄の妻を「お姉さん」、姉の夫を「お兄さん」と言う。弟の妻と妹の夫は名前や名前に「さん」「ちゃん」を付けた形で呼ぶ。しかし、「名前＋さん、ちゃん」は年齢の上下関係を問わず、兄や姉の配偶者に対しても用いることができる。言及する際には、「兄／弟の奥さん」や「姉／妹の旦那さん」という言い方が多かった。

表 49. 両言語の「兄弟姉妹とその配偶者」に対する呼称

ウズベク語				関係	日本語			
呼びかけ	言及	男	女		呼びかけ	言及	男	女
aka	akam	3	3	兄	兄ちゃん	兄	1	2
mullaka	mullakam	-	1		兄さん	兄	-	1
					お兄さん	兄	1	-
					お兄ちゃん	兄	-	1
					名前+兄ちゃん	兄	-	1
					名前	兄	1	1
opča	opčam	2	3	姉	お姉ちゃん	姉	2	2
opača	opačam	-	2		姉ちゃん	姉	-	1
opa	opam	-	1		名前+姉ちゃん	姉	-	1
					名前	姉	1	1
名前	ukam	3	5	弟	名前	弟	2	3
					名前+くん	弟	-	1
					名前+ちゃん	弟	-	1
名前	singlim	2	4	妹	名前	妹	2	1
					名前+ちゃん	妹	-	2
kennoyi	kennoyim	1	2	兄の妻	名前+さん	兄の奥さん	1	1
kennayi	kennayim	1	1		お姉さん	兄の奥さん	-	1
yangga	yangam	1	-		お姉さん	兄嫁	-	1
名前	akamniñ xotini	-	1		兄嫁さん	兄嫁の〇〇さん	1	-
名前	kelinim	-	3	弟の妻	名前+さん	弟の奥さん	1	1
名前	kelinimiz	-	1		名前+ちゃん	弟の奥さん	-	1
名前	kelin	1	-		名前	弟の奥さん	1	-
名前	ukamniñ xotini	1	-		名前	弟の嫁	-	1
kelin	kelinim	-	1					

počča	poččam	2	6	姉の夫	お兄さん	姉の旦那さん	1	1
					お兄さん	姉の夫	-	1
					名前+ちゃん	姉の旦那さん	1	-
名前	kuyovim	1	2	妹の夫	名前+さん	妹の旦那さん	2	-
名前	singlimniņ eri	-	1		名前+くん	妹の旦那さん	1	1
kuyov	kuyovim	-	1		名前	妹の夫	-	1
kuyov	singlimniņ eri	1	-					

セペフリバディ（2012）は、小学生から社会人まで男女ともに兄・姉に対して名前やあだ名など非親族呼称を使用する人が多く、特に社会人は男女ともに兄に対して親族呼称を使用する者がいなかったという調査結果を出している。その理由として、「アニメやインターネットの影響で（65名）」、「成人してから親族呼称で呼ぶのが恥ずかしくなった（40名）」、「年齢が近いため親しみを込めて（13名）」、「友人に真似て（10名）」などの回答者のコメントを挙げている。

5.8.5 両言語の「おじ・おばの子」に対する呼称

両言語の「おじ・おばの子」に対する呼びかけ表現は次の表の通りである。なお、言及表現の表は割愛した。

表 50. 両言語の「おじ・おばの子」に対する呼称（呼びかけの場合）

	ウズベク語						関係	日本語					
	男のいところ		男	女	女のいところ			男	女	男のいところ		男	女
父方	(名前+) aka	1	3	名前	-	5	父の兄の子	名前+くん	1	2	名前+ちゃん	2	3
	名前	-	4	(名前+) opča	-	1		名前+ちゃん	1	1	名前+さん	1	-
	jiyan	1	-	opāča	-	1		名前+さん	1	-			
	名前	1	5	名前	1	5	父の姉の子	名前+くん	-	3	名前+ちゃん	2	3
	(名前+) aka	3	1	(名前+) opča	2	1		名前+ちゃん	1	1	名前+さん	1	-
	uka	-	1					名前+さん	1	-			
	名前	2	5	名前	2	5	父の弟の子	名前+ちゃん	1	1	名前+ちゃん	2	3
								名前+くん	1	2			
	名前	3	5	名前	4	4	父の妹の子	名前+くん	2	1	名前+ちゃん	2	2
(名前+) aka	1	-	(名前+) opča	1	-	名前+ちゃん		1	1				
母方	(名前+) aka	-	3	名前	-	3	母の兄の子	名前+くん	1	2	名前+ちゃん	2	3
	名前	-	2	(名前+) opača	-	2		名前+ちゃん	1	1	名前+さん	1	-
	toğača	1	-	xola	1	-		名前+さん	1	-			
	名前	-	5	名前	-	5	母の姉の子	名前+くん	1	2	名前+ちゃん	2	2
	(名前+) aka	1	1	(名前+) opča	2	-		名前+ちゃん	1	1			
				(名前+) opača	-	1							

	名前	2	5	名前	4	6	母の弟の子	名前+くん	1	2	名前+ちゃん	2	2
	(名前+) aka	-	1	(名前+) opča	-	1		名前+ちゃん	1	1			
	toğača	1	-										
	名前	1	6	名前	1	5	母の妹の子	名前+くん	1	1	名前+ちゃん	2	2
	(名前+) aka	1	1	(名前+) opča	1	1		名前+ちゃん	1	1			

ウズベク語のいところに対する呼称は、実の兄弟姉妹に対する呼称とほぼ同じ呼称を使用している。呼びかけの場合、いところが年上である場合、男性に aka、女性に opača、opča と言う。年下には名前で呼びかけるのが普通であるが、uka (弟)、singil (妹)、jiyan (甥／姪) などの親族語を用いて呼びかける例も観察された。なお、いところに対する呼びかけにおいて、父方か母方による区別はみられなかった。表では割愛したが、言及する際には、親族語に所有一人称接辞を付けて amakivačča-m/ammavačča-m (私の父方のいところ)、toğavačča-m/xolavačča-m (私の母方のいところ) のように言うか、amakimniñ ogli (私の父方のおじの息子)、xolamniñ qizi (私の母方のおばの娘) のように表現する。

日本語のいところに対する呼称は、ウズベク語とは違い、年齢の上下による区別はない。男性なら「名前+くん、ちゃん、さん」など、女性なら「名前+ちゃん、さん」などで呼びかける。呼称の接辞は、男のいところの場合、「くん」と「ちゃん」の両方が用いられるのに対し、女のいところの場合は、主に「ちゃん」付けで呼びかけ、「くん」を用いる例はなかった。なお、日本語においても、いところを父方か母方によって区別する例はみられなかった。言及する際には、親族語を用いて「いところ」「いとこの〇〇」というか、「おじの息子」「おばの娘」のように表現する。

5.8.6 両言語の「息子・娘とその配偶者」に対する呼称

両言語の「息子・娘とその配偶者」に対する呼称は次の表の通りである。

表 51. 両言語の「息子・娘とその配偶者」に対する呼称

ウズベク語				関係	日本語			
呼びかけ	言及	男	女		呼びかけ	言及	男	女
名前	oglim	1	4	息子	名前	息子	2	4
					名前+くん	息子	-	1
					名前+ちゃん	うちの子供	-	1
名前	qizim	2	5	娘	名前	娘	3	3
qizim	qizim	1	1		名前+ちゃん	娘	-	1
					名前+ちゃん	うちの子供	-	1
				息子の妻	名前	嫁	1	1
					名前+ちゃん	嫁	-	1
名前	kuyovim	1	3	娘の夫	名前	婿	1	-
					名前+くん	婿	-	1

ウズベク語では、息子・娘及びその配偶者への呼びかけは、名前を用いることが多いが、親族語を使う例もみられる。言及する際には、親族語に所有一人称接辞を付けて、息子を **ogl-im** (私の息子)、娘を **qiz-im** (私の娘)、娘の夫を **kuyov-im** (私の婿) と言う。今回の調査では回答がなかったが、息子の妻は、弟の妻と同じく **kelin**、**kelin-im** と言うのが普通であると思われる。なお、親族成員間での会話において、息子・娘について話す時は、話し相手に視点を移動して「あなたの〇〇」というふうに言及する特徴がみられた。例えば、話し相手が年少者の祖父母である場合は **nabira-iz** (あなたの孫)、おじ・おばである場合は **jiyan-iz** (あなたの甥／姪) と言及するわけである。

日本語では、息子・娘及びその配偶者は、名前や名前に「くん」、「ちゃん」を付けた形で呼びかけ、この点でウズベク語と似ていると言える。しかし、ウズベク語では、下位世代の親族に対して親族語を用いて呼びかけることができるのに対して、日本語ではこのような用例がみられない。なお、宋 (2007: 116) は、日本語の場合、呼びかけ表現として「息子よ」のように呼格助詞の共起が条件で用いられることがあるが、これは演劇や詩などのジャンルに限られていると指摘している。言及する際には、親族語を用いてそれぞれ「息子」、「娘」、その配偶者を「嫁」、「婿」と言う回答が多かった。

5.8.7 両言語の「甥・姪」に対する呼称

両言語の「甥・姪」に対する呼びかけ表現は次の表の通りである。なお、言及表現の表は割愛した。

表 52. 両言語の「甥・姪」に対する呼称 (呼びかけの場合)

ウズベク語						関係	日本語					
甥	男	女	姪	男	女		甥	男	女	姪	男	女
名前	3	4	名前	2	4	兄の子	名前	-	3	名前	1	3
							名前+くん	1	-	名前+ちゃん	1	1
							名前+ちゃん	-	1			
名前	1	5	名前	1	3	姉の子	名前	-	3	名前	1	3
jiyan	1	-	jiyan	1	-		名前+くん	1	-	名前+ちゃん	1	1
							名前+ちゃん	-	1			
名前	1	3	名前	1	3	弟の子	名前	-	1	名前	1	2
							名前+くん	1	-	名前+ちゃん	-	1
							名前+ちゃん	-	1			
名前	1	4	名前	1	3	妹の子	名前	-	2	名前	1	2
jiyan	1	-	jiyan	1	-		名前+くん	2	-	名前+ちゃん	2	1
							名前+ちゃん	-	1			

ウズベク語では、甥・姪への呼びかけは、主として名前を用いるが、親族語を使って **jiyan** (甥／姪) と呼びかけることもできる。言及する際には、親族語に所有一人称接尾辞を付けて **jiyan-im** (私

の甥／姪)のように言うか、akamniŋ oġli (私の兄の息子)、opčamniŋ qizi (私の姉の娘)のように表現する。

日本語では、呼びかける際には、名前や名前に「くん」、「ちゃん」を付けた形を用いる。言及する際には、親族語を使って、それぞれ「甥」「姪」と呼ぶ。

5.8.8 両言語の「孫」に対する呼称

両言語の「孫」に対する呼称は次の表の通りである。

表 53. 両言語の「孫」に対する呼称

ウズベク語				関係	日本語			
呼びかけ	言及	男	女		呼びかけ	言及	男	女
名前	nevaram	1	1	息子の子 (男)	名前	孫	1	1
					名前+くん	孫	-	1
名前	nevaram	-	1	娘の子 (男)	名前	孫	1	1
					名前+くん	孫	-	1
				息子の子 (女)	名前	孫	1	1
					名前+ちゃん	孫	-	1
				娘の子 (女)	名前	孫	1	1
					名前+ちゃん	孫	-	1

孫に対する呼称においても、両言語とも弟・妹や甥・姪の場合と同じく、呼びかけには名前を用い、言及には親族語を用いる。

ウズベク語では、呼びかける際には名前を用いるが、言及する際には、親族語に所有一人称接辞を付けて nevara-m (私の孫) と言う。

日本語では、呼びかける際には、名前や名前に「くん」、「ちゃん」を付けた形を用いる。言及する際には、孫が女性の場合は「孫娘」という親族語を使うことがあるが、孫が男性の場合は「孫息子」とは言わず、「孫」と言う。

5.8.9 両言語の「配偶者」に対する呼称

(1) 呼びかけ表現

両言語の「配偶者」に対する呼びかけ表現は次の表の通りである。

表 54. 両言語の「配偶者」への呼びかけ表現

ウズベク語			日本語		
視点移動類	夫⇒妻	妻⇒夫	視点移動類	夫⇒妻	妻⇒夫
dadasi	-	6	お父さん	-	3

bobosi	-	2	お父ちゃん	-	1
			おじいちゃん	-	1
			パパ	-	1
			お母さん	2	-
			おつかあ	1	-
			おばあちゃん	1	-
			ママ	1	-
名前類			名前類		
名前	4	-	名前	3	1
			名前+ちゃん	-	2
親族語類			親族語類		
名前+aka	-	3			
代名詞類			代名詞類		
			あなた	-	1
感動詞類			感動詞類		
hey	-	4	お〜い	1	-
hoy	-	1	ねえ	1	-

ウズベク語では、配偶者に呼びかける際の言い方には、視点移動類（子や孫の視点から見た言い方。後述）をはじめ、親族語類、感動詞類、名前の呼び捨てなどさまざまな形がある。一般的な傾向としては、夫は妻に名前や名前の愛称形を用い、妻は夫を呼び捨てにすることができず、子供が生まれる前は、「hey」「hoy」などの感動詞や「名前+aka」のような親族語を用いるが、子供が生まれてくると、dada-si（お父さん！）や bobo-si（おじいさん！）のように呼びかけることが多い。

日本語では、子供が生まれる前は名前を用いるが、子供が生まれた後は、夫に対しては「お父さん」「お父ちゃん」「パパ」など、妻に対しては「お母さん」「ママ」のような視点移動類を用いる回答者が多く、この点でウズベク語と共通している。但し、子供がいる家庭では、配偶者を子供の前で呼ぶ場合と二人だけの時に呼ぶ場合とでは違った言い方をする回答者が多いという結果が出た。

表 55. 子供がその場にいるか否かの違いによる配偶者への呼びかけ表現

子供の前で	二人だけで	男	女
お父さん	名前+ちゃん	-	2
お父さん	あなた	-	1
パパ	あなた／ねえ	-	1
ママ	名前／お〜い	1	-
お母さん	名前	1	-
母さん	名前	1	-
お父ちゃん	お父ちゃん	-	1
名前	名前	-	1

つまり、子供の前では「お父さん」「お母さん」のような父・母称で呼び、二人だけの時は名前や代名詞（「あなた」など）、感動詞（「お〜い」「ねえ」など）を用いる夫婦がほとんどである。ウズベク語では、このような場合、違う言い方をする回答者はみられなかった。

また、日本語では、夫婦間において年齢差による上下関係が成立しておらず、互いに名前や人称代名詞で呼び合うことができるという点でウズベク語とは対照的である。

(2) 言及表現

(2)-1 話し相手が親族・姻族の場合

両言語の話し相手が親族・姻族の場合の「配偶者」への言及表現は表 57 の通りである。

ウズベク語では、話し相手が親族・姻族の場合は、話し相手の立場に視点を移動して「あなたの〇〇」と言及する傾向がみられた。例えば、夫に言及する場合を見ると、上位及び同世代の年上の親族を相手に kuyov-iz（あなたのお婿さん）、弟・妹を相手に počča-ŋ（お前の義理のお兄さん）、子供を相手に dada-ŋ（お前のお父さん）と言う。話し相手が姻族の場合は、義理の父・母を相手に oğl-iz（あなたの息子さん）、義理のおじ・おばを相手に jiyan-iz（あなたの甥御さん）、義理の兄・姉を相手に uka-iz（あなたの弟さん）、義理の弟・妹を相手に aka-iz（あなたのお兄さん）と言う。妻の場合、（妻の）名前を用いる場合が多いが、話し相手の立場に視点を移動して言及することもできる。例えば、話し相手が親族である場合は、上位世代の親族を相手に kelin-iz（あなたのお嫁さん）、弟・妹を相手に kennayi-ŋ（お前の義理のお姉さん）、子供を相手に aya-ŋ, opa-ŋ（お前のお母さん）と言う。話し相手が姻族である場合は、義理の父・母を相手に qiz-iz（あなたの娘さん）、義理の兄・姉を相手に singl-iz（あなたの妹さん）と表現する。

日本語では、親族・姻族を相手に配偶者に言及する際には、名前類を用いる人が多い。なお、夫への言及表現として義理の弟・妹を相手に視点移動類の「お兄さん」と言う例が 1 例観察された。しかし、話し相手が子供である場合は、その子の立場に視点を移動して、夫に「お父さん」「お父ちゃん」「パパ」などの呼称で、妻に「お母さん」「ママ」などの呼称で言及する傾向がみられた。

表 56. 両言語の配偶者への言及表現（話し相手が親族・姻族の場合）

話し相手 言及表現			話し相手が親族の場合					話し相手が姻族の場合			
			父/母	おじ/おば	兄/姉	弟/妹	子	義理の父/母	義理のおじ/おば	義理の兄/姉	義理の弟/妹
ウズベク語 妻 ↓ 夫		akez	-	-	-	-	-	-	-	-	6
		dadasi	-	1	1	-	-	-	2	-	-
		dadaŋ	-	-	-	-	7	-	-	-	-
		jiyaniz	-	-	-	-	-	-	2	-	-
		kuyoviz	5	4	3	-	-	-	-	-	-
		oğliz	-	-	-	-	-	6	-	-	-
		poččaŋ	-	-	-	3	-	-	-	-	-
		ukez	-	-	-	-	-	-	1	7	-
		名前+aka	2	2	2	2	-	-	2	-	-

	夫 ↓ 妻	ayan	-	-	-	-	3	-	-	-	-
		keliniz	1	2	2	-	-	-	-	-	-
		kennayin	-	-	-	2	-	-	-	-	-
		opan	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		qiziz	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		singliz	-	-	-	-	-	-	-	2	-
		名前	2	2	2	2	-	3	4	2	2
日 本 語	妻 ↓ 夫	お父さん	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		お父ちゃん	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		パパ	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		うちの人	1	1	-	-	-	-	-	1	-
	夫 ↓ 妻	お兄さん	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		名前	3	3	3	3	-	3	3	3	3
		名前+さん	1	1	1	1	-	2	2	1	1
	夫 ↓ 妻	お母さん	-	-	-	-	2	-	-	-	-
		ママ	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		名前	3	3	3	3	-	3	3	3	3
		名前+ちゃん	1	1	1	1	-	1	1	1	1

(2) - 2 話し相手が親族・姻族以外の場合

両言語の話し相手が親族・姻族以外の場合の「配偶者」への言及表現は次の表の通りである。

表 57. 両言語の配偶者への言及表現（話し相手が親族・姻族以外の場合）

話し相手 言及表現			話し相手が（親族・姻族以外の場合）			
			初対面の人	上司	友人	隣の子
ウ ズ ベ ク 語	妻 ↓ 夫	amakiz	-	-	-	2
		dadasi	-	-	4	3
		dadamiz	-	-	1	-
		erim	-	-	2	-
		xojayinim	6	6	-	-
		名前+aka	1	1	-	-
		名前+akez	-	-	-	2
	夫 ↓ 妻	ayolim	2	2	-	-
		turmuş ortogim	1	1	-	-
		xotinim	1	1	4	-
		名前+kennayin	-	-	-	4

日 本 語	妻 ↓ 夫	主人	4	4	1	-
		夫	1	1	-	-
		旦那	-	-	1	-
		旦那さん	-	-	1	-
		おじさん	-	-	-	1
		おじちゃん	-	-	-	1
		わからない	-	-	-	2
		パパ	-	-	1	-
		うちのパパ	-	-	-	1
		名前	-	-	2	-
	夫 ↓ 妻	妻	3	3	1	-
		家内	1	1	1	-
		奥さん	-	-	2	-
		うちの奥さん	-	-	1	1
		おばさん	-	-	-	1
		おばちゃん	-	-	-	1
		わからない	-	-	-	2

ウズベク語では、話し相手が上司や初対面の人など改まった場面において、夫を *xojayin-im*、妻を *ayol-im*、*turmuš ortog-im* と言う。話し相手が知り合いや友人などくだけた場面では、夫を *er-im* (私の夫)、妻を *xotin-im* (私の妻) と言う。このような場合、話し手は配偶者との関係を自分自身の視点から表現する。しかし、話し相手が子供である場合は、子供の立場に視点を移動して、夫については *amaki-z* (あなたのおじさん)、「名前+*aka-iz*」(〇〇お兄さん)、妻については「名前+*kennayi-ŋ*」(〇〇お姉さん)と表現する。なお、夫に対して、呼びかけに用いる *dada-si* (彼／彼女の) お父さん) や「名前+*aka*」をそのまま言及表現として使う人もいる。

日本語では、配偶者への言及表現にはさまざまな言い方があり、話し相手や場面によって使い分けられる。上司や初対面の人など改まった場面では、夫を「主人」、妻を「妻」と言う回答者が多い。友達との会話では、夫に対しては名前や「主人」「旦那(さん)」「パパ」など、妻に対しては「(うちの)奥さん」「妻」「家内」などさまざまな言葉が用いられている。なお、隣の子との会話では、「わからない」と答えた人もいるが、他に視点移動類の「おじさん」「おばさん」を用いる回答者もいる。

なお、米田(1986)が首都圏に住む夫婦を対象に行った調査では、夫への言及の場合、「主人」の使用率が改まった場面でもくだけた場面でも圧倒的に高いという。妻への言及の場合、改まった場面では「家内」が多く、くだけた場面では「名前」が多いという研究結果を出している。

5.8.10 結語

以上のことから、ウズベク語と日本語の親族呼称の異同は以下の諸点にまとめられる。

- ① ウズベク語では、同一の親族語が複数の親族関係に対して用いられることがある。例えば、標準ウズベク語の「兄」に当たる語である **aka** は、夫やおじ、いとこなど年上の傍系男性親族や姻族に対して呼称として使われる。また、「姉」に当たる呼称である **opa** は、母やおば、祖母などの女性親族（姻族）に対して使われることがある。そのほかにも、**dada**（父と祖父に対して）や **bova**（祖父とおじに対して）など、いくつか例がみられる。一方、日本語にはこのような現象はみられない。
- ② 両言語とも、親族成員間での呼びかけにおいては、世代の上下が呼称の使い分けの基準になっており、自分より上の世代の親族は親族語で呼びかけ、下の世代の親族は名前や愛称で呼びかけるといって共通している。しかし、日本語では、上位世代の親族に対して「名前＋ちゃん／さん」で呼びかける例も観察されたが、ウズベク語ではそのような用例はみられない。
- ③ ウズベク語では、同世代の親族に対する呼びかけにおいても年上か年下かの区別は厳格に守られており、兄・姉のみならず、年上のいどこに対しても親族語で呼びかけるのが普通である。一方、日本語では、兄・姉に対して名前やあだ名など非親族呼称を使用する人が多く、同世代間の年齢の上下はそれほど重要視されていないようである。
- ④ ウズベク語では、祖父母やおじ・お婆の場合（いとこの場合は言及用法に限って）、父方と母方で形式の相違がみられるが、日本語においては、そのような区別はみられない。
- ⑤ ウズベク語では、親族語の指示対象は年上の親族に限らず、年下の親族に対しても親族語を用いて呼びかけることが可能である。一方、日本語では、年下の親族に対して親族語で呼びかける用例はみられない。
- ⑥ 日本語では、夫婦間の呼称において年齢差による上下関係が成立しておらず、互いに名前や人称代名詞で呼び合うことができるが、ウズベク語では、夫に対して人称代名詞や名前だけで呼びかけることはできず、**hey**、**hoy** などの感動詞を用いて呼びかけるか、「名前＋**aka**」というふうに、名前に親族語を付けて呼びかけるのが普通である。しかし、子供が生まれてくると子供の立場に視点を移動して配偶者に呼びかけるという点で共通している。なお、ウズベク語の場合、その間接性が人称接辞によって言葉に現れることが特徴的である。
- ⑦ 性差は、両言語の呼称表現の選択の要因の一つとなっている。ウズベク語では、例えば、夫が妻を名前で呼び捨てにすることができるが、妻はできない。また、子供の立場に視点を移動して配偶者に呼びかける表現は、男性はあまり用いず、もっぱら女性によって使われている。日本語では、例えば、成人した女性は父親を「おやじ」と呼んでも、母親を「おふくろ」と呼ばない等々である。
- ⑧ 両言語とも、自分より下の世代の親族との会話では、親族の誰かについて話す時、自分と言及の対象者との親族関係を直接表現しないで、年少者（下位世代の親族）の立場に立って間接的に表現する。しかし、ウズベク語では、このような場合、完全に子供の身になりきるのではなく、所有二人称接尾辞を付けて「あなたの」と言わなければならない。例えば、子供に向かって夫について **dada-ŋ**（お前のお父さん）とは言えるが、**dada**（お父さん）とは言えず、完全に自分と話し相手（年少者）を一体化させることはない。

第6章 愛称

この章では、ウズベク語における友人などに対する呼び方としての愛称の形成法について論じ、合わせて日本語における愛称形成法との類似点と相違点を検討する。今回は、ウズベク語の愛称形成法の実態調査とその結果の検討が中心であり、日本語については安富（2005）の調査結果から得た例の検討に留まる。

なお、ウズベク語の愛称に関する研究は理論的にも記述的にもほとんどない。そこで、愛称の定義や形成法などに関する一般的な議論においては、日本語における愛称研究の成果を参照する。

6.1 先行研究

6.1.1 日本語の愛称に関する先行研究

牧田（1961）は、一般的に「愛称」と言われるものの特質として次の四つを挙げている。

- 一、愛称は人間、動物、自然物などの対象の非公式な名称である。
- 二、愛称には感情の移入が行なわれている場合が多い。
- 三、通俗性あるいは簡便性を持つ。
- 四、軽妙さ、ユーモア、ウィットを含む親近性を持つ。

牧田（1961）は、夫婦や恋人間で用いられる「ダーリン」のような愛情の強い表現は、西洋の諸言語には豊富であるが、日本語はこのような愛称には乏しく、「あなた」「お前」といった代名詞の音声、イントネーションを変化させることによって愛情表出を行っている述べている。なお、花ちゃん、太郎ちゃん、ソーニャ、ジャッキー等、名前に一定形式の変化を加えたものを愛称とするのは一般的であるが、これらは通り名、通称といった機能を兼ねることもあることから、愛称とのみ言いにくい場合があると指摘している。通り名、通称には必ずしも情緒効果は期待されていないからであると述べている。

山口（1985）は、「相手から揶揄されたり軽んぜられたりしている感じの呼び名をあだ名、親愛の気持のこめられた温かい感じのする呼び名を愛称（p.168）」と考え、その両者の弁別の目安として以下の三つの基準を挙げている。

- (4) 本人の前で、本人をさす二人称代名詞的用法が可能と考えられるものを愛称とし、不可能と思われるものをあだ名とする。（中略）
- (5) 名前以外の事物を連想させることの少ない呼び名を愛称、名前以外の他の事物をただちに連想させる呼び名をあだ名とする。（中略）
- (6) 接辞のちがいによって、愛称とあだ名とをある程度区別する。（中略）

(pp.168f)

(1) の場合、例えば本人に向かって、「やっちゃんは、どう考える？」のように、本人を指示することのできる呼び名を愛称とし、「はなぺちゃは、どう考える？」のように、本人に向かって言いにくい呼び名をあだ名としている。

(2) の場合、例えば「のえみ→のんこ」「ゆかり→ゆっち」のように、呼び名以外の事物を思い起こすことの少ない呼び名を愛称とし、「金親→かねちかん」「工藤麻里→くま」のように、「痴漢」や「熊」を連想させるような揶揄の意味をこめることが可能な呼び名をあだ名と考えている。

(3) の場合、親しみやすさ、可愛らしさを強調するものを愛称とし、田舎くささや怪獣などを

感じさせるものをあだ名と考え、以下のように接辞の区別を行なっている。

愛称を形成する接辞：

お——	(おけい←恵子)
お——さん	(おたこさん←多佳子)
—— (っ) / (ん) こ	(よっこ←好美) (のんこ←のえみ)
—— (ん) た	(のんた←のえみ)
—— (っ) ち	(ゆっち←ゆかり)
—— (っ) / (ん) ちょ	(おだっちょ←小田切) (もがんちょ←最上)
—— (っ) ペ	(かよっぺ←佳代)
——や	(みいや←実千代)
——吉つあん	(とも吉つあん←朋子)
——くん	(たっくん←隆)
——公	(りえ公←理恵)
——さん	(みいさん←みゆき)
——すけ	(ちいすけ←千恵子)
——たん	(みいたん←美和子)
——ちゃ	(ひとちゃ←等)
——ちゃん	(まあちゃん←昌江)
——ちん	(よっちん←芳子)
——つあん	(よつつあん←四元)
——どん	(まさどん←雅美)
——のん	(きえのん←貴恵子)
——びん	(けいびん←恵子)
——ぺぺ	(さゆぺぺ←小百合)
——坊	(ちい坊←千恵子)
——やん	(さあやん←佐山)
——りん	(きよこりん←京子)

あだ名を形成する接辞：

——ゴン	(ヨネゴン←今米)
——さく	(すぎさく←杉本)
——じ	(きゃじ←恵子)
——べえ	(むらべえ←村井)
——ぺえ	(じゅんぺえ←純子)
——マン	(タマルマン←田丸)
——ラ	(ガモラ←岡本)

(pp.169-171 によりまとめ)

安富 (2005) は、親愛の気持を込めて呼ぶ言い方を愛称とし、不快な感じを与える言い方を愛称

とは認めないという立場を取っている。同論文では、ゼミに出席している学生の報告に基づいて、日本語の人名に基づく愛称を形成する形式として次のようなものを挙げている。

- ① 敬称類接辞（「さん」「くん」「ちゃん」等）や愛称形成接辞（「たん」「ちん」「ぺ」「ぴー」等）の添加によるもの。
- ② アクセントの変更（やまもり、山森→山盛り等）
- ③ 苗字や名前の短縮（山田→やま、滋通（しげみち）→しげ等）
- ④ 苗字や名前の反復（釣→つりつり、真帆→まほまほ等）
- ⑤ 苗字や名前の頭文字を取ったもの（鈴木→すー、雅子→まー等）
- ⑥ 苗字と名前との混合（小林有紀→こばゆき、佐藤憲作→さとけん等）
- ⑦ セグメンテーションの変更（手塚美奈子→てづかみ、倉田真由美→くらたま等）
- ⑧ 倒置（加藤→トーカ など）
- ⑨ 音訓の変更（康成（やすなり）→こうせい、詠子（えいこ）→うたこ等）
- ⑩ 音声変化（たくひと→たくっと、のりこ→によりこ等）

さらに、それらを組み合わせたものとして以下のような例が多くみられると述べている。

短縮→接辞付加（「やまちゃん」（山田→やま（短縮）→山+ちゃん（接辞付加）））

短縮→接辞付加→音便（「やっさん」（安田→安（短縮）→安+さん（接辞付加）→やっさん（音便）））

短縮→反復（「うりうり」（瓜谷→瓜（短縮）→うりうり（反復）））

混合→短縮→倒置→接辞付加（「ゆばさん」（小林由紀→こばゆ（混合）→ばゆ（短縮）→ゆば（倒置）→ゆば+さん（接辞付加）））

音訓の変更→短縮→接辞付加（うたちゃん（詠子→うたこ（音訓の変更）→うた（短縮）→うた+ちゃん（接辞付加）））

(p.58 により要約)

また、女子の愛称形成に用いられる「お+〇〇+ちゃん、さん、様」の組み合わせ（おせんちゃん、おたけさんなど）や苗字や名前から連想される事柄に因むもの（幹男→ミッキー、今富→トミーなど）もあると指摘している。

6.1.2 ウズベク語の愛称に関する先行研究

ウズベク語の愛称に関する先行研究として Ma'ruf (1941)、Rahmatullayev (2006) などが挙げられる。

Ma'ruf (1941) では、可愛がりや縮小（いわゆる指小辞のこと）、親愛、尊敬、軽蔑などの意味を表わす愛称形成接辞を、次の 10 種類に分けている。

- | | |
|-------------|--|
| ① -ča | 例 : yigit (青年) →yigit-ča、uy (家) →uy-ča |
| ② -čak、-čəq | 例 : kelin (嫁) →kelin-čak、qozi (子羊) →qozi-čəq |
| ③ -čiq、-čuq | 例 : tøy (子馬) →tøy-čiq、qəp (袋) →qəp-čiq |

④	-l o q	例: t o y (子馬) → t o y-l o q, q i z (女の子) → q i z-a-l o q
⑤	-g i na、-k i na、-q i na	例: b o la (子) → b o la-g i na, t e ntak (馬鹿) → t e ntak-k i na
⑥	-j o n	例: Turgun (人名) → Turgun-j o n, o na (母) → o na-j o n
⑦	-x o n	例: Dilbar (人名) → Dilbar-x o n, Salima (人名) → Salima-x o n
⑧	- o y	例: Y o qut (人名) → Y o qut- o y, Halima (人名) → Halima- o y
⑨	-a y 、-e y	例: b o b o (祖父) → b o b o - y , o tasi (父さん! (夫に対する呼びかけ)) → o tasi-e y
⑩	-k a y	例: b o la (子) → b o la-k a y

(pp.117-122 により要約)

Ma'ruf (1941) ではこれ以上何も述べていないが、筆者の了解では、⑥～⑧は個人名や親族名などの人を表す名詞に添加して愛称を形成する接辞である。一方、①～⑤と⑨～⑩は普通名詞に添加できる接辞である。

なお、⑥～⑧を用いた語形が愛称としての意味を失い、普通の人名として用いられる場合がある。例えば、筆者の個人名である「Ma'mur-j**o**n」(Maamoorjon) の-j**o**n は、本来愛称形成接辞であるが、もはや名前の一部であり、愛称としての意味合いはない。そのほか、実例として Ma'murj**o**n Uz**o**qov (ウズベキスタン人民歌手、名誉歌手)、K**o**milj**o**n **O**taniy**o**zov (ウズベキスタン人民芸術家、作曲家)、Anvar **O**bidj**o**n (ウズベキスタン人民作家)、Ma'rufj**o**n Mur**o**dillayev (スポーツ選手、金メダル保持者) などがある。

Rahmatullayev (2006) は、人名に添加することができる接辞として-j**o**n (buv**i**-j**o**n、**O**lim-j**o**n)、-x**o**n (K**o**mila-x**o**n)、-**o**y (Tursun-**o**y) の他に、-b**o**y (Rav**š**an-b**o**y) という接辞についても指摘しているが、それ以上のことは触れていない。

以上挙げた Ma'ruf (1941) も Rahmatullayev (2006) も接辞添加の指摘のみにとどまっており、使用頻度や使い分けなど詳しい研究は行っていない。また、彼らの挙げた接辞の中には、6.4.2 で指摘する通り、男性名にだけ付けられるものと、女性名にだけ付けられるもの、また両方に付けられるものが存在するが、その事実に関しても言及されていない。また、ウズベク語では、愛称形成の手段に省略という方法もあるが (例えば、Baxtiy**o**r→Baxti、X**o**lmur**o**d→Mur**o**d など)、それに関しても言及がない。

本稿では、従来の先行研究などにおいてほとんど指摘されていない省略と接辞添加による愛称形成法に重点を置いて考察する。なお、今回は個人名から形成される愛称 (以下、「人名愛称 (安富 2005)」と呼ぶ) を中心に分析を行う。ウズベク語には、個人名から作られる愛称の他に、普通名詞に一定の接辞を付けることで「愛称」として用いられるものがある。例えば、親子や夫婦、恋人間などで用いられる愛情の強い表現である j**o**n-im (私の魂) や t**o**y**č**o**g**-im (私の子馬) などがそうである。このような愛称表現については今後の課題とし、本稿では扱わない。

6.2 ウズベク語における人名の構成

ウズベク語における愛称は人名の特定の部分から形成される。そのことを説明するためにウズベ

ク語における人名の構成について簡潔に述べる。

ウズベク人の正式な名前は三つの要素から構成されていることが多い。これはロシア人の正式名の構成の影響を受けたものである。千野 (1974) によると、ロシア人の人名は三つの要素から成り立つことが多く、一つは姓、もう一つは名（個人名）であり、その姓と名（個人名）の間に父称が収まるという。しかし、ウズベク人の名前はロシア語のそれとはやや異なる。つまり、ウズベク人の名前の場合、最初に来る・ov で終わるものは familya（姓）と見なされているが、それは「代々引き継がれる姓」ではなく、祖父の名や曾祖父の名にロシア語の姓を作る接辞が付加されてできたものである。例えば、筆者の旅券に記載されている正式な名前は次の通りである。

キリル文字表記：Холназаров Маъмуржон Каримжонович

ローマ字表記： Holnazarov Maamoorjon³⁰ Karimjonovich

筆者の正式な名前の場合、最初の Holnazarov（ローマ字表記：Holnazarov）は曾祖父名の Holnazar にロシア語の姓を作る接辞・ov が付いたものである。次の Ma'murjon（Maamoorjon）は個人名であり、最後の Karimjonovič（Karimjonovich）は父名の Karimjon にロシア語の父称を作る接辞・ovič が付いたものである。ウズベク人は姓の代わりに「曾祖父名・ov」を使う人もいれば、「祖父名・ov」を使う人もいる。例えば、筆者の息子のパスポートに記載されている正式な名前は、「曾祖父名・ov」ではなく、「祖父名・ov」で始まるのである。

キリル文字表記： Каримжонов Шохжахон Маъмуржонович

ローマ字表記： Karimjonov Shohjahon Maamoorjonovich

この場合、Karimjonov（Karimjonov）は祖父名にロシア語の姓を作る接辞・ov が付いたものであり、Šohjahon（Shohjahon）は個人名であり、Ma'murjonovič（Maamoorjonovich）は父名にロシア語の父称を作る接辞・ovič が付いたものである。

ウズベク語の愛称は個人名からのみ作られる。祖父名（または曾祖父名）や父名をもとにして作られることはない。後述 6.4 で取り上げている愛称は全て個人名をベースにしている。

以下、ウズベク語における人名の語構成や用法についていくつか補足する。

祖父名（または曾祖父名）あるいは父名に付加されるロシア語の接辞は、男性と女性とで異なる。男性の場合は、語尾が子音で終わるものには・ov、・ovič が付けられ、語尾が母音で終わるものには・yev、・yevič が付けられる。女性の場合は、語尾が子音で終わるものには・ova、・ovna が付けられ、語尾が母音で終わるものには・yeva、・yevna が付けられる。

男性の場合： 祖父名（または曾祖父名）・ov（・yev） + 個人名 + 父名・ovič（・yevič）

女性の場合： 祖父名（または曾祖父名）・ova（・yeva） + 個人名 + 父名・ovna（・yevna）

³⁰ 正しくは、キリル文字の Маъмуржон に相当するローマ字表記は Ma'murjon となるべきであり、Maamoorjon は旅券事務所の作成ミスである。

ウズベキスタンが独立して以来、人名の構成を次のようなウズベク式のものに変える人も少なくない。

男性の場合： 個人名＋父名＋*ogli*

女性の場合： 個人名＋父名＋*qizi*

この場合の *ogli* は「(〇〇の) 息子」という意味の語であり、*qizi* は「(〇〇の) 娘」という意味の語である。なお、最後の *ogli* や *qizi* を省略した「個人名＋父名」の構成のものもある。

ウズベク語においては「祖父名・*ov* (-*yev*)＋個人名＋父名・*ovič* (-*yevič*)」という 3 要素を全て用いることはほとんどなく、パスポートのようなフォーマルな書類や文書などでの人名表記の場合に限られる。学校などで出欠をとるときには、「*Islomov Anvar*」のように、「祖父名（または曾祖父名）・*ov* (-*yev*)＋個人名」で呼ぶことが多い。また、先生が学生に直接呼びかけるときは、個人名の代わりに「祖父名（または曾祖父名）・*ov*」を使うことがあるが、学校以外の所では「祖父名（または曾祖父名）・*ov*」を使うことはめったにない。直接呼びかける場合は、通常、話し相手が目上（上司や年上の人）であれば、「個人名＋（上の世代に属する）親族名称」で呼びかけ、話し相手が目下（部下や年下の人）であれば、個人名や愛称などを用いて呼びかける。

最後に、ウズベク語では、聞き手を指す個人名を二人称代名詞的に用いることができない。例えば、日本語では本人に向かって「田中さんにあるまじき行為です」と言うことができるが、ウズベク語では本人に向かって「× Tanakaga yarašadigan iš emas」と言うことはできない。ウズベク語では、このような場合、まず個人名で呼びかけ、続いて二人称代名詞で文を始めるのが普通である。次の例を見ていただきたい。

99) Qoyin'e, mulla³¹ Anvar, siz-ga yarašadigan iš emas bu.

勘弁してよ 尊敬表現 人名、 あなた・DAT ふさわしい 仕事 じゃない これ

(アンワルさん、勘弁して下さい。これはあなたのような方にあるまじき行為です。)

(Tohir Malik. 1994. *Shaytanat. 1-kitob*. p. 195)

この例では、話し相手に向かって「× Anvarga yarašadigan iš emas」と言うと、話し相手本人ではなく、誰か違う人（第三者）に言及しているかのように解釈されてしまうからである。

6.3 調査方法

現代ウズベク語における愛称形成法の実態を把握するためにアンケート調査を実施した。本調査は、ウズベク語母語話者 14 名（タシケント州チナズ市出身者 13 名とタシケント市出身者 1 名）を対象に、ウズベク人の個人名 494 例を示し、それに対して回答者が知っている愛称形を回答してもらうという形で実施したものである。男女別の内訳は、男性 6 人に女性 8 人である。調査で扱った個人名は、全て Kamol (1993) から取ったものである。494 例のうち、311 例が男性名であり、165

³¹ Mulla は、イスラム教の学者や教師、律法学者への尊敬表現であり、呼びかけ表現などで人名の前に付けて用いる時、その人への尊敬を表す (Ma'ruf oved. 1981a : 478 による)。

例が女性名である。残りの 18 例は男女両方に使われる名前である。なお、詳しくは資料 9、10 を参照されたい。

調査によって収集した愛称形の実例をもとにウズベク語の愛称形成法を分析した。

6.4 調査結果と分析

アンケート調査の結果を観察すると、ウズベク語の愛称形の作り方には、二つの方法がある。個人名の一部省略と、個人名（及びその省略形）への接辞添加である。以下では、その具体的な形成方法について、形態・音韻論的観点から分析する。なお、表にある語形変化過程は、あくまで筆者の解釈による暫定的なものであり、他の分析可能性もある。

6.4.1 個人名の一部省略による愛称形成

個人名の一部省略によって形成される愛称形には、前部省略や中部省略、後部省略など、さまざまなパターンの省略がみられた。また、用例数は少ないものの、「前部＋後部省略」「中部＋後部省略」などのパターンも若干みられた。

次の表は、個人名の一部省略による愛称形を用例数が多い順に表示したものである。但し、音韻変化や反復によるバリエーションを含む。また、省略と同時に接辞添加（6.4.2 で検討する）を伴うものも含んでいる。

表 58. 省略による愛称形の用例数

省略	用例数
後部省略	421
前部省略	98
中部省略	20
前部＋後部省略	10
中部＋後部省略	2
合計	551

以下に示す表の個人名と由来は Kamol (1993) に従ったが、一部修正したものがある。なお、性別は著者の判断による。また、「(fe)male」は男性名・女性名の両方を指す。

後部省略による愛称形成の例は 331 の個人名をもとにした 421 例である。次の表の通りである。

表 59. 後部省略により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Abdulahad (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
Abdulazim (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)

	Abdu	2	
	Abu	1	Abdu→Abu (子音の脱落)
Abdulaziz (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	2	
Abdulfattōh (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
Abdulḡafur (ar.) <i>male</i>	Abdiš	3	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	2	
Abdulḡaffōr (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
Abdulḡani (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdulhay (ar.) <i>male</i>	Abdulha	2	
	Abul	1	Abdul→Abul (子音の脱落)
Abdulhamid (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdulhafiz (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdulhakim (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abduljabbōr (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
Abduljalil (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
Abdulkarim (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
Abdullatif (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdullōh (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	3	
	Abdul	3	
	Abdulla	3	Abdullo→Abdulla (母音交替 : o→a)
Abdulmalik (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
	Abdul	1	
Abdulqahhōr (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdulqōdir (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdulvahhōb (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
	Abol	3	Abdul→Abul→Abol (子音の脱落、母音交替 : u→o)
Abdulvali (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdulvōhid (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	3	

	Abdul	1	
Abdulkəliq (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdurrahiym (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
Abdurrahmon (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdurrašid (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	1	
Abdurrauf (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
	Abdu	2	
Abdurrazzoq (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abdussamad (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdu→Abdi→Abdiš (母音交替 : u→i、接辞-š の添加)
Abror (ar.) <i>male</i>	Abɔ	1	Abrɔ→Abɔ (子音の脱落)
	Abu	1	Abrɔ→Abɔ→Abu (子音の脱落、母音交替 : ɔ→u)
	Abol	2	Abdul→Abul→Abol (子音の脱落、母音交替 : u→o)
Adolat (ar.) <i>female</i>	Adol	9	
Ahror (ar.) <i>male</i>	Ahi	4	Ah→Ahi (接辞-i の添加)
	Ahoš	1	Ah→Ahoš (接辞-oš の添加)
Akbar (ar.) <i>male</i>	Aki	1	Ak→Aki (接辞-i の添加)
Akmal (ar.) <i>male</i>	Aki	6	Ak→Aki (接辞-i の添加)
	Akoš	1	Ak→Akoš (接辞-oš の添加)
Akram (ar.) <i>male</i>	Akr	1	
Ališer (ar. per.) <i>male</i>	Ali	1	
	Ališ	9	
Anbar (ar.) <i>male</i>	Aniš	1	An→Ani→Aniš (接辞-i と接辞-š の添加)
Anvar (ar.) <i>male</i>	Anni	1	An→Ani→Anni (接辞-i の添加、子音の連続化 : n→nn)
Arslon (ar.) <i>male</i>	Ars	1	
Asadulloh (ar.) <i>male</i>	Asad	7	
	Asadulla	1	Asadullo→Asadulla (母音交替 : ɔ→a)
Asomiddin (ar.) <i>male</i>	Asom	8	
Azamat (ar.) <i>male</i>	Azam	4	
Badriddin (ar.) <i>male</i>	Badir	1	Badr→Badir (母音-i の挿入)
	Badr	4	
	Badri	2	
Bahodir (per.) <i>male</i>	Baha	1	Bahɔ→Baha (母音交替 : ɔ→a)
	Baqaš	1	Bahɔ→Baha→Bahaš→Baqaš (母音交替 : ɔ→a、接辞-š の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→q)
	Bobɔ	1	Bahɔ→Bohɔ→Bobɔ (母音交替 : a→ɔ、摩擦音から破裂音への変化 : h→b)
	Bohɔ	4	Bahɔ→Bohɔ (母音交替 : a→ɔ)

	Boh�d	3	Bah�d→Boh�d (母音交替 : a→�)
	Boh��	6	Bah�→Boh�→Boh�� (母音交替 : a→�、接辞-� の添加)
Bah�r (per.) <i>male</i>	Bahi	1	Bah�→Bahi (母音交替 : �→i)
Barn� (per.) <i>female</i>	Bari	1	Bar→Bari (接辞-i の添加)
	Barno�	1	Barno→Barno� (接辞-� の添加)
Basanda (per.) <i>female</i>	Basan	3	
Baxtiy�r (per.) <i>male</i>	Batka	2	Baxt→Bat→Batka (子音の脱落、ロシア語由来の接辞-ka の添加)
	Baxti	7	
	Baxti�ska	1	Baxti→Baxti�→Baxti�ska (接辞-� とロシア語由来の接辞-ka の添加)
	Boqi	1	Bax→Baxi→Baqi→Boqi (接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : x→q、母音交替 : a→�)
	Boti	2	Baxti→Bati→Boti (子音の脱落、母音交替 : a→�)
Behruz (per.) <i>male</i>	Beki	1	Beh→Behi→Beki (接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→k)
Behz�d (per.) <i>male</i>	Begi	7	Beh→Behi→Begi (接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→g)
	Begi�	1	Beh→Behi→Behi�→Begi� (接辞-i と-� の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→g)
	Beh	1	
	Bek	2	Beh→Bek (摩擦音から破裂音への変化 : h→k)
	Bekki	1	Beh→Bek→Beki→Bekki (摩擦音から破裂音への変化 : h→k、接辞-i の添加、子音の連続化 : k→kk)
Bekmur�d (uzb.-ar.) <i>male</i>	Bek	6	
Bekz�d (uzb.-per.) <i>male</i>	Bek	6	
	Bekki	1	Bek→Beki→Bekki (接辞-i の添加、子音の連続化 : k→kk)
	Begi	4	Bek→Beki→Begi (接辞-i の添加、無声音の有声化 : k→g)
	Begi�a	4	Bek→Beki→Begi→Begi�a (接辞-i の添加、無声音の有声化 : k→g、接辞-�a の添加)
Berdimur�d (uzb.-ar.) <i>male</i>	Berdi	6	
Bibix�l (uzb.-per.) <i>female</i>	Bibi	8	
Binaf�sa (uzb.) <i>female</i>	Binaf	3	
	Bini�	1	Bin→Bini→Bini� (接辞-i と-� の添加)
	Bino�	1	Bin→Bino� (接辞-�� の添加)
Bobur (uzb.) <i>male</i>	Bob��	1	Bob→Bob�� (接辞-�� の添加)
Boymur�d (uzb.-ar.) <i>male</i>	Boy	3	
	Boymir	2	Boymur→Boymir (母音交替 : u→i)
Boyq�bil (uzb.-ar.) <i>male</i>	Boy	2	
Davlat (ar.) <i>male</i>	Dad��	1	Da→Dada→Dada�→Dad�� (反復 : da→dada、接辞-� の添加、母音交替 : a→�)
Davron (ar.) <i>male</i>	D�di	1	Da→Dada→Dadi→D�di (反復 : da→dada、母音交替 : a→i、a→�)
	Davr	1	

Dilafruz (per.) <i>female</i>	Didiš	5	Di→Didi→Didiš (反復 : di→didi、接辞š の添加)
	Dilap	4	Dilaf→Dilap (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
	Dili	3	Dil→Dili (接辞i の添加)
	Diliš	2	Dil→Dili→Diliš (接辞i と-š の添加)
	Dilya	1	Dil→Dilya (ロシア語由来の接辞-ya の添加)
Dilbar (per.) <i>female</i>	Dili	7	Dil→Dili (接辞i の添加)
	Diliš	2	Dil→Dili→Diliš (接辞i と-š の添加)
Dilmurōd (per.:ar.) <i>male</i>	Dili	2	Dil→Dili (接辞i の添加)
	Diliš	1	Dil→Dili→Diliš (接辞i と-š の添加)
	Dilmir	5	Dilmur→Dilmir (母音交替 : u→i)
Dilnavōz (per.) <i>female</i>	Dil	1	
	Dilaš	1	Dil→Dila→Dilaš (接辞a と-š の添加)
	Dili	3	Dil→Dili (接辞i の添加)
Dilnōz (per.) <i>female</i>	Dili	4	Dil→Dili (接辞i の添加)
Dilōrō (per.) <i>female</i>	Dili	3	Dil→Dili (接辞i の添加)
	Dilo	1	
	Dilōr	4	
	Dilya	2	Dil→Dilya (ロシア語由来の接辞-ya の添加)
Dilōrōm (per.) <i>female</i>	Didi	2	Di→Didi (反復 : di→didi)
	Dil	1	
	Dili	3	Dil→Dili (接辞i の添加)
	Dilo	2	
	Dilōr	4	
	Diloš	2	Dil→Diloš (接辞ōš の添加)
Dilōvar (per.) <i>female</i>	Dili	3	Dil→Dili (接辞i の添加)
	Dilo	3	
	Dilōv	1	
Dilrabo (per.) <i>female</i>	Didi	1	Di→Didi (反復 : di→didi)
	Dil	1	
	Dili	5	Dil→Dili (接辞i の添加)
Dilšōd (per.) <i>male</i>	Dili	1	Dil→Dili (接辞i の添加)
	Diliš	6	Dil→Dili→Diliš (接辞i と-š の添加)
	Donik	1	Dil→Dol→Dolik→Donik (母音交替 : i→o、ロシア語由来の接辞-ik の添加、側面音から鼻音への変化 : l→n)
Durdōna (ar.:per.) <i>female</i>	Durdon	7	
	Duri	2	Dur→Duri (接辞i の添加)
Elbek (uzb.) <i>male</i>	El	3	
	Eli	3	El→Eli (接辞i の添加)

	Elik	1	El→Elik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
	Eliš	1	El→Eli→Eliš (接辞-i と -š の添加)
Eldor (uzb.-per.) <i>male</i>	Eli	2	El→Eli (接辞-i の添加)
	Eliš	2	El→Eli→Eliš (接辞-i と -š の添加)
Elmurad (uzb.-ar.) <i>male</i>	Eli	1	El→Eli (接辞-i の添加)
	Elmir	4	Elmur→Elmir (母音交替 : u→i)
Erali (uzb.-ar.) <i>male</i>	Er	2	
Erkin (uzb.) <i>male</i>	Erik	1	Er→Erik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
Ešbek (uzb.) <i>male</i>	Eš	1	
	Ešbe	2	
Ešbori (uzb.) <i>male</i>	Eš	2	
	Ešboy	1	Eš→Ešboy (接辞-boy の添加)
	Ešbor	1	
Ešdavlat (uzb.-ar.) <i>male</i>	Eš	1	
Ešmurad (uzb.-ar.) <i>male</i>	Ešmir	1	Ešmur→Ešmir (母音交替 : u→i)
Farangiz (per.) <i>female</i>	Faraŋ	1	
Farida (ar.) <i>female</i>	Fari	5	
	Farid	1	
	Pari	1	Fari→Pari (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Farogat (ar.) <i>female</i>	Farō	1	
	Farōš	1	Farō→Farōš (接辞-š の添加)
Farrux (per.) <i>male</i>	Fari	1	Far→Fari (接辞-i の添加)
	Fara	1	Far→Fara (接辞-a の添加)
Faxriddin (ar.) <i>male</i>	Faqi	1	Faxri→Faxi→Faqi (子音の脱落、摩擦音から破裂音への変化 : x→q)
	Faxri	4	
	Faxriš	2	Faxri→Faxriš (接辞-š の添加)
Fayzulloh (ar.) <i>male</i>	Fayzi	4	Fayz→Fayzi (接辞-i の添加)
	Fayzul	2	
	Fayzulla	1	Fayzullo→Fayzulla (母音交替 : ɔ→a)
	Payzi	1	Fayz→Fayzi→Payzi (接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Fazilat (ar.) <i>female</i>	Fazi	3	
	Fazik	1	Fazi→Fazik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
	Fazila	1	
	Pazi	1	Fazi→Pazi (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Fazliddin (ar.) <i>male</i>	Fazil	2	Fazli→Fazil (後部倒置)
	Fazli	2	
	Fōzil	3	Fazli→Fazil→Fōzil (後部倒置、母音交替 : a→ɔ)
	Pazil	1	Fazli→Fazil→Pazil (後部倒置、摩擦音から破裂音への変化 : f→p)

Feruza (per.) <i>female</i>	Feruz	8	
Fəzila (ar.) <i>female</i>	Fəzi	3	
	Pazi	1	Fəzi→Pəzi→Pazi (摩擦音から破裂音への変化 : f→p、母音交替 : ə→a)
Gavhar (per.) <i>female</i>	Gaha	1	Gavha→Gaha (子音の脱落)
Gavharšod (per.) <i>female</i>	Gavhar	1	
	Gəvhar	3	Gavhar→Gəvhar (母音交替 : a→ə)
Gulandom (per.) <i>female</i>	Gula	1	
	Guli	7	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Gulasal (per.-ar.) <i>female</i>	Gul	1	
	Gulas	1	
	Guli	5	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Gulčehra (per.) <i>female</i>	Guli	3	Gul→Guli (接辞-i の添加)
	Gulya	2	Gul→Gulya (ロシア語由来の接辞-ya の添加)
	Gulči	2	Gulče→Gulči (母音交替 : e→i)
	Guči	3	Gulče→Gulči→Guči (母音交替 : e→i、子音の脱落)
Guljamol (per.-ar.) <i>female</i>	Guli	6	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Guljaxon (per.) <i>female</i>	Guli	7	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Gulnoz (per.) <i>female</i>	Guli	2	Gul→Guli (接辞-i の添加)
	Gulya	1	Gul→Gulya (ロシア語由来の接辞-ya の添加)
Gulruh (per.) <i>female</i>	Guli	3	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Gulšan (per.) <i>female</i>	Guli	3	Gul→Guli (接辞-i の添加)
	Guliš	1	Gul→Guli→Guliš (接辞-i と -š の添加)
Gulšod (per.) <i>female</i>	Guli	1	Gul→Guli (接辞-i の添加)
	Gulšo	1	
Ġayrat (ar.) <i>male</i>	Ġayrik	2	Ġayr→Ġayrik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
	Ġayri	1	Ġayr→Ġayri (接辞-i の添加)
Ġiyosiddin (ar.) <i>male</i>	Ġiyos	8	
Habib (ar.) <i>male</i>	Habi	4	
Habiba (ar.) <i>female</i>	Habi	2	
Habibulloh (ar.) <i>male</i>	Habi	3	
	Habib	5	
Halima (ar.) <i>female</i>	Hali	3	
Hamida (ar.) <i>female</i>	Hami	6	
Hamidulloh (ar.) <i>male</i>	Hamid	5	
	Hamidulla	2	Hamidullo→Hamidulla (母音交替 : o→a)
Hasanali (ar.) <i>male</i>	Hasan	6	
Hasanxoja (ar.-per.) <i>male</i>	Hasan	8	
Hayitali (ar.) <i>male</i>	Hayit	6	

	Hayitboy	1	Hayit→Hayitboy (接辞-boy の添加)
Hayitmurad (ar.) <i>male</i>	Hayit	2	
Hajimurad (ar.) <i>male</i>	Haji	6	
Hulkar (uzb.) <i>female</i>	Huli	2	Hul→Huli (接辞-i の添加)
Humayun (per.) <i>male</i>	Humo	2	
	Humoy	1	
Ibodat (ar.) <i>female</i>	Ibo	4	
	Iboš	2	Ibo→Iboš (接辞-š の添加)
Ibodulloh (ar.) <i>male</i>	Iboš	5	Ibo→Iboš→Iboš (接辞-š の添加、母音交替 : o→o)
	Ibod	1	
Ibrohim (old jew.) <i>male</i>	Iboš	5	Ibro→Ibo→Iboš→Iboš (子音の脱落、接辞-š の添加、母音交替 : o→o)
	Ibuš	1	Ibro→Ibo→Iboš→Ibuš (子音の脱落、接辞-š の添加、母音交替 : o→u)
Ilhom (ar.) <i>male</i>	Ihi	1	Ilho→Ihi→Ihi (母音交替 : o→i、子音の脱落)
Iqbol (ar.) <i>male</i>	Iqi	1	Iq→Iqi (接辞-i の添加)
Iroda (ar.) <i>female</i>	Iro	5	
	Iroš	7	Iro→Iroš (接辞-š の添加)
Iskandar (ar.) <i>male</i>	Isi	1	Is→Isi (接辞-i の添加)
	Iskan	4	
Ixtiyor (ar.) <i>male</i>	Ixti	12	
	Iqi	1	Ixti→Ixi→Iqi (子音の脱落、摩擦音から破裂音への変化 : x→q)
Izzatulloh (ar.) <i>male</i>	Izzat	9	
Jahongir (per.) <i>male</i>	Jaha	1	Jaho→Jaha (母音交替 : o→a)
	Jahon	9	
	Juha	1	Jaho→Jaha→Juha (母音交替 : o→a、a→u)
	Joha	2	Jaho→Jaha→Joha (母音交替 : o→a、a→o)
Jaloliddin (ar.) <i>male</i>	Jalol	9	
Jamol (ar.) <i>male</i>	Jam	5	
	Jama	1	Jam→Jama (接辞-a の添加)
Jamšid (per.) <i>male</i>	Jam	2	
	Jama	1	Jam→Jama (接辞-a の添加)
	Jamaš	1	Jam→Jama→Jamaš (接辞-a と-š の添加)
	Jami	2	Jam→Jami (接辞-i の添加)
	Jamik	1	Jam→Jamik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
	Jamiš	1	Jam→Jamiš (接辞-i と-š の添加)
	Jim	3	Jam→Jim (母音交替 : a→i)
	Jimmi	1	Jam→Jim→Jimi→Jimmi (母音交替 : a→i、接辞-i の添加、子音の連続化)
Jasur (ar.) <i>male</i>	Jas	5	
	Jasa	1	Jas→Jasa (接辞-a の添加)

	Jasik	1	Jas→Jasik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
	Jaska	6	Jas→Jaska (ロシア語由来の接辞-ka の添加)
Javlōn (ar.) <i>male</i>	Joha	1	Ja→Jaha→Joha (接辞-a の添加、母音交替 : a→o)
Jumagul (ar.-per.) <i>female</i>	Jumaš	5	Juma→Jumaš (接辞-š の添加)
Jumanazar (ar.) <i>male</i>	Juma	3	
	Juman	2	
Jumaqul (ar.-uzb.) <i>male</i>	Juma	6	
Kamōliddin (ar.) <i>male</i>	Komol	9	
Kamola (ar.) <i>female</i>	Kamaš	1	Kamō→Kamōš→Kamaš (接辞-š の添加、母音交替 : o→a)
	Kamōš	8	Kamō→Kamōš (接辞-š の添加)
Latifa (ar.) <i>female</i>	Lati	4	
Latōfat (ar.) <i>female</i>	Latō	3	
	Latōf	1	
	Latōš	1	Latō→Latōš (接辞-š の添加)
Lutfiya (ar.) <i>female</i>	Lutfi	4	
	Luti	1	Lut→Luti (接辞-i の添加)
Lutfullōh (ar.) <i>male</i>	Lippi	2	Lutfu→Lutfi→Luppi→Lippi (母音の交代 : u→i、子音交替 : tf→pp、母音の交代 : u→i)
	Luppi	2	Lutfu→Lutfi→Luppi (母音の交代 : u→i、子音交替 : tf→pp)
	Lutfilla	1	Lutfullō→Lutfulla (母音交替 : o→a)
Mavjuda (ar.) <i>female</i>	Mavji	2	Mavju→Mavji (母音交替 : u→i)
	Mavju	7	
	Moju	1	Mavju→Moju (av→o)
Mavluda (ar.) <i>female</i>	Mavlu	2	
	Mōvlu	5	Mavlu→Mōvlu (母音交替 : a→o)
Madina (ar.) <i>female</i>	Madi	10	
	Madiš	1	Madi→Madiš (接辞-š の添加)
Maftuna (ar.) <i>female</i>	Maftu	1	
	Maftun	7	
Mahbuba (ar.) <i>female</i>	Mahbu	7	
	Mahbuš	1	Mahbu→Mahbuš (接辞-š の添加)
Mahliyo (ar.) <i>female</i>	Mahli	4	
	Mahliš	4	Mahli→Mahliš (接辞-š の添加)
Mahmud (ar.) <i>male</i>	Maha	2	Mah→Maha (接辞-a の添加)
Malika (ar.) <i>female</i>	Mali	10	
Malohat (ar.) <i>female</i>	Malō	2	
	Malōh	3	
	Malōš	3	Malō→Malōš (接辞-š の添加)

Mastura (ar.) <i>female</i>	Mastur	9	
Matluba (ar.) <i>female</i>	Matlu	4	
	Matlyu	1	Matlu→Matlyu (半母音の挿入)
	Mattu	2	Matlu→Mattu (順行同化 : tl→tt)
	Matu	7	Matlu→Matu (子音の脱落)
	Matuš	1	Matlu→Matu→Matuš (子音の脱落、接辞-š の添加)
Mehriniso(per.) <i>female</i>	Meh	1	
	Mehri	10	
Mirza (per.) <i>male</i>	Mir	1	
Mohidil (per.) <i>female</i>	Mohi	7	
Mohigul (per.) <i>female</i>	Mohi	11	
	Mohiš	1	Mohi→Mohiš (接辞-š の添加)
Mohinur (per.-ar.) <i>female</i>	Mohi	8	
	Mohiš	2	Mohi→Mohiš (接辞-š の添加)
Mohira (ar.) <i>female</i>	Mohi	8	
Muazzam (ar.) <i>female</i>	Muaz	1	
	Muzi	1	Muaz→Muz→Muzi (母音の脱落、接辞-i の添加)
Mubarak (ar.) <i>female</i>	Mubər	6	
	Muboš	1	Mubə→Muboš (接辞-š の添加)
Muhammad (ar.) <i>male</i>	Maham	7	Muham→Maham (母音交替 : u→a)
Muharram (ar.) <i>female</i>	Muhar	1	
	Muhaš	1	Muha→Muhaš (接辞-š の添加)
Munavvar (ar.) <i>female</i>	Minaš	1	Muna→Munaš→Minaš (接辞-š の添加、母音交替 : u→i)
	Minə	2	Muna→Munə→Minə (母音交替 : a→ə, u→i)
	Munaš	1	Muna→Munaš (接辞-š の添加)
	Muni	1	Muna→Muni (母音交替 : a→i)
Munira (ar.) <i>female</i>	Muni	4	
	Munir	5	
Munis (ar.) <i>male</i>	Moni	1	Muni→Moni (母音交替 : u→o)
Muqaddam (ar.) <i>female</i>	Muqad	7	
Muqaddas (ar.) <i>female</i>	Muqad	2	
	Muqi	1	Muq→Muqi (接辞-i の添加)
Musallam (ar.) <i>female</i>	Musal	2	
Muyassar (ar.) <i>female</i>	Muyas	5	
Muzaffar (ar.) <i>male</i>	Muza	2	
	Muzap	11	Muzaf→Muzap (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Najmiddin (ar.) <i>male</i>	Naji	1	Naj→Naji (接辞-i の添加)
	Najim	5	Najmi→Najim (後部倒置)

	Najmi	1	
Nargiz (ar.) <i>female</i>	Nani	2	Na→Nana→Nani (反復 : na→nana、母音交替 : a→i)
Nasiba (ar.) <i>female</i>	Nasi	11	
Nasima (ar.) <i>female</i>	Nasi	6	
Nasriddin (ar.) <i>male</i>	Nasr	3	
	Nasri	1	
Nazifa (ar.) <i>female</i>	Nazi	3	
Nazira (ar.) <i>female</i>	Nazi	8	
Nazokat (ar.) <i>female</i>	Naz	1	
	Nazō	9	
	Nazōš	1	Nazō→Nazōš (接辞šの添加)
	Nōzi	1	Nazō→Nazi→Nōzi (母音交替 : ō→i、a→ō)
Nazrulloh (ar.) <i>male</i>	Nazir	3	Nazr→Nazir (母音の挿入)
	Nazri	2	Nazr→Nazri (接辞iの添加)
Ne'matulloh (ar.) <i>male</i>	Ne'mat	10	
	Ne'matilla	1	Ne'matullo→Ne'matulla (母音交替 : ō→a)
Nigina (per.) <i>female</i>	Nigi	4	
	Nigin	4	
Nigora (per.) <i>female</i>	Nigor	8	
	Nigōš	1	Nigō→Nigōš (接辞šの添加)
Nilufar (hin.) <i>female</i>	Niliš	2	Nilu→Niluš→Niliš (接辞šの添加、母音交替 : u→i)
	Nilu	9	
	Niluš	5	Nilu→Niluš (接辞šの添加)
Nizomiddin (ar.) <i>male</i>	Nizom	7	
Nodira (ar.) <i>female</i>	Nodi	9	
	Nodiš	1	Nodi→Nodiš (接辞šの添加)
Norbōy (per.:uzb.) <i>male</i>	Nor	1	
	Nori	1	Nor→Nori (接辞iの添加)
Norjamol (ar.) <i>female</i>	Nor	1	
Normurod (per.:ar.) <i>male</i>	Nor	8	
	Normir	2	
Normomin (per.:ar.) <i>male</i>	Nor	3	
Noroy (per.:uzb.) <i>female</i>	Nori	1	Nor→Nori (接辞iの添加)
Norqobil (per.:ar.) <i>male</i>	Nor	2	
Nortaji (per.) <i>female</i>	Nortaj	3	
	Nortay	3	Nort→Nortay (接辞oyの添加)
Nurbek (ar.:uzb.) <i>male</i>	Nur	4	
Nuriddin (ar.) <i>male</i>	Nuri	5	

	Nurik	6	Nur→Nurik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
Nurulloh (ar.) <i>male</i>	Nuri	6	Nur→Nuri (接辞-i の添加)
	Nurullo	1	
Nusrat (ar.) <i>male</i>	Nusi	1	Nus→Nusi (接辞-i の添加)
Nusratulloh (ar.) <i>male</i>	Nusi	1	Nus→Nusi (接辞-i の添加)
	Nusrat	8	
Obida (ar.) <i>female</i>	Obi	3	
Odina (per.) <i>female</i>	Odi	5	
	Odin	1	
	Oydin	3	Odin→Oydin (半母音の挿入)
Oliya (ar.) <i>female</i>	Oli	1	
Om̄onulloh (ar.) <i>male</i>	Om̄on	6	
Orzigul (per.) <i>female</i>	Orzi	3	
	Orzu	9	Orzi→Orzu (母音交替 : i→u)
Otabek (uzb.) <i>male</i>	Ota	2	
	Otaš	9	Ota→Otaš (接辞-š の添加)
Oynisa (uzb.-ar.) <i>female</i>	Oyniš	2	Oyni→Oyniš (接辞-š の添加)
Oyša (ar.) <i>female</i>	Oyx̄on	1	Oy→Oyx̄on (接辞-x̄on の添加)
Ozoda (per.) <i>female</i>	Ozo	4	
	Ozoš	4	Ozo→Ozoš (接辞-š の添加)
Ozodbek (per.-uzb.) <i>male</i>	Ozod	5	
Olmasoy (uzb.) <i>female</i>	Olmas	4	
Orilšod (uzb.-per.) <i>male</i>	Oril	2	
Panji (per.) <i>male</i>	Panj	1	
Qahramon (per.) <i>male</i>	Qaha	1	Qah→Qaha (接辞-a の添加)
	Qaqi	1	Qaqa→Qaqi (反復 : qa→qaqa、母音交替 : a→i)
	Qaqoš	1	Qaqa→Qaqaoš→Qaqoš (反復 : qa→qaqa、接辞-š の添加、母音交替 : a→o)
Qudrat (ar.) <i>male</i>	Qudi	2	Qud→Qudi (接辞-i の添加)
Qudratulloh (ar.) <i>male</i>	Qudaš	1	Qud→Qudaš (接辞-a と-š の添加)
	Qudrat	7	
	Qudi	1	Qud→Qudi (接辞-i の添加)
Qurbonali (ar.) <i>male</i>	Qurbon	4	
	Qurv̄on	2	Qurbon→Qurv̄on (破裂音から摩擦音への変化 : b→v)
Qurbonnazar (ar.) <i>male</i>	Qurbon	4	
	Qurv̄on	2	Qurbon→Qurv̄on (破裂音から摩擦音への変化 : b→v)
Qurbonoy (ar.-uzb.) <i>female</i>	Qurbon	2	
	Qurv̄on	1	Qurbon→Qurv̄on (破裂音から摩擦音への変化 : b→v)
Qutbiddin (ar.) <i>male</i>	Qutbi	7	

	Qutiš	1	Qut→Qutiš (接辞-i と-š の添加)
Qutlibeka (uzb.) <i>female</i>	Qutli	4	
Rahmatulloh (ar.) <i>male</i>	Rahmat	5	
	Rahmatilla	1	Rahmatullo→Rahmatulla (母音交替 : o→a)
Ramziddin (ar.) <i>male</i>	Ramz	6	
	Ramzi	5	
Rasul (ar.) <i>male</i>	Raska	1	Ras→Raska (ロシア語由来の接辞-ka の添加)
Rano (ar.) <i>female</i>	Ranoš	2	Rano→Ranoš (接辞-š の添加)
Robiya (ar.) <i>female</i>	Robi	5	
Roziya (ar.) <i>female</i>	Rozi	6	
Rozimurod (per.-ar.) <i>male</i>	Rozi	5	
Rozixol (per.) <i>female</i>	Rozi	4	
Ruxšona (per.) <i>female</i>	Ruxšon	7	
Sadqat (ar.) <i>female</i>	Sado	7	
	Sadoš	2	Sado→Sadoš (接辞-š の添加)
Sadriddin (ar.) <i>male</i>	Sadir	10	Sadri→Sadir (後部倒置)
Safarali (ar.) <i>male</i>	Safar	6	
	Sapar	2	Safar→Sapar (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Saida (ar.) <i>female</i>	Sayi	1	Sai→Sayi (半母音の挿入)
Salomat (ar.) (fe)male	Salo	3	
	Saloš	2	Salo→Saloš (接辞-š の添加)
Samandar (ar.) <i>male</i>	Saman	8	
Sanam (ar.) <i>female</i>	Sana	1	
	Sanoš	1	San→Sanoš (接辞-oš の添加)
Saodat (ar.) <i>female</i>	Sado	1	Saod→Sado (後部倒置)
	Sao	1	
Sardor (per.) <i>male</i>	Sarik	1	Sar→Sarik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
	Seri	1	Sar→Sari→Seri (接辞-i の添加、母音交替 : a→e)
Sarvar (ar.) (fe)male	Sara	1	Sar→Sara (接辞-a の添加)
Sarvinov (per.) <i>female</i>	Sarvi	3	
Sayidmurod (ar.) <i>male</i>	Said	5	Sayid→Said (半母音の脱落)
	Sayid	2	
Sayfiddin (ar.) <i>male</i>	Sayfi	6	
	Saypi	4	Sayfi→Saypi (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Sayfullah (ar.) <i>male</i>	Sayfi	5	Sayfu→Sayfi (母音交替 : u→i)
	Saypi	1	Sayfu→Sayfi→Saypi (母音交替 : u→i、摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Sa'dulloh (ar.) <i>male</i>	Sa'di	1	Sa'du→Sa'di (母音交替 : u→i)
	Sa'dil	3	Sa'dul→Sa'dil (母音交替 : u→i)

	Sa'dullo	2	
	Sa'dulla	1	Sa'dullo→Sa'dulla (母音交替 : o→a)
Sirajiddin (ar.) <i>male</i>	Siraj	11	
Soʻbir (ar.) <i>male</i>	Soʻha	1	So→Soʻha (接辞-ha の添加)
Soʻjida (ar.) <i>female</i>	Soʻji	11	
Soʻlih (ar.) <i>male</i>	Soʻli	8	
Sulton (ar.) <i>male</i>	Suli	1	Sul→Suli (接辞-i の添加)
Sultonali (ar.) <i>male</i>	Sulton	8	
Sultonmurad (ar.) <i>male</i>	Sulton	5	
Sultonoy (ar.-uzb.) <i>male</i>	Sulton	5	
Surayyo (ar.) <i>female</i>	Suri	1	Sur→Suri (接辞-i の添加)
	Suroy	8	Suray→Suroy (母音交替 : a→o)
	Suray	1	
Šafiqa (ar.) <i>female</i>	Šafi	4	
	Šapi	2	Šafi→Šapi (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Šahboz (per.) <i>male</i>	Šoh	4	Šah→Šoh (母音交替 : a→o)
Šahina (per.) <i>female</i>	Šahi	7	
	Šoha	1	Šah→Šaha→Šoha (接辞-a の添加、母音交替 : a→o)
Šahlo (ar.) <i>female</i>	Šoha	1	Šahlo→Šah→Šaha→Šoha (後部省略、接辞-a の添加、母音交替 : a→o)
Šahnaz (per.) <i>female</i>	Šahi	3	Šah→Šahi (接辞-i の添加)
	Šaqi	1	Šah→Šahi→Šaqi (接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→q)
	Šohi	2	Šah→Šahi→Šohi (接辞-i の添加、母音交替 : a→o)
Šahobiddin (ar.) <i>male</i>	Šahob	11	
Šahodat (ar.) <i>female</i>	Šabo	1	Šaho→Šabo (摩擦音から破裂音への変化 : h→b)
	Šaho	4	
	Šohi	3	Šah→Šahi→Šohi (接辞-i の添加、母音交替 : a→o)
Šamsiddin (ar.) <i>male</i>	Šams	4	
	Šamsi	2	
	Šamši	5	Šamsi→Šamši (口蓋化 : s→š)
Šamsiya (ar.) <i>female</i>	Šam	2	
	Šamsi	1	
Šamsulloh (ar.) <i>male</i>	Šam	2	
	Šams	2	
	Šamsi	1	Šamsu→Šamsi (母音交替 : u→i)
	Šamši	3	Šamsu→Šamsi→Šamši (母音交替 : u→i、口蓋化 : s→š)
Šarifa (ar.) <i>female</i>	Šapi	1	Šari→Šapi (ふるえ音から破裂音への変化 : r→p)
	Šari	3	
Šerali (per.-ar.) <i>male</i>	Šer	9	

Šerboy (per.:uzb.) <i>male</i>	Šer	4	
Šermuhammad (per.:ar.) <i>male</i>	Šer	3	
Šermurəd (per.:ar.) <i>male</i>	Šer	3	
Šerqobil (per.:ar.) <i>male</i>	Šer	3	
Šerqul (per.:uzb.) <i>male</i>	Šer	5	
Šerxən (per.:uzb.) <i>male</i>	Šer	8	
Šerzod (per.) <i>male</i>	Šer	10	
	Šerik	1	Šer→Šerik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
Šodibek (per.:uzb.) <i>male</i>	Šodi	7	
Šodigul (per.) <i>female</i>	Šodi	6	
Šodimurəd (per.:ar.) <i>male</i>	Šodi	4	
Šodiya (per.) <i>female</i>	Šodi	6	
Šodiyor (per.) <i>male</i>	Šodi	8	
Šodmən (per.) <i>male</i>	Šod	1	
	Šodi	3	Šod→Šodi (接辞-i の添加)
Šohida (ar.) <i>female</i>	Šohi	7	
Šohimardən (per.) <i>male</i>	Šohi	1	
Šohruh (per.) <i>male</i>	Šoh	9	
Šohsanam (per.:ar.) <i>female</i>	Šohi	3	Šoh→Šohi (接辞-i の添加)
Šohista (per.) <i>female</i>	Šohi	1	
	Šoqi	1	Šohi→Šoqi (摩擦音から破裂音への変化 : h→q)
Šuhrat (ar.) <i>male</i>	Šuh	1	
	Šuha	1	Šuh→Šuha (接辞-a の添加)
	Šuqi	4	Šuh→Šuhi→Šuqi (接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→q)
	Šurik	6	Šuhr→Šuhrik→Šurik (ロシア語由来の接辞-ik の添加、子音の脱落)
Šukrulloh (ar.) <i>male</i>	Šukr	8	
	Šurik	4	Šukr→Šukrik→Šurik (ロシア語由来の接辞-ik の添加、子音の脱落)
Tabassum (ar.) (f) <i>male</i>	Tabas	1	
Talʼat (ar.) <i>male</i>	Toli	1	Tal→Tali→Toli (接辞-i の添加、母音交替 : a→o)
Temir (uzb.) <i>male</i>	Tima	1	Tem→Tema→Tima (接辞-a の添加、母音交替 : e→i)
Tojiddin (per.:ar.) <i>male</i>	Toj	1	
	Toji	6	
Tojimurəd (per.:ar.) <i>male</i>	Toji	4	
Tojiniso (per.:ar.) <i>female</i>	Toji	6	
Tohir (ar.) <i>male</i>	Toha	2	Toh→Toha→Toha (接辞-a の添加、母音交替 : o→o)
Tolib (ar.) <i>male</i>	Toli	1	Toli→Toli (母音交替 : o→o)
	Tolip	2	Tolib→Tolip (有声音の無声化 : b→p)
Tošmurəd (uzb.:ar.) <i>male</i>	Toš	5	

	Toha	1	Tɔ→Tɔha→Toha (接辞-ha の添加、母音交替 : ɔ→o)
Təʃpolat (uzb-per.) <i>male</i>	Təʃ	4	
Tolqin (uzb.) <i>male</i>	Toli	2	Tol→Toli (接辞-i の添加)
	Tolik	1	Tol→Tolik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
Tursun (uzb.) <i>male</i>	Turi	1	Tur→Turi (接辞-i の添加)
Ubaydulloh (ar.) <i>male</i>	Ubay	9	
	Ubayd	1	
Uldona (uzb-per.) <i>female</i>	Ulaʃ	1	Ul→Ulaʃ (接辞-a と-ʃ の添加)
	Uldon	4	
Uluġbek (uzb.) <i>male</i>	Uluq	2	Uluġ→Uluq (摩擦音から破裂音への変化 : ġ→q)
	Uluġ	9	
Umida (per.) <i>female</i>	Umaʃ	1	Um→Umaʃ (接辞-a と-ʃ の添加)
	Umi	8	
	Umiʃ	2	Umi→Umiʃ (接辞-ʃ の添加)
Umidulloh (per-ar.) <i>male</i>	Umid	6	
	Umiʃ	2	Umi→Umiʃ (接辞-ʃ の添加)
Usmon (ar.) <i>male</i>	Usik	1	Us→Usik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
Xayriddin (ar.) <i>male</i>	Xayri	5	
Xayrulloh (ar.) <i>male</i>	Xayri	2	Xayru→Xayri (母音交替 : u→i)
	Xayril	2	Xayrul→Xayril (母音交替 : u→i)
	Xayrilla	1	Xayrullo→Xayrilla (母音交替 : ɔ→a)
	Xayriʃ	2	Xayru→Xayri→Xayriʃ (母音交替 : u→i、接辞-ʃ の添加)
Xəlbek (per-uzb.) <i>male</i>	Xəl	4	
	Xəli	2	Xəl→Xəli (接辞-i の添加)
Xəlbeka (per-uzb.) <i>female</i>	Xəli	4	Xəl→Xəli (接辞-i の添加)
Xəlbibi (per-uzb.) <i>female</i>	Xəli	1	Xəl→Xəli (接辞-i の添加)
Xəlbəy (per-uzb.) <i>male</i>	Xəl	2	
Xəldor (per.) <i>male</i>	Xəli	1	Xəl→Xəli (接辞-i の添加)
Xəlmirza (per.) <i>male</i>	Xəlmir	5	
Xəlmomin (per-ar.) <i>male</i>	Xəl	2	
Xəlmuhammad (per-ar.) <i>male</i>	Xəl	2	
Xəlmurəd (per-ar.) <i>male</i>	Xəlmir	3	
Xəltəji (per.) <i>female</i>	Xəli	1	Xəl→Xəli (接辞-i の添加)
Xənzoda (uzb-per.) <i>female</i>	Xənzɔ	1	
	Xənzod	3	
Xəsiyat (ar.) <i>female</i>	Xəsi	7	
Xudəyberdi (per-uzb.) <i>male</i>	Xudəy	1	
Xurram (per.) <i>(fe)male</i>	Xuri	1	Xur→Xuri (接辞-i の添加)

Xuršid (per.) <i>male</i>	Xurik	3	Xur→Xurik (ロシア語由来の接辞-ik の添加)
Xuršida (per.) <i>female</i>	Xurši	10	
Yašar (uzb.) <i>male</i>	Yaška	1	Yaš→Yaška (ロシア語由来の接辞-ka の添加)
Yodgor (per.) <i>male</i>	Yodi	3	Yod→Yodi (接辞-i の添加)
	Yoha	1	Yo→Yoha→Yoha (接辞-ha の添加、母音交替 : o→o)
Yorqinoy (uzb.) <i>female</i>	Yorqin	5	
Zafar (ar.) <i>male</i>	Zafa	1	
Zarifa (ar.) <i>female</i>	Zari	5	
Zarina (per.) <i>female</i>	Zar	1	
	Zari	7	
	Zarin	3	
Zayniddin (ar.) <i>male</i>	Zaha	1	Za→Zaha (接辞-ha の添加)
	Zayni	5	
Zebiniso (per.:ar.) <i>female</i>	Zebi	8	
Zubayda (ar.) <i>female</i>	Zubay	4	
	Zubi	1	Zub→Zubi (接辞-i の添加)
Zuhrə (per.) <i>female</i>	Zuqi	2	Zuh→Zuhi→Zuqi (接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→q)
Zulfiya (per.) <i>female</i>	Zuli	4	Zul→Zuli (接辞-i の添加)
	Zulpi	3	Zulfi→Zulpi (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
	Zulya	1	Zul→Zulya (ロシア語由来の接辞-ya の添加)
Zulxumər (ar.) <i>female</i>	Zuli	3	Zul→Zuli (接辞-i の添加)
Zumrad (per.) <i>female</i>	Zuma	1	Zum→Zuma (接辞-a の添加)

前部省略による愛称形成の例は 115 の個人名をもとにした 98 例である。次の表の通りである。

表 60. 前部省略により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Abdulahad (ar.) <i>male</i>	Ahad	14	
Abdulazim (ar.) <i>male</i>	Azim	11	
	Lazim	1	
Abdulaziz (ar.) <i>male</i>	Aziz	1	
	Laziz	7	
Abdulfattoh (ar.) <i>male</i>	Fattoh	7	
	Pattoh	3	Fattoh→Pattoh (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Abdulgaffor (ar.) <i>male</i>	Gabar	1	Gaffor→Gaffar→Gafar→Ġabar→Gabar (母音交替 : o→a、連続子音の片方の脱落 : ff→f、摩擦音から破裂音への変化 : f→b、ġ→g)
	Ġaffor	3	
	Gappor	6	Gaffor→Gappor (摩擦音から破裂音への変化 : ff→pp)

	Ġoffər	1	Ġaffər→Ġoffər (母音交替 : a→o)
Abdulġafur (ar.) <i>male</i>	Ġafur	5	
	Ġofir	6	Ġafur→Ġofir (母音交替 : a→o, u→i)
	Ġopir	4	Ġafur→Ġofir→Ġopir (母音交替 : a→o, u→i, 摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Abdulġani (ar.) <i>male</i>	Ġani	12	
	Ġaniš	1	Ġani→Ġaniš (接辞-š の添加)
Abdulhafiz (ar.) <i>male</i>	Hafiz	3	
	Hofiz	2	Hafiz→Hofiz (母音交替 : a→o)
	Hopiz	5	Hafiz→Hofiz→Hopiz (母音交替 : a→o, 摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Abdulahakim (ar.) <i>male</i>	Hakim	11	
	Hokim	2	Hakim→Hokim (母音交替 : a→o)
Abdulhamid (ar.) <i>male</i>	Hamit	11	Hamid→Hamit (有声音の無声化 : d→t)
	Homit	3	Hamid→Hamit→Homit (有声音の無声化 : d→t, 母音交替 : a→o)
Abduljabbər (ar.) <i>male</i>	Jabbər	13	
Abduljalil (ar.) <i>male</i>	Jalil	13	
Abdulkarim (ar.) <i>male</i>	Karim	14	
Abdullatif (ar.) <i>male</i>	Latif	11	
	Latip	4	Latif→Latip (摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Abdulmalik (ar.) <i>male</i>	Malik	13	
Abdulqahhər (ar.) <i>male</i>	Qahhər	10	
	Qahər	1	Qahhər→Qahər (連続子音の片方の脱落 : hh→h)
Abdulqədir (ar.) <i>male</i>	Qədir	11	
Abdulvahhəb (ar.) <i>male</i>	Vahhəb	1	
	Vahəb	11	Vahhəb→Vahəb (連続子音の片方の脱落 : hh→h)
Abdulvali (ar.) <i>male</i>	Ali	6	
	Vali	11	
Abdulvəhid (ar.) <i>male</i>	Vəhid	11	
Abdulxəliq (ar.) <i>male</i>	Xəliq	12	
Abdurrahiym (ar.) <i>male</i>	Rahim	11	Rahiym→Rahim (母音の脱落)
	Raim	1	Rahiym→Rahim→Raim (母音の脱落、子音の脱落)
Abdurrahmən (ar.) <i>male</i>	Rahmən	14	
Abdurrašid (ar.) <i>male</i>	Rašid	12	
	Riшат	1	Rašid→Rišid→Rišad→Riшат (母音交替 : a→i, i→a, 有声音の無声化 : d→t)
Abdurrauf (ar.) <i>male</i>	Rauf	7	
	Rəfi	1	Rauf→Raf→Rəf→Rəfi (母音の省略 : au→a, 母音交替 : a→o, 接辞-i の添加)

Abdurrazzoq (ar.) <i>male</i>	Razzoq	2	Razzoq→Razzoq (連続子音の片方の脱落: zz→z)
	Razzoq	7	
	Rozziq	1	Razzoq→Razzoq→Rozziq→Rozziq (連続子音の片方の脱落: zz→z、母音交替: a→o、o→i)
Abdussamad (ar.) <i>male</i>	Samad	11	
	Samat	1	Samad→Samat (有声音の無声化: d→t)
Ahmad (ar.) <i>male</i>	Mad	2	
Alişer (ar.-per.) <i>male</i>	Şer	6	
A'zam (ar.) <i>male</i>	Zam	1	
Bekmurōd (uzb.-ar.) <i>male</i>	Murōd	8	
Berdimurōd (uzb.-ar.) <i>male</i>	Murōd	6	
Bibixol (uzb.-per.) <i>female</i>	Xoli	1	Xol→Xoli (接辞-i の添加)
Boymurōd (uzb.-ar.) <i>male</i>	Murōd	8	
Boyqobil (uzb.-ar.) <i>male</i>	Qobil	9	
	Qobilboy	1	Qobil→Qobilboy (接辞-boy の添加)
Dilbar (per.) <i>female</i>	Barxon	1	Bar→Barxon (接辞-xon の添加)
Dilmurōd (per.-ar.) <i>male</i>	Murōd	3	
Dilnavoz (per.) <i>female</i>	Navoz	3	
Dilnoz (per.) <i>female</i>	Noz	1	
Dilrabo (per.) <i>female</i>	Rabo	5	
Dilşod (per.) <i>male</i>	Şod	1	
Elbek (uzb.) <i>male</i>	Bek	5	
Erali (uzb.-ar.) <i>male</i>	Ali	3	
Eşbek (uzb.) <i>male</i>	Bek	2	
Eşbori (uzb.) <i>male</i>	Bori	3	
Eşdavlat (uzb.-ar.) <i>male</i>	Davlat	4	
Eşmurōd (uzb.-ar.) <i>male</i>	Murōd	8	
Eşqobil (uzb.) <i>male</i>	Qobil	9	
E'zoz (ar.) <i>male</i>	Ziza	1	Zoz→Zozza→Ziza (接辞-a の添加、母音交替: o→i)
Gulasal (per.-ar.) <i>female</i>	Asal	6	
Guljaxon (per.) <i>female</i>	Jaxon	1	
Gulnoz (per.) <i>female</i>	Nōza	1	Noz→Nōza (接辞-a の添加)
	Nōzi	1	Noz→Nōzi (接辞-i の添加)
Gulşod (per.) <i>female</i>	Şodi	1	Şod→Şodi (接辞-i の添加)
Habiba (ar.) <i>female</i>	Abiba	1	
Hasanali (ar.) <i>male</i>	Ali	3	
Hasanhoja (ar.-per.) <i>male</i>	Hoji	2	Hoja→Hōja→Hoji (母音交替: o→o, a→i)
Hayitmurōd (ar.) <i>male</i>	Murōd	5	

Hajimurad (ar.) <i>male</i>	Murad	4	
Hotam (ar.) <i>male</i>	Atam	1	Ōtam→Atam (母音交替 : ō→a)
Jumanazar (ar.) <i>male</i>	Nazar	5	
Matluba (ar.) <i>female</i>	Lyuba	1	Luba→Lyuba (半母音の挿入)
Mehriniso (per.) <i>female</i>	Niso	1	
Mohidil (per.) <i>female</i>	Dil	1	
	Dili	1	Dil→Dili (接辞-i の添加)
Mohigul (per.) <i>female</i>	Guli	1	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Norjamol (ar.) <i>male</i>	Jamol	4	
Normurad (per.:ar.) <i>male</i>	Murad	2	
Normomin (per.:ar.) <i>male</i>	Momin	9	
Noroy (per.:uzb.) (fe)male	Ōy	1	
	Ōyi	1	Ōy→Ōyi (接辞-i の添加)
Norqobil (per.:ar.) <i>male</i>	Qobil	8	
Nortoji (per.) <i>female</i>	Toj	1	Toji→Toj (語末音の脱落)
	Toji	6	
Norxol (per.) <i>female</i>	Xoli	1	Xol→Xoli (接辞-i の添加)
Nurbek (ar.:uzb.) <i>male</i>	Bek	3	
Orzigul (per.) <i>female</i>	Guli	1	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Ōtabek (uzb.) <i>male</i>	Bek	2	
Ōygul (uzb.:per.) <i>female</i>	Guli	3	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Ōynisa (uzb.:ar.) <i>female</i>	Nisa	1	
	Niso	1	Nisa→Niso (母音交替 : a→ō)
Qurbonali (ar.) <i>male</i>	Ali	3	
Qurbonnazar (ar.) <i>male</i>	Nazar	6	
Qutlibeka (uzb.) <i>female</i>	Beka	1	
Rozixol (per.) <i>female</i>	Xoli	2	Xol→Xoli (接辞-i の添加)
Rozimurad (per.:ar.) <i>male</i>	Murad	4	
Safarali (ar.) <i>male</i>	Ali	1	
Safargul (ar.:per.) <i>female</i>	Guli	2	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Sarvinoz (per.) <i>female</i>	Nōzi	1	Nōz→Nōzi (接辞-i の添加)
Sayidmurad (ar.) <i>male</i>	Murad	3	
Sultonali (ar.) <i>male</i>	Ali	2	
Sultonmurad (ar.) <i>male</i>	Murad	4	
Šermuhammad (per.:ar.) <i>male</i>	Muhammad	4	
Šermurad (per.:ar.) <i>male</i>	Murad	3	
Šerqobil (per.:ar.) <i>male</i>	Qobil	4	
Šoberdi (per.:uzb.) <i>male</i>	Berdi	1	

Šodibek (per.:uzb.) <i>male</i>	Bek	1	
Šodigul (per.) <i>female</i>	Guli	1	Gul→Guli (接辞-i の添加)
Šodimurəd (per.:ar.) <i>male</i>	Murəd	3	
Šohimardən (per.) <i>male</i>	Mardən	3	
Šohsanam (per.:ar.) <i>female</i>	Sanam	5	
Tiləvmurəd (uzb.:ar.) <i>male</i>	Murəd	3	
Təjimurəd (per.:ar.) <i>male</i>	Murəd	2	
Təjinisə (per.:ar.) <i>male</i>	Nisə	1	
Təšmurəd (uzb.:ar.) <i>male</i>	Murəd	4	
Təšpolat (uzb.:per.) <i>male</i>	Polat	5	
Uldəna (uzb.:per.) <i>male</i>	Dəna	1	
Ulugbek (uzb.) <i>male</i>	Bek	1	
Xəlbek (per.:uzb.) <i>male</i>	Bek	2	
Xəlbibi (per.:uzb.) <i>female</i>	Bibi	4	
Xəlmirza (per.) <i>male</i>	Mirza	5	
Xəlmuhammad (per.:ar.) <i>male</i>	Muhammad	3	
Xəlmurəd (per.:ar.) <i>male</i>	Murəd	4	
Xəlmomin (per.:ar.) <i>male</i>	Momin	9	
Xəltəji (per.) <i>female</i>	Təji	7	
Xəndamir (uzb.:per.) <i>male</i>	Damir	6	
Xudəyberdi (per.:uzb.) <i>male</i>	Berdi	1	
Xudəynazar (per.:ar.) <i>male</i>	Nazar	7	
Zəbinisə (per.:ar.) <i>female</i>	Nisə	2	
Zulxumər (ar.) <i>female</i>	Xumər	5	

中部省略による愛称形成の例は 18 の個人名をもとにした 20 例である。次の表の通りである。

表 61. 中部省略により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Abdulaziz (ar.) <i>male</i>	Ablaziz	1	
Abdulgani (ar.) <i>male</i>	Abgani	1	
Abdulahkim (ar.) <i>male</i>	Abhakim	1	
Abdulhamid (ar.) <i>male</i>	Abhamid	1	
Abdulhay (ar.) <i>male</i>	Abhay	2	
Abduljabbər (ar.) <i>male</i>	Abjabbər	1	
Abduljalil (ar.) <i>male</i>	Abjalil	2	
Abdulkarim (ar.) <i>male</i>	Abkarim	1	
Abdullatif (ar.) <i>male</i>	Ablatif	1	

Abdulqahhōr (ar.) <i>male</i>	Abqahhōr	1	
Abdulqōdir (ar.) <i>male</i>	Abqōdir	1	
Abdulxōliq (ar.) <i>male</i>	Abxōliq	1	
Abdurrazzōq (ar.) <i>male</i>	Abrazōq	1	Abrazzōq→Abrazōq (連続子音の片方の脱落)
Abdussamad (ar.) <i>male</i>	Absamad	2	
	Assamad	1	
Javlōn (ar.) <i>male</i>	Joni	2	Jōn→Jōni→Joni (接辞-i の添加、母音交替 : o→o)
Muqaddas (ar.) <i>female</i>	Muqas	1	
Šermuhammad (per.:ar.) <i>male</i>	Šermat	2	Šermad→Šermat (有声音の無声化 : d→t)
Xōlmuhammad (per.:ar.) <i>male</i>	Xōlmamat	1	Xōlmammad→Xōlmamad→Xōlmamat (連続子音の片方の脱落、有声音の無声化 : d→t)
	Xōlmat	1	Xōlmad→Xōlmat (有声音の無声化 : d→t)

また、わずかではあるが、前部＋後部省略により形成された愛称形は 10 例、中部＋後部省略によるものが 2 例観察できた。

表 62. 前部＋後部省略により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Abdulmalik (ar.) <i>male</i>	Mali	1	Abdulmalik→Malik→Mali (前部 Abdul- と後部 -k の省略)
Asadulloḥ (ar.) <i>male</i>	Sadulla	1	Asadulloḥ→Sadulloḥ→Sadulla (前部 A- と後部 -ḥ の省略、母音交替 : o→a)
Basanda (per.) <i>female</i>	Sani	1	Basanda→Sanda→San→Sani (前部 Ba- と後部 -da の省略、接辞-i の添加)
Bekmurōd (uzb.:ar.) <i>male</i>	Muri	3	Bekmurōd→Murōd→Mur→Muri (前部 Bek- と後部 -ōd の省略、接辞-i の添加)
Ešdavlat (uzb.:ar.) <i>male</i>	Dolik	1	Ešdavlat→Davl→Davlik→Dolik (前部 Eš- と後部 -at の省略、ロシア語由来の接辞-ik の添加、av→o)
Ešmurōd (uzb.:ar.) <i>male</i>	Murik	1	Ešmurōd→Murōd→Mur→Murik (前部 Eš- と後部 -ōd の省略、ロシア語由来の接辞-ik の添加)
Habibulloḥ (ar.) <i>male</i>	Abib	1	Habibulloḥ→Abibulloḥ→Abib (前部 H- と後部 -ulloḥ の省略)
Hayitmurōd (ar.) <i>male</i>	Muri	1	Hayitmurōd→Murōd→Mur→Muri (前部 Hayit- と後部 -ōd の省略、接辞-i の添加)
Izzatulloḥ (ar.) <i>male</i>	Tilla	2	Izzatulloḥ→Tulloḥ→Tulloḥ→Tilloḥ→Tilla (前部 Izza- と後部 -ḥ の省略、母音交替 : u→i, o→a)
Ne'matulloḥ (ar.) <i>male</i>	Tilla	1	Ne'matulloḥ→Tulloḥ→Tulloḥ→Tilloḥ→Tilla (前部 Ne'ma- と後部 -ḥ の省略、母音交替 : u→i, o→a)
Nusratulloḥ (ar.) <i>male</i>	Tilla	1	Nusratulloḥ→Tulloḥ→Tulloḥ→Tilloḥ→Tilla (前部 Nusra- と後部 -ḥ の省略、母音交替 : u→i, o→a)
Qudratulloḥ (ar.) <i>male</i>	Tilla	1	Qudratulloḥ→Tulloḥ→Tulloḥ→Tilloḥ→Tilla (前部 Qudra- と後部 -ḥ の省略、母音交替 : u→i, o→a)
Xōlmuhammad (per.:ar.) <i>male</i>	Maham	1	Xōlmuhammad→Muhammad→Muham→Maham (前部 Xōl- と後部 -mad の省略)

			省略、母音交替：u→a)
Zebiniso (per.-ar.) <i>female</i>	Bibi	1	Zebiniso→Zebi→Bi→Bibi (前部 Ze- と後部 -niso の省略、反復：bi→bibi)

表 63. 中部+後部省略により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Abdulaziz (ar.) <i>male</i>	Ablaz	3	Abdulaziz→Ablaziz→Ablaz (中部・du- と後部・iz の省略)
Abduljalil (ar.) <i>male</i>	Abjal	2	Abduljalil→Abjalil→Abjal (中部・du- と後部・il の省略)

6.4.2 個人名への接辞添加による愛称形成

本稿の 6.1.2 で紹介したウズベク語の愛称形成接辞に関する先行研究では、個人名に追加することができるものとして、-jon、-xon、-oy、-boy (-voy) という四つの接辞が挙げられているが、その使用頻度と使い分けについては指摘はない。

これらの接辞が表す意味を調べるために、以下の二つの辞書を参照した。それぞれの辞書における接辞に関する記述は以下の通りである。

G'ulomov, Tixonov, Qo'ng'urov (1977) :

-jon Affiksoid, asosan atoqli otlar, qavm-qarindoshlik terminlariga qo'silib, erkalatish, orni bilan kesatish ma'nosini bildiradi: Nabi/jon, Qosim/jon, dada/jon, onajon, to'gajon, uka/jon kabi.
(主に固有名詞や親族語に付けて、可愛がりや皮肉などの意味を表す。) (p.415)

-oy Ayollar ismlariga qo'silib, erkalatish ma'nosini bildiradi: Salima/oy kabi.
(女性の個人名に付けて、可愛がりの意味を表す。) (p.435)

-xon Asosan, xotin-qizlar otlariga qo'silib, erkalaş yoki kesatish kabi ma'nolarni aqlatadi: Lola/xon, Salima/xon, Raisa/xon, Habiba/xon, kabi.
(主に、女性の個人名に付けて、可愛がりや皮肉などの意味を表す。) (p.441)

Ma'rufov ed. (1981a) (1981b) :

-boy 1. Hurmat yuzasidan kişi nomiga qo'sib ishlatiladi. Horman, Ahmadboy!
(尊敬を表す接辞として個人名に付けて用いられる。)
2. Kişi nomining tarkibiy qismiga kiradi, mas. Boltaboy, Teşaboy, Joraboy.
(個人名の構成要素として用いられる。) (1981a:126f)

-jon 1. Šaxs bildiruvči sozlarga kiçraytiriş-erkalaş ma'nosini beradi, mas. Xolajon, buvijon, oyijon, domlajon.

(人を表す名詞に付けて、可愛がりや縮小などの意味を表す。)

2. Erkalaš yoki hurmat bildiriş üçün kişilar otiga qoşib ishlatiladi, mas. Karimjon, Ahmadjon.

(個人名に付けて、可愛がりや尊敬の意味を表す。)

3. Atiqli otlarning tarkibiy qismini tashkil etadi, mas. Qoşjon, Mamajon.

(固有名詞の構成要素として用いられる。)

(1981a:287)

-oy Ayollar nomiga qoşilib, erkalaş, hurmatni bildiradi, mas. Tursunoy, Şirmonoy, Qunduzoy.

(女性の個人名に付けて、可愛がりや尊敬の意味を表す。)

(1981a : 526)

-xon Erkak va ayollar ismiga qoşilib, hurmatni ifodalaydi, mas. Oqilxon, Karimaxon.

(男性や女性の個人名に付けて、尊敬を表す。)

(1981b : 331)

この二つの辞書の説明をまとめると、次のようなことが言える。

接辞 **-boy** は尊敬の意味を表す。なお、管見では男性名に限って付けられるようである。

接辞 **-jon** は、可愛がりや縮小などの意味を表す接辞として、個人名だけでなく、親族名など人を表す名詞にも付けられるという点で他の接辞より使用範囲が広い。例えば、**dada** (父) や **buvi** (祖母) などの親族語や、**domla** (先生) などの名詞に **-jon** を付けると、愛情のこもった表現となり、名詞に親愛や尊敬などの意味を添える。なお、この接辞は、個人名に付けて用いられる場合は、主に男性の個人名に付けるのが一般的である。

接辞 **-oy** と **-xon** は、共に可愛がりや尊敬の意味を表すものであるが、**-oy** は主に女性の個人名に付けて用いられ、**-xon** は性の区別なく用いられる。

なお、Ma'rufov (1981a.) には先行研究などで指摘されていない **-bonu** という接辞もある。この接辞は、主に女性の個人名に付加して用いられるが、使用頻度は他のものよりも低いと思われる。

-bonu Hurmat yuzasidan xotinlar ismiga qoşib ishlatiladi.

(尊敬を表す接辞として女性の名前に付けて用いられる。)

(p.130)

以上をまとめると、ウズベク語の愛称形成接辞は、**-boy** と **-jon** のように、男性の個人名に付けられるものと、**-oy** と **-bonu** のように、女性の個人名に付けられるもの、また **-xon** のように、男性と女性の両方の個人名に付けられるものとに分けられる。

次の表は、今回の調査によって得られた個人名への接辞添加による愛称形を用例数が多い順に表示したものである。但し、音韻変化や反復によるバリエーションを含む。また、接辞添加と同時に省略 (6.4.1 で検討した) を伴うものも含んでいる。

表 64. 接辞添加による愛称形の用例数

接辞	用例数
-š (-oš/-osš)	64
-i	63
-a (-ha)	20
-ik	13
-ka	6
-ya	3
-boy	5
-jon	4
-xon	2
合計	180

接辞添加による愛称形成の例は、合計 180 例である。

先行研究で取り上げている -jon、-xon、-oy、-boy という接辞を使った例は非常に少ない。調査で最も多く観察されたのは、先行研究などで指摘されていない接辞 -š (-oš/-osš)、-i、-a (-ha) であり、いずれも男性の個人名にも女性の個人名にも区別なく付けることができる。また、ロシア語由来の愛称形成接辞 -ik、-ka、-ya などの借用も少しみられた。以下、順に見ていく。

接辞 -š (-oš/-osš) の添加によって形成された愛称形は 87 の個人名をもとにした 64 例である。次の表の通りである。

表 65. 接辞 -š (-oš/-osš) の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Abdulahad (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulahad→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulazim (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulazim→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulaziz (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulaziz→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulfattōh (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulfattōh→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulgaḥḥar (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulgaḥḥar→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulgaḥḥur (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulgaḥḥur→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulḡani (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulḡani→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
	ḡaniš	1	Abdulḡani→ḡani→ḡaniš (前部省略、接辞 -š の添加)
Abdulḡamid (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulḡamid→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulḡakim (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulḡakim→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulḡaḥḥiz (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulḡaḥḥiz→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulḡabbōr (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulḡabbōr→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulḡalil (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulḡalil→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulḡakarim (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulḡakarim→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)
Abdulḡatif (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulḡatif→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞 -š の添加)

Abdullōh (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdullōh→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdulmalik (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulmalik→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdulqahhōr (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulqahhōr→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdulqōdir (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulqōdir→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdulvahhōb (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulvahhōb→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdulvali (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulvali→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdulvōhid (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulvōhid→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdulxōliq (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdulxōliq→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdurrahiym (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdurrahiym→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdurrahmōn (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdurrahmōn→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdurrašid (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdurrašid→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdurrauf (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdurrauf→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdurrazzōq (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdurrazzōq→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Abdussamad (ar.) <i>male</i>	Abdiš	2	Abdussamad→Abdu→Abdi→Abdiš (後部省略、母音交替：u→i、接辞-š の添加)
Ahrōr (ar.) <i>male</i>	Ahoš	1	Ahrōr→Ah→Ahoš (後部省略、接辞-oš の添加)
Akmal (ar.) <i>male</i>	Akoš	1	Akmal→Ak→Akoš (後部省略、接辞-oš の添加)
Anbar (ar.) <i>male</i>	Aniš	1	Anbar→An→Ani→Aniš (後部省略、接辞-i と接辞-š の添加)
Bahōdir (per.) <i>male</i>	Baqaš	1	Bahōdir→Bahō→Bahōš→Baqaš→Baqaš (後部省略、接辞-š の添加、摩擦音から破裂音への変化：h→q、母音交替：o→a)
	Bohōš	6	Bahōdir→Bahō→Bahōš→Bohōš (後部省略、接辞-š の添加、母音交替：a→o)
Barnō (per.) <i>female</i>	Barnōš	1	Barnō→Barnōš (接辞-š の添加)
Baxtiyōr (per.) <i>male</i>	Baxtiška	1	Baxtiyōr→Baxti→Baxtiš→Baxtiška (後部省略、接辞-š とロシア語由来の接辞-ka の添加)
Behzōd (per.) <i>male</i>	Begiš	1	Behzōd→Beh→Behi→Behiš→Begiš (後部省略、接辞-i と-š の添加、摩擦音から破裂音への変化：h→g)
Binafša (uzb.) <i>female</i>	Biniš	1	Binafša→Bin→Bini→Biniš (後部省略、接辞-i と-š の添加)
	Binoš	1	Binafša→Bin→Binoš (後部省略、接辞-oš の添加)
Bobur (uzb.) <i>male</i>	Bobōš	1	Bobur→Bob→Bobōš (後部省略、接辞-oš の添加)
Bolta (uzb.) <i>male</i>	Boltaš	1	Bolta→Boltaš (接辞-š の添加)
Davlat (ar.) <i>male</i>	Dadoš	1	Davlat→Da→Dada→Dadaš→Dadoš (後部省略、反復：da→dada、接辞-š の添加、母音交替：a→o)
Dilafruz (per.) <i>female</i>	Didiš	5	Dilafruz→Di→Didi→Didiš (後部省略、反復：di→didi、接辞-š の添加)
	Diliš	2	Dilafruz→Dil→Dili→Diliš (後部省略、接辞-i と-š の添加)
Dilbar (per.) <i>female</i>	Diliš	2	Dilbar→Dil→Dili→Diliš (後部省略、接辞-i と-š の添加)
Dilmurōd (per.-ar.) <i>male</i>	Diliš	1	Dilmurōd→Dil→Dili→Diliš (後部省略、接辞-i と-š の添加)
Dilnavōz (per.) <i>female</i>	Dilaš	1	Dilnavōz→Dil→Dila→Dilaš (後部省略、接辞-a と-š の添加)
Dilrōm (per.) <i>female</i>	Diloš	2	Dilrōm→Dil→Diloš (後部省略、接辞-oš の添加)
Dilšōd (per.) <i>male</i>	Diliš	6	Dilšōd→Dil→Dili→Diliš (後部省略、接辞-i と-š の添加)
Elbek (uzb.) <i>male</i>	Eliš	1	Elbek→El→Eli→Eliš (後部省略、接辞-i と-š の添加)

Eldor (uzb.-per.) <i>male</i>	Eliš	2	Eldor→El→Eli→Eliš (後部省略、接辞-i と-š の添加)
Farogat (ar.) <i>female</i>	Faroš	1	Farogat→Farō→Faroš (後部省略、接辞-š の添加)
Faxriddin (ar.) <i>male</i>	Faxriš	2	Faxriddin→Faxri→Faxriš (後部省略、接辞-š の添加)
Gulšan (per.) <i>female</i>	Guliš	1	Gulšan→Gul→Guli→Guliš (後部省略、接辞-i と-š の添加)
Ibodot (ar.) <i>female</i>	Iboš	2	Ibodot→Ibo→Iboš (後部省略、接辞-š の添加)
Ibodulloh (ar.) <i>male</i>	Iboš	5	Ibodulloh→Ibo→Iboš→Iboš (後部省略、接辞-š の添加、母音交替 : o→o)
Ibrohim (old jew.) <i>male</i>	Iboš	5	Ibrohim→Ibro→Ibo→Iboš→Iboš (後部省略、子音の脱落、接辞-š の添加、母音交替 : o→o)
	Ibuš	1	Ibrohim→Ibro→Ibo→Iboš→Ibuš (後部省略、子音の脱落、接辞-š の添加、母音交替 : o→u)
Irda (ar.) <i>female</i>	Iroš	7	Irda→Iro→Iroš (後部省略、接辞-š の添加)
Jamšid (per.) <i>male</i>	Jamaš	1	Jamšid→Jam→Jama→Jamaš (後部省略、接辞-a と-š の添加)
	Jamiš	1	Jamšid→Jam→Jamiš (後部省略、接辞-i と-š の添加)
Jumagul (ar.-per.) <i>female</i>	Jumaš	5	Jumagul→Juma→Jumaš (後部省略、接辞-š の添加)
Kamola (ar.) <i>female</i>	Kamaš	1	Kamola→Kamō→Kamoš→Kamaš (後部省略、接辞-š の添加、母音交替 : o→a)
	Kamoš	8	Kamola→Kamō→Kamoš (後部省略、接辞-š の添加)
Latofat (ar.) <i>female</i>	Latoš	1	Latofat→Lato→Latoš (後部省略、接辞-š の添加)
Madina (ar.) <i>female</i>	Madiš	1	Madina→Madi→Madiš (後部省略、接辞-š の添加)
Mahbuba (ar.) <i>female</i>	Mahbuš	1	Mahbuba→Mahbu→Mahbuš (後部省略、接辞-š の添加)
Mahliyo (ar.) <i>female</i>	Mahliš	4	Mahliyo→Mahli→Mahliš (後部省略、接辞-š の添加)
Malohat (ar.) <i>female</i>	Maloš	3	Malohat→Malo→Maloš (後部省略、接辞-š の添加)
Matluba (ar.) <i>female</i>	Matuš	1	Matluba→Matlu→Matu→Matuš (後部省略、子音の脱落、接辞-š の添加)
Mohigul (per.) <i>female</i>	Mohiš	1	Mohigul→Mohi→Mohiš (後部省略、接辞-š の添加)
Mohinur (per.-ar.) <i>female</i>	Mohiš	2	Mohinur→Mohi→Mohiš (後部省略、接辞-š の添加)
Muborak (ar.) <i>female</i>	Muboš	1	Muborak→Mubo→Muboš (後部省略、接辞-š の添加)
Muharram (ar.) <i>female</i>	Muhaš	1	Muharram→Muha→Muhaš (後部省略、接辞-š の添加)
Munavvar (ar.) <i>female</i>	Minaš	1	Munavvar→Muna→Munaš→Minaš (後部省略、接辞-š の添加、母音交替 : u→i)
	Munaš	1	Munavvar→Muna→Munaš (後部省略、接辞-š の添加)
Nazokat (ar.) <i>female</i>	Nazoš	1	Nazokat→Nazo→Nazoš (後部省略、接辞-š の添加)
Nigora (per.) <i>female</i>	Nigoš	1	Nigora→Nigo→Nigoš (後部省略、接辞-š の添加)
Nilufar (hin.) <i>female</i>	Niliš	2	Nilufar→Nilu→Niluš→Niliš (後部省略、接辞-š の添加、母音交替 : u→i)
	Niluš	5	Nilufar→Nilu→Niluš (後部省略、接辞-š の添加)
Nodira (ar.) <i>female</i>	Nodiš	1	Nodira→Nodi→Nodiš (後部省略、接辞-š の添加)
Otabek (uzb.) <i>male</i>	Otaš	9	Otabek→Ota→Otaš (後部省略、接辞-š の添加)
Oynisa (uzb.-ar.) <i>female</i>	Oyniš	2	Oynisa→Oyni→Oyniš (後部省略、接辞-š の添加)
Ozoda (per.) <i>female</i>	Ozoš	4	Ozoda→Ozo→Ozoš (後部省略、接辞-š の添加)
Qahramon (per.) <i>male</i>	Qaqoš	1	Qahramon→Qaqa→Qaqas→Qaqoš (後部省略、反復 : qa→qaqa、接辞-š の添加、母音交替 : a→o)

Qudratulloh (ar.) <i>male</i>	Qudaš	1	Qudratulloh→Qud→Qudaš (後部省略、接辞-a と-š の添加)
Qutbiddin (ar.) <i>male</i>	Qutiš	1	Qutbiddin→Qut→Qutiš (後部省略、接辞-i と-š の添加)
Ra'no (ar.) <i>female</i>	Ra'noš	2	Ra'no→Ra'noš (後部省略、接辞-š の添加)
Sadoqat (ar.) <i>female</i>	Sadoš	2	Sadoqat→Sado→Sadoš (後部省略、接辞-š の添加)
Salomat (ar.) (fe) <i>male</i>	Saloš	2	Salomat→Salo→Saloš (後部省略、接辞-š の添加)
Sanam (ar.) <i>female</i>	Sanoš	1	Sanam→San→Sanoš (後部省略、接辞-š の添加)
Šahlo (ar.) <i>female</i>	Šahloš	1	Šahlo→Šahloš (後部省略、接辞-š の添加)
Uldona (uzb. per.) <i>female</i>	Ulaš	1	Uldona→Ul→Ula→Ulaš (後部省略、接辞-a と-š の添加)
Umida (per.) <i>female</i>	Umaš	1	Umida→Umi→Umiš→Umaš (後部省略、接辞-š の添加、母音交替 : i→a)
	Umiš	2	Umida→Umi→Umiš (後部省略、接辞-š の添加)
Umidulloh (per. ar.) <i>male</i>	Umiš	2	Umidulloh→Umi→Umiš (後部省略、接辞-š の添加)
Xayrulloh (ar.) <i>male</i>	Xayriš	2	Xayrulloh→Xayru→Xayri→Xayriš (後部省略、母音交替 : u→i、接辞-š の添加)

接辞-i の添加によって形成された愛称形は 92 の個人名をもとにした 63 例である。次の表の通りである。

表 66. 接辞-i の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Ahror (ar.) <i>male</i>	Ahi	4	Ahror→Ah→Ahi (後部省略、接辞-i の添加)
Akbar (ar.) <i>male</i>	Aki	1	Akbar→Ak→Aki (後部省略、接辞-i の添加)
Akmal (ar.) <i>male</i>	Aki	6	Akmal→Ak→Aki (後部省略、接辞-i の添加)
Anbar (ar.) <i>male</i>	Aniš	1	Anbar→An→Ani→Aniš (後部省略、接辞-i と接辞-š の添加)
Anvar (ar.) <i>male</i>	Anni	1	Anvar→An→Ani→Anni (後部省略、接辞-i の添加、子音の連続化 : n→nn)
Bahor (per.) <i>male</i>	Bahi	1	Bahor→Bah→Bahi (後部省略、接辞-i の添加)
Barno (per.) <i>female</i>	Bari	1	Barno→Bar→Bari (後部省略、接辞-i の添加)
Basanda (per.) <i>female</i>	Sani	1	Basanda→San→Sani (前部 Ba と後部-da の省略、接辞-i の添加)
Baxtiyor (per.) <i>male</i>	Boqi	1	Baxtiyor→Bax→Baxi→Baqi→Boqi (後部省略、接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : x→q、母音交替 : a→o)
Behzod (per.) <i>male</i>	Begi	7	Behzod→Beh→Behi→Begi (後部省略、接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→g)
	Begiš	1	Behzod→Beh→Behi→Begi→Begiš (後部省略、接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→g、接辞-š の添加)
	Bekki	1	Behzod→Beh→Behi→Beki→Bekki (後部省略、接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→k、子音の連続化 : k→kk)
Bekmurad (uzb. ar.) <i>male</i>	Muri	3	Mur→Muri (前部 Bek と後部-rad の省略、接辞-i の添加)
Bekzod (uzb. per.) <i>male</i>	Bekki	1	Bekzod→Bek→Beki→Bekki (後部省略、接辞-i の添加、子音の連続化 : k→kk)
	Begi	4	Bekzod→Bek→Beki→Begi (後部省略、接辞-i の添加、無声音の有声化 : k→g)
	Begiča	4	Bekzod→Bek→Beki→Begi→Begiča (後部省略、接辞-i の添加、無声音の有声化 :

			k→g、接辞čaの添加)
Bibixol (uzb.per.) <i>female</i>	Xoli	1	Bibixol→Xol→Xoli (前部省略、接辞-iの添加)
Binafsa (uzb.) <i>female</i>	Biniš	1	Binafsa→Bin→Bini→Biniš (後部省略、接辞-iと-šの添加)
Dilafruz (per.) <i>female</i>	Dili	3	Dilafruz→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
	Diliš	2	Dilafruz→Dil→Dili→Diliš (後部省略、接辞-iと-šの添加)
Dilbar (per.) <i>female</i>	Dili	2	Dilbar→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
Dilmurød (per.ar.) <i>male</i>	Dili	2	Dilmurød→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
	Diliš	1	Dilmurød→Dil→Dili→Diliš (後部省略、接辞-iと-šの添加)
Dilnavoz (per.) <i>female</i>	Dili	3	Dilnavoz→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
Dilnoz (per.) <i>female</i>	Dili	4	Dilnoz→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
Dilbrø (per.) <i>female</i>	Dili	3	Dilbrø→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
Dilbrøm (per.) <i>female</i>	Dili	3	Dilbrøm→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
Dilovar (per.) <i>female</i>	Dili	3	Dilovar→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
Dilrabo (per.) <i>female</i>	Dili	5	Dilrabo→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
Dilšod (per.) <i>male</i>	Dili	1	Dilšod→Dil→Dili (後部省略、接辞-iの添加)
	Diliš	6	Dilšod→Dil→Dili→Diliš (後部省略、接辞-iと-šの添加)
Durdona (ar.per.) <i>female</i>	Duri	2	Durdona→Dur→Duri (後部省略、接辞-iの添加)
Elbek (uzb.) <i>male</i>	Eli	3	Elbek→El→Eli (後部省略、接辞-iの添加)
	Eliš	1	Elbek→El→Eli→Eliš (後部省略、接辞-iと-šの添加)
Eldor (uzb.per.) <i>male</i>	Eli	2	Eldor→El→Eli (後部省略、接辞-iの添加)
	Eliš	2	Eldor→El→Eli→Eliš (後部省略、接辞-iと-šの添加)
Elmurød (uzb.ar.) <i>male</i>	Eli	1	Elmurød→El→Eli (後部省略、接辞-iの添加)
Farrux (per.) <i>male</i>	Fari	1	Far→Fari (後部省略、接辞-iの添加)
Faxriddin (ar.) <i>male</i>	Faqi	1	Fax→Faxi→Faqi (後部省略、接辞-iの添加、摩擦音から破裂音への変化 : x→q)
Fayzulloh (ar.) <i>male</i>	Fayzi	4	Fayz→Fayzi (後部省略、接辞-iの添加)
	Payzi	1	Fayz→Fayzi→Payzi (後部省略、接辞-iの添加、摩擦音から破裂音への変化 : f→p)
Gulandom (per.) <i>female</i>	Guli	7	Gulandom→Gul→Guli (後部省略、接辞-iの添加)
Gulasal (per.ar.) <i>female</i>	Guli	5	Gulasal→Gul→Guli (後部省略、接辞-iの添加)
Gulčehra (per.) <i>female</i>	Guli	3	Gulčehra→Gul→Guli (後部省略、接辞-iの添加)
Guljamol (per.ar.) <i>female</i>	Guli	6	Guljamol→Gul→Guli (後部省略、接辞-iの添加)
Guljaxon (per.) <i>female</i>	Guli	7	Guljaxon→Gul→Guli (後部省略、接辞-iの添加)
Gulnoz (per.) <i>female</i>	Guli	2	Gulnoz→Gul→Guli (後部省略、接辞-iの添加)
	Nøzi	1	Gulnoz→Nøz→Nøzi (前部省略、接辞-iの添加)
Gulruh (per.) <i>female</i>	Guli	3	Gulruh→Gul→Guli (後部省略、接辞-iの添加)
Gulšan (per.) <i>female</i>	Guli	3	Gulšan→Gul→Guli (後部省略、接辞-iの添加)
	Guliš	1	Gulšan→Gul→Guli→Guliš (後部省略、接辞-iと-šの添加)
Gulšod (per.) <i>female</i>	Guli	1	Gulšod→Gul→Guli (後部省略、接辞-iの添加)
	Šodi	1	Gulšod→Šod→Šodi (前部省略、接辞-iの添加)

Ġayrat (ar.) <i>male</i>	Ġayri	1	Ġayrat→Ġayr→Ġayri (後部省略、接辞-i の添加)
Hayitmurōd (ar.) <i>male</i>	Muri	1	Hayitmurōd→Mur→Muri (前部 Hayit- と後部 -ōd の省略、接辞-i の添加)
Hulkar (uzb.) <i>female</i>	Huli	2	Hulkar→Hul→Huli (後部省略、接辞-i の添加)
Iqbōl (ar.) <i>male</i>	Iqi	1	Iq→Iqi (後部省略、接辞-i の添加)
Iskandar (ar.) <i>male</i>	Isi	1	Is→Isi (後部省略、接辞-i の添加)
Jamšid (per.) <i>male</i>	Jami	2	Jamšid→Jam→Jami (後部省略、接辞-i の添加)
	Jamiš	1	Jamšid→Jam→Jami→Jamiš (後部省略、接辞-i と -š の添加)
	Jimmi	1	Jamšid→Jam→Jim→Jimi→Jimmi (後部省略、母音交替 : a→i、接辞-i の添加、子音の連続化 : m→mm)
Javlōn (ar.) <i>male</i>	Joni	2	Javlōn→Jōn→Jōni→Joni (中部省略、接辞-i の添加、母音交替 : ɔ→o)
Lutfiya (ar.) <i>female</i>	Luti	1	Lutfiya→Lut→Luti (後部省略、接辞-i の添加)
Mohidil (per.) <i>female</i>	Dili	1	Mohidil→Dil→Dili (前部省略、接辞-i の添加)
Mohigul (per.) <i>female</i>	Guli	1	Mohigul→Gul→Guli (前部省略、接辞-i の添加)
Muazzam (ar.) <i>female</i>	Muzi	1	Muazzam→Muaz→Muz→Muzi (後部省略、母音の脱落、接辞-i の添加)
Munavvar (ar.) <i>female</i>	Muni	1	Munavvar→Mun→Muni (後部省略、接辞-i の添加)
Muqaddas (ar.) <i>female</i>	Muqi	1	Muqaddas→Muq→Muqi (後部省略、接辞-i の添加)
Najmiddin (ar.) <i>male</i>	Naji	1	Najmiddin→Naj→Naji (後部省略、接辞-i の添加)
Nazrulloh (ar.) <i>male</i>	Nazri	2	Nazrulloh→Nazr→Nazri (後部省略、接辞-i の添加)
Norboy (per.-uzb.) <i>male</i>	Nori	1	Norboy→Nor→Nori (後部省略、接辞-i の添加)
Noroy (per.-uzb.) (<i>fe</i>) <i>male</i>	Nori	1	Noroy→Nor→Nori (後部省略、接辞-i の添加)
	Oyi	1	Noroy→Oy→Oyi (前部省略、接辞-i の添加)
Norxol (per.) <i>female</i>	Xoli	1	Norxol→Xol→Xoli (前部省略、接辞-i の添加)
Nurulloh (ar.) <i>male</i>	Nuri	6	Nurulloh→Nur→Nuri (後部省略、接辞-i の添加)
Nusrat (ar.) <i>male</i>	Nusi	1	Nusrat→Nus→Nusi (後部省略、接辞-i の添加)
Nusratulloh (ar.) <i>male</i>	Nusi	1	Nusratulloh→Nus→Nusi (後部省略、接辞-i の添加)
Orzigul (per.) <i>female</i>	Guli	1	Orzigul→Gul→Guli (前部省略、接辞-i の添加)
Oygul (uzb.-per.) <i>female</i>	Guli	3	Oygul→Gul→Guli (前部省略、接辞-i の添加)
Qudrat (ar.) <i>male</i>	Qudi	2	Qudrat→Qud→Qudi (後部省略、接辞-i の添加)
Qudratulloh (ar.) <i>male</i>	Qudi	1	Qudratulloh→Qud→Qudi (後部省略、接辞-i の添加)
Qutbiddin (ar.) <i>male</i>	Qutiš	1	Qutbiddin→Qut→Quti→Qutiš (後部省略、接辞-i と -š の添加)
Rozixol (per.) <i>female</i>	Xoli	2	Rozixol→Xol→Xoli (前部省略、接辞-i の添加)
Safargul (ar.-per.) <i>female</i>	Guli	2	Safargul→Gul→Guli (前部省略、接辞-i の添加)
Said (ar.) <i>male</i>	Saydi	2	Said→Sayd→Saydi (母音交替 : i→y、接辞-i の添加)
Sardor (per.) <i>male</i>	Seri	1	Sardor→Sar→Sari→Seri (後部省略、接辞-i の添加、母音交替 : a→e)
Sarvinoz (per.) <i>female</i>	Nōzi	1	Sarvinoz→Nōz→Nōzi (前部省略、接辞-i の添加)
Sulton (ar.) <i>male</i>	Suli	1	Sulton→Sul→Suli (後部省略、接辞-i の添加)
Surayyo (ar.) <i>female</i>	Sari	1	Surayyo→Sur→Suri→Sari (後部省略、接辞-i の添加、母音交替 : u→a)
Šahnōz (per.) <i>female</i>	Šahi	3	Šahnōz→Šah→Šahi (後部省略、接辞-i の添加)

	Šaqi	1	Šahnəz→Šah→Šahi→Šaqi (後部省略、接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→q)
	Šohi	2	Šahnəz→Šah→Šahi→Šohi (後部省略、接辞-i の添加、母音交替 : a→o)
Šahodat (ar.) <i>female</i>	Šohi	3	Šahodat→Šah→Šahi→Šohi (後部省略、接辞-i の添加、母音交替 : a→o)
Šodigul (per.) <i>female</i>	Guli	1	Šodigul→Gul→Guli (前部省略、接辞-i の添加)
Šohsanam (per.·ar.) <i>female</i>	Šohi	3	Šohsanam→Šoh→Šohi (後部省略、接辞-i の添加)
Šuhrat (ar.) <i>male</i>	Šuqi	4	Šuhrat→Šuh→Šuhi→Šuqi (後部省略、接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→q)
Tal'at (ar.) <i>male</i>	Toli	1	Tal'at→Tali→Toli (後部省略、接辞-i の添加、母音交替 : a→o)
Tursun (uzb.) <i>male</i>	Turi	1	Tursun→Tur→Turi (後部省略、接辞-i の添加)
Tolqin (uzb.) <i>male</i>	Toli	2	Tolqin→Tol→Toli (後部省略、接辞-i の添加)
Xəlbek (per.·uzb.) <i>male</i>	Xəli	2	Xəlbek→Xəl→Xəli (後部省略、接辞-i の添加)
Xəlbeka (per.·uzb.) <i>female</i>	Xəli	4	Xəlbeka→Xəl→Xəli (後部省略、接辞-i の添加)
Xəlbibi (per.·uzb.) <i>female</i>	Xəli	1	Xəlbibi→Xəl→Xəli (後部省略、接辞-i の添加)
Xəldər (per.) <i>male</i>	Xəli	1	Xəldər→Xəl→Xəli (後部省略、接辞-i の添加)
Xəltəji (per.) <i>female</i>	Xəli	1	Xəltəji→Xəl→Xəli (後部省略、接辞-i の添加)
Xurram (per.) (fə) <i>male</i>	Xuri	1	Xurram→Xur→Xuri (後部省略、接辞-i の添加)
Yədgər (per.) <i>male</i>	Yədi	3	Yədgər→Yəd→Yədi (後部省略、接辞-i の添加)
Zubayda (ar.) <i>female</i>	Zubi	1	Zubayda→Zub→Zubi (後部省略、接辞-i の添加)
Zuhrə (per.) <i>female</i>	Zuqi	2	Zuhrə→Zuh→Zuhi→Zuqi (後部省略、接辞-i の添加、摩擦音から破裂音への変化 : h→q)
Zulfiya (per.) <i>female</i>	Zuli	4	Zulfiya→Zul→Zuli (後部省略、接辞-i の添加)
Zulxumər (ar.) <i>female</i>	Zuli	3	Zulxumər→Zul→Zuli (後部省略、接辞-i の添加)

接辞-a (-ha)の添加によって形成された愛称形は 22 の個人名をもとにした 20 例である。次の表の通りである。

表 67. 接辞-a (-ha)の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
E'zəz (ar.) <i>male</i>	Ziza	1	E'zəz→Zəz→Zəza→Ziza (前部省略、接辞-a の添加、母音交替 : ə→i)
Farrux (per.) <i>male</i>	Fara	1	Farrux→Far→Fara (後部省略、接辞-a の添加)
Gulnəz (per.) <i>female</i>	Nəza	1	Gulnəz→Nəz→Nəza (前部省略、接辞-a の添加)
Jaməl (ar.) <i>male</i>	Jama	1	Jaməl→Jam→Jama (後部省略、接辞-a の添加)
Jamsid (per.) <i>male</i>	Jama	1	Jamsid→Jam→Jama (後部省略、接辞-a の添加)
	Jamaš	1	Jamsid→Jam→Jama→Jamaš (後部省略、接辞-a と š の添加)
Jasur (ar.) <i>male</i>	Jasa	1	Jasur→Jas→Jasa (後部省略、接辞-a の添加)
Javlən (ar.) <i>male</i>	Joha	1	Javlən→Jav→Jo→Joha (後部省略、av→o、接辞-ha の添加)
Qahramən (per.) <i>male</i>	Qaha	1	Qahramən→Qah→Qaha (後部省略、接辞-a の添加)

Qudratulloh (ar.) <i>male</i>	Qudaš	1	Qudratulloh→Qud→Qudaš (後部省略、接辞-a と-š の添加)
Sarvar (ar.) <i>(fe)male</i>	Sara	1	Sarvar→Sar→Sara (後部省略、接辞-a の添加)
Sobir (ar.) <i>male</i>	Soha	1	Sobir→So→Soha (後部省略、接辞-ha の添加)
Šahina (per.) <i>female</i>	Šoha	1	Šahina→Šah→Šaha→Šoha (後部省略、接辞-a の添加、母音交替 : a→o)
Šahlo (ar.) <i>female</i>	Šoha	1	Šahlo→Šah→Šaha→Šoha (後部省略、接辞-a の添加、母音交替 : a→o)
Šuhrat (ar.) <i>male</i>	Šuha	1	Šuhrat→Šuh→Šuha (後部省略、接辞-a の添加)
Temir (uzb.) <i>male</i>	Tima	1	Temir→Tem→Tema→Tima (後部省略、接辞-a の添加、母音交替 : e→i)
Tohir (ar.) <i>male</i>	Toha	2	Tohir→Toh→Toha→Toha (後部省略、接辞-a の添加、母音交替 : o→o)
Tošmurad (uzb.-ar.) <i>male</i>	Toha	1	Tošmurad→To→Toha→Toha (後部省略、接辞-ha の添加、母音交替 : o→o)
Uldona (uzb.-per.) <i>female</i>	Ulaš	1	Uldona→Ul→Ulaš (後部省略、接辞-a と-š の添加)
Umida (per.) <i>female</i>	Umaš	1	Umida→Um→Umaš (後部省略、接辞-a と-š の添加)
Yodgor (per.) <i>male</i>	Yoha	1	Yodgor→Yo→Yoha→Yoha (後部省略、接辞-ha の添加、母音交替 : o→o)
Zayniddin (ar.) <i>male</i>	Zaha	1	Zayniddin→Za→Zaha (後部省略、接辞-ha の添加)
Zumrad (per.) <i>female</i>	Zuma	1	Zumrad→Zum→Zuma (後部省略、接辞-a の添加)

また、用例数は少ないものの、接辞-boy の添加によって形成された愛称形は 5 例、接辞-jon の添加によって形成された愛称形は 4 例、接辞-xon の添加によって形成された愛称形は 2 例観察された。次の表の通りである。

表 68. 接辞-boy の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Boyqobil (uzb.-ar.) <i>male</i>	Qobilboy	1	Boyqobil→Qobil→Qobilboy (前部省略、接辞-boy の添加)
Ešbori (uzb.) <i>male</i>	Ešboy	1	Ešbori→Eš→Ešboy (後部省略、接辞-boy の添加)
Hayitali (ar.) <i>male</i>	Hayitboy	1	Hayitali→Hayit→Hayitboy (後部省略、接辞-boy の添加)
Šarif (ar.) <i>male</i>	Šarifboy	1	Šarif→Šarifboy (接辞-boy の添加)
Teša (uzb.) <i>male</i>	Tešaboy	1	Teša→Tešaboy (接辞-boy の添加)

表 69. 接辞-jon の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Ibrāhim (old jew.) <i>male</i>	Ibrāhimjon	2	Ibrāhim→Ibrāhimjon (接辞-jon の添加)
Ilhām (ar.) <i>male</i>	Ilhāmjon	2	Ilhām→Ilhāmjon (接辞-jon の添加)
Ismāil (old jew.) <i>male</i>	Ismāiljon	2	Ismāil→Ismāiljon (接辞-jon の添加)
Umar (ar.) <i>male</i>	Umarjon	1	Umar→Umarjon (接辞-jon の添加)

表 70. 接辞-xon の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Dilbar (per.) <i>female</i>	Barxon	1	Dilbar→Bar→Barxon (前部省略、接辞-xon の添加)
Ɔyša (ar.) <i>female</i>	Ɔyxon	1	Ɔyša→Ɔy→Ɔyxon (後部省略、接辞-xon の添加)

他に、ロシア語由来の愛称形成接辞-ik の添加によって形成された愛称形は 13 例、-ka の添加によって形成された愛称形は 6 例、-ya の添加によって形成された愛称形は 3 例収集できた。そのうち、-ik と-ka は男性の個人名に、-ya は女性の個人名に付けられている。次の表の通りである。

表 71. ロシア語由来の接辞-ik の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Elbek (uzb.) <i>male</i>	Elik	1	Elbek→El→Elik (後部省略、接辞-ik の添加)
Erkin (uzb.) <i>male</i>	Erik	1	Erkin→Er→Erik (後部省略、接辞-ik の添加)
Ešdavlat (uzb.-ar.) <i>male</i>	Dolik	1	Ešdavlat→Davlat→Davlat→Davlik→Dolik (前部省略、後部省略、接辞-ik の添加、av→o)
Ġayrat (ar.) <i>male</i>	Ġayrik	2	Ġayrat→Ġayr→Ġayrik (後部省略、接辞-ik の添加)
Jamšid (per.) <i>male</i>	Jamik	1	Jamšid→Jam→Jamik (後部省略、接辞-ik の添加)
Jasur (ar.) <i>male</i>	Jasik	1	Jasur→Jas→Jasik (後部省略、接辞-ik の添加)
Nuriddin (ar.) <i>male</i>	Nurik	6	Nuriddin→Nur→Nurik (後部省略、接辞-ik の添加)
Sardor (per.) <i>male</i>	Sarik	1	Sardor→Sar→Sarik (後部省略、接辞-ik の添加)
Šerzod (per.) <i>male</i>	Šerik	1	Šerzod→Šer→Šerik (後部省略、接辞-ik の添加)
Šuhrat (ar.) <i>male</i>	Šurik	6	Šuhrat→Šuhr→Šur→Šurik (後部省略、子音の脱落、接辞-ik の添加)
Šukrulloh (ar.) <i>male</i>	Šurik	4	Šukrulloh→Šukr→Šur→Šurik (後部省略、子音の脱落、接辞-ik の添加)
Tolqin (uzb.) <i>male</i>	Tolik	1	Tolqin→Tol→Tolik (後部省略、接辞-ik の添加)
Usmon (ar.) <i>male</i>	Usik	1	Usmon→Us→Usik (後部省略、接辞-ik の添加)
Xuršid (per.) <i>male</i>	Xurik	3	Xuršid→Xur→Xurik (後部省略、接辞-ik の添加)

表 72. ロシア語由来の接辞-ka の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Baxtiyor (per.) <i>male</i>	Batka	2	Baxtiyor→Baxti→Bat→Batka (後部省略、子音の脱落、接辞-ka の添加)
	Baxtiška	1	Baxtiyor→Baxti→Baxtiš→Baxtiška (後部省略、接辞-š と接辞-ka の添加)
Jasur (ar.) <i>male</i>	Jaska	6	Jasur→Jas→Jaska (後部省略、接辞-ka の添加)
Rasul (ar.) <i>male</i>	Raska	1	Rasul→Ras→Raska (後部省略、接辞-ka の添加)
Robiya (ar.) <i>female</i>	Robiška	1	Robiya→Robi→Robiš→Robiška (後部省略、接辞-š と接辞-ka の添加)
Yašar (uzb.) <i>male</i>	Yaška	1	Yašar→Yaš→Yaška (後部省略、接辞-ka の添加)

表 73. ロシア語由来の接辞-ya の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Dilafruz (per.) <i>female</i>	Dilya	1	Dilafruz→Dil→Dilya (後部省略、接辞-ya の添加)
Dilrō (per.) <i>female</i>	Dilya	2	Dilrō→Dil→Dilya (後部省略、接辞-ya の添加)
Gulnōz (per.) <i>female</i>	Gulya	1	Gulnōz→Gul→Gulya (後部省略、接辞-ya の添加)
Gulčehra (per.) <i>female</i>	Gulya	2	Gulčehra→Gul→Gulya (後部省略、接辞-ya の添加)
Zulfiya (per.) <i>female</i>	Zulya	1	Zulfiya→Zul→Zulya (後部省略、接辞-ya の添加)

なお、上記の接辞添加の用例の中には、下記の表に示す通り、《・i+・š→・iš》、《・a+・š→・aš》、《・š+・ka→・ška》のように二つの接辞で形成された愛称形も若干みられた。

表 74. 二つの接辞の添加により形成された愛称形

個人名	愛称形	回答者数	想定される語形変化過程
Baxtiyor (per.) <i>male</i>	Baxtiška	1	Baxtiyor→Baxti→Baxtiš→Baxtiška (後部省略、接辞・š と接辞・ka の添加)
Robiya (ar.) <i>female</i>	Robiška	1	Robiya→Robi→Robiš→Robiška (後部省略、接辞・š と接辞・ka の添加)

以上、接辞・š(・oš/・oš)、・i、・a(・ha)は他の接辞よりも使用頻度が高い。その理由については、今後さらなる調査が必要であるが、考える理由の一つに男性名と女性名に区別なく使われうるということが挙げられるであろう。

最後に、今回の調査の結果を踏まえて、ウズベク語の人名愛称形成接辞の使い分けを以下の表にまとめられる。なお、接辞・bonu は今回の調査では回答の中になかった。

表 75. 筆者が考えるウズベク語の人名愛称形成接辞

ウズベク語の人名愛称形成接辞	
男性の個人名に付けられるもの	女性の個人名に付けられるもの
・š(・oš/・oš)、・a(・ha)、・i、・xon	
・boy、・jon	(・bonu)、・oy
・ik、・ka	・ya

6.5 ウズベク語と日本語の愛称形成法の対照

今回の調査で明らかになったウズベク語の愛称形成法と、6.1.1 で安富（2005）に基づいて整理した日本語の愛称形成法とを対照する。

共通に認められたのは以下の諸点である。

- ① 省略による愛称形成がみられる。ウズベク語では、省略による愛称形成は、大きく前部省略と中部省略と後部省略に分けられるが、同様のことが日本語についても言える。
- ② 接辞添加による愛称形成がみられる。日本語では「ちゃん」「たん」「ちん」「ぺ」「すけ」などの接辞が用いられるのに対し、ウズベク語では・š(・oš/・oš)、・i、・a(・ha)、・boy などの接辞やロシア語由来の愛称形成接辞・ik、・ka、・ya などが用いられている。なお、ウズベク語の愛称形成接辞の中には、男性の個人名にだけ付けられるものと、女性の個人名にだけ付けられるものがあるが、日本語に関しては未調査である。
- ③ 日本語には「安田→やすやす」「けんじ→けんけん」のように、構成要素の反復による愛称形成法があるが、ウズベク語にも「Bobur→Boboš」「Dilafruz→Didiш」のような例が若干みられる。
- ④ ウズベク語では、「Guljamol→Guli」「Guljaxon→Guli」「Gulnoz→Guli」のように、一つの愛称形が、違う個人名の愛称形にもなりうるが、日本語でも、例えば「まさこ→まさちゃん」「まさなり→まさちゃん」「まさよし→まさちゃん」のように、同じような例がみられる³²。

一方、相違点としては、次の諸点が認められる。

- ① 日本語の愛称は姓・名（個人名）の双方から作られるが、ウズベク語の愛称は個人名からのみ作られ、「祖父名（または曾祖父名）-ov (-yev)」や「父名-ovič (-yevič)」からは作られない。
- ② 日本語には、「鈴木→すーさん」「佐々木→さーさま」のように、姓や名の第一音節を取ったもの、「てづか・みなこ→てづかみ」「くらた・まゆみ→くらたま」のように、セグメンテーションの変更によるものなど、さまざまな愛称形成法がみられるが、今回の調査の限りでは、ウズベク語にはこのような愛称形はみられない。

³² 一つの愛称形が違う個人名の愛称形にもなりうることについての日本語の例は、ハルナザロフ（2015）の投稿時に匿名の査読者より御教示いただいた。

第三部 結び

第7章 まとめと今後の課題

本論文では、現代ウズベク語の親族語を中心とした呼称について、親族内で最も多用されると思われる二人称代名詞や親族語、愛称などを取り上げ、日本語との対照的な観点から検討した。ウズベク語母語話者を対象に行ったアンケート調査や文学作品の会話例などの言語資料の収集・分析により親族呼称の体系や運用面について社会言語学的な観点から考察し、相手との距離や年齢の上下、相手の社会的地位といったさまざまな対人的要因とのかかわりを詳細に検討し研究を展開してきた。最終章にあたり、本論文で明らかになった現代ウズベク語の親族語を中心とした呼称の特徴及び日本語との異同をもう一度整理しておく。

7.1 まとめ

以下、これまで述べてきたことを章ごとにまとめて再確認する。

<序論：第1章、第2章>

第1章（本論文の目的）

第1章では、本論文の目的および研究対象について述べた。そして、ウズベク語の先行研究や調査データおよび資料を記述する際の表記や訳などについての説明を行った。

第2章（ウズベク語概観）

第2章では、ウズベク語の全般的な概説を行った。ウズベク語が話されている地域や方言差などについて述べた後、本論文を理解するうえで必要となるウズベク語の音韻的特徴や文法を概説した。

まず、ウズベク語の諸方言については、今のところ有力な分類方法の一つである Reshetov et al. (1978) の3分類法：1) カルルク・チギル・ウイグル方言、2) キプチャク方言、3) オグズ方言という三つのグループを紹介し、それぞれの音韻的な特徴や下位分類などについて述べた。

次に、音韻体系や音節構造について述べた。

最後に、ウズベク語の文法を概観し、名詞の数や格、所有人称接尾や人称代名詞などについて簡潔に述べた。

<本論：第3章～第6章>

第3章（本論文をめぐる基本概念と分類）

第3章では、本論文をめぐる基本概念と下位分類を整理した。本論文で扱っている人称代名詞、親族語、愛称をそれぞれ次のように定義した。

人称代名詞

まず、「人称」という概念について、仁田 (2014) にしたがって「名詞が話し手 (に属するもの) のことを指示しているのか、聞き手 (に属するもの) のことを指示しているのか、それ以外のものを指示しているのか、という違い、および、それに対応するかたちで述語などに形態変化等が起こる現象 (p.470)」と定義し、話し手自身を指す「一人称」、聞き手を指す「二人称」、話し手と聞き手以外の第三者を指す「三人称」を表す語類を「人称代名詞」と呼ぶことにした。その下位分類として、「私、俺」などの類を「一人称代名詞」、「あなた、君」などの類を「二人称代名詞」、「彼、彼女」などの類を「三人称代名詞」として設けた。

親族語

渡辺 (1978) は、血縁関係または婚姻関係という社会関係とこれらに伴う権利・義務や役割の相互認知とその履行を条件とし、人間と人間の社会的組合せ一般を抽象したときに生ずる言語的意味を「親族」と定義し、その言語的意味を何らかの意味で担っている単語を「親族語」と呼んでいるが、本論文では、渡辺 (1978) の定義に従い、「親族語」という術語を用いることにする。その下位分類として、例えば「お父さん」「お母さん」のように呼びかけにも言及にも用いられる親族語を「親族呼称」とし、「父」「母」など言及する場合にのみ用いられる親族語を「親族名称」とした。

愛称

本論文では「愛称」を亀井・河野・千野編 (1996) にしたがって「話し手が言及の対象に対する親愛の情を表わす言い方に特有の語。人名を別の呼び方で用いたり、普通名詞も一定の接辞や短縮による別の形で用いる。(p.1)」と定義し、ウズベク語の人名愛称を中心に考察を行った。

第4章 (人称代名詞)

第4章では、人称代名詞に関する記述を行った。まず、両言語の人称代名詞をめぐる先行研究を概観し、その問題点を指摘した。現代ウズベク語の二人称代名詞 *siz* は、学校の教科書や文法書などでは、複数の二人称代名詞として位置づけられ、単数の敬称二人称としての用法はその存在が指摘されるにとどまることが多い。しかしそのような記述では、現代ウズベク語の *siz* の用法を正確に把握しているとは言えないと思われる。なぜなら *siz* は、現代語では敬称の単数二人称代名詞への変化を遂げつつあると考えられるからである。本論文では、*siz* を敬称の二人称代名詞として解釈したほうが矛盾なく説明できることを提案する。調査方法は、ウズベク語の文学作品 27 作品から収集した会話文の資料に基づいて、主としてウズベク語の二人称代名詞の使用実態を調べ、その特徴を検討した。また、二人称代名詞 *sen・siz* の使い分けと所有二人称接尾辞との関係および動詞人稱語尾との一致現象について実例に基づいて考察した。なお、日本語については、先行研究から得た例の検討に留まった。

調査の結果、元来複数二人称代名詞として位置づけられてきた *siz* は現代語では複数用法としてほぼ用いられず、もっぱら敬称の単数二人称代名詞として機能していることが明らかになった。次の表を見ていただきたい。

表 76. 現代ウズベク語の人称代名詞の体系 (=表 13)

数		単数	複数	
人称	1 人称	men/man	biz/bizlar	
	2 人称	sen/san	siz (稀) /sizlar	senlar/sanlar (粗野)
	敬称	siz		
3 人称		u	ular	

まず、二人称単数形は、対話者との関係によって、自分より年下あるいは同年齢の相手に対して親しみを込めて用いる **sen** (親称) と、自分より年上の相手に対して敬意を込めて用いる **siz** (敬称) の区別がある。二人称単数の **sen** には、交替形として用いられる **san** という形式がある。両者の違いは、**sen** は話し言葉でも使えるし、書き言葉でも使えるニュートラルな形式であるのに対し、**san** は話し言葉では使えるが、書き言葉としては普段使わない形式である。

二人称複数形は **sizlar**、**senlar** という形式を用いるのが普通である。両者の違いは、**sizlar** は、親称で話し掛ける (複数の) 相手に対しても敬称で話し掛ける (複数の) 相手に対しても用いることができる待遇的に中立的な代名詞であるのに対し、**senlar** は、同等以下の複数の相手に対して、主としてマイナス評価を込めつつ見下して呼ぶ場合に用いられる代名詞である。

親称と敬称の使い分け方は、以下の諸点にまとめられる。

- ① 親族関係において、一般的な傾向として、両親やおじ・おば、兄・姉など自分より年上の親族に対して **siz** (敬称) を用い、弟・妹、甥・姪、子、孫など年下の親族に対して **sen** (親称) を用いる。なお、嫁や婿あるいは兄弟姉妹の配偶者などに対して敬称を用いるのが普通であるが、時間が経つにつれて仲良くなり親称に移ることも少なくない。
- ② 夫婦間では、一般に、夫が妻に対して親称を用い、妻が夫に対して敬称を用いるが、女性の社会進出が進むにつれ、互いに敬称を用いる夫婦も増加してきている。
- ③ 非親族関係では、初対面やあまり知らない人、上司や先輩、年上の知り合いなどに対して敬称を用い、友人や年下の知り合いなどに対して親称を用いるのが一般的である。なお、相手が子供である場合は、たとえ初対面でも親称を用いるのが普通である。

ウズベク語では、主語の人称や数に応じて所有人称接尾辞や動詞の人称語尾が変化するが、二人称単数の親称と敬称の場合も同じく、**sen** を使うかそれとも **siz** を使うかによって、それぞれ違う所有人称接尾辞と人称語尾が付く。筆者が調べた限りでは、親称は二人称単数の活用をし、敬称は二人称複数の活用をする。以下の表に示した通りである。

表 77. 現代ウズベク語の所有人称接尾辞の体系 (=表 14)

			母音で終わる単語	子音で終わる単語
単 数	1 人称		·m	·im
	2 人称	親称	·ŋ	·iŋ
		敬称	·ŋgiz	·iŋgiz

	3 人称		-si	-i
複 数	1 人称		-miz	-imiz
	2 人称	親称	-ŋ	-iŋ
		親称・敬称	-ŋ/-ŋgiz/-ŋlar	-iŋ/-iŋgiz/-iŋlar
	3 人称		-si	-i

表 78. 現代ウズベク語の人称語尾系列 (=表 22)

数	人称		I	II	III	IV
単 数	1 人称		-man	-man	-m	-(a)y
	2 人称	親称	-san	-san	-ŋ	-φ/-gin
		敬称	-siz	-siz	-ŋgiz	-(i)ŋ/-(i)ŋgiz
	3 人称		-φ	-di	-φ	-sin
複 数	1 人称		-miz		-k	-(a)lyk
	2 人称	親称	-san/-sanlar	-san/-sanlar	-ŋ/-ŋlar/-lariŋ	-φ/-(i)ŋlar/-lariŋ
		親称・敬称	-siz/-sizlar	-siz/-sizlar	-ŋgiz/-ŋgizlar/-ŋlar/-lariŋ/ -lariŋgiz	-(i)ŋ/-(i)ŋlar/-(i)ŋgiz/ -(i)ŋgizlar
	3 人称		-φ/-lar	-di/-dilar	-φ/-lar	-sin/-sinlar

今回の調査で明らかになったウズベク語の人称代名詞と、4.1.1 で整理した日本語の人称代名詞（及びそれに相当する語）を対照して、大きな違いとともにわずかではあるが類似性も見いだせた。まず、相違点としては次の諸点が認められる。

- ① 日本語には、「あなた」「あんた」「君」「お前」「貴様」など二人称代名詞として用いられる語の種類が多く、話し手と聞き手の人間関係によって適宜使い分けられているが、いずれも使用対象及び使用範囲がかなり限定されている。一方、ウズベク語の二人称代名詞は、種類が少ないが、使用範囲が日本語に比べて遥かに広い。例えば、ウズベク語の二人称代名詞 *siz* (*sizlar* も) は、目上の人や見知らぬ人は勿論、友人や恋人、目下の人にもまで使うことができるのに対し、日本語の二人称代名詞（及びそれに相当する語）は、いずれも同等以下の人に対してのみ用いることができるという使いにくさがある。家庭内においても、日本語では、自分より年上の者に対して人称代名詞の使用を避ける傾向があるが、ウズベク語では問題なく使える。
- ② 日本語ではジェンダーによる言語使用の差が大きく、人称代名詞の使用においても、男女それぞれに専用の人称代名詞が存在するが、ウズベク語ではそのような現象はみられない。
- ③ 日本語では人称代名詞「あなた」や「君」などを呼びかけ語として用いることができるが、ウズベク語ではそのような用法はみられない。

類似点としては、日本語では、人称代名詞が省略されることが多いと言われるが、これはウズベク語にも共通する性質である。しかし、人称代名詞が省略される要因は、日本語とウズベク語とではそれぞれ異なる。日本語では、敬語表現や授受表現が多用され、これらの表現における人称暗示機能や方向性の明確さが人称代名詞の使用頻度差に影響する主な要因となっている。

一方、ウズベク語では、述語の人称語尾が主語の人称・数を表示するということが要因として挙げられる。

第5章（親族語）

第5章では、親族語に関する記述を行った。まず、両言語の親族語をめぐる先行研究を紹介し、その問題点を指摘した。次に、以下に示すような課題を設定し、それについて調査・分析を行った。

- ① 親族・姻族に呼びかけたり言及したりする時、普段使っている言い方は何か。また、これらは世代や年齢の上下、話し相手との親疎関係などに左右されることがあるか否か。
- ② 夫婦間で用いられる言い方は何か。年齢の上下や子供の有無などの諸ファクターが呼称選択に影響を与えるかどうか。
- ③ 親族内で年少者との対話では、年少者の立場に視点を移動して親族に言及することができるか。
- ④ 親族に呼びかけたり言及したりする際、親族語に付加して、話し相手に対する「気配り」や「配慮」、「尊敬」と言った心遣いを示すために使用する接辞があると思われるが、それにはどんなものがあるのか。それらの表す意味は何か。どの親族に対しても用いられるのか。

調査方法は、11名のウズベク語母語話者（タシケント州チナズ市出身者）を対象に行ったアンケート調査に基づいて、ウズベク語の親族語について、年齢の上下や親疎関係など諸ファクターとのかかわりを詳しく検討した。親族語について考察する際、血縁関係の「親族」と婚姻関係の「姻族」に分けて分析する。考察範囲は、「親族」の場合、本人を基準にして、上位2世代（祖父母、両親、おじ・おばとその配偶者）、同世代（兄弟姉妹とその配偶者及びいとこ）、下位2世代（息子・娘とその配偶者、甥・姪、孫とその配偶者）まで合わせて5世代の親族を研究対象とする。「姻族」の場合、配偶者と配偶者の両親、配偶者の兄弟姉妹とその配偶者までとし、それをもとに、ウズベク語の親族間での呼称の仕組みを整理・分析した。それから、日本語の親族語について、ウズベク語の場合と同じような方法で、同人数の日本語母語話者を対象に行ったアンケート調査に基づいて、日本語の親族間での呼称を整理・分析した。

調査の結果、ウズベク語の親族呼称の使い分けに、年齢の長幼が重要な軸として働くことを確認した他、(1) 父方か母方かによる違い、(2) 身内か否かによる違い、(3) 親疎関係（既知の人であるか否か）、(4) 視点の移動の問題、(5) 接辞添加の問題などといった多くの要素が関与することが明らかになった。以下にまとめた通りである。

- ① 親族・姻族に対する呼称の使用において年上か年下かの区別が厳格に守られており、年齢の長幼が重要な概念として認識されている。自分より上の世代の人や兄・姉などに呼びかけたり言及したりする時は原則として親族語を用いる。下の世代の人や弟・妹などに呼びかける際には、名前や愛称を用いるが、言及する際には、話し相手との親疎関係によって名前や愛称を用いる場合と、親族語を用いる場合がある。そのほか、父方か母方かによる違いが目立つ。
- ② 夫婦の場合、夫は妻に名前や愛称を用いて呼びかけ、妻は夫に感動詞を用いて呼びかけるか、名前に親族語を付けて呼びかける。子供や孫が生まれた後は、家族の最年少者の立場に視点を移動して配偶者に呼びかける傾向がみられた。言及の際には、話し相手が親族・姻族であるか否かによって視点移動に異なりがあることがわかった。
- ③ 親族内で、年少者との会話において親族の誰かを話題にする時や、年少者に話題の第三者として言及する際には、年少者の立場に視点を移動して間接的に表現する傾向がある。

- ④ 親族語に付加して話し相手に対する何らかの心遣いを示すために用いられる接辞には、「小さい」や「可愛らしい」という意味を表す接辞-*ča*、「尊敬」や「親愛の情」などの意味を表す接辞-*jon*、尊敬の所有一人称接尾辞-(*i*)*miz*、「気配り」や「配慮」という意味を表す接辞-(*i*)*m* などがあることがわかった。

最後に、両言語の親族呼称を比較することによって、共通に認められる部分と全く違う部分が存在していることが確認できた。以下にまとめた通りである。

- ① ウズベク語では、同一の親族語が複数の親族関係に対して用いられることがある。例えば、標準ウズベク語の「兄」に当たる語である *aka* は、夫やおじ、いとこなど年上の傍系男性親族や姻族に対して呼称として用いられる。また、「姉」に当たる語である *opa* は、母やおば、祖母などの女性親族（姻族）に対して呼称として用いられることがある。そのほかにも、*dada*（父と祖父に対して）や *bova*（祖父とおじに対して）など、いくつか例がみられる。一方、日本語にはこのような現象はみられない。
- ② 両言語とも、親族成員間での呼びかけにおいては、世代の上下が呼称の使い分けの基準になっており、自分より上の世代の親族は親族語で呼びかけ、下の世代の親族は名前や愛称で呼びかけるという点で共通している。しかし、日本語では、上位世代の親族に対して「名前＋ちゃん／さん」で呼びかける例も観察されたが、ウズベク語ではそのような用例はみられない。
- ③ ウズベク語では、同世代の親族に対する呼びかけにおいても年上か年下かの区別は厳格に守られており、兄・姉のみならず、年上のいところに対しても親族語で呼びかけるのが普通である。一方、日本語では、兄・姉に対して名前やあだ名など非親族呼称を使用する人が多く、同世代間の年齢の上下はそれほど重要視されていないようである。
- ④ ウズベク語では、祖父母やおじ・お婆の場合（いとこの場合は言及用法に限って）、父方と母方で形式の相違がみられるが、日本語においては、そのような区別はみられない。
- ⑤ ウズベク語では、親族語の指示対象は年上の親族に限らず、年下の親族に対しても親族語を用いて呼びかけることが可能である。一方、日本語では、年下の親族に対して親族語で呼びかける用例はみられない。
- ⑥ 日本語では、夫婦間の呼称において年齢差による上下関係が成立しておらず、互いに名前や人称代名詞で呼び合うことができるが、ウズベク語では、夫に対して人称代名詞や名前だけで呼びかけることはできず、*hey*、*hoy* などの感動詞を用いて呼びかけるか、「名前＋*aka*」というふうに、名前に親族語を付けて呼びかけるのが普通である。しかし、子供が生まれてくると子供の立場に視点を移動して配偶者に呼びかけるという点で共通している。なお、ウズベク語の場合、その間接性が人称接辞によって言葉に現れることが特徴的である。
- ⑦ 性差は、両言語の呼称表現の選択の要因の一つとなっている。ウズベク語では、例えば、夫が妻を名前で呼び捨てにすることができるが、妻はできない。また、子供の立場に視点を移動して配偶者に呼びかける表現は、男性はあまり用いず、もっぱら女性によって使われている。日本語では、例えば、成人した女性は父親を「おやじ」と呼んでも、母親を「おふくろ」と呼ばない等々である。
- ⑧ 両言語とも、自分より下の世代の親族との会話では、親族の誰かについて話す時、自分と言及の対象者との親族関係を直接表現しないで、年少者（下位世代の親族）の立場に立って間接的に表現する。しかし、ウズベク語では、このような場合、完全に子供の身になりきるのではなく、所有二人称接尾辞を付けて「あなたの」と言わなければならない。例えば、子供に向かっ

て夫について **dada-ŋ** (あなたのお父さん) とは言えるが、**dada** (お父さん) とは言えず、完全に自分と話し相手 (年少者) を一体化させることはない。

第6章 (愛称)

第6章では、愛称に関する記述を行った。まず、両言語の愛称をめぐる先行研究を紹介し、その問題点を指摘した。次に、ウズベク語母語話者 14 名を対象に、ウズベク人の名前 494 例を示し、それに対して回答者が知っている愛称形を回答してもらうという形で調査を実施し、それに基づいてウズベク語の愛称形成法について形態音韻論的観点から分析・考察を行った。なお、日本語に関しては、先行研究から得られたデータの検討にとどまった。

調査の結果、ウズベク語の愛称の作り方には、個人名の一部省略によるものと、個人名 (及びその省略形) への接辞添加によるものの二つがあることが明らかになった。また、ウズベク語の愛称を形成する接辞としては、従来指摘されていない三つの接辞が認められた。

個人名の一部省略によって形成される愛称形には、前部省略や中部省略、後部省略など、さまざまなパターンの省略がみられた。また、用例数は少ないものの、「前部+後部省略」「中部+後部省略」などのパターンも若干観察された。

個人名への接辞添加による愛称形の場合、調査で最も多く観察されたのは、先行研究などで指摘されていない接辞 **-š** (**-oš/-oś**)、**-i**、**-a** (**-ha**) であり、いずれも男性の個人名にも女性の個人名にも区別なく付けることができることが分かった。また、ロシア語由来の愛称形成接辞 **-ik**、**-ka**、**-ya** などの借用も若干観察された。なお、先行研究で取り上げられている **-jon**、**-xon**、**-oy**、**-boy** などの接辞を使った例は非常に少なかった。今回の調査の結果を踏まえて、ウズベク語の人名愛称形成接辞の使い分けは、以下の表にまとめられる。なお、接辞 **-bonu** は今回の調査では回答の中になかった。

表 79. 現代ウズベク語の人名愛称形成接辞 (=表 75)

ウズベク語の人名愛称形成接辞	
男性の個人名に付けられるもの	女性の個人名に付けられるもの
-š (-oš/-oś)、 -a (-ha)、 -i 、 -xon	
-boy 、 -jon	(-bonu)、 -oy
-ik 、 -ka	-ya

この表で示した通り、愛称形成接辞は、**-boy**、**-jon** や **-ik**、**-ka** のように男性の個人名に付けられるものと、**-oy**、**-bonu** や **-ya** のように女性の個人名に付けられるもの、また **-š** (**-oš/-oś**)、**-i**、**-a** (**-ha**) や **-xon** のように男性と女性の両方の個人名に付けられるものとに分けられることが確認できた。

今回の調査で明らかになったウズベク語の愛称形成法と、6.1.1 で安富 (2005) に基づいて整理した日本語の愛称形成法とを対照して、共通に認められたのは以下の諸点である。

- ① 省略による愛称形成がみられる。ウズベク語では、省略による愛称形成は、大きく前部省略と中部省略と後部省略に分けられるが、同様のことが日本語についても言える。
- ② 接辞添加による愛称形成がみられる。日本語では「ちゃん」「たん」「ちん」「ぺ」「すけ」などの接辞が用いられるのに対し、ウズベク語では **-š** (**-oš/-oś**)、**-i**、**-a** (**-ha**)、**-boy** などの接辞やロシ

ア語由来の愛称形成接辞-ik、-ka、-yaなどが用いられている。なお、ウズベク語の愛称形成接辞の中には、男性の個人名にだけ付けられるものと、女性の個人名にだけ付けられるものがあるが、日本語に関しては未調査である。

- ③ 日本語には「安田→やすやす」「けんじ→けんけん」のように、構成要素の反復による愛称形成法があるが、ウズベク語にも「Bobur→Boboş」「Dilafuz→Didiş」のような例が若干みられる。
- ④ ウズベク語では、「Guljamol→Guli」「Guljaxon→Guli」「Gulnoz→Guli」のように、一つの愛称形が、違う個人名の愛称形にもなりうるが、日本語でも、例えば「まさこ→まさちゃん」「まさなり→まさちゃん」「まさよし→まさちゃん」のように、同じような例がみられる（匿名の査読者の指摘による）。

一方、相違点としては、次の諸点が認められた。

- ① 日本語の愛称は姓・名（個人名）の双方から作られるが、ウズベク語の愛称は個人名からのみ作られ、「祖父名（または曾祖父名）-ov (-yev)」や「父名-ovič (-yevič)」からは作られない。
- ② 日本語には、「鈴木→すーさん」「佐々木→さーさま」のように、姓や名の第一音節を取ったもの、「てづか・みなこ→てづかみ」「くらた・まゆみ→くらたま」のように、セグメンテーションの変更によるものなど、さまざまな愛称形成法がみられるが、今回の調査の限りでは、ウズベク語にはこのような愛称形はみられない。

以上、章ごとにまとめた内容である。

7.2 本稿の意義

本論文の意義は次の諸点にあると考える。

- ・ ウズベク語の呼称に関する最初のまとまった記述研究である。
- ・ 事例調査やアンケート調査に基づいた実証的な研究である。
- ・ 記述の観点を設定する際に日本語の敬語研究の蓄積を応用した。
- ・ 従来複数二人称代名詞として扱われてきた siz が今や敬称の単数二人称代名詞としての用法が主であることを指摘した。
- ・ 二人称代名詞を親称と敬称という観点から分析し、その使い分けに応じて変化する所有人称接尾辞と動詞の人称語尾系列を見直した。
- ・ 親族呼称の使用において、年齢の長幼が重要な軸として働くことを確認できたほか、父方か母方による違い、親疎関係、視点移動の問題、接辞添加の問題などといった多くの要素が関与することが明らかになった。
- ・ 愛称研究で従来無視されていた「省略」という形成手段に注目した。
- ・ 接辞添加による愛称形成において、従来指摘されてない三つの愛称形成接辞が発見できた。
- ・ ウズベク語の呼称と日本語の呼称を対照して、大きな違いと共にわずかではあるが類似性も見いだせた。

7.3 今後の課題

本論文では、社会言語学的な立場から現代ウズベク語の人称代名詞や親族語、愛称表現などについて考察してきたが、未解決の問題点や触れられなかった事柄など、課題は数多く残されている。

以下に、筆者が気づいた問題点や残された課題について簡潔に述べる。

まず、人称代名詞の考察において、単数二人称代名詞 *sen* と *san* の使い分けについて筆者の考えを示しただけであり、十分な考察に至っていない。*sen* と *san* の使用分布について、アンケート調査やフィールドワークなど詳細な調査が必要であると思われるが、それについては今後の課題としたい。

また、今回は二人称代名詞を中心に考察を行ったため、一人称代名詞や三人称代名詞、再帰代名詞などの考察は先行研究で紹介する程度に止まっている。これらの代名詞も呼称表現と深い関連があると思われるが、それについての研究の展開は今後進めていきたいと思っている。

親族語の考察において、今回は親族間で用いられる呼称を中心に検討してきたが、非親族に対して用いられる親族語の虚構的用法については考察を行わなかった。将来的には、それに加え、職業名や役職名などさまざまな呼称表現についても今後可能な範囲で分析・考察を行っていきたいと考えている。

愛称表現の考察において、今回は人名を形成する愛称を中心に検討してきたが、普通名詞から作られる愛称表現に関しては簡単に触れたのみである。それらの表現についても研究を追求していくつもりである。

なお、本研究は実例などに基づいたウズベク語の呼称表現研究の最初の試みであり、さまざまな原因による資料の不揃いやアンケート調査の被調査者の人数の不揃いや年齢や性別などに片寄りがあるなど、不十分なところが多く、呼称表現の全容を忠実に反映したものとはまだまだ言えない。これらの問題や課題を踏まえたうえで、今後の研究のステップとし、ウズベク語の呼称表現に関する研究をさらに進め、両言語の呼称表現の体系や運用面での異同を明らかにするためにさらなる研究を行っていきたいと考えている。そして、その研究成果を日本・ウズベク両言語の言語教育や研究に生かしたいと思っている。

略語一覧

1	—	1 st person (一人称)
2	—	2 nd person (二人称)
3	—	3 rd person (三人称)
ABL	—	Ablative (奪格)
ACC	—	Accusative (対格)
AR	—	Arabic (アラビア語)
COND	—	Conditional (条件)
DAT	—	Dative (与格)
DPST	—	Distant past (完了)
GEN	—	Genitive (属格)
H	—	Honorific (敬称)
HIN	—	Hindi (ヒンディー語)
IMP	—	Imperative (命令)
JEW	—	Jewish (ヘブライ語)
LOC	—	Locative (位格)
NEG	—	Negative (否定)
NPST	—	Non-past (非過去)
PER	—	Persian (ペルシア語)
PL	—	Plural (複数)
POSS	—	Possessive (所有)
PROG	—	Progressive (進行)
PRT	—	Particle (不変化詞)
PST	—	Past (過去)
Q	—	Question (疑問)
SG	—	Singular (単数)
UZB	—	Uzbek (ウズベク語)
VOL	—	Volitional (意志形)

初出一覧

本研究の背景をなす論文の初出は、下記の通りである。但し、本研究の執筆にあたり、内容を大幅に修正している。

論文

- ハルナザロフ・マムルジョン (2011) 「ウズベク語の二人称代名詞 **sen** と **siz** の使い分けについて」
ウズベキスタン・日本学生学術フォーラム 2011. 筑波大学研究発表報告書. pp.26-34
-
- (2015) 「ウズベク語の愛称形成について：日本語との対照的観点から」言語・地域文化研究. 21 pp.41-60 東京外国語大学大学院総合国際学研究科
-
- (2017) 「ウズベク語の親族内における呼称：タシケント州のチナズ方言を中心に」言語・地域文化研究. 23 pp.33-53 東京外国語大学大学院総合国際学研究科

研究ノート

- ハルナザロフ・マムルジョン (2017) 「親族内における呼称について：日本語との対照的観点から」
日本語・日本学研究. 7 pp.97-108 東京外国語大学国際日本研究センター

参考文献

本研究で使用した参考文献及び言語資料は、下記の通りである。なお、作品によって刊行年次や出版社がわからないものがある。

日本語の文献

- 荒木達郎 (2003) 「日本語における人称代名詞の用法：自分の親を「あなた」と呼ぶことはできるのか」 *L & C : journal, comparative studies of language and culture*. 創刊号 pp.175-186 四国学院大学
- 安藤貞雄 (1986) 『英語の論理・日本語の論理：対照言語学的研究』 東京：大修館書店
- 池上秋彦 (1972) 「代名詞の変遷」 鈴木一彦・林巨樹編『品詞別日本文法講座 2 名詞・代名詞』 pp.123-162 東京：明治書院
- 井島正博 (2014) 「代名詞」 日本語文法学会編『日本語文法辞典』 pp.388-389 東京：大修館書店
- 井出祥子 (1982) 「待遇表現と男女差の比較」 国広哲弥編『日英語比較講座第 5 巻 文化と社会』 pp.111-148 東京：大修館書店
- 今村洋美 (1996) 「呼びかけ表現」 田中春美・田中幸子編『社会言語学への招待』 pp.113-124 京都：ミネルヴァ書房
- 林炫情 (2001) 「日本語と韓国語における呼称の対照研究序論」 広島大学大学院国際協力研究誌. 7 (1) pp.107-121
- (2003) 「非親族への呼称使用に関する日韓対照研究」 *社会言語科学*. 5 (2) pp.20-32 社会言語科学会
- 江湖山恒明 (1955) 「人称代名詞」 国語学会『国語学辞典』 pp.732-733 東京：東京堂出版
- 王冰菁 (2008) 「会話文における対称詞の使用についての日中対照考察」 千葉大学人文社会科学研究. 16 pp.223-239
- 大石初太郎 (1975) 『敬語』 東京：筑摩書房
- 大川博・Aliqulov, Z.・Kahramanog'li, K. (2000) 『日本語・ウズベク語・カザフ語・トルコ語における親族名称』 *Samarqand : Zarafshon*
- 加藤ミサオ (1963) 「なかよし友だちの呼び名：小学校高学年の場合」 *言語生活*. 138 pp.83-87 筑摩書房
- 金井勇人 (2002) 「失礼さという観点から見た二人称指示の体系」 早稲田大学大学院文学研究科紀要. 48 pp.83-91
- 金丸英美 (1993) 「人称代名詞・呼称」 *日本語学*. 12 (5) pp.109-117 明治書院
- 金子孝吉 (2000) 「言語の複数表現の多様性と対象認識について：文化システムの研究 (2)」 彦根論叢. 325 pp.99-120 滋賀大学
- 金子尚一 (1987) 「名詞と代名詞のはざま—単語、ウチなどによる所属さきの表現体系」 *国文学：解釈と鑑賞*. 52 (2) pp.80-94 至文堂
- カノックポーン・ケンチャック (1989) 「タイ語と日本語の人物呼称の用法に関する対照的研究」 待兼山論叢. 日本学篇. 23 pp.61-78 大阪大学

- 亀井孝・河野六郎・千野栄一編 (1988)『言語学大辞典 第1巻 世界言語編 (上)』東京：三省堂
- (1989)『言語学大辞典 第2巻 世界言語編 (中)』東京：三省堂
- (1996)『言語学大辞典 第6巻 術語編』東京：三省堂
- 川端香男里 (1986)「呼び名がかわるとき：西欧諸語の対称詞にみる親愛表現」言語生活. 416 pp. 40-43 筑摩書房
- 菊澤季生 (1936)『新興国語学序説』東京：文学社
- 菊地康人 (1997)『敬語』東京：講談社
- 北山環 (2013)「呼称に見る文化的「建前」の検証：アメリカと日本のビジネス場面を分析して」商経学叢. 169 pp.167-191 近畿大学商経学会
- 金文京 (1989)「人称代名詞の転位について」慶応義塾大学言語文化研究所紀要. 21 pp.51-74
- 金水敏 (1989)「代名詞と人称」北原保雄編『講座日本語と日本語教育 第4巻 日本語の文法・文体 (上)』pp.98-116 東京：明治書院
- 国広哲弥 (1990)「呼称の諸問題」日本語学. 9 (9) pp.4-7 明治書院
- 国立国語研究所 (1982)『企業の中の敬語』73 東京：三省堂
- (2000)『言葉に関する問答集：言葉の使い分け』新「ことば」シリーズ 12. 東京：大蔵省印刷局
- 斎藤紀代子 (1999)「二人称代名詞と敬意表現」梅花女子大学文学部紀要. 比較文化編. 33 pp.1-12
- 佐竹秀雄 (1999)「複数を示す「ら」」日本語学. 18 (14) pp.19-22 明治書院
- 芝元一 (1974)「現代語の人称代名詞について」計量国語学. 70 pp.29-38 計量国語学会
- 柴田武 (1968)「語彙体系としての親族名称：トルコ語・朝鮮語・日本語」アジア・アフリカ言語文化研究. 1 pp.1-19 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 下谷麻記 (2012)「自然談話における二人称代名詞「あなた」についての一考察：認識的優位性 (Epistemic Primacy)を踏まえて」関西外国語大学留学生別科日本語教育論集. 22 pp.63-96
- 下中弥三郎編 (1988)『世界大百科事典 第30巻』東京：平凡社
- 庄垣内正弘 (1988a)「ウズベク語」亀井孝・河野六郎・千野栄一編『言語学大辞典 第1巻 世界言語編 (上)』pp.829-833 東京：三省堂
- (1988b)「カザフ語」亀井孝・河野六郎・千野栄一編『言語学大辞典 第1巻 世界言語編 (上)』pp.1147-1151 東京：三省堂
- (1988c)「キルギス語」亀井孝・河野六郎・千野栄一編『言語学大辞典 第1巻 世界言語編 (上)』pp.1416-1422 東京：三省堂
- 鄭惠先 (2001)「複数を表す「たち」と「ら」の使用における選択条件：シナリオの分析結果を中心として」社会言語学. 4 (1) pp.58-67 社会言語科学会
- (2005)「日本語と韓国語の複数形接尾辞の使用範囲：文学作品と意識調査の分析結果から」日本語科学. 17 pp.27-46 国書刊行会
- 薛鳴 (2000)「親族名称に見られる関係表示：日本語と中国語の比較から」社会言語科学. 2 (2) pp. 43-57 日本社会言語科学会
- 杉戸清樹 (1989)「現代日本語 待遇表現」亀井孝・河野六郎・千野栄一編『言語学大辞典 第2巻 世界言語編 (中)』pp.1741-1750 東京：三省堂
- 鈴木孝夫 (1967)「トルコ語の親族用語に関する二、三の覚え書」言語研究. 51 pp.1-15 日本言語学会

- (1970)「親族名称による英語の自己表現と呼称」慶應義塾大学言語文化研究所紀要. 1 pp. 147-175
- (1973)『ことばと文化』東京：岩波書店
- (1976)「自称詞としての「ひと」」慶應義塾大学言語文化研究所紀要. 8 pp.43-58
- (1979)「「呼称選択行動の方法論的考察」について」慶應義塾大学言語文化研究所紀要. 11 pp.165-175
- (1982)「自称詞と対称詞の比較」国広哲弥編『日英語比較講座 第5巻 文化と社会』pp. 19-59 東京：大修館書店
- (1998)「テクノニミー (teknonymy) という概念について」『言語文化学ノート』 pp.190-207 東京：大修館書店
- セペフリバディ・アザム (2012)「現代日本語における家族に呼びかける際の呼称表現：世代差と性差を中心に」一橋大学日本語教育研究. 1 pp.57-72
- 宋善花 (2007)「日本語、朝鮮語、中国語の親族内の人称詞に関する対照研究」東北大学高等教育開発推進センター紀要. 2 pp.113-121
- 田窪行則 (1997)「日本語の人称表現」田窪行則編『視点と言語行動』pp.13-44 東京：くろしお出版
- 竹内直也 (2003)「現代日本語における対称代名詞の特異性：人称詞の観点から」学習院大学国語国文学会誌. 46 pp.1-12
- 田中章夫 (1980)「代名詞」国語学会『国語学大辞典』pp.580-581 東京：東京堂出版
- 谷泰 (1974a)「日本語における親族名称の構造分析」季刊人類学. 5 (2) pp.3-36 京都大学人類学研究会
- (1974b)「呼称研究の視野：イタリア語と日本語との比較を材料に」梅棹忠夫編『人類学のすすめ』東京：筑摩書房
- (1978)「対人関係分析に関する覚え書」加藤泰安編『社会文化人類学：今西錦司博士古稀記念論文集』pp.105-121 東京：中央公論社
- 千野栄一 (1974)「スラブ語の敬語」林四郎・南不二男編『敬語講座 第8巻 世界の敬語』pp.221-233 東京：明治書院
- 張佩霞 (1996)「中国語、日本語における人称代名詞の使用とそこに窺われる文化の違い」語文論叢 23. pp.1-19 千葉大学
- 陳露 (2001)「現代日中両言語における親族呼称の対照研究」千葉大学社会文化科学研究. 5 pp. 21-31
- 辻村敏樹 (1968)「貴様の変遷」『敬語の史的研究』pp.175-208 東京：東京堂出版
- 陶琳 (2015)「日本語、中国語、英語における呼称の対照研究」言語文化論叢. 19 pp.59-84 金沢大学外国語教育センター
- 中嶋義輝 (2015)『簡明ウズベク語文法』大阪：大阪大学出版会
- 永田高志 (2015)『対称詞体系の歴史的研究』大阪：和泉書店
- 仁田義雄 (2014)「人称」日本語文法学会編『日本語文法辞典』pp.470-471 東京：大修館書店
- 日本国語大辞典第二版編集委員会 (2001)『日本国語大辞典 第二版 第十巻』東京：小学館
- 野元菊雄 (1978)「日本語の性と数」言語. 7 (6) pp.14-19 大修館書店

- 橋本修 (2014) 「人称代名詞」佐藤武義・前田富祺編『日本語大辞典 (下)』pp.1612-1613 東京：朝倉書店
- 林巨樹 (1973) 「家庭と敬語」林四郎・南不二男編『敬語講座⑥ 現代の敬語』pp.153-180 東京：明治書院
- 林四郎・南不二男編 (1974a) 『敬語講座① 敬語の体系』東京：明治書院
- 林四郎・南不二男編 (1974b) 『敬語講座⑧ 世界の敬語』東京：明治書院
- 林徹 (1989) 「タタール語」亀井孝・河野六郎・千野栄一編『言語学大辞典 第2巻 世界言語編 (中)』pp.620-626 東京：三省堂
- ハルナザロフ・マムルジョン (2011) 「ウズベク語の二人称代名詞 *sen* と *siz* の使い分けについて」ウズベキスタン・日本学生学術フォーラム 2011. 筑波大学研究発表報告書. pp.26-34
- (2015) 「ウズベク語の愛称形成について：日本語との対照的観点から」言語・地域文化研究. 21 pp.41-60 東京外国語大学大学院総合国際学研究科
- (2017) 「ウズベク語の親族内における呼称：タシケント州のチナズ方言を中心に」言語・地域文化研究. 23 pp.33-53 東京外国語大学大学院総合国際学研究科
- (2017) 「親族内における呼称について：日本語との対照的観点から」日本語・日本学研究. 7 pp.97-108 東京外国語大学国際日本研究センター
- パン, F. C. (1982) 「呼称の社会学—日米の比較」国広哲弥『日英語比較講座 第5巻 文化と社会』東京：大修館書店
- 廣田典夫 (1998) 「人称代名詞：英語と日本語」文化論集. 12 pp.1-20 早稲田商学同攻會
- 付敏 (2007) 「日中両言語における人称代名詞の対照研究」古代文化とその諸相. 15 pp.121-136 奈良女子大学
- 藤井洋子 (2011) 「日本語の親族呼称・人称詞に見る自己と他者の位置づけ：相互行為の「場」における文化的自己観の考察」日本女子大学紀要. 60 pp.86-73
- 文化庁 (1971) 『外国人のための基本語用例辞典』東京：大蔵省印刷局
- 牧田稔 (1961) 「愛称の効果」言語生活. 119 pp.16-22 筑摩書房
- 南不二男 (1974) 『現代日本語の構造』東京：大修館書店
- 南不二男・林大・林四郎・芳賀綏 (1974) 「敬語の体系」林四郎・南不二男編『敬語講座 第1巻 敬語の体系』東京：明治書院
- 宮地裕・松本昭 (1963) 「家庭での言語生活の実情」言語生活. 143 pp.20-28 東京：筑摩書房
- 三輪正 (2000) 『人称詞と敬語』京都：人文書院
- 森岡健二・山口仲美 (1985) 『命名の言語学——ネーミングの諸相』東京：東海大学出版会
- 安富雄平 (2005) 「日本語とスペイン語の人名愛称—愛称形成の日西対照」拓殖大学語学研究. 110 pp.55-89
- 柳父章 (1982) 『翻訳語成立事情』東京：岩波書店
- 山口仲美 (1985) 「名づけの楽しみ——あだ名」森岡健二・山口仲美『命名の言語学——ネーミングの諸相』pp.159-203 東京：東海大学出版会
- 山田孝雄 (1913a) 『奈良朝文法史』東京：宝文館
- (1913b) 『平安朝文法史』東京：宝文館
- (1936) 『日本文法学概論』東京：宝文館
- 油井恵 (2007) 「日本語および英語における対称詞の機能：ポライトネスとの関連性」駿河台大学論

叢. 33 pp.19-30

- 吉田裕久 (1990) 「学校における先生・子供の呼称」 日本語学. 9 (9) pp.25-31 明治書院
- 吉村大樹 (2009) 「ウズベク語の疑問接語 *mi* の文法的振る舞いについて : Word Grammar による分析」 大阪大学世界言語研究センター論集. 1 pp.155-183
- 米田正人 (1986) 「夫婦の呼び方」 言語生活. 7 pp.18-21 筑摩書房
- (1990) 「ある社会組織の中の呼称 : 夫婦の呼び方と職場での呼びかけについて」 日本語学. 9 (9) pp.19-24 明治書院
- 盧万才 (2009) 「日本語と中国語の待遇的機能」 ポリグロシア. 17 pp.85-94 立命館アジア太平洋大学立命館アジア太平洋研究センター
- 和久井生一 (1977) 「日本語研究—「あなた」についての一考察」 拓殖大学論集. 109 pp.221-246 拓殖大学研究所
- (1977) 「日本語研究—「君」(きみ)についての一考察」 海外事情研究所報告. 13 pp.68-72
- 渡辺友左 (1963) 「家族の呼びかた」 言語生活. 143 pp.42-49 東京 : 筑摩書房
- (1978) 「親族語彙の全国概観」 柴田武編『日本方言の語彙』 pp.27-42 東京 : 三省堂

ウズベク語の文献

- Abidova, Sh. 2000. O'zbek tilida hurmat ma'nosining ifodalanishi. *O'zbek tili va adabiyoti*. 2000(3) pp.28-30 Toshkent: Fan (日本語訳 : 「ウズベク語における敬意表現」)
- Ahmedova, N. 2008. *O'zbek tilida murojaat birliklarining semantic konnotativ tadqiqi*. Ph.D. Toshkent: Alisher Navoiy nomidagi Til va Adabiyot Instituti (日本語訳 : 「ウズベク語における発話単位の意味論的研究」)
- Asqarova, M. & Yunusov, R. & Yo'ldoshev, M. & Muhamedova, D. 2006. *O'zbek Tili Praktikum*. Toshkent: Iqtisod-Moliya (日本語訳 : 「ウズベク語実習」)
- Gulom, A., Kamol, F. eds. 1941. *SSSR Fanlar Akademiyasi O'zbekiston Filialining Asarlari. II. Filologiya. 2 kitob. O'zbek Tilining Ilmiy Grammatikasi Uchun Materiallar*. Toshkent: O'zFAN. (日本語訳 : 「旧ソ連科学アカデミーウズベキスタン支部論文集Ⅱ. 言語学. 第2巻. ウズベク語文法研究のための資料」)
- G'ulomov, A. & Tixonov, A. N. & Qo'ng'urov, R. 1977. *O'zbek tili morfem lug'ati*. Toshkent: O'qituvchi (日本語訳 : 「ウズベク語形態素解析辞書」)
- Hamroyev, M. A. 2004. *O'zbek tilidan ma'ruzalar majmuasi*. Toshkent: Virtec TimesUZ (日本語訳 : 「ウズベク語講座」)
- Hojiyeva, H. Ya. 2001. *O'zbek tilida hurmat maydoni va uning lisoniy-nutqiy xususiyati*. Ph.D. Samarqand: AKD (日本語訳 : 「ウズベク語における敬語領域とその言語的・対話的特徴」)
- Isayeva, M. 2014. Qarindoshlik asosidagi shaxs nomlarining gender xususiyatlari. *Lingvist*. 5 pp.136-142 Toshkent: Akademnashr (日本語訳 : 「親族語におけるジェンダー指標をめぐって」)
- Ishayev, A. 1984. Ot. in: Shoabdurahmonov, Sh. Sh. ed. *O'zbek xalq shevalari morfologiyasi*. Toshkent: Fan (日本語訳 : 「ウズベク語諸方言の形態論. 名詞編」)
- Iskandarova, Sh. 1993. *O'zbek nutq odatining muloqot shakllari*. Ph.D. Samarqand: Alisher

- Navoiy nomidagi Samarqand Davlat Universiteti (日本語訳:「ウズベク語の談話における発話行為とその諸相」)
- Kamol, S. 1993. *O'zbekcha Ismlar*. Toshkent.
(Url: <http://rustam-hafiz.webstolica.ru/novosti/arhiv-novostej/ozbekcha-ismlar>) (日本語訳:「ウズベク人の名前」)
- Madvaliev, A. ed. 2008. *O'zbek tilining izohli lug'ati. A-Z*. Toshkent: O'zbekiston milliy ensiklopediyasi (日本語訳:「ウズベク語詳解辞典」)
- Ma'ruf, Z. 1941. O'zbek adabiy tilida ot yasovchi suffikslar. in: Gulom, A. and Kamol, F. eds. *SSSR Fanlar Akademiyasi O'zbekiston Filialining Asarlari. II. Filologiya. 2 kitob. O'zbek Tilining Ilmiy Grammatikasi Uchun Materiallar*. Toshkent: O'zFAN (日本語訳:「標準ウズベク語における名詞形成接辞」)
- Ma'ruf, Z. M. ed. 1981a. *O'zbek tilining izohli lug'ati. A-P*. Moskva: Rus tili (日本語訳:「ウズベク語詳解辞典」)
- . ed. 1981b. *O'zbek tilining izohli lug'ati. C-X*. Moskva: Rus tili (日本語訳:「ウズベク語詳解辞典」)
- Rahmatullayev, Sh. 2000. *O'zbek tilining etimologik lug'ati. 1-jild*. Toshkent: Universitet (日本語訳:「ウズベク語語源辞典」)
- . 2006. *Hozirgi adabiy o'zbek tili*. Toshkent: Universitet (日本語訳:「現代標準ウズベク語」)
- Reshetov, V. & Shoabdurahmonov, Sh. 1978. *O'zbek dialektologiyasi*. Toshkent: O'qituvchi (日本語訳:「ウズベク語方言学」)
- Saidova, M. 1993. Qarindoshlik atamaları tarihiga doir. *O'zbek tili va adabiyoti. 1993(3)* pp.78-81 Toshkent: Fan (日本語訳:「親族語の歴史をめぐって」)
- . 2001. Singil termini haqida. *O'zbek tili va adabiyoti. 2001(5)* pp.75-78 Toshkent: Fan (日本語訳:「親族語「singil (妹)」についての一考察」)
- Sapayev, Q. 2009. *Hozirgi o'zbek tili. Morfemika, so'z yasalishi va morfologiya*. Toshkent: Nizomiy Nomidagi Toshkent Davlat Pedagogika Universiteti (日本語訳:「現代ウズベク語。形態素、語形成と形態論」)
- Sodiqov, T. 1984. Olmosh. in: Shoabdurahmonov, Sh. Sh. ed. *O'zbek xalq shevalari morfologiyasi*. Toshkent: Fan (日本語訳:「ウズベク語諸方言の形態論。代名詞」)
- Sodiqova, M. 1989. *Qisqacha o'zbekcha-ruscha frazeologik lug'at*. Toshkent: O'zbek Sovet Ensiklopediyasi Bosh Redaksiyasi (日本語訳:「簡明ウズベク語・ロシア語慣用句辞典」)
- Tursunov, U. et al. 1992. *Hozirgi o'zbek adabiy tili*. Toshkent: O'zbekiston (日本語訳:「現代標準ウズベク語」)
- Xudoyberganov, R. 2008. *O'zbek antroponimiyasi tizimining variantdorligi*. Ph.D. Toshkent: Alisher Navoiy nomidagi Til va Adabiyot Instituti (日本語訳:「ウズベク語の人名学と人名システムの多様性」)
- Yodgorova, S. 2014. So'zlovchining o'zi haqidagi nutqida kamtarlik akti. *Lingvist. 5* pp.73-75 Toshkent: Akademiashr (日本語訳:「自分について話す際の謙遜表現をめぐって」)
- Zikrillayev, G'. 1990. *Fe'lining shaxs, son va hurmat kategoriyalari systemasi*. Toshkent: Fan (日

本語訳：「動詞における人称・数及び敬語カテゴリーの体系」)

英語の文献

- Bodrogligeti, Andras J.E. 2001. *A Grammar of Chagatay*. Munchen: LINCOM EUROPA
- Braun, F. 1988. *Terms of Address: Problems of patterns and usage in various languages and cultures*. Berlin: Mouton de Gruyter
- Brown, R. & Ford, M. 1964. Address in American English. In: D. Hymes. ed. *Language in Culture and Society: A Reader in linguistics and Anthropology*. New York: Harper & Row Publishers
- Brown, R. & Gilman, A. 1960. The Pronouns of Power and Solidarity. In: Sebeok, T. A. ed. *Style in Language*. Cambridge: MIT Press
- Nevskaya, I. & Tazhibayeva, S. 2017. Kazakh hypocorisms in a comparative perspective. *Turkic Languages*. 21(2) pp.234-258 Wiesbaden: Otto Harrassowitz GmbH & Co. KG

ロシア語の文献

- Боровков, А. К. 1953. Вопросы классификации узбекских говоров. *Известия Академии наук Узбекской ССР*. 5 Ташкент: Фан (日本語訳：「ウズベク語諸方言の分類問題について」)
- Поливанов, Е. Д. 1933. *Узбекская диалектология и узбекский литературный язык*. Ташкент: Узгосиздат (日本語訳：「ウズベク語方言学と標準ウズベク語」)
- Тенишев, Э. Р. отв.ред. 2001. *Сравнительно-историческая грамматика тюркских языков. Лексика*. Москва: Наука (日本語訳：「チュルク諸言語の比較・歴史文法。語彙論」)
- Юдахин, К. К. 1939. Узбекский язык. *Литературная энциклопедия*. XI. Москва: Художественная литература (日本語訳：「ウズベク語」)

用例出典

小説

- Abbosxon, N. 2010. *Sho'rqishloq. Sharq yulduzi. 2.* Toshkent: Sharq
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Nurillo%20Abbosxon.%20Sho'rqishloq%20\(roman\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Nurillo%20Abbosxon.%20Sho'rqishloq%20(roman).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳:「シヨルキシユロック」)
- A'zam, A. 2010. *O'zi uylanmagan sovchi.* Toshkent: Yangi asr avlodi
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Ahmad%20A'zam.%20O'zi%20uyanmagan%20sovchi%20\(roman\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Ahmad%20A'zam.%20O'zi%20uyanmagan%20sovchi%20(roman).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳:「自分が結婚していない仲人」)
- A'zam, E. 2007. *Jannat o'zi qaydadir.* Toshkent: Sharq
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Erkin%20A'zam.%20Jannat%20o'zi%20qaydadir%20\(hikoya,%20qissa,%20iqralar\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Erkin%20A'zam.%20Jannat%20o'zi%20qaydadir%20(hikoya,%20qissa,%20iqralar).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳:「天国は一体どこだろう」)
- Eshonqul, N. 2001. *Maymun yetaklagan odam.* Toshkent: Yangi asr avlodi
(pdf_Url:http://www.ziyouz.com/index.php?option=com_remository&Itemid=57&func=fileinfo&id=17) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳:「猿を連れた人」)
- Hoshimov, O'. 1982. *Dunyoning ishlari.* Toshkent: Sharq
(pdf_Url:<http://tiim.uz/wp-content/uploads/2016/03/Dunyoning-ishlari.pdf>) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳:「この世の出来事」)
- . 2002. *Hikoyalar.* Toshkent: Adabiyot va san'at
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/O'tkir%20Hoshimov.%20O'zbeklar%20\(hikoyalar\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/O'tkir%20Hoshimov.%20O'zbeklar%20(hikoyalar).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳:「物語集」)
- . 2005. *Bahor qaytmaydi.* Toshkent: Sharq
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/O'tkir%20Hoshimov.%20Bahor%20qaytmaydi%20\(qissa\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/O'tkir%20Hoshimov.%20Bahor%20qaytmaydi%20(qissa).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳:「春は戻らぬ」)
- . 2013. *Sevgi qissalari.* Toshkent: O'zbekiston
(pdf_Url:http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/O'tkir%20Hoshimov.%20Sevgi%20qissalari.pdf) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳:「恋愛小説集」)
- Muqimov, A. 1999. *Erinsangiz, kulmang.* Toshkent: Sharq (日本語訳:「面倒なら笑わないで下さい」)
- Namozov, A. 2012. Bo'lim boshlig'i. *O'zbekiston adabiyoti va san'ati. 30.* Toshkent: 出版社不詳
(web_Url:<http://n.ziyouz.com/uzbek-nasri/anvar-namozov-1970/anvar-namozov-bo-lim-boshlig-i-hajviya>) (最終検索日: 2017.08.07) (日本語訳:「部長」)
- Otauli. 1994. Tilsim. *Sharq yulduzi. 11-12.* Toshkent: Sharq (日本語訳:「不思議」)
- O'nar, S. 2010. Bibisora. *Sharq yulduzi. 2.* Toshkent: Sharq
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Sobir%20O'nar.%20Bibisora%20\(qissa\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Sobir%20O'nar.%20Bibisora%20(qissa).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳:「ビビソラ」)

- Qodiriy, A. 1926. *O'tkan kunlar*. 出版社不詳
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Abdulla%20Qodiriy.%20O'tkan%20kunlar%20\(roman\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Abdulla%20Qodiriy.%20O'tkan%20kunlar%20(roman).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「過ぎ去った日々」)
- Qodirov, P. 1988. *Yulduzli tunlar*. Toshkent: O'zbekiston
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Pirimqul%20Qodirov.%20Yulduzli%20tunar%20\(roman\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Pirimqul%20Qodirov.%20Yulduzli%20tunar%20(roman).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「星夜」)
- Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar. 2-jild*. Toshkent: Sharq
(pdf_Url:http://www.ziyouz.com/index.php?option=com_remository&Itemid=57&func=fileinfo&id=1454) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「選集. 第2巻」)
- Shuhrat. 1967. *Oltin Zanglamas*. Toshkent: G'afur G'ulom (本稿では1995年版を使用した)
(日本語訳: 「金は錆びぬ」)
- Tog'ay Murod. 1980. *Oydinda yurgan odamlar*. 出版社不詳
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Tog'ay%20Murod.%20Oydinda%20yurgan%20odamlar%20\(qissa\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Tog'ay%20Murod.%20Oydinda%20yurgan%20odamlar%20(qissa).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「月光の元で歩む人々」)
- . 2001. *Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi*. Toshkent: Sharq
(pdf_Url:http://www.ziyouz.com/index.php?option=com_remository&Itemid=57&func=fileinfo&id=5) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「この世で死に切れぬ」)
- Tohir Malik. 1994. *Shaytanat. 1-kitob*. Toshkent: Sharq
(pdf_Url:http://www.ziyouz.com/index.php?option=com_remository&Itemid=57&func=fileinfo&id=20) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「シャイタナット. 第1巻」)
- . 1996a. *Shaytanat. 2-kitob*. Toshkent: Sharq
(pdf_Url:http://www.ziyouz.com/index.php?option=com_remository&Itemid=57&func=fileinfo&id=21) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「シャイタナット. 第2巻」)
- . 1996b. *Shaytanat. 3-kitob*. Toshkent: Sharq
(pdf_Url:http://www.ziyouz.com/index.php?option=com_remository&Itemid=57&func=fileinfo&id=22) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「シャイタナット. 第3巻」)
- . 2001. *Shaytanat. 4-kitob*. Toshkent: Sharq
(pdf_Url:http://www.ziyouz.com/index.php?option=com_remository&Itemid=57&func=fileinfo&id=23) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「シャイタナット. 第4巻」)
- To'xtaboyev, X. 1975. *Besh bolali yigitcha*. Toshkent: Yosh Gvardiya (日本語訳: 「五人の子供を持つ青年」)
- . 2010. *Jannati odamlar*. Toshkent: Yangi asr avlodi
(pdf_Url:[http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Xudoyberdi%20To'xtaboyev.%20Jannati%20Odamlar%20\(roman\).pdf](http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Xudoyberdi%20To'xtaboyev.%20Jannati%20Odamlar%20(roman).pdf)) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「天国に行ける人々」)
- Umarbekov, O'. 2002. *Saylanma. 1-jild*. Toshkent: Sharq
(pdf_Url:http://www.ziyouz.com/index.php?option=com_remository&Itemid=57&func=fileinfo&id=275) (最終検索日: 2017.07.16) (日本語訳: 「選集. 第1巻」)
- Vafo, S. 刊行年不詳. *Arg'imchoq*. Web 小説
(web_Url:http://www.ziyouz.com/index.php?option=com_content&task=view&id=1926&Itemid=210) (最終検索日: 2017.07.16) (日本語訳: 「ブランコ」)

Xolmirzayev, Sh. 2005. *Saylanma. 2-jild*. Toshkent: Sharq

(pdf_Url:http://n.ziyouz.com/books/uzbek_nasri/Shukur%20Xolmirzayev.%20Saylanma.%202-jild.%20Hikoyalar.pdf) (最終検索日: 2017.06.25) (日本語訳: 「選集。第2巻」)

映画

Sa'diyev, R. 2005. *Kelgindi Kuyov*. O'zbekkino Milliy Agentligi. 109 min. (日本語訳: 「よそ者の婿」)

Sa'diyev, R. 2012. *O'gay Ona*. Davr Premyer. 105 min. (日本語訳: 「育ての母」)

Sharopov, B. 2013. *Mug'ombir Kuyovlar*. NavoMedia Studiyasi. 80 min. (日本語訳: 「ずるい婿たち」)

Shodmonov, J. 2012. *Payshanbadan Payshanbagacha*. Art Creator Studio. 98 min. (日本語訳: 「木曜日から木曜日まで」)

Ubbosxon, S. 2008. *Yangi Boy*. DAVR-S Kinostudiyasi. 80 min. (日本語訳: 「新しい大金持ち」)

インターネット

<http://rustam-hafiz.webstolica.ru/>

<http://tiim.uz/>

<https://www.foods-ch.com/>

<http://www.ziyouz.com/>

資料

資料 1. 二人称代名詞 **siz** の単数敬称用法に関する調査 (表 11.を参照)

Eşonqul, N. 2001. Maymun yetaklagan odam.

- 1) **Siz** bunday əvəra bolib yurman, - dedi u. (p.3)
- 2) Agar oğlınız bolganida men **siz**ga jən-jən deb kelin bolardım, - dedi qizlardan şaddədrəgi Bayna məmənin ečki səgişidan zavqi kelib. (p.5)
- 3) Xoş, - dedi u menin idiş-təvəqni yığıştira bəşlaganimni korib, suratlar **siz**ga yəqdimi? (p.10)
- 4) ...albatta, buğa **siz** emas, ozimiz aybdərmiz. (p.10)
- 5) **Siz** bilan tərтіşməqçi emasman, faqat bitta misəl keltirməqçiman. (p.10)
- 6) ...**siz** ezgulik deb siğıngan narsalar asli razəlat ekanini anglab qəlsəngiz bunday deməsdingiz (p.11)
- 7) **Siz** esa boşliqni toldiriş va aravaga nimadir yuklaş üçün har qanday yəvuzlikdan ham qaytmasdingiz. (p.11)
- 8) Asli **siz**ga kasbdəş. (p.34)
- 9) Ey, Mikilanjelo turin, professor **siz**ga mana bu narsani berib yubərdi. (p.37)
- 10) - Qiziq, men heç kormagan ekanman-da, **siz**ni.
- Men ham, - dedi ayəl. (p.56)
- 11) - **Siz** qayerdan bilasiz? - deya soradi ayəl ham endi senga əjablanib tikilib...
- Axir men şu uyda yəşasam, qanday bilmasligim mumkin? (p.57)
- 12) Ana u esa əta-ənamnin surati, - dedi ayəl, - darvəqe, buni **siz** bilasiz, şəkilli? (p.58)
- 13) Ha, **siz**ni... **siz**ni, ətasini oldirgan, padarkuşlik qilgan deyişyapti... (p.66)
- 14) Ha, aytganday, bu yigitnin hikəyasini oqigan edingiz, **siz**ga juda yəqqandi. (p.71)

合計 15 例

Hoshimov, O'. 2002. Hikoyalar.

- 1) **Siz** qayerda oqiypsiz, Xəlida? (p.1)
- 2) Keçirasiz... **Siz**nin içki işlaringizga aralaşa əlməyman. (p.2)
- 3) Man... **siz**ga xalaqit berməymanmi? (p.2)
- 4) Erkin aka, **siz** meni ədəbsiz qiz deb oylayapsizmi? (p.3)
- 5) Rəst-da... Ozimdan-ozim **siz**ga... (p.3)
- 6) Faqat, faqat **siz** meni haydamasəngiz boldi... (p.3)

- 7) Xolida, axir nega unday deysiz? Axir men sizni... sizni... Xayolimni yolgiz siz olib qoydingiz-ku, axir! (p.3)
- 8) Sizdan nimani ham yaširay? (p.3)
- 9) Unda... unda sizni suratingiz bər edi, Xolida! (p.3)
- 10) Erkin aka, sizga ham bilek oldim. (p.5)
- 11) Sizga aytadigan gapim bitta - baxtli bolu. (p.6)
- 12) Birpasda sizni ham, romolimni ham yoqotib qoyibman... (p.6)
- 13) Siz meni... Ošanaqa... yəməni xətin deb oylayapsizmi? (p.7)
- 14) Lekin men oz nəmusimni heç nimaga, sizni muhabbatuizga ham ališmayman... (p.7)
- 15) Siz meni... meni xiyənatçi, bevafo deb oylaysizmi? (p.7)
- 16) Oša kini siz uyga kelgan ekansiz. Akam sizni xafa qilib yubəribdi. Siz bir gap bilan arazlab ketdingiz. Men sizga išənardim... Ozimğa išəngəndek išənardim. Siz bolsəngiz... (p.7)
- 17) Faqat, sizdan bir iltimə... Endigi muhabbatuizni - bəšqalarga nasib boladigan muhabbatuizni ehtiyət qiliu... (p.7)
- 18) Erkin aka, ešingizda bolsin. Men bari bir sizni yaxši koraman. (p.7)
- 19) Xolida! Jənginam. Qərakozim. Siz... Siz... (p.8)
- 20) Siz keçələri smənda bolsəngiz. Men uça joja bilan jənimni həvuçlab otirgənim yetməydimi?! (p.10)
- 21) Siz səvunni nima qilasiz, kəlinpəšša, oziiziz əydaysiz. (p.15)
- 22) Toyana sizdan aylənsin! (p.15)
- 23) Sizga əgiz səlayətgənlər tag-zəti korgan ədəmlər... (p.18)
- 24) Soramasam ham bolardi-ku, siz ozimiznikisiz, ukam. (p.18)
- 25) Əyiziz sizga yəngi xətin izləb yurgənmış. (p.20)
- 26) Uyat nima qiladi mənda, hammasini yigıştirib sizga bergəni. (p.21)
- 27) Siz təsləb ketgəni ekansiz. (p.22)
- 28) Sizdek mətəbar ədəmni əldida... (p.24)
- 29) Siz! - dedi mənə qolini bigiz qilib. - Direktorgə! (p.30)

合計 36 例

O'nar, S. 2010. Bibisora.

- 1) - Ma, yana yaxshi oqi, bizlar ədəm bolmadik, uka.
- Sizga xəti bər, aka, - dedim. (p.3)
- 2) Ey, quda,... sizga oxşab təqqa çiqmasak ham şu yərnin əvi yetadi bizga. (p.4)
- 3) Ozi sizdiki nima predmet? (p.16)
- 4) Unisini bilmədik, direktor bəbə. Mana, se'r yəzišniyam sizdan ešitdik. (p.16)
- 5) İltimə, ozimni bəhəimni qoyiiz, sizga oxşab fizkulturaçi bolməqçi eməsmən! (p.17)

Said Ahmad. 2000. Tanlangan asarlar. 2-jild.

- 1) **Siz** ketaveriņ, čəyimizga pašša tušdi. (p.3)
- 2) - Aytma, bəlam, əyiņni jahlini bilasan-ku.
- Baribir aytaman. **Sizni** bir karate qilib qoysin. (p.4)
- 3) Amaki,...Odamlar **sizni** juda zor qassəb, məlni əyəğini bəylamasdan soyib tašlayveradi, deyišadi. (p.5)
- 4) - Vəy, meni xənavayrən qilasən-ku, bilasanmi, bu kamera neça som turadi?
- Men bilišim šart emas, **siz** bilsəņiz boldi-da. (p.6)
- 5) Endi **siz** bilan əra əciq boldik. (p.6)
- 6) Aya, **siz** tušunmaysiz, juda ərqada qəlib ketibsizlar-ku. (p.11)
- 7) **Siz** gəlati ədam ekansiz-ku, səqliqni ehtiyət qiliš kerak. (p.13)
- 8) **Siz** ham bizniņ sistemada išlaysizmi? (p.14)
- 9) - Jən uka, bir ahməqlik qildim, kečiriņ. Meni quvmaņ. **Sizdek** ədamga šunday itlik qildim, jazəmnı xudə bersin...
- **Siz** mənə nima gūnəh qila qəlgəndiņiz? (p.14)
- 10) E, oša kiši **siz**midəņiz? Butunlay esimdan čiqib ketgan ekan. (p.15)
- 11) Bəšpurtnı təpširib, domovoydan očmagan bolsəņiz, **sizni** yuvmayman, bənəvat bolišdan qorqaman,... (p.17)
- 12) **Siz**daqa tekinxor murdalarnı kopini korganmiz. (p.18)
- 13) - Mənə qaraņ, əta, - dedi u qərəvulga. - **Sizga** javəb. Uyiņizga bərib, yəta qəliņ. (p.22)
- 14) - **Siz** toqqiz somga qol qoygənsiz. Toğrimi?
- Toğri, - dedi Abdurəzzəq.
- ...Ošanda **siz** on yetti somga qol qoygənsiz. (p.25)
- 15) Načəra, **siz** hali tiriksiz-ku, qarz uzišga ulguraman. (p.27)
- 16) Yoq, aka, **siz** oris šəiri Turgunevniņ «Mumu» degən še'rini oqıgənmisiz? (p.29)
- 17) - **Sizga** nima boldi?
- Məšina, məšina, - dedi u entikib. - Bizni xudə uripti, xətin. (p.31)
- 18) Parpiyəy akam **sizga** kopdan-kop duə dedilar. (p.34)
- 19) Oša **siz** toyda čəqib yegan handən pistadan bəzərgə bəšqa kəlməy qoydi. (p.35)
- 20) Biləsizmi, Usməņjən,... **Sizga** ham egam Hasan-Husan nevaralar bersin. (pp.35-36)
- 21) - Pəčcam bilan əpam Yəņgiyolga ketišgan, - dedi Zamira.
- Pəčcəņiz bilan əpəņiz bolmasalar, mana **siz** bərsiz-ku. (p.36)
- 22) Odamlar čəy qəšiqda əlib nəņga surtsa, **siz** əš qəšiqda əldiņiz. (p.41)
- 23) Men **siz**dan učta qoy sorayətgənim yoq. Bitta bolsa ham yetadi. (p.44)

- 24) **Siz** ham xuddi dadangizlarga oxšagan ovčisiz. (p.49)
- 25) E, **siz** soraman, men aytmay, aka Javlun. (p.50)
- 26) **Siz**di gazitga yoziptimi?... Işqilib, odamlar əgzi tola gap. **Sizga** maslahat, advokat olin.
- 27) Mənga qaran, qizingiz **siz**dan araz. (p.54)
- 28) Xəy, er, **sizga** aytyapman, qizingizga ballon olib berin! (p.54)
- 29) Həy, dadasi, **sizga** nima boldi, axir? (p.54)
- 30) **Siz**ni nima qilişardi. Nu, undan keyin qarib qolgansiz... (p.55)
- 31) Mənga qaran, ukaginam, şu Begini **sizga** tegi bilan berdim. (p.57)
- 32) E, xojayin, bu pul **siz**niki emas, davlatniki. (p.59)
- 33) Bugun axranada kim? Luqmən təğa, **siz**misiz? **Sizga** jəngəvar təpşiriq. (p.60)
- 34) **Siz** üçün jəvəbgar bolışni istamayman. (p.60)
- 35) Xojayin, - dedi Begijən umidsiz bir ahvəl-da. - Meni keçirin.... Endi takdirim **siz**niñ qolingizda. (p.60)
- 36) E, taniganda qandoq, ortalq Sulaymənov. Axir **siz** bilan otgan yili Kislovodskda dam olganmiz-ku. (p.61)
- 37) - Şu suvrat **sizga** qarab çizilməgənmi məbədə?
 - Vəy, mən oşəngə oxşaymanmi,...
 - Yoq, - dedi Bəzərbəy. - **Siz** uñga oxşamaysiz. U **sizga** oxşaydi. (p.63)
- 38) Mənga qaran, dadasi.... Buyoqqa otirin, yolini orgatib qoyay **sizga**. (p.64)
- 39) - Oyla, xətin, oyla!
 - **Siz** otpuskaga çıqqanıñgizda Jabbər nima iş qiladi? (p.66)
- 40) Axir u neça yillardan beri **siz** bilan işləb sinaşta bolib ketgan. (p.66)
- 41) Xojayin,... **Siz**niñ etagingizdan uşləb yəmən bolmadim. (p.66)
- 42) **Siz** ketaverin, mən keçərq bəraman. (p.67)
- 43) Dadam bilan ayam meni **sizga** işənib təşləb ketişgan-a. (p.68)
- 44) Qonunğa xiləf bolsa ham beşta yuz somlikni **sizga** beraman. (p.70)
- 45) Mənga qaran. **Siz** yəñgi ədamsiz. Bu iğvəgarlarniñ gapiga uçman. (p.83)
- 46) **Siz** əyimniñ agentisiz... **Sizga** kim qoyibdi gapirişni? (p.84)
- 47) **Siz** izzat bilan yetti kelin pişirgan yetti xil əvqatni tanlab, eñ şirinini yeb, maza qilib yurin. (p.85)
- 48) Pəččəjən, **Siz** meni ədam qilgansiz. (p.91)
- 49) Bəğčəməz nəmidən **sizga** şu giləməni səvğa qiləməz. (p.91)
- 50) Endi, kuyəv bəla, əz bolsa ham kopdek korasiz... Azbarəyi **siz**niñ yubileyiñgizga səvğa bolsin deb. (p.91)
- 51) **Siz** oqituvčilik qilgan paytda lətin alifbəsida yəzardik. (p.93)
- 52) Dəmləjən, **siz** aytgan juğrəfiya, bədəntəribya darslarini əliy mə'lumətli oqituvčilər bərişyapti. (p.93)
- 53) Mənga qaran, muəllim bəla... Bəlani oziga tərətəlməgən oqituvči bəşqa hünər qilsə ham boladi, **sizga** məsləhatim şu. (p.93)
- 54) **Sizga** oxşəbmi? (p.93)
- 55) - Halimov **siz**niñ ərqəñgizda uçəstkəli boldi. (p.104)

- Nima dedin?

- Halimov deyman, sizniñ orqangizda...

56) Yaxşı adam ekan deb, u yer-bu yerga telefon qilib, taxta, tunukalarni sizniñ nomingizdan togrilab bergan edim. (p.104)

57) Siz yaramas adamsiz! Sizda vijdon degan narsa yoq!... Sizniñ latta-putta sovgalaringizga muhtoj emasman. (p.105)

58) Undan taşqari sizniñ oşigingiz uchinçi korinişda koylagini yirtib taşlaydi. (p.112)

59) Ortıq direktor, siz poraxorsiz! (p.115)

60) - Nahotki şu gaplarniñ bari toğri-a, ortıq direktor? - dedi. - Nahotki siz...

- Toğri, - dedi direktor jiddiylaşib, - bari toğri. (p.115)

61) Sizga endi bitta it lozim, ortıq Tillaev. (p.117)

62) Iya, iya, biz turganda nega endi siz pol yuvarkansiz, opa?... Men gilam qoqayinu, siz tamoşa qilin. (p.117)

63) Oti Qoplın, Tillaev aka. Odamniñ yaxşısını darrıv taniydi. Sizga tez organib ketadi. (p.117)

64) Yoq, xojayin, soraman,... Siz bilan şu maqsadda oşna bolmaganman. (p.117)

65) Sizda madaniyat degan narsa bormi? (p.125)

66) Men sizga Ne'mat emasman, ortıq Babbaev bolaman, ortıq Xajjayip. (p.125)

67) Ortıq Xajjayip, sizni çaqirtirişimniñ sababi şuki, biz siz bilan bevəsita zavod xojaligiga javıbgar kişilarmiz. (p.125)

68) Sizni kutib otirib uqlab qopman. Tuş korsam, siz olib qopsiz... Xayolımda sizga bir nima bolgandek,... Men bu yıqda qandıq taşvişlar qilib yuribman-u, siz bolsangiz... (p.130)

69) Sizni nega sudga berarkanman? Sizni tovuqlar sud qilişsin. Tilini bilasiz-ku. (p.132)

70) Siz aralaşman, er-xotinniñ ortasiga esi ketgan tuşadi. (p.135)

71) Yaxşı ham sizga buyurmaganı, konyak emas, içiga qant kuydirib sölıngan ozimizniñ jaydari araq edi, - dedi. (p.138)

72) Birinçi eşişim. Tavba, sizga kim aytdi? (p.145)

73) Uka, siz bu gapni bir yıqqa qoyaturıñ, avval bıyagi gapni aytiñ. (p.145)

74) Siz bilan tegişli jayda gaplaşib qoyaman. (p.145)

75) Siz bışliqqa qadrdon adamsiz, ozingiz kattarıq sovgı qilasiz. (p.147)

76) Grajdaniñ, siz yuqorıga çiqa qoliñ, bu adam, korib turibsiz-ku, homiladırlar. (p.153)

77) Eşingizdami, Oppınbek, kelinimdan xabar olgani bırganimda sizga yoliqqan edim. (p.153)

78) Sizga mumkin, - dedi Hıjinisa opa kulib. (p.169)

79) Vıy tavba, siz Mazambayda nima qilasiz? (p.171)

80) Gapimni bolman, u tımonlarga montyor kerak, deb sizga kim aytdi. (p.171)

81) Sizga yaxşı. Palonçiniñ xotini haliyam ozini oldirmapti, desa yımonmi?! (p.171)

82) Men sizniñ eşagingizman... Siz meni sotib olganiñgizda bir haftalik nırista eşak edim. (p.174)

83) - Nega meni eşak deysan?...

- Qaçon eşak dedim sizni? (p.175)

84) Afzal, siz ot jağsiz, sizga toğri kelmas. (p.180)

85) Sizga bir iltımos bilan hayvonot bığı ma'muriyati nımidan keldik...Yoq deman, agar muvaffaqiyat bilan oçib çiqarsangiz, sizni umrbod nafaqa bilan ta'minlaşni yozma ravişda rasmiylaştiramiz. (p.188)

- 86) Otaxon,... **sizga** Sokolov qarab turadi. (p.189)
- 87) Xotiningiz **sizni** qidirib biznikiga kelganlar. (p.191)
- 88) Rahimjon ukam, **siz** kelasiz, deb shaftolilarni Qibraydagi sartaroshxonaga opchiqib junini qirdirib keldim. (p.194)
- 89) Bir ish bor, shoir afandim... Shu qarzni **sizga** 50 somga sotaman, olasizmi?
- 90) Nigoraxon, men **sizga** nima degan edim? (p.208)
- 91) Toxta aka. Men **sizga** tegayotganimda oyingizning shunaqaliklarini bilib tekkanman. (p.208)
- 92) Axir men **sizni** sevaman. (p.208)
- 93) Nima, **siz** meni sira ham qorqmaydi, deb oylaysizmi? (p.208)
- 94) ZAGSdan **sizmi** yo men otganmanmi? (p.211)
- 95) **Siz** ham bir shisaga rozi bolin. Bir shisha, xolos. (p.214)
- 96) Aka, qari bilganni pari bilmas deyişadi. **Siz** yuz gramm maslahat berin. (p.214)
- 97) Orinboy aka, **sizni** qorningiz bot-bot ogrib turadi. (p.214)
- 98) Obbo **siz**-ey. Doim shunaqa suv qoşilmagan gaplarni topasiz. (p.214)
- 99) **Siz** axir zamnamizdan ikki yuz yil orqada qolib ketgansiz-ku. (p.214)
- 100) - Xotirjam bolaver, qizim, Usta amakin xoinlik qilmaydi.
- Rahmat **sizga**. (p.215)
- 101) Hoy gildirak, hoy multfilm! **Sizga** aytyapman. Qulbqni tom bosganmi? (p.218)
- 102) Bu yogi ozingizga buyursin. **Sizga** nima kerak, orgilay? (p.218)
- 103) «...va bosqalar» degani **siz** deganida. (p.221)
- 104) Men **sizni** ogohlantirgani kelgandim. Yaxshilik qilmoqchi edim. **Siz** esa, yaxshilikni bilmadingiz... Men ham fikr va mulhazalarimni yozib yuborsam, **sizniyam** familiyantpiz feletonga aniq yoziladi. (p.221)
- 105) Oyi, **sizni** ovzingizni yozgani kepti. (p.222)
- 106) Lutfi Boboeva **sizni** kelingiz boladimi? (p.222)
- 107) ...**sizni** kelinlaringiz togrisida aytadigan iliq gaplaringiz kerak. **Siz** aytib turasiz, men yozib olaman. (p.222)
- 108) Bolmasa, oglim, men aytay, **siz** yozin. (p.222)
- 109) **Siz** qozon bilan kapkir olib chiqin. (p.223)
- 110) Faraz qilingki, **siz** osh qilyapsiz... **siz**, ortiq Lutfi Boboeva, judayam xushmuomalalik bilan kapkirni qozonga urib, ovqat qilyapsiz. (p.223)
- 111) **Siz** bu tomonga otin. Demak, **sizga** vazifa bunday. Hovlidagi kelinlarni xursandchiligini, **sizni** kulgizingiz orqali berishimiz kerak... Xoş, **siz**, onajon, «radio mikrofonni Farmon bibining muhtasham hovlisi ortasiga oʻrnatilgan» deganimdan keyin, **sizga** mikrofonni tutaman. (p.223)
- 112) Yoq, yoq, ayijon, kerakmas. Rejissyor **sizmi**, menmi? (p.224)
- 113) Menga qaran, qariganingizda shular bilan adi-badi aytişib **sizga** nima zarur. (p.226)
- 114) Men **sizga** aytsam, General, yaqindagi tişlaşadi, uzogdagi kişnaşadi, bildingizmi? (p.226)
- 115) **Siz** ayvonda, u yonbosingizda, bu yonbosingizda bolish... **Siz** hammasini jindek-jindek tatib korib oxiri ogzingizga yozqanini olib qolasiz. Kelinlar isdan kelganda **sizga** biri romol, biri koylak... (p.226)

- 116) **Siz**ni tarbiyangizdan čnqqan bolalarni hammasida sifat belgisi bər. (p.226)
- 117) - Aybga buyurmaysizu, **siz**ni tanımayrəq turibman.
- Ehtimol tanımassız, **siz**ni tərifingizni kop eşitganman, kopdan beri bir duəngizni olay deb, orzu qilardim. (p.227)
- 118) Ular ham **siz**ni bolalaringizga oxşab, martabalikkına bolsa deb niyat qilganman. (p.227)
- 119) **Siz**ga nima kerak bolsa, mənə ayti. (p.227)
- 120) **Siz**dek xotinni farzandi ona gapini oladi. (p.228)
- 121) - Men ortaga tuşsam, pəra olasızlarmi?
- **Siz** ortaga tuşmaysız.
- Bərdi-yu, ortaga tuşsam-çı?
- Biz **siz**ni izzat-hurmat qilamız. (p.228)
- 122) Endi, mehmon, bizni keçirasız. **Siz**ni iltimosingizni bajarəlməyimiz. (p.228)
- 123) Şu desəngiz... əyijən... Men ham **siz** bilan bərsam degəndim. (p.229)
- 124) Xop deya qəliq, əyijən... Axir singillarını toyları-ya... İltiməs **siz**dan... (p.229)
- 125) **Siz**ga nima bər, orgılay? Ergə tegəyətgan **siz**mi, singlingizmi? Toy məsləhatini **siz**siz, özimiz pişitib kəlamiz. (p.229)
- 126) **Siz** nari turıq. Aralaşma! (p.230)
- 127) Jənidən, **siz** məşhur tikuvčisiz. (p.230)
- 128) **Siz** bular içidə eñ kattasisiz. Har bir gapni oləb gapirişingiz kerak. (p.231)
- 129) Asqar aka, bu militsiya polkovniginiñ gapi emas. **Siz** qančalab jinəyatčılarnı toğrı yolə solib yubərgənsiz. (p.231)
- 130) **Siz** bu işni qıləngiz yaraşadi. (p.232)
- 131) Aka, aka, **siz**ni kalləngiz Gosplandek anıq işləydi... Jami suv qoşılmagən gaplar **siz**dan çıqadi. (p.232)
- 132) Rahmat **siz**ga, əyijən, rahmat. (p.232)
- 133) İltiməs **siz**dan, jən əyi. (p.233)
- 134) **Siz**ga baribir emasmı? Yə təməşəgə bərməqčimisiz? (p.233)
- 135) Əyijən,... Oğillaringiz **siz**dan yaşırən pullarigə yañı uynı ləyihəsini təyyərləb qoyışən. (p.234)
- 136) Vəy adə bolıq **siz**. Qayəqqa kətasız? (p.234)
- 137) - Həy, gildirək, **siz**ga aytyapman. Quləqni təm bəşənmi?
- Vəy memimi?
- Ha, **siz**, akasi jənidən. E, əyisi jənidən. Vəy, özim orgılay **siz**dan. (p.234)
- 138) Mənə sumkəngiz. **Siz**ga nima kerak? (p.234)
- 139) - Jim bolıqlar. Bu mənı korsatyaptı dedim-ku.
- Yoq, yoq, **siz** emas, otiri. (p.235)
- 140) **Siz** ham saləmat bolıq, yuzgə kirı... (p.236)
- 141) **Siz**dan qəçən bir şirin gap çıqqandiki, endi çıqadi. (239)
- 142) Mən təməndəgilar Ğəninıñ uylənişigə tərəfdər. **Siz** təməndəgilar qarşı. (p.240)
- 143) Yəmənləyətğanim yoq. Bittə yaxşı erkək **siz**mi? Şundəq ənəginəmni arvəhini çırqılatıypəsiz. (p.240)
- 144) Korı-çı, **siz** eskiča oqıgənsiz, bilərsiz. (p.245)

- 145) Vəy, **siz** bilmaysız. (p.246)
- 146) **Siz** bilmaysız, rahmatli dadamni jamiki kiyimlariga munčəq taqib taşlagan edilar. (p.247)
- 147) Jimjit bolsa, ana, **siz** keldingiz, topolən endi boladi-da. (p.247)
- 148) Qayəqlarda yurgaşşgizni bilamiz. **Sizga** bunaqa qiliqlar yaraşmaydi, dada. (p.249)
- 149) Ozi **sizga** bir balə bolgan. Bitta megajin bəşingizni aylantirib, lakaləv qilib qoygan. (p.249)
- 150) **Sizga** juda-juda qiyin bolib ketgan ekan. (p.249)
- 151) Endi ədamlar nima derkin, deb **sizni** uylantirmay yurgan ekanmiz. (p.250)
- 152) Yəqmay olsun. **Sizga** tegarmidi. Ne-ne qoşqavat belbəğ bəyləgan çəllərgə tegmagan, **sizga** tegarmidi. (p.252)
- 153) I-i-y, manavu dadamlar-ku! E, dada, **siz**-ku. (p.253)
- 154) Ajoyib bəğbən əta, **sizga** muvaffaqiyatlar tilayman. (p.255)
- 155) **Siz** ham oşa təmənəgə əgib ketdingizmi? (p.256)
- 156) Opa, **sizni** soraşyapti. (p.262)
- 157) **Sizni** əlməgani üçün şunaqa deysiz, orgilay. (p.263)
- 158) **Sizga** alam otgan-da, sira unutəlmaysız. (p.263)
- 159) **Siz** aralaşmaŋ, kennəyi. Har qalay, nima qilsa ham begənasız. (p.264)
- 160) **Siz** xojayinlik qilmaŋ. Nima, dadamni xətinimisiz? (p.264)
- 161) **Siz** aralaşmaŋ. **Siz** begəna ədamsız. (p.265)

合計 199 例

Shuhrat. 1967. Oltin zanglamas.

- 1) **Siz** Sədiq Qoçqərovmsiz? (p.19)
- 2) **Sizga** esa ortalq Qoçqərov, muvaffaqiyat tilayman. **Sizni** toğringizda yaxşı gaplar eşitganman,... (p.19)
- 3) Ləkin kim meni buncəlik uluğlab **sizga** ayta qəldi, əjab! (p.19)
- 4) Bu kişini **sizga** jindəy iltiməsi boladi,... (p.20)
- 5) **Sizni** ketib qəlasizmi deb... (p.22)
- 6) - Kvartira kərgani ketgəningizni bilmədim, bolmasa **sizni** ikki-ikki əvrə qilmasdan, birgə bəraqələrdim.
- Həqəsi yoq. Kişi kişigə yaxşilik qiliş üçün dunyəgə kəladi. Bugun mēdan, ertəgə **sizdan**... (p.23)
- 7) **Sizga** yəqqan bolsa bas. (p.23)
- 8) **Sizni** məərifdə kərdim, «şu ədam mēnbəp» dedim. (p.23)
- 9) Həli **sizni** ham işingiz kopayib kətsa...(p.23)
- 10) **Sizni** ham didingiz yaxşı ekan,...(p.25)
- 11) Məna şundan **sizga** ikkita qalamčə əlib bəraman. (p.25)
- 12) **Siz** bilən biz talabalarimizni əna şu balədan həzar etədigan qilib tərbiyələşimiz kərak. (p.27)

- 13) **Siz** əvni yaxşı korasızmi? (p.27)
- 14)**siz**niñ ham mənə oxşayan hafsaləngiz yox ekan. (p.28)
- 15) **Siz** çiqə qəliñ, dada, mən ozim uzaman,...(p.29)
- 16) Şu muzeylər **siz**ga ham bolaveradi. (p.30)
- 17) Şuni **siz**ga korsataman deb, neçə oylayman,...(p.31)
- 18) **Siz** şu yerda turasızmi? (p.32)
- 19) Oşa kuni ortəqlarimni təpib oldim, **siz**dan sal narida dars tayyərlaşayotgan ekan. (p.33)
- 20) **Siz**niñ-çi? Turmuş qurganılarga neçə yıl boldi? (p.34)
- 21) Ayb **siz**damas, menda! (p.36)
- 22) Axir **siz**niñ əldingizga keladi-da. (p.37)
- 23) Xop desəngiz, bir jəyga bərdardik. **Siz**ni mənə təyinləgan. (p.38)
- 24) Mən **siz**ni nəjoya yergə bəşlərimdim. (p.39)
- 25) Əliñ, Sədiq aka, **siz** keç keldingiz,...(p.40)
- 26) Bələsizlik demasa... **Siz** bələngiz... (p.45)
- 27) Əstənada **siz** turibsiz! (p.46)
- 28) Əvvəl **siz** olasızmi, mənmi? (p.47)
- 29) **Siz**niñ qizingizga səvçi qoyayotgani yox. (p.48)
- 30) Aynıqsa **siz**niñ yəningizdagisi sutga çayqagandekkina ekan. (p.52)
- 31) U beçərə hammani unitib, **siz**ga qəş-kəzini suzib oldi-yu, **siz** bələngiz... (p.52)
- 32) Xudəga şukur, hali **siz** yəşsiz, puşti-kamaringiz butun, bəlingiz tola bəla. (p.53)
- 33) **Siz**ga mayli bərgə oxşaydi. (p.53)
- 34) **Siz**niñ seviz kiyadigan paytingiz, kiyib qəliñ-da! (p.53)
- 35) Ədamların **siz** bilən qançəlik işi bər! (p.54)
- 36) ...aynıqsa **siz** bilən bizniñ yəşda juda ketadi. (p.54)
- 37) **Siz** əzingizni ərtiqçə qıynamə. (p.55)
- 38) Mən **siz**niñ umringizga zəmin bolmayman. (p.55)
- 39) ...mən **siz**ni heç qayəqqa yubərmayman. (p.56)
- 40) Bərəvniñ uyi bilən **siz**niñ qançəlik işingiz bər. (p.58)
- 41) Mana şu xat **siz**ga ekan, huv anavi amakim bərdilar... (p.59)
- 42) **Siz**ga oxşab qollarida papkalari bər, bəşlarida şapkalari... (p.59)
- 43) **Siz**ni deb, bir sət keyin doktor boladigan boldim. (p.61)
- 44) Mən **siz**ni oşa atlas kəyləgingizda kəlasiz, deb oylagan ekanman. (p.64)
- 45) Yə **siz** atlas kəylakni yaxşı korasızmi? (p.64)
- 46) **Siz**ga tekkan qizniñ şəri qurir ekan,... (p.64)
- 47) Yəq, **siz**ni urganni. (p.66)
- 48) **Siz** bolganda nima qılardingiz? (p.66)

- 49) **Siz** «yurak» bilan deganda, mehnatni inkor etmaysiz,... (p.68)
- 50) Masalan, **siz** taşabbuskor bola olarmidingiz? (p.69)
- 51) ...**sizga** oxşaganlar kop emas-da. (p.70)
- 52) **Siz** ham qiziqsiz. (p.70)
- 53) Bir narsa dermikinlar **sizga**, a? (p.70)
- 54) **Sizni** urişdilar mi? (p.71)
- 55) **Sizni** toza urişgandirlar... (p.72)
- 56) Qodirjon aka, **sizga** nima boldi... (p.74)
- 57) Yomon kişi ekansiz, endi heç **siz** bilan uçraşmayman. (p.74)
- 58) Havasiñiz keldimi, **siz** ham yoşroğiga uylana qoliñ. (p.77)
- 59) Buniñ uçun **sizga** oxşagan kişilarni safarbar qiliş kerak,... (p.79)
- 60) **Siz** ham çakki emassiz. (p.79)
- 61) Şu uyni **sizga** berişib juda yaxşı qilişdi, uzukka kozdek yaraşdi! (p.80)
- 62) **Siz** şunaqa deysiz-da, odamlar uy-joyga qaraydigan bolib qolgan,... (p.83)
- 63) Yo endi **siz** olasizmi? (p.83)
- 64) Buni **siz** yaxşı bilasiz. (p.84)
- 65) **Siz** oşa bir koyib qoyganiñizdan keyin ança tuzuk bolib qolgan edi, keyin... **sizdan** ketgandan keyin yana... (p.85)
- 66) Oziñiz bir nima demasaniñiz... **sizdan** hayiqadi. (p.85)
- 67) **Sizdan** hayiqadi... Insofga çaqirib qoysaniñizmi... (p.85)
- 68) Qars ikki qoldan çiqadi, siñlim, **siz** ham hadeb tiklaşaverman. (p.85)
- 69) Nazarimda, **siz** Mirsalim akani menğa yaqin tutib, ba'zi gaplarni yamladiñiz. (p.88)
- 70) **Siz** bilan meniñ vijdon burçimiz ham şu. **Siz** bilan biz bir daraxtmiz,... (p.88)
- 71) **Siz** kelmasdan ilgari ikki bolaniñ oziga emas, otasiga qarab baho qoyibdi. (p.89)
- 72) Yoq, **siz** bermalol gapiraveriñ. (p.89)
- 73) **Sizga** nihoyatda qiyin, juda qiyin. **Sizni** adaştirişlari mumkin. Lekin **siz** tajribali, kopni korgan tadbirli kişisiz. (p.93)
- 74) **Siz** ziyraksiz, tadbirlisiz, yetti olçab bir qirqasiz. (p.93)
- 75) Lekin **sizniki** boşqaça. (p.93)
- 76) **Siz** şunaqasiz, meniñ gaplarim quloğingizda turmaydi, xayoliñiz qayocqda edi? (p.93)
- 77) ...hozir **sizniñ** tişingizni arralab bolmaydi, boşalganiñizdan keyin ozim yaxşilab qoyib qoyaman,... (p.96)
- 78) Bozni **siz** bilmaysiz, boz nimaligini bizdan soran, jon bolam! (p.97)
- 79) Bu **sizga**! (p. 101)
- 80) **Siz** çiqmasaniñiz ham boladi devdim, yoq, razi bolmadilar! (p.102)
- 81) Voy, **sizni** bilasiz, deb oylabman. (p.105)
- 82) **Siz** oziñiz işlaysizmi? (p.105)
- 83) Xop, siñlim, **siz** boraveriñ, bu yoğini ozimiz gaplaşib qoyamiz,... (p.106)
- 84) **Sizdan** buni kutmagan edik. (p.107)

- 85) Qani hamma ham **siz**dek oq ko'ngillik bilan qabul etsa... (p.110)
- 86) ...bir kelgindi torga chiqib, **siz** bilan biz qolarmidik! (p.110)
- 87) Ba'zilarini **siz** ham korib yuribsiz,... (p.111)
- 88) Qani endi **sizga** oxshagan ta'sabbuskor direktordan koproq bolsa! (p.112)
- 89) ...mana, dokladda ham **sizni** maktabingiz bilan nomingiz, nima uchundir, qizil qalam bilan o'cirilgan. (p.112)
- 90) Bola bitta menikimi, man **siz** ham boqin! (p.114)
- 91) **Siz** uyalin. (p.115)
- 92) **Sizniki** ham kam emas, shu yaqindagina ikkita ko'ylak tikildingiz,...(p. 116)
- 93) Hech kim **sizni** yuzingizga solayotgani yoq. (p. 117)
- 94) **Sizni** hech kim yetim deyayotgani yoq. (p. 117)
- 95) Hoy, noinsaf, **sizga** gapiryapman, bola qiynalib ketdi. (p. 118)
- 96) Ha, **siz** bilmaysiz, **siz** kormaganda qiladilar,...(p. 119)
- 97) **Siz** ham onalarga oxshab toygizib emizsangiz ekan:... (p. 119)
- 100) **Sizni** shu yerda bolganingiz yaxshi,... (p.122)
- 101) Boya **siz** mening xizmat yerimni soradingiz. (p.125)
- 102) **Siz** ziyoli odamsiz, tu'unasiz, **sizga** aytsam boladi. (p.125)
- 103) Qaytib kelsa **siz** bor-ku. (p.126)
- 104) Men **sizni** tergovchingiz Chuxanovman. (p.136)
- 105) Qisqa qilib aytganda, **sizni** Davlat xavfsizligini saqlash organi qamoqqa olgan. (p.137)
- 106) Borin, **sizga** joy tayyorlab qoyishgan bolsa kerak,... (p.137)
- 107) Nimani boshlaymiz, mening **sizga** aytib beradigan hech qanday jinoyatim yoq. (p.138)
- 108) ...**siz** qanday tu'unsangiz, tu'uningiz, lekin bu yerda nohaqlik bor. (p.138)
- 109) **Siz** meniga luqma ta'slab sozimdani adastirman. Men **sizni** maqsadingizni ham bilaman,... (p.141)
- 110) Men **sizdan** sorab otirmayman! (p.145)
- 111) **Siz** ham shu yerda ishlaysizmi? (p.147)
- 112) **Siz** ham tergovchimisiz? (p.147)
- 113) **Siz**cha kimman? (p.147)
- 114) ...**siz** ku'ch bergan to'pka endi kokarmaydi... (p.149)
- 115) Shukurov, **sizni** tuhmatchiligingizga emas,... (p.151)
- 116) **Siz** ozingizni g'amingizni yeyaverin,... (p.151)
- 117) Xalq dushmani Boltaqul **sizni** maslakdoshingiz ekanini unutman! (p.151)
- 118) U **sizdan** kora aqlli ekan: o'zini qiynagani yoq, hammasini aytib berdi,... (p.151)
- 119) **Siz** uni taniysizmi? (p.152)
- 120) - **Siz** ham o'sha tomonlardanmisiz?
- Ha, **Siz**-chi? (p.152)
- 121) **Sizni**-ku tanimayapman, otangizni namlari nima edi? (p.152)

- 122) Oşa kişi **siz**niñ otanğiz edimi? (p.152)
- 123) Yoq, **siz** bilmaysiz. (p.155)
- 124) Oşa **siz** aytgan Dilovorxoja men bolaman. (p.155)
- 125) **Siz** ham bu yerda bekorga otirmagandirsiz. (p.155)
- 126) Tunov kuni **siz** ismimni soraganıgızda qaysi birini aytişni bilmay familyamni aytgandim. (p.157)
- 127) Beçora ona **siz**ni uşlab olišlarini tuş biladimi! (p.158)
- 128) - **Siz**ga oxşagan ola içimizdan çıqmaganda, balki...
- **Siz** bilan «bitta-yarımta ola» emas, xalq kuraşgan, butun xalq. (p.160)
- 129) **Siz** meniñ gaplarımdan ajablanmañ. (p.161)
- 130) Oğır bolıñ, Sodiğjon, **siz**ni otişayotgani yoq-ku,... (p.162)
- 131) Agar men Şorv hukumati bolsam, **siz**ni bunday kameraga qoyış emas,... (p.162)
- 132) Meniñ... **siz**niñ oldıngızga kirişimniñ... kirişimdan maqsad... meniñ talğıimni beriñ. (p.166)
- 133) Endi qaytib kelmaydigan bolganıgızdan keyin oğlıngızni... oğlimniñ qayerda bolışiniñ **siz**ga qançalik farqi bər. (p.167)
- 134) **Siz** hammadan xafa bolaverman, daim yomondan yaxşı kop, harımdan halıl. (p.169)
- 135) Birıvda olasim bər demıvdi-ku, yv **siz**ga aytuvdimi, Muşaffarxon? (p.169)
- 136) **Siz** uyda xavotir olmañ,... (p.170)
- 137) Akam **siz**nikini orarmidılar? (p.171)
- 138) Yv **siz** ham şunaqa qilasizmi? (p.171)
- 139) **Siz**-çi? Yomın kormassiz! (p.171)
- 140) **Siz** erkaklarga maza! (p.172)
- 141) Ha, **siz**ga aytiş esimdan çıqqan ekan, oyi, bərməsam bolmaydigan iş edi! (p.174)
- 142) Keç qolsam **siz** xomrayasiz, majlisga bərməsam idıra... (p.174)
- 143) Avvalam **siz**ni sōğindim, keyin... keyin bir maslahatli işim ham bər edi... (p.174)
- 144) Oyiñ! Men **siz**dan xafa emasman. (p.178)
- 145) Sodiğ Qoçqırov **siz**ga kim boladı? (p.180)
- 146) Men **siz**dan kim kim uñın javıbgar ekanlıgını sorayotganim yoq,... (p.180)
- 147) Ehtimol, **siz** atayin bekitib kelmagandirsiz. (p.180)
- 148) **Siz** uni taniysizmi? (p.182)
- 149) Keyin **siz**niñ oz taşvişingiz ozingizga yetadı. (p.184)
- 150) **Siz**ga tekkan kasrim ham yetadı. (p.184)
- 151) Yoq, Aziza, **siz** toğrı tuşuniñ! Faraz qılaylik, men **siz**ga barçasını aytdim,... (p.184)
- 152) **Siz**dan xavotirim bər. **Siz**dan ajralib qolış oldida bu taşvişlar bari... (p.186)
- 153) Endi men **siz**ga teñ emasman. **Siz** uñ yildan keyin vraç bolasiz. (p.186)
- 154) Hıy, **siz**ga bir narsa boldimi? (p.186)
- 155) Buyruq institutdan haydalişim uñın emas, **siz**dan ajralış uñın çıqqanğa oxşaydı,... (p.186)
- 156) ...men **siz**ni injener bolışingizni emas, ozingizni yaxşı korganman. **Siz**ni deganman, **siz**ni deyman ola-olgunimça.(p.186)

- 157) Sizni deganim degan!! (p.186)
- 158) Siz bu yerda nima qilib yuribsiz? (p.187)
- 159) Men sizdan soraməqçi edim, siz nima qilib yuribsiz? (p.187)
- 160) Bilasizmi, yigitça, bu tentaklikni qoysangiz, Aziza siznini tənğingiz emas. (p.187)
- 161) Men sizni yaxşı taniyman. (p.187)
- 162) Bolmasa siz ham bilib qoyin: Aziza siznini qizingiz bolgani bilan ixtiyəri ozida. (p.188)
- 163) Men siznini oğlingiz emasman, dadamni oğliman,... (p.190)
- 164) Həy, Mirsalim, sizga nima boldi? (p.192)
- 165) Siz üçün emas, ozim üçün, kelin. (p.192)
- 166) Siz kelmasingizdan sal ilgari vodoprovod jildirab əqsa,...(p.195)
- 167) Men siznini ziyraklığingizga qoyilman, juda qoyilman. (p.196)
- 168) Bir payğambarni başəratı siznikiçə bolar-da! Örtiq bolmas! Men sizga qoyilman, hamma qoyil. (pp.196-197)
- 169) Siz oylabsizmi... (p.197)
- 170) Ey, qoyin, siz soraman, men aytmay. (p.197)
- 171) Men sizga qoyilman, xətin kişi bolsangiz ham onta erkakdan huşyər ekansiz. (p.197)
- 172) Siz vaqtida taləğingizni əlgəningizdan, tənç qəldingiz-da, bolmasam... (p.197)
- 173) Maratni mehri sizga umrli bolib tuşibdi, jən bəlam. (p.198)
- 174) Siz keladigan bolgandan beri bəlam yayrab qoldi, kelin. Koçada siznini qiynamadimi? (pp.198-199)
- 175) Siz yoğingizda Marat oğlingiz içikib qəlyapti, ayasi,... (p.199)
- 176) Avvalə siz bu uydən çiqib ketmagansiz,... (p.200)
- 177) Siznini brigadangiz şu yerda turadi. (p.201)
- 178) Siz ham şu yerdəmisiz? (p.203)
- 179) Sədiqjən! Men siznini bu gadəy təpməs təmənlərgə sira ham kelməssiz deb oyləgan edim. (p.203)
- 180) Siznini bir baləngiz bər, menden yaşiryapsiz, mayli. (p.203)
- 181) Siz doktor eməssiz-da,... (p.207)
- 182) Sizga qiyin, juda qiyin! (pp.207-208)
- 183) ...həzir sizda nəçə dərəcə səvəğikin? (p.210)
- 184) buniğ ustiga siz otkinçi his-tuyğular tizginiga erkingizni berib, unğa yana əzər yetkəzsangiz,... u hammasini unutib, keçirib, siznini bəşingizga şəfqət qolini çəzsə,... siznini səğligingizni sorab, kəngingizga təsəlli bərsə,... (p.213)
- 185) Siznini əldingizdəgi günəhim keçirilməs,... sizdek ədəmniğ yuziga əyəc tirədim, iztirəbgə səldim. Siz bəlsangiz hammasini unutib,... Yurəğingiz bənçə kəğ! Siznini bu əliyjanəbligingiz qərşisida bəşimni egəman. (p.214)
- 186) Sizga ham posilka kələnmi? (p.215)
- 187) Siz bilan mənig yolim bəşqə-bəşqəligini biləsizmi ozi? (pp.216-217)
- 188) Nima, siz bilan bir lagərgə tuşğən bəlsəm, əramizdəgi təfəvut yoqəlibdimi? Yoqəlməydi! Iməningiz kəmil bəlsinği, mənig qənimni qaynatğəndə ham siznikiga, sizga oxşəğənlərnikiga qəşilməydi. Mən qiliğ siz yurgən koçədən mən yurməyman və yurəlməyman... Bu yoldən mən siz tugil, sizdən zorrəgi ham qaytarəlməydi. (p.217)

- 189) **Siz** nima qilib bu qarməqqa ilinib qəldingiz? (p.218)
- 190) Men **sizga** bir sirni aytaymi, Sədiq aka? (p.218)
- 191) Eski qədrdən bolganimiz üçün **sizga** aytyapman, bolmasa mümkün emas. (p.218)
- 192) Undan kora, kəlin, men **sizga** bir yaxşilik qılay. (p.218)
- 193) **Sizni** işdən qolingiz tegmasa, men indamasam... (p.220)
- 194) **Siz** bərman. **Sizga** bir gap tekkani yetadi. (p.220)
- 195) Xafa bolman, Qədirjən, **sizni** ayblayətganım yox. Qani hammanın ukasi **sizga** oxşagan bolsa! (p.220)
- 196) Mayli, kəlinəyi, **siz** bərin. (p.220)
- 197) Dada-çi, dada, oşa kişi **sizni** quləgingizni kesib əlarmiş! (p.227)
- 198) ...men **sizni** günəhingizni keçirsammikin-keçirmasammikin deb kəlğanim yox. (p.230)
- 199) **Siz** ham şu yerdəmisiz? (p.231)
- 200) **Siz**-çi? (p.232)
- 201) **Siz** şunaqa deysiz-ku, cətdə jillabolanganda, mana bulari bolmaydi,...(p.232)
- 202) U xətin, **siz** erkak,... (p.234)
- 203) Sədiqjən, **sizmi**! (p.236)
- 204) Hop, mayli, **siz** şu yerdə turin, men dərrov xəbar əlib kəlamən. (p.236)
- 205) **Siz** nima dəşəngiz, şu-da! (p.238)
- 206) Oziŋiz biləsiz, serkamiz **siz**,... (p.238)
- 207) Unin ornida **siz** bələşəngiz, təşləb ketsək xursənd bələrmidiŋiz? (p.239)
- 208) Men **sizga** təşləb kətin dəyapmanmi! (p.239)
- 209) Əldigə təşğani yurəgim bətləmay, bəyadən bəri **sizni** pəyləb şu yerdə otiribmən. (p.240)
- 210) İkkı marta **sizni** soradi. (p.240)
- 211) Yox, ulaməni **siz** əlib bərəsiz-da. (p.244)
- 212) Men **sizni** yaxşı biləmə,...(p.245)
- 213) Kəmrəq ičin, **sizni** birəv zorlaməgəndir. (p.246)
- 214) **Sizni** qəniŋiz qaynəqmi? (p.247)
- 215) Məsələn, **siz** kimdən eşitdiŋiz? (p.249)
- 216) Həli mən **sizni** direktorlikkəçə tərbiyə qıləmə deb yuribmən-ku...(p.249)
- 217) Hə, **siz** dənəsiz! (p.252)
- 218) **Sizni** nimeŋizni qurşaydi. (p.255)
- 219) **Siz** xəvətir əlmə,.... (p.260)
- 220) Buni **siz** bilən mən qıləsək, kim qıladi! (p.262)
- 221) Ehtimol, **siz** bilən biz anəvi dostim aytğənidek gəv bolib dşmənni toxtatğənçə oşa yerdə koz yumarmiz,... (p.263)
- 222) Finlyəndiyə uruşida mənəgə ham əvvəl **sizga** oxşəb gələti kəriŋən ədi...(p.267)
- 223) Əvvəl **siz** buni bir oqin, bəşqə gap bər. (p.274)
- 224) Məni sıməgən əndi **siz** qələvdiŋiz. (p.275)

- 225) ...şorə **sizni** qamab xatə qilgan,... Qani endi barça ham **sizga** oxşab şorəga jənini tiksa. Afsus, **siz**daqalar... (p.275)
- 226) İe, hali **sizga** aytməvdimmi? (p.276)
- 227) Yə, **sizga** beraymi? (p.276)
- 228) Bəgun uyğonganda **siz** tepasidamidingiz? (p.277)
- 229) Unda tamaki torvani **sizga** qaçən berdi? (p.277)
- 230) Mana bittasi **siz**. (p.278)
- 231) **Sizni** birəv bir narsada ayblayaptimi? (p.278)
- 232) Şu torvaçani **siz** əlib qoyın, Sədiqjən,... Rahmatli, mendan kora **sizga** yaqin edi. (p.278)
- 233) **Sizni** qolingizda korib yurganim ham boladi. (p.279)
- 234) **Siz** uçun suvga ham, otga ham kiraman,... (p.282)
- 235) **Siz** doktorga men çərva albatta tən emas! (p.283)
- 236) Həy, Qədirjən aka, **sizga** nima boldi, birəv bir narsa deyaptimi! (p.283)
- 237) **Siz** şunaqa emasmikansiz deb qorqar edim,... (p.284)
- 238) **Siz** kimsiz? (p.287)
- 239) **Siz** Sədiq akanın ukasisiz, şundaymasmi? (p.290)
- 240) **Sizniki** qayerda edi ozi? (p.290)
- 241) **Sizga** toğrisini aytmasam bolmaydi: asli ismim Mordaxay,... (p.29)
- 242) **Siz** ham şunday deyaverin. (p.291)
- 243) Endi **sizdan** bitta iltiməsim bər. (p.291)
- 244) Axir bu ahvəlga tuşgan bitta **sizmi**! (p.293)
- 245) Tentak bolib qəlibsiz, **sizga** birəv bir narsa deyaptimi. (p.301)
- 246) Sədiqjən, **siz** bilmaysiz, ədam oldirgandan tuhmat yəmən... (p.301)
- 247) **Sizda** bəri-çün... (p.302)
- 248) Balli-e, kim aytadi **sizni** issiq-səvuqni korgan deb. (p.303)
- 249) **Sizni** yarəngiz əgər emasmi? (p.322)
- 250) **Sizga** bir xizmatni təpşiriş niyatida turibman,... (p.329)
- 251) Marhamət, ober-mulla afandim, bu bizdan **sizga** in'əm! (p.331)
- 252) Bolmasa bu **sizga** yaraşadi, janəb prezident,... (p.333)
- 253) Extiməl, **sizga** mas'uliyatli vazifalar yuklaşga toğri kelib qəladı. (p.334)
- 254) **Siz** nimani ma'qul təpsəngiz şu! (p.334)
- 255) Qani endi barça ham **sizga** oxşab zarbu şişəat bilan gəyrat kamarini bəğlasa! (p.335)
- 256) **Siz**-çi? (p.335)
- 257) ...men **sizni** tanımabman. Nemis minomyotçılarının ta'zirini bergən **siz** bolasiz-a! Juda qoyıl qilibsiz! Komissar keça partiya məjlisida **sizni** gapirdi. (p.340)
- 258) Rahmat! **Siz** yetib kəlməgənişizda... (p.343)
- 259) Men **sizni** tanib turibman. **Siz** ham meni tanidingiz, albatta. (p.343)

- 260) **Siz** meni kim deb oylasangiz oylan,... Men frontga **sizni** uchratib, o'ch olish niyatida kelgan emasman. (p.343)
- 261) Birov **sizni** lagerga qaytin deyotgani yoq. (p.343)
- 262) Šuni uchun **sizga** bir haqiqatni aytmoqchiman. Men **sizni** qattiq qollik bilan o'sha vaqtda tergov qilgan ekanman... (p.345)
- 263) Lekin šuni unutmanki, men **sizni** dušman deb, dušmanga qilinadigan muomalada bolganman. (p.345)
- 264) Bu **siz** uchun, bošidan kečirgan kiši uchun qiziq, xalos. (p.345)
- 265) Čunki **siz** biz ayblagan kiši bolganingizda frontga emas, bošqa yo'qqa yol olgan bolardingiz,... (p.345)
- 266) ...**sizni** bezovta qilmaslikka qaror qildik. Lekin **sizni** barča kuzatuvimizdan xabar topiŝingiz qiziq. Bu sir qoliši kerak edi. **Sizga** kim aytdi? (p.345)
- 267) O'čigini aytaymi **sizga**? (p.346)
- 268) Hali **sizga** atalgan iŝni birorta qati ham buzilgani yoq. (p.350)
- 269) **Siz**-či? **Siz** nega yozilmaysiz! (p.351)
- 270) **Siz** meni yaxši bilmas ekansiz. Akaŝgiz **sizga** uyda qanaqa tarbiya bergan bolsa,... (p.351)
- 271) Faqat **sizu** men bilan iŝ bitmaydi-da. (p.352)
- 272) **Siz** meni bilasiz, vassalom, bošqa bilan iŝingiz yoq. Men esa **sizga** iŝonaman. (p.352)
- 273) Men **siz** bilan o'chiqčasi ga gaplašmoqchiman. Roštini aytsam, **siz** juda qaltis iŝ tutyapsiz. (p.353)
- 274) **Sizni** bu xotirjamligingiz meni ajablantirmaydi, čunki **sizni** kimligingizni bilaman,...(p.353)
- 275) - Bardi-yu, **sizga** iŝonsak nima nafiŝgiz tegadi?
- Bu **sizni** qobiliyatingizga bo'g'liq! (p.354)
- 276) **Sizga** padarim nima qildi? Qizini **sizga** čorilikka berib,... (p.372)
- 277) Men olayu, **siz** qutuliŝ. (p.372)
- 278) **Siz** kečikib xabar beryapsiz, ortog' Qo'qorov,... (p.374)
- 279) Mirzohidov **sizni** uŝtingizdan allaqachon anonimka tašlab bolgan. (p.374)
- 280) Šunday qiliŝki, Mirzohidovniŝ ozi ham **sizdan** šubhalanmasin! (p.374)
- 281) Aziza Mirsalimovna **sizni** tanir ekanmi, juda qorqib ketdi. (p.375)
- 282) **Sizni** ham koradigan kun bor ekan-ku! (p.376)
- 283) Adolat xalam yaxši yuribdilar, ikki kozlari **sizni** yolingizda,... (p.376)
- 284) Qani hamma yomon **sizga** oxšagan bolsa,... (p.372)
- 285) Bu ham **sizni** baxtingiz, Sodiq aka, juda katta baxtingiz. Bolmasa **siz** tušgan vagon qularmidi! (p.379)
- 286) **Siz** šu yerda turiŝ! (p.381)
- 287) **Sizdan** bošqa biladiganlar ham bormi? (p.382)
- 288) Men **sizga** tušimni aytayapmanmi? (p.382)
- 289) Keyin **sizni** bošingizga tez yuriš to'g'ri kelmaydi,... (p.384)
- 290) Halig doktr qiz **sizga** kim boladi? (p.384)
- 291) **Sizga** juda kop gaplar gapirganman. (p.393)
- 292) Akaŝgiz qamalib, **sizni** institutdan bošatišgandan («haydašgandan» deyišga tili bormadi) keyin bir učrašdik-ku, činorli xiyobonda. Men **sizni** uyingizdan čaqirib čiqdim. (p.393)

Togʻay Murod. 2001. Bu dunyoda oʻlib boʻlmaydi.

- 1) **Siz** tuman bõrib keldingiz, **siz** aytiq? (p.2)
- 2) - Ha, šu **siz**, šu **siz**! - dedi.
- Unda, sizlarga tõpširiq bõriqlar, meni kim ekanimni bilib keliqlar! (p.2)
- 3) Mana šu qizaloqni ola ketiq, **sizga** qiz boladi! - dedi. (p.5)
- 4) **Siz** Mirzaxojabõyni kenja zaifasi... Zaynab... Zaynab xõtinmisiz? (p.5)
- 5) **Siz** kimni zurriyõtni bõzõrga õlib õiqqaningizni bilyapsizmi? Kimsan, Mirzaxojabõyni zurriyõti! (p.6)
- 6) Baribir emas-da, ortõq rais, baribir emas-da... Nega **siz** bilan biz yuribmiz, ular esa õõlikdan oladi?... **Siz** bilan biz firqamiz.
Šunday ekan, **siz** bilan biz sovet tuzumi dušmanlariga qarši kokragimizni qalqõn qilišimiz kerak. (p.8)
- 7) Šuniq uõun **siz** bilan biz õõarõilikka qarši šafqatsizlarõa kuraš õlib bõrišimiz kerak. (p.8)
- 8) Ortõq rais, **siz** aytgandek, kazo-kazõlarga qaraladigan bolsa, õõarõilikni tugatib bolmaydi. (p.11)
- 9) - Firqa bõva, meni õlib ketiq, - deya inqilladi.
- Ozinga en bolõlmayman, **sizga** qanday boy bolaman? - deya oksindi Bõtir firqa. (p.11)
- 10) Bizga **sizdek** kommunistlar kerak! - dedi Oxunboboev. - ...Biz **sizni** kotaramiz! (p.12)
- 11) - Endi, ortõq Rašidov... Men obkomga yaqinda keldim, - deya manqalandi...
- **Siz** išni kelgan jõyidan davõm ettirman! - õvõzini kotardi Šarõf Rašidov. (p.19)
- 12) - Nima, endi **siz** ham amir Olimxõnni išlarini... kelgan jõyidan davõm ettirmõqõimisiz?
- Men... men... (p.19)
- 13) - Men **sizni** õxirgi amirga tenlaštirmõqõi emasman. Mana, **siz** fargõnaliksiz... Šuniq uõun ham partiya **sizni** mana šu võhalarni bõg-bostõnlarga aylantirsın, deb yubõrdi...
- Vinovat, Šarõf Rašidoviõ, vinovat. Men... tušunmabman. (p.19)
- 14) Orõl **siz** bilan bizdan õldin ham bõr edi, **siz** bilan bizdan keyin ham boladi!... Suvi kamaysa, **siz** bilan biz aybdõr bolmaymiz...
Siz, õõl-biyõbõnda hayõt keõirayõtgán xalqni oylan! **Siz**, õyõqlaringiz õstida õõllab yõtgán tuprõqni oylan!... **Siz** bilan biz mana šu õõl-biyõbõnlarni inšõn yašaydigán makõnga aylantirmasak... (pp.19-20)
- 15) **Siz** frantsuz avangardizmini qayerdan bilasiz, ortõq Mirzaxojaeva? (p.21)
- 16) - U bõla **sizga** kim boladi?
- Qizim bilan bir jõyda išlaydi. (p.22)
- 17) Kim aytadi **sizni** raykom sekretarini õgli deb?... **Siz** ozi qaysi jamiyatda yašayapsiz? (p.23)
- 18) ...**Siz** qaysi jamiyatda yašayapsiz, ozi?... **Sizni** xõnadõningizda esa... isiriq kezib yuribdi, isiriq! (pp.23-24)
- 19) - Men oylan-oylan,... Rajabovni qabulxõnasiga telefon qilmoqõi boldim...
- ...Axir, ortõq Rajabov **sizni** redaktoringiz emas-ku? - dedi rais. (p.24)
- 20) Ortõq bõš vraõ,... **Siz** ham masalaga partiyaviy yõndašib, meditsina terminlarini partiyaviy tušuntirib beriñ. (p.27)

- 21) - **Siz** Madievni qayerdan bilasiz?
- Qayerdan bilardim, iʃonʻli manbalardan bilaman. (p.28)
- 22) Uka, ʃaxsan men ozim **sizni** kommunistik partiya safiga qabul qildim. (p.28)
- 23) Rahmat, uka,... **sizni** qollab-quvvatlaʃimni bilganidanmi, ortʻoq Rajabov meni jonatdi. (p.28)
- 24) Lekin **sizni** hurmatigiz uchun davolaniʃ muddatini ulti oyga kamaytirib beriʃim mumkin. (p.29)
- 25) **Siz** ʃoir-ʃoir deysiz. Mana ʃu palatada... general yotibdi, general! (p.31)
- 26) **Siz** bolsa, ʃoir-ʃoir, deysiz. ʃoiringiz kim bopti? (p.31)
- 27) **Siz**gayam ʃunaqa ust-bʻoʻʃ olib beraymi? (p.32)
- 28) Aytdim-qoydim-da, rais bʻova, - dedi. - **Siz** katta ʻdamsiz, partiya veteranisiz. **Sizga** yaraʃmaydi. (p.32)
- 29) **Sizni**ʇa, qayerga qoygani maʻqul? (p.34)
- 30) Zamʻn sen ga boqmasa, sen zamʻnga boq, deydilar. **Siz** zamʻngayam... bunday bir qaraʇ- da, rais bʻova. (p.39)
- 31) **Siz**, ozi... kim ekanligingizni bilasizmi, rais bʻova? - dedi. (p.41)
- 32) **Siz**, respublika yaratgan ʻdamsiz, rais bʻova, **siz** respublika qurgan ʻdamsiz! **Siz** bolmaganingizda... (p.41)
- 33) Albatta-da, rais bʻova. **Siz** bolmaganingizda... bu imʻratlar qayerda edi, bu yurtlar qayerda edi? (p.41)
- 34) **Siz** qurgansiz, rais bʻova, **siz** qurgansiz! - bid-bid etdi kampiri. - Davlat degani **siz**, **siz** degani davlat, rais bʻova! (p.42)
- 35) Bʻr, mana, **siz**, biz ham qayta quruvʇimiz. (p.52)
- 36) - Bʻr, **siz** bilan biz yoʻʃlarni bilmaymiz, bʻr.
- **Siz** obkom Rajabovsiz, **siz** burjua mafkuraʇilarini namuna qilman, ortʻoq Rajabov! (p.52)
- 37) **Siz**, sovet xalqlarini qafasdan qutulib ʇiqqan... kaptarga oxʃatyapsiz-da? (p.52)
- 38) Ozi, yaxʃilab oylab qaralsa, **siz** aytgan ʻzʻdlik... teʃsizlik, demak. (p.54)
- 39) Ana **sizga** ʻzʻdlik, mana sizga ʻzʻdlik! (p.54)
- 40) ʇfarin, ortʻoq Esʻnov, ʇfarin! - dedi Rajabov. - **Siz** dʻno partiya-sovet arbʻbisiz! (p.58)
- 41) - Men **sizni** aql-zakʻvatingizga... obkomdayʇ qʻyil bolib edim! Endi esa men **sizga** siginaman!
- Ortʻoq Rajabov, **siz** obkomni birinʇi sekretarisiz, byuro aʻzosiz! **Siz** otirin, ozim ʇoy olib kelaman. (p.60)
- 42) U **siz**, ortʻoq Esʻnov, u **siz** Bʻtir firqa, kommunist Esʻnov, raykom Esʻnov! (p.63)
- 43) Kozni ʇirt yumib, yutib yubʻrin, - dedi kampiri. - Men **sizga** arʇq iʇin, deganim yoq. (p.65)
- 44) Brejnev davrida barʇa **sizni** ortʻoq Esʻnov, der edi, Bʻtir firqa, der edi. (p.67)
- 45) **Siz** nomer birinʇi erkak ediʇiz, men nomer birinʇi ayʻl edim. (p.67)
- 46) - Hanifa Rajabovna, men... ozimga en bolʻolmayman, **sizga** qanday boy bolaman?
- **Siz** Rajabovni ham sinfdʻsisiz, ham dostisiz. Oʻʃani uchun faqat **sizga** telefon qildim. (p.69)
- 47) - ʃu, oziniyam bir koray? - dedi.
- Aslida mumkin emas. Lekin **sizga** mayli. (p.70)
- 48) - Ortʻoq Esʻnov, meni olib ketin...
- Bardam bolin, ortʻoq Rajabov, bardam bolin! - dedi Bʻtir firqa. - Men **sizni** olib ketaman! (p.71)
- 49) - **Sizga** nima boldi? - dedi. - Tuppa-tuzuk professor-a, professor!
- Men bularga teʇ bolmoqʇi emas edim, janʻb doxtir...

- **Siz**da ham qoʻshin bormi? - dedi boshliq. (p.72)
- 50) - **Sizga** necha marta aytaman, aralaşman, deb? Mana, yana aralaşibsiz! - kuyundi boshliq.
- Aralaşmay boladimi, janob doxtir,... Aytaylik, Kutuzov kim? Kutuzov **sizga** kim boladi? (p.73)
- 51) **Siz** eņ avvalb, oz ona-vataniņgizni farzandi bolin!... **Siz** Amir Temur bolin! **Siz** Bobur bolin! **Siz** Ibrohimbek bolin! (p.73)
- 52) Ortog Rajabov, **siz** qimirlamay yotin, ozim kelib olib ketaman! (p.73)
- 53) Endi, gap bunday, otaxon. **Siz** ham, ortog Rajabov ham ona-vatanga xizmat qilib qoygan zotsizlar! (p.74)
- 54) **Siz** aytgan ukollar boshqa, otaxon, boshqa. (p.74)
- 55) Orolga ulasa, **sizga** nima. **Siz** xizmat qilib qoygansiz. Mana isboti - orden! (p.75)
- 56) Kommunist Esenov, **siz** Orolga qanday yordam berasiz, desalar nima deyman? (p.80)
- 57) **Siz** bu shaharda kopdan buyon islaysizmi, uka? (p.86)
- 58) - **Siz**...
- Men toşga bitik bituvchim. (p.86)
- 59) - Mabodo oşalar orasida... men yoqmidim?
- Yoq, **siz** yoq edingiz. (p.87)
- 60) - Xop, **siz** omonatiņgizni bemalol topşirib kelaverin. Buyogini bizga qoyib berin.
- Nima qilay-nima qilay?
- **Siz** oldin omonatiņgizni berib kelin. (p.87)
- 61) - Unda, **siz** ham chatog ekansiz, otaxon.
- Beayb parvardigor, uka, beayb parvardigor.
- Unda, **siz** bilan mulogotda bolish xavfli ekan... (p.94)
- 62) - Endi, **siz** el-yurtni savob islarini qilyapsiz, uka. El-yurt xizmatini qilyapsiz. Şu bois, kongildan cıqarib olib keldim.
- Rahmat,... Men **sizga** aytsam, otaxon, bandaçilik - xudoyi taolonin dargohiga mehmon bolib boriş, demaqdir. (p.94)
- 63) Kopni duosi kol, deydilar, otaxon. **Siz** oqsogollar faqatgina duoi fotiha berasizlar, boldi. (p.100)
- 64) - Iya-ya! - dedi Botir firqa.
- Lekin **sizni** kop qaradilar.
- Hamma boldi, faqat **siz** bolmadingiz. (p.101)

合計 102 例

Tohir Malik. 1994. Shaytanat. 1-kitob.

- 1) **Siz** qamogga olindiņgiz, - dedi past boyli adam, unin orqasiga otib. (p.4)
- 2) **Siz**midingiz? Qorqib ketibman, - dedi. (p.7)
- 3) Yo-oq. Heçam unaqamas. **Sizni** nimaga cıqarib yuborişmayapti, hayronman. **Sizga** yana yangi dorilar buyurişibdi. (p.7)
- 4) **Siz** eşitin, bu yangisi. (p.7)

- 5) Men o'snam bilan gaplashib olay, malol kelmasa siz chiqib turin. (p.8)
- 6) Siz hujjatlarni to'g'rilan, hozir ketamiz. (p.9)
- 7) Ha, siz hujjatlarini to'g'rilayverin. Tabibbo'shi ham zoraki jilmayib, chiqib ketdi. (p.10)
- 8) Asadbekka muhabbat begona, desam, siz ishonin. (p.14)
- 9) Siz bu gaplarimga unchalik ishonmadingiz... Asadbekning uyda musulmonsheva bolishi siz uchun galati tuyulishi mumkin. Lekin men sizga Asadbekning onasi haqida hali sozlaganim yoq. (p.14)
- 10) Oqlovchi songi suhbatda «yaxshi odamlar oraga tu'sib sizni otuvdan olib qolishi. Giyohvandlik, qotillik oliy jazoga loyiq edi. Siz mennga emas, o'sa odamlarga qulluq qilin», degandi. (p.18)
- 11) Sunday ekan, siz ham asardagi yangi taniyingiz Jamshidning kamgapligini asosiy fazilat deb bilaverin. (pp.18-19)
- 12) «Keldim» deb ham qoymaysiz-a, hofiz,... Har holda men sizga begona emas edim. (pp.19-20)
- 13) Siz mening ziyofatlarimni gullatar edingiz. Sizni yoqotishdan men nima naf korarkanman? Aksincha, zarar kordim. Siz kimgadir yoqmay qolgansiz. (p.20)
- 14) Sizni himoya qilishim kerak edi. (p.20)
- 15) Siz endi o'sa naychini qidiraysiz, bilaman. Qidirmaganingizda sizni ogil bola demas edim. Naychi bilan... allaqachon hisob-kitob to'g'ri bolgan. Siz uni oylaman. Siz...uylandingizmi? (p.20)
- 16) Siz en zor asula'chi bolishingiz kerak. (p.20)
- 17) Televizor, radio faqat sizni asulalaringizni beradi. (p.21)
- 18) Siz asula aytganingizda Ortiqlar «amma-xolasi havodor» deb etak ochib otiradi. (p.21)
- 19) Siz kop soramaysiz, bilaman. Nari borsa, sizga qul bolishim kerak-da, a? (p.21)
- 20) Bu ish sizga topshiriladi. (p.23)
- 21) Agar siz aytganday Asadbekning yoliga to'ganoch bolsa, osongina yoq qilishmasmidi? (p.27)
- 22) Zohid siz bilan biz kabi dunyodan adolat izlardi, haqiqat topmoch istardi. Mana, ozingiz tasavvur qilib korin: siz ham kimnidir yomon korasiz. (p.29)
- 23) Xullas, siz ham kimnidir yomon korasiz. (p.29)
- 24) Agar'chi bu fojidan quvonsangiz, «oldirib ketishgani yaxshi bolibdi», desangiz, u holda siz odam emassiz. (p.29)
- 25) Endi sizga Zohidning tuygusi qisman ma'lum. (p.29)
- 26) Siz qoradorigufurushlikda ayblanyapsiz. (p.30)
- 27) Siz... adashmayapsizmi? Gunohim boshqadir? (p.30)
- 28) Sizni tilingizda yengilmi yoxil ogirmi, bilmayman. (p.31)
- 29) - Siz-chi?
 - Umrimde qilmaganman bunaqa ishi.
 - Qoningiz tekshirilganda tarkibida qoradorigi topilgan. Siz faqat arochdan emas, qoradorigidan ham mast edingiz.
 - Yolg'on.
 - Sizga sudmedekspertiza xulosasini korsatamiz. (p.31)
- 30) - Siz kimdan qorqaysiz?
 - Kimdan qorqaysiz? Men qorqmayman. (p.31)

- 31) - Qoradörini **sizga** kim yetkazib berar edi? - deb soradi Zohid asosiy maqsadga koçhib.
 - Tanimayman, - dedi Namozov gap ohangini ozgartirmay. (p.31)
- 32) **Siz** ilmdan boşqa narsalarga ham heç aralaşganmisiz? (p.32)
- 33) - Išontirij, deysizmi? Men jinoyatçi ekanimga **sizni** išontirişim kerakmi? Qiziq-ku?
 - Ha, qiziq. Aslida men **sizni** išontirib, aybingizni boyniñgizga qoyib, qamatişim kerak.
 - Ayblayverij. Men tønmayman. (p.32)
- 34) **Siz** men bilan oldi-sotti qilmañ. (p.32)
- 35) **Siz** olim odam ekansiz. (p.32)
- 36) **Sizni** bilmayman-u, ammō Zohidniñ boşiga šunday savdo tuşgan. (p.34)
- 37) **Sizga** yolgōn, menğa çin - ministrniñ oğli kirdi. **Siz** tuzgan masalani ham zor qilib yeçib bergandir. (p.34)
- 38) Bu šaharga xojayinlik qiliş faqat **sizga** yaraşadi... (p.40)
- 39) - **Sizni** çiqarib yuberişmoqçi bolişgan ekan, oziñgiz konmaganmişsiz? - dedi hamşira.
 - **Sizni** taşlab ketgim kelmadi, - dedi Anvar, jilmayib. (p.44)
- 40) Dilobar, - dedi u, - **siz** meni tuşunmadiñgiz.Men **sizni**ñ qoşu koiñgizni emas,... (p.45)
- 41) **Siz** mendan nafratlanmañ, agar **siz** mendan ranjisangiz... men dunyodan nafratlanaman. (p.45)
- 42) **Siz** soğlōm yigitsiz. Bu yerga tuşib qolganıñgizdan ezilyapsiz. Ezilmañ, uka. (p.48)
- 43) Men boyatdan beri **sizga** qarab yotibman. Haykalga oxşab qotib otiribsiz. Men **sizga** aytsam, - u Anvarniñ quloğiga šivirladi, - men ham sōppa-soğman. (pp.48-49)
- 44) **Siz** ham šartta-šartta gapirib yuboraverij. (p.49)
- 45) - Bu juda yaxşı! - dedi Elçin, - ular meni kuzatişadi, **siz** esa oşni pişirasiz.
 - Men pişiraman, sen suzasanmi? (p.51)
- 46) - **Sizda** gapim bōr, - dedi ayol siniq ovōzda.
 - Yurij, - dedi Zohid. (p.58)
- 47) **Sizga** bir nima deyişim qiyin. (p.59)
- 48) **Sizga** bu gaplarni birōv orgatdimi yō oziñgiz oylab tōpdingizmi? (p.60)
- 49) **Siz**... uyiñgizga bōrij. (p.60)
- 50) Keçirasiz, opa, **siz** kim bolasiz? (p.60)
- 51) **Siz** ketaverij. oş-poş pişgunça eringiz uyiñgizga kirib bōradi. (p.60)
- 52) **Sizga** šuni aytgani kiruvdim. Ovōra bolib qoğōz titib yurmañ. Omōn bolij, oşna. (p.61)
- 53) Namozov, **siz** ozōdsiz. Ayblariñgiz isbotlanmadi. (p.61)
- 54) Yaxşı odamlarniñ nazari **sizga** tuşibdi. (p.62)
- 55) - Uka, **sizni** tanimayroq turibman?
 - Tanimaysiz. Bir yaxşı odamni duo qilaverij. Šu odam **sizga** muruvvat qilmasa, qamoqda çirib ketardingiz. (p.62)
- 56) Yaxşilab bilib oliñ, okaxon: **sizni** panohiga olgan odam kerak bolsa ottiz miñdan ottiz miñtasini boşingizdan soçadi. (p.63)
- 57) - Jalil uydami? - soradi Asadbek.
 - Yogidilar... Ertalab çiqib ketuvdilar... Bugun birinçi... **Siznikiga** ketdilar, debman. (p.66)

- 58) Kennəyi, siz bezovta bolmaŋ.. Men hazır ketaman, - dedi Asadbek urinib qəlğan divaŋa otirib. (p.66)
- 59) Vəy, əvərası bərmə, siz hər künə kelib yuribsizmi? (p.66)
- 60) Siz «Xoş, öziniŋ ər-nəmusi-çi?» deyişingiz mümkün. (p.69)
- 61) Ləkin siz işəniŋ. Məl-dunyəsi behisəb, ol dəsa oladigan ədamları bər bolğan həldə hasratını ešitadigan hamrəzi yəq kişiniŋ həligə siz ham rəhm qiliŋ. (p.71)
- 62) Bəgim, bir qəšiq qənimdən keçiŋ, sizgə nətəgri informasiya bərişibdi. (p.74)
- 63) Billələşib bərsam, bəram yərəsədi... Siz bilən bərsək, ikki marta həy qilgəndəy bolamiz. (p.74)
- 64) - Həy, həy, qəriŋən, səvuq nəfas qilmaŋ.
 - Sizni inşəfəgə çağiriş fəydasiz ekanini bilsam-da...
 - Qəri, kelişib ələylik: siz mənə inşəfəgə çağirmaŋ... Siz mənə qəzi eməssiz. Siz gapni çaynamay muddəgə koçəveriŋ. Siz «Volga»ŋgizni əgiriətib, ələm bilən kelğan ədamsiz.
 - Hə, təqsir, təpib gapirdingiz. Ammə siz təməndən gərrəmlik boldi bu iş.
 - ...Siz kimsiz əzi?... Sizniŋ kitəbləringizdə tuhmətçini nima deyişədi? Tuhmatçiniŋ tilini kəsiş kərəkmi? (p.75)
- 65) Sizniŋ ətəŋgiz Əndijəndə məşhur telpəkfurüş, biləman. Telpəkfurüşlərinəy nəyrəŋlərini ham biləman. Şuniŋ uçuŋ hələlik həqida bəşqələr gapirgəndə siz indəmay yurəveriŋ. (p.75)
- 66) - Tuhmat qilmaŋ, mən Alləhnəy kələmini pulgə sətədigənlərdən eməsmən!
 - ...Şəhərdə mənə Asadbek bər. Siz bittəsindən gümənsirəbsiz. (p.76)
- 67) Ə, kəliŋ, Zəhidjən, yəŋgi yilləri qutluğ bolsin... Sizni çağirəman, dəb turuvdim. (p.76)
- 68) Siz yəşsiz, əsədigən yigitsiz, bəməsləhət işləyveriŋ. (p.76)
- 69) Sizni zor işlər kutib turibdi, əzizim. Əsədigən ədəm məydə-çuydəgə ərələşməsligi tuzuk. Sizdən əmidim kəttə. (p.77)
- 70) Siz bilən xətirjəm bir-ir gapləşəmiz. (p.77)
- 71) Mən sizgə daldə bəri, kəŋlingizni kətarmaqçı ədim. (p.80)
- 72) - Səlimçik, mənə buni yəpiştirib qəy, - dēdi juvən qəŋgizməyləvli qərəvulgə bir pərçə qəgəz əzətib.
 - Siz yəpiştir, dəysiz-ku, biz yəpiştirməymizmi, - dēdi qəŋgizməyləv, ərnidən turib. (pp.83-84)
- 73) - Əjərlək qilib çiqməy qəlğaningizdə sizni çindən ham tələbə dēgən bolərdim...
 - Bəratələ məjruhlikkə çiqarib yubərməysizlərimi işqilib? - dēdi Ənvər xəvətir bilən.
 - Qorqmaŋ, - təbibbəši «həliŋ şumidi» dēgəndəy yənə iljəydi,...
 - ...Sizni tərtib kəriş yənəgi səfərgə qəlarkan-da ə? (p.84)
- 74) - Xəfəlik sizgə yərəşər ekan, kəzləringiz çirəyli bolib kətərkən.
 - Qəyiŋ, gapirmaŋ, - təbibbəši ərnidən turib dərəzə təkčəsiga qətər tərilgən tuvakdəgi gullar əldigə kēldi...
 - Jinnilik ham əvi bilən-da, - dēdi u nəhəyət. - Kimlingizni bilməymənmi? Siz ələmingizni mēdən əlməqčisiz. Mən bir bēçərə tul əyəl bolsam. Sizniŋ ərkək dēgən nəmingiz bər... - təbibbəši şundəy dēgəç, Ənvərgə əgiriłdi. - Hə, fəqət nəmingiz bər. Gapimdən rənjimaŋ, yəlgiz siz emə, həməŋgiz... bərsiz... (pp.84-85)
- 75) Siz çiqib kim boləsiz? Siz ham Əsədbekniŋ yələgini yələysiz. (p.85)
- 76) - Şu ər sizni, mən bilən bərpəsəgina otirsən, kəyin əlib çiqib kətəsiz.
 - Vəy, əyi, gapingizni qərəŋ.... (p.86)

- 77) **Sizni** bir bərib korəlmədim,... Ammó har vaxt duələrdə jumla dardmandlar qatərində **sizga** ham şifə tilədim. (p.90)
- 78) - **Sizni** qariçingiz bilən olənsə şundaydır. Ammó Alləhnin uyi haləl peşəna teri bilən təpilgən pulgə qurilməgi bəzim.
- ...Peşəna teri evəzīgə təpilgən pul qərin toygəzişgə yetməydi həzir, **siz** maçit qurişdən gapirasiz. (p.91)
- 79) **Siz** uni taniysizmi? (p.91)
- 80) Elçin **sizmisiz**? - dedi qəri ma'nədər qilib. (p.91)
- 81) **Sizga** şu nayrañbəzlik yəqədimi? (p.91)
- 82) Xənzədaxən, bələm, **siz** Rəbiyaxəngə aytib qoyiñ, Səbitxən mənə bir koriniş bersin. (p.95)
- 83) **Siz** sira qorqmañ. Mən jinni emasman. Nima bolganini **sizga** keyin aytaman. (p.95)
- 84) - **Siz** xalqparvar ədamsiz. Xalqniñ aziyat çekkan bir bələsi bər, şuni Kuyəv qiliñ,...
- Qizim yəş, oqiydi, uzatiş niyatimiz yəq. (p.99)
- 85) - Otərçi **sizni** nəmingizdən bərib, əsnasini çiqartiribdi.
- Kim ekan, əsnasi, aniqła. - Asadbek şunday deb ornidan turdi. (p.100)
- 86) Dadası, endi **sizga** nima deb javəb berəman?! (p.102)
- 87) - Ha, oğlim, mənə birəvgə oxşatıyapsizmi? - dedi paxməqsəqəl onğaysizlanib.
- Oxşatıyapman... **Siz** ottiz ikkinçi məktəbdə işləməgənmisiz?
- Ha, endi... şorələrgə ham xizmətimiz sığınan. Sababi tirikçilik-də. **Siz**, oğlim, şu məktəbdə oqıgənmisiz?
- Tikilmañ, tanımaıysiz mənə. **Sizni** qamalıb ketgən deb eşituvdim. (p.104)
- 88) - Şəkkəklik qılmañ, oğlim.
- **Siz** aytgənimni bəjarıñ, - Kesəkpəlvən bu safar təhdid bilən gapirdi. (p.104)
- 89) - Jaləl Kəmilov **sizni** oğlingizmi? - deb soradı Zəhid.
- Ha... şunaqə dəsə ham boladı, - dedi ayəl, çimirilgən həldə. (p.110)
- 90) Mənə qarañ, uka,... **Sizga** ruxsat - ayəl şunday deb ornidan turdi. (p.111)
- 91) Zeli əgə, **siz** mənə tuşuna əlməysiz, - dedi Elçin, uniñ quçəgidən boşəgəç. (114)
- 92) **Sizga** aytəlməyman. (p.114)
- 93) Yutdingiz, akaxən. Endi mənə ruxsat. **Siz** bilən rəsə çəqəqləşədigan xənası ekan-u, ammə vaxt ziqrəq. (p.115)
- 94) - **Sizni** işingiz kop, aka, biz esə bəkərçi ədammiz. Bəşingizni əğritməy, deyməndə, - dedi Elçin.
- **Siz**day məhribən ukaxənlərdən yənə ikkitəgına bolsə jənnətdə yurgəndəy rəhat qilib yəşərkənmiz... (p.118)
- 95) **Siz**dek nəzikta'b ədəm... (p.118)
- 96) **Siz**, əğayniçəliş, fəqat çəynəb yutdingiz. (p.118)
- 97) - Mənman, əvsin, - dedi Manzura.
- Vəy, aylanay **sizdən**, əgəçi, tanımaıbmizə. (p.121)
- 98) Vəy, əgəçi, məsləhətsiz bolərkənmiz bu iş. **Siz** məsləhətləşin, yəşlər bir-birini korsin, yəqtirsin. (p.122)
- 99) **Siz** nima deb oqidingiz? (p.125)
- 100) Qəri aka, ixləs-ku bər-ə, ammə həjət yəq. Es-huşim, Xudəgə şukr, jəyidə. Yə **siz** ham? (p.125)
- 101) **Sizdən** yənə iltiməs qılaman, - dedi Anvar uni bəğrigə bəsib. - Həmmə oyləsə ham, **siz** mənə jinni deməñ. (p.128)
- 102) Biz- ikkəlamiz. Yə'ni, **siz**u mən. (p.136)

- 103) - Bu meniñ qolımdan kelmaydı.
- 104) - **Sizniñ** qolıñızdan aralaşmaslık kelar? (p.137)
- 105) Fəydanıñ tortdan biri **sizniki**, - Asadbek şunday deb ornıdan turıb, qol uzatdı. Şaríf beixtiyər qol berdi. (p.137)
- 106) - Asadbek qızını uzatdı-ku, **sizni** aytmadımı?
- Safarda edim.
- Attañ... Zor toy **sizga** nasib etmabdi-da, a? (p.138)
- 107) - Unda nima uñun **sizga** tuhmat qıldı... **Sizniñ** qamalıñız uñga nima uñun zarur bolıb qolğandı?
- Sulaymónovniñ işini **siz** olıb bəryapsızmi? (p.138)
- 108) **Siz** koça çağıtıb yurgan kissavur bəla emassız. (p.138)
- 109) - Qaməqxonada **siz** menda bəşqaça taassurət qoldırgan edingiz. **Sizni** olım ədam, ilmdan bəşqa narsanı tan əlməydigan haqiqatparvar kişi, deb oylagan ekanman...
- ...**siz** gapırmañ endi! - dedi Şaríf ornıdan turıb... Oşanda **sizni** laqmaligingiz uñun tiqib qoyış kerak edi. (p.138)
- 110) - ...**siz**daqa ədamları yoq qiliş çot ekanmi?...
- Toxtañ, **siz** nimaga şama qilyapsız?
- Heç nimaga. Ozimča oylayapman... **Siz** oynayotgan oyinniñ qənun-qoidalarını men bilməyman. (p.138)
- 111) Masxara qilmañ. **Sizga** toğrisini aytyapman. (p.141)
- 112) Nega ələqası bolmasın, **sizga** ham ələqası bər uñun telefon qilyapman. (p.142)
- 113) Ləkin har ehtimolga qarşı **sizni** əğəhləntirib qoyamiz. (p.142)
- 114) - Bu yəğiga xətirjam bolıñ, əkaxən. Onta «Kamaz» **sizniki**...
- **Siz**day ukaxənlarga işənməsək, kimga işənamiz, şuncaki sorab qoydim-da. (p.143)
- 115) Gap şuki, oğlim, **siz**dan ham rəzimiz. (p.145)
- 116) - Səli əta, **siz** şu gaplarga işəndingizmi?...
- **Sizniñ** kimligingizni biləmisiz. Qayəqqa qol uzatsangiz yetədi. (p.145)
- 117) Səli əta, it yetəkləb yuriş ədatingiz yoq edi-ku, qariganingizda **sizga** nima boldi? (p.146)
- 118) Adə bolsın, qəçsa **sizga** nima? (p.147)
- 119) - Meniñ nima aybım bər edi, meni nima uñun xorladingiz? - dedi Zaynab, ezilib otırgan eriga qarab.
- **Sizniñ** aybingiz yoq... (p.149)
- 120) **Siz** qətilsiz! - dedi qat'iy. (p.149)
- 121) Xəlidiy degən ədam **sizga** buyruq bəradigan bolıb qəlibdimi? - dedi Asadbek tabibbəşiniñ saləməga alik əlməy. (p.150)
- 122) Kəlin, **siz** heç narsaga əvəra bolmañ. (p.152)
- 123) - Bu gapingiz ham toğri, - deb kulimsirədi Asadbek. - Endi **siz** tilčisiz, gapga ton kiydirvərasiz.
- Mən tarixçiman.
- Ha, endi tarixçilər ham gapga usta bolışadi. **Sizniñ**... Xəlidiy degən dəmləngiz bər, a? (p.152)
- 124) **Siz** bilən bir gaplaşadigan ekan. Qəyilman, - dedi Asadbek, Anvar uzatğan piyələni olıb. - ...**Siz** ham eşitiñ, maslahat bəriñ. Elçinbəy, **sizni** keçəmi yə bugunmi heç kim toyga aytmadımı? (p.153)
- 125) **Siz** san'atdagi əbroyingizni tikləb əlişingiz kerəkmikin? (p.153)

- 126) ...sizinning obroyingiz meni ham obroyim. Sizni... o'glim deganman. Anvarjon, siz guvohsiz,... (p.153)
- 127) Sunnat Jorayevich er oldin sizga uchrashimni aytdilar. (p.154)
- 128) Siz... Xolidiy degan buyuk olimni esitganmisiz? (p.154)
- 129) Siz xohlagan kitobingizdan foydalaniyingiz mumkin. (p.154)
- 130) Siz Sunnat Jorayevichingizdan sorab kelin, shunga qarab gaplashamiz. (p.155)
- 131) - Nimalarni oqidingiz?
- Siz aytgan ikkala kitobni. Keyin Gafurov degan olimning kitobini. (p.155)
- 132) - Tarix bularga oyinchu! Siz ozingiz qanday fikrdasiz?
- Men hali organib chiqishim kerak. (p.155)
- 133) - To'g'risini aytsam, siz haqiqatni yozsangiz-u, ular amaldor bolsalar ishlari yurishmay qolarmikin, demoqchiydim.
- Bizning qorqadigan joyimiz yoq.
 - Siz shu yerda ilmiy ish qilishingiz kerak ekan.
 - Yoq. Men ham maktabga boraman. (p.155)
- 134) Siz qozgolonni Mihtepadagi masjidning qulashiga bog'laman. (p.155)
- 135) Ilmiy kotiblikka men sizinning nomzodingizni korsatgan edim. (p.156)
- 136) - Tu'sunmadim? - dedi Xolidiy, yuzidagi soxta jilmayishni asragan tarzda.
- Siz ottiz bes yil qanday ishlagan bolsangiz bularingiz uch yuz ellik yil shunday ishla'sadi. (p.156)
- 137) Ustoz,... Hamma onasining qornida toqqiz oy yot'sa, siz yetti oydayuq tugilib olgan ekansiz, shu to'g'rimi? (p.156)
- 138) Gulnora opa, yomon gap aytmayapman. Sizinning gapingizni tasdiqlayapman. (p.157)
- 139) - Menga sizday chortkesar, bir sozli yigitlar yuqadi. Mana endi sizinning zamoningiz keldi. Sizga havasmandman... (p.158)
- Ha-a, «ustoz», siz itdan ham... baquvvatsiz.
- 140) - Gapni ham esvorasiz-da, mulla Anvarjon!
- Siz bolimimizga mudir bolibsizmi? (p.158)
- 141) Siz menga ikki masalada yol bermagan edingiz, esingizdan chiqdimi? (p.158)
- 142) - Shunga qarab siz ham ozgardingizmi?
- Mulla Anvarjon, zaman har qanday odamni ozgartiradi. Hatto sizni ham.
 - Men siz aytgan «har qanday» toifaga kirmayman. (p.158)
- 143) - Katta ketman, uka. Siz siginib yurgan ustozlaringiz ham yertolada bir qiynoqdan otga, qollari qaltirab, hamma qog'ozlarga imzo chekib berishgan.
- Siz hammi?
 - Siz igvonning inini kavlayapsiz. Men haqiqat deb yigirma bes yilga qamalganman.
 - Sizga ogir botadigan gap aytgan bolsam, uzr. (p.159)
- 144) - Xo'sh, ertak tugadimi? - dedi Xolidiy. - Qissadan hissa bolishi kerak?
- ...Nima, o'sha yos olim siz edingiz, deymi? (p.159)
- 145) Mulla Anvarjon, bu gaplarni qoyin. Men sizni dissertatsiya masalasida chaqirtirdim. (p.159)
- 146) Siz sal yanlishdingiz, «ustoz». Siz menga otalik qilib, davolansin, deb jinnixonaga yuborgan edingiz. (p.160)

- 147) - **Siz** mənə bir gapni aytiñ: Jalal Kəmilovni əxirgi marta qaçən korgansiz?
 - Jalal Kəmilov öldürilganda men yoq edim. (p.162)
- 148) - Menam **siz**ga oxşab sorəvdim, «komsomol yollanması bilan bərib keldim», dedi. BAMga bərgandır, deb oylabman.
 - **Siz**da «işləydi», degən royxatda turardi. Uniñ əsəsiy işi nima edi?
 - Uni **siz** işga əlgənmisiz? (p.163)
- 149) Arizaga u kişi imzə çekib, **siz** buyruq bergansiz. (p.163)
- 150) - Kəmilov **siz**ni taksida qayerga əlib bərib qoydi?
 - Esimda yoq. (p.163)
- 151) - Atayin **siz**ni əlib bərdimi yə oşa yəqda işi bə ekanmi?
 - Bilmədim, əlib bərdi, pulini bərdim. (p.163)
- 152) - **Siz** idəradagi gırrəmliklər üçün cavəbgərlikkə tərtiləsiz, buni biləsiz... **Siz** bəlkə qətil eməsdirsiz,...
 - «Bəlkə qətil eməsdirsiz», degəniñiz nıması? Nima üçün men qətilni yəşirişga urınarkənman?! (p.163)
- 153) - Əldin «**siz**dan gümənımız yoq», dedəniñiz-ku?
 - Ha, şunday dedim,... Kəlgəniñizdə şu fikrdə edim. (p.163)
- 154) Bizdəgi məlumətlərgə qaraganda **siz** oşa kün Kəmilovniñ uyiga bərgənsiz. (p.163)
- 155) - Uç yuz bəruvdim, yuzini qaytarib bərdi. **Siz**dan fəyda əlməyman, dedi...
 - **Siz**dan nımanı iltiməs qıldı? (p.164)
- 156) - **Siz** uyni qanday tögirəlb bərməqçi edəniñiz?
 - Men xə qilib bərsəm bəs, qəlgəniga əziniñ işənçli ədamları bə ekan. (p.164)
- 157) **Siz** kəlgəniñizdə uy qanday əhvəldə edi? - deb soradı Zəhid orinbəsərdən. (p.164)
- 158) - **Siz** uni tanıysizmi?
 - Yoq... Əçigi... Jalal meni uyga qoyib, əzi bə yəqqa kətdi. (pp.165-166)
- 159) **Siz**ga əsa, - Zəhid orinbəsərgə yuzlandı, - həzirçə ruxsat. (p.166)
- 160) - Bilsən nıməgə soraysən. Çiqib keldim. Xizmətiñ bəlsa, ayt.
 - Xizmətni qoyiñ, əgəjən. Xizmətdə mənə, biz bəlamiz. **Siz** izzətdə. (p.172)
- 161) Akaxəniñiz **siz**ga qədrdən bəlsələr, toylariga zərrəq əşulaçılarnı əlib bərgəniñiz yəxşımı, dəyman-də. (p.175)
- 162) - Ha, tulki! - Asədbək ornidən turib, əşik təməən yurdi. - Kətdik.
 - **Siz** bərməgəniñiz mə'qul, - dedi Çuvrindi, jəyidən jilməy. (p.176)
- 163) **Siz** təşvişlənməy. (p.176)
- 164) **Siz** bə yəqqa çiqiñ, - dedi, qat'iy əhəndə. (p.177)
- 165) Həzir, bəşləri qətib turgənida **siz** bərib: «Qətil sən'ətkər, u əçini əldi», dəşəniñiz, sira işənmaydi. (p.180)
- 166) - Məsələn, təmir jəvənni əçib-yəpgəni **siz**gə əşitilmədimi?
 - Yoq, hiç nərsə işitmədim. (p.181)
- 167) **Siz** mənə kəp gəplərnı aytgənsiz. (p.183)
- 168) - **Siz** aybıniñizni biləsizmi?
 - Aybimmi? İşgə rəsmiyəştirib qoygənimmi?... Vəqtidə bəşətmədim...

- Yoq, **siz** Kəmilovni oxirgi marta korgan ədəmsiz. Uniñ olimida **sizni** ham ayblaşimiz mumkin. (p.185)
- 169) - Yəlgən gapırsam, til tərtnay olay.
- **Sizga** qasam ta'sir qılmaydı. (p.186)
- 170) - Yoq... bılmayman... men undan bitta telpak...
- Orniñgizdan turıñ. **Sizga** ruxsat. (p.186)
- 171) **Sizga** ruxsat deyapman, ketaveriñ. (p.186)
- 172) Vəhidjən qoşnılarnıkida, **sizni** kutaverib səvqətib ketdik. (p.187)
- 173) **Siz** boşqaçarəq fikrdasiz šekilli? (p.189)
- 174) - Pačakılaşıssa **sizga** nima?...
- Men ham kelgindiman. (p.190)
- 175) Okaxən, men **sizni** ədam deb gaplaşışga rəzi boldim. (p.190)
- 176) **Siz** konmay, toğri iş qılğan ekansiz. (p.192)
- 177) - Agar mumkin bolsa... Xizmat yuzasidan emas. Ozim tarixga qiziqaman.
- Tarixga qiziqsangiz men **sizga** kitoblar royxatini beray. (p.192)
- 178) Kim **sizga** yoq dedi? (p.192)
- 179) Čet elga sətvərgan deb, **sizga** nətoğri ma'lumət berişibdi. (p.192)
- 180) - Ertaga Elčin bilan birga kelaman. Jəy tayyərլab qoyıñ, - dedi Anvar.
- Kim bilan kelsangiz ham **sizga** jəy yoq. **Siz** səppa-səğ ədəmsiz. (p.194)
- 181) Bek akamniñ **sizda** işlari bər ekan, - dedi yigit. (p.195)
- 182) Qoyıñ-e, mulla Anvar. **Sizga** yaraşadigan iş emas bu. **Siz** bizga tariximizni toppa-toğri gapirib berıñ. Birəv ğidi-bidi desa bizga qoyib berıñ. **Siz** men haqimda vahimali gəplarni kop eşitgansiz. (p.195)
- 183) Bu ədəlatim **sizni** xorlaməqči bolğanlarnıñ tanəbini tərtnib qoyışga ruxsat beradi. (p.195)
- 184) **Siz** işiñgizni qətnirib bajarganiñgizdan səñ tan berışga məjbur boladi. (p.195)
- 185) Bek aka, **siz** Šərasul Zunnun degan ədamni eşitganmısiz? (p.195)
- 186) Xullas, mulla Anvar, **siz** işiñgizni qılaveriñ. (p.196)
- 187) Dardimiz faqat pulu **siz** oylagəndek ədam oldiriş emas. (p.196)
- 188) - Men unaqa demadim-ku?
- ...Men **siz** bilan uçraşib, məsləhatlaşməqči edim... **Siz** əlim ədəmsiz, bir şugullanib korsangiz... (p.196)
- 189) - Bu işga meniñ nima ələqəm bər? - dedi piča müləhəza qılğəç.
- Həsibəyvaččani **siz** yolga səlişingiz mumkin.
- Menmi? Kim aytdi buni **sizga**? (p.198)
- 190) - Men oşa jəyniñ tuzini ičğanman, - dedi Zelixən gapini təkrərլab. - ...**Siz** gəplariñga işənmayapsiz.
- Ha, - Asədbek şunday deb ornidən turdi.
- Toğri qılasiz, - dedi Zelixən, - darrəv işənsangiz, **sizni** nədən derdim.
- Men oylab koraman. **Sizdan** bir iltiməsim bər. Elčin koprəq **sizga** suyanadi...
- **Siz** haqsiz. Men ham uñga şunday dedim. (pp.199-200)

- 191) **Siz** bilan birga qolsam-çı? (p.201)
- 192) Mendan olmaydi, **siz** berib qoyıñ... (p.203)
- 193) **Siz**dan iltiməs uka... (p.203)
- 194) Zeli əğa, **siz**ga nima boldi? **Siz**ga nima yəmənlik qildim... (p.203)
- 195) **Siz** milisaga işənman, əta. (p.205)
- 196) - Əmənmisiz, aka, bugün quyəs qayəqdan çıqdi, deb tursam, **siz**niñ kelişingiz ekan-da,... **Siz**ni korib avval kozimizga işənmadik...
- **Siz** heç xijolat bolman aka, - dedi yigit. (p.206)
- 197) - Qoyaveriñ işəndim, - dedi Elçin guvəhnəməga qaramay.
- **Siz** bugün sahnaga çıqa əlmaysiz.
- Nimagə endi?
- Kontsert - mafkuraviy tədbir. Repertuarini obkom təsdiqləgan. **Siz** nima aytasiz, biz bilməyimiz. (p.207)
- 198) **Siz** xijolat çekman, Təlibjən... **Siz** tanaffus e'lon qiliñ-u, darrəv pardani yəpman. (p.208)
- 199) **Siz** bahuzur otira turiñ, - dedi Botqa uñga iltifət korsatib. (p.209)
- 200) **Siz** üçün yuqəri biz bolamiz. Biz aytdikmi, taməm! Bəjarişga məjbursiz. **Siz**ga kim buyruq berdi, ministrmi? (p.210)
- 201) **Siz**... bərmədiñgizmi?- dedi Manzura osməqçilab. (p.217)
- 202) **Siz**... qulmisiz? (p.218)
- 203) **Siz**.. pismiqlə!.. **Siz** meniñ ədam ekanimni bilasizmi? (p.218)
- 204) - Xudədan yəşirməganni **siz**dan yəşirməyman... meni öldiriñ.!.. Men... **Siz**ga xiyənat qildim...
- Yoq! - dedi Elçin titrab. (p.220)
- 205) **Siz**ni çağirişyapti. (p.220)
- 206) - Bu janjallarga meniñ nima ələqəm bər? - dedi Asadbek.
- **Siz** u təmənlərdə kop ədamlarni tanıysiz. (p.221)

合計 295 例

Tohir Malik. 1996a. Shaytanat. 2-kitob.

- 1) Adasi, adasi, kəziñgizni açiñ, **siz**ga nima boldi? (p.2)
- 2) **Siz**... həydəvçilər bilan gaplaşdiñgizmi? - dedi Zəhid uniñ gapiga e'tibər qilmay. (p.4)
- 3) Keçirasiz, **siz** Jamşidniñ ənasimisiz? (p.5)
- 4) **Siz** xətirjam bolıñ, narsalariga tegməyman. Tegsam, Xudə ursin! (p.6)
- 5) Bər, **siz** təşviş çekman. (p.6)
- 6) - **Siz**ni yaxşı koraman.
- Yaxşı korasanmi? Vo, klass! Nima üçün?

- **Siz** zorsiz! (p.8)
- 7) - Šerik sifatida **siz** ham qamalasiz, uyingiz musodara qilinadi, - dedi kelganlardan biri.
- Vəy, qamalmay men ola qolay, - dedi əpəqi yığlamsirab. (p.9)
- 8) - Xoinligiñni bilsam ham seni sötmadim, - dedi Šomil uñga.
- **Siz** - zorsiz! Sötmasligiñgizni bilardim. (p.10)
- 9) **Siz**danmi? - U kuldi... **Siz** menğa keraksiz. Men esam **siz**ğa kerakman. **Siz** - zorsiz,... (p.11)
- 10) Yigitali, **siz** bəzərgə bahuzur bəraverin. (p.13)
- 11) Nima bolişini ozim ham bilmayman, **siz** ham bilmaysiz, hattə adam ham bilmaydilar. (p.20)
- 12) **Siz** nima qilib yuribsiz? - deb soradi Zelixən undan. (p.25)
- 13) - Inim, **siz** bəla-çaqəngizniñ yənigə bərin. Yana **siz**ni yoqətib hayrən bolib yurişmasin. Rahmat **siz**ğa...
- İe, dəmləjən... - Yigitali e'tirəz bildirməqçi edi, İsməilbey uniñ gapini uzdi:
- Biz **siz**dan rəzimiz, **siz** ham rəzi bolin... Yigitali, inim, **siz** bəşqalar üçün xijəlat bolman. (p.25)
- 14) Gaplarıñgiz qiziq-ku, inim, ular **siz**ğa nima yəmənlilik qilişdi? (p.27)
- 15) - Lekin **siz** aytgəndəy bolani tiriklayin kuydirmaydi.
- Bittəgina **siz** işənmas ekansiz. (p.27)
- 16) - Šuniñ üçün **siz**ğa yaqinlaşib otiruvdim.
- Ha-a... - İsməilbey qolini uniñ yelkasiga qoydi. (p.31)
- 17) Mehmən, **siz**niñ kimligiñgizni sorəanimiz yoq-ku? (p.33)
- 18) - Otalar, xafa bolmaysizlar, bir gap aytay?
- Heç qanaqa gap aytman, mehmən, biz tuşundik. **Siz** çəy içib otirin, xəbmi, qani, Sətvəldi, tur. (p.33)
- 19) **Siz**, inim, - dedi Ahadbeyğa qarab, - içkariga kirin. Gəssəlgə qaraşasiz. **Siz** esa men bilan yurin, - dedi Zelixəngə. (p.34)
- 20) Ortoq mayor, **siz** telefonda gaplaşgəniñgizçə men kaltafəhmlik davəsini oylab təpdim. (p.38)
- 21) - İbi, **siz** ginrəlmə?
- İşənməysənmi? Qəğəzimni korsataymi?
- İşəndim, ortəq ginrəl. Hammasi yest bolade. Uyda xaladiynada muzdagı bər, əlib çiqaymi? **Siz**ğa tekun. (p.39)
- 22) - Unçalik eməsidir, - dedi Anvar. - Šu işi üçün bu ədamğa fan doktori degən ilmiy unvən berilgan.
- E balə berilməydimi, menğa desə! Yəlgən gaplar yəzilgan deyəpman-ku, **siz**ğa! (p.42)
- 23) - Oqiganman, desəmə negə yəlgən boladi?
- Ana kordəngizmi, **siz** ham bunıñ tarixini bilməysiz. (p.42)
- 24) - E, orgildim.
- Çəyni içib bolgəngə oxşəysiz, a? Men **siz**ni bir xənəgə kuzatib qəysam. (p.42)
- 25) **Siz** işənməysiz Səbirjən, bolgan vəqəə emiş, - dedi «eñ kiçik ilmiy xədim»ğa qarab,... (p.43)
- 26) **Siz** meniñ ərqəmdən yurin, - dedi mudira jerkib. (p.43)
- 27) - U ədam oldirilganida Elçin Fərgənada edi. Keçə keldi. Men ozim ikki marta uyiga bərdim. Darvəzasi berk edi.
- **Siz** xavətir əlman, begunəh ədamni guməngə qurbən qildirib qəyməsmiz. (p.48)
- 28) Nima üçün **siz**nikidan çiqarildi? (p.50)

- 29) **Siz**ga yaraşmas ekan. (p.50)
- 30) - **Siz**ga kim xəbar berdi?
- Bilmədim, uşağı kimdir telefon qilibdi. (p.50)
- 31) **Siz**dan xəfa bolmaydımı? (p.51)
- 32) Bu **siz**ga xəlatı tıyulmayaptımı? (p.51)
- 33) - Bu mənəğə eməs **siz**ga xəlatı tıyılışı kerək. **Siz** menden limonad nima uşun bəməza, deb soran,...
- Bəlkı bu əjablanarlı həlnı oylab korgandirsiz, debman. (p.51)
- 34) - Ha, aytmaqçı, eksqumatsiya ləzım bolsa, **siz**ni yana bəzəvtə qılamız.
- Tışunmadım?
- ...Ətəsi yətgən bolsa, yaqın kışisi sifətində **siz** qatnaşışıñız kerək. (p.51)
- 35) Mən **siz**ga keça aytuvdım yəqın, deb. Tutunıdan bəzərman, deb ojarlıq qıldıñız. (p.52)
- 36) - **Siz** laqmasız, ularnıñ gapıgə işənib otırıbsız.
- İşənmədim, Turdı, heç işənmədim. (p.53)
- 37) - Nıməgə mənəğə qarayapsan, mən orgatıbmənmi?
- Yıgıtlarnıñ gapıgə qaraganda, **siz** qoyğan cənən bılən tərtarkan, - dedi Əuvrındı. (p.57)
- 38) - Keyin... **siz** nıma desəñız şü. (p.58)
- 39) Haydar aka, **siz** şü gapnı kop aytasız,... (p.60)
- 40) Zeli əğa, unday deməñ, **siz**ni hurmat qılamən. (p.64)
- 41) - **Siz** qayəqqə ketməqçısız?
- Həzırca Adlergə. Keyin oylab koramən. (p.67)
- 42) **Siz**ni qən əta yurtgə tərtıaptı, mən esəm əta yurtnı təşləb çiqib ketişim kerək. (p.67)
- 43) - **Siz** bırıvlardan gümən qılyapsız. Kim qıladi bu işlarnı? Qırğın kimgə kerək?
- Ağa sıyəsətçi bolğanimdə kallamnı işlatıb, sənəğə anıq javəb bərardım. (p.68)
- 44) - **Siz**ni bırı baləğə gırıftər etişi mümkün edı, - dedi Əuvrındı.
- Ha-da! Oşa zahəti Akademiknıñ gaplarını esladım. (p.69)
- 45) - Qəri qayerdə, kasalxənadəmi? - deb soradı Asadbek yıgıtdən.
- Ha, yətibdılar. **Siz**ni esladılar. **Siz**ni korməqçılar. (p.71)
- 46) - Ha, Qəri, tuzukmisiz?- dedi Asadbek, saləmləşəç.
- Xudəğə şukr, - dedi Səbitxən xəstə əvəzdə. - Mən **siz**ni urıntırğanimdən hıjəlatdəmən. (p.72)
- 47) - Mən **siz**ni ranjıtğən edim. Məşınamnıñ yəqəlişidə **siz**ni gümən qilib edim... bu dunyə məli uşun **siz**gə tuhmət qilibmən.
- E, Qəriçən, şunı oylab yurıbsızımı, kuyınmən,... **siz**dan xəfa eməsmən. (p.72)
- 48) Mən **siz**nıñ əldıñızda əybdər ekanmən, tə **siz** rəzi bolmaguningizçə Əlləh mənıñ bu gənəhimni keçirə əlməydi. Rəzilik şunıñ uşun sorələdi. Rəzi bolıñ, Bek aka. (p.72)
- 49) - **Siz**dan xəfa eməsmən. Təğrı, əşanda sal jəhlım çiqqan, şunıñ uşun **siz**gə qattıq gapirib yubərganmən...
- Qattıq gaplərıñızdən mən həm xəfa eməsmən. **Siz**dən rəziman, - Səbitxən şunday deb çuqur nəfəs əldi. (p.72)
- 50) **Siz** məşjid qurdirəypsız... **Siz** bu pullarnı fəhş işlərə sarflab yubərsəñız həm bolardı. (p.73)

- 51) Açıığınız çıqmasın, Bek aka... Men sizni mana bu yoldan yurıñ, deb zorlamayman,... (p.74)
- 52) - Ha, dahşat... amma nima deyişga hayronman.
- Sizdayın aql egalari, kuç egalari hayron bolib tursa... (p.74)
- 53) Siz menğa yuqduñız, dañgal gaplaşarkansız. (p.76)
- 54) - Şu yerda ulfatçilik qilib otirib, keyin bitta şerigimni osib qoysamu oşanda siz şu yoldan otsañız, korarmidingiz?
- Bilmadim. (p.77)
- 55) - Sizga esa sal şubhali koringan adam jinoyatçı bolib korinaveradi, toğrimi?
- Qoyılman, tıpduñız! - dedi Hamdam sovuqqına jilmayib. (p.77)
- 56) - Keliningiz bilan ijaraga uy qidirib yuruvdik. Siznikida boş joy bor, deb eşitdim.
- Vay, bolam-ey, sal keç kelibsiz-da. Joy bəridi, adam qoyib qoydik. Siz oilangiz bilan turmoqçimidingiz? (p.81)
- 57) Siz, bolam, noumid bolmanga, hali çolim kelsin, bir gaplaşay, bularga javob bersin. (p.81)
- 58) Xolajon, bir gap aytaman, faqat siz vahima qilman... Siz ular yotgan uy eşigini korsatıñu, oziñız tez çetga çiqıñ,... (p.81)
- 59) Men sizni birinçi korganimdayuq qoyil bolganman. (p.85)
- 60) - Siz kimni siylayapsız, bilasızmi.
- Ha, bilaman. Eski tanişim. (p.87)
- 61) Siz bilan biz ularniñ qatorida bolışni istasak ham davralariga qabul qilişmaydi. Bizdan nafratlanişadi. Taklif qilganıñızda rad etib, tuşuntirmoqçı edim, sizga munosabatlari ozgaça, indaşmas, deb oylabman. (p.87)
- 62) Joyınga boray, qarab-qarab qoyışyapti, yana sizga osilib yurişmasin. (p.88)
- 63) - Siz borsız-ku?
- Menmi? - Həsiboyvaçça kuldi. (p.89)
- 64) - Elçin aka siz bolasızmi? - deb soradi yigit.
- Ha, men...
- Sizda zarur gapim bor. Ostonadan haydaman, iltimos. (p.91)
- 65) - Siz meniñ ismimni bilarkansız, men esa...
- Ismim Halimjon. (p.91)
- 66) - Sizdan najot istab keldim.
- Najot? - Elçin kulimsiradi. - Mendan qanday najot kutiş mumkin?
- Agar dardınga tuşunsangiz, yuragıñızda rahm-şafqat bolsa, yordam bera olasız.
- Halimjon, siz gapni juda uzuqdan boşlayapsız. (p.91)
- 67) - Faqat şinavanda ulfatlardan sizni u kişiga kuyov bolganıñızni eşitgan edim. Şu esimğa kelib, qora tertib keldim, aka.
- ...Sizniñ işıñız şunaqa bolibdi. Men nima qilişim mumkin? (p.92)
- 68) Joyıñızğa otirıñ, Halimjon, oylab koraylik-çi. Siz menğa oşa yigitlarnıñ aft-angırini tasvirlab berıñ. (p.93)
- 69) - ...agar u sizniñ «çorniy poyas» ekanıñızni bilsa, xizmatğa taklif qilişi mumkin.
- Xizmatdan qoçmayman. (p.93)
- 70) - Men... raqibmanmi sizga?
- Men oyinni nazarda tutyapman. (p.94)

- 71) Siz baloni sezasiz, Həfiz, - Həsibəyvaçça şunday deb oynini bas qildi. (p.94)
- 72) Həfiz, siz qarta ham oynab turasiz, a?... Sizni qolingizda kozir yoq, dama təppən bər. (p.95)
- 73) Sizdan bolak aziz mehmənimiz yoq. (p.97)
- 74) - E, yoq, oqiydağən bəlamas u. Xafa bolma, əmma, sənə ham təpşirmayman.
- Siz meni ham... (p.99)
- 75) Mana, Pəlvən təğa, şu orin sizniki, - dedi Čuvrindi boş jəyni korsatib. (p.99)
- 76) - Bir gumən bilan badnəm qilib yubəraverasizlarmi? - dedi Elçin.
- Badnəm? - Čuvrindiga bu gap yəqmay, qəşlərini čimirdi. - Sizni heç kim badnəm qilmadi. (p.102)
- 77) Siz oşanda... Oziŋizga oziŋiz jabr qildiŋiz. (p.102)
- 78) Kim sizga «barakalla, qəyil, oğil bəla!» dedi? (p.102)
- 79) Siz ham oşanğa oxşadiŋiz. Sizni aybiŋiz ham bər... Siz eslamasəŋiz men eslayman... Endi men bir gap aytay, siz xafa bolmaŋ: siz muşuk-siçqən oynasni yigistiriŋ. Siz ikki dunyadə muşuk boləlməysiz. (p.102)
- 80) Siz bundan buyəŋiga aşuləŋizni aytib, tinəŋina yurasiz. (p.103)
- 81) - Men siz bilan sulh tuzgani kelməgən edim.
- Təŋri, siz iltiməs bilan keldiŋiz. Ləkin eski paxtani čuvaganiŋiz uçun men əmadi gapni aytdim. (p.103)
- 82) - Əmilbək... şunaqa desək ham boladi, - dedi Xəlidiy nəxuş əhaŋda.
- Yoq, siz qərzini qistaydigan ədamlardanmassiz. (p.105)
- 83) Həynahəy, sizni məşinəŋizni ham şimo qilişgandır. (p.107)
- 84) - Yoq, yoq, - dedi Xəlidiy. - Uniŋ bəradigan yeri - jinnixəna.
- Čiqimidan qəçmasəŋiz boldi. Ertəga Şəmil sizga uçraydi. (p.107)
- 85) Anvar degən laqma əşnam bər, oşanğa aytaman, sizga əqizməy-təmizməy yetkazadi. (p.110)
- 86) Ləkin sizga ham havasim keladi, ham ačınaman. Havasim kelənik, zor işlarni sizga işənib təpşirişdi... Ləkin siz tuşkunlikka tuşmaŋ... Sizga şəhar «ugro»sidagi Səliev yərdəmə beryaptimi? (pp.114-115)
- 87) - Mana, siz: boyniŋizda ikkita qətillik turibdi. Ikkita retsidivistni uşləbsiz. Nima qilməqçisiz?
- Nima qilədim, tərğəv-də. (p.115)
- 88) E, siz və'dəni bəraverməysizmi? (p.115)
- 89) - Sizdə məbədə Mahmud Ehsənovniŋ telefoni yəqmi?...
- Mahmud Ehsənov? Kim u? - deb soradi talməvsirəgəndəy bolib. (p.115)
- 90) Siz nima bəlsəŋiz, mən ham şu... Siz mənə bir məsaləni yəčişdə kəməkləşin... (p.117)
- 91) - Nəgə? - Čuvrindi toxtab, uŋə qaradi.
- Ədamlar şunaqa dəyişadi. Keyin... hənə bəlsə ham sizni tuqqanlar, «rəziman», deb qəyini. (p.120)
- 92) - Ie, prəkuror, sizmisiz?
- Mənman. Sizni kutib turuvdim. (p.120)
- 93) - Qiziqli? - Čuvrindi Zəhidgə sənəvcən nəzar təşladi...
- Siz haqsiz. Ruh bir yəpişə qutulib bəlməsə kərak. (p.120)
- 94) Tintuvgə kəlgənimdə sizni kutib turmədim. Əgər sizga mələl kəlməsə, şu yərdə turib gapləşəvəramiz. (p.120)

- 95) - Kutayotgan mehmonim - siz, desam işonasızmi?
- Yoq, işonmayman, - dedi Zohid kulimsirab. (p.121)
- 96) - Sizdan bir iltimosim bor: birer masalada bezovta qilsam, aççıqlanmañ... Sizdan gumonsirayotganimiz yoq,...
- ...Men sizni iltimosingizni qabul qilay. Siz ham meniñ nasihatimni quloğingizga olin... (p.122)
- 97) Men təzaladım nımayu siz təzaladıñız nıma? (p.127)
- 98) - ...men sizga oltmıř som beraman, siz esa męga oliftagarçılık qılmaysız.
- Xafa boldıñmı, komsomol?
- Siz řu gaplarnı aytıřa uyalmadıñız, a? Men esam gapıñıznı eřıtıb, sizdan nafratlandım, bilib qoyıñ. (pp.127-128)
- 99) - ...sizga bu ımınatnı yetkazıřnı unutıbman. Ayb męda.
- ...Endi uni męga ropara qılıñ. (p.134)
- 100) Siz Hısilniñ oğzıdagi laqqa gořtnı tırtıb oladıñız. (p.134)
- 101) - Sizga maslahatım- ırtıqça gap-soznı kopaytırmıñ.
- Gap-sozga orın yoq, - Elçin qolını uzatdı. (p.134)
- 102) Mullaka, yaqınrıt keliñ, siz ham rızı bolıñ. (p.140)
- 103) Pılvın tıđa, siz ıtamnı bılarmıdıñız? (p.143)
- 104) Bek akam, men, bırsanıñız - siz, yana Bek akamıñ bir jınajın oğaynılari. (p.146)
- 105) Dımla sizni juda yaxřı koradılar. Kop gapıradılar. Ança vaqt korınmadıñız, xavıtırladılar. (p.148)
- 106) Lekin siz qayğurman. (p.148)
- 107) Qıñırıtqıñı çalınıřıdan siz kelganıñıznı bıluvdı. Siz astagina, ıdıt bılın çalasız, - dedi u Anvarnı bağrıga bısıb.
(p.149)
- 108) Oqıb beray, eřıtıñ. Malikam, siz ham tıñlañ. (p.149)
- 109) Siz yakan nıma ekanını bılasız, a? - deb soradı Hikmat Orılov. (p.149)
- 110) Heçqısı yoq, malikam,... Qolbıla dasturxın ham bolaveradı, siz aziyat çekman. (p.150)
- 111) - Siz hujjatlardagi meniñ imzımı kordıñızmı?
- Yoq... qaramay çıqıb ketdim. Jahl kelganda aql ketdi... (p.150)
- 112) Men sizdan javıt kutıapman, azizim, - dedi Hikmat Orılov. (p.150)
- 113) Siz męga bir soz bılın javıt berıñ: ha, yoki yoq! (p.150)
- 114) Siz qıynalman... Sizda zarrabın bırmı? (p.151)
- 115) Siz arxeologlar bılın ıxırđı marta qaçın uçrařğansız? (p.151)
- 116) Xullas, ořanda: «Dımla, bu sizga nıma uçun kerak?» deb soradı. (p.151)
- 117) - Siz kulyapsız dımla, ammo xafa bolsanıñız ham bir gap aytaman.
- Aytıñ, azizim. Bılaman, siz nıhaq gap aytımsız.
- Siz, sizga oxřagan olımlar nıma uçun Xolıdıyga, Mırolımgı maydını bořatıb bergansızlar?...
- ...Siz haqıqatçı yıgıtsız. Sizga oxřagan yıgıtlar kop, řundan xursandman... Azizim, siz bahsnı yaxřı korasız, bılaman.
Sizdan otınçım bır... Undan kora, siz kelmay turıb oqıgan yana bir rıvayıt bayınını aytıb beray (pp.151-152)
- 118) İlın zahrı sizga řıfı bergay. (p.152)

- 119) Olmas aka sizdan iltiməs qildilar. (p.152)
- 120) Sizni çağırğanim... rahbarlarıngizga aytiñ, xafa bolışmasin, ularniñ təpşiriqlarini bajara olmayman. (p.153)
- 121) - Yaxşı. Siz terğov qılayotğaniğizda iştirək etişim mumkinmi?
 - Həzirçə yoq.
 - Siz boşlagan iş men əlib bərayotğan iş bilan bir yerda kesişyaptı. Nima üçün buni tuşunişni istamaymız?
 - Tuşunib turibman... Həzirçə sizga aytadığanim: u yigit bir qizni zorlaşda ayblanğan. (p.157)
- 122) - Demək... Sizniñçə bu atayın uyuştirilməğanmi? - dedi Zəhid hamkasbiga işəncəsizlik nazari bilan bəqib.
 - ...Agar siz bu qətillik avvaldan təyyərləğan, degən fikrdə bolsanğiz, marhamət, isbət qilişga urinib koriñ,...
 - Yoq, həzirçə fikrim ozimda tura tursin. Vaqti kəlsa ortaləşarmız,...
 - Siz haqıngizda eşituvdim... Ammə bu səhada faqat sizgına adəlatli, sizgına haqiqatparast emassız. Sizdan yəşim kattarəq bolğani üçün aytib qoyay: hamkasblarıngizdan sira gumənsiraman. (p.157)
- 123) Siz xafa bolmañ, Bek aka, bu kişida boşqaça vıqər bor... (p.163)
- 124) Ozimğa işənməsəm, sizga ropara bolmas edim. (p.163)
- 125) Siz sorayapsız, men javəb beryapman... Sizga yaxşı koriniş üçün boşqaça gapirəlməyman. (p.163)
- 126) - Siz uniñ yurtiga bərib şunday xojayinlik qila olasızmi?...
 - Boldi, tuşundim maqsadınga. (p.164)
- 127) Siz, botam, Asadjənsiz, toğri fahmladimmi?... Siz dadanğiz rahmatliga oxşabsız, umriñiz oxşamasin. (p.172)
- 128) Dəşga unnab qoyğanman, həzir guruç səlsəm, əşdan səñ mayli, siz mezbəngə oxşaysız, ixtiyər sizda. (p.174)
- 129) Siz botam, Asadjənni çağiriñ. (p.175)
- 130) - Siz bilsanğiz kerək, - dedi Jalil kitəblərgə işərə qilib.
 - Mənda ilm yoq, botam. (p.175)
- 131) Jalil aka, siz-çi? Qaytasızmi? (p.176)
- 132) Sizni keçə korganman. Siz oğirlikdə bəlkə akademikdirsız, ləkin bunaqa işlərdə mişiqi bəlagə oxşarkənsiz... Mən siz oylagəndəy nədən yəki laqma bəlsəm, şuncə yıl Asadbekniñ qanətida yurarmidim? (p.177)
- 133) - Sorəmañ. Eriñiz maişət qilğanida siz ham bir ayşingizni sursanğiz, əsmən uzilib yergə tuşmas.
 - Yoq, şu yerda otirəverəylik.
 - Mən sizga yəmənləknə ravə korəmanmi? (p.183)
- 134) Sizdaqa oğil bəla kerək mənə, keyin gaplaşib əlamiz. (p.184)
- 135) - Siz üçün bugun boşqatdan təşkil qiləməz.
 - Yoq, yoq, - dedi Zəynab. - Kerəkmas. (p.185)
- 136) Mən sizni tanidim, - dedi tabib, xayrləşış üçün qol uzatib. (p.187)
- 137) Siz çağirdiñiz, haydasanğiz ketəman. (p.188)
- 138) - Tanimadiñmi? Asqar akeñ mən.
 - Siz?.. (p.190)
- 139) Sizniñ şe'riñizdən oqıgən edim, tuşunmadı. (p.190)
- 140) Siz aytğən edingizki «Nəfsi yəmən kəttə bəliq əğzin əçib, yutdi kiçik bəliqlərnə dəryədə hey...» (p.190)

- 141) - O, azizim, sizni korganimdan bağoyat xursandman...
- Sizni oxir-oqibat yedi, u maraz! - dedi Anvar. (p.191)
- 142) - Unday deman, azizim...
- ...Muhimi- siz jallodingiz umridan koproq umr korasiz.
- ...Endi navbat sizniki.
- Siz ham meni corlaysizmi? (p.191)
- 143) Siz, azizim, masalaniñ bu tomonidan xotirjam bolin. Sizniñ safaringiz xayrli, bu olamga pokiza holda kirib kelasiz... Siz bagrimizga kelin. (p.191)
- 144) Siz... šunaqa irim-sirimga iřonasizmi? (p.194)
- 145) Sizga kerakli mehmøn ham oša yerda šekilli, a? (p.195)
- 146) Mana šu vrač ertaga soat onda sizni kutadi. (p.195)
- 147) Marhabo, - dedi, - fikri ojizimča siz Asadbekdirsiz, a? (p.195)
- 148) Sizdan Vatan havəsi keladur, čox mamnundirman, afandim. (p.195)
- 149) - Afandim, sizni men bilirman... Bir olmaniñ bir yuzi sizu yana bir yuzi farzandu arjumandlaringiz,...
- Muzaffarxon? Kim u?
- Siz u zotni bilmaysiz?
- Yoq.
- O, u zot čox gozal insondur... Sizniñ farzandu arjumandlaringiza janobniñ nazarlari tuřibdur. (pp.195-196)
- 150) Yuzma-yuz otirib fikrlařmakka amr etilgani sababindan sizni bu yona corladimki, ayb etmassiz. Agarči bu taklifni ma'qul korsangiz, siz ham, Muzaffarxon janoblari ham tařviřlardan xalos bolursiz. (p.196)
- 151) - Ogillarimniñ bu gaplardan xabarlari bormi?
- Albatta. Ularda rizo. Siz rizo bolsangiz, barča toyga hozirdur. Siz oylamañki,... (p.196)
- 152) - Siz istak bildirurmisizki, hozir telefon qilib Muzaffarxon ila sozlařmakka?
- Yoq, hozir emas. Ovgina oylab olay. (p.196)
- 153) Siz oñ tomondasiz, avval siz kečin, - dedi doktor Xudoyor, - qoli bilan eřikni korsatib. (p.197)
- 154) - Bular kimga?
- Bizga... sizga... - dedi Asadbek.
- Bular harom-ku? Siz... namoz qilmaysizmi? (p.197)
- 155) Siz oz yurtiñgizda, musulmonlar yurtida yařab-da, namoz qilmaysiz. Siz Rasuli akram afandimiz janob Haqdan rivoyat etgan «menğa bir qarič yaqinlařganğa men bir arřin va bir arřin yaqinlařganğa esa bir quloč yaqinlařgayman. (p.197)
- 156) Afandim, bunday as'asaga hojat nadir? Siz meni čoyga taklif etib edingiz? (p.197)
- 157) Siz menğa aytiñ, janob Asadbek, Gorbačev qayta quriřni olam arš e'lon qildi. (p.198)
- 158) Siz qamay olmaysiz, čunki sirtmoqda ularniñ barmoq izlari yoq, sizga esa faqat barmoq izi kerak. Bu Xolidiy degani neča odamni quritgan, siz bilmaysiz. (p.202)
- 159) Siz heč qanday qonunni bilmaydigan odamniñ gaplarini aytyapsiz. (p.202)
- 160) Nima ućun murda sudmedekspertizada emas, sizniñ olikxonangizda yotgan edi? (p.204)

- 161) Siz tuppа-tuzuk jizzaki ekansiz... Bir narsani aniq tuşunib olin: siz bir kissavurningişini olib bormayapsiz. Siz gazitčilarning tili bilan aytganda, «uyuşgan jinoyatčılar» bilan olishmoqčisiz... Siz-či? Xop, yoningizda yana ikkita, bering ana uç-tortta ugro inspektorlari bərdir. Sizniñ hamlangiz ular uçun pista çaqib taşlanganday bir gap... Sizga bugun-erta işni yopişni şama qilişsa, mayli, avval jizzakilik qilin... Sizga topşirilgan boşqa işni yuritaverin. (p.205)
- 162) Bir gap aytaman, taltayib ketman yana: kattamizniñ sizga mehri tuşgan. (p.205)
- 163) Hamdam aka, iltimos, siz hazır qistovga olib soraman, men aytmay. (p.206)
- 164) - Boşqalar urib ketişdi. Men uni ajratib oldim.
- Bekor qilibsiz. Ular balki sizniñ himoyangizga arzimas. (p.208)
- 165) - Oşa siz rahm qilgan aka-uka, bugun qarzdand qutulib, ertaga birovni qarz qilib, xuddi şu holga soladi.
- Baribir nohaqlik-da, aka?
- Nohaqlikka nohaqlik... Siz nohaqlik deysiz. (pp.208-209)
- 166) - Boladigan gap emas, bu aka.
- Men sizga bir sirni očişga majburman. «Hafiz akam bular bilan bir qovzondan oş içadi», desangiz yanlışasiz, uka...
Sizni birinči marta korgandayq men şuni xayol qildim...
-...Siz halol, adolatparvar dostlaringiz bilan meni taniştirin. (p.209)
- 167) Yarmi sizga ekan. (p.210)
- 168) - Menga işonmaysizmi?
- Siz-či? Menga işonyapsizmi? (p.210)
- 169) - Kerakli uyga kirib çıqqanimizdan son sizga yuk bolmay olib ketar, degan maqsadda «izimizdan yur», devdim.
- Valya, siz menga yaxşiroq qaran, men qorqadigan yoshdan otganman. Zeli oğa tariximni aytib bermadimi?
- Siz haqingizda juda oz gapirdi. Lekin eñ muhim işni aytib ketdi.
- Aytib ketdi? - Elčin ajablanib uñga qarab oldi.
- ...U siz haqingizda Xongireyni ogohlantirdi. Endi siz şaxsan Xongireyniñ himoyasidasiz. Heç narsadan qorqman.
- Anavi gılaydan hammi? - dedi Elčin hazil ohangida.
- Fu, - dedi Valya labini burib, - u peşka-ku!... Sizni qiziqtirgan adam čindan ham Soçida edi. (pp.210-211)
- 170) Bu, azizim, ularniñ işi. Siz hazır repetitsiyangizga ketyapsizmi, demek, şu işni oylan. (p.211)
- 171) - Lekin sizga bunčalik hotamtaylik qilganiniñ boisi nima ekan? U bilan yaqin edingizmi?
- Er-xotindan ham yaqinroq edik.
- Tuşunmadim?
- ...Sizga oz xotiningiz yaqinmi yo oynaşıngizmi?...Buni siz yaxşı bilasiz. San'atkorniñ oynası kop boladi.
- Afsuski, men oynası yoq san'atkorlardanman.
- O, şundaymi?... Menga oxşaganlarni topib olin.
- Sizga oxşaganlar bu şaharda boşqa yoq bolsa-či?
- Men hazırča şu şahardaman-ku?!...
- Qovzoqlar čirayli juvonlarni olib qoçib ketişadi. Men ham sizni gılaydan olib qoçyapman.
- Siz qovzoq emassiz-ku? (p.211)

- 172) Valentina Mixaylovna, sizda Dostoevskiyniñ kitoblari bormi?- deb soradi Elčin. (p.212)
- 173) Səli ata, sizni ham əlib bərib qoyadi. (p.216)
- 174) - Otir, - dedi Asadbek. - Nima qərərğa keldiñ?
- Bilmasam... Siz nima desəngiz şu. (p.217)
- 175) - Siz-çi?
- Meni qoya tur. (p.219)
- 176) - Siz-çi? - deb soradi Manzura hayratlanib.
- Men... mənğa hukumat ruxsat berməbdi. (p.220)
- 177) - Məniñ səyamdamı? - dedi Asadbek sənə nazarı bilan tikilib.
- Ha-da, sizni akam deganman. (p.221)
- 178) Bek aka, jahlingiz çıqmasın, dünyə bəzər-da, bir sizniñ əmadingiz keldi, endi gal meniki. (p.222)
- 179) Oziñgizni bəsiñ akaxən, - dedi Həsibəyvaçça, uyqudan turib esnəyətgan ədam əvəzi bilan. - Siz həynaxəy kassetani əxirigaçə kormagandirsiz? (p.223)
- 180) Sizga ham qəyilman. Bunaqa tan bəriş faqat oğıl bəlanıñ qolidan keladi, - dedi. (p.226)
- 181) - Bir ukalik maslahatım - uni qidirmañ. Men uni sizniñ onta yigitiñgizga ham alişmayman. Siz kassetani olinu bəşqasını unutiñ. Oziñgiz kelasizmi, yə ədam yubərasizmi?
- Bu ikkalamizniñ əramizdagi iş. Men bərləmayman. (p.226)

合計 286 例

Tohir Malik. 1996b. Shaytanat. 3-kitob.

- 1) - Sizdan maslahat sorab keldim.
- Men ham yoqtə, desəm-çi? (p.3)
- 2) - Yəşulli, bu mənlayi qəra pulimizni, poezd pattasiniñ haqini ham tolaşı kerak. Siz undirib bəriñ, yəşulli, biz sizni injitmaymız.
- Bəkorlarnı aytıbsız, bir tiyin ham bərməyman, - dedi qəvəgi kokargan yigit, ojarlik bilan. (p.4)
- 3) Yəşulli, siz buni emas, meni tınlañ! (p5)
- 4) - Yəşulli, siz haqiqat qilmadingiz, - da'vəgar ornidan turib, qolini paxsa qildi: - Biz bularnı tanimasak...
- Otir, - dedi Kesəkpəlvən, unğa oqrayib. (p.5)
- 5) - Əyim sizga atagan ekanlar, - dedi.
- Əyiñgiz... tuzukmılar? - dedi tabib.
- Oldılar. Əxirgi kuni ham sizni duə qildılar. (p.7)
- 6) - Qorqmañ, mən sizni oldiriş məqsədida çəqirmədim.

- Qorqayotganim yoq... - deb gap başladı tabib. (p.7)
- 7) - **Siz**... meni tanıysizmi?
- Yoq. (p.7)
- 8) - **Siz**?
- Ha, men. (pp.7-8)
- 9) - U-çi? U ham **sizni** tanıydımi?
- Bilmadım. Tanisalar kerak. (p.8)
- 10) Rahmən aka **sizmisiz**? - dedi Kesakpəlvən, uŋga bəşdan-əyəq razm əlib. (p.15)
- 11) Rahmən aka **sizmisiz**? - deb soradı Kesakpəlvən. (p.16)
- 12) ...Lekin men **siz** aytgan jəyga bərməyman. (p.16)
- 13) - **Siz** tabibmisiz ozi?
- 14) - ...**Siz** nəmusulmən ədamga oxşab sozlar ekansiz. (p.16)
- 15) - **Siz** yaxşı iş qılmayıpsiz.
- 16) - Yoq, bərləmayman.
- **Siz** oylab gapirmayıpsiz. (p.17)
- 17) - Həzir pul əlib çiqaman, - dedi Zaynab.
- Puliŋiz kerakmas. **Sizga** men bir gap aytay... Endi **siz** mənə bittagina nən berin, dardıŋizni əlay. (18)
- 18) - Yoq, **siz** mənə aniq jəvəb berin: şu gapni aytmasızmı?
- Tilim kesilsə ham aytmasman. (p.22)
- 19) Yədiŋizdadır, biz **siz** ilə telefon ərqali sozlaşmak şərəfiŋə muyassar bolgan edik. Bu təşrifıŋiz çox gozal bolmış. Çox minnatdərman, çox bəxtiyər bolmışam, xənım əfəndim. (p.23)
- 20) Abdusamad, inim, **siz** ilə telefon ərqali sozlaşmak şərəfiŋə muyassar bolgan edik. Bu təşrifıŋiz çox gozal bolmış. Çox minnatdərman, çox bəxtiyər bolmışam, xənım əfəndim. (p.23)
- 21) Xənım əfəndim, uzr etməŋizni sorayman. **Sizga** peşvəz çiqmaq uəun qizlarnida taklif etmiş edik. (p.24)
- 22) Xənım əfəndim, Muzəffərxən Mərgiləniy jənləri **sizni** kent hududidan təşqaridagi villada kutmakdalar. (p.24)
- 23) İnşəlləhkim, bu yulduzlar **sizni** əsməniŋizdə ham nur səçəjak! (p.25)
- 24) **Siz** təşrifıŋiz ilə bərələrimizni gəyatda sərfəvəz əylədiŋiz, begim,... **Siz** hərdiq çiqariŋ,... (p.25)
- 25) Biliyurman, əzizim,...U muhtəram zətni mə'lum hərəkətləri uəun hürmətimni izhər etgənim həldə dəyurmənkı, **siz** aytgan şərəfə ləyiq əməsdurlar. (p.26)
- 26) Sə'dulləxən, əzizim, qəlbimdəsiz. **Siz** bilən bu xususində əvvəl hən bəhləşib edik. Mədəminbəkniŋ şərələr bilən bitimidən əsl məqsədi **siz** bilən bizgə qərvəŋu bolgəni səbəbli əjrim qilməqqa hürquimiz yəqtur. **Siz** bilən mən bu xususində bir bitimə kələ əlməgənimiz bəis, bəhsni yəŋgiləmaylik. (p.26)
- 27) Əzizim, **siz** mənı bir təqqa, bir bəqqa bəşləmədəsiz. ...**Siz** muhtəram əfəndimə əslətməgim jəizdurki, pəyğəmbər əfəndimiz hijrat qilənləridən sənərlə uluŋ gəzətniŋ rəhbəri bəldilər. (p.26)
- 28) Şərmuhammədbək əsə, - doktor Xudəyər yənə jilməydi, - məyli, **siz** aytgəniŋizcə bələ qəlsin,... (p.26)
- 29) - ...**Sizni** bu gəpləriŋiz mənə Vətəndəgi bir şərəpərastniŋ sozlərini əslətdi.
- ...Məniŋ-də sozim həli intihəsizgə yətkəni yəqtur. **Siz**-də, əfəndim, hijratni tilgə əldiŋiz,... (p.27)

- 30) Afandim, men sizga bu xususinda boşqa soz aytmasman. Şorəparastlar sozlarini siz aytiŋ. (p.27)
- 31) Sa'dulləxən, şaraflı afandim, qalbimdəsiz, siz meni bir muhəriba maydənidən boşqasiga yetaklab otmakni ixtiyər ettingiz. ...Şorəparast sizga qəzəq birədarlarımızniŋ bir məqəlini aytibdi... Siz şorəparast bizlarni itga qiyəs etməkdədir, deb gəzab ətiga miniyursiz. (p.27)
- 32) - Siz ularni bunda ayblarsiz, ular bizlarni unda ayblarlar. Kun şu tarzda otaverar...Afandim, agarçi ular sizni, siz tufayli bizlarni ayblar bolsalar, haqlidurlar...
 - ...Yollar əçilsə edi, men Vatanniŋ beş yerida beş uluğ mağəza əçsam,...
 - Oh-ho!.. - doktor Xudəyər baralla kulib yubərdi. - Afandim, afandim, siz on emas, on miŋ dokən quriŋ, Vataŋga nafi əzdir.....Siz Vataŋga ilm əlib bəriŋ.....Siz bilan biz yaşab turgan Əlməniyani uruşdan sonğı xarəblikdən bu darajaga ilm kotarmadimi? Siz bilan bizniŋ aybimiz şuki, Vatan yollari əçilsin,... Nima üçün siz bilan biz kuraşmaymiz? Çunki bizlar - siz mehr qoygan Şermuhammadbekniŋ əvlədlərimiz... Sizni bilmədim, şaraflı afandim, ammə men Vatan qarşisida uyatlidurman.
 - Siz andak yanlış gap aytdiŋiz, janəb Xudəyər. (p.28)
- 33) - ...Siz aytgəndəy arqən uzun təşlənsə,... keyin onta atom bomba təşləb ham tinçitə əməysiz.
 - Atom bomba tə'sir qilmasa, vodorod bomba bər, neytron bomba bər, - dedi mayor Səliev həzil əhaŋgida. (p.30)
- 34) Səlievə ham «Vaqtı kəlgəndə bu işə sizni jalb etəmiriz», deyişdi. (p.30)
- 35) - Siz-çi?
 - Men oylab korəman, dedim. (p.31)
- 36) Ular sizga yanə aytişədi. (p.31)
- 37) Zəhid, siz həç ilm bilan şugəllənişə hərəkət qilənmişiz? (p.32)
- 38) Siz rənjiəniŋ,... Men sizga bəkər qiziəib qəlmədim. Sizdə ilmiy təhlilə intilişni kordim. (p.32)
- 39) Siz bir əxtəriŋ... (p.32)
- 40) - Siz uni korməgənsiz, bilməysiz...
 - Yəş osmirdə kimniŋ xusuməti bolışi mumiŋ? Yə ətasiniŋ dūşmanlari bərmidi?
 - Bunisini bilməymən, uka, siz nima üçün suriştirib qəldiŋiz?
 - Men prokuraturadənən, - Zəhid şundəy deb hujjatini korsatdi. - Siz aytgəndəy təhmət bolışi mumiŋ. (pp.33-34)
- 41) - Siz təhmət dəyəpsiz. Oşa paytdə nima üçün aytməgənsiz?
 - Biz kimmiz, bizniŋ gapimizni birəv sariq əəqəgə əlarmidi?...
 - Siz Jamşidniŋ zorlaşi mumiŋligigə nima üçün işənəmayəpsiz? (p.34)
- 42) ...Siz ham unutiŋ. Gapimni əşitəyəpsizmi? - Čuvrindi «bu gap sənəgə ham tēgişli» dəgəndəy Halimjəŋgə bir qarab əldi. - Həfiz, əşitəyəpsizmi? (p.39)
- 43) ...siz yolda kətəyətəgən ədiŋiz, bir məşinə quvib otib, toxtədi. Məşinadən təşişingiz bilan sizni ətdi. (p.39)
 Bittəsini əldirdiŋiz... bir bēgənəh bəkira qizni əsə, bulğab təşlədiŋiz. Bu kammi sizga?! (p.41)
- 44) Məniŋ qiyəfəməgə kirib sizga korinər ədi. Oylab kormədiŋizmi, bir qizni bulğəşəgə mən sizni də'vət etişim mumiŋmididi?
 Mən sizni həç yəmənləkkə qarab undəgənəmni?... Mən sizni deb bir nəçə dəqiqəgə tərdim,... (p.42)
- 45) - Gənəhlərim kəp, biləmə, Nəilə, əndi iləjsizmə.

- Yoq, sizni joyingiz boʻsha. Siz izingizga qaytasiz...
 - Nõila, meni otaxonam ham haydaşdi, sen haydama...
 - Sizni haydovchi men emasman. Siz Zaynabga qaytiñ.
 - Unday dema, Nõila, qaytmayman. Haydama meni...
 - Siz Ollõh oldida gunõhkorsiz. Men sizdan rõziman,...
 - Haydama, Nõila!
 - Sizni haydaguvchi men emasman. (p.42)
- 46) Sizdan sal oldinroq bolalar kelişib moşinasini haydab ketişdi. (p.44)
- 47) Hadeb «akaxonin» deyaverman, meniñ akaxonim - sizsiz! (p.51)
- 48) - Sizga «Bandman!» dedim?!
- Eşitdim, - dedi Zõhid. - Afsuski meniñ vaqtim ziqroq, boşqa kutolmayman.
 - Meniñ ham vaqtim ziq. Sizni qabul qila olmayman. (p.58)
- 49) - Marhamat, soran. Faqat imillaman, vaqtim ziq.
- Siz... Jamşid Sunnatullaev degan yigitni tanirmidingiz? (p.58)
- 50) - Sizni zorlamõqchi bolgan yigit... Qamalib ketgan.
- Ha, umi... anõa yil boldi. Esimdanam õiqibdi. (p.59)
- 51) - Siz uniñ taqdiri bilan qiziqmadingizmi?
- Nimaga qiziqişim kerak ekan? (p.59)
- 52) - Men oldirmabmanmi, işqilib?
- Yoq, sizmasdirsiz.
 - «Sizmasdirsiz?» Nima demõqõisiz? (p.59)
 - Bunaqa iş sizniñ qolingizdan kelmasa kerak, demõqõydim. (p.59)
- 53) - ...Bu masala plenumga qoyilişini aytdim-ku sizga!
- Prokuraturadan bir ortõq kelib, meni sorõq qilyapti. (p.59)
- 54) - Sunnatullaev sizni zorlamõqchi bolgan oşã işda siz tergõvõiga «Undan qõõaman, deb ozimni derazadan taşladim», degansiz...
- Bu õdamniñ olimiga meniñ korsatmalarimniñ nima dahli bor? Siz qõtilni qidiryapsizmi yõ eski goñni tityapsizmi?...
 - Siz savõlimga javõb bermadingiz? (p.59)
- 55) - Sizni soraşyapti. (p.60)
- U yerda nima qilib ivirsib yuribsiz. Hurmatli õadamlarni behurmat qilişga kim sizga huquq berdi?
 - Keõirasiz, sizni tanimay turibman? - dedi Zõhid. (p.60)
- 56) - Siz şõşib turibsiz şekilli, õaqirişyaptimi? - dedi Muõvin qõşlarini õimirib.
- Ha, hõzirõa şõşib turibman. Keyin bafurja gaplaşamiz.
 - Ovõra bolib kelib yurman. Boşqa aytadigan gapim yoq sizga.
 - ...Sizga õaqiruv qõõõzi yubõraman, prokuraturaga oziñiz bõra qõlasiz. (p.60)
- 57) Siz yana neõta õdamniñ umriga zõmin bolgansiz?... Siz minbarda kopirib aytgan adõlat boşqa, biz himõya qilmoqchi bolgan

adəlat bəşqami? (p.61)

58) - Oddiy bir idəraga, - dedi Zəhid özini xətirjam tutişğa tirişib.

- **Siz** üçün oddiydır. (p.62)

59) Xəla, iltiməs, **siz** təşqariga çiqib turin. (p.64)

60) Advokatingiz nima-yu **siz** nimasiz... (p.64)

61) - **Siz** meni birinçi marta korib turibsiz... Qizingiz sud nəhaq, prokuror nəhaq, deb katta idəralarga arz qilibdilar.

- Ha, arz qildi... **Siz** bir şorlikni qamab, adəlat boldi, deb kerilib yuribsiz.

- Uni men qamaganim yəq şekilli?

- **Siz** bolmasangiz bəşqasi. Men **siz** deb idərangizni aytyapman, - dedi ayəl soziga aniqlik kiritib.

- Menin idəram ham qamamaydi. **Siz** jinoyətçilarnin ayşini surib yurganlarini qayerdan bilasiz?

- Qizimnin ozi korgan ularni...

- Qizingizni ariza yəzişğa **siz** undadingizmi?

- Qizim ahməq emas, unda ham vijdən bər. **Siz**daqalarda... (p.64)

62) - **Siz** aytsangiz bilaman. (p.64)

63) - Anavi qəğəzlaringizda bər-ku hamma gap? - dedi ayəl.

- Men ozlaridan eşitməqçiman. **Siz** aralaşmay otirin. (p.65)

64) - Taksi edi, - dedi ayəl aniqlik kiritib.

- Xəla, **siz** aralaşmay turin, - dedi Zəhid unğa tanbeh berib. (p.65)

65) - ...Birinçi bolib **siz**ga kim yaqinlaşdi? Bətirovmi?

- Vəy, u bəla bolmagan, - dedi ayəl.

- Xəla, **siz** mənğa xalaqit beryapsiz. Çiqib turin,... (p.65)

66) Bu endi **siz** bilan men üçün otmiş... **Siz** bir yangilikni eşitdingizmi-yəqmi, şuni biliş üçün yəqladim. (p.66)

67) Əyi, **siz** nətoğri tuşunğandirsiz? (p.70)

68) Qalbimdasiz, xənim afandim, **siz** muhtarama zəti əliyalariğa bizim qizlarimiz yəqdimi ekan? (p.71)

69) Ammə bilməğingiz kerakkim, xənim afandim, **siz**nin əqil əğillaringiz menin üçün oz farzandu arjumanđlarim kabi qadrliđurlar... Xənim afandim, **siz**ga biz aytayətgan sozlar ġalat tuyulgusi, buni-da anlayurmiz. **Siz** qizlarimiz ila suhbat qursangiz nur alan-nur bolur edi. Ammə, əfsus şuki, qizlarimiz **siz**dan uyalyaptilar... Said Muzəffərxən janəbim, qalbimdasiz, **siz** aytiğ endi. (pp.71-72)

70) Mənğa mə'lumki, afandim, **siz** behad saxiy janəblardansiz...**Siz** bu ərzularnin bahridan otiğ, janəbim. (p.72)

71) - ...**Siz** həzir nima iş qilib qoyğaningizni bilasizmi?

- Nima qibman? (p.72)

72) **Siz**ga aytmayan sirlarini mənğa aytarmidilar. (p.77)

73) Bek inim, ikki əğiz gapimiz bər, aytamizu ketamiz. **Siz**ni uəratışimiz əsənmi, bu tortinçi kelişimiz,... (p.79)

74) Bek inim, bizdan ranjimanğ, bəmdəddan çiqib keləverdik. **Siz**nin işingiz kop, bilamiz,... (p.79)

75) Məçit bitay deb qəldi, Əlləh **siz**dan rəzi bolsin. (p.79)

76) - **Siz**da zarur gapim bər. Keçqurun uyingizğa bəraman.

- Şunaqa ahvolda yuvıqsız bərsəñ uyga kiritmayman,... (p.81)
- 77) Oyjən, ayollar nima ućun yaşaydı ozi bu dunyada?... **Siz** nima kordıñgiz? **Siz** ućun bu dunyənıñ rəhati nimada? (p.88)
- 78) - Jən qızım, meni tiriklayın otga taşlama...
- **Siz**ni oylasam... bu otda ozim yənişim kerak... (p.89)
- 79) Men **siz**ga savəl berdim: erıñgiz maşınada çıqdimi yə piyada ketdimi? (p.93)
- 80) - **Siz** ozi kim bolasız?...
- Men kennayılarıman. (p.93)
- 81) - **Siz** ham bittasını təpa qəlmaysızmi?
- Təpaman. (p.94)
- 82) - ...**Siz**ga qarab hayrən bolyapman... **Siz** səclarıñgizga, qəşlalarıñgizga qaramaysız...
- Qəşimğa? - Zaynab ajablanıb, ixtiyərsiz ravişda barməqlarını qəşiga tekkizdi. (p.96)
- 83) - **Siz** şunaqa deysız-u...
- Maylı, qəqındıq, oziñgiz bilasız. Unda men uyimga bərib kelayın. (p.97)
- 84) Endi uka, gapni ikki səatdan beri men emas, **siz** çözyapsız. **Siz**ga londasını aytdım... (p.104)
- 85) Qaynənəñgizniñ qızları - **siz**niñ xətiniñgiz-da, a? (p.104)
- 86) - Xətiniñgiz **siz**ni yaxşı korar ekan, **siz**-çi? Yaxşı kormasmiñgiz?...
- E, uka...
- Bu ədam **siz**ga uka emas, prokuror! Şahar prokuraturasidan!...
- UZR, ortalq prokuror, tanımayanını siylamas, degan maqol bər-ku... **Siz** juda toğrı savəl berdiñgiz. (p.104)
- 87) **Siz** qaynənəñgizga mağzava ağdarıb, oziñgiz suvdan quruq çıqməqçimisiz? (p.104)
- 88) - Xəhlaşañgiz gərəv oynaymız: men **siz**ga oynasañgizni ropara qılamın, **siz** esa... **siz**ni biçamız-qoyamız, kelişdikmi?
- Yoq, kelişmadik. Sizlarnı bilaman, koçadan bitta şaləqni əlib kəlib ropara qılasız. (p.104)
- 89) - Ortəq prokuror, **siz**dan maslahat soraməqçiman:... Ana şunda bu akaxənni ikki qollab **siz**ga uzatamız...
- ...Meni qorqıtmay qoya qəliñ, yəş bəla emasman. Qənunni **siz**dan bəşqa biladiganlar ham bər...
- İe, bolmasam-çi? - dedi Hamdam qollarını yəyib. - **Siz**siz bolarkanmi bu iş...
- Nima bu?
- Avval oqiñ... **Siz** iş bir yəqlama bolguniça şahardan taşqariga çıqmay turasız... Mabədə bitta-yarımta **siz**ga telefon qilib qəlsa, şu şıər esiñgizda tursın. (p.105)
- 90) **Siz** mabədə Həsibəyvaçça degan ədamni eşitməganmisiz? (p.105)
- 91) **Siz**... musulmən emasmisiz? (p.107)
- 92) - Olləh **siz**ni va **siz** kabilarnı ozi isləh etsin. **Siz** «Bu qanaqa tentakki, qaməqda otirib şukr qılsa», deb fikr qılayətgan bolsañgiz əjab emas. **Siz**dan «musulmənmisiz» deb soraganımnıñ bəisi şundan ibəratki, har bir muslim har nafasida Yaratğanga şukrlar qilməği farzdır. **Siz** tənəda uyğəñganiñgizda Rabbimğa şukr qılasızmi?
- Yo-oq, - deb tan əldi Zəhid.
- ...**Siz** bilan gaplaşıb turgan şu damda qanča ədam nafas əldi-yu, nafasga qəşib jənini ham çıqardı. (p.108)
- 93) - Bir haftagaça **siz**ga heç kim heç narsa demədimi?

- Yoq.
- **Siz** doxtirga ham uchradingizmi?
- Yoq... Men u yigitlarning nayrangini tuşunmabman. (p.109)
- 94) - Demak, **siz**ga birinchi safar tuhmat bolmaganmi?
- Yo-ooq... Bir jihatdan qamalganim yaxşı natija berdi... Bilmadim, birədar, **siz** bunga tuşunarmikinsiz... (p.109)
- 95) **Siz**ga bu baxtni kim berganini anlaganmisiz? Unga şukr etganmisiz? - dedi Botirov unga sinovčan tikilib. (p.110)
- 96) Botirov, - dedi u rasmiy ohanda, - **siz** bir qizni zorlaşda, soñ uniñ puli, kiyimlarini ogirlaşda ayblanasiz. (p.110)
- 97) Harholda **siz**ga şunday ayb qoyib, qamaşgan. Qiz ham taniş çağida **siz**ni adaşmasdan korsatgan. (110)
- 98) **Siz** ham işonmaysizmi? (p.110)
- 100) **Siz**niñ işingizda balki kop uçar. (p.110)
- 101) **Siz**... onamni kordingizmi? (p.111)
- 102) - **Siz** uniñ ozi bilan gaplaşdingizmi?
- Gaplaşdim. (p.111)
- 103) **Siz** yana sorayapsiz. (p.111)
- 104) U **siz**ni korganmi? (p.111)
- 105) Balki **siz**ni hozir kutib otirgandir. (p.112)
- 106) - **Siz** bu haqda heç nima bilmaysiz.
- Şuni aytgani çaqirtirdingizmi? - dedi Zohid nərəzi ohanda. (p.113)
- 107) **Siz** Şaripovsiz... Şarif Naməzov kimingiz boladi? (p.113)
- 108) Gap şu bolmasa: qamoqdan çiqarib yuborganingiz uçun Şarif Naməzov **siz**ga qanča haq toladi? (p.113)
- 109) **Siz** bilan hazillaşay deb ikki qit'ani bəsisib kelganim ham yoq. (p.113)
- 110) **Siz** men bilan bu tarzda gaplaşmañ, haqqingiz yoq! (p.114)
- 111) Ada?- deb ajablanadi Asadbek, - **Siz** ham şu yerdamisiz? (p.115)
- 112) - **Siz**nikida oləv kordim?..
- Oh... bolam... sen qabr azəbi nima ekanini bilmaysan... (p.115)
- 113) Bek aka, jəñ Bek aka, **siz**ga nima boldi? (p.120)
- 114) Nega miñ yillik qadrdəni - **siz** emas, men emasman, nega Mahmud? (p.122)
- 115) Nega u heç bolmaganda **siz** bilan meni əgəh qilmayapti? (p.122)
- 116) Şu yerda tormozni bəsiñ, əkəxəñ. Şu yerda birpas toxtañ. **Siz** meni bilmaganday gapirasiz-a... (p.123)
- 117) Oşa tabibniñ oldiga... **siz** bərib keliñ. (p.123)
- 118) Ha, ətib ketişibdi. Şahardan kelganiñizni bilsalar, Abdurahmən aka **siz** bilan sozlaşmasalar ham kerak. (p.126)
- 119) **Siz** bilsangiz aytiñ. (p.127)
- 120) - Toy... **siz**ni kutyapmiz. Nişəñ toyi otdi... Aytdim-ku...
- Bir əz kutişsin... Zaynab bəradi.
- **Siz**-çi, adasi? (p.129)
- 121) **Siz**ni... Xudə urgani rəst... (p.136)

- 122) Xojayinga siz aytiŋ. (p.139)
- 123) Siz boraŋerŋ, iŋŋizni qilaŋerŋ. (p.140)
- 124) Lekin, azizim, siz taŋviŋlanmaŋ... Siz menŋa tuŋuntiriŋ xati yozib berŋ. Sizni iŋsiz qoldirmaŋmiz. (p.140)
- 125) Yana ham men sizni hurmat qilaman, azizim, Sizday olimlar koçada qalaŋib yotgani yoq. (p.140)
- 126) Siz esa men haqimda notoŋri fikrlarda yurasiz. Partbilet, azizim, siyosiy masala. (p.141)
- 127) - Siz... katta ketyapsiz. Siz ularni bilmaysiz. Ular ŋundayki... qoyiŋŋa majbur bolardŋgiz baribir.
- Qoymasdim, - dedi Habib Sattorov ojarlik bilan. (p.141)
- 128) E, yoq, azizim, - ŋohib Polatov ŋunday deb jilmaydi. - Sizga berolmaymiz uni. Bular institutniŋ mulki. Siz esa bizda iŋlamaysiz. Sizga faqat bir yaxŋilik qiliŋim mumkin: istagan paytiŋgizda kelib foydalaniŋŋa ijozat etaman. (p.141)
- 129) Olloh sizga sabr bersin. (p.142)
- 130) Majlisda... sizniŋ čet ellardagi iŋlariŋgizni gapiriŋdi. Xullas... aytiŋdiki... siz... (p.143)
- 131) Siz... kapitalizmga xizmat qilibsiz. (p.143)
- 132) Siz oyim bilan otira turiŋ, men Anvarniŋ xonasiga kiray,... (p.144)
- 133) Mahmud, aqalli siz ham meni tuŋunmadŋgiz-a?... Sizda ŋunday tuyŋuniŋ uqunini korgandim. (p.147)
- 134) - Xop-xop, - dedi deputat tobelik bilan.
- ...siz avval jon berasizmi yo boŋqalarmi? Sizga oxŋagan gapdonlarni yaxŋi bilamiz. (p.147)
- 135) Siz qaysi Vatanni nazarda tutyapsiz? (p.147)
- 136) Orzubek aka, siz uluŋ adamsiz, - deb gap boŋladi u. (p.148)
- 137) Siz uluŋ adamsiz.....Biz sizni hurmat qilamiz. Toŋri, biz millat uqun sizday jon kuydira olmaymiz. (p.148)
- 138) - Sizga salom dedilar, yaxŋilar, - dedi Cuvrindi.
- Soŋ bolsin, qardoshim. Xoŋ, meni nima uqun qidirdilariŋ? (p.149)
- 139) - U vositaçi emas, u - vakil! - dedi Xongirey.
- Ha, albatta, sizniŋ vakiliŋgiz, - deb xatosini tuzatdi Cuvrindi. (p.149)
- 140) - Sizga tilla haykalça olib kelganmiz. Men koçada edim, sizni kormaganman.
- Bekor aytibsan, ŋilay! Menŋa heç kim tilla haykalça olib kelmagan. (p.149)
- 141) - Xop, men buŋga iŋondim, deylik...
- Biz sizni ahmaq qilmocçi emasmiz. (p.150)
- 142) Sizga marhamatli boliŋ yaraŋadi, - dedi Cuvrindi jilmayib. (p.151)
- 143) - Siz aytiŋ.
- ...Agar meniŋ bobolarim jannatda boliŋsa men ularniŋ kozlariga koriniŋdan uyaliŋ, dozaxga qocaman. (p.151)
- 144) - Nega? - dedi Xongirey ajablanib.
- Men sizga toŋrisini aytganman. (p.153)
- 145) - Agar toŋri tuŋuŋan bolsam, siz bizni qulga aylantirmocçisiz.
- E, qardosh, men bunday deganim yoq.
- ...Siz bugun meniŋ boŋ boliŋimni istadiŋgiz... Biz u tomonda qoŋircoqlarmiz, oynatadigan iplar esa bu yerda, sizniŋ qoliŋgizda. (p.155)

- 146) Agar men čečenlarniñ kamçiligini aytsam, **sizga** yƣqadimi? (p.155)
- 147) Qullikdan hazar qiluvçi xalqnıñ farzandi **siz** aytgan şartga konolmaydi. (p.155)
- 148) Bizga **sizniñ** sƣgliñiz kerak. **Sizniñ** tƣvñizga kiradigan tikan bizniñ kozimizga kirsın. (p.157)
- 149) Oxun, **siz** bƣraveriñ. (p.158)
- 150) Ota yurtimga yolım tuşib edi, **sizni** yoqlamay ketolmadım. (p.159)
- 151) **Siz** qaytganıñizdan soñ oşnangiz keldilar... **Siz** aytgan ekansız... Botam, **sizni** injitmƣq niyatım yoq... (p.159)
- 152) Hƣzir kelayƣtib qurdirayƣtgan masjidingizni kordim, Olloh **sizdan** rƣzi bolsın. (p.159)
- 153) **Siz** aytgan hadisi šarifda balki komiř marƣsimiga bƣriř nazarda tutilgandır, vallohi a'lam? (p.159)
- 154) - Uniñ iziga tuşganlar ƣrasida **sizda** avval xizmat qilgan bir ozbek yigiti ham bƣr ekan.
- Kim ekan? - deb ajablardı Asadbek. (p.160)
- 155) - Men uni **siz** korgan kulbamda qoldirib keldim...
- Yaxşı qilibsiz, rahmat **sizga**.
-...Bu yƣqlarda qolga tuşsa, **sizga** yƣmƣn bolar ekan. (p.160)
- 156) Botam, **sizga** aytmƣçi bolgan ƣmƣnat gapım šu. (p.160)
- 157) - **Sizni** bilmayman-u, ammƣ men šorƣ hukumatidan butunlay nƣrƣzıman.....
- Durust aytdıñiz, botam. (p.161)
- 158) ...**siz** muhtaram zotni ziyƣrat qilmasdan otib ketmƣqni ayb deb bildik, - dedi Muhiddin ƣta. (p.162)
- 159) Taqsir, bir rivƣyat yodimga tuşdı, ijƣzat beriñ, aytay. Hƣynahoy **siz** bu rivƣyatdan xabardƣrsız. (p.162)
- 160) Ey, muruvvatlı pƣdšh, biz **siz** bergan suvni iƣdik. Endi **sizga** mehmƣnmiz. (p.162)
- 161) ...biz **sizga** mehmƣnmiz. Haqıqat šulki, **siz** olimga hukm qiluvçi šh emas, xastalarga šıfƣ beruvçi tabıbsız. (p.162)
- 162) Inim, **siz** meni korınmas ip bilan bƣglab ƣldıñiz... Men esa, **siz** aytgan rivƣyatga javƣb aytay:... (p.162)
- 163) Alqıssa šulki, **siz** oylab-oylab durust sozlar aytdıñiz. (p.163)
- 164) **Sizga** bir qaraşdayƣq quvgindi ekanıñizni yuragım sezgan, - dedi tabıb. (p.163)
- 165) - Bilaman, inim, bilaman, - dedi tabıb ƣgır tin ƣlib. - ...Sovet Ittıfƣqınıñ ƣegarasi **siz** bƣsib otgan darvƣza ƣstƣnasida tugaydı...
- Bu davlat yuragımızdan jƣy ƣlbıladı. **Siz** yaxşı aytdıñiz, taqsir. (p.163)
- 166) Lekin... yana bir xastalıq ilaşıbdi **sizga**. (p.164)
- 167) Šu bƣis bu dunyƣdagi bƣylikni, **siz** aytgan yuzta tangani sariq ƣaqaga ham ƣlmayman. (p.164)
- 168) - Uzr, ƣtaxƣn, oylamay gapirib yubƣrdım, - deb bƣř egdi Jalil.
- **Siz** menğa yuzta emas, bitta tƣpıb keliñ. (p.165)
- 169) - Men uni qanday tƣpaman?
- ...Uzƣqdan kelıbsız, šu uy **sizni**ki. **Siz** esa inim, poezdda bir yarım kunlik yol, bir jƣyga bƣrasız... **Siz** Sayyid Abdulahadxƣnniñ on yettinçi jiyanı ekansız. (p.165)
- 170) Ako, **siz** soradıñiz, men javƣb berdim. (p.165)
- 171) - **Sizga** yigit kerakme? - deb savƣlga savƣl bilan javƣb berdi ƣl.
- Aslıda menğa Hayım aka kerak.

- Haym akanğiz men-ku? - deb kuldi qariya. - Nabiram sizga nima dedi, ketdi, dedime? (p.166)
- 172) Nabiram hazilga møyil. Ammó u ketdi, degan, siz oldimi, degansiz, haymi? (p.166)
- 173) He, esiñgizga bir narsa, sizniñ. (p.166)
- 174) Ha, sizga ósonme, bu. (p.166)
- 175) - Tabib óğajón, siz hamma narsani bilasiz, aytiñ, bir óy içida olib qolmaymanmi?
- Buni Xudó biladi.
- Siz ham bilasiz. (p.168)
- 176) Agar keça bu biródarimniñ uzrlari aytilmaganda sizni bóqmas edim. Men sizniñ kozingizda zulm kordim. (pp.169-170)
- 177) Unday demañ, inim, ósa zamón nima uçun siz bilan meni yoldan çiqarmadi? (p.170)
- 178) Taqsir, - dedi Muhiddin óta. - Sizga uóratgani uçun Óllóhga šukr. (p.170)
- 179) Sizda qolaversin, rózimiz, - dedi Asadbek. (p.170)
- 180) - Quyóš esa issiq. Siz óy bola qoliñ.
- Men quš bolgim keladi. (p.172)
- 181) Keliñ, sizni kutib turgan edim, - dedi Said Qódirov uni qaršilab. - ...Siz mendan «Nega bunday boldi?» deb soramañ. (pp.173-174)
- 182) Sizni heç kim išdan çetlatgani yoq. (p.174)
- 183) - Unda meniñ nima keragim bór ozi?
- Siz prokuratura tergóvçisisiz. (p.174)
- 184) Ósa kuni qiz siz aytganday qilib, Bótirovni korsatgan. (p.175)
- 185) Šunda Zóhid bir óz aççıqlanıb: «Siz nimadan qorqasiz? Kommunist bolmasañgiz, bóšliq bolmasañgiz», degan edi. (p.176)
- 186) - Qabrni siz qaziganmisiz?
- Ha, men. (p.176)
- 187) - Bu ham tergóvga kerakmi, aytaymi?
- Men sizni tergóv qilmayman. (p.177)
- 188) U yerga qarab turib, «Dada, siz bizga haróm yediryapsiz, bu išdan ketiñ!» dedi. (p.177)
- 189) Prokurorman deysiz-u, heç unaqa ódamga oxšamaysiz. Nima uçundir sizga yórilgim keldi. (p.178)
- 190) Amaki, siz çiqib turiñ, - dedi Zaynab. (p.188)
- 191) Xop óyi, siz nima desañgiz šu. Ertalab sizni uyimga ólib ketaman. (p.189)
- 192) Siz ham kelasiz. (p.194)
- 193) - Siz bir paytlar meniñ gaplarimni gayrifan der ediñgiz...
- Menga gina qilmañ, menga tušuntiriñ, - dedi Habib Sattórov bir óz asabiylašib. (p.195)
- 194) Sizda balki ontadir. (p.195)
- 195) Ukanğizni ham, sizni ham begóna energoinformatsion maydónlar bezóvta qilgan. (p.195)
- 196) - «Biz» deganiñ kim? - dedi Kesakpólvón.
- Siz bilan men. (p.198)
- 197) Bek aka, men sizga heç qaçón yólgón sozlamaganman. (p.202)

- 198) Namozov, siz ozodsiz. (p.204)
- 199) Siz ilmingizga xiyonat qildingiz. Xudo sizga aql bergan edi, siz aqlsizlar bilan qoldingiz... (p.205)
- 200) - Men seni undan tortib olaman.
- Yoq... Endi keçikdingiz. «Sen sinlimsan», degan edingiz. Siz... akam bolin... (p.209)
- 201) - Xojayiniñni çağır, - dedi Mamatbey pöylöççığa.
- Siz kim bolasiz? (p.211)
- 202) Rak deb kim aytdi sizga? (p.212)
- 203) - Ular sizni nima uçun urışdı, nima sababdan qamab qoyışdı? - deb soradi Zohid...
- Aniq bilmayman. (p.215)
- 204) - Siz işonmayapsizmi?
- Xop, işondim ham deylik. (p.215)
- 205) Sizniñ bunday yoqolganingizni Mahmud akangiz ham bilmasmidilar? (p.215)
- 206) - Siz televizor korib turasizmi? - dedi u.
- Ha, unda-bunda... - dedi Jamşid savoldan maqsadni uqmay.
- ...Şu iş aynan siz uçun,... (pp.215-216)
- 207) - Siz... ulardan yaşirinça iş yuritmoqçimisiz?
- ...Men şeriklarimga qarşı iş qiladigan nımardmanmi? (p.216)
- 208) Men Jamşid akamni yaxşı korardim... Sizga xiyonat qildim! (p.220)
- 209) Ada, - deb ajablanadi Asadbek. - Siz ham şu yerdamisiz? (p.229)
- 210) Siznikida olav kordim? (p.229)

合計323例

Tohir Malik. 2001. Shaytanat. 4-kitob.

- 1) - Siz ham uçasizmi? - deb soradi Manzura ajablanib.
- O, albatta, - dedi Guluzor begim qahva hoplab. (p.3)
- 2) Mahmudjon, akangizniñ dardini siz yaxşı bilasiz, kelaman, deb ozlari kelmeyaptilar, qaytib ketay desam, unğa unamaydilar, siz biron nima bilsangiz aytiñ, - dedi. (p.4)
- 3) Sizni sorabdilar xalos. (p.11)
- 4) «İş»ni sizga işonyapman. (p.15)
- 5) Kennayi, siz kelinlaringizniñ yoniga borib tura qolin, - dedi. (p.25)
- 6) Bor... siz bilan işlaş biz uçun baxt. (p.37)
- 7) Mulla aka, sizniñ tani-joningiz sağ bolsin. Sizdan başqa bizniñ yana kimimiz bər? (p.41)
- 8) Bek aka, sizniñ oğillaringizga havasim keladi. (p.41)

- 9) Bek aka, siznikini qatiqlamadim-a? (p.42)
- 10) Kennayi, siznikini olaveraymi bolmasa? (p.42)
- 11) Ha, - deb javob berdi Jamšid unga tik qaray olmay. - Sizga yolg'on gapiruvdim. (p.46)
- 12) Gunohlarni siz qildingiz-u, jabrini bolalar tortiŝsinmi? (p.47)
- 13) Gunohlarni siz qildingiz-u... (p.48)
- 14) Siz hali yoŝsiz, xayolingiz boŝqa yoqda. (p.61)
- 15) Maqsud akangiz sizga ustoz bolganlari uŝun aytyapman bu gaplarni. (p.61)
- 16) Ŗokarimovniŝ iŝini sizga beriŝibdi, eŝitdim. (p.61)
- 17) Balki sizga yorilib qoliŝar? Siz qidiradigan sir ŝu ikkalasiniŝ orasida. Uzozqqa borib yurman, uka. (p.61)
- 18) Bunaqa orinlarda otiriŝ uŝun ma'lumot ŝart emas, uka....Siz kitob korib ulgaygan yigitsiz. (p.62)
- 19) - Ehtiyot  orasini ozgartirsammikin, siz nima deysiz?
- 20) - Endi uka, «Iŝ» sizniŝ qolingizda....Men ŝoŝilmagan edim, «Iŝ»ni sizga olib beriŝdi. Aqlim yetgani agumonlarim bor, amm  buni hozir sizga aytmayman. (p.62)
- 21) - Sizdan ham oldin bir kiŝi ikki-u  marta keldi....
- Siz ovora bolman, opa, ozimiz bir amallab topamiz. (p.64)
- 22) Men soraydigan ayrim narsalar sizga bema'ni yoki eriŝ tuyuliŝi mumkin, lekin ŝularni sorab, aniqlaŝga majburman. (p.64)
- 23) - «Asadbek» desa butun ŝahar taniydi-ku? Siz... eŝitmaganmisiz?
- Eŝitmaganman... (p.65)
- 24) Sizni qayerdadir korganday bolib otiruvdim. (p.65)
- 25) Ha... siz ham boruvdingizmi? (p.65)
- 26) Mendan oldin siznikiga militsiyadan Ilyosov degan odam kelgan. (p.65)
- 27) Siz nimaga hayron bolyapsiz? (p.65)
- 28) Asad Abdullaev, siz men bilan yuriŝ. (p.68)
- 29) - Kim bolsa ham sizga noto gri ma'lumot beribdi...
- Ha, - yigit tisarilib yana stolga om nat otirdi... (p.68)
- 30) Sizni olib ketgani kelganmiŝ. (p.70)
- 31) Siz - olimsiz, sovetlarga yom nligingiz yoq. (p.72)
- 32) Nima, man sizga yoŝ kelinmanmi? (p.90)
- 33) Siz... izdevatsya qilman. (p.91)
- 34) Sizni ko ada soraŝayotganmiŝ,... (p.91)
- 35) - U kiŝi... sizda...
- Menda?.....Siz adaŝganga oxŝaysiz, siŝlim.
- Siz... toyimizga borganisiz... (p.92)
- 36) Siz oŝa odamni topib, olib borar ekansiz. (p.93)
- 37) Uka, siz ŝu sohani tanlabsiz, bilib qoyiŝ: mana ŝunaqa iŝlar milisani odamlar koziga balo qilib korsatib qoyadi. (p.94)

- 38) **Siz**niñ yorigiñiz bəşqa. Oziñiz yaxşı korib, əqib kelyapsiz. **Siz**ga oxşaganlar kopaysa mendaqalarga nən qolmaydı. (p.94)
- 39) **Siz** bilan men hazır bərib şularnı ərqaqa qaytarışimiz kerak. (p.95)
- 40) **Siz** bir som bilan bəyib ketgan tabibni korganmisiz? (p.95)
- 41) Bırədar, yolimiz uzəq ekan, jim ketişni jinim yəqtirmaydı. Xop desəñiz, men **siz**ga bir nima aytib beraman. (p.96)
- 42) Rivəyatniñ asl mağziga kora, bırədar, bugunğı işimiz bilan **siz** oz əxirətiñiz ərəliga bir xayrlı nihəl ekdiñiz. (p.97)
- 43) Būnga **siz** aybdər emassiz. (p.98)
- 44) **Siz**ga xəbar yubərılğanini adəñiz bilmasalar ham kerak. (p.98)
- 45) ...**siz** bilan mürəsa qıla əlarmikin? (p.99)
- 46) Bu əyati karimani faqat **siz** uəun aytmadım, - dedi tabib yoldan koz uzmay. (p.101)
- 47) Tabib aka, hali əxirat ərəli haqida gapirəniñizda «daraxt ekdiñiz» deb birlikda aytdiñiz. «Daraxt ekmadikmi»? **Siz**niñ işiñiz ham xayirli-ku? (p.101)
- 48) Buvəjon, - dedi mehribən nabira əvəzi bilan, - men **siz**niñ gapiñizni heə ikki qiləanmanmi? (p.102)
- 49) - **Siz** bugun ikki marta xijolat əkdiñiz. Biriñisi - **siz** mēga ropara bolışdan uyaldiñiz...
- Taniganmidiñiz?
- Bolmasam-əi! Bir hafta uyimizni pəylaysizu tanımaymanmi? **Siz** bu işdan uyalməñ, bırədar. (p.104)
- 50) - Men u kişini oşandan keyin kormadım.
- **Siz** bunaqa narsalardan emas, adələtsiz bir iş qilişdan xijolat bolıñ. (p.104)
- 51) Tabib aka, kop ədam adəlatdan gapiradi. Mana, **siz** ham tilga əlyapsiz...Dindən yaxşı xəbəriñiz bər ekan, şuniñ uəun **siz**dan sorayapman bu savəlni... (p.105)
- 52) **Siz** bilan bizga yana debdilarki... (p.105)
- 53) **Siz**ga bu qazə ğalati tuyulmadimi? (p.107)
- 54) **Siz** «əçinmaysizmi?» deb soradiñiz, a? (p.108)
- 55) - Men bəşqa ma'nəda aytuvdim, **siz** ozga təməndan ilğabsiz.
- ...**siz** aytgan ədamiylik nuqtai nazaridan qarasak, uniñ əldinrəq olğani jamiyat uəun fəydəlırəq. (p.109)
- 56) - Sekiñgına «İş»ni yəpib qoya qəlaymi?
- **Siz**ga «dumini bəsməñ», dedim. (p.109)
- 57) - Buni oyləanman. Ədam qoyamiz.
- 58) - ...**Siz**niñ orniñizda bolsam, ularni həzirəə çiqarmay turardım. (p.109)
- 59) - Bu **siz**niñ meniñ ustimdagi haqqiñiz edi.
- Qaysi aybim ekan, ayt, - debdi qariya.
- ...Men ne məşəqqətlər bilan **siz**ni əmənlıkkə əlib çiqdim. Şahəga yaqınlaşəan ənimizdə **siz** meniñ burundiğıma bəğləñən arqənniñ bir uəini əşakniñ dumıga bəğləb qoydiñiz. (p.110)
- 60) Bek aka, **siz** bilan bizniñ taqdirimiz kreml devərləri ərtida hal qilinadi. (p.111)
- 61) **Siz**ga kennayimniğ jənləri kerakmi yə məlmi? (p.116)
- 62) Adalarimizniñ **siz**ga kozları uəib turgani yoqdir, biz bilan ətamlaşib yuraveriñ. (p.122)
- 63) Ozgina əşşaklığı ham bər-u ləkin **siz**niñ hurmətiñizni qilib «ət» desək ham bolar. (p.122)

- 64) - Kəlinpəşşələr **siz** yetib bərlənməyən nəq Girmənniñ ozidan.
 - Girməndən deysanmı? - u ornıdan bir qimirləb əlib, əjablanmışını yaşırmay Asadbekka tikildi.
 - Ha, Girməndən, ləkin **siz** oylaganday Gıtlərnıñ jıyanları eməs ular. (p.122)
- 65) - Toğrı urgansız oşanda. Mən **siz**dan keçırım soraşım kerək.
 - Mən sendən rəzıman. (p.124)
- 66) Adam tırık bolganlarıda **siz**ni keçırardılar, gına saqlamasdılar. Oşa xatga qol qoymaganiğizda ham baribir qamaşardı, **siz** bundan sıqılmañ. (p.124)
- 67) - **Siz** aytıñ... bizdən rəzi bolsınlar...
 - Rəzilik üçün ham dalləl kerəkmi? - deb tənğılladı Asadbek undən kozını əlib. (p.125)
- 68) ...Professor aytdılarki, buni faqat **siz** hal qılar ekansız? (p.128)
- 69) Ruxsat tekkan kuni ozim əlib çıqaman. **Siz** esa... (p.128)
- 70) **Siz**çalık şirin pişirəlməsəm ham urınıb koraman,... (p.134)
- 71) Bu **siz**niñ üçün muddəniñ ozi eməsdürmi, deb xəvətir qılurman. (p.134)
- 72) Zaynəbxənim, **siz** biza kutubxəniğizi korsatmaysız? (p.135)
- 73) - **Siz**... oqıqanmısayız? - deb əjablanıb soradı Zaynəb.
 - Çox-çox mərtəbələb, - dedi Məştəriy suhbatga qoşılıb..... - **Siz** kitabni nardan əldiniyız, deb əjablanıyursızmi? (p.135)
- 74) **Siz**ni kordim və dedimki: ana, Kumuş! (p.136)
- 75) Unıñ tıyğuları **siz** ilə bizdə yaşar, - dedi-yu, bu gapi bilan Zaynəbniñ yuragidagi yarani tırnab, tuz sepdı. (p.136)
- 76) Qəzixonada **siz**ni maskovlik məhmən kutib otırğanmış. (p.138)
- 77) - Seni kim yubərdi? - deb soradı.
 - Xəngirey, - dedi Selim. - **Siz**ga aytişmadımı? (p.138)
- 78) **Siz** bilan birgə kəttə işlər qilişimiz kerək. (p.138)
- 79) **Siz** bugün Xəngireyga qəngirəq qilib, kəlğanimni aytib qoysağız bas. (p.138)
- 80) Əlampanəhim, mən qayıb kəldim. Ətəğız **siz**ni behisəb rəvişdə duə qildilər. (p.139)
- 81) ...**siz**ga... ənası opmayan qızlar məhtal bolib tırışibdi-ku, mənı nıma qilasız? (p.143)
- 82) Haqimni biləmə-ku... ləkin... u ədam **siz**ni ham soradı. (p.143)
- 83) - Boyı uzunrəq, gəvdəli, məndən sal yəşrəq ədammidı? - deb soradı.
 - Yo-oq... boyları **siz**dan ança past edı... (p.147)
- 84) **Siz** təkşirib, təgiga yetkuniğizə yəna nəçə əy otarkin. (p.148)
- 85) Akağız eriniğizniñ yoqolğani haqıdagi xəbərnı **siz**ga qay vaxtda aytdılar? (p.149)
- 86) - Ağa dünyəga **siz**niñ kozlarığız bilan qaralsa, yoqdır?
 - ...**Siz** «mənı eriniğizga oxşatmañ, oynasım yoq», deməqçisiz-ə, a?...**Siz** bilan oşanda gəpləşəmə, uka. (p.150)
- 87) - Multfilmni erimniñ olimiga nıma ələqəsi bər? - dedi Əysanəm nərzəzi əhəndə.
 - Qanday ələqəsi bərligini keyinrəq aytəmə **siz**ga. (p.150)
- 88) - Demək, akağız xəvətirlərini **siz**ga dərrov bildirməgənlər?
 - Şunaqa boldı. Mənı qorqıb kətmasın, dəgəndirlər. (p.150)

- 89) - **Siz** nima dedingiz?
- Nima derdim, yuragim šuv etib ketdi. (p.151)
- 90) - Išga men šošyapman, sen nega soatinga qarayapsan? - deb soradi.
- **Sizni** biröv kutayotgan bolsa... (p.153)
- 91) Biz bilib aytamiz, bilmasak, salla-čoponni **sizga** oxšagan «dönə»larga təpşirib, yelkaga ketmənimizni taşlab jonavoramiz...«Ehsən qiliş kerak», deb orgatişgan-da, **sizga**?...Šumi, **sizni**ñ ehsəningiz? (p.154)
- 92) - **Siz**da yana bitta ozgariş sezdim, aytaymi? - deb soradi Zohid, muğəmbirlik bilan kulimsirab.
- Albatta, - dedi Habib Sattərov. (p.157)
- 93) - Ortəgingiz Aliqul aka keldilar, - dedi u erini korib.
- Nima deydi?
- **Siz**da işlari bər ekan. (p.158)
- 94) Otajon, **siz** mənə xazinəgizni vafətingizdan son xalqqa ulaşışni vasiyat qilib edingiz. Rəsti mən bu amrni bajarməqqa məjbür bolganim tufayli **sizga** e'tirəz bildirməqqa jur'at etmadim. (p.159)
- 95) - Tinçlikmi, niməyə çiqibdi? - deb soradi Asadbek.
- **Siz**da məsləhətli işlari bər ekan. (p.163)
- 96) Yaxşı pişməbdimi, **sizga** yəqmədimi? (p.169)
- 97) Yəməən eməs-ku, **sizga** nimesi yəqmədi? (p.169)
- 98) **Siz** mənə qopəllik qılman, - xizmətçi şunday deb ornidan turməqçi edi, Asadbek uni biləgidan uşlab tərтіb, jəyigə otqazib qəydi. (p.169)
- 99) Mayli, **siz** nima desəngiz şu. (p.172)
- 100) - **Siz** nima desəngiz...
- Mən sənə fikriñni bilməqçiman. (p.172)
- 101) - **Sizni**ñ oğillaringizgə vatan kerəkmasmi?
- Kerəkliklə kerək... qol kalta-da, Bek aka.
- Qamar aka, **sizga** bu işni biröv orgatdimi, yə bittə-yarimta zor «sətasən», deb zorladimi? (p.174)
- 102) - Rəhmət, Bek aka, ozi... **sizni**ñ əldingizdə hijəlat edim.
- Nəyə hijəlat bolasiz? **Siz** bilən bizniñ ərəmizdə gap-soz bolışı mümkünmə. (p.174)
- 103) - Qamar aka, şu gapingizgə qəyil qəlmədim. Nəçə yillik qəşnimiz-u, ləkin **siz** ham bəşqalərgə oxşab hər xil miş-mişlərgə işənəsiniz...
- Unaqə eməs, Bek aka, **sizni** hurmət qılaman.
- Hurmət qıləsiz-u, ləkin qorqəsiz. **Sizgə** aytməgəndirman, özingiz ədamlardan eşitgəndirsiz bəlkə, mən bəlaligimdən bəşləb qimərinə xadisini olğənman. (p.174)
- 104) Oylab korin, kəngingizdə əzgina gümənmi, xiralikmi bolsa - mən təklif qılmadım, **siz** eşitmədingiz. (p.175)
- 105) Mən «uyni sətman», deb çiqdim, **siz** şungə kondingiz - bəşqə gap-sozimiz yəq. (p.175)
- 106) ...vəqti kəlib u **sizgə** dost bolib qəlar... (p.176)
- 107) **Siz** aytğəndəy tuxum bəsib otirğən ekan, tuxumini quritib qoyə qəlišibdi. (p.181)

- 108) - **Siz**ga ham aytişgandır, biz bir-birəvimiz bilan korinmas zanjir ilə bəqlənənəmiz.....**Siz** buna, - Safer Halimjonin tizzasidagi diplomatga şapatilab qoydi, - javab berasiz, men **siz**ni esənəmən qaytib bərişingizga. (p.184)
- 109) Amaki, men **siz**ni suratingizni uyimizdagi albomda korganman. (p.189)
- 110) - **Siz** Tomska bolganmisiz?
- Yoq, bunaqa şahar bərligini endi **siz**dan eşityapman. (p.189)
- 111) Amaki, **siz** Tomska albatta bəri, zor şahar! (p.189)
- 112) Bular **siz**ga esdalik, - yigit şunday deb suratlarni Asadbekka uzatdi. (p.189)
- 113) Men **siz** kutayotgan iqrəni aytmayman,...**Siz** işni madaniyçasiga yuritar ekansiz. (p.193)
- 114) - Biz şunca aydan beri nima iş bilan şugullanayotganimiz boyiça **siz**ga hisob bərişga majburmasdirmiz?
- Albatta majbur emassiz. Jahlingiz çiqmasa **siz**dan bir narsani sorasam.
- Soray.
- **Siz**... mantiq degan fan bərligini heç eşitganmisiz? (p.193)
- 115) Lekin **siz** soray qilgani kelgan ədamsiz, falsafadan masala soqışga təqatingiz yetmas? (p.193)
- 116) - Mana, masalan, **siz** bilan meni bu həlda otirişimizda mantiq bərmi?
- Yoq deb oylaysizmi?
- Albatta yoq. **Siz** «haqiqatni aydinlaştiriş üçün mantiqiy majburiyat bər», dersiz?...
- **Siz** ozingizni begunə hisəblayapsiz. Bu yerda otirganlarni deyarli bərçasi şu fikrda.
- Bu masalada **siz** bilan bahslaşmayman. (p.193)
- 117) Yəlgiz ayol üçün bu yaxşı korişni qadri qandayligini **siz** his qila əlmaysiz. **Siz** xuddi şu nuqtada menə mantiqni təpib bəri-çi? (p.194)
- 118) - **Siz**dagi ilm, fərsat bilan bu azəbni yəngiş mumkin, deb oylayman.
- ...Meni kəlagim - ozimni bəş əgrigim, **siz** oylamay qoyaveri. (p.194)
- 119) Eşpolatovni aytişiça, xojayinini əlib kelganida **siz** yəlgiz bolgansiz. **Siz** esa ədam bər edi, Eşpolatov heç kimni bəşlab kəlməgan, deyapsiz. (p.194)
- 120) - ...Bilmədim, **siz** bu gapni qayerdan əldingizikin. Balki **siz** aytgənday şaklləngəndir,...
- Aniqrəq gapira əlasizmi?
- ...Oşa kuni uyimə keləgən ədam **siz** oyləgən ilinjdə otirməgəndi. Samimiy dost sifatida, hətə aka-singil sifatida gaplaşib otirənimizə **siz** ham işənəmsiz, bəşqalar ham....
- Şəşilmə, ozingizni bəşni. **Siz**ni aytədigən sozingiz bolmasa, meni soraydigən savəllərim bər. (p.195)
- 121) Mirkərimov **siz**ga uylanməqçimidi? (p.195)
- 122) - Men Məvlən akeini bəyliklərigə uçməgənman.
- Lekin Mirkərimov **siz**ga tilla təqinçəqlar səvəgə qilib turgən. (p.195)
- 123) Ulərnə oğirləmagənsiz, **siz**ga səvəgə qilingən, ozingizgə buyursin. (p.195)
- 124) «Bunaqa erkək kimə kerək?» degənimdə faqat **siz**ni nəzərdə tutgənim yoq. (p.196)
- 125) **Siz** əysənam Erkaevəni tanisəngiz kerək. (p.196)
- 126) Masalan, Erkaevə bir nima bəhənasida janjal qilsə, siqilib, **siz**ga yəriləgəndir? (p.197)

- 127) Erkaeva erinin siz bilan ućrařib turiřini bila turib indamagan, deb oylaysizmi? (p.197)
- 128) Siz Mirkarimovniń yaqın taniřlarını bilar mıd ıgız? (p.197)
- 129) - Siz-ći? Siz soragan mısız?
 - Men uniń tıpar-tutar ıgız qızıqmagan man.
 - Nega qızıqmaysız?... Har hılda ırada sizniń iltimıř ıgız ham bolgandır? (p.198)
- 130) - Siz yigit olgur Eřpolatovniń gıplar ıgız iřonib řunday deyapsızmi?
 - Biz Eřpolatovniń gıp ıgız emas, dalillarga iřonam ız. Bu dalillarnı qayerdan olganimni sizgız aytib otırmay man. (p.198)
- 131) Qořni bolganim ızdan beri sizdan kop yaxřiliklar kordik, baraka tıpıń,... (p.199)
- 132) Bu bollar siz korgan qiyinćilik-azıblarnı koriřmagan....Siz ozingizni sıqman. Men «sıt ıń», desamu siz «yoq» desangız hijılat bolsangız yarařardı....Siz bilan biz yaxři qořni edik. (p.199)
- 133) -...Siz «uy sıtiladı», deb ıvıza qılaver ıń.
 - Siz... ılmaysızmi? (pp.199-200)
- 134) Uyga qaytib suyunćli xabarnı eřitdimu qanıt ćıqarib siz tımın ućdim.....řu isirgalarnıń egasi, baxtı kulgan qızlar sizniń kelinlaringız ekan. (p.201)
- 135) - Ćaynalman, sizgız dadil gıpıřıř yarařadı.
 - Gıp řuki... balki bizlarga nıtoğrı xabar yetgandır... Siz Haydarjıngız vakılatnı sal kattarıq berib yubırgan mıřsızmi?
 - Ha, řunğız yaqın gıp boldı. Kasallik meni anća tıldır ız qoydı. Haydar begına ıdam emas, tařviřlanman.
 - řunaqız deysız-ı, begınadın oziğniki yımın ćaqadı.
 - Siz ćaqdır ız yurman-da...
 - Qılıqlarnı bilganim ućın sizgız yır ız yapman. Aslı... sizniń iřingızgız aralařıřı nıma'qul.
 - Ćıydan ić ıń, ıxun, sizni bu ahvılda korgan ıdam Asadbekniń janızasıda otiribdimi, deb oylaydı. (pp.201-202)
- 136) Mıń rahmat sizgız, ıxun, birıdarlaringızgız ham rahmat. (p.202)
- 137) Hızir sizgız xabar bergani ketayıtıvdim,... (204)
- 138) Siz oylagınday. Selimgız tıqatı yoq, lekin sir bıy bermayaptı. (p.210)
- 139) Sizgız nıma kerak? - dedi. (p.212)
- 140) Margarita Iosifovna, sizni bolaligingızda yaxři tarbiya qılıřmagan ekan. (p.212)
- 141) Siz qorqman... Meni... tanımayapsız řekilli, a? (p.212)
- 142) Sizgız ham tegmaymız, qorqman. (p.212)
- 143) - Siz negız meni tanımadıgız, hayrınman?
 - Qayerdadı korganman, - dedi ayıl iřonćsiz tarzda.
 - Ha, albatta korgansız, men sizniń oğ ıngızman. (pp.212-213)
- 144) řunıń ućın siz titraman, ınajıngızman, ćıy berasızmi yı qahvami, maylı, himmatıgız. (p.213)
- 145) Siz kimsiz, sizgız nıma kerak? - dedi Mark keskin ıhańda. (p.214)
- 146) Mark Abramović, kuyıvım bolganıgız ućın sizgız yaxřilik qılmaqćıman: «Orxideya»niń sıvğas ıgız ućman. (p.214)
- 147) - Siz kimsiz? - dedi Mark bu safar tıbelik bilan.
 - Kimligimni hali ham bilmadığmı? (p.214)

- 148) - Qani, men bilan ellikta-ellikta olasanmi?
- **Siz** bilan olış biz uçun baxt akaxın, lekin jigarnıñ sal mazası qoçğan, parhezdamız. (p.218)
- 149) - **Siz** buni oylamañ, tezrəq tuzalıb çiqışnıñ harakatını qılıñ, - dedi.
- İstəgimniñ salomatlığımğa heç bir daxlı yoq. (p.221)
- 150) **Siz** aytasızu men yoq deymanmi... (p.221)
- 151) Birəvğa adolat qılış, başqasınıñ nəhaq sötılğan uyını qaytarıb beriş savəbları şafqat pallasınıñ əgır kelişini ta'mınlaydımı yəki yoqmı, buni **sız**u biz bilməymiz. (p.228)
- 152) **Sizniñ** taxminəgiz toğrı çıqdı. (p.231)
- 153) **Sizniñ** nəminəgizni sötib, «Bek akamniñ jıyanıman», deb avtobazaga işğa kirgən ekan. (p.232)
- 154) **Sizniñ** yoqlıgıñızda gaplaşıb olışmoqçı. (p.232)
- 155) Bek aka, **sizniñ** hurmatıñız... (p.234)
- 156) Bolalar **sız**ğa ruxsat beradiganmas, - dedi Jalil otanıñ maqsadını tuşunıb. (p.236)
- 157) Vəy otam, vəy otagınaməy, - deb kuldi. - Bopti ketdik bolmasa. **Sizni** eñ zor mehmonxənəgə olıb bəray. (p.236)
- 158) **Siz**ğa vabşe gapiriş kerakmas. (p.238)
- 159) Həzir keta qolamız, - dedi Jamşid, - men doxtırğa uçraşıb çıqaman, **siz** tayyərənib turıñ. (p.240)
- 160) - **Sizmi** yə Bek akammi iş buyurgandırızlar, deb oyləvdim.
- Men uñğa heçam iş buyurmaganman. (p.241)
- 161) - Bırdar, **siz** meni ança hijolatğa qoydıñız, - dedi Abdurahmən tabib, barça otirib, jəylaşıb olgaç...
- Taqsir, dövruğı yetti iqlimğa ketgən **sız**dek motabar zətni əzgina kutsak kutibmızda, - dedi Muhiddin otə...
- ...Bandanıñ maqtəvlərdən yırəq ekanini avval kelgənizdə sezməbmıdıñız?
- Seziş nima ekan, korib-bilganman. **Sizni** oylasam hukaməlardan mərəs bir rıvəyat yədimğa tuşaveradi. Buni **siz** bilərsiz, orni kelib qoldı, bu inilarimizgə ibrat sifətida aytayın. (p.244)
- 162) - **Siz** dərılarnı yarımlatmay, içişdən toxtabsız, şundaymı? - deb soradi.
- İş bilan bolib... - Asadbek özini əqlamoqçı boldı.
- ...**Siz** ozingizni yaxşı his qilib, bataməm tuzaldım, degən xuləsəgə kelgənsiz. (p.245)
- 163) Ammə... otasi bilmasın, **sız**ğa ma'lum bolsa kifəyə, yigitmızdagi xəstəlik nə ekanini anıq biləlmədim. (p.246)
- 164) **Siz** qayəqqa otlandıñız? - deb soradi. (p.247)
- 165) **Siz** ketməñ, şu yerda qolıñ. (p.249)
- 166) - Buyurtma beruvçi - **siz**. Qançə kerək bolsa, şunçə olamız...
- Məngə sun'iy dəri kerək emas. (p.253)
- 167) **Siz** təməndəgi bə'zi ədamlar «Polşəlik hamma narsasını sətışı mumkin», deb gapirib yurişadi. (p.253)
- 168) **Siz** ham şu haqiqatni unutmasəgiz ikkəlamız birgəlikdə uzəq yaşəymiz. (p.254)
- 169) Zeli əgə, unday deməñ, men **sizni** hurmat qiləman. (p.262)
- 170) Oyijon, menden rəzi bolıñ. **Siz**day ənəgə əgil qilib dunyəgə keltirgəni uçun Ollohğa həzər-həzər şukrlar aytəman. **Sizniñ** xizmətinizi qiliş qismətdə yoq ekan... Xudə **sız**gə sabrni mol-mol qilib bergən. (p.264)
- 171) **Siz** ustəzim doktor Xudəyərğə oxşarkənsiz. (p.265)

- 172) Jən ətajon, **siz** şunday dostlardan bolıñ. (p.265)
- 173) - Adajon, **siz**dan tuprəq isi kelyaptı.
- Nega ajablanasan? Axir men qabrdan çiqib kelyapman-ku?
- Ada, **siz** menğa yəğəç čana yasab qoyuvdingiz, bəlamni əlib ketdingiz... (p.268)
- 174) Bu korgulik **siz** bilan biz üçün Əlləhniñ bir sinəvi. (p.269)
- 175) Əlləhniñ şu marhamatiga yetişməq **siz** bilan bizğa nasib etgan. (p.269)
- 176) - Hay-hay botam, bandani bunday haqəratlaman.
- Men uni haqəratladim. **Siz** uniñ qiliqlarini bilmaysiz. (p.272)
- 177) **Siz** bəş oğilsiz, qasəs əliş kerak! (p.275)
- 178) Agar **siz** ketsangiz, orniñgizğa ozim qəlamam! (p.275)
- 179) Biz **siz**ni bu yəqqa işğa čaqiriş maslahatini pişirib qoydik. (p.277)
- 180) **Siz** aytgandan kora koprəq, - dedi Xəngirey uñğa ayyərlik bilan bəqib. (p.280)
- 181) - Xop, unda bəş fəizini beramiz, - dedi.
- Men savdələşmayman, - dedi pan keskin tarzda. - Pulni **siz** bermaysiz, biz əlamiz. (p.280)

合計245例

To'xtaboyev, X. 1975. Besh bolali yigitcha.

- 1) Aytgandek, **siz**ğa gapirib bermadim šekilli, bizniñ qışləqni Afandi qışləq deyışadi. (p.6)
- 2) Pəlvən təğa, **siz**ğa əşak mınğan xəbarçi kelibdi, - deb qoydi. (p.14)
- 3) Unisiyam **siz** bilan menğa oxşagan bir ədam. (p.17)
- 4) Əta, **siz** miltiq ətişni bilasizmi? (p.22)
- 5) Heçqisi yoq, - dedi komandır, - artilleriyaga **siz**daqanğı pahlavənlər kerak. (p.25)
- 6) Uruşadi, - gapğa aralaşdı Turən amakim - bitta **siz**ğa oxşagan čəl toplaş yurgan puliga samalyot əlib beribdi. (p.27)
- 7) ...qani endi, **siz**, ham oğillariñgizğa atab bitta zambarak əlib jonatsangiz... (p.27)
- 8) Nima, **siz** uni uçığa təş bəyləb ətadigan səpqən deb oyladiñgizmi? (p.27)
- 9) **Siz**ni birəv zorlayətgani yoq, xəhlamasangiz şu bir yelpiğiç mayiziñgiz ham yetadi... (p.27)
- 10) Hukumatniñ pul işləb čiqaradigan zavodi bər, **siz** təşvişini tərtnay qoya qəliñ... (p.28)
- 11) Parpi amaki, **siz** ətamni korgan ədamsiz, **siz**dan jənimni ayamayman, pulim bolğanda oşa **siz** əlməqçi bolğan zambarakni, xudə ursin agar, ozim əlib bergan bolardim. (p.31)
- 12) Meli baqqol yana anča mahalğača uni-buni bəhəna qilib, talaşib-tərtişib otirdi, qasam içib, ozimda bolğanda **siz**ğa, ətamni komğan mehribən bir amakimğa yeb ketargə bergan bolardim, dedi. (p.31)
- 13) Yoq, biz uruşda yəngilmaymiz, **siz**ğa oxşagan ətaxənlər, mana bu yigitiçəğa oxşagan askar bəlalarimiz əmən ekan, yənçib təşləymiz - deb qoydi. (p.32)

- 14) **Siz** qoşnilarnıñ gapıǵa parvı qılmañ. (p.34)
- 15) Uruşdan aldın **siz** qol-ıyoqni bōǵlaş haqıda heç nima demagan ediñiz-ku? (p.42)
- 16) Hıy, **siz**da insaf bormı? (p.49)
- 17) **Siz**da oq rañ bormı? (p.49)
- 18) - Oǵlımǵa atab tikkandım, jón inim, şuni **siz** olıñ!
- Tövba, oq rañ ham boladımı dünyada?
- Qoşnim aytuvdi.
- **Siz**ni laqillatibdi. (p.49)
- 19) Toxta xolamlarnıñ hıylısı, **siz**ǵa aytuvdim şekilli, içkari-taşqarılı,... (p.55)
- 20) Hamma ayb **siz**da! (p.63)
- 21) Xolajón, rızı bolıñ... bolalarım **siz**ǵa qoldı... (p.65)
- 22) ...MTC direktori, **siz**niñ ortaqıñız bır edi-ku, oşa xola ham qıstab qoyışmayaptı. (p.67)
- 23) **Siz** apajónım, undan olǵan qarızıñızni dadam armiyaga ketayotǵan kuni bergan ediñız, biz ham korib turuvdik, endi bolsa tındı, qasam içib tındı! (p.67)
- 24) **Siz** uçun bir kuñǵa emas, bir haftaga ham yoq demayman, çunki **siz** juda tabarruk kişisiz, zambarakka pul berganıñız uçun hızir butun oblastda **siz**ni gapirişyaptı,... (p.71)
- 25) Bitta oşǵa emas, kattaroq ziyofatǵa tuşıramız **siz**ni, hali şoşmay tursanıñız oǵıllarıñız kelsin,... (p.72)
- 26) ...keçasi bilan **siz**ni çaqirib, katta aka, tez keliñ, deb şunaqanı yıǵladiki... (p.129)
- 27) Amaki, **siz**ǵa tufli kerakmi? - dedim eski-tuski tufılarnı korib yurgan bir adamnıñ engidan tırtib. (p.130)
- 28) Amaki, **siz** Sultón Mirzayev degan bolani kormadıñızmi? (p.137)
- 29) Aka, **siz** hafa bolyapsızmi? (p.159)
- 30) Aka, **siz** kopam hafa bolaverman, qışloqqa borsak hamma işni ozim qilaman,... (p.159)
- 31) Keyin **siz** kolxozǵa işǵa kirasız, men ham kیرaman... (p.159)
- 32) U **siz**ni ozıǵa aka qilib olmoqçı. (p.159)
- 33) Rahmat xolajón, miñ marta rahmat **siz**ǵa. (p.181)
- 34) ...hamma-hammasi uçun miñdan miñ rahmat **siz**ǵa. (p.181)
- 35) **Siz**ǵa yuvıǵına eşsak kerakmi? (p.186)
- 36) Mayli, bıbıjón, **siz**ǵa oltı yuz somǵa beraman,... (p.186)
- 37) Menǵa qarañ, yigitça, mabıdo **siz** afandı emasmisiz? (p.188)
- 38) - Tez bol, çirıǵım!
- **Siz**... bu **siz**mi? - soradım uyqusirab. (p.195)
- 39) **Siz**ni heçam unutmaymız, bıbıjón! (p.200)
- 40) ...men **siz**ǵa mana şunisini, ya'ni ertasıǵa keçasi goñtepada bolib otǵan katta muştlaşuvni aytib bermıqçı edim. (p.213)
- 41) Men, hali **siz**ǵa aytdım-ku, xudo ursin agar, muştlaşmoqçı emas edim. (p.214)
- 42) Parpi buva, nega **siz** hiriñlab kulyapsız, yoki men maymun oynatayapmanmi? (p.219)
- 43) Har narsalarnı, keyin **siz**niyam oylayapman. (p.220)

- 44) **Sizga** juda qiyin. Toxta xolam, beçəra Ərifim bolaligidayoq çöl bolib qoldi deyapti... (p.220)
- 45) **Sizda** tok yoq edi şekilli? (p.226)
- 46) Birəvniñ uyini tintuv qilişga **sizga** kim ruhsat berdi? (p.228)
- 47) Parpi amaki, **sizga** ham, Rəziqjon **sizga** ham kolxoz pravleniyasi nəmidan,... (p.231)
- 48) **siz** ham komsomolga a'zo bolganmisiz? (p.235)
- 49) Mariya Pavlovna **sizni** haqıngizda mənəga gapirib berdi... (p.237)
- 50) ...rahmat **sizga** Ərifjon Mirzayev! (p.237)
- 51) **Siz**, Ərifjon Mirzayev, Lenin komsomoli safiga qabul qilindingiz! Tabriklayman **sizni**! (p.237)
- 52) Ammı bu qaysar qiz avval Zulayhı oqib kelsin, uñgaça men **sizga**, ukalarimga qaraşib turaman deb konmadi. (p.241)

合計 60 例

Umarbekov, O'. 2002. Saylanma. 1-jild.

- 1) **Siz** nima deysiz, Nazira? (p.9)
- 2) Rais **sizga** salom dedilar. (p.10)
- 3) Rəst, **siz** hamma narsaniñ uddasidan çiqasiz. (p.11)
- 4) - Ha, **siz** qayoqqa? - soradi ayol undan.
- **Sizni** qoyib kelaman. (p.13)
- 5) Nima, **sizni**kiyam buzilib qoldimi? (p.15)
- 6) Nima, **siz** qarəqçimidingiz? (p.15)
- 7) Katta rahmat. **Sizni** ança əvəra qildim. (p.16)
- 8) - Hayət qoşığı? Yaxşı nəm.
- **Sizga** yəqdimi? (p.21)
- 9) Bu qoşiq haqiqatan ham **sizni**ñ hayət qoşığingiz bolsin! (p.21)
- 10) **Sizni**ñ ham keladigan kuniñiz bər ekanku, bəlam, esənmisiz-əmənmisiz? (p.21)
- 11) Unday bolsa, uyda ham xizmat qilasiz. Mehmənlər ataylab **sizni** deb kelişgan. (p.21)
- 12) Men **sizga** rəstini aytsam, həzirgi yəşlərinə, umuman, mazasi yoq. (p.24)
- 13) **Siz** meni tuşunmadingiz... Mana, meniñ bəşligim ham xuddi **siz** aytgan yəşlərdən. (p.25)
- 14) Ləkin **siz** bittə e'lonəga qarab bəhə bərməñ. (p.25)
- 15) Xuddi bəyagi **siz** aytgan gap miyamdan otdi. (p.26)
- 16) Men ham **sizga** oxşab juda hayrən boldim. (p.28)
- 17) Men **sizga** bəya uni kohlik dedim. (p.28)
- 18) **Siz** qiz bəlani haqərat qildingiz. (p.30)
- 19) **Siz** meni bilməysiz. Nima qilasiz oziñizni ham, meni ham qiynab?! (p.32)

- 20) Oša kuniyoq, sizni oša birinči marta korganimdayoq buni sezgan edim. Mahfuza, menğa qarasangiz-çi! (p.32)
- 21) Lekin men sizga aytdim-ku, meni bilmaysiz. (p.33)
- 22) Ešitiŋ... men... men... siz oylagan, siz orzu qilgan qiz emasman. (p.33)
- 23) Bu ačinišdan emas. Sizni... sevaman! (p.33)
- 24) Sizdan katta bolsam ham-a? (p.33)
- 25) Siz s'ezddan kelyapsizmi? (p.34)
- 26) Čoy sizdan aylansin, hōzir-da, bōlam,... (p.36)
- 27) Otinni toğri siznikiga olib bōrib tašlayman! (p.42)
- 28) Axir men sizniŋ fōydaŋizni oylab gapirypman. (p.42)
- 29) Keldiŋizmi, oğlim, - dedi u yuzini yaktagi içiga yaširib. - Sizni kutib otiribman. (p.43)
- 30) Sizdan soravotman, oyimla qačōn kelalla? (p.47)
- 31) Nega bolmasa sizga jahl qiladilar? (p.50)
- 32) Oyi, bilasizmi, - dedim, - men sizni kasal bolsangiz ham yaxši koraman, judayam yaxši koraman. (p.50)
- 33) Meniŋ qizim bolsa, sizniŋ ham qiziŋiz,... (p.50)
- 34) Sizga... sizga rahmat, - dedim zorğa qolimni išqalab turib. (p.54)
- 35) Yoq, sizdan xafa emasman,... (p.55)
- 36) Siz išiŋizdan qolman. (p.55)
- 37) - Ha, - dedim jilmayib. - Siz-çi?
- Menmi? Men... - Abdullajōn ham jilmaydi. (p.55)
- 38) - Siz kimlari bolasiz?
- Heč kimlari. Ozim šunday koray deb keldim. (p.60)
- 39) Sizdan oldin nečtasi kelib ketdi. (p.61)
- 40) Men oldinda ketaman. Orqamdan siz yurasiz. (p.65)
- 41) Siz, olaman demaŋ, erkaklar bunaqa demaydi. (p.68)
- 42) Ortōq serjant, manavi sizga! (p.68)
- 43) Mana, - dedilar šunda qollaridan yečib, - katta bolib qōldiŋiz. Siz taqiŋ. (p.69)
- 44) - Sizga pul keldi, pul! - dedi počtalon oğziniŋ tanōbi qōčib.
- Qanaqa pul? Qatdan? - hayrōn boldi Šahōdat xōla.
- 45) Bir qatim emas, bir ğaltak olin, tasadduq. Ip sizdan aylansin! (p.77)
- 46) - Sizga sōvğa, - dedi Valijōn.
- Menğa? - hayrōn boldi Šahōdat xōla.
- Sizga... Men oyim bilan sizni tanladim. Ukam sizni yaxši koradi. (p.78)
- 47) Samad aka! Sizga nima boldi. (p.101)
- 48) Sizga nima kerak? (p.104)
- 49) - Agar siz bōrsangiz... dadamlarni korgandek bolaman, - dedi oxiri ešitilar-ešitilmas.
- Xop, bōraman, - dedim. (p.108)

- 50) **Siz**nikida turaman. (p.108)
- 51) Men **sizga** aytdim-ku, butun Bolgariyada bunday qahva topilmaydi. (p.110)
- 52) Men Turkistondan. Voronejda qolga tuşdim. **Siz**-çi? (p.116)
- 53) - Salom, kelin, - dedi Zumrad unga yaqinlaşib.
- **Siz**da işim bər edi... (p.123)
- 54) - menin aytadigan gapim faqat **sizga** tegişli.
- Qulogim **siz**da, - dedi Zumrad hamon heç narsaga tuşunmay,... (p.123)
- 55) **Siz**danmi?.. - advokat unga tikildi. - **Siz**dan yordam. Uni faqat **siz** qutqara olışiniz mumkin. (p.124)
- 56) Oşa kuni, şu xunuk voqea yuz bergan kuni, u ... ya'ni Komil **siz** bilan bolgan... (p.124)
- 57) - **Sizga** nima boldi? - şoşib soradi advokat.
- Heç nima, - dedi sekin Zumrad va kozlarini yumdi. (p.124)
- 58) - **Siz**dan qorqişdi, - dedi u.
- **Siz**-çi? - kinoya bilan soradi Zumrad. - Qorqmaysizmi?
- **Siz**ni yolgiz taşlab ketişdan qorqaman.
- 59) Yoq-yoq, **siz** emas, - Zumrad uni tinçitdi. - Uchinçi qatarda, deraza yonida otirgan yolovçi! - yigit qolini kokragiga bigiz qilib qadadi. - Ha, **siz**! (p.125)
- 60) Uçraşadigan adamim **siz**. (p.125)
- 61) **Siz**ni kutayotgan edim, - dedi Komil uni çetga tortib. (p.126)
- 62) Manavi **sizga**! **Siz** uçun terdim! - debdi va quçogidagi lolalarni unga uzatibdi. (p.126)
- 63) Otib ketayotgan edim, **siz**ni koray dedim. (p.126)
- 64) **Siz**ni xafa qilib qoydim şekilli? (p.127)
- 65) Ertaga sud, - dedi advokat, - borib Komilnin otgan oyda xuddi şu kuni **siz** bilan bolganini tasdiqlasangiz, bas. Albatta, heç kim **siz**ni majbur qilolmaydi. Keyin... tuşunaman, bu ogir **sizga**. (p.127)
- 66) Umuman, Komil **siz**ni hurmat qiladi. Oşa kuni **siz** bilan bolganini keçagaça aytmagan edi. (p.127)
- 67) Butun umidimiz **siz**dan. (p.128)
- 68) Rahmat, singlim!... Rahmat **sizga**! (p.129)
- 69) Vay, suyulmay ketin **siz**! (p.131)
- 70) Katta dada! **Siz**ni Xolparan amakim çaqirvottilar! (p.131)
- 71) **Siz** hazilakam ogirlarni tutganiñiz yoq,... (p.133)
- 72) **Siz** ham tinç edingiz oşanda, u ham ayşini surib yurardi. Ozidan korsin. **Siz** ezilman, ota. (p.133)
- 73) Ota, **sizga** qogoz keldi, - dedi u, - endi ozedsiz. (p.134)
- 74) **Siz** kim bolasiz? (p.140)
- 75) Amaki, şular **siz**da tursin, - dedi iymajib. (p.144)
- 76) Agar kosmik kema bolsa, balki kosmonavtlar bizni korişgandir? **Siz**ni ham, meni ham... (p.148)
- 77) **Siz** qaerda turasiz? (p.149)
- 78) **Siz**niñ uyingiz ham olis emas ekan, - dedi Sanobar Kamolova. - Men oldin **siz**ni taşlab ketişim mumkin. (p.149)

- 79) Siznikida qolaqolsam, maylimi? (p.149)
- 80) Sizni bilmayman-u, Irədxən, meniñ qornim əcəb ketdi... Yurıñ. Men əşni isitaman. Siz çəy damlaysız. (p.150)
- 81) Siz divanda yətsəngiz bolardı, - dedi Irəda. - Baribir men uxlayolmayman. Sizni bezəvtə qilaman ağdarılaverib, eşikka çiqaverib... (p.150)
- 82) Ammə, Irəda... meni keçirıñ-u, nima sizni qıynayaptı? (p.150)
- 83) Manavi kalit, kelin, sizga. (p.151)
- 84) Qıyəs qılın, men siznıñ bəmərıngızman. (p.152)
- 85) Xullas, erni er qıladıgan ham xətin, keçirasız, bu sizga mutlaqə taalluqlı emas, yer qıladıgan ham xətin. (p.152)
- 86) Nərbəy Nərbətaeviç! Sizni men oğlim deganman. (p.153)
- 87) Sizga nima boldı? Şaştıngız past? (p.154)
- 88) Ləkin, rəst. Men sizni aldab nima qilaman? (p.154)
- 89) Faqat siz səgsız, dada,... (p.156)
- 90) Sizga yəngil bolarmıkan, deb oyləvdik-da. (p.156)
- 91) İşləyimiz, əyi. Sizni yəlgiz qəldirməyimiz. (p.158)
- 92) Əyi! Sizda nima gənəh? Siz oğirlik qilibsızmi? (p.158)
- 93) Gəzapəyaga nən zor pişadi-da, aylanay, xuddi siznıñ əydek yuzıngız bolib ketadi. (p.162)
- 94) Mən sizga aytdım birəvnıñ bəşiga yetadi, deb, quləq səlmadıngız. (p.164)
- 95) Kutdik sizni, - dedi əyəl. (p.171)
- 96) ...siznıñ oziğizga oxşab semirib ketgan Qəratəyıngız bəşqa yəqda həzir. (p.174)
- 97) Zumrat əpəy!... Siznikida yətamız bugun. (p. 175)
- 98) Dadam qamalganlaridan keyin Tolagan bəşqa partaga otib əlgan edi, aytməvdim sizga. (p.186)
- 99) Biz sizga pəmildəri əlib keldik. (p.194)
- 100) Səlxapam kəlganlar. Gəpləri bər ekan sizda. (p.194)
- 101) - Vəy, siz əvrə bolib nima qilasız?
- Ha, siz əvrə bolmañ,... (p.196)
- 102) Sizni bir ədam sorayaptı. Qəbul qılarımıssız. (p.203)
- 103) Rais uka, sizni korganımdan xursandman. (p.203)
- 104) - I-ya!? Meni bilasızmi? - u sevinib ketdi.
- Sizni Mirəbəddə kopçilik biladi. (p.204)
- 105) Barakalla! Barakalla! Rahmat sizga, rais uka!.. (p.204)
- 106) Siz mənə xəp desəngiz boldı, uyəğini ozim tinçitaman. Baraka təpiñ, rais uka. (p. 204)
- 107) Arxitektə sizga jəvəbimni aytdı. Bəravəriñ. (p.205)
- 108) Siz bəravəriñ. Maslahat qılamız, - şunday deb, eşik təmənə qıçqırdım. (p.205)
- 109) Meni buyəqqa, siznıñ əldıngizga kəlğanımnı bilışadi. (p.206)
- 110) Sulaymənbek!.. Hukumat sizga, bir əy burun qarər yubərdi. (p.207)
- 111) Həmma topələn qılsa ham, siz qılmañ. (p.207)

- 112) Sizni kutib turuvdim. Rais uka, rahmat! (p.209)
- 113) Uka!... Sizga aytadigan zarur gaplarim bor... (p.209)
- 114) Bir guruh qariyalar siz bilan uchrashiini iltimos qilishayapti. (p.209)
- 115) Assalomu alaykum! Men sizga kelganman, opa! (p.212)
- 116) Rahmat, opa. Qolingizni gul deyiadi. Butun umidimiz sizdan. (p.212)
- 117) Men oilalari bolaman. Rahmat sizga, doktor. (p.215)
- 118) Siz ham meni tushunmadingizmi? Siz ham menga ishonmayapsizmi? (p.219)
- 119) Siz ketsangiz bolardi. (p.219)
- 120) Hechqisi yoq, opa. Siz qayerdan bilasiz?... (p.220)
- 121) Siz juda ezilman, doktor... Sizni ham aytişgan edi. Ammo sizga kelmadilar. (p.220)
- 122) Opa, yana bir bor rahmat sizga. (p.220)
- 123) Nega chaqirişibdi, oyi? Sizni kutib otirib uxlab qolibman. (p.224)
- 124) ...siz borman, xopmi? Asosan yoşlar ekan bugun. Ba'zi aytadigan narsalarim sizga yoqmaydi. (p.225)
- 125) Yengilroq, nima desam ekan, sizni nazaringizda baćkanaroq boladi. (p.225)
- 126) Sabohat Qodirova, xotinlari sizni kutib turibdi. (p.225)
- 127) Siz albatta bilmaysiz. Sizzi men eşiťganman...Olimjon aka ovozdan qolganlarida sizzi kop gapirdim... Mana baribir sizga keldilar. (p.225)
- 128) Bir narsani sizdan soramoqćiman,... (p.225)
- 129) Opajon, mani tushuni, sizga rostini aytaman. (p.226)
- 130) Siz meni bilmaysiz. Kim bilandir adaştirdingiz. (p.226)
- 131) Siz haqsiz. Vaqingiz bolsa keli. (p.226)
- 132) Siz ham şunday orqangiz bilan yuraolasizmi? (p.229)
- 133) Bitta palto ekan-ku, men sizga ontasini olib beraman. (p.233)
- 134) Innaykeyin siz har kuni oltmişga kirarmidingiz? (p.243)
- 135) Yotibdi. Siz ham uxla, (p.243)
- 136) Kep qolar... siz yota qoli. (p.245)
- 137) Obid aka! Sizni soraşyapti! (p.245)
- 138) Oglingiz yutqazib qoydi. Agar u sizga kerak bolsa, sakkiz milyon opkelib berasiz. (p.246)
- 139) - Harholda, ada, birga boray? - yana iltimos qildi ovqatdan soñ Sodiqjon.
- Sizga dalda bolardi, - qoşildi kuyoviga Zaynabxon. (p.247)
- 140) Manifonni keyin menga berib ketdi, sizgamas. (p.251)
- 141) Sizni soradi. Salom aytdi... Siz ham xojayin bilan albatta borarsiz, dedi. (p.252)
- 142) Kim sizdan şuni talab qilyapti? Oşib-toşib ketganmisiz? (p.256)
- 143) Atayin sizga atab solganman keća. (p.262)
- 144) Xuddi mana şundog, siz minan otirişganday otirişib gaplaşdim... (p.267)
- 145) - Siz, meni, oglimni xafa qildingiz. Nega olmani unga bermadingiz?

- Kečirasiz, - debdi yolovči. - Men sizni ham, oğlingizni ham xafa qilişni oylaganim yoq. Siz, menga eņ čirayli bolaga olmani beriņ, dedingiz. (p.274)

146) Uka, juda yaxşı boldi sizni korganim... Iltiməs sizdan! (p.275)

147) Iltiməs, Siz orqaga otiriņ, - dedim mehmonga. (p.275)

148) Siz içmaysiz, ruldasiz. (p.275)

149) Agar mehmən içmasa, siz ham içmaysiz-da. (p.275)

150) Sizdan šoir čiqişiga šubha yoq, - dedi Šukur. - Men ham čiraylirəq jəyda toxtasak deyman. Siz-či, Umarbekov? (p.277)

151) Siz, ozbek yəzuvčilari šunday koņgli əčiğ,... yəzuvčiga hurmati baland xalqingiz bilan faxrlansangiz arziydi. (p.278)

合計184例

二人称代名詞 **siz** の単数敬称用法は文学作品 12 作品中合計 2092 例である。

資料 2. 二人称代名詞 **siz** の複数用法に関する調査 (表 11.を参照)

Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar. 2-jild.*

- 1) **Siz** to'g'ri yoldan ketayapsiz, ortoqlar! - deb qičqiradi. (p.39)
- 2) Aziz tamošabinlar... **Siz** bu filmda kolxoz veteranlari,... (p.250)

合計2例

Shuhrat. 1967. *Oltin zanglamas.*

- 1) **Siz** erkaklar, mana šu hukumat vakillari o'čarçilikni bartaraf etishlari u'çun yaqindan yordam berasizlar! (p.77)

合計1例

Tog'ay Murod. 2001. *Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi.*

- 1) **Siz** faollar, mana šu hukumat vakillari o'čarçilikni bartaraf etishlari u'çun yaqindan yordam berasizlar! (p.7)
- 2) Biz, **siz** faollarga suyanamiz! - dedi komandir. - Sizlar qançalik kop yordam bersalaringiz, biz o'čarçilikni šunçalik tez tugatamiz. (p.7)
- 3) Ana, ešitdilaringizmi? Daryolar boyida edik suvga zor... Bu, kim haqida? **Siz** bilan **biz** haqimizda! Lekin qorakoz xalqda ayb yoq... Ayb **siz** bilan **biz**da!... Bu, **siz** bilan **biz**ni... bu **siz** bilan **biz**ni yuvoshligimizdan, ha, qoymijozligimizdan! (p.20)
- 4) Janoblar, aftidan, keksa avlod osonlikça taslim bolmoqçi emasga oxšaydi... **Sizga** ma'lumki, keksa avlod uruš galabasiga yopišib kordi... Janoblar, keksa avlod ozlari ona-vatanimizni zulmatga aylantirgan totalitarizm rejimiga, ona xalqimizni qulga aylantirgan oša militarizm tuzumiga **sizni** ham, **bizni** ham qaytariš u'çun yosh avlodni... etagidan tortmoqda,... (p.52)
- 5) Men ana šu yol qoygan xatam u'çun **siz** azizlardan uzr sorayman! Men ana šu aybim u'çun **siz** yaxšilar oldida ozimni gunohkor deb bilaman!... men **siz** ulug'lar oldida uyatliman,uyatli! (p.77)
- 6) Šunday bir jirkanç partiya safiga otganim u'çun men **siz** qorakozlardan... keçirim sorayman! Šunday bir jallod KPSS safida yillab vzos tolab yurganim u'çun men **siz** qorakozlardan... miñ bora uzr sorayman! Meni afv etij, yaxšilar! (p.81)
- 7) **Siz** eqsoqollar faqatgina duoi fotiha berasizlar, boldi. (p.100)

合計14例

Tohir Malik. 1994. Shaytanat. 1-kitob.

- 1) Endi isni siz - yoşlarga topshiramiz. (p.156)

合計1例

Tohir Malik. 1996a. Shaytanat. 2-kitob.

- 1) Siz - odam bolalarini yuqori qilib yaratdi, siz bir-biringizni chaqib oldirasiz. (p.152)
- 2) Siz gazda qaynagan choʻyga organib qolgansiz. Samovarchoyni ham bir koriqlar-či, - dedi jilmayib. (p.174)
- 3) Koʻcada mašina kutib turibdi, - dedi u, ikkovini baravar ajablantirib. Soʻn koʻcaga chiqib, mašinaga otirishgaʻ, izoh berdi: - «Rossiya» mehmonxonasidan joy buyurilgan. Sizga kerakli mehmon ham oʻsha yerda shakilli, a? (p.195)
- 4) Vatanga sizni muhabbatigiz bolak, biznikida bolak, azizlarim. Siz Vatan ichida yashab Vatandan ayrilgansiz. (p.198)

合計6例

Tohir Malik. 1996b. Shaytanat. 3-kitob.

- 1) Hosilni ketganini siz bilan mendan boshqa hech kim bilmasligi kerak. (p.84)
- 2) Men siz - ozbeklarni yaxshi bilaman. (p.114)

合計3例

Toʻxtaboyev, X. 1975. Besh bolali yigitcha.

- 1) Siz bilan biz endi ularni ornini bosişimiz kerak, toʻgʻrimi? (p.207)
- 2) Siz bilan biz haligaʻ dalaga qosh chiqara olganimiz yoq. (p.217)

合計2例

Umarbekov, O'. 2002. Saylanma. 1-jild.

- 1) Koriqlar, - dedi nemis ofitseri. - Bular partizan... Hozir ularni **siz**niڭ oldingizda soroq qilamiz. (p.112)
- 2) Šu qadah ozbek xalqi uęun, Olmas, Šukur **siz** baxtli yozuvęilariڭizniڭ qahramonlari uęun ięaman! (p.278)

合計2例

二人称代名詞 **siz** の複数用法は、現代の文学作品 12 作品中合計 30 例である。

資料 3. 複数二人称代名詞 **senlar** の普通の用法に関する調査 (表 12.を参照)

Said Ahmad. 2000. **Tanlangan asarlar. 2-jild.**

- 1) Bopti, **senlar** bora'aver. (p.230)
- 2) Bolmasam **senlar** uzmalariñ. Ozim bir-ikkita uzib beraman. (p.264)

合計 2 例

Tohir Malik. 1994. **Shaytanat. 1-kitob.**

- 1) Endi men vinzavoddagi tentak olim bolaga jon kuydirayotganimniñ sababini **senlarga** aytib qoyay. (p.43)
- 2) Esingdami, bolaliginda nuqul **senlarni** haydardim. (p.199)

合計 2 例

Tohir Malik. 1996a. **Shaytanat. 2-kitob.**

- 1) - **Senlarga** nima boldi, nimaga bu yerda biqinib otiribsanlar? — dedi Jalil ajablanib.
- Ikki kundan beri šu yerdamiz. O'cmiz. Uyga ketolmayapmiz. (p.166)
- 2) - Bizni tašlab ketmañ, amaki, yordam beriñ,...
- Gapiñni qara, ukam, **senlarni** tašlab qayocqa ketaman. (p.166)

合計 2 例

Tohir Malik. 1996b. **Shaytanat. 3-kitob.**

- 1) Oylab korlariñ: **senlarni** zorlaš yoq. Hosi' kelguniça birga išlaymiz, desalariñ, gap yoq. (p.84)
- 2) - Qanday yumuš bilan keldiñ? Balki yordamimiz tegar?
- Yordammi? E, yoq, qardoš menğa yordam kerakmas. Kerak bolsa, bizlar **senlarga** yordam berišimiz mumkin. (p.132)
- 3) Hosi' ketdi, orada yoq. Uniñ mulki ham **senlariñ** qollarinda. (p.154)
- 4) Čirayli gapirdiñ, ozbek qardoš, lekin **senlar** xalta kočaga qamalgansanlar. Oldilariñda ham, orqalariñda ham yol yoq.
Hosi'ni oldirib katta xato qildilariñ. Hosi'lga otgan oqlariñ ozlariñga qaytiši kerak. Hosi' olgan kuni **senlar** ham

olgansanlar. Lekin men senlarga uruş oçmayman. Senlarni oldirmayman. Sababini aytganman, esiñda, a? (p.155)

- 5) Ha, aytmoqçi, Kozlovniñ oilasi senlarnikiga panoh izlab ketibdi. (p.155)
- 6) Ğilay sadıqatlırıq ekan, çurq etmedi. Senlar orgatgan gapni totıquşday takrırlayverdi. (p.212)
- 7) Biz senlarnıñ işlariñgizga aralaşmaymız. Ozlariñ hal qillariñ. (p.212)

合計10例

Tohir Malik. 2001. Shaytanat.4-kitob.

- 1) İşqilib Xudı senlarni bir-birlariñdan ayirmasin. (p.121)
- 2) Esiñdami, otañni olib ketiştigandan keyin men ikki hafta senlardan ozimni tırtib yuruvdim. (p.124)
- 3) Akalariñ keliştiganidan keyin senlar ham uy-uylariñga ketaverlariñ. (p.164)
- 4) Oyiñ senlarni hali ham yos bala fahmlaydi,— dedi Asadbek oğliga,... (p.172)
- 5) Bek akañ birinçi galda men uñun aziz, keyin senlar uñun qadrli. (p.242)
- 6) Senlarni yomın şamollardan asrasin, deb tabib bobolariñ berib yubırıbdı. Senlar ham tabarruk insonniñ yoslariga yetlariñ, iymonli, e'tiqodli bollariñ. (p.248)

合計7例

To'xtaboyev, X. 1975. Besh bolali yigitcha.

- 1) U afandi boslaşdan oldin odatda bir kulib olardi, hozir ham şunaqa boldi, kulib, obbo senlar-ey, deb qoydi. (p.38)
- 2) Yoq, yoq, senlarga non bermayman, ukalarimniñ haqini himoya qilişim kerak, opajonim şunday degan,... (p.82)
- 3) Obbo senlar-ey, ha mayli... - şunday deb brigadirimiz yana bir kulib oldi,... (p.209)

合計 2 例

Umarbekov, O'. 2002. Saylanma. 1-jild.

- 1) Rahmat, bolam, rahmat, - dedi u Valijonni oparkan. - Menga sovga kerakmas. Hamma sovğani oyinga qilgin. Oyinga kerak sovga. Senlarni boqaman, deb beçora tinim bilmaydi. (p.78) (子供を相手に)
- 2) Yoq, yoq! Borinlar... Senlarniki halol... (p.158) (子供を相手に)
- 3) ...senlar oqişda ediñlar. Bir moysafid keldi. (p.158)

4) Senlarni endi qanday orgataman bir-biringa? (p.181)

合計4例

複数二人称代名詞 **senlar** の普通の用法は、現代の文学作品 12 作品中合計 30 例である。

資料 4. 複数二人称代名詞 **senlar** のネガティブな用法に関する調査 (表 12.を参照)

Said Ahmad. 2000. *Tanlangan asarlar*. 2-jild.

- 1) Həzirniñ ozida jona! **Senlarni** deb qariganimda mayna bolişga təqatim yoq. (p.11)
- 2) E, suf **senlarga**-e! (p.55)
- 3) **Senlar** şunaqa qəvun tuşirasnlar-da, meni baləga qoyasanlar. (p.62)
- 4) **Senlar** şunaqasanlar. Bir tiyin pul təpiş quduqdan suv tərтіşdan ham muşkulligini bilmidiñlar?! (p.66)
- 5) **Senlar** mamlakatda qančaki kurort bolsa, kormaganıñ qəlmagan. (p.74)
- 6) E, **senlar** nimani bilasanlar... (p.79)
- 7) E, **senlar** nimani bilasanlar? (p.80)
- 8) **Senlarni** emas, erkaklarni çağırganman. Jonalariñ! (p.208)
- 9) **Senlarga** gap təpildi-ya. (p.212)
- 10) **Senlarga** ham ellik tiyin kamlik qilyaptimi? (p.212)
- 11) Raz men **senlarga** aka bolganimdan keyin, olasnarmı meni aytganimni qılsalariñ. (p.214)
- 12) **Senlar** jim tur. (p.229)
- 13) Jim bolıñlar. Klubda **senlarga** pişirib qoyibdimi? (p.233)
- 14) E, **senlar** jim otirlariñ. (p.233)
- 15) Olimimni kutib otırgan ekasnlar-da. Yo-oq, men hali-veri olmayman. Bu dunyodan umidim kop. Qiz əlib **senlarni** bir kuydirmasam! (p.238)
- 16) **Senlar** ham bir qaraysnlar, ikki qaraysnlar, üçinči galda burnilariñni jiyirasn. (p.240)
- 17) Həy, Bahri, həy, Nazmi, **senlarni** bu atrəfdə heç kim faləñçiniñ xətini, deydimi? Yoq, demaydi. (p.241)
- 18) Xətin tanlaydigan menmi, yə **senlarmi**? (p.253)
- 19) Bitta quyılğan **senlarmisnlar**? Bellariñ əbkaşdek egilib, yursalariñ əsma səatniñ kapğiriga oxşab lapanlaysnlar. (p.258)
- 20) **Senlar** şunaqasanlar-da. Otiki magazinçi bolsa, oğri deysnlar. (p.258)
- 21) Jamiki brigada bəşliqlari **senlarga** pochinaysa qiladi... **Senlar** ham hunarlariñni əlib ketmay, yəşlarga berib ketasnlar. (p.260)
- 22) Asli **senlar** eşişsəñ bolarkan uni. (p.260)
- 23) **Senlar**da ozi insəf degən narsa bərmı? (p.261)
- 24) Xoş, nega **senlar** aytğan gap bolaveradi-yu, bizniki bolmaydi. (p.261)
- 25) Agar şu beçəra çəllariñ **senlarga** oxşagan xətinı bolganda, çağməqdek kiyintirib, maylisga yubərardi. (p.261)
- 26) **Senlar** ozlariñni ozlariñ xor qilyapsnlar. (p.261)
- 27) Uz, desə **senlar** ham uzaverdiñlarmi? (p.265)

合計 28 例

Shuhrat. 1967. Oltin zanglamas.

- 1) Nima qilsam, senlar üçün qildim, nima desam, senlarga jónim açigandan dedim. (p.260)
- 2) Ha, senlarni boquvga olib kelgan, semirib qolınlar... (p.268)

合計 3 例

Tog'ay Murod. 2001. Bu dunyoda o'lib bo'lmaydi.

- 1) Betin ni murdashoy korgurlar! Qari-qartan bir momoni gunohga botirgan senlarni xudo kotarsin! (p.16)
- 2) Orden olasan-a, orden olasan! — dedi Botir firqa. — Olib bopsan! Senlardan orden qarzim bormi? Senlar qaçon men ga orden berib edin?... Senlar, ozi, qayerdansen? Senlar, ozi, qayerda osdin? Senlar, ozi, kimni bolasisan? Osmõndan tuş-a, nonkorlar, osmõndan şalõplab tuş-a, nonkorlar! Senlar sovet tuzumi tuğruqxõnasida tuğildin,... Senlar sovet tuzumi maktabida oqidin,... Senlar, ozi, sotsializmdan çiqdin. Senlar, ozi, põrlõq kommunizm sari olga bõrayõtib edin. Senlar pioner edin, komsomol edin. Senlar kommunist edin, kommunist!... Senlar esa... tayyõr õşga ega boldin, tayyõr õşga! (p.78)

合計 13 例

Tohir Malik. 1994. Shaytanat. 1-kitob.

- 1) Senlar çivinsanlar, men - burgutman. Farqi bormi? (p.22)
- 2) Senlar ottirdilariñ! Çunki ular senlardan zorrõq olimlar edi. Senlar şu haykalga erişdilariñ. Odam tugul it ham kelmaydi senlarni korgani. (p.102)
- 3) senlar oliy ma'lumõtlõr olaman, deb beş yil kitõb titasanlar. (p.183)
- 4) Janjalni senlar bõşlaysanlar, qõn tokişga bõşqalar tayyõr turişibdi... Balõga senlar qõlasanlar. (p.190)

合計 8 例

Tohir Malik. 1996a. Shaytanat. 2-kitob.

- 1) Senlarniñ gaplariñ ham oşa bolanikidan qõlişmaydi. (p.47)
- 2) Senlarni turgan-bitganlariñ ikki hõvuçgina kul. (p.145)

Tohir Malik. 1996b. Shaytanat. 3-kitob.

- 1) Senlar olikni qarnini yorib, keyin kasalini aytasanlar. Tabib tomir uşlab turib biladi. (p.10)
- 2) Senlar jaraq-jaraq pul ishlayverlarin, boyvačča bolib kerili-ib yuraverlarin. Men esa senlar ućun oylab yuray,... (p.61)
- 3) Senlardaqa yuzta dononi yigib kelsa, bir gramm aql topilmaydi-yu, yana karillaysanlar-a! (p.61)
- 4) E, orgildim, senlardaqa kaltabinlardan. (p.62)
- 5) Senlarga oxşagan bekorči bolganimda biqsib yotaverardim. (p.80)
- 6) Qoy, uka, men moşinaga organmagan odamman. U senlar, hojatxonaga ham moşinada boradigan. (p.80)
- 7) Ammo bilib qoylarin: hamman xor bolib, qirilib ketasanlar. Xudo senlarni jazosiz qoldirmaydi. (pp.122-123)
- 8) Senlarni pulni qanaqasiga berib qoyishlarin bilaman. Ozinga ber,... (p.124)
- 9) Xop, senlar meni ahmoq qildilarin ham deylik. Xoş, senlar bundan nimani yutasanlar? (p.150)
- 10) Bilib qoy: senlar bitta xato qildilarin: bu yerga kelmasliklarin kerak edi. Senlar meni isontirmoqči bolyapsanlarmi? (p.150)
- 11) Men senlarda nimalar bolib turganini bilib turaman. Men Kremldan ham sezgirroqman, kallanga tugib ol. (p.150)
- 12) Senlarni kaltabinliklarin ham şunda. (p.151)
- 13) Hosilni senlar yoq qildilarin. Lekin men senlarga qarşı uruş oćmayman. Čunki senlar ozbek qondoşlarimsan. (p.151)
- 14) Şuini hurmatiga senlarga qarşı uruş oćmayman... Bilib qoy: senlar todakaşliklarin bilan menga hamrohlikka yaramaysanlar. Bu ahvolda senlar bir-birlarinin qollamaysan,... (p.151)
- 15) Men senlarni bilaman. «Menga olja kerakmas», deb naz qilib turasanlar-u, payt kelganda taşlanasanlar. (p.154)

Tohir Malik. 2001. Shaytanat.4-kitob.

- 1) Bilib qoylarin, senlarni oqin jonimni olguniča tepkini bosişga ulguraman. (p.17)
- 2) Ha, senlar meni bir hayvon qatorida korsalarin ham odamman. (p.22)
- 3) Senlar men oldirgan xotinlarga acinasanlar, a? Kimlar edi ular, bilmaysan-ku? Bilmay turib acinaverasan. Hammasinin erlari bor edi, bolalari bor edi. Erlari bola turib men bilan oynaşıdı. Buzuqliklari ućun erlari ham indamaydi, senlar ham jazolamaysanlar. Eriga xiyonat qiliş jinoyat emasmi? Jinoyat... Şuini ućun men ularni jazoladim. Bu yaxşiligim ućun senlar meni olimga hukm qildinlar. (p.23)
- 4) Senlarni laqillatib xumordan cıqdim. Menga şu yetadi... (p.58)
- 5) Senlar ayt-či mana, senlar insofsizmi yoki men? Senlar nećun qopniń oğı oćiq olgani holinda ostidan teşasanlar? Men şu

savolga javob istab senlarni yoqlagan edim. (p.73)

- 6) Senlar borib Moʻstajibni kormagan boshqa odamni laqillatlarini. (p.102)
- 7) Senlarni beldan emas, kalladan olgan. (p.169)
- 8) Bir-biringa tiş qayrasalarini slavyanlar senlarni çaynamay yutişadi. (p.206)
- 9) Ha, senda ham, Hamdamda ham ana şu «lekin»lar kop. Onalarini senlarni ana şu «lekin»lar ustiga tuqqan. (p.221)
- 10) Senlarnini quloqlarini ham oz foydalariniğa işlaydi. (p.221)
- 11) Şu tufayli oilanini beqiyos darajada muqaddas ekanini men senlarnidan yaxşiroq bilaman. (p.226)
- 12) Ahmaqona odatlarini kop senlarnini. (p.228)
- 13) Senlar ham jabrdiydasanlar-u, ammo senda gurur yoq. (p.229)
- 14) Milisada bor aql senlarda yoq, a? Çaqir anavinişni! (p.234)
- 15) Tabarruk degan narsaga fahm-farosatlarini yetadimi? Senlarnini beoxşov zar çoponlarinişdan bu ton miş marta afzal. (p.248)

合計20例

Toʻxtaboyev, X. 1975. Besh bolali yigitcha.

- 1) Senlarni uşlab, terilariniğa somon tiqmasammi... (p.53)
- 2) Rayon hukumati senlarga yaxşilik qilyapti-yu, sen bolsan hiqillab nozi-firoq qilasan-a! (p.70)
- 3) Senlarni deb kardan ikki marta kaltak yeb oldim... (p.181)
- 4) ...senlarga bir qozon palovni yedirib yuborgandan kora olganim miş marta yaxşi... (p.223)

合計 4 例

Umarbekov, Oʻ. 2002. Saylanma. 1-jild.

- 1) Kim quvyapti uydan senlarni? ...keyin, bilasanlarmi, osonlikça senlarni oqişga kiritib qoyganim yoq. Har birini uşun naqd on mişdan berganman! (p.156)
- 2) Plan nimaligini bilasanlarmi senlar?! Turlarini! Bugunoq tugatlarini! (p.207)

合計3例

複数二人称代名詞 **senlar** のネガティブな用法は文学作品 12 作品中合計 103 例である。

資料 5. 二人称命令語尾-(i)ngiz の使用状況に関する調査 1. (現代の文学作品) (表 19.を参照)

単数用法

Togʻay Murod. 2001. Bu dunyoda oʻlib boʻlmaydi.

- 1) Borib, haydab yuboringiz! (p.44)

合計1例

Tohir Malik. 1996a. Shaytanat. 2-kitob.

- 1) Qani, lutf qilingiz, kulbamizni obod etingiz. (p.172)

合計2例

現代の文学作品 12 作品における二人称命令語尾-(i)ngiz の単数用法は合計 3 例である。

複数用法

Tohir Malik. 1996a. Shaytanat. 2-kitob.

- 1) Orqadoʻshlar! Mordalarni olingiz! Koriʻsin rahbarlar! (p.24)

合計1例

Tohir Malik. 1996b. Shaytanat. 3-kitob.

- 1) Butun dunyo jinnilari, birlaʻsingiz! (p.145)

合計1例

現代の文学作品 12 作品における二人称命令語尾-(i)ngiz の複数用法は合計 3 例である。

資料 6. 二人称命令語尾-(i)ngiz の使用状況に関する調査 2. (歴史小説) (表 20.を参照)

単数用法

Qodiriy, A. 1926. O'tkan kunlar.

- 1) - Ba'zi yumuşlar buyursam...
- **Buyuringiz**, oğlim. (p.2)
- 2) **Keçiringiz**, bek aka, - dedi Rahmat, - men sizniñ Margilón kelganiñgizni bu kun otamdan eşitdim. (p.3)
- 3) Salomat **bolingiz**, - dedi Rahmat,... (p.5)
- 4) **Keçiringiz**, amak, - deb Otabek kulimsiradi,... (p.6)
- 5) Xayr, salomat **bolingiz**. (p.9)
- 6) - Oğlim, Otabek.
- **Sozlangiz**.
- **Aytingiz**-çi, men sizniñ kimingiz? (p.12)
- 7) Endi sizdan šuni ham sorayin: xojasiğa sadiq bir qul, sizniñ ta'biringizča, ma'naviy bir padar oz oğliga yomonlik soginarmi, bu toğrida javob **beringiz**-çi? (p.12)
- 8) Ayniqsa men... o'cib **sozlangiz**. (p.12)
- 9) Tilim bilan koñglimniñ boşqaligini isbot **qilingiz**. (p.12)
- 10) Bór oğlim, bór, - dedi Hasanali, - agar da'vongiz toğri bolsa, menğa čindan oz kišim deb qarasangiz osha sirni **yaširmangiz**. (p.12)
- 11) Bolmasa, marhamat qilib kašfingizni **sozlangiz**. (p.12)
- 12) Xoş, davom **etingiz**... (p.12)
- 13) Bir ozdan soñ et olib kirguzarman, varaqi pişirib **qovingiz**. (p.14)
- 14) Taşqaridan xabar **olingiz**-çi, opa, - dedi O'tab oyim, - čoy kerak boldimikin. (p.16)
- 15) Qorğon tuzatiška fotiha **beringiz**, taqsir! (p.18)
- 16) Yumišim yoq, **boraveringiz**. (p.19)
- 17) **Ajablanmangiz**, bøy aka, kelišimda bir majburiyat bór. (p.20)
- 18) Olvni qoyaturib, qudalarga dasturxon olib **čiqingiz**. (p.21)
- 19) **Ajablanmangiz**, ortoq, - dedi, - beknij mundan keyingi sağligi sizniñ ixtiyoringizda. (p.21)
- 20) Bu ot savdosi emas, umr savdosi, biródar, - dedi Ziyó aka, - yangamiz bilan **kengašingiz**, Otabek va otasi toğrilarida bilganlaringizni **sozlangiz**, šundan keyin xob oylašib bizga javob **beringiz**. (p.22)
- 21) Nima deganimni **soramangiz** va deganimga **išonaberingiz**... (p.25)
- 22) Qutidorñiñ yolgiz qiziga, - dedi Hasanali, - bundan xotirjam **bolingiz**, bek. (p.25)
- 23) Toqatim tugadi, opa, - dedi Kumuş, - ortiq **sozlamangiz**. (p.26)
- 24) **Kiringiz**, bek. (p.32)
- 25) **Ušlamangiz**, - dedi ham siquvči qoldan qutiliř ućun orqağa tislandi. (p.32)

- 26) **Okinmangiz**, - dedi bek, - sizdan bir narsani sorasam ayamassiz? (p.32)
- 27) **Kečiringiz**, taqsir. (p.35)
- 28) - Tutdim, taqsir, qutidorni ham.
- Olib **kiringiz**. (p.38)
- 29) Otabek, siz javob **beringiz**... (p.39)
- 30) Yaxši, - dedi qušbegi, - **aytingiz**-či, qirq kunlab Margilonda qolišingizniñ sababi nima edi? (p.40)
- 31) - Qipčeq dušmani kim, otam kimga qanday vakolat bergan, xudo haqqi ućun oćib **sozlangiz**, yoqsa yorilaman, taqsir!
- Oziñgizni tašofulga **solmangiz**, bek yigit, - dedi qušbegi... (p.40)
- 32) **Oćingiz** bek aka, tezraq **oćingiz**! (p.43)
- 33) Ğanibek yuzbōši, siz yigitlariñgizni **tartiblangiz**! Yasovulbōši, hazır **bolingiz**! (p.44)
- 34) Endi ertiq **oylamangiz**, mulla Hōmid, - dedi, - orada siz qorqarliq heć bir iř yoq. (p.50)
- 35) Yaxši, siz ketmagan ekansiz, - dedi qušbegi, - Pirmat bilan bōrib, darhol boyağı gunohkorlarni qaytarib **kelingiz**. (p.53)
- 36) **Olturingiz**, singlim, - dedi. (p.53)
- 37) Qorbōši, siz kiřanlarni **yeřingiz**! - deb buyurdi qušbegi. (p.54)
- 38) **Tinćlaningiz**, Otabek, - dedi qušbegi. (p.55)
- 39) Ziyō aka bilan oğı Rahmatni **bořatingiz**, songra anōvini qolğa **olingiz**! (p.56)
- 40) **Sorangiz** hoji, xōn bermaganda ham olib beriřka men kafil. (p.60)
- 41) **Qorqmangiz** hoji, - dedi, - Margilōn hōkimi orinsiz qōn tokuvći kiři emasdir. Qoqōnga bōrğać, birinći iřim oğıñgizni qutqariř bolsin, joysiz **qayğulanmangiz**, hoji. (p.61)
- 42) Buniñ hikōyasi uzun, alhol miñgbōřiniñ ra'yolarini eřitaylik... davōm **qilingiz**-či. (p.65)
- 43) Siz meni qanday taniğan bolsangiz **bolingiz**, men ořandōğ kiřiniñ oğı, - dedi bek. - Men bilan otam siz bilan qušbegiga bir neća turlik bolib tanilsaqla, oz vijdōnimiz oldida bir turlikkinadirmiz! řuniñ ućun siz tilagan tarafiñgizga hukm **qilingiz**-da, buyruğıñgizni **beraveringiz**! (p.66)
- 44) Oğıl osdiriř bu turda bolmas; ul tilasin-tilamasin řartta-řartta tilaganiñgizća **qilingiz**-da, qarab **turaberingiz**. (p.71)
- 45) Oğıñgizniñ vujudi bilan orzuñgizni qōndiriř ořōn bolsa ham keliñgiz qarřisida meni bir jōnsiz haykal ornida tasavvur **qilingiz**. (p.73)
- 46) ...**ićingiz**, yol ğubōrini oladir. (p.75)
- 47) Tağın oqub **koringiz**-či... (p.78)
- 48) Otabek, uyalmay, tōrtinmay javob **beringiz**; bu gal Tořkanddan ĉiqiřingizdagi asl maqsadiñgiz nimaga edi? (p.79)
- 49) Toğrisini **sozlangiz**, bek,... (p.79)
- 50) Hamma aybni manim ustimga yuklab javob **yozingiz**. (p.80)
- 51) Siz qizimizniñ andiřasini qilib **olturmangiz**, bek, - dedi qutidōr,... (p.81)
- 52) **Qorqmangiz**, devōna! (p.84)
- 53) Hasanali uni tinćitiř ućun: - Agar koñglingiz tinćimasa, - dedi kulib, - siz ham kinōyalik bir xat yōzib **beringiz**. (p.90)
- 54) Jannat opa, bir ĉilim **beringiz**-či,... (p.98)
- 55) Bōriñgiz, maniñ eřigim yōnida **toxtamangiz**! (p.101)

- 56) Əgirliyi yox, **yuringiz**, - dedi və oldinga tuşib Ətabekka yol başladı: - Man ham sizga oxşagan bir ǵarib. (p.102)
- 57) Ətdan **qoningiz**, mehmən,... siz xurjiningizni əlib yolakdan toǵrıǵa **kiraberingiz**, - dedi. (p.102)
- 58) **Yənbəşlangiz** bek, - dedi, bəşləb ozi yənbəşladi. (p.104)
- 59) Sozlay **beringiz**, - dedi. (p.107)
- 60) Endilikda Səədatni uzatışda ham ətaligingizni **ayamangiz**, - dedi. (p.109)
- 61) Davəm **qilingiz**, - dedi Ətabek, usta Alim bir uflab əlǵač. (p.111)
- 62) Siz soraşni tilamasangiz-da, men aytay: kelingizga jabrni xəhlamasangiz mendan taləq **qildiringiz** və bir beçəraga bu yosun azəb berib **yurmangiz**! (p.113)
- 63) **Yiǵlamangiz**, əna. Sizniñ tokib kelgan koz yəşlaringizniñ bir təmcisiǵa ham bu təşlandiq qizingiz arziyas, siz ətamǵa maniñ rizoligimni təşvişlanmay **bildiraveringiz**. Ul ham kişilar əldida bu baxtsiz qiziniñ tənasiga qəlmasin. Siz manim yuzimga ezilib **qaramangiz**, oylamay-netmay rizoligimni **bildiraveringiz**! (p.117)
- 64) Bilsangiz, haydaliş kuyini **čalingiz**, əjrəliş kuyini **čalingiz**! (p.118)
- 65) Bilmasangiz, bilgan kuyingizni **čalingiz**! (p.118)
- 66) Toǵrisini **aytingiz**-či, usta, nima uçun ustakər bilan ačiglaşdıngiz? (p.123)
- 67) Sozlay **beringiz** Farfibəy, bu kişi ozimiznikidir, - dedi. (p.125)
- 68) Sozlay **beringiz**, - dedi. (p.126)
- 69) Bolmasa-či, - dedi Ətabek, - şu on beş kunniñ içida sakkiz tepki atlasdan ləəqal ikki kora yiǵib **qovingiz**, yədingizdan **čiqarmangiz**! - Yədimda bəy, xətirjam **bolingiz**! (p.128)
- 70) Dasturxənni yiǵiştirib **əlingiz**-či, Jannat əpa! (p.132)
- 71) San hali yəşsan, inim Sədiqbəy, siz **čiqaberingiz**, Jannat əpa! (p.132)
- 72) Ərtiqčə **əşiqmangiz**, Həmidbəy,... (p.138)
- 73) **Kuçanmangiz**, Həmidbəy! (p.138)
- 74) - Qani iqrər qilingiz bolmasa.
- Ilgari keçirişka vəda berib **qovingiz**. (p.140)
- 75) Qani, Ətabek, korpaçaga **čiqingiz**! (p.140)
- 76) Bəşidan **sozlangiz**, Ətabek! (p.141)
- 77) - Sizga əǵir kelmasa, bir xizmat təpşirməqçiman, usta!
- **Buyuringiz**! (p.141)
- 78) Men sizga dasturxən yəzdirişni ham unutqanman, **qozǵalmangiz**! (p.146)
- 79) Bularga **qarangiz**, əta! Bizni nəçəǵliq ǵaflət bəsqan ekan, - dedi. (p.148)
- 80) Əvrəra **bolmangiz**, həji aka... (p.162)
- 81) Qayum zaharxanda bilan yənni kavlab ikkinči bir buyruq čiqardi və mənəga berib: «**Oqungiz**!» - dedi. (p.162)
- 82) - Bəringiz, ustədlaringizniñ vasiyatini **bajaringiz**!
- Xafa **bolmangiz**, həji aka! (p.162)
- 83) Bilganingizni **qilaberingiz**. (p.162)
- 84) **Qoyaberingiz**, həji! (p.162)

- 85) Aytingiz axir? (p.170)
- 86) ...har nuçukda tegi nözik, bu bolsa endi kop kiydi, atlasniñ yonığa yana bir xitayı latta olingiz. (p.171)
- 87) Fətiha beringiz, ayi! (p.175)
- 88) Siz toxtangiz, Otabek, - dedi. (p.178)
- 89) Ular bilan soraşib, sozlaşqanıgızda, goyó uç aydan berigina korişmaganlardek bolingiz. (p.178)
- 90) Yəta beringiz. (p.184)
- 91) Zaynabnisa yaxşı korgan təməqni qilingiz, - dedi Kumuş. (p.188)

合計112例

Qodirov, P. 1988. Yulduzli tunlar.

- 1) Ehtiyot qilingiz, sizga ərzuyimni təpşirdim,— dedi. (p.22)
- 2) Mirzəm, qorğəngə kirmangiz, xatarlı, — dedi. (p.24)
- 3) Keçdim, aytingiz, — dedi. (p.46)
- 4) Men bir mənğlik egaçingiz daim ərzu qilurmen: siz ham Farhəddekkə bunyədkər bolingiz! (p.50)
- 5) Aytingiz, — dedi Bəbur. (p.51)
- 6) Bəysunqur mirzəgə elçi yubəringiz, amirzədam! Oradagi adəvatni yoqətingiz! (p.53)
- 7) X-xa-və-ətir alm-mangiz! (p.88)
- 8) Biri — oğlingiz Aləviddingə. Marhamat! olingiz! (p.249)

合計9例

歴史小説 2 作品における二人称命令語尾-(i)ngiz の単数用法は合計 121 例である。

複数用法

Qodiriy, A. 1926. O'tkan kunlar.

- 1) Həy qorğon ustidagi əzamatlar! Həzir bolingiz, yasəv tərtəngiz, bek keladirlar! (p.44) (複数)
- 2) Yigitlar, siz çiqingiz! (p.54) (複数)
- 3) Səliqni bermangiz demayman, çunki sizniñ itəatingiz mənəgə bundəgə tonlar berar! - dedi. (p.59) (複数)
- 4) Čiplarni yigıştiringiz, ozlaringiz tarqalışingiz! (p.59) (複数)
- 5) Günəhimni keçiringiz, qilmişlarimdan puşaymən boldim, fuqarə! (p.60) (複数)

- 6) Siz yaxşilarim, bu qisqa oylaşingiz bilan oz oyogingizga ozingiz bolta urib, yana qipčoqlar qoliga qaram bolasiz! Manim tavbamni loqal ozlaringiz ućun qabul qilingiz! (p.60) (複数)
- 7) Illa Yusufbekni oldiga ćiqarib, bu řum iřingizdan meni tařqarida hisoblangiz! (p.153) (複数)

合計9例

Qodirov, P. 1988. Yulduzli tunlar.

- 1) Sizlar ořa joyda toxtangiz! (p.82)
- 2) Keyin ʻnasi, buvisi va Qosimbekka qarata dedi: — Meni ma’zur tutingiz, begim bilan yakkama-yakka sozlařmoqćimen. (p.147)

合計2例

歴史小説 2 作品における二人称命令語尾-(i)ngiz の複数用法は合計 11 例である。

資料 7. 親族語に関するアンケート調査（ウズベク語）

QARINDOSHLIK ATAMALARIGA OID ANKETA

■ Anketa to'ldiruvchining jinsi va yoshiga doir savollar

- Jinsingiz haqida quyidagilardan to'g'ri keladiganini ○ belgisi bilan belgilang.
1) Erkak 2) Ayol
- Yoshingiz haqida quyidagilardan to'g'ri keladiganini ○ belgisi bilan belgilang.
1) 10~19 2) 20~29 3) 30~39 4) 40~49 5) 50~59

■ Qarindoshlik atamalariga doir savollar

- Qarindoshlaringiz va quda tomondan bo'lgan yaqinlaringizga to'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda yoki ular haqida o'zgaga gapirganda qaysi so'zlarni ishlatasiz? Quyidagi 1~9 gacha bo'lgan jadval ichiga to'g'ri keladigan so'zlarni kiriting. Javoblar bir nechta bo'lsa, vergul (,) bilan ajratib yozing. Agar javobingiz bitta oldingi javob bilan to'g'ri keladigan bo'lsa, javob o'rniga (//) belgisini ishlatang.

1 - jadval. Qarindoshlik atamalari (ota-ona va boba-buviga nisbatan)

	To'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda	Ular haqida o'zga kishiga gapirganda			
		Suhbatdoshingiz notanish kishi bo'lsa	Suhbatdoshingiz boshlig'ingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz do'stingiz yoki hamkasbingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz qo'shningizning bolasi bo'lsa
Otangizning otasi					
Otangizning onasi					
Otangiz					
Onangiz					
Onangizning otasi					
Onangizning onasi					

2 - jadval. Qarindoshlik atamalari (amaki, amma va ularning turmush o'rtloqlariga nisbatan)

	To'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda	Ular haqida o'zga kishiga gapirganda			
		Suhbatdoshingiz notanish kishi bo'lsa	Suhbatdoshingiz boshlig'ingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz do'stingiz yoki hamkasbingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz qo'shningizning bolasi bo'lsa
Otangizning akasi					
Otangizning akasining xotini					
Otangizning opasi					
Otangizning opasining eri					
Otangizning ukasi					
Otangizning ukasining xotini					
Otangizning singlisi					
Otangizning singlisining eri					

3 - jadval. Qarindoshlik atamalari (tog'a, xola va ularning turmush o'rtqlariga nisbatan)

	To'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda	Ular haqida o'zga kishiga gapirganda			
		Suhbatdoshingiz notanish kishi bo'lsa	Suhbatdoshingiz boshlig'ingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz do'stingiz yoki hamkasbingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz qo'shningizning bolasi bo'lsa
Onangizning akasi					
Onangizning akasining xotini					
Onangizning opasi					
Onangizning opasining eri					
Onangizning ukasi					
Onangizning ukasining xotini					
Onangizning singlisi					
Onangizning singlisining eri					

4 - jadval. Qarindoshlik atamalari (aka-uka, opa-singil va ularning turmush o'rtqlariga nisbatan)

	To'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda	Ular haqida o'zga kishiga gapirganda			
		Suhbatdoshingiz notanish kishi bo'lsa	Suhbatdoshingiz boshlig'ingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz do'stingiz yoki hamkasbingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz qo'shningizning bolasi bo'lsa
Akangiz					
Akangizning xotini					
Opangiz					
Opangizning eri					
Ukangiz					
Ukangizning xotini					
Singlingiz					
Singlingizning eri					

5 - jadval. Qarindoshlik atamalari (amaki va ammalarning farzandlariga nisbatan)

	To'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda	Ular haqida o'zga kishiga gapirganda			
		Suhbatdoshingiz notanish kishi bo'lsa	Suhbatdoshingiz boshlig'ingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz do'stingiz yoki hamkasbingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz qo'shningizning bolasi bo'lsa
Otangizning akasining og'li					
Otangizning akasining qizi					
Otangizning opasining og'li					
Otangizning opasining qizi					
Otangizning ukasining og'li					
Otangizning ukasining qizi					
Otangizning singlisining og'li					
Otangizning singlisining qizi					

6 - jadval. Qarindoshlik atamalari (tog'a va xolalarning farzandlariga nisbatan)

	To'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda	Ular haqida o'zga kishiga gapirganda			
		Suhbatdoshingiz notanish kishi bo'lsa	Suhbatdoshingiz boshlig'ingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz do'stingiz yoki hamkasbingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz qo'shningizning bolasi bo'lsa
Onangizning akasining og'li					
Onangizning akasining qizi					
Onangizning opasining og'li					
Onangizning opasining qizi					
Onangizning ukasining og'li					
Onangizning ukasining qizi					
Onangizning singlisining og'li					
Onangizning singlisining qizi					

7 - jadval. Qarindoshlik atamalari (farzandlar, nevaralar va ularning turmush o'rtog'lariga nisbatan)

	To'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda	Ular haqida o'zga kishiga gapirganda			
		Suhbatdoshingiz notanish kishi bo'lsa	Suhbatdoshingiz boshlig'ingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz do'stingiz yoki hamkasbingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz qo'shningizning bolasi bo'lsa
O'g'lingiz					
O'g'lingizning xotini					
Qizingiz					
Qizingizning eri					
O'g'il nevarangiz					
O'g'il nevarangizning xotini					
Qiz nevarangiz					
Qiz nevarangizning eri					

8 - jadval. Qarindoshlik atamalari (aka-uka va opa-singillarning farzandlariga nisbatan)

	To'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda	Ular haqida o'zga kishiga gapirganda			
		Suhbatdoshingiz notanish kishi bo'lsa	Suhbatdoshingiz boshlig'ingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz do'stingiz yoki hamkasbingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz qo'shningizning bolasi bo'lsa
Akangizning og'li					
Akangizning qizi					
Opangizning og'li					
Opangizning qizi					
Ukangizning og'li					
Ukangizning qizi					
Singlingizning og'li					
Singlingizning qizi					

9 - jadval. Qarindoshlik atamalari (qaynata-qaynana, qaynag'a, qaynegachi, qayni, qansingil va ularning turmush o'ртоqlariga nisbatan)

	To'g'ridan-to'g'ri murojaat qilganda	Ular haqida o'zga kishiga gapirganda			
		Suhbatdoshingiz notanish kishi bo'lsa	Suhbatdoshingiz boshlig'ingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz do'stingiz yoki hamkasbingiz bo'lsa	Suhbatdoshingiz qo'shningizning bolasi bo'lsa
Qaynatangiz					
Qaynanangiz					
Qaynag'angiz					
Qaynag'angizning xotini					
Qaynegachingiz					
Qaynegachingizning eri					
Qayningiz					
Qayningizning xotini					
Qaynsinglingiz					
Qaynsinglingizning eri					

2. Qarindoshlaringiz bilan boʻlgan suhbatda biror bir qarindoshingiz haqida gapirganda qaysi soʻzlarni ishlatasiz? Quyidagi 10~17gacha boʻlgan jadval ichiga toʻgʻri keladigan soʻzlarni kiriting. Javoblar bir nechta boʻlsa, vergul (,) bilan ajratib yozing. Oʻrtasidan yonlamasiga chizilgan jadvallarni boʻsh qoldiring. Agar javobingiz bitta tepadagi javob bilan toʻgʻri keladigan boʻlsa, javob oʻrniga (//) belgisini ishlatib.

10 - jadval. Qarindoshlik atamalari (qarindoshlar bilan boʻlgan suhbatda ota-ona va bobo-buvi haqida gapirganda)

Suhbatdosh		Kim haqida	Otangizning otasi haqida gapirganda	Otangizning onasi haqida gapirganda	Otangiz haqida gapirganda	Onangiz haqida gapirganda	Onangizning otasi haqida gapirganda	Onangizning onasi haqida gapirganda
Bobo-buvi	Otangizning otasiga							
	Otangizning onasiga							
	Onangizning otasiga							
	Onangizning onasiga							
Ota-ona	Otangizga							
	Onangizga							
Amaki, amma va ularning turmush oʻtloqlari	Otangizning akasiga							
	Otangizning akasining xotiniga							
	Otangizning opasiga							
	Otangizning opasining eriga							
	Otangizning ukasiga							
	Otangizning ukasining xotiniga							
	Otangizning singlisiga							
	Otangizning singlisining eriga							
Tegʻsi, xola va ularning turmush oʻtloqlari	Onangizning akasiga							
	Onangizning akasining xotiniga							
	Onangizning opasiga							
	Onangizning opasining eriga							
	Onangizning ukasiga							
	Onangizning ukasining xotiniga							
	Onangizning singlisiga							
	Onangizning singlisining eriga							
Akasi, ukasi, opa-singli va ularning turmush oʻtloqlari	Akangizga							
	Akangizning xotiniga							
	Opangizga							
	Opangizning eriga							
	Ukangizga							
	Ukangizning xotiniga							
	Singlingizga							
	Singlingizning eriga							

Amaki va ammalarning farzandlari	Otangizning akasining o'g'liga						
	Otangizning akasining qiziga						
	Otangizning opasining o'g'liga						
	Otangizning opasining qiziga						
	Otangizning ukasining o'g'liga						
	Otangizning ukasining qiziga						
	Otangizning singlisining o'g'liga						
	Otangizning singlisining qiziga						
Og'a va xolalarning farzandlari	Onangizning akasining o'g'liga						
	Onangizning akasining qiziga						
	Onangizning opasining o'g'liga						
	Onangizning opasining qiziga						
	Onangizning ukasining o'g'liga						
	Onangizning ukasining qiziga						
	Onangizning singlisining o'g'liga						
	Onangizning singlisining qiziga						
Farzandlar	O'g'lingizga						
	O'g'lingizning xotiniga						
	Qizingizga						
	Qizingizning eriga						
Akalar va opa singillarning farzandlari	Akangizning o'g'liga						
	Akangizning qiziga						
	Opangizning o'g'liga						
	Opangizning qiziga						
	Ukangizning o'g'liga						
	Ukangizning qiziga						
	Singlingizning o'g'liga						
	Singlingizning qiziga						
Nevaralar	O'g'il nevarangizga						
	O'g'il nevarangizning xotiniga						
	Qiz nevarangizga						
	Qiz nevarangizning eriga						

11 - jadval. Qarindoshlik atamalari (qarindoshlar bilan boʻlgan suhbatda amaki, amma va ularning turmush oʻrtoqlari haqida gapirganda)

Suhbatdosh \ Kim haqida		Otangizning akasi haqida	Otangizning akasining xotini haqida	Otangizning opasi haqida	Otangizning opasining eri haqida	Otangizning ukasi haqida	Otangizning ukasining xotini haqida	Otangizning singlisi haqida	Otangizning singlisining eri haqida
Bobotlari	Otangizning otasiga								
	Otangizning onasiga								
	Onangizning otasiga								
	Onangizning onasiga								
Otara	Otangizga								
	Onangizga								
Amaki, amma va ularning turmush oʻrtoqlari	Otangizning akasiga								
	Otangizning akasining xotiniga								
	Otangizning opasiga								
	Otangizning opasining eriga								
	Otangizning ukasiga								
	Otangizning ukasining xotiniga								
	Otangizning singlisiga								
	Otangizning singlisining eriga								
Tegʻa, xola va ularning turmush oʻrtoqlari	Onangizning akasiga								
	Onangizning akasining xotiniga								
	Onangizning opasiga								
	Onangizning opasining eriga								
	Onangizning ukasiga								
	Onangizning ukasining xotiniga								
	Onangizning singlisiga								
	Onangizning singlisining eriga								
Akangizga, opangizga va ularning turmush oʻrtoqlari	Akangizga								
	Akangizning xotiniga								
	Opangizga								
	Opangizning eriga								
	Ukangizga								
	Ukangizning xotiniga								
	Singlingizga								
	Singlingizning eriga								
Amaki va ammalarning farzandlari	Otangizning akasining oʻgʻliga								
	Otangizning akasining qiziga								
	Otangizning opasining oʻgʻliga								
	Otangizning opasining qiziga								
	Otangizning ukasining oʻgʻliga								
	Otangizning ukasining qiziga								

	Otangizning singlisining o'g'liga								
	Otangizning singlisining qiziga								
To'g'a va xolalarining farzandlari	Onangizning akasining o'g'liga								
	Onangizning akasining qiziga								
	Onangizning opasining o'g'liga								
	Onangizning opasining qiziga								
	Onangizning ukasining o'g'liga								
	Onangizning ukasining qiziga								
	Onangizning singlisining o'g'liga								
	Onangizning singlisining qiziga								
Farzandlar	O'g'lingizga								
	O'g'lingizning xotiniga								
	Qizingizga								
	Qizingizning eriga								
Akavuka va opa singillarning farzandlari	Akangizning o'g'liga								
	Akangizning qiziga								
	Opangizning o'g'liga								
	Opangizning qiziga								
	Ukangizning o'g'liga								
	Ukangizning qiziga								
	Singlingizning o'g'liga								
	Singlingizning qiziga								
Nevaralar	O'g'il nevarangizga								
	O'g'il nevarangizning xotiniga								
	Qiz nevarangizga								
	Qiz nevarangizning eriga								

12 - jadval. Qarindoshlik atamalari (qarindoshlar bilan boʻlgan suhbatda togʻa, xola va ularning turmush oʻrtoqlari haqida gapirganda)

Kim haqida Suhbatdosh		Onangizning akasi haqida	Onangizning akasining xotini haqida	Onangizning opasi haqida	Onangizning opasining eri haqida	Onangizning ukasi haqida	Onangizning ukasining xotini haqida	Onangizning singlisi haqida	Onangizning singlisining eri haqida
Bobotlari	Otangizning otasiga								
	Otangizning onasiga								
	Onangizning otasiga								
	Onangizning onasiga								
Otara	Otangizga								
	Onangizga								
Anaki, amma va ularning turmush oʻrtoqlari	Otangizning akasiga								
	Otangizning akasining xotiniga								
	Otangizning opasiga								
	Otangizning opasining eriga								
	Otangizning ukasiga								
	Otangizning ukasining xotiniga								
	Otangizning singlisiga								
	Otangizning singlisining eriga								
Togʻa, xola va ularning turmush oʻrtoqlari	Onangizning akasiga								
	Onangizning akasining xotiniga								
	Onangizning opasiga								
	Onangizning opasining eriga								
	Onangizning ukasiga								
	Onangizning ukasining xotiniga								
	Onangizning singlisiga								
	Onangizning singlisining eriga								
Akangizga, opangizga va ularning turmush oʻrtoqlari	Akangizga								
	Akangizning xotiniga								
	Opangizga								
	Opangizning eriga								
	Ukangizga								
	Ukangizning xotiniga								
	Singlingizga								
	Singlingizning eriga								
Anaki va ammalarning farzandlari	Otangizning akasining oʻgʻliga								
	Otangizning akasining qiziga								
	Otangizning opasining oʻgʻliga								
	Otangizning opasining qiziga								
	Otangizning ukasining oʻgʻliga								
	Otangizning ukasining qiziga								

	Otangizning singlisining o'g'liga								
	Otangizning singlisining qiziga								
Tega va xolalarining farzandlari	Onangizning akasining o'g'liga								
	Onangizning akasining qiziga								
	Onangizning opasining o'g'liga								
	Onangizning opasining qiziga								
	Onangizning ukasining o'g'liga								
	Onangizning ukasining qiziga								
	Onangizning singlisining o'g'liga								
	Onangizning singlisining qiziga								
Farzandlar	O'g'lingizga								
	O'g'lingizning xotiniga								
	Qizingizga								
	Qizingizning eriga								
Akavuka va opa singllarning farzandlari	Akangizning o'g'liga								
	Akangizning qiziga								
	Opangizning o'g'liga								
	Opangizning qiziga								
	Ukangizning o'g'liga								
	Ukangizning qiziga								
	Singlingizning o'g'liga								
	Singlingizning qiziga								
Nevaralar	O'g'il nevarangizga								
	O'g'il nevarangizning xotiniga								
	Qiz nevarangizga								
	Qiz nevarangizning eriga								

13 - jadval. Qarindoshlik atamalari (qarindoshlar bilan boʻlgan suhbatda aka-uka, opa-singil va ularning turmush oʻrtoqlari haqida gapirganda)

Suhbatdosh \ Kim haqida		Akangiz haqida	Akangizning xotini haqida	Opangiz haqida	Opangizning eri haqida	Ukangiz haqida	Ukangizning xotini haqida	Singlingiz haqida	Singlingizning eri haqida
Boburhoni	Otangizning otasiga								
	Otangizning onasiga								
	Onangizning otasiga								
	Onangizning onasiga								
Ota-ona	Otangizga								
	Onangizga								
Amaki, amma va ularning turmush oʻrtoqlari	Otangizning akasiga								
	Otangizning akasining xotiniga								
	Otangizning opasiga								
	Otangizning opasining eriga								
	Otangizning ukasiga								
	Otangizning ukasining xotiniga								
	Otangizning singlisiga								
	Otangizning singlisining eriga								
Tegʻa, xola va ularning turmush oʻrtoqlari	Onangizning akasiga								
	Onangizning akasining xotiniga								
	Onangizning opasiga								
	Onangizning opasining eriga								
	Onangizning ukasiga								
	Onangizning ukasining xotiniga								
	Onangizning singlisiga								
	Onangizning singlisining eriga								
Aka-uka, opa-singil va ularning turmush oʻrtoqlari	Akangizga								
	Akangizning xotiniga								
	Opangizga								
	Opangizning eriga								
	Ukangizga								
	Ukangizning xotiniga								
	Singlingizga								
	Singlingizning eriga								
Amaki va ammalarning farzandlari	Otangizning akasining oʻgʻliga								
	Otangizning akasining qiziga								
	Otangizning opasining oʻgʻliga								
	Otangizning opasining qiziga								
	Otangizning ukasining oʻgʻliga								
	Otangizning ukasining qiziga								

	Otangizning singlisining o'g'liga								
	Otangizning singlisining qiziga								
Tega va xolalarining farzandlari	Onangizning akasining o'g'liga								
	Onangizning akasining qiziga								
	Onangizning opasining o'g'liga								
	Onangizning opasining qiziga								
	Onangizning ukasining o'g'liga								
	Onangizning ukasining qiziga								
	Onangizning singlisining o'g'liga								
	Onangizning singlisining qiziga								
Farzandlar	O'g'lingizga								
	O'g'lingizning xotiniga								
	Qizingizga								
	Qizingizning eriga								
Akavuka va opa singllarning farzandlari	Akangizning o'g'liga								
	Akangizning qiziga								
	Opangizning o'g'liga								
	Opangizning qiziga								
	Ukangizning o'g'liga								
	Ukangizning qiziga								
	Singlingizning o'g'liga								
	Singlingizning qiziga								
Nevaralar	O'g'il nevarangizga								
	O'g'il nevarangizning xotiniga								
	Qiz nevarangizga								
	Qiz nevarangizning eriga								

14 - jadval. Qarindoshlik atamalari (qarindoshlar bilan boʻlgan suhbatda amaki va ammalarning farzandlari haqida gapirganda)

Kim haqida Suhbatdosh		Otangizning akasining oʻgʻli haqida	Otangizning akasining qizi haqida	Otangizning opasining oʻgʻli haqida	Otangizning opasining qizi haqida	Otangizning ukasining oʻgʻli haqida	Otangizning ukasining qizi haqida	Otangizning singlisining oʻgʻli haqida	Otangizning singlisining qizi haqida
Bobotlari	Otangizning otasiga								
	Otangizning onasiga								
	Onangizning otasiga								
	Onangizning onasiga								
Otara	Otangizga								
	Onangizga								
Amaki, amma va ularning turmush oʻroqlari	Otangizning akasiga								
	Otangizning akasining xotiniga								
	Otangizning opasiga								
	Otangizning opasining eriga								
	Otangizning ukasiga								
	Otangizning ukasining xotiniga								
	Otangizning singlisiga								
	Otangizning singlisining eriga								
Tegʻa, xola va ularning turmush oʻroqlari	Onangizning akasiga								
	Onangizning akasining xotiniga								
	Onangizning opasiga								
	Onangizning opasining eriga								
	Onangizning ukasiga								
	Onangizning ukasining xotiniga								
	Onangizning singlisiga								
	Onangizning singlisining eriga								
Akangizga, opangizga va ularning turmush oʻroqlari	Akangizga								
	Akangizning xotiniga								
	Opangizga								
	Opangizning eriga								
	Ukangizga								
	Ukangizning xotiniga								
	Singlingizga								
	Singlingizning eriga								
Amaki va ammalarning farzandlari	Otangizning akasining oʻgʻliga								
	Otangizning akasining qiziga								
	Otangizning opasining oʻgʻliga								
	Otangizning opasining qiziga								
	Otangizning ukasining oʻgʻliga								
	Otangizning ukasining qiziga								

	Otangizning singlisining o'g'liga								
	Otangizning singlisining qiziga								
To'g'a va xolalarining farzandlari	Onangizning akasining o'g'liga								
	Onangizning akasining qiziga								
	Onangizning opasining o'g'liga								
	Onangizning opasining qiziga								
	Onangizning ukasining o'g'liga								
	Onangizning ukasining qiziga								
	Onangizning singlisining o'g'liga								
	Onangizning singlisining qiziga								
Farzandlar	O'g'lingizga								
	O'g'lingizning xotiniga								
	Qizingizga								
	Qizingizning eriga								
Akavuka va opa singillarning farzandlari	Akangizning o'g'liga								
	Akangizning qiziga								
	Opangizning o'g'liga								
	Opangizning qiziga								
	Ukangizning o'g'liga								
	Ukangizning qiziga								
	Singlingizning o'g'liga								
	Singlingizning qiziga								
Nevaralar	O'g'il nevarangizga								
	O'g'il nevarangizning xotiniga								
	Qiz nevarangizga								
	Qiz nevarangizning eriga								

15 - jadval. Qarindoshlik atamalari (qarindoshlar bilan boʻlgan suhbatda togʻa va xolalarning farzandlari haqida gapirganda)

Suhbatdosh \ Kim haqida		Onangizning akasining oʻgʻli haqida	Onangizning akasining qizi haqida	Onangizning opasining oʻgʻli haqida	Onangizning opasining qizi haqida	Onangizning ukasining oʻgʻli haqida	Onangizning ukasining qizi haqida	Onangizning singlisining oʻgʻli haqida	Onangizning singlisining qizi haqida
Bobotlari	Otangizning otasiga								
	Otangizning onasiga								
	Onangizning otasiga								
	Onangizning onasiga								
Otara	Otangizga								
	Onangizga								
Amaki, amma va ularning turmush oʻroqlari	Otangizning akasiga								
	Otangizning akasining xotiniga								
	Otangizning opasiga								
	Otangizning opasining eriga								
	Otangizning ukasiga								
	Otangizning ukasining xotiniga								
	Otangizning singlisiga								
	Otangizning singlisining eriga								
Togʻa, xola va ularning turmush oʻroqlari	Onangizning akasiga								
	Onangizning akasining xotiniga								
	Onangizning opasiga								
	Onangizning opasining eriga								
	Onangizning ukasiga								
	Onangizning ukasining xotiniga								
	Onangizning singlisiga								
	Onangizning singlisining eriga								
Akangizga, opangizga va ularning turmush oʻroqlari	Akangizga								
	Akangizning xotiniga								
	Opangizga								
	Opangizning eriga								
	Ukangizga								
	Ukangizning xotiniga								
	Singlingizga								
	Singlingizning eriga								
Amaki va ammalarning farzandlari	Otangizning akasining oʻgʻliga								
	Otangizning akasining qiziga								
	Otangizning opasining oʻgʻliga								
	Otangizning opasining qiziga								
	Otangizning ukasining oʻgʻliga								
	Otangizning ukasining qiziga								

	Otangizning singlisining o'g'liga								
	Otangizning singlisining qiziga								
Tega va xolalarning farzandlari	Onangizning akasining o'g'liga								
	Onangizning akasining qiziga								
	Onangizning opasining o'g'liga								
	Onangizning opasining qiziga								
	Onangizning ukasining o'g'liga								
	Onangizning ukasining qiziga								
	Onangizning singlisining o'g'liga								
	Onangizning singlisining qiziga								
Farzandlar	O'g'lingizga								
	O'g'lingizning xotiniga								
	Qizingizga								
	Qizingizning eriga								
Akavuka va opa singillarning farzandlari	Akangizning o'g'liga								
	Akangizning qiziga								
	Opangizning o'g'liga								
	Opangizning qiziga								
	Ukangizning o'g'liga								
	Ukangizning qiziga								
	Singlingizning o'g'liga								
	Singlingizning qiziga								
Nevaralar	O'g'il nevarangizga								
	O'g'il nevarangizning xotiniga								
	Qiz nevarangizga								
	Qiz nevarangizning eriga								

16 - jadval. Qarindoshlik atamalari (qarindoshlar bilan boʻlgan suhbatda farzandlar, nevaralar va ularning turmush oʻrtoqlari haqida gapirganda)

Suhbatdosh \ Kim haqida		Oʻgʻlingiz haqida	Oʻgʻlingizning xotini haqida	Qizingiz haqida	Qizingizning eri haqida	Oʻgʻil nevarangiz haqida	Oʻgʻil nevarangizning xotini haqida	Qiz nevarangiz haqida	Qiz nevarangizning eri haqida
Boburxoni	Otangizning otasiga								
	Otangizning onasiga								
	Onangizning otasiga								
	Onangizning onasiga								
Otara	Otangizga								
	Onangizga								
Amaki, amma va ularning turmush oʻrtoqlari	Otangizning akasiga								
	Otangizning akasining xotiniga								
	Otangizning opasiga								
	Otangizning opasining eriga								
	Otangizning ukasiga								
	Otangizning ukasining xotiniga								
	Otangizning singlisiga								
	Otangizning singlisining eriga								
Tegʻa, xola va ularning turmush oʻrtoqlari	Onangizning akasiga								
	Onangizning akasining xotiniga								
	Onangizning opasiga								
	Onangizning opasining eriga								
	Onangizning ukasiga								
	Onangizning ukasining xotiniga								
	Onangizning singlisiga								
	Onangizning singlisining eriga								
Akangizga, opangizga va ularning turmush oʻrtoqlari	Akangizga								
	Akangizning xotiniga								
	Opangizga								
	Opangizning eriga								
	Ukangizga								
	Ukangizning xotiniga								
	Singlingizga								
	Singlingizning eriga								
Amaki va ammalarning farzandlari	Otangizning akasining oʻgʻliga								
	Otangizning akasining qiziga								
	Otangizning opasining oʻgʻliga								
	Otangizning opasining qiziga								
	Otangizning ukasining oʻgʻliga								
	Otangizning ukasining qiziga								

	Otangizning singlisining o'g'liga								
	Otangizning singlisining qiziga								
Tega va xolalarining farzandlari	Onangizning akasining o'g'liga								
	Onangizning akasining qiziga								
	Onangizning opasining o'g'liga								
	Onangizning opasining qiziga								
	Onangizning ukasining o'g'liga								
	Onangizning ukasining qiziga								
	Onangizning singlisining o'g'liga								
	Onangizning singlisining qiziga								
Farzandlar	O'g'lingizga								
	O'g'lingizning xotiniga								
	Qizingizga								
	Qizingizning eriga								
Akavuka va opa singllarning farzandlari	Akangizning o'g'liga								
	Akangizning qiziga								
	Opangizning o'g'liga								
	Opangizning qiziga								
	Ukangizning o'g'liga								
	Ukangizning qiziga								
	Singlingizning o'g'liga								
	Singlingizning qiziga								
Nevaralar	O'g'il nevarangizga								
	O'g'il nevarangizning xotiniga								
	Qiz nevarangizga								
	Qiz nevarangizning eriga								

17 - jadval. Qarindoshlik atamalari (qarindoshlar bilan boʻlgan suhbatda aka-uka va opa-singillarning farzandlari haqida gapirganda)

Kim haqida Suhbatdosh		Akangizning oʻgʻli haqida	Akangizning qizi haqida	Opangizning oʻgʻli haqida	Opangizning qizi haqida	Ukangizning oʻgʻli haqida	Ukangizning qizi haqida	Singlingizning oʻgʻli haqida	Singlingizning qizi haqida
Bobotlari	Otangizning otasiga								
	Otangizning onasiga								
	Onangizning otasiga								
	Onangizning onasiga								
Ota-ona	Otangizga								
	Onangizga								
Amaki, amma va ularning turmush oʻroqlari	Otangizning akasiga								
	Otangizning akasining xotiniga								
	Otangizning opasiga								
	Otangizning opasining eriga								
	Otangizning ukasiga								
	Otangizning ukasining xotiniga								
	Otangizning singlisiga								
	Otangizning singlisining eriga								
Tegʻa, xola va ularning turmush oʻroqlari	Onangizning akasiga								
	Onangizning akasining xotiniga								
	Onangizning opasiga								
	Onangizning opasining eriga								
	Onangizning ukasiga								
	Onangizning ukasining xotiniga								
	Onangizning singlisiga								
	Onangizning singlisining eriga								
Aka-uka, opa-singil va ularning turmush oʻroqlari	Akangizga								
	Akangizning xotiniga								
	Opangizga								
	Opangizning eriga								
	Ukangizga								
	Ukangizning xotiniga								
	Singlingizga								
	Singlingizning eriga								
Amaki va ammalarning farzandlari	Otangizning akasining oʻgʻliga								
	Otangizning akasining qiziga								
	Otangizning opasining oʻgʻliga								
	Otangizning opasining qiziga								
	Otangizning ukasining oʻgʻliga								
	Otangizning ukasining qiziga								

	Otangizning singlisining o'g'liga								
	Otangizning singlisining qiziga								
To'g'a va xolalarining farzandlari	Onangizning akasining o'g'liga								
	Onangizning akasining qiziga								
	Onangizning opasining o'g'liga								
	Onangizning opasining qiziga								
	Onangizning ukasining o'g'liga								
	Onangizning ukasining qiziga								
	Onangizning singlisining o'g'liga								
	Onangizning singlisining qiziga								
Farzandlar	O'g'lingizga								
	O'g'lingizning xotiniga								
	Qizingizga								
	Qizingizning eriga								
Akavuka va opa singllarning farzandlari	Akangizning o'g'liga								
	Akangizning qiziga								
	Opangizning o'g'liga								
	Opangizning qiziga								
	Ukangizning o'g'liga								
	Ukangizning qiziga								
	Singlingizning o'g'liga								
	Singlingizning qiziga								
Nevaralar	O'g'il nevarangizga								
	O'g'il nevarangizning xotiniga								
	Qiz nevarangizga								
	Qiz nevarangizning eriga								

3. Quyidagi holatlarda turmush oʻrtogʻingizga qanday murojaat qilasiz (nima deb chaqirasiz)? Quyidagi uchta savolga javob bering.

(1) Farzandli boʻlishdan oldin

(2) Farzandli boʻlgandan soʻng

(3) Nevarali boʻlgandan soʻng

4. Quyidagi holatlarda turmush o'rtog'ingizga qanday murojaat qilasiz (nima deb chaqirasiz)? Quyidagi ikkita savolga javob bering.

(1) Farzandlar bilan birga ovqatlanayotganda

(2) Turmush o'rtog'ingiz bilan ikkalangiz yolg'iz ovqatlanayotganda

5. Turmush o'rtog'ingiz haqida biror kishiga gapirganda nima deb ataysiz? Quyidagi jadval ichiga to'g'ri keladigan so'zlarni kiriting.

18 - jadval. Turmush o'rtog'i haqida biror kishiga gapirganda ishlatiladigan so'zlar

Kim haqida Suhbatdosh	Xotiningiz haqida gapirganda	Eringiz haqida gapirganda
	Suhbatdoshingiz qarindosh yoki quda tomondan bo'lgan yaqin kishingiz bo'lsa	
Bobo-buvingizga		
Ota-onangizga		
Qaynata-qaynanangizga		
Amaki va ammalaringizga		
Tog'a va xolalarigizga		
Turmush o'rtog'ingizning amaki va ammalariga		
Turmush o'rtog'ingizning tog'a va xolalariga		
Akangiz va opangizga		
Turmush o'rtog'ingizning akasi va opasiga		
Ukangiz va singlingizga		
Turmush o'rtog'ingizning ukasi va singlisiga		
Farzandlaringizga		
Nevaralaringizga		
	Suhbatdoshingiz begona kishi bo'lsa	
Notanish kishiga		
Boshlig'ingizga		
Do'stingiz yoki yaqin hamkasbingizga		
Qo'shnining bolasiga		

資料 8. 親族語に関するアンケート調査（日本語）

親族語に関するアンケート調査

■ 被調査者の性別、年齢に関する質問項目

- あなたの性別について、当てはまる項目を○で囲んで下さい。
1) 男 2) 女
- あなたの年齢について、当てはまる項目を○で囲んで下さい。
1) 10代 2) 20代 3) 30代 4) 40代 5) 50代

■ 親族語に関する質問項目

- あなたは、親族・姻族に直接呼びかけたり言及したりする時、どのような表現を使いますか。下記の表 1～表 9 の空欄部分に適切と思われる表現を書いて下さい。当てはまるものが二つ以上ある場合は、コンマで区切って下さい。回答が直前のセルに記入した回答と同じような場合は「//」と書いて下さい。

表 1. 親族語の呼び掛けと言及の用法（「祖父母」と「父母」の場合）

	呼び掛ける時	言及する時			
		話し相手が初対面の人	話し相手が上司	話し相手が友達・同僚	話し相手が隣の子
父方の祖父					
父方の祖母					
父					
母					
母方の祖父					
母方の祖母					

表 2. 親族語の呼び掛けと言及の用法（「父方のおじ・おばとその配偶者」の場合）

	呼び掛ける時	言及する時			
		話し相手が初対面の人	話し相手が上司	話し相手が友達・同僚	話し相手が隣の子
父方の伯父					
父方の伯父の妻					
父方の伯母					
父方の伯母の夫					
父方の叔父					
父方の叔父の妻					
父方の叔母					
父方の叔母の夫					

表 3. 親族語の呼び掛けと言及の用法（「母方のおじ・おばとその配偶者」の場合）

	呼び掛ける時	言及する時			
		話し相手が初対面の人	話し相手が上司	話し相手が友達・同僚	話し相手が隣の子
母方の伯父					
母方の伯父の妻					
母方の伯母					
母方の伯母の夫					
母方の叔父					
母方の叔父の妻					
母方の叔母					
母方の叔母の夫					

表 4. 親族語の呼び掛けと言及の用法（「兄弟姉妹とその配偶者」の場合）

	呼び掛ける時	言及する時			
		話し相手が初対面の人	話し相手が上司	話し相手が友達・同僚	話し相手が隣の子
兄					
兄の妻					
姉					
姉の夫					
弟					
弟の妻					
妹					
妹の夫					

表 5. 親族語の呼び掛けと言及の用法（「父方のおじ・おばの子」の場合）

	呼び掛ける時	言及する時			
		話し相手が初対面の人	話し相手が上司	話し相手が友達・同僚	話し相手が隣の子
父方の伯父の息子					
父方の伯父の娘					
父方の伯母の息子					
父方の伯母の娘					
父方の叔父の息子					
父方の叔父の娘					
父方の叔母の息子					
父方の叔母の娘					

表 6. 親族語の呼び掛けと言及の用法（「母方のおじ・おばの子」の場合）

	呼び掛ける時	言及する時			
		話し相手が初対面の人	話し相手が上司	話し相手が友達・同僚	話し相手が隣の子
母方の伯父の息子					
母方の伯父の娘					
母方の伯母の息子					
母方の伯母の娘					
母方の叔父の息子					
母方の叔父の娘					
母方の叔母の息子					
母方の叔母の娘					

表 7. 親族語の呼び掛けと言及の用法（「子とその配偶者」と「孫とその配偶者」の場合）

	呼び掛ける時	言及する時			
		話し相手が初対面の人	話し相手が上司	話し相手が友達・同僚	話し相手が隣の子
息子					
息子の妻					
娘					
娘の夫					
孫					
孫の妻					
孫娘					
孫娘の夫					

表 8. 親族語の呼び掛けと言及の用法（「おい・めい」の場合）

	呼び掛ける時	言及する時			
		話し相手が初対面の人	話し相手が上司	話し相手が友達・同僚	話し相手が隣の子
兄の息子					
兄の娘					
姉の息子					
姉の娘					
弟の息子					
弟の娘					
妹の息子					
妹の娘					

表 9. 親族語の呼び掛けと言及の用法（「義父母」と「義理の兄弟姉妹とその配偶者」の場合）

	呼び掛ける時	言及する時			
		話し相手が初対面の人	話し相手が上司	話し相手が友達・同僚	話し相手が隣の子
義父					
義母					
義兄					
義兄の妻					
義姉					
義姉の夫					
義弟					
義弟の妻					
義妹					
義妹の夫					

2. あなたは、親族成員間で親族の誰かについて話す時、どのような表現を使いますか。下記の表 10～表 17 の空欄部分に適切と思われる表現を書いて下さい。当てはまるものが二つ以上ある場合は、コンマで区切って下さい。なお、斜め罫線が引いてある部分はそのままにしてください。回答が上のセルに記入した回答と同じような場合は「//」と書いて下さい。

表 10. 親族成員間における言及用法（親族成員間で「祖父母」と「父母」について話す時）

話し相手 \ 話題の人物			「父方の祖父」について	「父方の祖母」について	「父」について	「母」について	「母方の祖父」について	「母方の祖母」について
祖父母	父方	「祖父」に向かって						
		「祖母」に向かって						
	母方	「祖父」に向かって						
		「祖母」に向かって						
父母		「父」に向かって						
		「母」に向かって						
おじ・おばとその配偶者	父方	「伯父」に向かって						
		「伯父の妻」に向かって						
		「伯母」に向かって						
		「伯母の夫」に向かって						
		「叔父」に向かって						
		「叔父の妻」に向かって						
		「叔母」に向かって						
		「叔母の夫」に向かって						

	母方	「伯父」に向かつて						
		「伯父の妻」に向かつて						
		「伯母」に向かつて						
		「伯母の夫」に向かつて						
		「叔父」に向かつて						
		「叔父の妻」に向かつて						
		「叔母」に向かつて						
		「叔母の夫」に向かつて						
兄弟姉妹とその配偶者		「兄」に向かつて						
		「兄の妻」に向かつて						
		「姉」に向かつて						
		「姉の夫」に向かつて						
		「弟」に向かつて						
		「弟の妻」に向かつて						
		「妹」に向かつて						
		「妹の夫」に向かつて						
おじ・おばの子	父方	「伯父の息子」に向かつて						
		「伯父の娘」に向かつて						
		「伯母の息子」に向かつて						
		「伯母の娘」に向かつて						
		「叔父の息子」に向かつて						
		「叔父の娘」に向かつて						
		「叔母の息子」に向かつて						
		「叔母の娘」に向かつて						
	母方	「伯父の息子」に向かつて						
		「伯父の娘」に向かつて						
		「伯母の息子」に向かつて						
		「伯母の娘」に向かつて						
		「叔父の息子」に向かつて						
		「叔父の娘」に向かつて						
		「叔母の息子」に向かつて						
		「叔母の娘」に向かつて						
子		「息子」に向かつて						
		「息子の妻」に向かつて						
		「娘」に向かつて						
		「娘の夫」に向かつて						
おい・めい		「兄の息子」に向かつて						
		「兄の娘」に向かつて						
		「姉の息子」に向かつて						

		「姉の娘」に向かって						
		「弟の息子」に向かって						
		「弟の娘」に向かって						
		「妹の息子」に向かって						
		「妹の娘」に向かって						
孫		「孫」に向かって						
		「孫の妻」に向かって						
		「孫娘」に向かって						
		「孫娘の夫」に向かって						

表 11. 親族成員間における言及用法（親族成員間で「父方のおじ・おばとその配偶者」について話す時）

話し相手 \ 話題の人物			「父方の伯父」 について	「父方の伯父の 妻」について	「父方の伯母」 について	「父方の伯母の 夫」について	「父方の叔父」 について	「父方の叔父の 妻」について	「父方の叔母」 について	「父方の叔母の 夫」について
祖父母	父方	「祖父」に向かって								
		「祖母」に向かって								
	母方	「祖父」に向かって								
		「祖母」に向かって								
父母		「父」に向かって								
		「母」に向かって								
おじ・おばとその配偶者	父方	「伯父」に向かって								
		「伯父の妻」に向かって								
		「伯母」に向かって								
		「伯母の夫」に向かって								
		「叔父」に向かって								
		「叔父の妻」に向かって								
		「叔母」に向かって								
		「叔母の夫」に向かって								
	母方	「伯父」に向かって								
		「伯父の妻」に向かって								
		「伯母」に向かって								
		「伯母の夫」に向かって								
		「叔父」に向かって								
		「叔父の妻」に向かって								
		「叔母」に向かって								
		「叔母の夫」に向かって								
兄弟姉妹とその配偶者		「兄」に向かって								
		「兄の妻」に向かって								
		「姉」に向かって								
		「姉の夫」に向かって								

		「弟」に向かって								
		「弟の妻」に向かって								
		「妹」に向かって								
		「妹の夫」に向かって								
おじ・おばの子	父方	「伯父の息子」に向かって								
		「伯父の娘」に向かって								
		「伯母の息子」に向かって								
		「伯母の娘」に向かって								
		「叔父の息子」に向かって								
		「叔父の娘」に向かって								
		「叔母の息子」に向かって								
		「叔母の娘」に向かって								
	母方	「伯父の息子」に向かって								
		「伯父の娘」に向かって								
		「伯母の息子」に向かって								
		「伯母の娘」に向かって								
		「叔父の息子」に向かって								
		「叔父の娘」に向かって								
		「叔母の息子」に向かって								
		「叔母の娘」に向かって								
子		「息子」に向かって								
		「息子の妻」に向かって								
		「娘」に向かって								
		「娘の夫」に向かって								
おい・めい		「兄の息子」に向かって								
		「兄の娘」に向かって								
		「姉の息子」に向かって								
		「姉の娘」に向かって								
		「弟の息子」に向かって								
		「弟の娘」に向かって								
		「妹の息子」に向かって								
		「妹の娘」に向かって								
孫		「孫」に向かって								
		「孫の妻」に向かって								
		「孫娘」に向かって								
		「孫娘の夫」に向かって								

表 12. 親族成員間における言及用法（親族成員間で「母方のおじ・おばとその配偶者」について話す時）

話し相手 \ 話題の人物			「母方の伯父」について	「母方の伯父の妻」について	「母方の伯母」について	「母方の伯母の夫」について	「母方の叔父」について	「母方の叔父の妻」について	「母方の叔母」について	「母方の叔母の夫」について
祖父母	父方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								
	母方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								
父母		「父」に向かつて								
		「母」に向かつて								
おじ・おばとその配偶者	父方	「伯父」に向かつて								
		「伯父の妻」に向かつて								
		「伯母」に向かつて								
		「伯母の夫」に向かつて								
		「叔父」に向かつて								
		「叔父の妻」に向かつて								
		「叔母」に向かつて								
		「叔母の夫」に向かつて								
	母方	「伯父」に向かつて								
		「伯父の妻」に向かつて								
		「伯母」に向かつて								
		「伯母の夫」に向かつて								
		「叔父」に向かつて								
		「叔父の妻」に向かつて								
		「叔母」に向かつて								
		「叔母の夫」に向かつて								
兄弟姉妹とその配偶者		「兄」に向かつて								
		「兄の妻」に向かつて								
		「姉」に向かつて								
		「姉の夫」に向かつて								
		「弟」に向かつて								
		「弟の妻」に向かつて								
		「妹」に向かつて								
		「妹の夫」に向かつて								
おじ・おばの子	父方	「伯父の息子」に向かつて								
		「伯父の娘」に向かつて								
		「伯母の息子」に向かつて								
		「伯母の娘」に向かつて								

		「叔父の息子」に向かつて								
		「叔父の娘」に向かつて								
		「叔母の息子」に向かつて								
		「叔母の娘」に向かつて								
	母方	「伯父の息子」に向かつて								
		「伯父の娘」に向かつて								
		「伯母の息子」に向かつて								
		「伯母の娘」に向かつて								
		「叔父の息子」に向かつて								
		「叔父の娘」に向かつて								
		「叔母の息子」に向かつて								
		「叔母の娘」に向かつて								
子		「息子」に向かつて								
		「息子の妻」に向かつて								
		「娘」に向かつて								
		「娘の夫」に向かつて								
おこいめい		「兄の息子」に向かつて								
		「兄の娘」に向かつて								
		「姉の息子」に向かつて								
		「姉の娘」に向かつて								
		「弟の息子」に向かつて								
		「弟の娘」に向かつて								
		「妹の息子」に向かつて								
		「妹の娘」に向かつて								
孫		「孫」に向かつて								
		「孫の妻」に向かつて								
		「孫娘」に向かつて								
		「孫娘の夫」に向かつて								

表 13. 親族成員間における言及用法（親族成員間で「兄弟姉妹とその配偶者」について話す時）

話し相手 \ 話題の人物			「兄」について	「兄の妻」について	「姉」について	「姉の夫」について	「弟」について	「弟の妻」について	「妹」について	「妹の夫」について
祖父母	父方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								
	母方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								

父母		「父」に向かって								
		「母」に向かって								
おじ・おばとその配属者	父方	「伯父」に向かって								
		「伯父の妻」に向かって								
		「伯母」に向かって								
		「伯母の夫」に向かって								
		「叔父」に向かって								
		「叔父の妻」に向かって								
		「叔母」に向かって								
		「叔母の夫」に向かって								
	母方	「伯父」に向かって								
		「伯父の妻」に向かって								
		「伯母」に向かって								
		「伯母の夫」に向かって								
		「叔父」に向かって								
		「叔父の妻」に向かって								
		「叔母」に向かって								
		「叔母の夫」に向かって								
兄弟姉妹とその配属者		「兄」に向かって								
		「兄の妻」に向かって								
		「姉」に向かって								
		「姉の夫」に向かって								
		「弟」に向かって								
		「弟の妻」に向かって								
		「妹」に向かって								
		「妹の夫」に向かって								
おじ・おばの子	父方	「伯父の息子」に向かって								
		「伯父の娘」に向かって								
		「伯母の息子」に向かって								
		「伯母の娘」に向かって								
		「叔父の息子」に向かって								
		「叔父の娘」に向かって								
		「叔母の息子」に向かって								
		「叔母の娘」に向かって								
	母方	「伯父の息子」に向かって								
		「伯父の娘」に向かって								
		「伯母の息子」に向かって								
		「叔父の息子」に向かって								

		「叔父の娘」に向かつて								
		「叔母の息子」に向かつて								
		「叔母の娘」に向かつて								
子		「息子」に向かつて								
		「息子の妻」に向かつて								
		「娘」に向かつて								
		「娘の夫」に向かつて								
おい・めい		「兄の息子」に向かつて								
		「兄の娘」に向かつて								
		「姉の息子」に向かつて								
		「姉の娘」に向かつて								
		「弟の息子」に向かつて								
		「弟の娘」に向かつて								
		「妹の息子」に向かつて								
		「妹の娘」に向かつて								
孫		「孫」に向かつて								
		「孫の妻」に向かつて								
		「孫娘」に向かつて								
		「孫娘の夫」に向かつて								

表 14. 親族成員間における言及用法（親族成員間で「父方のおじ・おばの子」について話す時）

話題の人物 話し相手			「父方の伯父の 息子」について	「父方の伯父の 娘」について	「父方の伯母の 息子」について	「父方の伯母の 娘」について	「父方の叔父の 息子」について	「父方の叔父の 娘」について	「父方の叔母の 息子」について	「父方の叔母の 娘」について
祖父母	父方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								
	母方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								
父母		「父」に向かつて								
		「母」に向かつて								
おじ・おばなどの 親戚者	父方	「伯父」に向かつて								
		「伯父の妻」に向かつて								
		「伯母」に向かつて								
		「伯母の夫」に向かつて								
		「叔父」に向かつて								
		「叔父の妻」に向かつて								
		「叔母」に向かつて								
		「叔母の夫」に向かつて								
	母方	「伯父」に向かつて								
		「伯父の妻」に向かつて								

		「伯母」に向かつて								
		「伯母の夫」に向かつて								
		「叔父」に向かつて								
		「叔父の妻」に向かつて								
		「叔母」に向かつて								
		「叔母の夫」に向かつて								
兄弟姉妹とその配偶者		「兄」に向かつて								
		「兄の妻」に向かつて								
		「姉」に向かつて								
		「姉の夫」に向かつて								
		「弟」に向かつて								
		「弟の妻」に向かつて								
		「妹」に向かつて								
		「妹の夫」に向かつて								
おじ・おばの子	父方	「伯父の息子」に向かつて								
		「伯父の娘」に向かつて								
		「伯母の息子」に向かつて								
		「伯母の娘」に向かつて								
		「叔父の息子」に向かつて								
		「叔父の娘」に向かつて								
		「叔母の息子」に向かつて								
		「叔母の娘」に向かつて								
	母方	「伯父の息子」に向かつて								
		「伯父の娘」に向かつて								
		「伯母の息子」に向かつて								
		「伯母の娘」に向かつて								
		「叔父の息子」に向かつて								
		「叔父の娘」に向かつて								
		「叔母の息子」に向かつて								
		「叔母の娘」に向かつて								
子		「息子」に向かつて								
		「息子の妻」に向かつて								
		「娘」に向かつて								
		「娘の夫」に向かつて								
おい・おい		「兄の息子」に向かつて								
		「兄の娘」に向かつて								
		「姉の息子」に向かつて								
		「姉の娘」に向かつて								
		「弟の息子」に向かつて								

		「弟の娘」に向かつて								
		「妹の息子」に向かつて								
		「妹の娘」に向かつて								
孫		「孫」に向かつて								
		「孫の妻」に向かつて								
		「孫娘」に向かつて								
		「孫娘の夫」に向かつて								

表 15. 親族成員間における言及用法（親族成員間で「母方のおじ・おばの子」について話す時）

話し相手 \ 話題の人物			「母方の伯父の息子」について	「母方の伯父の娘」について	「母方の伯母の息子」について	「母方の伯母の娘」について	「母方の叔父の息子」について	「母方の叔父の娘」について	「母方の叔母の息子」について	「母方の叔母の娘」について
祖父母	父方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								
	母方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								
父母		「父」に向かつて								
		「母」に向かつて								
おじ・おばとその配偶者	父方	「伯父」に向かつて								
		「伯父の妻」に向かつて								
		「伯母」に向かつて								
		「伯母の夫」に向かつて								
		「叔父」に向かつて								
		「叔父の妻」に向かつて								
		「叔母」に向かつて								
		「叔母の夫」に向かつて								
	母方	「伯父」に向かつて								
		「伯父の妻」に向かつて								
		「伯母」に向かつて								
		「伯母の夫」に向かつて								
		「叔父」に向かつて								
		「叔父の妻」に向かつて								
		「叔母」に向かつて								
		「叔母の夫」に向かつて								
兄弟姉妹とその配偶者		「兄」に向かつて								
		「兄の妻」に向かつて								
		「姉」に向かつて								
		「姉の夫」に向かつて								
		「弟」に向かつて								
		「弟の妻」に向かつて								

		「妹」に向かって								
		「妹の夫」に向かって								
おじ・おばの子	父方	「伯父の息子」に向かって								
		「伯父の娘」に向かって								
		「伯母の息子」に向かって								
		「伯母の娘」に向かって								
		「叔父の息子」に向かって								
		「叔父の娘」に向かって								
		「叔母の息子」に向かって								
		「叔母の娘」に向かって								
	母方	「伯父の息子」に向かって								
		「伯父の娘」に向かって								
		「伯母の息子」に向かって								
		「伯母の娘」に向かって								
		「叔父の息子」に向かって								
		「叔父の娘」に向かって								
		「叔母の息子」に向かって								
		「叔母の娘」に向かって								
子		「息子」に向かって								
		「息子の妻」に向かって								
		「娘」に向かって								
		「娘の夫」に向かって								
おい・めい		「兄の息子」に向かって								
		「兄の娘」に向かって								
		「姉の息子」に向かって								
		「姉の娘」に向かって								
		「弟の息子」に向かって								
		「弟の娘」に向かって								
		「妹の息子」に向かって								
		「妹の娘」に向かって								
孫		「孫」に向かって								
		「孫の妻」に向かって								
		「孫娘」に向かって								
		「孫娘の夫」に向かって								

表 16. 親族成員間における言及用法（親族成員間で「子とその配偶者」と「孫とその配偶者」について話す時）

話し相手 \ 話題の人物			「息子」 について	「息子の妻」 について	「娘」 について	「娘の夫」 について	「孫」 について	「孫の妻」 について	「孫娘」 について	「孫娘の夫」 について
祖父母	父方	「祖父」に向かって								
		「祖母」に向かって								
	母方	「祖父」に向かって								
		「祖母」に向かって								
父母		「父」に向かって								
		「母」に向かって								
おじ・おばとその配偶者	父方	「伯父」に向かって								
		「伯父の妻」に向かって								
		「伯母」に向かって								
		「伯母の夫」に向かって								
		「叔父」に向かって								
		「叔父の妻」に向かって								
		「叔母」に向かって								
		「叔母の夫」に向かって								
	母方	「伯父」に向かって								
		「伯父の妻」に向かって								
		「伯母」に向かって								
		「伯母の夫」に向かって								
		「叔父」に向かって								
		「叔父の妻」に向かって								
		「叔母」に向かって								
		「叔母の夫」に向かって								
兄弟姉妹とその配偶者		「兄」に向かって								
		「兄の妻」に向かって								
		「姉」に向かって								
		「姉の夫」に向かって								
		「弟」に向かって								
		「弟の妻」に向かって								
		「妹」に向かって								
		「妹の夫」に向かって								
おじ・おばの子	父方	「伯父の息子」に向かって								
		「伯父の娘」に向かって								
		「伯母の息子」に向かって								
		「伯母の娘」に向かって								
		「叔父の息子」に向かって								

		「叔父の娘」に向かつて								
		「叔母の息子」に向かつて								
		「叔母の娘」に向かつて								
	母方	「伯父の息子」に向かつて								
		「伯父の娘」に向かつて								
		「伯母の息子」に向かつて								
		「伯母の娘」に向かつて								
		「叔父の息子」に向かつて								
		「叔父の娘」に向かつて								
		「叔母の息子」に向かつて								
		「叔母の娘」に向かつて								
子		「息子」に向かつて								
		「息子の妻」に向かつて								
		「娘」に向かつて								
		「娘の夫」に向かつて								
おい・めい		「兄の息子」に向かつて								
		「兄の娘」に向かつて								
		「姉の息子」に向かつて								
		「姉の娘」に向かつて								
		「弟の息子」に向かつて								
		「弟の娘」に向かつて								
		「妹の息子」に向かつて								
		「妹の娘」に向かつて								
孫		「孫」に向かつて								
		「孫の妻」に向かつて								
		「孫娘」に向かつて								
		「孫娘の夫」に向かつて								

表 17. 親族成員間における言及用法（親族成員間で「おい・めい」について話す時）

話し相手 \ 話題の人物			「兄の息子」 について	「兄の娘」 について	「姉の息子」 について	「姉の娘」 について	「弟の息子」 について	「弟の娘」 について	「妹の息子」 について	「妹の娘」 について
祖父母	父方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								
	母方	「祖父」に向かつて								
		「祖母」に向かつて								
父母		「父」に向かつて								
		「母」に向かつて								

おじ・おばとその配偶者	父方	「伯父」に向かって									
		「伯父の妻」に向かって									
		「伯母」に向かって									
		「伯母の夫」に向かって									
		「叔父」に向かって									
		「叔父の妻」に向かって									
		「叔母」に向かって									
		「叔母の夫」に向かって									
	母方	「伯父」に向かって									
		「伯父の妻」に向かって									
		「伯母」に向かって									
		「伯母の夫」に向かって									
		「叔父」に向かって									
		「叔父の妻」に向かって									
		「叔母」に向かって									
		「叔母の夫」に向かって									
兄弟姉妹とその配偶者		「兄」に向かって									
		「兄の妻」に向かって									
		「姉」に向かって									
		「姉の夫」に向かって									
		「弟」に向かって									
		「弟の妻」に向かって									
		「妹」に向かって									
		「妹の夫」に向かって									
おじ・おばの子	父方	「伯父の息子」に向かって									
		「伯父の娘」に向かって									
		「伯母の息子」に向かって									
		「伯母の娘」に向かって									
		「叔父の息子」に向かって									
		「叔父の娘」に向かって									
		「叔母の息子」に向かって									
		「叔母の娘」に向かって									
	母方	「伯父の息子」に向かって									
		「伯父の娘」に向かって									
		「伯母の息子」に向かって									
		「伯母の娘」に向かって									
		「叔父の息子」に向かって									
		「叔父の娘」に向かって									
		「叔母の息子」に向かって									

		「叔母の娘」に向かって								
子		「息子」に向かって								
		「息子の妻」に向かって								
		「娘」に向かって								
		「娘の夫」に向かって								
おじ・おめい		「兄の息子」に向かって								
		「兄の娘」に向かって								
		「姉の息子」に向かって								
		「姉の娘」に向かって								
		「弟の息子」に向かって								
		「弟の娘」に向かって								
		「妹の息子」に向かって								
		「妹の娘」に向かって								
孫		「孫」に向かって								
		「孫の妻」に向かって								
		「孫娘」に向かって								
		「孫娘の夫」に向かって								

3. あなたは、次のような場面で配偶者に何と言って呼びかけますか。次の三つの質問に答えて下さい。

(1) 子供が生まれる前

(2) 子供が生まれた後

(3) 孫が生まれた後

4. あなたは、次のような場面で配偶者に何と言って呼びかけますか。次の二つの質問に答えて下さい。

(1) 子供たちと一緒に食事をしている時

(2) 配偶者と二人だけで食事をしている時

5. あなたは、配偶者について誰かに話す時、何と言って言及しますか。次の表の空欄部分に適切と思われる表現を書いて下さい。

表 18. 配偶者への言及表現

	夫が妻のことを何と呼ぶか	妻が夫のことを何と呼ぶか
	話し相手が親族・姻族の場合	
祖父母に向かって		
父・母に向かって		
義父母に向かって		
おじ・おばに向かって		
義理のおじ・おばに向かって		
兄・姉に向かって		
義理の兄・姉に向かって		
弟・妹に向かって		
義理の弟・妹に向かって		
子に向かって		
孫に向かって		
	話し相手が親族・姻族以外の場合	
初対面の人に向かって		
上司に向かって		
友達・同僚に向かって		
隣の子に向かって		

資料 9. 愛称に関するアンケート調査

ISMLARNING MUROJAAT SHAKLLARIGA DOIR ANKETA

■ Anketa to'ldiruvchining jinsi va yoshiga doir savollar

- Jinsingiz haqida quyidagilardan to'g'ri keladiganini ○ belgisi bilan belgilang.
1) Erkak 2) Ayol
- Yoshingiz haqida quyidagilardan to'g'ri keladiganini ○ belgisi bilan belgilang.
1) 10~19 2) 20~29 3) 30~39 4) 40~49 5) 50~59

■ Ismlarning murojaat shakllariga doir savollar

- Do'stlaringiz va sizdan yoshi kichik bo'lgan tanishlaringizga to'g'ridan-to'g'ri ismi bilan murojaat qilganda, nima deb murojaat qilasiz? O'zingiz bilgan ismlar doirasida javob bering. Javoblar bir nechta bo'lsa, vergul (,) belgisi bilan ajratib yozing.

1 - jadval. O'zbek ismlari ro'yxati

Ismlar	Ismlarning siz bilgan murojaat shakllari
A	
Abbos (ar.)	
Abdulaziz (ar.)	
Abdulazim (ar.)	
Abdulvali (ar.)	
Abdulvahhab (ar.)	
Abdulvohid (ar.)	
Abduljabbor (ar.)	
Abduljalil (ar.)	
Abdullatif (ar.)	
Abdulahad (ar.)	
Abdulkarim (ar.)	
Abdulloh (ar.)	
Abdulmalik (ar.)	
Abdulfattoh (ar.)	
Abdulxoliq (ar.)	
Abdulqahhor (ar.)	
Abdulqodir (ar.)	
Abdulg'afur (ar.)	
Abdulg'affor (ar.)	
Abdulg'ani (ar.)	

Abdulhay (ar.)	
Abdulhamid (ar.)	
Abdulhakim (ar.)	
Abdulhafiz (ar.)	
Abdurrazzoq (ar.)	
Abdurrauf (ar.)	
Abdurrashid (ar.)	
Abdurrahiym (ar.)	
Abdurrahmon(ar.)	
Abdussamad (ar.)	
Abror (ar.)	
Adolat (ar.)	
Azamat (ar.)	
Akbar (ar.)	
Akmal (ar.)	
Akram (ar.)	
Ali (ar.)	
Alisher (ar.-fors.)	
Amir (ar.)	
Anbar (ar.)	
Anvar (ar.)	
Arslon (ar.)	
Asad (ar.)	
Asadulloh (ar.)	
Asal (ar.)	
Asomiddin (ar.)	
A'zam (ar.)	
Ahmad (ar.)	
Ahror (ar.)	
B	
Badriddin (ar.)	
Barno (fors.)	
Basanda (fors.)	
Baxtiyor (fors.)	
Bahodir (fors.)	
Bahor (fors.)	
Bahrom (fors.)	
Bekzod (o'zb.-fors.)	
Bekmurod (o'zb.-ar.)	

Berdimurod (o'zb.-ar.)	
Behzod (fors.)	
Behruz (fors.)	
Bibixol (o'zb.-fors.)	
Binafsha (o'zb.)	
Bobur (o'zb.)	
Bozor (fors.)	
Boymurod (o'zb.-ar.)	
Boyqobil (o'zb.-ar.)	
Bolta (o'zb.)	
Botir (o'zb.-mon.)	
Bo'ri (o'zb.)	
D	
Davlat (ar.)	
Davron (ar.)	
Dilafruz (fors.)	
Dilbar (fors.)	
Dilmurod (fors.-ar.)	
Dilnavoz (fors.)	
Dilnoz (fors.)	
Dilovar (fors.)	
Diloro (fors.)	
Dilorom (fors.)	
Dilrabo (fors.)	
Dilshod (fors.)	
Durdona (ar.-fors.)	
E	
Elbek (o'zb.)	
Eldor (o'zb.-fors.)	
Elmurod (o'zb.-ar.)	
Erali (o'zb.-ar.)	
Ergash (o'zb.)	
Erkin (o'zb.)	
Eson (o'zb.)	
Eshbek (o'zb.)	
Eshbo'ri (o'zb.)	
Eshdavlrat (o'zb.-ar.)	
Eshmurod (o'zb.-ar.)	
Eshqobil (o'zb.)	

E'zoz (ar.)	
Ehson (ar.)	
F	
Fazilat (ar.)	
Fazliddin (ar.)	
Fayzulloh (ar.)	
Farangiz (fors.)	
Farid (ar.)	
Farida (ar.)	
Farmon (fors.)	
Farog'at (ar.)	
Farrux (fors.)	
Faxriddin (ar.)	
Feruz (fors.)	
Feruza (fors.)	
Firuz (fors.)	
Firuza (fors.)	
Fozil (ar.)	
Fozila (ar.)	
G	
Gavhar (fors.)	
Gavharshod (fors.)	
Gulandom (fors.)	
Gulasal (fors.-ar.)	
Guljamol (fors.-ar.)	
Guljahon (fors.)	
Gulnoz (fors.)	
Gulruh (fors.)	
Gulchehra (fors.)	
Gulshan (fors.)	
Gulshod (fors.)	
Go'zal (o'zb.)	
H	
Habib (ar.)	
Habiba (ar.)	
Habibulloh (ar.)	
Haydar (ar.)	
Hayit (ar.)	
Hayitali (ar.)	

Hayitgul (ar.fors.)	
Hayitmurod (ar.)	
Halima (ar.)	
Hamdam (fors.)	
Hamid (ar.)	
Hamida (ar.)	
Hamidulloh (ar.)	
Hamro (fors.)	
Hasan (ar.)	
Hasanali (ar.)	
Hasanxoʻja (ar.fors.)	
Hoji (ar.)	
Hojimurod (ar.)	
Hotam (ar.)	
Hulkar (oʻzb.)	
Humoyun (fors.)	
I	
Ibodot (ar.)	
Ibodulloh (ar.)	
Ibrohim (qad.yah.)	
Izzatulloh (ar.)	
Ilhom (ar.)	
Imom (ar.)	
Intizor (ar.)	
Iroda (ar.)	
Iskandar (ar.)	
Islom (ar.)	
Ismoil (qad.yah.)	
Isroil (qad.yah.)	
Ixtiyor (ar.)	
Iqbol (ar.)	
J	
Javlon (ar.)	
Jalol (ar.)	
Jaloliddin (ar.)	
Jamol (ar.)	
Jamshid (fors.)	
Jasur (ar.)	
Jahongir (fors.)	

Juma (ar.)	
Jumagul (ar.-fors.)	
Jumaqul (ar.-o'zb.)	
Jumanazar (ar.)	
Jo'ra (fors.)	
K	
Kamol (ar.)	
Kamoliddin (ar.)	
Komil (ar.)	
Kamola (ar.)	
Komron (fors.)	
Kumush (o'zb.)	
L	
Layli (ar.)	
Latifa (ar.)	
Latofat (ar.)	
Lobar (ar.)	
Lola (fors.)	
Lutfiya (ar.)	
Lutfulloh (ar.)	
M	
Mavjuda (ar.)	
Mavluda (ar.)	
Madina (ar.)	
Malika (ar.)	
Malohat (ar.)	
Mastura (ar.)	
Matluba (ar.)	
Maftuna (ar.)	
Mahbuba (ar.)	
Mahliyo (ar.)	
Mahmud (ar.)	
Mehriniso(fors.)	
Mirza (fors.)	
Mohigul (fors.)	
Mohidil (fors.)	
Mohinur (fors.-ar.)	
Mohira (ar.)	
Muazzam (ar.)	

Muattar (ar.)	
Muborak (ar.)	
Muzaffar (ar.)	
Munavvar (ar.)	
Munira (ar.)	
Munis (ar.)	
Murod (ar.)	
Musallam (ar.)	
Musulmon (ar.)	
Muxtor (ar.)	
Musharraf (ar.)	
Muyassar (ar.)	
Muqaddam (ar.)	
Muqaddas (ar.)	
Muhammad (ar.)	
Muharram (ar.)	
Muhtaram (ar.)	
N	
Navro'z (fors.)	
Najmiddin (ar.)	
Nazar (ar.)	
Nazira (ar.)	
Nazifa (ar.)	
Nazokat (ar.)	
Nazrulloh (ar.)	
Namoz (fors.)	
Nargiz (ar.)	
Narimon (ar.-fors.)	
Nasiba (ar.)	
Nasim (ar.)	
Nasima (ar.)	
Nasriddin (ar.)	
Ne'mat (ar.)	
Ne'matulloh (ar.)	
Nigina (fors.)	
Nigora (fors.)	
Nizom (ar.)	
Nizomiddin (ar.)	
Nilufar (hin.)	

Nishon (fors.)	
Nodir (ar.)	
Nodira (ar.)	
Norboy (fors.-o'zb.)	
Normurod (fors.-ar.)	
Normomin (fors.-ar.)	
Noroy (fors.-o'zb.)	
Nortoji (fors.)	
Norxol (fors.)	
Norqobil (fors.-ar.)	
Nosir (ar.)	
Nurbek (ar.-o'zb.)	
Norjamol (ar.)	
Nuriddin (ar.)	
Nurulloh (ar.)	
Nusrat (ar.)	
Nusratulloh (ar.)	
O	
Obid (ar.)	
Obida (ar.)	
Obod (fors.)	
Odil (ar.)	
Odina (fors.)	
Ozod (fors.)	
Ozoda (fors.)	
Ozodbek (fors.-o'zb.)	
Oygul (o'zb.-fors.)	
Oydin (o'zb.)	
Oyjamol (o'zb.-ar.)	
Oynisa (o'zb.-ar.)	
Oyscha (ar.)	
Olim (ar.)	
Olima (ar.)	
Oliya (ar.)	
Olloyor (ar.-fors.)	
Omon (ar.)	
Omonulloh (ar.)	
Orzigul (fors.)	
Orzu (fors.-hin.)	

Orif (ar.)	
Ortiq (o'zb.)	
Otabek (o'zb.)	
Oqil (ar.)	
P.	
Panji (fors.)	
Parda (fors.)	
Po'lat (fors.)	
Q	
Qaldirg'och (o'zb.)	
Qambar (ar.)	
Qahramon (fors.)	
Qilich (o'zb.)	
Qudrat (ar.)	
Qudratulloh (ar.)	
Qunduz (o'zb.)	
Qurbon (ar.)	
Qurbonali (ar.)	
Qurbonnazar (ar.)	
Qurbonoy (ar.-o'zb.)	
Qutbiddin (ar.)	
Qutli (o'zb.)	
Qutlibeka (o'zb.)	
Qo'ldosh (o'zb.)	
Qo'chqor (o'zb.)	
Qo'shoq (o'zb.)	
R	
Ravshan (fors.)	
Rajab (ar.)	
Ramazon (ar.)	
Ramziddin (ar.)	
Rasul (ar.)	
Ra'no (ar.)	
Rahmat (ar.)	
Rahmatulloh (ar.)	
Rizo (ar.)	
Robiya (ar.)	
Roziya (ar.)	
Rohat (ar.)	

Ruslan (fors.)	
Rustam (fors.)	
Ruxshona (fors.)	
Ro'zi (fors.)	
Ro'zimurod (fors.-ar.)	
Ro'zixol (fors.)	
S	
Sadoqat (ar.)	
Sadriddin (ar.)	
Said (ar.)	
Saida (ar.)	
Sayid (ar.)	
Sayida (ar.)	
Sayidmurod (ar.)	
Sayfiddin (ar.)	
Sayfulloh (ar.)	
Salim (ar.)	
Salomat (ar.)	
Samandar (ar.)	
Sanam (ar.)	
Saodat (ar.)	
Sarvar (ar.)	
Sarvinoz (fors.)	
Sardor (fors.)	
Safar (ar.)	
Safarali (ar.)	
Safargul (ar.-fors.)	
Sa'dulloh (ar.)	
Sevar (o'zb.)	
Siroj (ar.)	
Sirojiddin (ar.)	
Soat (ar.)	
Sobir (ar.)	
Sobit (ar.)	
Sodiq (ar.)	
Sojida (ar.)	
Solih (ar.)	
Sohib (ar.)	
Sulton (ar.)	

Sultonali (ar.)	
Sultonmurod (ar.)	
Sultonoy (ar.-o'zb.)	
Surayyo (ar.)	
T	
Tabassum (ar.)	
Tal'at (ar.)	
Temir (o'zb.)	
Tesha (o'zb.)	
Tilovmurod (o'zb.-ar.)	
Tojiddin (fors.-ar.)	
Tojimurod (fors.-ar.)	
Tojiniso (fors.-ar.)	
Tolib (ar.)	
Toshmurod (o'zb.-ar.)	
Toshpolat (o'zb.-fors.)	
Tohir (ar.)	
Tursun (o'zb.)	
Turg'un (o'zb.)	
Tb'lqin (o'zb.)	
Tb'ra (o'zb.)	
U	
Ubaydulloh (ar.)	
Uldona (o'zb.-fors.)	
Ulug'bek (o'zb.)	
Umar (ar.)	
Umid (fors.)	
Umida (fors.)	
Umidulloh (fors.-ar.)	
Usmon (ar.)	
Uchqun (o'zb.)	
V	
Vafo (ar.)	
Vosil (ar.)	
X	
Xayriddin (ar.)	
Xayrulloh (ar.)	
Xalil (ar.)	
Xolbek (fors.-o'zb.)	

Xolbeka (fors.-o'zb.)	
Xolbibibi (fors.-o'zb.)	
Xolboy (fors.-o'zb.)	
Xoldor (fors.)	
Xolmirza (fors.)	
Xolmurod (fors.-ar.)	
Xolmuhammad (fors.-ar.)	
Xolmo'min (fors.-ar.)	
Xoltoji (fors.)	
Xondamir (o'zb.-fors.)	
Xonzoda (o'zb.-fors.)	
Xosiyat (ar.)	
Xudoyberdi (fors.-o'zb.)	
Xudoynazar (fors.-ar.)	
Xumor (ar.)	
Xurram (fors.)	
Xursand (fors.)	
Xurshid (fors.)	
Xurshida (fors.)	
Y	
Yayra (o'zb.)	
Yashar (o'zb.)	
Yetim (ar.)	
Yodgor (fors.)	
Yorqinoy (o'zb.)	
Yoqub (ar.)	
Yoqut (ar.)	
Yulduz (o'zb.)	
Yunus (yah.)	
Yusuf (yah.)	
Yo'ldosh (o'zb.-fors.)	
Z	
Zaynab (ar.)	
Zayniddin (ar.)	
Zarina (fors.)	
Zarif (ar.)	
Zarifa (ar.)	
Zafar (ar.)	
Zebiniso (fors.-ar.)	

Zebo (fors.)	
Ziyo (ar.)	
Ziynat (ar.)	
Zoyir (ar.)	
Zokir (ar.)	
Zubayda (ar.)	
Zulfiya (fors.)	
Zulxumor (ar.)	
Zumrad (fors.)	
Zuhro (ar.)	
O‘	
O‘ktam (o‘zb.)	
O‘lmas (o‘zb.)	
O‘lmasoy (o‘zb.)	
O‘ral (o‘zb.)	
O‘roq (o‘zb.)	
O‘tkir (o‘zb.)	
O‘g‘iloy (o‘zb.)	
O‘rilshod (uzb-fors.)	
G‘	
G‘ayrat (ar.)	
G‘iyos (ar.)	
G‘iyosiddin (ar.)	
G‘olib (ar.)	
G‘ulom (ar.)	
SH	
Shabnam (fors.)	
Shavkat (ar.)	
Shamsiddin (ar.)	
Shamsiya (ar.)	
Shamsulloh (ar.)	
Sharbat (ar.)	
Sharif (ar.)	
Sharifa (ar.)	
Shafiqa (ar.)	
Shahboz (fors.)	
Shahina (fors.)	
Shahlo (ar.)	
Shahnoz (fors.)	

Shahobiddin (ar.)	
Shahodat (ar.)	
Sherali (fors.-ar.)	
Sherboy (fors.-o'zb.)	
Sherzod (fors.)	
Shermurod (fors.-ar.)	
Shermuhammad (fors.-ar.)	
Sherxon (fors.-o'zb.)	
Sherqobil (fors.-ar.)	
Sherqul (fors.-o'zb.)	
Shirin (fors.)	
Shoberdi (fors.-o'zb.)	
Shodi (fors.)	
Shodibek (fors.-o'zb.)	
Shodigul (fors.)	
Shodiyor (fors.)	
Shodimurod (fors.-ar.)	
Shodiya (fors.)	
SHodmon (fors.)	
Shoir (ar.)	
Shoira (ar.)	
Shoyista (fors.)	
Shokir (ar.)	
Shohida (ar.)	
Shohimardon (fors.)	
Shohruh (fors.)	
Shohsanam (fors.-ar.)	
Shukur (ar.)	
Shukrulloh (ar.)	
Shuhrat (ar.)	
CH	
Charos (o'zb.)	
Chori (fors.)	

Qisqartmalar:

ar.	—	arabcha	mon.	—	mongolcha
fors.	—	forscha	yah.	—	yahudiycha
hin.	—	hindcha	o'zb.	—	o'zbekcha

資料 10. 参考：資料 9 の日本語訳

愛称に関するアンケート調査

■ 被調査者の性別、年齢に関する質問項目

- あなたの性別について、当てはまる項目を○で囲んで下さい。
1) 男 2) 女
- あなたの年齢について、当てはまる項目を○で囲んで下さい。
1) 10 代 2) 20 代 3) 30 代 4) 40 代 5) 50 代

■ 愛称に関する質問項目

- あなたは、友人や目下（年下）の知人に対して直接名前呼びかけるとき、何と言って呼びかけられるでしょうか？自分が知っている範囲で答えて下さい。知っている愛称形が複数ある場合はコンマ（,）で区切って下さい。

表 1. ウズベク人の名前一覧

名前	知っている愛称形
A	
Abbos (ar.) <i>male</i>	
Abdulaziz (ar.) <i>male</i>	
Abdulazim (ar.) <i>male</i>	
Abdulvali (ar.) <i>male</i>	
Abdulvahhob (ar.) <i>male</i>	
Abdulvohid (ar.) <i>male</i>	
Abduljabbor (ar.) <i>male</i>	
Abduljalil (ar.) <i>male</i>	
Abdullatif (ar.) <i>male</i>	
Abdulahad (ar.) <i>male</i>	
Abdulkarim (ar.) <i>male</i>	
Abdulloh (ar.) <i>male</i>	
Abdulmalik (ar.) <i>male</i>	
Abdulfattoh (ar.) <i>male</i>	
Abdulxoliq (ar.) <i>male</i>	
Abdulqahhor (ar.) <i>male</i>	
Abdulqodir (ar.) <i>male</i>	
Abdulg'afur (ar.) <i>male</i>	
Abdulg'affor (ar.) <i>male</i>	
Abdulg'ani (ar.) <i>male</i>	

Abdulhay (ar.) <i>male</i>	
Abdulhamid (ar.) <i>male</i>	
Abdulahkim (ar.) <i>male</i>	
Abdulahfiz (ar.) <i>male</i>	
Abdurrazzoq (ar.) <i>male</i>	
Abdurrauf (ar.) <i>male</i>	
Abdurrashid (ar.) <i>male</i>	
Abdurrahiym (ar.) <i>male</i>	
Abdurrahmon(ar.) <i>male</i>	
Abdussamad (ar.) <i>male</i>	
Abror (ar.) <i>male</i>	
Adolat (ar.) <i>female</i>	
Azamat (ar.) <i>male</i>	
Akbar (ar.) <i>male</i>	
Akmal (ar.) <i>male</i>	
Akram (ar.) <i>male</i>	
Ali (ar.) <i>male</i>	
Alisher (ar.-per.) <i>male</i>	
Amir (ar.) <i>male</i>	
Anbar (ar.) <i>female</i>	
Anvar (ar.) <i>male</i>	
Arslon (ar.) <i>male</i>	
Asad (ar.) <i>male</i>	
Asadulloh (ar.) <i>male</i>	
Asal (ar.) <i>female</i>	
Asomiddin (ar.) <i>male</i>	
A'zam (ar.) <i>male</i>	
Ahmad (ar.) <i>male</i>	
Ahror (ar.) <i>male</i>	
B	
Badriddin (ar.) <i>male</i>	
Barno (per.) <i>female</i>	
Basanda (per.) <i>female</i>	
Baxtiyor (per.) <i>male</i>	
Bahodir (per.) <i>male</i>	
Bahor (per.) <i>male</i>	
Bahrom (per.) <i>male</i>	
Bekzod (uzb.-per.) <i>male</i>	
Bekmurod (uzb.-ar.) <i>male</i>	

Berdimurod (uzb.-ar.) <i>male</i>	
Behzod (per.) <i>male</i>	
Behruz (per.) <i>male</i>	
Bibixol (uzb.-per.) <i>female</i>	
Binafsha (uzb.) <i>female</i>	
Bobur (uzb.) <i>male</i>	
Bozor (per.) <i>male</i>	
Boymurod (uzb.-ar.) <i>male</i>	
Boyqobil (uzb.-ar.) <i>male</i>	
Bolta (uzb.) <i>male</i>	
Botir (uzb.-mon.) <i>male</i>	
Boʻri (uzb.) <i>male</i>	
D	
Davlat (ar.) <i>male</i>	
Davron (ar.) <i>male</i>	
Dilafruz (per.) <i>female</i>	
Dilbar (per.) <i>female</i>	
Dilmurod (per.-ar.) <i>male</i>	
Dilnavoz (per.) <i>female</i>	
Dilnoz (per.) <i>female</i>	
Dilovar (per.) <i>female</i>	
Diloro (per.) <i>female</i>	
Dilorom (per.) <i>female</i>	
Dilrabo (per.) <i>female</i>	
Dilshod (per.) <i>male</i>	
Durdona (ar.-per.) <i>female</i>	
E	
Elbek (uzb.) <i>male</i>	
Eldor (uzb.-per.) <i>male</i>	
Elmurod (uzb.-ar.) <i>male</i>	
Erali (uzb.-ar.) <i>male</i>	
Ergash (uzb.) <i>male</i>	
Erkin (uzb.) <i>male</i>	
Eson (uzb.) <i>male</i>	
Eshbek (uzb.) <i>male</i>	
Eshboʻri (uzb.) <i>male</i>	
Eshdavlrat (uzb.-ar.) <i>male</i>	
Eshmurod (uzb.-ar.) <i>male</i>	
Eshqobil (uzb.) <i>male</i>	

E'zoz (ar.) <i>male</i>	
Ehson (ar.) <i>(fe)male</i>	
F	
Fazilat (ar.) <i>female</i>	
Fazliddin (ar.) <i>male</i>	
Fayzulloh (ar.) <i>male</i>	
Farangiz (per.) <i>(fe)male</i>	
Farid (ar.) <i>male</i>	
Farida (ar.) <i>female</i>	
Farmon (per.) <i>female</i>	
Farog'at (ar.) <i>female</i>	
Farrux (per.) <i>male</i>	
Faxriddin (ar.) <i>male</i>	
Feruz (per.) <i>male</i>	
Feruza (per.) <i>female</i>	
Firuz (per.) <i>male</i>	
Firuza (per.) <i>female</i>	
Fozil (ar.) <i>male</i>	
Fozila (ar.) <i>female</i>	
G	
Gavhar (per.) <i>female</i>	
Gavharshod (per.) <i>female</i>	
Gulandom (per.) <i>female</i>	
Gulasal (per.-ar.) <i>female</i>	
Guljamol (per.-ar.) <i>female</i>	
Guljahon (per.) <i>female</i>	
Gulnoz (per.) <i>female</i>	
Gulruh (per.) <i>female</i>	
Gulchehra (per.) <i>female</i>	
Gulshan (per.) <i>female</i>	
Gulshod (per.) <i>female</i>	
Go'zal (uzb.) <i>female</i>	
H	
Habib (ar.) <i>male</i>	
Habiba (ar.) <i>female</i>	
Habibulloh (ar.) <i>male</i>	
Haydar (ar.) <i>male</i>	
Hayit (ar.) <i>male</i>	
Hayitali (ar.) <i>male</i>	

Hayitgul (ar-per.) <i>female</i>	
Hayitmurod (ar.) <i>male</i>	
Halima (ar.) <i>female</i>	
Hamdam (per.) <i>male</i>	
Hamid (ar.) <i>male</i>	
Hamida (ar.) <i>female</i>	
Hamidulloh (ar.) <i>male</i>	
Hamro (per.) <i>male</i>	
Hasan (ar.) <i>male</i>	
Hasanali (ar.) <i>male</i>	
Hasanxo'ja (ar-per.) <i>male</i>	
Hoji (ar.) <i>male</i>	
Hojimurod (ar.) <i>male</i>	
Hotam (ar.) <i>male</i>	
Hulkar (uzb.) <i>female</i>	
Humoyun (per.) <i>male</i>	
I	
Ibodat (ar.) <i>female</i>	
Ibodulloh (ar.) <i>male</i>	
Ibrohim (old jew.) <i>male</i>	
Izzatulloh (ar.) <i>male</i>	
Ilhom (ar.) <i>male</i>	
Imom (ar.) <i>male</i>	
Intizor (ar.) (fe) <i>male</i>	
Iroda (ar.) <i>female</i>	
Iskandar (ar.) <i>male</i>	
Islom (ar.) <i>male</i>	
Ismoil (old jew.) <i>male</i>	
Isroil (old jew.) <i>male</i>	
Ixtiyor (ar.) <i>male</i>	
Iqbol (ar.) <i>male</i>	
J	
Javlon (ar.) <i>male</i>	
Jalol (ar.) <i>male</i>	
Jaloliddin (ar.) <i>male</i>	
Jamol (ar.) <i>male</i>	
Jamshid (per.) <i>male</i>	
Jasur (ar.) <i>male</i>	
Jahongir (per.) <i>male</i>	

Juma (ar.) <i>male</i>	
Jumagul (ar.-per.) <i>female</i>	
Jumaqul (ar.-uzb.) <i>male</i>	
Jumanazar (ar.) <i>male</i>	
Jo'ra (per.) <i>male</i>	
K	
Kamol (ar.) <i>male</i>	
Kamoliddin (ar.) <i>male</i>	
Komil (ar.) <i>male</i>	
Kamola (ar.) <i>female</i>	
Komron (per.) <i>male</i>	
Kumush (uzb.) <i>female</i>	
L	
Layli (ar.) <i>female</i>	
Latifa (ar.) <i>female</i>	
Latofat (ar.) <i>female</i>	
Lobar (ar.) <i>female</i>	
Lola (per.) <i>female</i>	
Lutfiya (ar.) <i>female</i>	
Lutfulloh (ar.) <i>male</i>	
M	
Mavjuda (ar.) <i>female</i>	
Mavluda (ar.) <i>female</i>	
Madina (ar.) <i>female</i>	
Malika (ar.) <i>female</i>	
Malohat (ar.) <i>female</i>	
Mastura (ar.) <i>female</i>	
Matluba (ar.) <i>female</i>	
Maftuna (ar.) <i>female</i>	
Mahbuba (ar.) <i>female</i>	
Mahliyo (ar.) <i>female</i>	
Mahmud (ar.) <i>male</i>	
Mehriniso(per.) <i>female</i>	
Mirza (per.) <i>male</i>	
Mohigul (per.) <i>female</i>	
Mohidil (per.) <i>female</i>	
Mohinur (per.-ar.) <i>female</i>	
Mohira (ar.) <i>female</i>	
Muazzam (ar.) <i>male</i>	

Muattar (ar.) <i>female</i>	
Muborak (ar.) <i>female</i>	
Muzaffar (ar.) <i>male</i>	
Munavvar (ar.) <i>female</i>	
Munira (ar.) <i>female</i>	
Munis (ar.) <i>female</i>	
Murod (ar.) <i>male</i>	
Musallam (ar.) <i>female</i>	
Musulmon (ar.) <i>male</i>	
Muxtor (ar.) <i>male</i>	
Musharraf (ar.) <i>female</i>	
Muyassar (ar.) <i>female</i>	
Muqaddam (ar.) <i>female</i>	
Muqaddas (ar.) <i>female</i>	
Muhammad (ar.) <i>male</i>	
Muharram (ar.) <i>female</i>	
Muhtaram (ar.) <i>female</i>	
N	
Navro'z (per.) <i>(fe)male</i>	
Najmiddin (ar.) <i>male</i>	
Nazar (ar.) <i>male</i>	
Nazira (ar.) <i>female</i>	
Nazifa (ar.) <i>female</i>	
Nazokat (ar.) <i>female</i>	
Nazrulloh (ar.) <i>male</i>	
Namoz (per.) <i>male</i>	
Nargiz (ar.) <i>female</i>	
Narimon (ar.-per.) <i>male</i>	
Nasiba (ar.) <i>female</i>	
Nasim (ar.) <i>male</i>	
Nasima (ar.) <i>female</i>	
Nasriddin (ar.) <i>male</i>	
Ne'mat (ar.) <i>male</i>	
Ne'matulloh (ar.) <i>male</i>	
Nigina (per.) <i>female</i>	
Nigora (per.) <i>female</i>	
Nizom (ar.) <i>male</i>	
Nizomiddin (ar.) <i>male</i>	
Nilufar (hin.) <i>female</i>	

Nishon (per.) <i>male</i>	
Nodir (ar.) <i>male</i>	
Nodira (ar.) <i>female</i>	
Norboy (per.-uzb.) <i>male</i>	
Normurod (per.-ar.) <i>male</i>	
Normomin (per.-ar.) <i>male</i>	
Noroy (per.-uzb.) (fe) <i>male</i>	
Nortoji (per.) <i>female</i>	
Norxol (per.) <i>female</i>	
Norqobil (per.-ar.) <i>male</i>	
Nosir (ar.) <i>male</i>	
Nurbek (ar.-uzb.) <i>male</i>	
Norjamol (ar.) <i>male</i>	
Nuriddin (ar.) <i>male</i>	
Nurulloh (ar.) <i>male</i>	
Nusrat (ar.) <i>male</i>	
Nusratulloh (ar.) <i>male</i>	
O	
Obid (ar.) <i>male</i>	
Obida (ar.) <i>female</i>	
Obod (per.) <i>male</i>	
Odil (ar.) <i>male</i>	
Odina (per.) <i>female</i>	
Ozod (per.) <i>male</i>	
Ozoda (per.) <i>female</i>	
Ozodbek (per.-uzb.) <i>male</i>	
Oygul (uzb.-per.) <i>female</i>	
Oydin (uzb.) <i>female</i>	
Oyjamol (uzb.-ar.) <i>female</i>	
Oynisa (uzb.-ar.) <i>female</i>	
Oyscha (ar.) <i>female</i>	
Olim (ar.) <i>male</i>	
Olima (ar.) <i>female</i>	
Oliya (ar.) <i>female</i>	
Olloyor (ar.-per.) <i>male</i>	
Omon (ar.) <i>male</i>	
Omonulloh (ar.) <i>male</i>	
Orzigul (per.) <i>female</i>	
Orzu (per.-hin.) <i>female</i>	

Orif (ar.) <i>male</i>	
Ortiq (uzb.) <i>male</i>	
Otabek (uzb.) <i>male</i>	
Oqil (ar.) <i>male</i>	
P.	
Panji (per.) <i>male</i>	
Parda (per.) <i>male</i>	
Po'lat (per.) <i>male</i>	
Q	
Qaldirg'och (uzb.) <i>female</i>	
Qambar (ar.) <i>male</i>	
Qahramon (per.) <i>male</i>	
Qilich (uzb.) <i>male</i>	
Qudrat (ar.) <i>male</i>	
Qudratulloh (ar.) <i>male</i>	
Qunduz (uzb.) <i>female</i>	
Qurbon (ar.) <i>(fe)male</i>	
Qurbonali (ar.) <i>male</i>	
Qurbonnazar (ar.) <i>male</i>	
Qurbonoy (ar.-uzb.) <i>female</i>	
Qutbiddin (ar.) <i>male</i>	
Qutli (uzb.) <i>(fe)male</i>	
Qutlibeka (uzb.) <i>female</i>	
Qo'ldosh (uzb.) <i>male</i>	
Qo'chqor (uzb.) <i>male</i>	
Qo'shoq (uzb.) <i>male</i>	
R	
Ravshan (per.) <i>male</i>	
Rajab (ar.) <i>male</i>	
Ramazon (ar.) <i>male</i>	
Ramziddin (ar.) <i>male</i>	
Rasul (ar.) <i>male</i>	
Ra'no (ar.) <i>female</i>	
Rahmat (ar.) <i>male</i>	
Rahmatulloh (ar.) <i>male</i>	
Rizo (ar.) <i>male</i>	
Robiya (ar.) <i>female</i>	
Roziya (ar.) <i>female</i>	
Rohat (ar.) <i>female</i>	

Ruslan (per.) <i>male</i>	
Rustam (per.) <i>male</i>	
Ruxshona (per.) <i>female</i>	
Ro'zi (per.) <i>(fe)male</i>	
Ro'zimurod (per.-ar.) <i>male</i>	
Ro'zixol (per.) <i>female</i>	
S	
Sadoqat (ar.) <i>female</i>	
Sadriddin (ar.) <i>male</i>	
Said (ar.) <i>male</i>	
Saida (ar.) <i>female</i>	
Sayid (ar.) <i>male</i>	
Sayida (ar.) <i>female</i>	
Sayidmurod (ar.) <i>male</i>	
Sayfiddin (ar.) <i>male</i>	
Sayfulloh (ar.) <i>male</i>	
Salim (ar.) <i>male</i>	
Salomat (ar.) <i>(fe)male</i>	
Samandar (ar.) <i>male</i>	
Sanam (ar.) <i>female</i>	
Saodat (ar.) <i>female</i>	
Sarvar (ar.) <i>(fe)male</i>	
Sarvinoz (per.) <i>female</i>	
Sardor (per.) <i>male</i>	
Safar (ar.) <i>male</i>	
Safarali (ar.) <i>male</i>	
Safargul (ar.-per.) <i>female</i>	
Sa'dulloh (ar.) <i>male</i>	
Sevar (uzb.) <i>female</i>	
Siroj (ar.) <i>male</i>	
Sirojiddin (ar.) <i>male</i>	
Soat (ar.) <i>male</i>	
Sobir (ar.) <i>male</i>	
Sobit (ar.) <i>male</i>	
Sodiq (ar.) <i>male</i>	
Sojida (ar.) <i>female</i>	
Solih (ar.) <i>male</i>	
Sohib (ar.) <i>male</i>	
Sulton (ar.) <i>male</i>	

Sultonali (ar.) <i>male</i>	
Sultonmurod (ar.) <i>male</i>	
Sultonoy (ar.-uzb.) <i>male</i>	
Surayyo (ar.) <i>female</i>	
T	
Tabassum (ar.) (fe) <i>male</i>	
Tal'at (ar.) <i>male</i>	
Temir (uzb.) <i>male</i>	
Tesha (uzb.) <i>male</i>	
Tilovmurod (uzb.-ar.) <i>male</i>	
Tojiddin (per.-ar.) <i>male</i>	
Tojimurod (per.-ar.) <i>male</i>	
Tojiniso (per.-ar.) <i>female</i>	
Tolib (ar.) <i>male</i>	
Toshmurod (uzb.-ar.) <i>male</i>	
Toshpolat (uzb.-per.) <i>male</i>	
Tohir (ar.) <i>male</i>	
Tursun (uzb.) <i>male</i>	
Turg'un (uzb.) <i>male</i>	
Tb'lqin (uzb.) <i>male</i>	
Tb'ra (uzb.) <i>male</i>	
U	
Ubaydulloh (ar.) <i>male</i>	
Uldona (uzb.-per.) <i>female</i>	
Ulug'bek (uzb.) <i>male</i>	
Umar (ar.) <i>male</i>	
Umid (per.) <i>male</i>	
Umida (per.) <i>female</i>	
Umidulloh (per.-ar.) <i>male</i>	
Usmon (ar.) <i>male</i>	
Uchqun (uzb.) <i>male</i>	
V	
Vafo (ar.) (fe) <i>male</i>	
Vosil (ar.) <i>male</i>	
X	
Xayriddin (ar.) <i>male</i>	
Xayrulloh (ar.) <i>male</i>	
Xalil (ar.) <i>male</i>	
Xolbek (per.-uzb.) <i>male</i>	

Xolbeka (per.-uzb.) <i>female</i>	
Xolbibibi (per.-uzb.) <i>female</i>	
Xolboy (per.-uzb.) <i>male</i>	
Xoldor (per.) <i>male</i>	
Xolmirza (per.) <i>male</i>	
Xolmurod (per.-ar.) <i>male</i>	
Xolmuhammad (per.-ar.) <i>male</i>	
Xolmoʻmin (per.-ar.) <i>male</i>	
Xoltoji (per.) <i>female</i>	
Xondamir (uzb.-per.) <i>male</i>	
Xonzoda (uzb.-per.) <i>female</i>	
Xosiyat (ar.) <i>female</i>	
Xudoyberdi (per.-uzb.) <i>male</i>	
Xudoynazar (per.-ar.) <i>male</i>	
Xumor (ar.) <i>female</i>	
Xurram (per.) (fe) <i>male</i>	
Xursand (per.) (fe) <i>male</i>	
Xurshid (per.) <i>male</i>	
Xurshida (per.) <i>female</i>	
Y	
Yayra (uzb.) (fe) <i>male</i>	
Yashar (uzb.) <i>male</i>	
Yetim (ar.) <i>male</i>	
Yodgor (per.) <i>male</i>	
Yorqinoy (uzb.) <i>female</i>	
Yoqub (ar.) <i>male</i>	
Yoqut (ar.) (fe) <i>male</i>	
Yulduz (uzb.) <i>female</i>	
Yunus (jew.) <i>male</i>	
Yusuf (jew.) <i>male</i>	
Yoʻldosh (uzb.-per.) <i>male</i>	
Z	
Zaynab (ar.) <i>female</i>	
Zayniddin (ar.) <i>male</i>	
Zarina (per.) <i>female</i>	
Zarif (ar.) <i>male</i>	
Zarifa (ar.) <i>female</i>	
Zafar (ar.) <i>male</i>	
Zebiniso (per.-ar.) <i>female</i>	

Zebo (per.) <i>female</i>	
Ziyo (ar.) <i>female</i>	
Ziynat (ar.) <i>female</i>	
Zoyir (ar.) <i>male</i>	
Zokir (ar.) <i>male</i>	
Zubayda (ar.) <i>female</i>	
Zulfiya (per.) <i>female</i>	
Zulxumor (ar.) <i>female</i>	
Zumrad (per.) <i>female</i>	
Zuhro (ar.) <i>female</i>	
O‘	
O‘ktam (uzb.) <i>male</i>	
O‘lmas (uzb.) <i>(fe)male</i>	
O‘lmasoy (uzb.) <i>female</i>	
O‘ral (uzb.) <i>male</i>	
O‘roq (uzb.) <i>male</i>	
O‘tkir (uzb.) <i>male</i>	
O‘g‘iloy (uzb.) <i>female</i>	
O‘rilshod (uzb-per.) <i>male</i>	
G‘	
G‘ayrat (ar.) <i>male</i>	
G‘iyos (ar.) <i>male</i>	
G‘iyosiddin (ar.) <i>male</i>	
G‘olib (ar.) <i>male</i>	
G‘ulom (ar.) <i>male</i>	
SH	
Shabnam (per.) <i>female</i>	
Shavkat (ar.) <i>male</i>	
Shamsiddin (ar.) <i>male</i>	
Shamsiya (ar.) <i>female</i>	
Shamsulloh (ar.) <i>male</i>	
Sharbat (ar.) <i>female</i>	
Sharif (ar.) <i>male</i>	
Sharifa (ar.) <i>female</i>	
Shafiqa (ar.) <i>female</i>	
Shahboz (per.) <i>male</i>	
Shahina (per.) <i>female</i>	
Shahlo (ar.) <i>female</i>	
Shahnoz (per.) <i>female</i>	

Shahobiddin (ar.) <i>male</i>	
Shahodat (ar.) <i>female</i>	
Sherali (per.-ar.) <i>male</i>	
Sherboy (per.-uzb.) <i>male</i>	
Sherzod (per.) <i>male</i>	
Shermurod (per.-ar.) <i>male</i>	
Shermuhammad (per.-ar.) <i>male</i>	
Sherxon (per.-uzb.) <i>male</i>	
Sherqobil (per.-ar.) <i>male</i>	
Sherqul (per.-uzb.) <i>male</i>	
Shirin (per.) <i>female</i>	
Shoberdi (per.-uzb.) <i>male</i>	
Shodi (per.) <i>(fe)male</i>	
Shodibek (per.-uzb.) <i>male</i>	
Shodigul (per.) <i>female</i>	
Shodiyor (per.) <i>male</i>	
Shodimurod (per.-ar.) <i>male</i>	
Shodiya (per.) <i>female</i>	
SHodmon (per.) <i>male</i>	
Shoir (ar.) <i>male</i>	
Shoira (ar.) <i>female</i>	
Shoyista (per.) <i>female</i>	
Shokir (ar.) <i>male</i>	
Shohida (ar.) <i>female</i>	
Shohimardon (per.) <i>male</i>	
Shohruh (per.) <i>male</i>	
Shohsanam (per.-ar.) <i>female</i>	
Shukur (ar.) <i>male</i>	
Shukrulloh (ar.) <i>male</i>	
Shuhrat (ar.) <i>male</i>	
CH	
Charos (uzb.) <i>female</i>	
Chori (per.) <i>(fe)male</i>	

略語

Ar.	—	Arabic (アラビア語)	Mon.	—	Mongolian (モンゴル語)
Hin.	—	Hindi (ヒンディー語)	Per.	—	Persian (ペルシア語)
Jew.	—	Jewish (ヘブライ語)	Uzb.	—	Uzbek (ウズベク語)